

筑波大学臨床医学系

業績目録

2002

筑波大学臨床医学系

序

筑波大学臨床医学系業績目録2002年度版をお届け致します。

本業績集は秋根 康之教授、川上 康助教授をはじめ、関係諸先生のご尽力により完成致しました。

本業績集は故崎田隆夫名誉教授の提案で、東條 静夫名誉教授が学系長時代に昭和56年(1981年)に1973-1980年を1巻として刊行されました。その後、毎年発刊し、本年度で23巻目となっております。

筑波大学も開学30周年を迎え、また、平成16年より国立大学独立法人となることが決まり、ある意味で節目の年を迎えようとしております。筑波大学は新構想大学として誕生し、学系というユニークな組織のなかで、臨床医学系は質の高い医療を実践し、優秀な医師・臨床研究者を育成する医育機関を支え、かつ筑波大学らしい研究を行ってきたと自負しております。その中で臨床医学系とともに生まれ育ってきたのが、本業績集であると思います。

現時点においても、筑波大学自体の制度設計は今ひとつ明確ではありませんが、医学においても学系制度が大きく変わることが予想されております。絶えず新しい試みに向かって新しい大学像を模索し、具現化することが我々に課せられた使命であり、さらに「つくば」らしさを創造することが今後の筑波大学を発展させる上で極めて重要なことであると思われまます。

2003. 8 .25

臨床医学系長 小 山 哲 夫

凡 例

1. 収 録 の 対 象

筑波大学臨床医学系所属の教官が著者ないし発表者（共著者を含む）の業績を対象とした。

2. 記 載 方 法

業績は平成14年1月1日～12月31日に発表されたものを対象とし、当該教官ら所属する研究グループ毎にまとめた。夫々の業績目録に収録するか否かの判断は各研究者に委ね、予め配付された用紙に記載された業績はすべて収録した。

3. 業 績 の 分 類

各種の業績を次の6種に分類し、以下の要領で chronological に記載した。

i. 原 著

ii. 総 説

欧文雑誌名は Index Medicus に準じ、和文は公式の略称を用いる。

iii. 著 書

単行本の場合は、著者名：書名，発行所，発行地，発行年

分担執筆の場合は、著者名：表題，書名，（編集者），版数（初版は不要），
発行所，発行地，初頁—終頁

iv. 学会発表（シンポジウム，特別講演を含む）

発表者名：題名，学会名（場所），月，年，（西暦）

v. 班研究報告

著者名：題名，報告書名，年次，初頁—終頁

vi. その他（放送，座談会，講演会などで学術的なもの）

発表者名：題名，放送局名，月，日，年，または誌名，巻，頁，年

なお，著者名は原則として全員を記載し，臨床医学系教官はゴシック文字とした。

目 次

循環器内科グループ	1
消化器内科グループ	25
呼吸器内科グループ	43
腎臓内科グループ	59
代謝内分泌内科グループ	73
膠原病・リウマチ・アレルギー内科グループ	95
血液内科グループ	111
神経内科グループ	119
精神医学グループ	135
皮膚科グループ	147
小児内科グループ	161
循環器外科・呼吸器外科グループ	173
消化器外科グループ	185
脳神経外科グループ	197
腎泌尿器外科グループ	217
乳腺・甲状腺・内分泌外科グループ	231
形成外科グループ	237
小児外科グループ	239
整形外科グループ	251
眼科グループ	261
婦人周産期グループ	275
耳鼻咽喉科グループ	289
麻酔診療グループ	293
歯科・口腔外科グループ	303
臨床病理グループ	307
放射線科グループ	311
放射線医学・陽子線センターグループ	327
救急グループ	331
医療情報グループ	333
集中治療グループ	335
臨床薬剤学グループ	341
卒後臨床研修部グループ	347
輸血部グループ	349
手術部グループ	351
光学医療診療グループ	353
病院病理部グループ	361
リハビリテーショングループ	363
アドミッションセンターグループ	365
医療科学グループ	367

2002年

臨床医学系教官 (2002年1月1日～12月31日)

○印は期間内採用等

△印は期間内辞職等

史清緒助司功初郎人美行英作雄享典之徹知生徑由治堯大弘俊彦	裕美昌祐	太直陽秀昭健由紀	昭清	雅達成雅賢景	利毅雅	治浩久彦弘之博司輔巳勝光穂之二嘉浩り美浩代己	智泰岳剛達貴裕大勝正昭実利真	孝か直	文克													
井枝崎下丸本島谷永井田月	下代中	中川下本	本本澤	岡澤林邊	手	垣流水田	川戸内岡	藤谷梨橋	橋沼	窪川岡	口佐田本											
松松松松松	三水宮	向村望	森森八谷	谷柳山山	山山湯楊	吉吉若渡	助	井井瓜海	及大木	鯨後染	高高照	富中平	室山遊	吉四								
光利聡仁次吾彦二宏徹一和子	夫博樹	定知司次	夫子男美子	郎守正	睦広一治	二紀実	人人臣裕	郎子司	眺一敬	子隆	豐志	文士	志覚博									
雅哲	博泰晋和伸	啓弘優一	英一英	經康秀	英秀穂	千二康	明雄政	憲一洋	明尚	淳朋	史み祐	浩	妙善	裕孝正仁	哲							
成田戸根田	野橋橋橋田	島川中	井越口	本向	淵井島	野島田	原村津	浦末村	川多澤	部田	場野津	井松山	山島田	井木澤	米間野							
△瀬関宗曾	高高高	高武田	太田武	竹谷塚	谷田坪	寺東豊	中中	中新	西野	長谷	幡馳服	濱林原	馬伴	樋之平	平平福	福藤藤	堀堀堀	堀本前				
男仁一彦	明映紀	弘之夫	志樹夫	朗真	德樹典也	郎史司	一治新	二了徹	一暗	一人昭	平行俊	孝透	美美昭	夫之健	仁史男	一二俊	己明郎	生				
邦喜仲重信	克芳義	貴隆英	敦惠一	定史	明竜浩	雅兼優恒	弘	修智真	直広捷	重正	惠豐	浩幸善	崇芳	純信正	和浩研	康						
川川股川崎	野田林	田本藤	保越田	津塚本	田澤寺	井治岡	子合野	本池澤	原池室	山藤井	根本木	藤藤藤	山原野	水水田	原浦川	木野根						
市市猪今	岩植内	梅内榎	遠大大	太大大	岡沖小	鬼小影	加金	河河川	川清木	小小小	小斎酒	坂坂佐	々々佐	佐塩	柴島清	正菅	杉鈴	鈴清関				
二久二治	徹人亮	彰晃人	夫人肇	康子一	健介重	夫樹朗郎	美美夫	明人樹	司明晃	義義平	幸弘郎	行	男也	孝人祥	泉美郎	弘雄美	行正子					
完幸武	利昭達	明英公	啓宗道	秀二晴	重哲敏	真良靖	勝俊雅	邦哲重	育信直	誠照惠	耕一幸	成敏和	栄	太								
山田田	居木崎	田岡野	井田野	植瀬瀬	田野原	村勢見	間間井	崎村橋	上川部	縣田邊	田立美	井海武	井田井	井井井	井井井	井井井	井井井	井井井				
小斎榮	重鳥鈴	須高玉	辻筒堤	角寺東	德轟長	永長中	中能人	堀本本	松松松	丸丸丸	水宮宮	山山山	和和和	講	会足厚	安倍	阿新	池池池	石石石	石石石	磯磯磯	市市市
之之隆二	也修弘	郎男男	吉之夫	直夫謙	操一之	久見訓	昭昭郎	夫彦男	晃陽卓	嚴博秀	之廣	治一夫	文文文	久慈清	昭昭深	孝博康	弘弘弘	祐彦樹	寛			
英康	悠徹	信哲	藤盛諭	直道幸	哲進	孝清直	秀秀秀	利俊凱	治治志	信一裕	悠賢朝	利純雅	正知	康圭克	英							
座根田井	嵐山内	鹿塚塚	田合子	田山原	庭司田	澤中岡	井澤山	宮勢	井内口	田根川	田吉	教授	相池石	石石石	今白江	大大大	鬼鴨川	川川川	久桑上	小小小		
赤秋朝板	十浦河	大大大	大大大	大大大	大大大	大大大	大大大	大大大	大大大	大大大	大大大	大大大	大大大	大大大	大大大	大大大	大大大	大大大	大大大	大大大		

※名簿は2001年12月31日の官職

2002年（循環器内科グループ）

原 著

- No. 1 Ueno M., Miyauchi T., Sakai S., Yamauchi-Kohno R., Goto K., Yamaguchi I. :
A combination of oral endothelin-A receptor antagonist and oral prostacyclin
analogue is superior to each drug alone in ameliorating pulmonary hypertension
in rats
J Am Coll Cardiol 40(1) : 175-81, 2002
- No. 2 Li A., Kuga K., Suzuki A., Endo M., Niho B., Enomoto M., Kanamoto M.,
Yamaguchi Y. :
Effects of Linear Ablation at the Isthmus between the Tricuspid Annulus and
Inferior Vena Cava for Atrial Flutter on Aut
Circ J 66(2) : 53-57, 2002
- No. 3 Kuga K., Li A., Endo M., Niho B., Suzuki A., Enomoto M., Kanamoto M.,
Yamaguchi I. :
Atrial components contributing to pseudo r'deflection in lead V1 in slow/fast
atrioventricular nodal reentrant tachycardia
Circ J 66(3) : 236-240, 2002
- No. 4 Nishi I., Iida K., Kawano S., Masumi T., Fumikura Y., Ohtsuka S., Watanabe S.,
Yamaguchi I. :
Effects of anti-vasospastic agents in Japanese patients with dilated car-
diomyopathy and coronary vasospasm
Jpn Heart J 43(4) : 333-342, 2002
- No. 5 Ishizu T., Ishimitsu T., Kamiya H., Seo Y., Moriyama N., Obara K., Watanabe S.,
Yamaguchi I. :
The correlation of irregularities in carotid arterial intima-media thickness with
coronary artery disease
Heart Vessels 17 : 1-6, 2002
- No. 6 Ohtsuka S., Oyake Y., Seo Y., Eda K., Yamaguchi I. :
Magnesium sulphate infusion suppresses the cardiac release of noradrenaline
during handgrip stress test
Can J Cardiol 18 : 133-140, 2002
- No. 7 Shiono J., Horigome H., Matsui A., Terada Y., Watanabe S., Miyashita T.,
Tsukada T. :
Evaluation of myocardial ischemia in Kawasaki disease using an isointegral map
on magnetocardiogram
PACE 25 : 915-921, 2002
- No. 8 鯉坂 隆一, 渡辺 重行, 鈴木 康文, 大槻 毅, 田辺 匠, 菅原 順, 増田 和美,
久野 譜也, 松田 光生, 山口 巖 :
下肢レジスタンス運動における活動筋血液量動態 一中老年女性における検討—
脈管学 42(Suppl) : 20-24, 2002

- No. 9 外山 昌弘, 鯉坂 隆一, 森本 隆史, 新冨 義侯, 仁科 秀崇, 江田 一彦,
石山 実樹, 坂本 和彦, 武安 法之, 斉藤 巧, 渡辺 重行, 山口 巖, 稲葉 武:
活動筋の加温・冷却と酸素摂取量 kinetics, 活動筋血液量 kinetics
心臓 34(Suppl.2) : 24-27, 2002
- No. 10 Sakai S., Miyauchi T., Irukayama-Tomobe Y., Ogata T., Goto K., Yamaguchi I. :
Peroxisome proliferator-activated receptor- γ activators inhibit endothelin-1-
related cardiac hypertrophy in rats
Clinical Science 103(Suppl.48) : 16S-20S, 2002
- No. 11 Maeda S., Miyauchi T., Iemitsu M., Tanabe T., Yokota T., Goto K., Yamaguchi I. :
Effects of exercise training on expression of endothelin-1 mRNA in the aorta of
aged rats
Clinical Science 103(Suppl.48) : 118S-123S, 2002
- No. 12 Iemitsu M., Miyauchi T., Maeda S., Tanabe T., Irukayama-Tomobe Y., Goto K.,
Matsuda M., Yamaguchi I. :
Effects of aging and subsequent exercise training on gene expression of endothelin
-1 in rat heart
Clinical Science 103(Suppl.48) : 152S-157S, 2002
- No. 13 Kakinuma Y., Miyauchi T., Suzuki T., Yuki K., Murakoshi N., Goto K.,
Yamaguchi I. :
Enhancement of glycolysis in cardiomyocytes elevates endothelin-1 expression
through the transcriptional factor hypoxia-inducible factor-1 α .
Clinical Science 103(Suppl.48) : 210S-214S, 2002
- No. 14 Ogata T., Miyauchi T., Sakai S., Irukayama-Tomobe Y., Goto K., Yamaguchi I. :
Stimulation of peroxisome-proliferator-activated receptor α (PPAR α) attenu-
ates cardiac fibrosis and endothelin-1 production in pressure-overloaded rat
hearts
Clinical Science 103(Suppl.48) : 284S-288S, 2002
- No. 15 Yamada S., Tsukada K., Miyashita T., Noguchi Y., Ebashi T., Terada Y., Kuga K.,
Yamaguchi I. :
Analysis of more complex arrhythmias using the tangential components of the
cardiac magnetic field
Biomag 2000 : 514-517, 2002
- No. 16 Yamada S., Tsukada K., Miyashita T., Kanemoto M., Miyauchi T., Yamaguchi I. :
Magnetocardiograms Superimposed on Magnetic Resonance Images : Arrhyth-
mias with or Without Anatomical Abnormalities
Biomag 2000 : 599-601, 2002
- No. 17 Nishi I., Ishimitsu T., Ishizu T., Ueno Y., Suzuki A., Seo Y., Ohtsuka S., Iida K.,
Yamaguchi I. :
Peripartum cardiomyopathy and biventricular thrombi
Circ J 66(9) : 863-865, 2002

- No. 18 鯉坂 隆一, 渡辺 重行, 外山 昌弘, 松田 光生, 山口 巖:
心疾患患者における運動時および回復期の筋内血液量動態と運動耐性: 大腿筋と下腿筋の比較
J Cardiol 40(3): 95-102, 2002
- No. 19 丸山 秀和, 本間 覚, 宇野希世子, 安倍 大輔, 森本 隆史, 新富 義侯,
大塚 定徳, 石光 敏行, 渡辺 重行, 山口 巖:
さまざまな肺高血圧に対する経口 PGI₂製剤の効果
Ther Res 23: 2130-2131, 2002
- No. 20 Murakoshi N., Miyauchi T., Kakinuma Y., Ohuchi T., Goto K., Yanagisawa M.,
Yamaguchi I.:
Vascular endothelin-B receptor system in vivo plays a favorable inhibitory role in vascular remodeling after injury revealed by endothelin-B receptor-knockout mice
Circulation 106(15): 1991-1998, 2002
- No. 21 Maeda S., Miyauchi T., Iemitsu M., Tanabe T., Irukayama-Tomobe Y., Goto K.,
Yamaguchi I., Matsuda M.:
Involvement of endogenous endothelin-1 in exercise-induced redistribution of tissue blood flow: An endothelin receptor antagonist reduces the redistribution.
Circulation 106(17): 2188-2193, 2002
- No. 22 大塚 定徳, 山口 巖, 吳 勁, 武田 徹, 板井 悠二, 丸橋 晃, 兵藤 一行,
安藤 正海:
静注法による放射光冠動脈造影
原子核研究 47(4): 65-69, 2002
- No. 23 Iemitsu M., Miyauchi T., Maeda S., Tanabe T., Takanashi M.,
Irukayama-Tomobe Y., Sakai S., Ohmori H., Matsuda M., Yamaguchi I.:
Aging-induced decrease in the PPAR- α level in hearts is improved by exercise training
Am J Physiol 283(5): H1750-H1760, 2002
- No. 24 宇野希世子, 本間 覚, 金本 都, 森本 隆史, 丸山 秀和, 柿沼 由彦, 山崎 明,
大塚 定徳, 渡辺 重行, 山口 巖:
肺高血圧症にプロスタサイクリン持続静注療法を行った2症例
茨城循環器研究会雑誌 9: 17-22, 2002
- No. 25 新富 義侯, 文蔵 優子, 武安 法之, 石川 公人, 小原 健一, 野口 祐一,
大坂 基男, 今水流智浩, 渡辺 航, 福田 幾夫, 渡辺 重行, 山口 巖:
重症左心機能低下を伴い, 低圧較差を呈した大動脈弁狭窄症に対し大動脈弁置換術を施行した1症例
茨城循環器研究会雑誌 9: 29-33, 2002

- No. 26 Nakagawa R., Homma M., Kuga K., Yamaguchi I., Kobayashi D., Morimoto Y., Kohda Y. :
High performance liquid chromatography for routine monitoring of serum flecainide
J Pharma Biom Ana 30 : 171-174, 2002
- No. 27 Yamada S., Tsukada K., Miyashita T., Oyake Y., Kuga K., Yamaguchi I. :
Non-invasive diagnosis of partial atrial standstill using magnetocardiograms
Circ J 66(12) : 1178-1180, 2002
- No. 28 Suzuki A., Tanaka K., Watanabe Y., Kawagoe K., Ejiri N., Kuga K., Yamaguchi I. :
Propagated conduction heterogeneity of right ventricular outflow tract in evolving canine vagal stimulation
Eur Heart J 23 : 238, 2002

著 書

- No. 1 石光 敏行 :
断層法と M モード法
心エコー図を撮る, 診る
羽田勝征 編
メディカルビュー社 (東京), PP.15-20, 2002
- No. 2 高梨 正勝, 酒井 俊, 小形 岳寛, 宮内 卓 :
循環器系傷害マーカーとしてのエンドセリン
心臓傷害と心筋/血管マーカー
清野精彦 編
メジカルレビュー社 (東京), pp.161-168, 2002
- No. 3 酒井 俊, 宮内 卓 :
エンドセリン拮抗薬
Annual Review 循環器 2002
杉下 靖郎, 門間 和夫, 矢崎 義雄, 高本 真一 編
中外医学社 (東京), pp.152-158, 2002
- No. 4 柿沼 由彦, 宮内 卓 :
原発性肺高血圧症の治療について
循環器診療二頁の秘訣
永井 良三 編
金原出版 (東京), pp.26-27, 2002
- No. 5 久賀 圭祐, 山口 巖 :
不整脈にアミオダロンをどう使うか
アミオダロンによる不整脈治療の実際
有田 真, 小川 聡, 山口 巖, 中谷 晴昭 編
ライフメディコム (東京), pp.79-101, 2002

- No. 6 山田さつき, 山口 巖:
 アミオダロンと ICD 治療 —日本人での適応と問題点—
 循環器 NewTrends シリーズ 難治性不整脈の治療戦略
 小川 聡 編
 メディカルビュー社 (東京), pp.122-130, 2002
- No. 7 渡辺 重行, 武安 法之:
 肥大型心筋症
 EBM に基づいた誰でもわかる心臓核医学
 西村恒彦, 西村重敬 編
 メジカルセ ンス (東京), pp.248-260, 2002
- No. 8 石光 敏行:
 成人における先天性心疾患
 篠山重威 編
 循環器疾患 最新の治療
 南江堂 (東京), pp.241-246, 2002
- No. 9 本間 覚, 山口 巖:
 大動脈炎症候群.
 難病の指針
 茨城県医師会 編
 茨城県医師会 (茨城), pp.191-195, 2002
- No. 10 本間 覚:
 特発性慢性肺血栓塞栓症
 難病の指針
 茨城県医師会 編
 茨城県医師会 (茨城), pp.238-241, 2002
- No. 11 酒井 俊, 宮内 卓:
 エンドセリン受容体拮抗薬
 分子高血圧
 荻原俊男, 島本和明, 日和田邦男, 藤田敏郎 編
 先端医学社 (東京), pp.236-237, 2002
- No. 12 大塚 定徳, 杉下 靖郎:
 心機能
 内科学書 (改訂第 6 版)
 島田 馨 編
 中山書店 (東京), pp.1160-1162, 2002
- No. 13 柿沼 由彦, 宮内 卓, 村越 伸行, 結城 幸一, 鈴木 崇彦, 後藤 勝年, 山口 巖:
 心筋細胞におけるエネルギー代謝変換調節機構が, 心筋由来心血管性作動性物質の発現におよぼす, 分子の連関機構についての研究
 第10回分子循環器研究会講演記録集
 分子循環器研究会 編
 分子循環器研究会 (東京), pp.6-9, 2002

総 説

- No. 1 宮内 卓：
心不全の分子メカニズムにおけるエンドセリンの役割
心臓 34(1)：47-50, 2002
- No. 2 山口 巖：
心臓ペースング・電気生理学研究の進歩
循環器専門医 10(1), 135-141, 2002
- No. 3 本間 覚, 山口 巖：
急性肺血栓塞栓症の心電図とその経過
心電図 22：31-37, 2002
- No. 4 山田さつき, 山口 巖：
アミオダロンを含む薬物による致死性不整脈治療の現状と将来
循環器科 52(4)：278-284, 2002
- No. 5 山田さつき, 山口 巖：
心電図による不整脈診断
医学のあゆみ 200(9), 679-681, 2002
- No. 6 瀬尾 由広, 石光 敏行：
ドプラ法を組み合わせた肺動脈楔入圧の推定法
心エコー 3(2)：100-113, 2002
- No. 7 久賀 圭祐, 山口 巖：
単型性心室頻拍
Heart View 6：72-79, 2002
- No. 8 中川 励, 本間 真人, 久賀 圭祐, 山口 巖, 小林 大介, 森本 雁憲, 幸田 幸直：
頻脈性不整脈におけるフレカイニド有効血中濃度の検討
医療ジャーナル 38：103-107, 2002
- No. 9 山口 巖：
不整脈診療の最新の動向
成人病と生活習慣病 32(5)：603-609, 2002
- No. 10 久賀 圭祐, 温 環：
不整脈患者の生活指導
Medicina 57：1202-1205, 2002
- No. 11 山田さつき, 山口 巖：
特集：心室頻拍の治療戦略 心室頻拍における薬物療法—アミオダロンをどう使うか
循環器 Dr のための不整脈診療 4：26-29, 2002
- No. 12 本間 覚：
血栓性素因とその対策 特集 急性肺動脈塞栓症
総合臨床 51：348-353, 2002
- No. 13 山田さつき, 山口 巖：
心磁図による不整脈診断 —心房細動の電気生理学的・解剖学的 substrate—
医学のあゆみ 200(9)：679-681, 2002

- No. 14 久賀 圭祐, 山口 巖:
不整脈の重症度評価のしかた
Medical Practice 19:1954-1965, 2002
- No. 15 山口 巖:
心室期外収縮
ドクターサロン 46(9):645-648, 2002
- No. 16 渡辺 重行:
高安動脈炎(大動脈症候群)
Medicina 39(9):1530-1533, 2002
- No. 17 石光 敏行:
動悸の病態生理と治療法
JOHNS 18(12):2011-2014, 2002
- No. 18 小形 岳寛, 酒井 俊, 宮内 卓:
心筋リモデリングの予防と治療
呼吸と循環 50(12):1201-1207, 2002
- 学会発表
- No. 1 山口 巖:
特別講演
「不整脈治療の現況」
第13回北野ハートセミナー(大阪), 1月, 2002
- No. 2 山口 巖:
教育講演
「不整脈診療の最近の動向」
第36回日本成人病学会(東京), 1月, 2002
- No. 3 文蔵 優子, 小原 健一, 石川 公人, 武安 法之, 野口 祐一, 平山 孝子,
小野 幸雄, 河野 了, 渡辺 重行, 山口 巖:
健診で発見された無症候性複雑性心室性期外収縮の長期予後
第36回日本成人病学会(東京), 1月, 2002
- No. 4 川村 龍, 本間 覚, 高山 直也, 丸山 秀和, 宇野希世子, 新富 義侯, 山口 巖:
慢性の下肢腫脹と疼痛が抗生剤の投与により劇的に軽快した1例
茨城血管疾患 研究会第2回発表会(つくば), 1月, 2002
- No. 5 中村 和弘, 浅川 弘之, 谷中 清之, 能勢 忠男, 本間 覚:
多発性脳動脈狭窄を呈した若年性脳梗塞の1例
茨城血管疾患 研究会第2回発表会(つくば), 1月, 2002
- No. 6 大塚 定徳, 山口 巖, 呉 勁, 武田 徹, 板井 悠二, 丸橋 晃, 兵藤 一行,
安藤 正海:
注静脈法による放射光冠動脈造影法
第1回九州放射光医学利用シンポジウム(福岡), 1月, 2002

- No. 7 石津 智子, 石光 敏行, 瀬尾 由広, 河野 了, 小原 健一, 森山 直子, 山口 巖:
拡張早期左室流入血流パターン: 経静脈超音波造影剤による臨床例での検討
第23回コントラストエコー研究会 (名古屋), 2月, 2002
- No. 8 丸山 秀和, 大塚 定徳, 工藤千加子, 宇野希世子, 小原 健一, 金本 都, 山口 巖,
酒井 光昭, 山本 達生, 鬼塚 正孝, 中田 弘子, 寺田 康, 榊原 謙:
心タンポナーデで発症した原発性心膜中皮腫の1例
第183回日本循環器学会関東甲信越地方会 (東京), 2月, 2002
- No. 9 新富 義侯, 文蔵 優子, 吉田健太郎, 石川 公人, 武安 法之, 野口 祐一,
渡辺 重行, 山口 巖:
左心機能低下を伴い, 低圧較差を呈した重症大動脈弁狭窄症に対し大動脈弁置換術を
施行した1例
第183回日本循環器学会関東甲信越地方会 (東京), 2月, 2002
- No. 10 山口 巖:
心不全と不整脈との関連について
第5回高知心不全研究会 (高知), 3月, 2002
- No. 11 小関 淑子, 渡辺 重行, 山口 巖, 小関 迪, 鈴木 章弘:
ホルター心電図上の筋電図混入所見が診断に役立った, 非心臓性胸部症状の症例
県南地区医師会学術講演会 (つくば), 3月, 2002
- No. 12 中川 励, 本間 真人, 久賀 圭祐, 山口 巖, 小林 大介, 森本 擁憲, 幸田 幸直:
頻脈性不整脈におけるフレカイニド有効血中濃度の検討
第122回日本薬学会 (千葉), 3月, 2002
- No. 13 瀬尾 由広, 石光 敏行, 石津 智子, 渡辺 重行, 山口 巖:
左室収縮不全心におけるドプラ左室流入速波形解析の有用性; 血清 Na 利尿ペプチド値
との関係に関する検討
第99回日本内科学会講演会 (名古屋) 3月, 2002
日本内科学会雑誌 91(Suppl.): 136, 2002
- No. 14 武安 法之, 渡辺 重行, 鯉坂 隆一, 外山 昌弘, 坂本 和彦, 江田 一彦,
石山 実樹, 仁科 秀崇, 山口 巖:
Tetrahydrobiopterin (BH4) の運動耐容能および運動開始時酸素摂取動態に対する効果
第99回日本内科学会講演会 (名古屋) 3月, 2002
日本内科学会雑誌 91(Suppl.): 142, 2002
- No. 15 宮内 卓:
循環器疾患とエンドセリンおよび拮抗薬の効果
第6回中国循環器最前線談話会 (岡山) 4月, 2002
- No. 16 Iemitsu M., Miyauchi T., Maeda S., Yamaguchi I.:
Acute exercise induces cardiac gene expression of c-fos and c-jun, which may
contribute to increase in cardiac function
第66回日本循環器学会学術集会 (北海道), 4月, 2002
Circ J 66(Suppl.I): 190, 2002

- No. 17 Tanabe T., Matsuda M., Maeda S., Miyauchi T., Iemitsu M., Takanashi M., Irukayama-Tomobe Y., Yamaguchi I. :
Exercise training causes an increase of eNOS expression in the aorta of aged rats : SAT Project 69
第66回日本循環器学会学術集会 (北海道), 4月, 2002
Circ J 66(Suppl.I) : 311, 2002
- No. 18 Watanabe Y., Kawagoe K., Suzuki A., Takei Y., Tanaka K., Ejiri N., Yamaguchi I., Nakatani A. :
Coronary artery calcification detected by computed tomography is not related with angiographic stenosis grade for asymptomatic subjects
第66回日本循環器学会学術集会 (北海道), 4月, 2002
Circ J 66(Suppl.I) : 349, 2002
- No. 19 Ishizu T., Ishimitsu T., Seo Y., Obara K., Moriyama N., Enomoto T., Kamiya H., Hiranuma Y., Watanabe S., Yamaguchi I. :
The left ventricular filling vortices visualized using intra-venous contrast echocardiography in patients with pseudo-normal left ventricular filling pattern
第66回日本循環器学会学術集会 (北海道), 4月, 2002
Circ J 66(Suppl.I) : 496, 2002
- No. 20 Maeda S., Miyauchi T., Iemitsu M., Yamaguchi I., Tanabe T., Otsuki T., Ajisaka R., Matsuda M., Sugawara J., Kuno S. :
Regular exercise attenuates age-related elevation in plasma endothelin-1 concentration in humans : SAT Project 68
第66回日本循環器学会学術集会 (北海道), 4月, 2002
Circ J 66(Suppl.I) : 511, 2002
- No. 21 Saitoh T., Watanabe S., Shintomi Y., Morimoto T., Arai E., Ishii C., Nishina H., Ishiyama M., Eda K., Sakamoto K., Takeyasu N., Toyama M., Yamaguchi I., Ajisaka R. :
Both the increase in blood flow and the muscle function to utilize oxygen contribute in determining the aerobic exercise capacity
第66回日本循環器学会学術集会 (北海道), 4月, 2002
Circ J 66(Suppl.I) : 513, 2002
- No. 22 Ohtsuka S., Ishikawa K., Yamaguchi I., Masuda N., Wada K. :
Long-term heart rate reduction by zatebradine, an If channel blocker attenuates ventricular remodeling and dysfunction after myocardial infarction in pigs
第66回日本循環器学会学術集会 (北海道), 4月, 2002
Circ J 66(Suppl.I) : 536, 2002
- No. 23 Yamazaki A., Ohtsuka S., Yamaguchi I., Oyake Y. :
Augmentation of endothelium-dependent vasodilatation by vitamin C, an antioxidant is greater in women than men of the patients with essential hypertension
第66回日本循環器学会学術集会 (北海道), 4月, 2002
Circ J 66(Suppl.I) : 669, 2002

- No. 24 Maeda S., Miyauchi T., Iemitsu M., Yamaguchi I., Tanabe T., Matsuda M., Goto K. :
Endogenous endothelin(ET)-1 depresses both NOS activity and NO production in
the kidney during exercise
第66回日本循環器学会学術集会 (北海道), 4月, 2002
Circ J 66(Suppl.I) : 694, 2002
- No. 25 Ohtsuka S., Yamaguchi I., Wu J., Takeda T., Itai Y., Maruhashi A., Hyodo K.,
Ando M. :
Clinical evaluation of dynamic intravenous coronary angiography using
synchrotron radiation
第66回日本循環器学会学術集会 (北海道), 4月, 2002
Circ J 66(Suppl.I) : 129, 2002
- No. 26 Noguchi Y., Takeyasu N., Fumikura Y., Ishikawa K., Watanabe S., Yamaguchi I. :
Cilostazol reduces restenosis in lesions without stent implantation, but does not
reduce restenosis in lesions with stent implantation
第66回日本循環器学会学術集会 (北海道), 4月, 2002
Circ J 66(Suppl.I) : 129, 2002
- No. 27 Murakoshi N., Miyauchi T., Kakinuma Y., Yuki K., Yamaguchi I., Goto K.,
Kisanuki Y., Yanagisawa M. :
Cardiac hypertrophic response by acute pressure-overload is reduced in car-
diomyocyte-specific endothelin-1-knockout mice
第66回日本循環器学会学術集会 (北海道), 4月, 2002
Circ J 66(Suppl.I) : 134, 2002
- No. 28 Sintomi Y., Watanabe S., Morimoto T., Takeyasu N., Saitoh T., Toyama M.,
Sakamoto K., Eda K., Ishiyama M., Nishina H., Arai E., Ishii C., Yamaguchi I.,
Ajisaka R., Takeda T. :
Diastolic dysfunction persists longer than systolic abnormality after a transient
myocardial ischemia
第66回日本循環器学会学術集会 (北海道), 4月, 2002
Circ J 66(Suppl.I) : 577, 2002
- No. 29 Kawano S., Nishi I., Iida K., Masumi T., Fumikura Y., Watanabe S., Yamaguchi I. :
Plasma BNP level before therapy dose not indicate prognosis in patients with
dilated cardiomyopathy during beta-blocker therapy
第66回日本循環器学会学術集会 (北海道), 4月, 2002
Circ J 66(Suppl.I) : 723, 2002
- No. 30 Nakanishi K., Abe D., Uno K., Maruyama H., Homma S., Watanabe S., Yamaguchi I. :
Objective evaluation of intermittent claudication by near-infrared spectroscopy
第66回日本循環器学会学術集会 (北海道), 4月, 2002
Circ J 66(Suppl.I) : 734, 2002

- No. 31 Homma S., Hiramatsu Y., Sato Y., Sakakibara Y :
Leukocyte activation after experimental extra corporeal circulation is ameliorated by nafamostat mesilate infusion
第66回日本循環器学会学術集会 (北海道), 4月, 2002
Circ J 66(Suppl.I) : 527, 2002
- No. 32 Ogata T., Miyauchi T., Irukayama Y., Sakai S., Yamaguchi I. :
Fenofibrate one of peroxisome proliferator-activated receptor α (PPAR- α) activators, inhibits cardiac fibrosis by depression of both fibroblast proliferation and collagenesis
第66回日本循環器学会学術集会 (北海道), 4月, 2002
Circ J 66(Suppl.I) : 751, 2002
- No. 33 Moriyama N., Ishimitsu T., Seo Y., Ishizu T., Obara K., Nishi I., Watanabe S., Yamaguchi I. :
Relationship between left atrial systolic function and plasma atrial natriuretic peptide (ANP) concentrations : A Doppler echocardiographic study
第66回日本循環器学会学術集会 (北海道), 4月, 2002
Circ J 66(Suppl.I) : 769, 2002
- No. 34 Iida K., Kawano S., Honma S., Nishi I., Yamaguchi I., Nagasu T., Kuromitsu J. :
The first report in Japan on analysis on mRNA in a failing heart of dilated cardiomyopathy by high-density oligonucleotide arrays
第66回日本循環器学会学術集会 (北海道), 4月, 2002
Circ J 66(Suppl.I) : 255, 2002
- No. 35 Iida K., Nishi I., Masumi T., Kawano S., Honma S., Yamaguchi I. :
Expression of mitochondrial DNA is increased in a failing heart of a patient with dilated cardiomyopathy
第66回日本循環器学会学術集会 (北海道), 4月, 2002
Circ J 66(Suppl.I) : 255, 2002
- No. 36 Sakai S., Miyauchi T., Ueno M., Yamaguchi I., Goto K. :
Combination of endothelin-A (ET_A) receptor inhibitor and prostacyclin (PGI₂) analogue is preferable to each drug alone for pulmonary hypertension (PH)
第66回日本循環器学会学術集会 (北海道), 4月, 2002
Circ J 66(Suppl.I) : 281, 2002
- No. 37 Yamada S., Kuga K., Kanemoto M., Yamaguchi I. :
Noninvasive His Potential Recording Using Magnetocardiograms
第66回日本循環器学会学術集会 (北海道), 4月, 2002
Circ J 66(Suppl.I) : 287, 2002
- No. 38 Uno K., Homma S., Maruyama H., Iida K., Yamaguchi I. :
Pseudonormalization of pulse wave velocity in patients with arteriosclerosis obliterans
第66回日本循環器学会学術集会 (北海道), 4月, 2002
Circ J 66(Suppl.I) : 782, 2002

- No. 39 山口 巖：
教育セッション
「突然死予防の薬物療法」
第66回日本循環器学会学術集会（北海道），4月，2002
第66回日本循環器学会学術集会教育講演テキスト
- No. 40 中村 和弘，谷中 清之，浅川 弘之，本間 覚，能勢 忠男：
多発性脳動脈狭窄を来した若年性脳動脈狭窄の1例
第27回日本脳卒中学会（仙台），4月，2002
- No. 41 Murakoshi N., Miyauchi T., Kakinuma Y., Goto K., Yanagisawa M., Yamaguchi I.：
Neointimal formation and vascular remodeling after cessation of the carotid artery is enhanced in endothelin-B receptor-knockout mice
XIIth International Vascular Biology Meeting（軽井沢），5月，2002
Abstract Book of XIIth International Vascular Biology Meeting：165，2002
- No. 42 金本 都，久賀 圭祐，遠藤 優枝，仁保 文平，鈴木 章弘，榎本 真美，李 愛燕，山口 巖：
Sow pathway と His 束の近接が確認された稀有型房室結節回帰性頻拍
第32回臨床心臓電気生理研究会（東京），5月，2002
- No. 43 瀬尾 由広，石光 敏行，石津 智子，渡辺 重行，山口 巖：
左室流入血流伝播速度計測の至適ベースラインシフトレベルの検討
第75回日本超音波医学会学術集会（香川），6月，2002
J Med Ultrasonics 29(4)，S267，2002
- No. 44 石津 智子，石光 敏行，瀬尾 由広，小原 健一，森山 直子，榎本 強志，神谷 英樹，平沼 ゆり，山口 巖：
経静脈超音波造影剤を用いた拡張早期左室流入血流のパターン分類
第75回日本超音波医学会学術集会（香川），6月，2002
J Med Ultrasonics 29(4)，S287，2002
- No. 45 宮内 卓：
エンドセリン受容体遮断薬と循環器疾患
創薬薬理フォーラム 第28回談話会（東京），6月，2002
創薬薬理フォーラム 第28回談話会抄録集：1，2002
- No. 46 鈴木 章弘，渡辺 康志，川越 健一，田中喜美夫，武井 康彦，江尻 成昭，金本 都，仁保 文平，遠藤 優枝，久賀 圭祐，山口 巖：
洞結節周囲に認められる初期的構造物モデリングについて—ビーグル犬：2週間高頻度ペーシングにおける検討—
第17回日本心臓ペーシング電気生理学会（富山市），6月，2002
- No. 47 久賀 圭祐，遠藤 優枝，仁保 文平，鈴木 章弘，李 愛燕，金本 都，榎本 真美，山口 巖：
高周波カテーテル・アブレーション前後の心拍変動解析による心内自律神経分布の検討
第17回日本心臓ペーシング電気生理学会（富山市），6月，2002

- No. 48 金本 都, 久賀 圭祐, 宇野希世子, 榎本 真美, 遠藤 優枝, 仁保 文平,
鈴木 章弘, 山口 巖:
左脚ブロックを合併した潜在性 WPW 症候群に対するアブレーションにより一過性房
室ブロックが生じた 2 例
第184回日本循環器学会関東甲信越地方会 (東京), 6 月, 2002
- No. 49 小林 宗則, 田中優美子, 斎田 幸久, 大塚 定徳, 板井悠二:
特異な CT 所見を契機に臨床的に pulmonary capillary hemangiomatosis と診断され
た一例
第27回胸部放射線研究会東京部会 (東京), 6 月, 2002
- No. 50 瀬尾 由広, 石光 敏行, 石津 智子, 小原 健一, 森山 直子, 山口 巖:
カラー Doppler 法とコントラスト心エコー法による左室流入血流伝播速度の比較: 特に
正常例における差異について
第16回超音波血流研究会 (東京), 6 月, 2002
- No. 51 丸山 秀和, 本間 覚, 宇野希世子, 安倍 大輔, 森本 隆史, 新冨 義侯,
大塚 定徳, 石光 敏行, 渡辺 重行, 山口 巖:
さまざまな肺高血圧に対する経口 PGI₂製剤の効果
第 3 回肺高血圧症治療研究会 (東京), 6 月, 2002
- No. 52 宇野希世子, 本間 覚, 柿沼 由彦, 森本 隆史, 丸山 秀和, 山崎 明, 石光 敏行,
山口 巖:
Epoprostenol の持続少量投与を開始した原発性肺高血圧症の 2 年後
第 3 回肺高血圧症治療研究会 (東京), 6 月, 2002
- No. 53 宇野希世子, 本間 覚, 金本 都, 森本 隆史, 丸山 秀和, 山崎 明, 大塚 定徳,
山口 巖:
30 年来の肺高血圧症にプロスタサイクリンの持続静注療法を行った症例の臨床経過
第 3 回肺高血圧症治療研究会 (東京), 6 月, 2002
- No. 54 渡辺 重行, 鰐坂 隆一, 森本 隆史, 新冨 義侯, 武安 法之, 斉藤 巧,
外山 昌弘, 坂本 和彦, 江田 一彦, 石山 実樹, 仁科 秀崇, 新井 恵美,
石井智香子, 武田 徹, 板井 悠二, 山口 巖:
虚血性心疾患患者に対する L-carnitine の効果—BMIPP 心筋 SPECT および心電図同
期 tetrofosmin 心筋 SPECT による検討
第23回心臓核医学研究会 (大阪), 6 月, 2002
第23回心臓核医学研究会抄録集: 26, 2002
- No. 55 安倍 大輔, 前田 裕史, 瀬尾 由広, 渡辺 重行, 山口 巖:
敗血症において可逆的な左室収縮能の低下が経時的に観察された 1 症例
日本循環器学会関東甲信越地方会第184回学術集会 (東京), 6 月, 2002
- No. 56 中西 啓太, 柳田 葉子, 富沢 巧治, 榎本 強志, 仁保 文平, 金本 都,
塩塚 潤二, 小関 迪, 渡辺 重行, 山口 巖:
胸痛と連続性雑音を伴う冠動脈肺動脈瘻の一例
日本循環器学会関東甲信越地方会第184回学術集会 (東京), 6 月, 2002

- No. 57 森本 隆史, 石山 実樹, 増見 智子, 新堀 耕基, 内田 直樹, 渡辺 重行,
山口 巖:
冠動脈ステント留置部の再狭窄を短期間に繰り返した不全型 Behcet 病の一例
日本循環器学会関東甲信越地方会第184回学術集会 (東京), 6月, 2002
- No. 58 山崎 明, 大塚 定徳, 小宅 康之, 山口 巖:
ビタミンCによる高血圧患者の内皮依存性血管拡張反応の改善効果の検討
第24回茨城県高血圧研究会学術講演会 (つくば), 6月, 2002
- No. 59 石光 敏行:
パネルディスカッション
「心血管疾患患者における妊娠: 母体および胎児に与える影響」
第38回日本小児循環器学会総会 (東京), 7月, 2002
Pediatric Cardiology and Cardiac Surgery 18(2), 72, 2002
- No. 60 石川 公人, 武安 法之, 文蔵 優子, 野口 祐一, 大塚 定徳, 山口 巖:
急性心筋梗塞再灌流後の収縮期血圧変動は慢性期の左室リモデリングに関与する
第4回時間循環血圧研究会 (東京), 7月, 2002
- No. 61 柿沼 由彦, 宮内 卓, 村越 伸行, 結城 幸一, 鈴木 崇彦, 後藤 勝年,
山口 巖:
心筋細胞におけるエネルギー代謝変換機構が心筋由来心血管作動物質の発現におよぼす, 分子的連関機構についての研究
第10回分子循環器研究会講演会 (東京), 7月, 2002
第10回分子循環器研究会講演会抄録集: 12, 2002
- No. 62 近藤 匡, 轟 健, 宮内 卓, 高田 泰次, 平野 隆:
エンドセリン受容体拮抗剤による肝虚血再灌流障害防止機序の検討
第57回日本消化器外科学会総会 (京都), 7月, 2002
日消外会誌 35(7): 528, 2002
- No. 63 吉田 郁雄, 渡辺 康志, 川越 健一, 鈴木 章弘, 武井 泰彦, 田中喜美夫, 辻 理,
大石 英, 金本 都, 仁保 文平, 遠藤 優枝, 久賀 圭祐, 山口 巖:
脳梗塞急性期に合併したたこつぼ型心筋症の致死的心室性不整脈に塩酸ニフェカラン
トが有効であった1例
第1回ニフェカラント研究会 (東京), 7月, 2002
- No. 64 森本 隆史, 渡辺 重行, 仁科 秀崇, 新富 義侯, 武安 法之, 江田 一彦,
斉藤 巧, 外山 昌弘, 坂本 和彦, 石山 実樹, 石井智香子, 新井 恵美, 山口 巖,
鯉坂 隆一:
運動開始時酸素摂取量応答と血管機能との関連
第52回循環器負荷研究会 (東京), 8月, 2002
第52回循環器負荷研究会抄録集: 16, 2002
- No. 65 Yamada S., Tsukada K., Miyashita T., Kanemoto M., Miyauchi T., Yamaguchi I.:
Magnetocardiograms superimposed on magnetic resonance images: Arrhythmias
with or without anatomical abnormalities
13th International Conference on Biomagnetism (Germany), 8月, 2002

- No. 66 Kanemoto M., Yamada S., Tsukada K., Miyashita T., Kuga K., Watanabe S., Yamaguchi I. :
Primary and secondary ST-T abnormalities evaluated by magnetocardiograms
13th International Conference on Biomagnetism (Germany), 8月, 2002
- No. 67 高梨 正勝, 入鹿山容子, 酒井 俊, 小形 岳寛, 宮内 卓 :
エンドセリン-1による心肥大に対する, PPAR α 刺激薬フェノフィブレートによる抑制
には, c-Jun NH2末端キナーゼ経路の遮断が関与する
Cardiovascular Medicine 21 第2回フォーラム (東京), 8月, 2002
- No. 68 酒井 俊, 入鹿山容子, 宮内 卓 :
Peroxisome proliferator-activated receptor (PPAR)- α 活性化による心筋エンドセ
リン-1の発現増加と心肥大の抑制は一部 JNK pathway を介している
第7回循環調節因子研究会 (東京), 8月, 2002
第7回循環調節因子研究会講演集: 12, 2002
- No. 69 Suzuki A., Tanaka K., Watanabe Y., Kawagoe K., Ejiri N., Kuga K., Yamaguchi I. :
Propagated conduction heterogeneity of right ventricular outflow tract evolving
canine vagal stimulation. European
Society of Cardiology Congress 2002 (Berlin), 8月, 2002
- No. 70 石津 智子, 石光 敏行, 瀬尾 由広, 森山 直子, 小原 健一, 丸山 秀和,
新富 義侯, 河野 了, 山口 巖 :
僧帽弁血流ドブラ偽正常化例における拡張早期左室内血流の特徴. 造影心エコー法を
用いた検討
第50回日本心臓病学会学術集会 (名古屋), 9月, 2002
J Cardiol 40(Suppl.I) : 164, 2002
- No. 71 小宅 康之, 大塚 定徳, 山崎 明, 山口 巖 :
心機能低下例に対するアンジオテンシン変換酵素阻害薬とアンジオテンシン・受容体
拮抗薬の交叉投与による効果の比較検討
第50回日本心臓病学会学術集会 (名古屋), 9月, 2002
J Cardiol 40(Suppl.I) : 174, 2002
- No. 72 江田 一彦, 渡辺 重行, 鰐坂 隆一, 森本 隆史, 新富 義侯, 石山 実樹,
仁科 秀崇, 武安 法之, 坂本 和彦, 斉藤 巧, 山口 巖 :
反応性充血の後記血流増加は血管内皮機能を反映する
第50回日本心臓病学会学術集会 (名古屋), 9月, 2002
J Cardiol 40(Suppl.I) : 404, 2002
- No. 73 森本 隆史, 渡辺 重行, 武安 法之, 斉藤 巧, 坂本 和彦, 江田 一彦,
石山 実樹, 仁科 秀崇, 新富 義侯, 鰐坂 隆一, 山口 巖 :
運動負荷中および負荷後の血中カリウム濃度変化と不整脈との関連
第50回日本心臓病学会学術集会 (名古屋), 9月, 2002
J Cardiol 40(Suppl.I) : 458, 2002

No. 74 渡辺 重行, 山口 巖, 鯉坂 隆一:

シンポジウム

「血管内皮機能と運動」血管機能・運動耐容能に対する薬物効果と近赤外線分光法を用いたその評価法

第3回埼玉心臓リハビリテーションセミナー(埼玉), 9月, 2002

第3回埼玉心臓リハビリテーションセミナー抄録集: 5, 2002

No. 75 大久保公恵, 渡辺 一郎, 押川 直廣, 奥村 恭男, 山田 健史, 小船 達也,
高木 康博, 脇田 理恵, 斉藤 頓, 小沢友紀夫, 上松瀬勝男, 久賀 圭祐:

アミオグロンにより心機能が著明に改善した頻拍誘発性の心筋症の1症例

第10回不整脈薬物療法研究会(名古屋), 9月, 2002

No. 76 山口 巖:

教育セミナー

「不整脈の新しい展望」

日本循環器学会関東甲信越地方会第185回学術集会(東京), 9月, 2002

No. 77 星 智也, 武安 法之, 中西 啓太, 村越 伸行, 石川 公人, 文蔵 優子,
野口 祐一, 渡辺 重行, 山口 巖:

Septic embolism が疑われる臓器症状を初発症状とした感染性心内膜炎の2症例

日本循環器学会関東甲信越地方会第185回学術集会(東京), 9月, 2002

No. 78 森本 隆史, 新富 義侯, 安倍 大輔, 渡辺 重行, 山口 巖, 榊原 謙:

胸痛・意識消失発作で発症した心臓血管肉腫の一例

日本循環器学会関東甲信越地方会第185回学術集会(東京), 9月, 2002

No. 79 吉田 郁雄, 渡辺 康志, 鈴木 章弘, 武井 泰彦, 田中喜美夫, 江尻 成昭,
川越 健一, 渡辺 重行, 久賀 圭祐, 山口 巖:

重症脳虚血を合併した大動脈炎症候群の一例 — 左鎖骨下動脈閉塞, 左総頸動脈閉塞, 右腕頭動脈狭窄 —

日本循環器学会関東甲信越地方会第185回学術集会(東京), 9月, 2002

No. 80 増見 智子, 飯田 啓治, 河野 了, 西 功, 美崎 昌子, 山田さつき, 久賀 圭祐,
渡辺 重行, 山口 巖:

アミオグロン長期投与による予後改善効果の後ろ向き検討

第7回アミオグロン研究会(東京), 9月, 2002

No. 81 鯉坂 隆一, 勝田 茂, 田中美智子, 馬場 紫乃, 大森 肇, 渡辺 重行, 山口 巖:
高齢者(後期高齢アスリート)の全身持久性体力の経年変化

第57回日本体力医学会大会(高知), 9月, 2002

体力科学 51: 660, 2002

No. 82 家光 素行, 宮内 卓, 前田 清司, 松田 光生, 山口 巖:

一過性運動は心臓の機能および形態に影響を与える AP-1 を介するシグナルを活性化させる

第57回日本体力医学会(高知), 9月, 2002

- No. 83 鈴木 章弘, 久賀 圭祐, 金本 都, 仁保 文平, 遠藤 優枝, 山口 巖:
分界稜 (crustatereminalis) のイヌにおける組織学的, 電気生理学的, ヒトにおける形態学的検討
第5回最先端循環器フォーラム (新潟), 9月, 2002
- No. 84 Watanabe S.:
Meet the Expert 「Noninvasive diagnostic methods for heart failure」 assessing vascular function and exercise tolerance in patients with heart failure
The 6th Annual Scientific Meeting of the Japanese Heart Failure Society (東京), 10月, 2002
- No. 85 Nishi I., Kawano S., Misaki M., Masumi T., Iida K., Watanabe S., Yamaguchi I.:
Combined treatment with imidapril and low-dose spironolactone improves left ventricular hypertrophy in Dahl hypertensive rats
第6回日本心不全学会学術集会 (東京), 10月, 2002
- No. 86 Ohtsuka S., Oyake Y., Yamazaki A., Yamaguchi I.:
Difference in vascular endothelial function between “dippers” and “nondippers” in patients with essential hypertension
第25回日本高血圧学会総会 (東京), 10月, 2002
- No. 87 森本 隆史, 本間 覚, 錦井 秀和, 宇野希世子, 安倍 大輔, 新富 義侯, 渡辺 重行, 山口 巖:
抗核抗体陽性・補体低値の重症肺高血圧に対して epoprosterol の持続点滴療法を開始した一例
第1回フローラン治療研究会 (東京), 10月, 2002
- No. 88 Ishiyama M., Watanabe S., Ajisaka R., Takeyasu N., Saito T., Toyama M., Sakamoto K., Eda K., Nishina H., Arai E., Ishii C., Yamaguchi I.:
Clinical significance of the monitoring of working muscle hemoglobin content and oxygenation using near-infrared spectroscopy (NIRS) during incremental exercise
XV Congress Cardiovascular System Dynamics Society (仙台), 10月, 2002
XV Congress Cardiovascular System Dynamics Society Abstracts p.66, 2002
- No. 89 Ishii C., Watanabe S., Ajisaka R., Takeyasu N., Saito T., Toyama M., Sakamoto K., Eda K., Ishiyama M., Nishina H., Shintomi Y., Morimoto T., Arai E., Yamaguchi I.:
The relation between exercise tolerance and endothelium-dependent, -independent vasodilation assessed by strain-gauge plethysmography
XV Congress Cardiovascular System Dynamics Society (仙台), 10月, 2002
XV Congress Cardiovascular System Dynamics Society Abstracts p.112, 2002
- No. 90 久賀 圭祐, 松井 裕史, 平沼 ゆり, 石津 智子, 森島 祐子, 大塚 盛男:
新しい降圧剤の降圧指標 (「降圧力価」) による降圧剤の評価
第40回全国大学保健管理研究集会 (東京), 10月, 2002

- No. 91 宮川 俊平, 松井 裕史, 久賀 圭祐, 大塚 盛男, 諸岡 治美, 菊地 知子,
森 慶子:
大学各種スポーツ行事における傷害(疾病を含む)の発生頻度の違いについて
第40回全国大学保健管理研究集会(東京), 10月, 2002
- No. 92 大塚 盛男, 森島 祐子, 松井 裕史, 久賀 圭祐, 諸岡 治美, 菊地 知子,
森 慶子, 山添 悦子, 関沢 清久:
二段階ツベルクリン反応検査法における硬結径の変動について
第40回全国大学保健管理研究集会(東京), 10月, 2002
- No. 93 安倍 大輔, 本間 覚, 新富 義侯, 森本 隆史, 下山田博明, 野口 雅之,
後藤 如代, 落合 直之, 坪井 康次, 能勢 忠男, 重田 治, 軸屋 智昭, 榊原 謙,
渡辺 重行, 山口 巖:
脳出血と腹部大動脈瘤で発症した血管肉腫の1例
茨城血管疾患研究会第3回発表会(つくば), 10月, 2002
- No. 94 Sakai S., Miyauchi T., Irukayama-Tomobe Y., Ogata T., Yamaguchi I.:
Activation of peroxisome proliferator-activated receptor- α inhibits endothelin-1-
induced cardiac hypertrophy partly via blockade of c-Jun NH2-terminal kinase
pathway
第6回日本心不全学会学術集会(東京), 10月, 2002
J Card Fail 8(5) Suppl. S222, 2002
- No. 95 Nishi I., Kawano S., Misaki M., Masumi T., Iida K., Watanabe S., Yamaguchi I.:
Combined treatment with imidapril and low-dose spironolactone improves left
ventricular hypertrophy in Dahl hypertensive rats
第6回日本心不全学会学術集会(東京), 10月, 2002
J Card Fail 8(5) Suppl: S237, 2002
- No. 96 高梨 正勝, 宮内 卓, 入鹿山容子, 酒井 俊, 小形 岳寛, 後藤 勝年, 山口 巖:
FenofibrateによるPeroxisome proliferator-activated receptor(PPAR)- α 活性化
はJNKシグナルを阻止し, エンドセリン-1による心肥大を抑制する。
第12回日本循環薬理学会(京都), 11月, 2002
第12回日本循環薬理学会抄録集 O-5, 2002
- No. 97 新井 恵美, 渡辺 重行, 仁科 秀崇, 森本 隆史, 新富 義侯, 武安 法之,
山口 巖, 鯨坂 隆一, 武田 徹, 板井 悠二:
心疾患例における骨格筋交感神経機能と運動耐容能・血管拡張能との関連
第42回日本核医学会総会(神戸), 11月, 2002
核医学 39(3) 395, 2002
- No. 98 高橋 実穂, 堀米 仁志, 岩崎 信明, 塩野 淳子, 渡辺 重行, 宮内 卓,
西野 一三, 松井 陽:
乳幼児期から心筋肥大の進行を観察し得たDanon病の1例
第11回関東小児心筋疾患研究会(東京) 11月, 2002

- No. 99 鰐坂 隆一, 鈴木 康文, 大槻 毅, 田辺 匠, 菅原 順, 増田 和実, 久野 譜也,
松田 光生, 渡辺 重行, 山口 巖:
中高齢者の下肢レジスタンス運動における運動筋の酸素化動態 —SAT プロジェクト
95—
第9回医用近赤外線分光法研究会 (東京), 11月, 2002
第9回医用近赤外線分光法研究会抄録集 p.17, 2002
- No.100 Ohtsuka S., Ishikawa K., Yamaguchi I., Masuda N., Wada K. :
Long-term heart rate reduction by zatebradine, an If channel blocker attenuates
ventricular remodeling and dysfunction after myocardial infarction
75th Annual Scientific Meeting of Japanese Circulation Society
(Chicago), 11月, 2002
- No.101 Sakai S., Miyauchi T., Irukayama-Tomobe Y., Ogata T., Yamaguchi I. :
Activation of peroxisome proliferator-activated receptor- α (PPAR- α) inhibits
endothelin-1 (ET-1) -induced cardiac hypertrophy partly via blockade of jun
NH2-terminal kinase (JNK) pathway
75th Annual Scientific Meeting of Japanese Circulation Society
(Chicago), 11月, 2002
Circulation 106(19), II-292, 2002
- No.102 鰐坂 隆一, 渡辺 重行, 山口 巖:
冠動脈疾患患者における下肢レジスタンス運動時運動筋血液量動態の生理的意義
第39回日本臨床生理学会総会 (金沢), 11月, 2002
日本臨床生理学会雑誌 32 (Suppl.): 113, 2002
- No.103 高梨 正勝, 宮内 卓, 入鹿山容子, 酒井 俊, 小形 岳寛, 後藤 勝年, 山口 巖:
Fenofibrate による Peroxisome proliferator-activated receptor (PPAR)- α 活性化
は JNK シグナルを阻止し, エンドセリン-1による心肥大を抑制する
第12回日本循環薬理学会 (京都), 11月, 2002
第12回日本循環薬理学会抄録集 O-5, 2002
- No.104 堀米 仁志, 榑原 謙, 重田 治, 久賀 圭祐, 山口 巖, 磯部 剛志, 山下 正夫,
高橋 美穂, 松井 陽:
麻酔導入で心室細動を来し, 後方視的に Brugada 様心電図を呈していた大動脈縮窄
症
第7回日本小児心電学研究会 (福岡), 11月, 2002
- No.105 森本 隆史, 渡辺 重行, 星 智也, 柿沼 由彦, 小原 健一, 中西 啓太, 山口 巖:
虚血性心疾患が疑われ nifedipine が著効を示した全身性進行性硬化症の一例
第10回茨城循環器研究会 (土浦), 11月, 2002
第10回茨城循環器研究会抄録集: 5, 2002
- No.106 宇野希世子, 本間 寛, 金本 都, 森本 隆史, 丸山 秀和, 柿沼 由彦, 山崎 明,
大塚 定徳, 渡辺 重行, 山口 巖:
肺高血圧症にプロスタサイクリン持続静注療法を行った2症例
第10回茨城循環器研究会 (土浦), 11月, 2002
第10回茨城循環器研究会雑誌: 17-22, 2002

- No.107 新富 義侯, 文蔵 優子, 武安 法之, 石川 公人, 小原 健一, 野口 祐一,
大坂 基男, 今水流智浩, 渡辺 航, 福田 幾夫, 渡辺 重行, 山口 巖:
重症左心機能低下を伴い, 低圧較差を呈した大動脈弁狭窄症に対し大動脈弁置換術を
施行した1症例
第10回茨城循環器研究会(土浦), 11月, 2002
第10回茨城循環器研究会雑誌: 29-33, 2002
- No.108 吉田 郁雄, 渡辺 康志, 川越 健一, 鈴木 章弘, 武井 泰彦, 田中喜美夫, 辻 理,
大石 英則, 金本 都, 仁保 文平, 遠藤 優枝, 久賀 圭祐, 山口 巖:
脳梗塞急性期に合併したたこつば型心筋症の致死的不整脈に塩酸ニフェカラントが有
効であった1例
第2回つくば心臓セミナー つくば(つくば), 12月, 2002
- No.109 金本 都, 久賀 圭祐, 遠藤 優枝, 仁保 文平, 鈴木 章弘, 榎本 真美,
柳田 葉子, 吉田健太郎, 山口 巖, 小石沢 正, 佐藤 藤男:
左脚主幹部がリエントリー回路と考えらえるペラパミル感受性特発性心室頻拍の症例
第2回つくば心臓セミナー つくば(つくば), 12月, 2002
- No.110 宮内 卓:
循環器疾患における, エンドセリン受容体拮抗薬の基礎と臨床
第13回心血管リモデリングとアンジオテンシン II 研究会(大阪), 12月, 2002
- No.111 石山 実樹, 田口 修一, 田中久美子, 山田 理仁, 吉田 郁雄, 村山 秀喜,
吉川雄一郎, 中山 明人, 池田 成昭, 渡辺 重行, 山口 巖:
ステント留置後慢性期に胸痛と意識消失を来した症例
日本循環器学会関東甲信越地方会第186回学術集会(東京), 12月, 2002
- No.112 大塚 茂男, 渡辺 重行, 安倍 大輔, 新富 義侯, 森本 隆史, 山口 巖, 榊原 謙:
正常な僧帽弁に疣贅が付着し, 脳梗塞を繰り返した症例
日本循環器学会関東甲信越地方会第186回学術集会(東京), 12月, 2002
- No.113 石津 智子, 石光 敏行, 瀬尾 由広, 森山 直子, 小原 健一, 新富 義侯,
丸山 秀和, 河野 了, 山口 巖:
僧帽弁血流速度波形偽正常化例における拡張早期左室内血流の特徴 造影心エコー法
を用いた検討
第17回超音波血流研究会(東京), 12月, 2002
- No.114 小久保公恵, 渡辺 一郎, 押川 直廣, 奥村 恭男, 山田 健史, 小船 達也,
高木 康博, 脇田 理恵, 斉藤 頓, 小沢友紀夫, 上松瀬勝男, 久賀 圭祐:
アミオダロンにより心機能が著名に改善した頻拍誘発性の心筋症の1症例
第9回心不全と不整脈フォーラム(東京), 12月, 2002

研究報告

- No. 1 河野 了, 宮内 卓, 飯田 啓治, 西 功, 増見 智子, 美崎 昌子, 文蔵 優子,
柿沼 由彦, 村越 伸行, 家光 素行, 酒井 俊, 山口 巖:
心筋症による不全心筋における, 種々の心臓血管作動性物質の役割とそれに基づいた
治療法の開発
厚生省特定疾患突発性心筋症調査研究班総合研究報告集: p17-22, 2002

- No. 2 宮内 卓, 柿沼 由彦, 村越 伸行, 酒井 俊, 飯田 啓治, 河野 了, 山口 巖,
後藤 勝年:
心筋症・心筋梗塞などによる不全心筋におけるエンドセリン発現増大の分子メカニ
ズム: 心筋エネルギー代謝異常の関与
厚生省特定疾患突発性心筋症調査研究班平成13年度研究報告集: p17-20, 2002
- No. 3 河野 了, 飯田 啓治, 西 功, 増見 智子, 美崎 昌子, 文蔵 優子, 渡辺 重行,
山口 巖:
拡張型心筋症患者における心筋内遺伝子発現の検討
厚生省特定疾患突発性心筋症調査研究班平成13年度研究報告集: p21-24, 2002
- No. 4 宮内 卓, 酒井 俊, 入鹿山容子, 小形 岳寛, 高梨 正勝, 河野 了, 飯田 啓治,
山口 巖, 後藤 勝年:
PPAR- α 活性化による心筋エンドセリン-1の発現増加と心肥大の抑制は, 一部 JNK
pathway の遮断を介している.
厚生省特定疾患突発性心筋症調査研究班平成14年度第1回班会議(札幌), 10月, 2002
厚生省特定疾患突発性心筋症調査研究班平成14年度第1回班会議抄録集: p10, 2002
- その他
- No. 1 渡辺 重行:
心筋梗塞にならないために
平成13年度筑波大学附属病院市民公開健康講座(つくば), 2月15日, 2002
- No. 2 大塚 定徳:
高血圧治療における ARB の役割
取手市医師会学術講演会(取手), 2月26日, 2002
- No. 3 河野 了:
誌上討論「胸痛と呼吸困難, SpO₂の低下を示した1例」
内科専門医会誌 14(3): 446-467, 2002
- No. 4 渡辺 重行:
虚血性心疾患の病態・診断・治療
第7回循環器疾患検討会(つくば), 3月11日, 2002
- No. 5 久賀 圭祐:
生活習慣病について
つくばスチューデントズ 507: 9-9, 2002
- No. 6 河野 了:
Key word「BNP」
成人病(生活習慣病) ニュースレター 11(1): 5, 2002
- No. 7 河野 了(共著):
医師国家試験問題解説 一般/臨床編
96回再現医師国家試験問題解説書
医学評論社(東京), 6月, 2002

- No. 8 酒井 俊：
 高血圧～外来診療におけるエビデンスに基づいた治療・薬剤の選択～
 下館循環器講習会（下館），6月12日，2002
- No. 9 大塚 定徳：
 高血圧治療における ARB の役割
 きぬ医師会学術講演会（水海道），6月18日，2002
- No. 10 大塚 定徳：
 放射光の臨床応用：高エネルギー加速器研究機構における経静脈冠動脈造影法
 高エネルギー加速器研究機構（つくば），7月2日，2002
- No. 11 河野 了：
 心不全治療における PDE-III 阻害薬の意義
 エーザイ社内勉強会（つくば），7月18日，2002
- No. 12 山口 巖：
 記念講演
 「心不全における心臓電気生理」
 秋田大学医学部内科学第二講座開講30周年記念祝賀会（秋田），8月25日，2002
- No. 13 Ishizu T., Ishimitsu T., Moriyama N., Obara K., Seo Y., Kamiya H., Hiranuma Y.,
 Noguchi Y., Yamaguchi I.：
 Intima Media Thickness of Carotid Arteries and Coronary Artery Disease. Our
 Experiences in Tsukuba
 Tsukuba Lifestyle Related Disease Forum（つくば），9月12日，2002
- No. 14 大塚 定徳：
 高血圧患者の血管内皮機能について
 循環器セミナー（自治医科大学），9月13日，2002
- No. 15 石光 敏行：
 外来診療におけるエビデンスに基づいた治療・薬剤の選択—動脈硬化—
 下館循環器講習会（下館），9月18日，2002
- No. 16 渡辺 重行：
 高齢者心疾患患者の日常生活指導 運動
 ラジオたんぱ心臓財団虚血性心疾患セミナー BS デジタル放送（301ch），9月24日，2002
- No. 17 山口 巖：
 心臓の働きと心臓病
 県民のための健康管理講座（水戸），10月5日，2002
- No. 18 大塚 定徳：
 高血圧
 県民のための健康管理講座（水戸），10月5日，2002
- No. 19 久賀 圭祐：
 治療が必要な不整脈
 県民のための健康管理講座（水戸），10月5日，2002

- No. 20 渡辺 重行：
心筋梗塞とならないために
県民のための健康管理講座（水戸），10月5日，2002
- No. 21 渡辺 重行：
血管機能からみた心疾患の予防と治療
ひたちなか市医師会学術講演会（ひたちなか），11月11日，2002
- No. 22 大塚 定徳：
高血圧治療と臓器保護
水郷医師会学術講演会（麻生），11月12日，2002
- No. 23 河野 了：
心不全の基礎と臨床
武田製薬社内勉強会（土浦），11月18日，2002
- No. 24 宮内 卓：
高血圧治療における，アンジオテンシン系遮断の意義について
筑水会（水戸），11月26日，2002
- No. 25 渡辺 重行：
虚血性心疾患診療の実際
文京区薬剤師会生涯教育セミナー（東京），11月28日，2002
- No. 26 渡辺 重行：
パネルディスカッション「臓器保護を考えた高血圧治療」
第8回茨城県高血圧セミナー（つくば），12月11日，2002
- No. 27 久賀 圭祐：
「大学における健康教育」－保健管理センターの業務を通して－
筑波フォーラム 62：28-34，2002
- No. 30 久賀 圭祐：
内科の活動
平成13年度筑波大学スポーツクリニック業務・研究報告：p12，2002

2002年（消化器内科グループ）

原 著

- No. 1 Tominaga T., Kashimura H., Suzuki K., Nakahara A., Noguchi M., Itabashi M., Ohkawa J., Tanaka N. :
Telomerase activity and expression of human telomerase catalytic subunit gene in esophageal tissues.
J Gastroenterology 37(6) : 418-427, 2002
- No. 2 Koyama S., Koike N., Adachi S. :
Expression of TNF-related apoptosis-inducing ligand (TRAIL) and its receptors in gastric carcinoma and tumor-infiltrating lymphocytes: a possible mechanism of immune evasion of the tumor.
J Cancer Res Clin Oncol, 128(2) : 73-79, 2002
- No. 3 Kawamoto T., Shoda J., Asano T., Ueda T., Furukawa M., Koike N., Fukao K., Tanaka N., Todoroki T. :
Expression of cyclooxygenase-2 in the subserosal layer correlates with postsurgical prognosis of pathological tumor stage 2 carcinoma of the gallbladder.
Int J Cancer 98 : 427-434, 2002
- No. 4 Asano T., Shoda J., Kawamoto T., Todoroki T., Mutoh M., Wakabayashi K., Ueda T., Shimonishi M., Tanabe T., Sugimoto Y., Ichikawa A., Tanaka N. :
Expression of cyclooxygenase-2 in carcinoma of the gallbladder: crucial role of arachidonate metabolism in tumor growth and progression.
Clin Cancer Res 8 : 1157-1167, 2002
- No. 5 Kano M., Shoda J., Satoh S., Kobayashi M., Matsuzaki Y., Abei M., Tanaka N. :
Increased expression of gallbladder cholecystokinin-A receptor in prairie dog fed a high-cholesterol diet and its dissociation with decreased contractility in response to cholecystokinin.
J Lab Clin Med 139 : 285-294, 2002
- No. 6 Matsuzaki Y., Bouscarel B., Ikegami T., Honda A., Doy M., Ceryak S., Fukushima S., Yoshida S., Shoda J., Tanaka N. :
Selective inhibition of CYP27A1 and of chenodeoxycholic acid synthesis in cholestatic hamster liver.
Biochim Biophys Acta 1588 : 139-148, 2002
- No. 7 Sasahara Y., Mutoh M., Takahashi M., Fukuda K., Tanaka N., Sugimura T., Wakabayashi K. :
Suppression of promotor-dependent transcriptional activity of inducible nitric oxide synthase by sodium butyrate in colon cancer cells.
Cancer Letter 177(2) : 155-161, 2002

- No. 8 Kaminishi M., Yamaguti H., Nomura S., Oohara T., Sakai S., Fukutomi H., Nakahara A., Kashimura H., Oda M., Kitahara T., Ichikawa H., Yabana T., Yagawa Y., Sugiyama T., Itabashi M., Unakami M., Oguro Y., Sakita T. :
Endoscopic classification of chronic gastritis based on a pilot study by the research for gastritis.
Digestive Endoscopy, 14 : 138-151, 2002
- No. 9 Yanaka A., Suzuki H., Shibahara T., Matsui H., Nakahara A., Tanaka N. :
EGF promotes gastric mucosal restitution by activating Na(+)/H(+) exchange of epithelial cells.
Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol. 282 : G866-G876, 2002
- No. 10 Suzuki H., Yanaka A., Shibahara T., Matsui H., Nakahara A., Tanaka N., Muto H., Momoi T., Uchiyama Y. :
Ammonia-induced apoptosis is accelerated at higher pH in gastric surface mucous cells.
Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol. 283 : G986-G995, 2002
- No. 11 Matsuzaki Y., Yoshida T., Takikawa H. :
Does ursodeoxycholic acid cause lichenoid eruption?
Gastroenterology. 122(5) : 1547, 2002
- No. 12 Matsuzaki Y., Miyazaki T., Miyakawa S., Bouscarel B., Ikegami T., Tanaka N. :
Decreased taurine concentration in skeletal muscles after exercise for various durations.
Med Sci Sports Exerc 34(5) : 793-797, 2002
- No. 13 Koyama S., Watanabe M., Iijima T. :
Esophageal intramural pseudodiverticulosis (diffuse type).
J Gastroenterol, 37(8) : 644-648, 2002
- No. 14 Matsuzaki Y. :
Coestimide: The efficacy of a novel anion-exchange resin in cholestatic disorders.
J Gastroenterol Hepatol 17(11) : 1133-1135, 2002
- No. 15 Matsuzaki Y., Miyazaki T., Ohkoshi N., Miyakawa S., Bouscarel B., Tanaka N. :
Degeneration of skeletal muscle fibers in the rat administrated carbon tetrachloride: similar histological findings of the muscle in a 64-year-old patient of LC with muscle cramp.
Hepatol ogy Res 24(4) : 368-378, 2002
- No. 16 Naito Y., Handa O., Takagi T., Ishikawa T., Imamoto E., Nakagawa S., Yamaguchi T., Yoshida N., Matsui H., Yoshikawa T. :
Ubiquitin-proteasome inhibitor enhances tumour necrosis factor-alpha-induced apoptosis in rat gastric epithelial cells.
Aliment Pharmacol Ther. 16 Suppl 2 : 59-66, 2002

- No. 17 Shin VY., Liu ES., Koo MW., Wang JY., Matsui H., Cho CH. :
Cigarette smoke extracts delay wound healing in the stomach: involvement of polyamine synthesis.
Exp Biol Med (Maywood), 227(2) : 114-124, 2002
- No. 18 安部井誠人, 富永 達郎, 池田 和穂, 丸山 常彦, 小田 竜也, 轟 健, 正田 純一, 松崎 靖司, 田中 直見 :
経皮経肝胆囊ドレナージ後のMTBE直接胆石溶解療法が奏功した高齢急性胆嚢炎合併多発大胆嚢結石の1例
胆道 16(1) : 73-78, 2002
- No. 19 井戸 健一, 矢沢 貞夫, 神澤 輝実, 工藤 進英, 鈴木 一幸, 砂川 正勝, 田中 直見, 吉川 敏一, 上西 紀夫, 松野 正紀 :
保険金支払い案件からみた胆嚢摘出術に関連した偶発症の実態
一腹腔鏡的胆嚢摘出術と開腹による胆嚢摘出術との比較—
日消誌 99(7) : 850-852, 2002
- No. 20 富永 達郎, 樫村 博正, 鈴木かおり, 中原 朗, 田中 直見 :
Helicobacter pylori 除菌前後における慢性胃炎粘膜でのテロメラーゼ関連遺伝子(hTERT)発現の検討
Therapeutic research 23(6) : 1219-1224, 2002
- No. 21 斎藤 洋子, 福富 久之, 真田 勝弘, 海老原次男, 対馬 健祐, 中原 朗, 柿元まゆみ :
地域胃がん検診における間接胃X線法とペプシノゲン法の効果的な組み合わせの検討
日本消化器集団検診学会誌, 40(4) : 335-342, 2002
- No. 22 谷中 昭典, 田内 雅史, 張 松華, 鈴木 英雄, 柴原 健 :
食塩の胃内投与が Helicobacter pylori 感染胃粘膜病態に及ぼす影響
Ulcer Research 29 : 19-23, 2002
- No. 23 谷中 昭典, 田内 雅史, 張 松華, 鈴木 英雄, 柴原 健 :
Helicobacter pylori 感染胃粘膜上皮細胞に対する防御因子製剤の影響—Teprenone と Cetraxate の作用機序の検討
Ulcer Research 29 : 136-139, 2002
- No. 24 張 松華, 鈴木 英雄, 田内 雅史, 柴原 健, 谷中 昭典 :
PPI 長期投与が Hp 感染胃粘膜に及ぼす影響
Ulcer Research 29 : 148-151, 2002

総 説

- No. 1 川本 徹, 正田 純一, 田中 直見 :
胆石症・胆嚢炎と Helicobacter species(spp.),
肝胆膵 45(1) : 15-19, 2002
- No. 2 田中 直見 :
胆嚢炎・胆管炎 (原発性硬化性胆管炎を含む)
検査値から読む病態と診断計画, 臨床医 28 : 1394-1395, 2002

- No. 3 田中 直見：
胆汁酸と胆石溶解薬，内科—100年のあゆみ（消化器）
日本内科学会雑誌 91(2)：552-555，2002
- No. 4 正田 純一，田中 直見：
肝内結石症における異常肝胆汁の生成と肝胆道系輸送蛋白の発現異常
BIO Clinica 17(11)：958-962，2002
- No. 5 上西 紀夫，中原 朗，佐藤 信紘，板橋 正幸：
第17回胃炎研究会総合討論
Therapeutic Research 23(6)：67-68，2002
- No. 6 池上 正，松崎 靖司：
UDCA のシグナル伝達経路における修飾作用
消化器科 36(1)：63-69，2003
- No. 7 松崎 靖司，千葉 俊也，田中 直見：
慢性 C 型肝炎患者の肝癌のフォローアップ戦略と，QOL からみた陽子線照射療法を中心とした治療戦略(解説/特集)
消化器科 35(5)：580-584，2002
- No. 8 松崎 靖司，本多 彰，土井 幹雄，田中 直見：
肝・胆道疾患における薬物代謝酵素 CYP3A
消化器科 35(6)：664-670，2002
- No. 9 松崎 靖司，千葉 俊也，田中 直見：
肝細胞癌に対する放射線療法 新しい陽子線照射療法の有効性とその適応(解説/特集)
癌の臨床【肝癌 診断・治療の最前線】
治療 47(11)：1107-1114，2002
- No. 10 松崎 靖司，伊藤 進一：
自己免疫性胆管炎とは
消化器の臨床 5(1)：34-39，2002
- No. 11 松崎 靖司：
NPO 法人：市民のための健康・医療ネットワーク
消化器病ネットワーク雑誌，たんじゅうさん，1(1)：話題 1，2002
- No. 12 正田 純一，小田 高司，鈴木 洋史，杉山 雄一，伊藤 晃成，神谷 順一，
二村雄次，宮崎 浩，加納 雅仁，松崎 靖司，田中 直見：
肝内結石症の疾病肝に認められたコレステロール，リン脂質，胆汁酸の代謝障害とそれらの結石成因における意義について
Selected Articles from HEPATOLOGY (Roche World Watch) 5(1)：14，2002
- No. 13 正田 純一：
小児と妊婦に対する UDCA 投与の報告
たんじゅうさん 1：18-19，2002
- No. 14 谷中 昭典，中原 朗，田中 直見：
H.pylori 除菌治療が NSAIDs 服用中の胃粘膜病態に及ぼす影響
消化器科 34：101-105，2002

- No. 15 谷中 昭典：
NSAIDs 潰瘍の難治要因
日本臨床 60 Suppl 2：559-561, 2002
- No. 16 谷中 昭典：
Helicobacter pylori ニュース
米国消化器病週間(DDW)－基礎－
Helicobacter Research 6：374-378, 2002
- No. 17 田内 雅史, 谷中 昭典：
消化性潰瘍の治療
Medicament News 1742：14-17, 2002
- No. 18 柴原 健, 田中 直見：
IBD と genetic link
病理と臨床 20：1274-1276, 2002

著 書

- No. 1 田中 直見：
胆道系の炎症（胆嚢炎，胆管炎，原発性硬化性胆管炎）
内科学書，島田馨責任編集，中山書店（東京）p1929-1932, 2002
- No. 2 田中 直見：
胆石症
Selected Articles 2003, p221-227, 2002
- No. 3 田中 直見, 吉田 正：
生活習慣病としての胆道疾患，消化器セミナー89，生活習慣病としての消化器疾患-最近の趨勢とその予防，荒川泰行, 中澤三郎編
へるす出版（東京）p185-191, 2002
- No. 4 田中 直見：
胆石症
図説消化器シリーズ3，肝・胆・膵の画像診断，恩地森一編，
medical view（東京）p116-123, 2002
- No. 5 中原 朗, 柴原 健：
ポリペクトミー（食道・胃の内視鏡治療）
（山中恒夫・片山修編）メジカルビュー社，p 86-91, 2002
- No. 6 中原 朗：
医学書院医学大辞典
（伊藤正男・井村裕夫・高久史麿）医学書院，2002
- No. 7 松崎 靖司, 田中 直見：
放射線療法－陽子線治療を中心に．
肝細胞癌治療マニュアル，山中若樹, 田中正俊, 坂元亨字編
南江堂（東京）p112-116, 2002

- No. 8 松崎 靖司, 千葉 俊也, 田中 直見:
肝細胞癌に対する陽子線治療法の有効性? その適応と今後の展望.
肝癌の診断と治療
日本臨床社 (東京) p659-664, 2002
- No. 9 松崎 靖司:
肝細胞癌に対する陽子線照射療法 of 適応と限界
肝疾患診療のコツと落とし穴
中山書店 (東京) P112-113, 2002
- No. 10 松崎 靖司:
ウルソデオキシコール酸
消化器ナビゲーター, 滝川 一編
メディカルレビュー社 (東京) p276-277, 2002
- No. 11 谷中 昭典:
プロトンポンプ阻害剤の血管新生への影響と臨床的有用性
プロトンポンプ阻害薬のすべて
浅香正弘/千葉勉編
先端医学社 (東京) p83-84, 2002
- No. 12 松井 裕史:
活性酸素 (種)
TECHNICAL TERM 消化管
荒川哲男, 菅野健太郎, 吉川敏一 編
先端医学社, p 190-191, 2002

学会発表

- No. 1 柴原 健, 鈴木 英雄, 中原 朗, 松井 裕史, 谷中 昭典, 田中 直見:
当科における切除不能・再発胃癌の治療方針.
第24回茨城県消化器病懇話会, (土浦), 1月, 2002
- No. 2 松崎 靖司, 田中 直見:
慢性C型肝炎患者の肝癌早期発見のためのフォローアップ戦略.
第11回茨城がん学会, (水戸), 2月, 2002
- No. 3 松本 尚志, 荒木 眞裕, 山口 高史, 忠願寺義通, 松崎 靖司, 田中 直見:
C型慢性肝炎に対する高用量天然型インターフェロン α 療法における治療効果予測因子の多変量解析による検討
第11回茨城がん学会, (水戸), 2月, 2002
- No. 4 柴原 健, 谷中 昭典:
炎症性腸疾患における消化管上皮細胞のキモカイン発現とリンパ球ホーミング: 単層培養上皮細胞および上皮内リンパ球を用いたリンパ球ホーミングモデルの作製
第13回消化管細胞機能研究会 (掛川), 2月, 2002
- No. 5 谷中 昭典:
胃粘膜防禦, 修復に果たす Heat Shock Protein の役割
第20回 Cytoprotection 研究会 (京都), 2月, 2002

- No. 6 錦井 秀和, 若山真理子, 柴原 健, 松井 裕史, 谷中 昭典, 中原 朗, 田中 直見:
AFP, PIVKA-II, HCG 高値を来した胃原発絨毛癌の症例
第268回日本消化器学会関東支部例会, (前橋), 2月, 2002
- No. 7 Matsui H., Nagano Y., Murata Y., Yanaka A., Shibahara T., Nakahara A.,
Tanaka N.:
Does gastric acid secretion accelerate NSAID-induced tissue peroxidation in rat
stomach?
12th World Congress of Gastroenterology,
Bangkok, (THAILAND), March, 2002
- No. 8 正田 純一, 鈴木 洋史, 田中 直見:
原発性肝内結石症における異常肝胆汁生成と肝輸送蛋白の発現異常. パネルディスカ
ッション「消化器疾患と胆汁酸研究; 今後の展開」
第88回日本消化器病学会総会, (旭川), 4月, 2002
- No. 9 池上 正, Bouscarel B, 松崎 靖司:
グルカゴンレセプター・シグナリングと胆汁酸. パネルディスカッション「消化器疾
患と胆汁酸研究; 今後の展開」
第88回日本消化器病学会総会, (旭川), 4月, 2002
- No. 10 宮原 直樹, 川本 徹, 正田 純一, 轟 健, 加納 亮, 入村 達郎, 河野 公俊,
松尾 憲一, 山田 雄一, 田中 直見:
胆嚢癌における N-acetylgalactosaminyl transferase (GalNAc-T) 発現とその意義
第88回日本消化器病学会総会, (旭川), 4月, 2002
- No. 11 柴原 健, 中原 朗, 谷中 昭典, 松井 裕史, 田中 直見:
特殊型透明フードを用いた食道静脈瘤硬化療法
第88回日本消化器病学会総会, (旭川), 4月, 2002
- No. 12 池澤 和人, 吉田 正, 牧野維斗映, 小島 真樹, 相川 達也, 松崎 靖司, 中原 朗,
田中 直見:
保険適応のない薬剤による Helicobacter pylori 除菌療法の臨床成績について(本邦に
おける OMM 除菌後3年以上の長期成績)
第88回日本消化器病学会総会, (旭川), 4月, 2002
- No. 13 吉田 正, 島倉 秀也, 松崎 靖司:
胆道感染症における動脈硬化における酸化コレステロールの意義
シンポジウム「消化器疾患と動脈硬化」
第88回日本消化器病学会総会, (旭川), 4月, 2002
- No. 14 松井 裕史, 長野由美子, 村田 靖, 菅野 雅人, 谷中 昭典, 柴原 健, 中原 朗,
田中 直見:
NSAID 起因性胃粘膜障害による脂質過酸化に対する H2ブロッカー及び PPI の効果
第88回日本消化器病学会総会, (旭川), 4月, 2002

- No. 15 谷中 昭典, 田内 雅史, 張 松華, 鈴木 英雄, 柴原 健, 松井 裕史, 中原 朗,
田中 直見 :
H. pylori 感染胃粘膜における酸分泌抑制機序の研究—高張食塩水の酸分泌抑制効果に
果たす IL-1 β の果たす役割—
第 6 回壁細胞研究会, (旭川), 4 月, 2002
- No. 16 鈴木 英雄, 谷中 昭典, 張 松華, 田内 雅史, 柴原 健, 松井 裕史, 中原 朗,
田中 直見 :
プロトンポンプ阻害剤の長期投与が *Helicobacter pylori* i 感染胃粘膜に及ぼす影響
第 6 回壁細胞研究会, (旭川), 4 月, 2002
- No. 17 谷中 昭典, 中原 朗, 田中 直見 :
シンポジウム「*Helicobacter pylori* と胃癌。」食塩の胃内投与が *Helicobacter pylori*
感染胃粘膜病態に及ぼす影響
第 63 回日本消化器内視鏡学会総会, (甲府), 4 月, 2002
- No. 18 Yoshida T., Matsuzaki Y., Fukushima S., Honda A., Shimakura S., Tanaka N. :
Determination of oxysterols from the hepatic bile in the patients with obstructive
jaundice.
5th Hepato-Pancreato-Biliary Association, (Tokyo), April, 2002
- No. 19 Abei M., Fukuda K., Wakayama M., Shoda J., Matsuzaki Y., Tanaka N. :
Clinical course of sclerosing pancreatocholangitis (Pseudo-PSC) : Responses to
steroid therapy and recurrence.
5th Hepato-Pancreato-Biliary Association, (Tokyo), April, 2002
- No. 20 Shoda J., Kano M., Oda K., Nimura Y., Suzuki H., Sugiyama Y., Matsuzaki Y.,
Tanaka N. :
Expression levels of plasma membrane transporters in cholestatic liver of patients
undergoing biliary drainage(BD) and its association with the impairment of
biliary secretory function.
5th International Hepato-Pancreato-Biliary Association, (Tokyo), April, 2002
- No. 21 Fukuda K., Abei M., Ugai H., Seo E., Todoroki T., Hamada H., Tanaka N.,
Yokoyama K. :
Gene therapy for gallbladder cancer using replicating-competent E1mutated
adenoviral vectors.
5th International Hepato-Pancreato-Biliary Association,
(Tokyo), April, 2002
- No. 22 Shoda J., Asano T., Kawamoto T., Todoroki T., Tanaka N., Shimonishi M.,
Tanabe T., Sugimoto Y., Ichikawa A. :
Expression of cyclooxygenase-2(COX-2) and prostagrandin E-receptors(Eps) in
carcinoma of the gallbladder—Crucial role of arachidonate metabolism in tumor
growth and progression.
Annual Meeting of the American Gastroenterological Association,
(San Francisco), May, 2002

- No. 23 Suzuki H., Shoda J., Kano M., Matsuzaki Y., Tanaka N., Hirouchi M., Suzuki H., Sugiyama Y., Utsunomiya H., Oda K. :
Novel mutations identified in the human multidrug resistance-associated patient with Dubin-Johnson Syndrome(DJS).
Annual Meeting of the American Gastroenterological Association,
(San Francisco), May, 2002
- No. 24 Shibahara T., Nakahara A., Suzuki H., Miyazaki K., Matsui H., Yanaka A., Tanaka N. :
Efficient endoscopic injection sclerotherapy using an original transparent hood.
Annual Meeting of the American Gastroenterological Association,
(San Francisco), May, 2002
- No. 25 Yanaka A., Tauchi M., Cho S., Suzuki H., Sugano M., Shibahara T., Matsui H., Nakahara A., Tanaka N. :
Interleukin-1 β enhances hypertonic salt-induced acid suppression via stimulating release of endogenous prostaglandins by guinea pig fundic gastric mucosa in vitro.
Annual Meeting of the American Gastroenterological Association,
(San Francisco), May, 2002
- No. 26 Matsui H., Nagano Y., Sugano M., Murata Y., Yanaka A., Shibahara T., Nakahara A., Tanaka N. :
Fluorescence endoscopic diagnosis for gastric cancer's area after aminolevulinic acid treatment with a simultaneous endoscopic fluorescence analyzing system.
Annual Meeting of the American Gastroenterological Association,
(San Francisco), May, 2002
- No. 27 Fukuda K., Abei M., Ugai H., Yokoyama K., Tanaka N. :
Experimental gene therapy using tumor-specific replicating adenovirus vectors.
Annual Meeting of the American Gastroenterological Association,
(San Francisco), May, 2002
- No. 28 Yanaka A., Zhang S., Tauchi M., Sugano M., Oohara M., Suzuki H., Shibahara T., Matsui H., Nakahara A., Tanaka N. :
Research Forum: High salt diet accelerates progression of atrophy of H. pylori-infected gastric corpus mucosa in wild type C57/BL6 Mice, but not in IL-1 receptor knockout mice.
American Gastroenterological Association Meeting,
(San Francisco), May, 2002
- No. 29 Shoda J. :
Hepatolithiasis-Lessons from the East.
AGA Committe Sponsored Symposium.
Annual Meeting of the American Gastroenterological Association,
(San Francisco), May, 2002

- No. 30 Koyama S. :
Involvement of Fas receptor/Fas ligand system as a mechanism of immune privilege of human *H. pylori*-associated gastritis.
26th International Congress of Internal Medicine, (Kyoto), May, 2002
- No. 31 柿木 重信, 鈴木 英雄, 柴原 健, 松井 裕史, 谷中 昭典, 中原 朗, 田中 直見 :
慢性関節リウマチの経過中に出血を伴う反復性の腸炎を生じた1例
第269回日本消化器病学会関東支部例会, (東京), 5月, 2002
- No. 32 柿木 信重, 鈴木 英雄, 柴原 健, 松井 裕史, 谷中 昭典, 中原 朗, 田中 直見 :
慢性関節リウマチの経過中に出血を伴う反復性の腸炎を生じた1例
第9回茨城県炎症性腸疾患研究会, (つくば市), 5月, 2002
- No. 33 長野由美子, 松井 裕史, 菅野 雅人, 村田 靖, 柴原 健, 谷中 昭典, 中原 朗, 田中 直見 :
NSAIDによる胃粘膜脂質過酸化部位の検討
第24回フリーラジカル学会, (大阪), 6月, 2002
- No. 34 松崎 靖司, 千葉 俊也, 田中 直見 :
慢性C型肝炎患者発癌フォローアップ戦略と, QOLからみた陽子線照射療法による肝細胞癌治療戦略.
第38回日本肝臓学会総会, (大阪), 6月, 2002
- No. 35 海野 理恵, 松崎 靖司, 伊藤 進一, 土井 幹雄, 田中 直見 :
抗IL-10抗体投与による自己免疫性肝疾患類似のGVHR動物モデル肝病変の進展
第38回日本肝臓学会総会, (大阪), 6月, 2002
- No. 36 正田 純一, 浅野 徹, 川本 徹, 轟 健, 杉本 幸彦, 市川 厚, 松崎 靖司, 田中 直見 :
胆嚢癌におけるCyclooxygenase-2およびプロスタグランジンE受容体の発現-アラキドン酸代謝活性化の癌進展機構に果たす役割
第38回日本肝臓学会総会, (大阪), 6月, 2002
- No. 37 松崎 靖司, 池上 正, 本多 彰, 土井 幹雄, 福島 清乃, 正田 純一, 田中 直見 :
ハムスター閉塞性黄疸モデルにおける血中コール酸/ケノデオキシコール酸比上昇のメカニズムに関する検討
第38回日本肝臓学会総会, (大阪), 6月1, 2002
- No. 38 谷中 昭典, 張 松華, 田内 雅史, 鈴木 英雄 :
シンポジウム「*H. pylori*の発癌メカニズム」
高塩分食はIL-1受容体を介して*H. pylori*感染マウスの胃粘膜萎縮進展を加速させる
第8回日本ヘリコバクター学会, (宇都宮), 6月, 2002
- No. 39 柴原 健, 中原 朗, 谷中 昭典, 松井 裕史, 田中 直見 :
特殊型透明フードを用いた食道静脈瘤硬化療法
第74回日本消化内視鏡学会関東地方会 (宇都宮),
ラウンドテーブルディスカッション, 6月, 2002
- No. 40 若山真理子, 中原 朗, 柴原 健, 松井 裕史, 谷中 昭典, 田中 直見, 轟 健 :
診断に苦慮した脾十二指腸移行部原発腺癌の症例
第270回日本消化器病学会関東支部会, (横浜), 7月, 2002

- No. 41 Fukuda K., Abei M., Ugai H., Seo E., Todoroki T., Hamada H., Tanaka N., Yokoyama K :
Experimental gene therapy for gallbladder cancer using tumor-specific replicating E1 mutant adenoviral vectors.
第8回日本遺伝子治療学会, (東京), 7月, 2002
- No. 42 Koyama S. :
Fas ligand-mediated counterattack against tumor-infiltrative lymphocytes in vivo as a mechanism of immune escape in gastric carcinoma.
18th International Cancer Congress, (Oslo) July, 2002
- No. 43 中川 裕司, 轟 健, 菅原 信二, 柴原 健, 川本 徹, 小池 直人, 近藤 匠, 中原 朗, 斎田 幸久 :
TNM 分類 stage III 食道癌に対する治療体系を工夫した chemoradiotherapy の試み
第57回日本消化器外科学会総会, (京都), 7月, 2002
- No. 44 安部井誠人, 小島 寛, 正田 純一, 松崎 靖司, 田中 直見 :
血液系悪性腫瘍に対する化学療法後に発症し, ラミブジン治療を施行した重症 B 型肝炎および Fibrosing Cholestatic Hepatitis の 2 症例
ラミブジン研究会, (つくば), 7月, 2002
- No. 45 谷中 昭典 :
高塩分食は IL-1 受容体を介して H. pylori 感染マウスの胃粘膜萎縮の進展を加速させる
消化管炎症と PPI 研究会, (京都), 8月, 2002
- No. 46 黒澤 崇, 石毛 和紀, 佐藤 大介, 鈴木 英雄, 安部井誠人, 正田 純一, 松崎 靖司, 田中 直見 :
診断に苦慮した肝疾患の症例
第12回県南肝疾患研究会, (つくば市), 9月, 2002
- No. 47 福田 邦明, 安部井誠人, 瀬尾恵美子, 轟 健, 濱田 洋文, 横山 和尚, 田中 直見 :
胆嚢癌に対する腫瘍選択的増殖型 E1 変異アデノウィルスを用いた遺伝子治療実験: ノードマウス皮下移植モデル, 腹膜播種モデルでの検討
第38回日本胆道学会学術集会, (名古屋), 9月, 2002
- No. 48 正田 純一, 小田 高司, 田中 直見 :
閉塞性胆汁うっ滞症におけるビリルビンおよび胆汁酸輸送にかかわる肝輸送蛋白の発現異常と胆汁分泌機能—経皮経肝胆道ドレナージ (PTBD) 施行例における検討. ワークショップ「術前減黄の必要性和その評価」
第38回日本胆道学会学術集会, (名古屋), 9月, 2002
- No. 49 鈴木 英雄, 中原 朗, 谷中 昭典, 柴原 健, 松井 裕史, 田中 直見, 山口 高史 :
小腸転移を来した腎細胞癌の 1 例
第271回日本消化器学会関東支部例会, (東京), 9月, 2002

- No. 50 轟 健, 川本 徹, 近藤 匠, 中川 裕司, 菅原 信二, 斎田 幸久, 柴原 健,
中原 朗:
stage・食道癌 chemoradiotherapy 後の食道再発に対するサルベージサージャリーの一
例
第8回北関東機能温存手術研究会, (東京) 9月, 2002
- No. 51 小山 捷平, 小池 直人, 足立 信也:
がんの進展と NF- κ B, Caspase 3, Survivin 分子の発現.
第61回日本癌学会総会, (東京), 10月, 2002
- No. 52 福田邦明, 安部井誠人, 瀬尾恵美子, 轟 健, 濱田 洋文, 横山 和尚, 田中 直見:
E1変異アデノウィルスの胆嚢癌に対する腫瘍融解効果とヒト正常細胞に対する安全性
の実験的解析
第61回日本癌学会総会, (東京), 10月, 2002
- No. 53 瀬尾恵美子, 安部井誠人, 福田 邦明, 鶴貝 英世, 村田 武英, 轟 健, 濱田 洋文,
田中 直見, 横山 和尚:
Uracil Phosphoribosyltransferase (UPRT) 遺伝子を導入した癌選択的増殖型アデノ
ウイルスベクターを用いた胆嚢癌の遺伝子治療
第61回日本癌学会総会, (東京), 10月, 2002
- No. 54 福田 邦明, 安部井誠人, 瀬尾恵美子, 若山真理子, 田中 直見, 濱田 洋文,
横山 和尚:
ヒト胆嚢癌細胞における E1変異組み換えアデノウイルスの増殖特異性およびヒト正常
細胞に対する細胞障害性の比較検討
第25回日本分子生物学会, (横浜), 10月, 2002
- No. 55 瀬尾恵美子, 安部井誠人, 若山真理子, 福田 邦明, 鶴貝 英世, 村田 武英,
田中 直見, 濱田 洋文, 横山 和尚:
Uracil Phosphoribosyltransferase (UPRT) 遺伝子導入癌選択的増殖型 E1B-55kD 欠
損アデノウイルスベクターを用いた胆嚢癌の自殺遺伝子治療
第25回 日本分子生物学会, (横浜), 10月, 2002
- No. 56 若山真理子, 福田 邦明, 瀬尾恵美子, 安部井誠人, 鶴貝 英世, 田中 直見,
濱田 洋文, 横山 和尚:
胆嚢癌におけるヒト 5 型アデノウイルスの感染効率と Coxakie Adenovirus Receptor
および integrin 発現の相関
第25回 日本分子生物学会, (横浜), 10月, 2002
- No. 57 福田 邦明, 安部井誠人, 瀬尾恵美子, 濱田 洋文, 横山 和尚, 田中 直見:
腫瘍特異的増殖アデノウィルスを用いた胆嚢癌に対する遺伝子治療の有効性の実験的
解析
第44回日本消化器病学会大会, (横浜), 10月, 2002
- No. 58 宮原 直樹, 正田 純一, 上田 哲也, 轟 健, 入村 達郎, 田中 直見:
胆嚢癌の浸潤・進展挙動にかかわるモノクローナル抗体 MY.IE12認識 MUC1 ムチンの
発現機序, および COX-2阻害剤によるその発現の抑止
第44回日本消化器病学会大会, (横浜), 10月, 2002

- No. 59 川本 徹, 正田 純一, 宮原 直樹, 入村 達郎, 河野 公俊, 松尾 憲一,
山田 雄次, 田中 直見, 轟 健:
ss 胆嚢癌における N-acetyl-galactosaminyl transferase-3 (GaINAcT3) 発現とその
意義
第44回日本消化器病学会大会, (横浜), 10月, 2002
- No. 60 鈴木 英雄, 中原 朗, 川本 徹:
癌関連粘液形質, モノクローナル抗体 MYIE12 認識 MUC1 ムチンは進行性大腸癌なら
びにその悪性挙動に関する有用な生物学的指標となり得るか? シンポジウム「進行癌
へ進展しやすい大腸癌: 発生と発育進展からみて」
第44回日本消化器病学会大会, (横浜), 10月, 2002
- No. 61 谷中 昭典, 田内 雅史, 張 松華, 鈴木 英雄, 柴原 健, 松井 裕史, 中原 朗,
田中 直見:
高塩分食は IL-1 受容体を介して H. pylori 感染マウスの胃粘膜萎縮進展を加速させる
第44回日本消化器病学会大会, (横浜), 10月, 2002
- No. 62 齋藤 洋子, 福富 久之, 松井 義博, 田沢 潤一, 仁平 武, 堀田 総一, 岡 裕爾,
真田 勝弘, 中原 朗:
大腸がん検診発見確定大腸がんの陽性頻度, 受診回数, 便潜血濃度の検討
第40回日本消化器集団検診学会 (横浜) 10月, 2002
- No. 63 谷中 昭典:
胃粘膜防禦, 修復に果たす Heat Shock Protein の役割
第 4 回 GGA-HSP 研究会, (東京), 10月, 2002
- No. 64 Matsui H., Matsuzaki Y., Nagano YN., Sugano M., Murata Y., Nakahara A.:
NSAID treatment induces gastric mucosal peroxidation of oxyntic glands.
2nd International Symposium on Antioxidants in Nutrition and
Therapy Mechanisms in Physiology- Pathology- Pharmacology,
(Bali), 10月, 2002
- No. 65 松井 裕史:
NSAIDs と酸, free radical, シンポジウム「NSAIDs と消化管病変」
第10回北関東 GI セミナー, (つくば市), 11月, 2002
- No. 66 谷中 昭典, 張 松華, 田内 雅史, 鈴木 英雄, 柴原 健, 松井 裕史:
高塩分食は IL-1 受容体を介して H. pylori 感染マウスの胃粘膜萎縮進展を加速させる
第30回日本実験潰瘍学会, (東京), 11月, 2002
- No. 67 加納 雅仁, 正田 純一, 松崎 靖司, 田中 直見:
インチンコウ湯 (TJ-135) の投与により自覚症状並びに肝機能障害の改善を認めた原
発性硬化性胆管炎の 1 症例,
第11回 日本東洋医学会関東甲信越支部茨城県部会, (つくば市), 11月, 2002
- No. 68 佐藤巳喜夫, 松崎 靖司, 田中 直見:
非 B 非 C 型肝炎細胞癌における HBV の存在. シンポジウム「非 B 非 C 型肝炎細胞癌の実
態」
第34回日本肝臓学会東部会, (つくば市), 11月, 2002

- No. 69 安部井誠人, 松崎 靖司, 田中 直見:
肝胆道疾患診療における EBM 適応上の問題点と対策. パネルディスカッション「肝疾患における EBM の検証」
第34回日本肝臓学会東部会, (つくば市), 11月, 2002
- No. 70 袴田 拓, 松崎 靖司, 田中 直見:
C型肝炎多発地域に関する疫学概要〜福島県 A 郡 B 村〜.
第34回日本肝臓学会東部会, (つくば市), 11月, 2002
- No. 71 福田 邦明, 安部井誠人, 瀬尾恵美子, 若山真理子, 横山 和尚, 田中 直見:
胆嚢癌に対する EI 変異腫瘍制限増殖型アデノウイルスの有効性および安全性の検討
第34回 日本肝臓学会東部会, (つくば市), 11月, 2002
- No. 72 瀬尾恵美子, 安部井誠人, 福田 邦明, 若山真理子, 横山 和尚, 田中 直見:
癌選択的増殖型 uracil phosphoribosyl-transferase (UPRT) 遺伝子導入アデノウイルスベクターを用いた胆嚢癌の遺伝子治療の実験的解析
第34回日本肝臓学会東部会, (つくば市), 11月, 2002
- No. 73 本多 彰, 吉田 正, 松崎 靖司, 福島 清乃, 吉田 茂正, 田中 直見:
血清コレステロール変動時における胆汁酸合成マーカーの有用性に関する検討
第34回日本肝臓学会東部会, (つくば市), 11月, 2002
- No. 74 池上 正, 松崎 靖司, 稲村健太郎, 田中 直見:
塩酸イリノテカン誘導性細胞死におけるウルソデオキシコール酸の作用
第34回日本肝臓学会東部会, (つくば市), 11月, 2002
- No. 75 加納 雅仁, 正田 純一, 松崎 靖司, 田中 直見:
コレステロール胆石形成過程における胆嚢収縮機能低下の解析-胆嚢 CCK-A 受容体の遺伝子発現量の変化とその意義
第34回日本肝臓学会東部会, (つくば市), 11月, 2002
- No. 76 黒澤 崇, 鈴木 英雄, 佐藤 大介, 石毛 和紀, 安部井誠人, 正田 純一, 松崎 靖司, 田中 直見:
初回治療より19年の長期生存が得られた肝細胞癌の1例
第34回 日本肝臓学会東部会, (つくば市), 11月, 2002
- No. 77 軽部 真明, 宮崎 照雄, 松崎 靖司, 田中 直見:
四塩化炭素投与ラット肝硬変モデルにおける, タウリンの抗酸化ストレス作用, 及び抗線維化作用の検討
第34回日本肝臓学会東部会, (つくば市), 11月, 2002
- No. 78 岡部 裕一, 鈴木 英雄, 安部井誠人, 黒澤 崇, 石毛 和紀, 松崎 靖司, 田中 直見:
著明な脾腎シャントによる肝性脳症に対し BRTO が奏功した1例
第34回日本肝臓学会東部会, (つくば市), 11月, 2002
- No. 79 中西 裕之, 伊藤 ゆみ, 松田 貴子, 鈴木 伸治, 荒木 昭博, 佐崎なほ子, 桃井 優, 藤木 和彦, 忠願寺義通, 松崎 靖司, 田中 直見:
肝移植で発見され, 12年の経過を追跡し得た膵ガストリン産生腫瘍の1例検例
第34回日本肝臓学会東部会, (つくば市), 11月, 2002

- No. 80 安部井誠人, 若山真理子, 正田 純一, 松崎 靖司, 田中 直見:
急性白血病に対する化学療法後に線維性胆汁うっ滞性肝炎 (Fibrosing cholestatic hepatitis; FCH) を発症した HBV キャリアの一例.
第34回日本肝臓学会東部会, (つくば), 11月, 2002
- No. 81 松井 裕史, 中原 朗, 菅野 雅人:
(シンポジウム PDT の臨床1)
アミノレブリン酸を用いた胃癌の光線力学的診断
第23回日本レーザー医学会総会, (大阪) 11月, 2002
- No. 82 柴原 健, 宮崎 香織, 中原 朗, 松井 裕史, 谷中 昭典, 田中 直見:
進行胃癌に対する TS-1 の治療成績〜第2報
TS-1研究会 (つくば), 11月, 2002
- No. 83 正田 純一, 稲田 洋一, 辻 厚年, 草間 寛, 加納 雅仁, 池上 正, 須磨崎 亮,
長谷川 誠, 松崎 靖司, 田中 直見:
原発性肝内結石症における MDR3P-糖蛋白の発現異常とベザフィブラートによる治療の可能性
第24回胆汁酸研究会, (東京), 12月, 2002
- No. 84 池上 正, 松崎 靖司, 宮崎 照雄, 正田 純一, 田中 直見:
ホルモン誘導性 cAMP による胆汁排泄促進効果についての基礎的検討
第24回胆汁酸研究会, (東京), 12月7, 2002
- No. 85 佐藤 大介, 谷中 昭典, 柴原 健, 松井 裕史, 中原 朗, 田中 直見, 今川 重彦,
武藤 弘:
Helicobacter pylori 除菌治療により急速に著明な改善を認めた特発性血小板減少性紫斑病の1例
第272回日本消化器病学会関東支部例会, (東京), 12月, 2002
- No. 86 谷中 昭典, 田内 雅史, 張 松華, 鈴木 英雄, 柴原 健, 松井 裕史, 中原 朗,
田中 直見:
高塩分食は IL-1 受容体を介して H. pylori 感染マウスの胃粘膜萎縮進展を加速させる
第1回胃ガンのリスクファクター研究会, (東京), 12月, 2002
- No. 87 柴原 健, 鈴木 英雄, 佐藤 大介, 宮崎 香織, 吉田 茂正, 石下 和紀,
松井 裕史, 谷中 昭典, 中原 朗, 田中 直見:
透明フードを用いたルーチン大腸内視鏡
第75回日本消化内視鏡学会関東地方会
ビデオパネルディスカッション, (横浜), 12月, 2002

班研究報告

No. 1 田中 直見:

肝内胆管癌の発生・進展に関わる慢性増殖性胆管炎の役割—シクロオキシゲナーゼ-2 およびピロスタングランジン E 受容体の解析により—

厚生科学研究費補助金 特定疾患対策研究事業

肝内結石症調査研究班

平成13年度総括・分担研究報告書, p60-69, 2002

No. 2 田中 直見:

抗 IL-10 抗体投与による自己免疫性 GVHR 肝病変の進展, 厚生科学研究費補助金 特定疾患対策研究事業

難治性の肝疾患に関する研究

平成13年度総括・分担研究報告書, p62-63, 2002

No. 3 正田 純一, 田中 直見:

イリドイド化合物 (特にゲニピン) の胆汁分泌促進効果は肝内結石症における胆汁うっ滞因子 (肝輸送蛋白の発現異常) を改善できるか?

特定疾患対策研究事業 肝内結石症調査研究班

平成13年度第2回班会議, (東京), 1月, 2002

No. 4 正田 純一, 加納 雅仁, 浅野 徹, 松崎 靖司, 田中 直見:

肝内結石症の成因 update—新しい病態因子の解析とそれらの治療への応用

厚生労働省特定疾患対策研究事業

肝内結石症調査に関する調査研究班

平成14年度第1回班会議, (東京), 10月, 2002

No. 5 松崎 靖司:

肝細胞癌に対する短期照射法による重粒子線治療のフェイズ・/・臨床試験研究 (9603) .

肝腫瘍臨床研究班 重粒子線がん治療臨床試験報告書_3

独立行政法人 放射線医学総合研究所 重粒子医科学センター

(千葉), 11月, 2002

講演会その他

No. 1 谷中 昭典:

H. pylori 感染と NSAIDs 潰瘍の関連性

中国・四国ソファルコンシンポジウム, (広島), 1月, 2002

No. 2 中原 朗:

「逆流性食道炎の診断と治療」

真壁郡医師会講演会, ツタヤホテル, (下館市), 3月25日, 2002

No. 3 田中 直見:

肝機能障害へのアプローチ

茨城県保険医協会, (土浦市), 4月15日, 2002

No. 4 中原 朗:

レーザー治療はどこまで可能か〜PDT (Photo dynamic therapy) を中心に〜

第16回群馬県消化器内視鏡医の集い, (前橋), 6月15日, 2002

- No. 5 田中 直見：
肝機能障害へのアプローチ
茨城保険医新聞，6月15日，2002
- No. 6 Abei M.：
Cholesterol Gallstone: Pathogenesis, Clinical Management And Prevention.
特別講演，韓国 Yonsei 大学 Wonju 校，6月15日，2002
- No. 7 田中 直見：
胆汁うっ滞—診断・病態・治療—の現状と今後の展望
第47回 神奈川県消化器病研究会，(大和市)，6月22日，2002
- No. 8 松崎 靖司：
茨城県における肝炎の疫学的状況
広島大学衛生学セミナー，(広島)，7月4日，2002
- No. 9 谷中 昭典：
胃粘膜防禦，修復に果たす Heat Shock Protein の役割
第19回つくば GI Research Seminar，(つくば)，7月，2002
- No. 10 松崎 靖司：
一般市民公開講座「健康いばらき21」
牛久市民会館，(牛久)，9月14日，2002
- No. 11 松崎 靖司：
肝炎の診断と治療，
茨城県産業医会講習会，県西生涯学習センター，(下館)，9月20日，2002
- No. 12 松崎 靖司：
肝炎の診断と治療 (医師会)
石岡市医療従事者肝炎研修会，(石岡)，10月11日，2002
- No. 13 松崎 靖司：
肝炎・肝癌克服対策：健康茨城21，
水郷医師会学術講演会，10月16日，2002
- No. 14 松崎 靖司：
一般公開講座：肝炎・肝癌克服対策：健康茨城21，
県西生涯学習センター，10月19日，2002
- No. 15 松崎 靖司：
肝・胆・膵，座談会：肝胆膵疾患と NF- κ B:最近の話題，
(横浜)，10月26日，2002
- No. 16 正田 純一：
肝内結石症の成因に関する Update.
千葉インテンコウトウ研究会，(千葉)，11月22日，2002
- No. 17 松崎 靖司：
ランチョンセミナー：薬物性肝障害の診断と治療
第34回日本肝臓学会東部会，(つくば)，11月29日，2002

- No. 18 松崎 靖司：
ランチョンセミナー：肝線維化マーカー「IV 型コラーゲン」測定 of 臨床的意義
関東甲信越地区医学検査学会，（高崎），12月1日，2002
- No. 19 正田 純一：
胆道疾患とアラキドン酸代謝。
小野薬品工業講演，（京都），12月11日，2002
- No. 20 谷中 昭典：
ピロリ菌と胃ガンのかわり，食品による胃ガンの予防は可能か？
NPO 法人市民のための健康・医療ネットワーク主催講演会
（つくば），12月，2002

2002年（呼吸器内科グループ）

原 著

- No. 1 Nakayama K, Jia YX, Hirai H, Shinkawa M, Ymaya M, Sekizawa K, Sasaki H :
Acid stimulation reduces bactericidal activity of surface liquid in cultured human airway epithelial cells.
Am J Respir Cell Mol Biol 26 : 105-113, 2002
- No. 2 Suzuki T, Yamaya M, Sekizawa K, Hosoda M, Yamada N, Ishizuka S, Yoshino A, Yasuda J, Takahashi H, Nishimura H, Sasaki H :
Erythromycin inhibits rhinovirus infection in cultured human tracheal epithelial cells.
Am J Respir Cirt Care Med 165 : 1113-1118 2002
- No. 3 Satoh H, Homma S, Sekizawa K :
Chemotherapy for an elderly lung cancer patient with chronic lymphocytic leukemia(CLL).
Australasian J Aging 21 : 159, 2002
- No. 4 Satoh H, Ishikawa H, Ohtsuka M, Sekizawa K :
Spontaneous regression of pulmonary bullae
Australasian Radiology 46 : 106-107, 2002
- No. 5 Li JQ, Jia YX, Yamaya M, Arai H, Ohnui T, Sekizawa K, Sasaki H :
Neurochemical regulation of cough response to capsaicin in guinea-pigs.
Auto Autacoid Pharmacol 22 : 57-63 2002
- No. 6 Kurishima K, Satoh H, Ishikawa H, Yamashita YT, Ohtsuka M, Sekizawa K :
Presenting with bilateral lung cancers: small cell carcinoma and squamous cell carcinoma.
Australasian Journal of Cancer 2 : 59-60 2002
- No. 7 Kurishima K, Ishikawa H, Satoh H, Yamashita YT, Ohtsuka M, Sekizawa K :
Lung cancer in patients of forty-years or less.
Cancer Res Ther and Control 11 227-231, 2002
- No. 8 Satoh H, Ishikawa H, Kamma H, Hamasaki M, Fujiwara M, Ohtsuka M, Sekizawa K :
Expression of hnRNP B1 in Hela cells cultured with an herbal medicine, Hochu-ekki-to(TJ-41).
Cancer Res Ther Control 11 : 253-256, 2002
- No. 9 Imataka A, Satoh H, Kurishima K, Ishikawa H, Yamashita YT, Kamma H, Ohtsuka M, Sekizawa K :
Is additional chemotherapy required for mediastinal non-seminomatous germ cell tumor after normalization of tumormarker.
Cancer Res Ther Control 11 : 257-260, 2002

- No. 10 Satoh H, Yamashita YT, Sekizawa K :
Lung cancer in medical staffs.
Chest 122 : 1500-1501, 2002
- No. 11 Kagohashi K, Satoh H, Sekizawa K :
Bronchial asthma in the very elderly.
Chest 122 : 1501, 2002
- No. 12 Kadono K, Homma T, Kamahara K, Nakayama M, Satoh H, Sekizawa K :
Effect of heavy-iron radiotherapy on pulmonary function in stage I non-small cell cancer patients.
Chest 122- : 1925-1932, 2002
- No. 13 Nomura A, Uchida Y, Sakamoto T, Ishii Y, Masuyama K, Morishima Y, Hirano K, Sekizawa K :
Increases in collagen type I synthesis in asthma: the role of eosinophils and transforming growth factor- β .
Clin Exp Allergy 32 : 860-865, 2002
- No. 14 Shimizudani N, Murata H, Keino H, Kojo S, Nakamura H, Morishima Y, Sakamoto T, Ohtsuka M, Sekizawa K, Sumida M, Sumida T, Matsuoka T :
Conserved CDR 3 region of T cell receptor BV gene in lymphocytes from bronchoalveolar lavage fluid of patients with idiopathic pulmonary fibrosis.
Clin Exp Immunol 129 : 140-149, 2002
- No. 15 Satoh H, Ishikawa H, Yamashita YT, Ohtsuka M, Sekizawa K :
Pleural to serum CEA ratio in lung adenocarcinoma.
Clin Oncol 14 : 178-179, 2002
- No. 16 Kagohashi K, Satoh H, Homma T, Ohtsuka M, Sekizawa K :
Cerebral hemorrhage in the course of stereotactic radiosurgery.
Clin Oncol 14 : 260-261, 2002
- No. 17 Matsuno Y, Watanabe K, Satoh H, Yamashita YT, Sekizawa K :
Thenar metastasis from lung cancer.
Eur J Cancer Care 11 : 61-62, 2002
- No. 18 Ishii Y, Kimura T, Morishima Y, Mochizuki M, Nomura A, Sakamoto T, Uchida Y, Sekizawa K :
S-carboxymethylcysteine inhibits neutrophil activation mediated by N-formyl-methionyl-leucyl-phenylalanine.
Eur J Pharmacol 449 : 183-189, 2002
- No. 19 Matsumura T, Nakayama M, Nomura A, Naito A, Kamahara K, Kadono K, Onoue M, Homma T, Sekizawa K :
Age-related changes in plasma orexin-A concentrations.
Exp Gerontol 37 : 1127-1130, 2002

- No. 20 Zhang M, Nomura A, Uchida Y, Iijima H, Sakamoto T, Ishii Y, Morishima Y, Mochizui M, Masuyama K, Hirano K, Sekizawa K :
Ebselen suppresses late airway responses and airway inflammation in guinea pigs.
Free Rad Biol Med 32 : 454-464, 2002
- No. 21 Akazawa Y, Satoh H, Takiguchi K, Yamashita YT, Sekizawa K :
Nursing discharge summaries of deceased patients with respiratory diseases.
Int J Nurs Pract 8 : 282-285, 2002
- No. 22 Xiang A, Uchida Y, Nomura A, Iijima H, Sakamoto T, Ishii Y, Morishima Y, Masuyama K, Zhang M, Hirano K, Sekizawa K :
Involvement of thromboxane A₂ in airway mucous cells in asthma-related cough.
J Appl Physiol 92 : 763-770, 2002
- No. 23 Satoh H, Ishikawa H, Ohtsuka M, Sekizawa K :
Herbal medicine in advanced lung cancer patients.
J Alternative and Complementary Med 8 : 107-108, 2002
- No. 24 Satoh H, Ohtomo M, Ishikawa H, Kamma H, Yamashita YT, Ohtsuka M, Sekizawa K :
In vivo advantage of combined administration with CPT-11 and 5-fluorouracil in rats.
J Exp Ther Oncol 2 : 42-46, 2002
- No. 25 Hosoda M, Yamaya M, Suzuki T, Yamada N, Kamanaka M, Sekizawa K, Buffterfield JH :
Effects of rhinovirus infection on histamine and cytokine production by cell lines from human mast cells and basophils.
J Immunol 169 : 1482-1491, 2002
- No. 26 Tanaka A, Hirata M, Omura M, Inoue N, Ueno T, Homma T, Sekizawa K :
Pulmonary toxicity of indium-tin oxide and indium phosphide following intratracheal instillations into the lung of hamsters.
J Occup Health 44 : 99-102, 2002
- No. 27 Omura M, Tanaka A, Hirata M, Inoue N, Ueno T, Homma T, Sekizawa K :
Testicular toxicity evaluation of indium-tin oxide.
J Occup Health 44 : 105-107, 2002
- No. 28 Sekizawa K :
Nasogastric tubes in patients with dysphagia.
Lancet 359 : 80-81, 2002
- No. 29 Sekizawa K :
Inhibitors of angiotensin-converting enzyme and physical function in older women.
Lancet 360 : 1099, 2002
- No. 30 Satoh H, Yamagata A, Yamashita YT, Ohtsuka M, Sekizawa K :
Lung cancer in patients with psychiatric disorders.
Lung cancer 35 : 97, 2002

- No. 31 Satoh H, Ishikawa H, Kurishima K, Yamashita YT, Ohtsuka M, Sekizawa K :
Cut-off levels of NSE to differentiate SCLC from NSCLC.
Oncol Rep 9 : 581-583, 2002
- No. 32 Wen W, Kamma H, Ueno E, Fujiwara M, Satoh H, Hara H, Yashiro T,
Aiyoshi Y :
The intraductal component of breast cancer is poorly responsive to neo-adjuvant
chemotherapy.
Oncol Rep 9 : 1027-1032, 2002
- No. 33 Kadono K, Satoh H, Homma T, Ohtsuka M, Sekizawa K :
Radiotherapy for elderly non-small cell lung cancer patients.
Oncol Rep 9 : 1273-1276, 2002
- No. 34 Satoh H, Ishikawa H, Ohtsuka M, Sekizawa K :
Small cell carcinoma of the pleura.
Southern Medical Journal 95 : 1221, 2002
- No. 35 Satoh H, Ishikawa H, Yamashita YT, Ohtsuka M, Sekizawa K :
Serum sialyl Lewis X-i antigen in lung adenocarcinoma and idiopathic pulmonary
fibrosis.
Thorax 57 : 263-266, 2002
- No. 36 Ishikawa H, Satoh H, Yamashita YT, Ohtsuka M, Sekizawa K :
CEA and survival in patients with stage IA-B NSCLC.
Thoracic Cardiovascular Surgery 50 : 253, 2002
- No. 37 中村 容一, 田中 喜代次, 重松 良裕, 中垣内 真樹, 井上 雅樹, 蒲原 一之,
本間 敏明, 関沢 清久 :
慢性閉塞性肺患者 (COPD) 患者の老化度評価—活力年齢を指標として—
日本健康科学学会誌 vol.18, No.2 : 105-107, 2002
- No. 38 籠橋 克紀, 佐藤 浩昭, 石川 博一, 栗島 浩一, 大塚 盛男, 関沢 清久 :
粉塵吸入歴を有する肺癌症例の検討
日本胸部臨床 61(6) : 560-564, 2002
- No. 39 金本 幸司, 松野 洋輔, 籠橋 克紀, 佐藤 浩昭, 大塚 盛男, 関沢 清久 :
血栓塞栓症を合併した肺癌症例の臨床的検討
日本呼吸器学会雑誌 40(11) : 863-868, 2002
- No. 40 松井 裕文, 久賀 圭祐, 長野 由美子, 菊地 知子, 斎藤 洋子, 大塚 盛男 :
大学職員に対する前立腺特異的抗原を用いた前立腺癌スクリーニングの検討
CAMPUS HEALTH 38(2) : 290-292, 2002
- No. 41 大塚 盛男, 森島 祐子, 松井 裕文, 久賀 圭祐, 清水 珠美, 諸岡 治美,
菊地 知子, 森 慶子, 山添 悦子, 関沢 清久 :
医療関係学生に対する二段階ツベルクリン検査
CAMPUS HEALTH 38(2) : 464-467, 2002

- No. 42 埜口 博司, 宮川 俊平, 奥脇 透, 大塚 盛男, 落合 直之:
投球障害肩の特徴—身体所見, Block Test, 単純 X 線撮影, MR 関節造影及び肩関節鏡にて分析—

CAMPUS HEALTH 38(3): 57-62, 2002

総 説

- No. 1 内藤 明日香, 本間 敏明, 関沢 清久:
慢性閉塞性肺疾患における QOL

呼吸と循環 vol.50 No3: 241-245, 2002

- No. 2 本間 敏明:
在宅酸素療法の pitfall

Medical Practice vol.19: 863, 2002

- No. 3 本間 敏明:
診療ガイドラインレビュー 慢性閉塞性肺疾患 (COPD)

日本内科学会雑誌 vol.91 No6: 188-198, 2002

- No. 4 本間 敏明, 荻谷 政明, 中山 美香, 松村 壮, 内藤 明日香, 上遠野 賢之助,
森 豊, 内山 真幸, 土田 大輔, 植 英規, 瀧田 憲晃, 羽石 秀昭, 西村 英輝,
宮本 忠昭, 山本 直敬, 小藤 昌志, 熊谷 和正, 守屋 浩子, 外山 比南子,
村山 秀雄:

重粒子線治療による肺障害の定量的, 総合的評価に関する臨床的研究

平成13年度放射線医学総合研究所重粒子線がん治療装置等共同利用研究報告書

17-19, 2002

- No. 5 荻谷 政明, 本間 敏明:
喘息発作に対するステロイド投与

Medical Practice vol.19, No. 8: 1380, 2002

- No. 6 本間 敏明:
気管支結核症に注意

Medical Practice vol.19, No. 10: 1750, 2002

- No. 7 本間 敏明:
間質性肺炎の急性増悪

Medical Practice vol.19, No. 12: 2107, 2002

- No. 8 本間 敏明:
気管支結核症

茨城新聞12月, 2002

- No. 9 森島 祐子, 関沢 清久:
インフルエンザワクチンの現状と課題

臨床検査 46(2)175-178, 2002

- No. 10 森島 祐子, 関沢 清久:
気道炎症の病態から見た NO, CO の役割

The LUNG perspectives 10(2): 156-161, 2002

- No. 11 森島 祐子, 関沢 清久 :
海外文献紹介
The LUNG perspectives 10(2) : 249-250, 2002
- No. 12 森島 祐子, 関沢 清久 :
高齢者疾患—Ventilator—Associated pneumonia
分子呼吸器病 6(1) : 70-76, 2002
- No. 13 森島 祐子, 関沢 清久 :
質疑応答 Q&A—胃・食道逆流症における吃逆・咳嗽の治療—
日本醫事新報 No.4090 : 91-92, 2002

著 書

- No. 1 大塚 盛男 :
サルコイドーシス
佐藤 怜 監修 難病の指針 第4版
茨城県医師会 pp140-145, 2002
- No. 2 本間 敏明 :
原発性肺高血圧症
佐藤 怜 監修 難病の指針 第4版
茨城県医師会 pp107-111, 2002
- No. 3 本間 敏明 :
老年病診療 Q&A
六法出版 Vol.37 : 48-51, 2002
- No. 4 増山 久仁子, 内田 義之 :
アンジオテンシン変換酵素阻害薬と咳嗽, 慢性咳嗽を見る
藤村 政樹 編集
医療ジャーナル社 pp190-194, 2002
- No. 5 坂本 透 :
胸部 X 線異常
EXPERT 膠原病・リウマチ (住田孝之編集)
診断と治療社 pp184-190, 2002
- No. 6 坂本 透 :
胸部 X 線異常
ESSENCE 膠原病・リウマチ—診断へのアプローチ (住田孝之編集)
診断と治療社 pp48-49, 2002
- No. 7 佐藤 浩昭 :
検査値から読む病体と診断計画
担当部分 : NSE
担当部分 : 佐藤 浩昭, 石川 博一, 籠橋 克紀
臨床医 28 (増刊号) 中外医学社 : 1308-1309, 2002

- No. 8 佐藤 浩昭：
検査値から読む病体と診断計画
担当部分：CYFRA21-1
担当部分：佐藤浩昭，石川博一，籠橋克紀
臨床医 28（増刊号）中外医学社：1310-1311，2002
- No. 9 佐藤 浩昭：
検査値から読む病体と診断計画
担当部分：pro-GRP
担当部分：佐藤浩昭，石川博一，籠橋克紀
臨床医 28（増刊号）中外医学社：1312-1313，2002
- No. 10 佐藤 浩昭：
再現第96回医師国家試験問題解説書
担当部分：96H-20
担当部分：佐藤浩昭
医学評論社 pp488-489，2002
- No. 11 佐藤 浩昭：
再現第96回医師国家試験問題解説書
担当部分：96H-77
担当部分：佐藤浩昭
医学評論社 pp542，2002
- No. 12 佐藤 浩昭：
再現第96回医師国家試験問題解説書
担当部分：96I-29
担当部分：佐藤浩昭
医学評論社 pp590-592，2002
- No. 13 森島 祐子，関沢 清久：
診断へのアプローチ—主な症状・症候—
呼吸器病 New Approach 8 閉塞性肺疾患
（大田 健，永井 厚志，飛田 渉 編集）
メディカルレビュー社 pp26-30，2002
- No. 14 森島 祐子，関沢 清久：
ウイルス感染症
エクセルナース 8 感染症編（永武 毅，小林 初子 編集）
メディカルレビュー社 pp24-31，2002
- No. 15 森島 祐子，関沢 清久：
まれな疾患
呼吸器病 New Approach 4 内視鏡による呼吸器疾患診療
（大田 健，永井 厚志，飛田 渉 編集）
メディカルレビュー社 pp204-209，2002

No. 16 森島 祐子, 関沢 清久:
老人とサルコイドーシス

老年病診療 Q&A 37号追補版

学会発表

- No. 1 籠橋 克紀, 松野 洋輔, 金本 幸司, 石井 幸雄, 野村 明広, 佐藤 浩昭,
坂本 透, 内田 義之, 本間 敏明, 大塚 盛男, 関沢 清久:
高齢喘息症例の診療経験
第6回 Ibaraki Respiratory Conference (水戸), 1月, 2002.
- No. 2 本間 敏明, 内藤 明日香, 中山 美香, 上遠野賢之助:
重粒子線治療による肺傷害の定量的・総合的研究
H13年度重粒子がん治療装置共同利用研究班会議(千葉), 1月, 2002
- No. 3 斉藤 敏彦, 石川 博一, 栗島 浩一, 菊地 教大, 岡崎 洋雄, 倉持 雅己,
石井 幸雄, 佐藤 浩昭, 大塚 盛男, 関沢 清久:
原発性肺癌に伴う癌性心膜炎に関する臨床的検討
第11回茨城がん学会(水戸), 2月, 2002
第11回茨城がん学会プログラム演題抄録 25, 2002
- No. 4 石川 博一, 野口 祐一, 菅間 博, 矢澤 卓也, 佐藤 浩昭, 大塚 盛男,
関沢 清久, 小形 岳三郎:
肺癌診断における hnRNP A2/B1蛋白質の有用性に関する臨床的研究
第11回茨城がん学会(水戸), 2月, 2002
第11回茨城がん学会プログラム演題抄録 66, 2002
- No. 5 坂本 透, 木村 透, 望月 美恵, 増山 久仁子, 平野 国美, 森島 祐子,
石井 幸雄, 野村 明広, 内田 義之, 大塚 盛男, 関沢 清久:
モルモットにおける誘導型一酸化合成酵素 (iNOS) 遺伝子の発見調節の解析
第42回日本呼吸器学会総会(仙台) 4月, 2002
日本呼吸器学会雑誌 40(増刊号): 154, 2002
- No. 6 野村 明広, 内田 義之, 坂本 透, 石井 幸雄, 森島 祐子, 増山 久仁子,
望月 美恵, 木村 透, 関沢 清久:
喘息患者の痰中 PICP の定量
第42回日本呼吸器学会総会(仙台), 4月, 2002
本呼吸器学会雑誌 40(増刊号): 90, 2002
- No. 7 佐藤 浩昭, 石川 博一, 栗島 浩一, 籠橋 克紀, 船山 康則, 大塚 盛男,
関沢 清久:
肺癌化学療法演題に関する検討
第42回日本呼吸器学会総会(仙台), 4月, 2002
日本呼吸器学会雑誌(40): 183, 2002
- No. 8 石井 幸雄, 望月 美恵, 木村 透, 森島 祐子, 増山 久仁子, 平野 国美,
野村 明広, 坂本 透, 内田 義之, 関沢 清久:
オゾン曝露急性性肺傷害における転移因子 Nrf 2 の役割について
第42回日本呼吸器学会総会(仙台), 4月, 2002

- No. 9 森島 祐子, 石井 幸雄, 木村 透, 望月 美恵, 増山 久仁子 平野 国美, 坂本 透,
野村 明広, 内田 義之, 大塚 盛男, 関沢 清久:
好酸球性気道炎症における NKT 細胞の役割
第42回日本呼吸器学会総会(仙台), 4月, 2002
日本呼吸器学会雑誌 40(増刊号): 101, 2002
- No. 10 角 昌晃, 佐藤 浩昭, 本間 敏明, 大塚 盛男, 関沢 清久:
呼吸器疾患における死亡直前の臨床症状と治療の検討
第42回日本呼吸器学会総会(仙台), 4月, 2002
日本呼吸器学会雑誌 40(増刊号): 211, 2002
- No. 11 石川 博一, 佐藤 浩昭, 大塚 盛男, 関沢 清久:
臨床検体測定に供する hnRNP A2/B1蛋白質定量法の開発の試み
第42回日本呼吸器学会総会(仙台), 4月, 2002
日本呼吸器学会雑誌 40(増刊号): 101, 2002
- No. 12 栗島 浩一, 斎藤 敏彦, 石川 博一, 佐藤 浩昭, 大塚 盛男, 関沢 清久:
70歳以上小細胞肺癌の治療についての検討
第42回日本呼吸器学会総会(仙台), 4月, 2002
日本呼吸器学会雑誌 40(増刊号): 235, 2002
- No. 13 金本 幸司, 松野 洋輔, 籠橋 克紀, 佐藤 浩昭, 大塚 盛男, 関沢 清久:
血栓塞栓症を合併した肺癌症例の臨床的検討
第42回日本呼吸器学会総会(仙台), 4月, 2002
日本呼吸器学会雑誌 40(増刊号): 236, 2002
- No. 14 松野 洋輔, 山口 晶子, 渡辺 厚一, 植野 孝博, 金本 幸司, 本間 晋介,
籠橋 克紀, 栗島 浩一, 斎藤 敏彦, 石川 博一, 佐藤 浩昭, 大塚 盛男,
関沢 清久:
肺癌に対する放射線療法に伴う血清 SP-D および KL-6の変動について
第42回日本呼吸器学会総会(仙台), 4月, 2002
日本呼吸器学会雑誌 40(増刊号): 147, 2002
- No. 15 斎藤 敏彦, 栗島 浩一, 石川 博一, 佐藤 浩昭, 大塚 盛男, 関沢 清久:
胸水, 血清 CEA 同時測定 of 臨床的意義
第42回日本呼吸器学会総会(仙台), 4月, 2002
日本呼吸器学会雑誌 40(増刊号): 240, 2002
- No. 16 籠橋 克紀, 佐藤 浩昭, 石川 博一, 船山 康則, 大塚 盛男, 関沢 清久:
腎機能障害を有する肺癌症例の検討
第42回日本呼吸器学会総会(仙台), 4月, 2002
日本呼吸器学会雑誌 40(増刊号): 236, 2002
- No. 17 松村 壮, 内藤 明日香, 中山 美香, 蒲原 一之, 上遠野賢之助, 本間 敏明,
関沢 清久:
慢性閉塞性肺疾患患者における体格とオレキシン A との関連についての検討
第42回日本呼吸器学会総会(仙台), 4月, 2002
日本呼吸器学会雑誌 40(増刊号): 2002

- No. 18 上遠野 賢之助, 本間 敏明, 中山 美香, 蒲原 一之, 内藤 明日香, 関沢 清久:
肺癌に対する重粒子線治療による肺傷害の定量的解析について
第42回日本呼吸器学会総会(仙台), 4月, 2002
日本呼吸器学会雑誌 40(増刊号): 2002
- No. 19 蒲原 一之, 本間 敏明, 井上 雅樹, 松村 壮, 上遠野賢之助, 中山 美香,
関沢 清久:
慢性閉塞性肺疾患(COPD)患者の至適運動強度に関する考察
第42回日本呼吸器学会総会(仙台), 4月, 2002
日本呼吸器学会雑誌 40(増刊号): 2002
- No. 20 木村 透, 石井 幸雄, 森島 祐子, 望月 美恵, 平野 国美, 増山 久仁子,
野村 明広, 坂本 透, 内田 義之, 関沢 清久:
 α -ガラクトシルセラミドによるマウスブレオマイシン肺線維症の抑制効果
第42回日本呼吸器学会総会(仙台), 4月, 2002
- No. 22 梶 博久, 福永 壽晴, 黄 正寿, 高橋 敬治, 大谷 信夫, 浅本 仁, 渡久 地政茂,
東條 尚子, 須賀 洋子, 岸本 伸人, 大西 久子, 本間 敏明, 新井 健二,
中村 健二, 中村 正人, 津村 恵彦:
気道抵抗/気道コンダクタンスを用いた気道過敏性の評価
第42回日本呼吸器学会総会(仙台), 4月, 2002
- No. 23 大西 久子, 岸本 伸人, 福永 壽晴, 梶 博久, 大谷 信夫, 黄 正寿, 高橋 敬治,
東條 尚子, 須賀 洋子, 本間 敏明, 新井 健二, 中村 正人, 津村 恵彦:
ボディボックスを用いて測定したフローボリューム曲線の検討
第42回日本呼吸器学会総会(仙台) 4月, 2002
- No. 24 田中 昭代, 平田 美由紀, 木村 実, 横田 裕之, 井上 尚英, 本間 敏明:
インジウム・スズ酸化物及びインジウムリンのハムスターを用いた反復気管内投与
実験-1. 肺毒性-
第75回産業衛生学会器学会(神戸) 4月, 2002
- No. 25 木村 実, 田中 昭代, 平田 美由紀, 横田 裕之, 井上 尚英, 本間 敏明:
インジウム・スズ酸化物及びインジウムリンのハムスターを用いた反復気管内投与
実験-2. 精巢毒性-
第75回産業衛生学会器学会(神戸) 4月, 2002
- No. 26 Ishii Y, Kimura T, Morishima Y, Mochizuki M, Nomura A, Uchida Y, Sakamoto T,
Sekizawa K:
S-carboxymethylcysteine inhibits neutrophil activation mediated by N-formyl-
methionyl-leucyl-phenylalanine
2002 International Conference of American Thoracic Society (Atlanta)
5月, 2002
Am J Respir Crit Care Med. 165(8), A543, 2002

- No. 27 Morishima Y, Ishii Y, Kimura T, Nomura A, Uchida Y, Sakamoto T, Sekizawa K :
Regulation of allergen-induced eosinophilic airway inflammation by alpha-galactosylceramide
2002 International Conference of American Thoracic Society (Atlanta)
5月, 2002
Am J Respir Crit Care Med. 165(8), A730, 2002
- No. 28 Kimura T, Ishii Y, Morishima Y, Mochizuki M, Sakamoto T, Nomura A, Uchida Y, Sekizawa K :
 α -Galactosylceramide Attenuates Bleomycin-Induced Pulmonary Fibrosis
2002 International Conference of American Thoracic Society (Atlanta)
5月, 2002
Am J Respir Crit Care Med. 165(8), A169, 2002
- No. 29 菊池 教大, 児玉 孝秀, 本間 晋介, 佐藤 浩昭, 坂本 透, 大塚 盛男, 関沢 清久 :
気腫化病変を有し, 診断にCTが有用であった気胸の2例
第116回茨城県南呼吸器研究会(土浦)6月, 2002
- No. 30 本間 晋介, 菊池 教大, 児玉 孝秀, 石井 幸雄, 野村 明宏, 佐藤 浩昭, 坂本 透, 内田 義之, 本間 敏明, 大塚 盛男, 関沢 清久 :
心房内血栓を同時摘除した肺癌の1例
第150回日本呼吸器学会関東地方会(東京)7月, 2002
- No. 31 児玉 孝秀, 菊池 教大, 本間 晋介, 石井 幸雄, 野村 明広, 佐藤 浩昭, 坂本 透, 内田 義之, 本間 敏明, 大塚 盛男, 関沢 清久 :
元素分析を施行し得た上葉優位型肺線維症例の検討
第7回 Ibaraki Respiratory Conference (つくば) 7月, 2002
- No. 32 森島 祐子, 木村 透, 石井 幸雄, 望月 美恵, 野村 明広, 坂本 透, 内田 義之, 関沢 清久 :
好酸球性気道炎症における Natural Killer T (NKT) 細胞の役割
第22回 RMCB 研究会(東京)7月, 2002
- No. 33 本間 敏明, 内藤 明日香, 中山 美香, 上遠野賢之助 :
重粒子線治療による肺障害の定量的総合的研究
H14年度重粒子がん治療装置等共同利用研究班会議(千葉)8月, 2002
- No. 34 木村 透, 石井 幸雄, 望月 美恵, 野村 明広, 坂本 透, 内田 義之, 関沢 清久 :
Natural Killer T 細胞活性化によるマウスブレオマイシン肺線維症の制御
第5回間質性肺炎細胞分子病体研究会(那須)8月, 2002
- No. 35 菊池 教大, 児玉 孝秀, 本間 晋介, 石井 幸雄, 野村 明広, 佐藤 浩昭, 坂本 透, 内田 義之, 本間 敏明, 大塚 盛男, 関沢 清久, 栗島 浩一, 斉藤 敏彦, 石川 博一 :
両肺尖に対称性陰影を呈し気管支肺泡洗浄が診断に有用であった好酸球性肺炎の1例
第102回日本気管支学会関東支部会(東京)10月, 2002

- No. 36 宮川 俊平, 松井 裕文, 久賀 圭祐, 大塚 盛男, 諸岡 治美, 菊地 知子,
森 慶子:
大学各種スポーツ行事における障害(疾病を含む)の発生頻度の違いについて
第40回保健管理研究集会(東京)10月, 2002
CAMPUS HEALTH 39: 65, 2002
- No. 37 久賀 圭祐, 松井 裕文, 平沼 ゆり, 石津 智子, 森島 祐子, 大塚 盛男:
新しい降圧剤の高圧指標(「降圧力価」)による降圧剤の評価
第40回保健管理研究集会(東京)10月, 2002
CAMPUS HEALTH 39: 71, 2002
- No. 38 大塚 盛男, 森島 祐子, 松井 裕史, 久賀 圭祐, 諸岡 治美, 菊地 知子,
森 慶子, 山添 悦子, 関沢 清久:
二段階ツベルクリン反応検査法置ける硬結径の変動について
第40回保健管理研究集会(東京)10月, 2002
CAMPUS HEALTH 39: 72, 2002
- No. 39 遊佐 浩, 大塚 盛男, 武田 さき子, 竹田 弘美, 福島 幸子, 吉田 廣:
大学生の智歯抜歯時の不安
第40回保健管理研究集会(東京)10月, 2002
CAMPUS HEALTH 39: 82, 2002
- No. 40 木村 透, 石井 幸雄, 森島 祐子, 望月 美恵, 野村 明広, 坂本 透, 内田 義之,
関沢 清久:
ナチュラルキラー-T細胞活性化によるブレオマイシン肺線維症の制御
第12回那須呼吸シンポジウム(那須)10月, 2002
- No. 41 菊池 教大, 児玉 孝秀, 本間 晋介, 石井 幸雄, 野村 明広, 佐藤浩 昭,
坂本 透, 内田 義之, 本間 敏明, 栗島 浩一, 斉藤 敏彦, 石川 博一,
大塚 盛男, 関沢 清久:
診断に胸部CTが有用であった気胸の二例
第167回茨城県内科集談会(水戸)10月, 2002
- No. 42 小川 良子, 菊池 教大, 児玉 孝秀, 本間 晋介, 石井 幸雄, 野村 明広,
佐藤 浩昭, 坂本 透, 内田 義之, 本間 敏明, 大塚 盛男, 関沢 清久:
診断に胸部CTが有用であった気胸の二例
第24回茨城医学会 内科文科会
第167回茨城県内科集談会(水戸)10月, 2002
- No. 43 菊池 教大, 本間 晋介, 児玉 孝秀, 石井 幸雄, 野村 明広, 佐藤 浩昭,
坂本 透, 内田 義之, 本間 敏明, 大塚 盛男, 関沢 清久:
術後12年を経過して再発したI期肺腺癌の一例
第152回日本呼吸器学会関東地方会(水戸)11月, 2002
- No. 44 日下部 学, 菊池 教大, 児玉 孝秀, 本間 晋介, 佐藤 浩昭, 大塚 盛男,
関沢 清久:
進行肺腺癌に対する人参養栄湯投与経験
第11回日本東洋医学会関東甲信越支部茨城県部会(つくば)11月, 2002
日本東洋医学会関東甲信越支部第11回茨城部会教育講演会要項集: 18, 2002

- No. 45 栗島 浩一, 石川 博一, 籠橋 克紀, 本間 晋介, 舩山 康則, 佐藤 浩昭,
大塚 盛男, 関沢 清久:
初診時に肺, 骨同時転移を認めた肺癌症例の検討
第43回肺癌学会総会(福岡)11月, 2002
肺癌 42(5): 507, 2002
- No. 46 本間 晋介, 石川 博一, 籠橋 克紀, 栗島 浩一, 舩山 康則, 佐藤 浩昭,
大塚 盛男, 関沢 清久:
骨初発肺癌症例の検討
第43回肺癌学会総会(福岡)11月, 2002
肺癌42(5): 508, 2002
- No. 47 籠橋 克紀, 石川 博一, 本間 晋介, 栗島 浩一, 舩山 康則, 佐藤 浩昭,
大塚 盛男, 関沢 清久:
初診時に肝転移を有する肺癌症例の検討
第43回肺癌学会総会(福岡)11月, 2002
肺癌 42(5): 508, 2002
- No. 48 藤原 正親, 管間 博, 呉 文文, 金子 節子, 佐藤 浩昭:
肺癌培養細胞におけるテロメラーゼ活性とその調節機構
第43回肺癌学会総会(福岡)11月, 2002
肺癌 42(5): 510, 2002
- No. 49 石川 博一, 籠橋 克紀, 本間 晋介, 舩山 康則, 佐藤 浩昭, 大塚 盛男,
関沢 清久:
医療関係者に見られた肺癌症例の検討
第43回肺癌学会総会(福岡)11月, 2002
肺癌 42(5): 542, 2002
- No. 50 上遠野賢之助, 本間 敏明, 甲斐 幸子, 蒲原 一之, 中山 美香, 関沢 清久,
宮本 忠昭:
肺癌に対する重粒子線治療における合併肺疾患による晩期肺傷害の差異について
第39回日本臨床生理学会総会(金沢)11月, 2002
- No. 51 甲斐 幸子, 本間 敏明, 蒲原 一之, 中山 美香, 上遠野賢之助, 関沢 清久:
在宅夜間酸素飽和度足底の有用性についての検討
第39回日本臨床生理学会総会(金沢)11月, 2002
- No. 52 蒲原 一之, 本間 敏明, 上遠野賢之助, 中山 美香, 甲斐 幸子, 井上 雅樹,
関沢 清久:
慢性閉塞性肺疾患(COPD)患者に対してのサーキットトレーニングの試み
第39回日本臨床生理学会総会(金沢)11月, 2002
- No. 53 関沢 清久:
ランチョンセミナー: 誤嚥性肺炎の病態と治療
第39回日本臨床生理学会総会(金沢)12月, 2002

その他

- No. 1 関沢 清久：
高齢者の肺炎の予防について
鹿島市郡医師会学術講演会(鹿島)，1月，2002
- No. 2 関沢 清久：
高齢者肺炎の予防
第1回広島薬物療法研究会(広島)1月，2002
- No. 3 大塚 盛男：
肺癌の部位診断
第86回つくば呼吸器勉強会(つくば)1月，2002
- No. 4 関沢 清久：
高齢者肺炎の予防
学術講演会(高槻)2月，2002
- No. 5 関沢 清久：
呼吸器感染症の新しい治療
水戸市医師会学術講演会(水戸)5月，2002
- No. 6 関沢 清久：
高齢者の呼吸器感染症—肺炎の最新治療
学術講演会(いわき)5月，2002
- No. 7 関沢 清久：
高齢者肺炎の予防
学術講演会(佐原)5月，2002
- No. 8 関沢 清久：
呼吸器感染症の新しい治療
学術講演会(日立)5月，2002
- No. 9 大塚 盛男：
健康管理
筑波大学職員研修(つくば)6月，2002
- No. 10 大塚 盛男：
市中肺炎の診断と治療
第67回取手呼吸器勉強会(取手)6月，2002
- No. 11 大塚 盛男：
比較的まれな呼吸器疾患
第89回筑波呼吸器勉強会(つくば)7月，2002
- No. 12 大塚 盛男：
気管支喘息の治療と患者指導
つくば市薬剤師会学術講演会(つくば)7月，2002
- No. 13 関沢 清久：
気道過敏性の病態と治療
学術講演会(秋田)9月，2002

No. 14 大塚 盛男：

最近の肺癌の治療および市中肺炎のガイドラインについて

下館医師会平成14年度研修会(下館) 9月, 2002

No. 15 関沢 清久：

喘息の新しい治療

学術講演会(新潟) 9月, 2002

No. 16 大塚 盛男：

健康管理

筑波大学職員研修(つくば)10月, 2002

No. 17 関沢 清久：

高齢者肺炎の予防

学術講演会(岐阜)12月, 2002

2002年（腎臓内科グループ）

原 著

- No. 1 Yamagata K., Takahashi H., Tomida C., Yamagata Y., Koyama A :
Prognosis of asymptomatic hematuria and/or proteinuria in men : High prevalence of IgA nephropathy among proteinuric patients found in mass screening.
Nephron 91(1) : 34-42, 2002
- No. 2 Muro K., Yamagata K., Kobayashi K., Hirayama K., Koyama A. :
Usage of T cell receptor variable segments of the beta-chain in IgA nephropathy.
Nephron 92(1) : 56-63, 2002
- No. 3 Hirayama K., Ebihara I., Yamamoto S., Kai H., Muro K., Yamagata K., Kobayashi M., Koyama A. :
Predominance of type 2 immune response in idiopathic membranous nephropathy: cytoplasmic cytokine analysis.
Nephron 91(2) : 255-261, 2002
- No. 4 Silveira SA., Kikuchi S., Fossati-Jumack L., Moll T., Saito T., Verbeek JS., Botto M., Walport MJ., Carroll M., Izui S. :
Complement Activation Selectively Potentiates the Pathogenicity of the IgG2b and IgG3 Isotypes of a High Affinity Anti-Erythrocyte Autoantibody
J Exp med 195(6) : 1-9, 2002
- No. 5 高田 健治, 永瀬 宗重, 平山 暁, 植田 敦志, 樗木 隆聡, 小原 真美, 井上真理子, 小山 哲夫 :
遮光血液透析は透析中の過酸化脂質の増加を抑制する
Therapeutic Research 23(7) : 1361-1363, 2002
- No. 6 山木万里郎, 小山 哲夫 :
カンデサルタン・シレキセチルの腎保護効果
臨床医薬 18(4) : 615-622, 2002
- No. 7 植田 敦志, 永瀬 宗重, 横山 秀克, 大矢 博昭, 鎌田 仁, 平山 暁, 小山 哲夫 :
腎臓における TEMPOL の還元機序の解明とピュロマイシン腎症のミトコンドリア障害の証明
磁気共鳴と医学 13 : 214-216, 2002
- No. 8 小林 正貴, 中村日出子, 間瀬かおり, 平山 浩一, 小山 哲夫 :
慢性糸球体腎炎患者における低用量 Losartan の腎保護作用の検討.
腎と透析 53(4) : 505-509, 2002
- No. 9 山木万里郎, 植草 義史, 小山 哲夫 :
長期透析 HIV 陽性患者の CAPD 導入
腎と透析 53(別冊)腹膜透析326-329, 2002
- No. 10 Yamagata K., Muro K., Usui J., Hagiwara M., Kai K., Arakawa Y., Shimizu Y., Tomida C., Hirayama K., Kobayashi K., Koyama A. :
Mitochondrial DNA mutations in focal segmental glomerulosclerosis lesions.
Journal of American Society of Nephrology 13(7) : 1816-1823, 2002

- No. 11 Hirayama A., Nagase S., Gotoh M., Ueda A., Ishizu T., Yoh K., Aoyagi K., Terao J., Koyama A. :

Reduced serum hydroxyl radical scavenging activity in erythropoietin therapy resistant renal anemia.

Free Radic Res 26 : 1155-1161, 2002

- No. 12 平山 暁, 楊 景堯, 永瀬 宗重, 伊東 健, 植田 敦志, 森戸 直記, 樗木 隆聡, 小原 真美, 高田 健治, 高橋 智, 山本 雅之, 青柳 一正, 小山 哲夫 :

抗酸化応答配列関連転写因子 : Nrf2の遺伝子欠損マウスにおけるレドックス状態の in vivo ESR による画像化

横沢隆子, 湯川 進監修, 宗 正敏, 青柳一正編集.

腎とフリーラジカル 6 : 98-101 東京 : 東京医学社, 2002

- No. 13 Ueda A., Yokoyama H., Nagase S., Hirayama A., Koyama A., Ohya H., Kamada H. :

In vivo temporal EPR imaging for estimating the kinetics of a nitroxide radical in the renal parenchyma and pelvis in rats.

Magnetic Resonance Imaging 20 : 77-82, 2002

- No. 14 Ueda A., Nagase S., Yokoyama H., Tada M., Ohya H., Kamada H., Hirayama A., Koyama A. :

Identification by an EPR technique of decreased mitochondrial reducing activity in puromycin aminonucleoside-induced nephrosis.

Free Radical Biology and Medicine 33 : 1082-1088, 2002

- No. 15 高田 健治, 永瀬 宗重, 平山 暁, 植田 敦志, 樗木 隆聡, 小原 真美, 井上真理子, 小山 哲夫 :

遮光透析は透析中の過酸化脂質の増加を抑制する.

Therapeutic Research 23(7) : 1361-1363, 2002

- No. 16 Kamezaki T., Yanaka K., Nagase S., Fujita K., Kato N., Nose T. :

Increased levels of lipid peroxides predict symptomatic vasospasms and poor outcome after aneurismal subarachnoid hemorrhage.

Journal of Neurosurgery 97 : 1302-1305, 2002

総 説

- No. 1 下畑 誉, 平山 浩一, 小山 哲夫 :

図解 やさしい腎臓病講座 腎臓病の治療総論 IgA 腎症

腎と透析 53(1) : 6-9, 2002

- No. 2 山縣 邦弘, 小山 哲夫 :

専門医がすすめる最新処方128 こんな時, この処方 推薦処方とその解説
急速進行性糸球体腎炎

今月の治療 9(臨増) : S192-S193, 2002

- No. 3 山縣 邦弘, 小山 哲夫 :

職域検尿の実態調査と追跡調査

腎と透析 52(2) : 167-172, 2002

- No. 4 楊 景堯, 小山 哲夫:
遺伝子改変マウスを用いた糸球体腎炎における転写因子の機能解析
腎と透析 52(2):197-201, 2002
- No. 5 山縣 邦弘, 小山 哲夫:
急速進行性糸球体腎炎
検査と技術 30(2):100-105, 2002
- No. 6 堺 秀人, 黒川 清, 小山 哲夫, 有村 義宏, 木田 寛, 重松 秀一, 鈴木 理志,
二瓶 宏, 槇野 博史, 上田 尚彦, 川村 哲也, 下条 文武, 斉藤 喬雄,
原田 孝司, 比企 能之, 吉田 雅治:
急速進行性腎炎症候群の診療指針
日本腎臓学会誌 44(2):55-82, 2002
- No. 7 平山 浩一, 山縣 邦弘, 小山 哲夫:
腎不全 透析を回避する治療戦略 急速進行性腎炎の治療指針.
Medical Practice 19(3):459-465, 2002
- No. 8 山縣 邦弘:
保存期慢性腎不全の生活制限
腎と透析 53(4):499-503, 2002
- No. 9 平山 浩一, 山縣 邦弘, 小山 哲夫:
本邦臨床統計集(3).急速進行性糸球体腎炎.
日本臨床 60(増刊号):436-446, 2002
- No. 10 小山 哲夫, 平山 浩一:
急性・急速進行性腎炎症候群.
日本内科学会雑誌 91(5):113-117, 2002
- No. 11 小山 哲夫, 平山 浩一:
内科 100年のあゆみ(腎臓) 主要疾患の歴史 急性・急速進行性糸球体腎炎
日本内科学会雑誌 91(5):1479-1483, 2002
- No. 12 石田 尚志, 伊藤 克己, 小山 哲夫, 椎貝 達夫, 中尾 俊之, 二瓶 宏,
御手洗哲也:
内科 100年のあゆみ(腎臓) 診療ガイドラインレビュー 腎疾患患者の生活指導・食
事療法手引き
日本内科学会雑誌 91(5):1547-1560, 2002
- No. 13 平山 浩一, 小山 哲夫:
EBMのための内科疾患データファイル 治療方針決定のために 腎臓急速進行性糸球
体腎炎.
内科 89(6):1200-1206, 2002
- No. 14 平山 浩一, 小山 哲夫:
検査値から読む病態と診断計画 検査値から病態へのアプローチ α_1 -ミクログロブリン.
臨床医 28(増刊号):960-961, 2002

- No. 15 平山 浩一, 小山 哲夫:
検査値から読む病態と診断計画 検査値から病態へのアプローチ 血液生化学検査免疫複合体
臨床医 28(増刊号): 991-992, 2002
- No. 16 平山 浩一, 小山 哲夫:
ANCA 関連腎炎症候群.
臨床と研究 79(7): 1119-1125, 2002
- No. 17 植田 敦志, 湯原 孝典, 飯田 啓治, 八木 浩治, 永瀬 宗重, 平山 暁,
小山 哲夫:
腎不全患者の頸動脈硬化病変の検討
茨城県農村医学会雑誌 15: 18-20, 2002
- No. 18 小林 正貴, 甲斐 平康, 間瀬かおり, 平山 浩一, 小山 哲夫:
IgA 腎症合併妊娠における腎機能予後に関する臨床的検討.
腎と透析 53(5): 653-660, 2002
- No. 19 平山 浩一, 小山 哲夫:
腎疾患治療薬マニュアル 腎疾患に使用する薬剤 ステロイド薬
腎と透析 53(増刊号): 18-21, 2002
- No. 20 間瀬かおり, 小山 哲夫:
腎疾患治療薬マニュアル 腎疾患に使用する薬剤 抗凝固薬
腎と透析 53(増刊号): 22-24, 2002
- No. 21 平山 浩一, 小山 哲夫:
腎疾患治療薬マニュアル. 疾患別くすりの使い方 急速進行性腎炎症候群.
腎と透析 53(増刊号): 117-122, 2002
- No. 22 平山 浩一, 小山 哲夫:
蛋白尿から慢性腎炎の発見まで.
成人病と生活習慣病 32(12): 1577-1580, 2002

著 書

- No. 1 平山 浩一, 小山 哲夫:
抗糸球体基底膜抗体型急速進行性糸球体腎炎と Goodpasture 症候群.
専門医のための腎臓病学 (下条 文武, 内山 聖, 富野康日己 編)
医学書院, 東京, pp.176-183, 2002
- No. 2 小山 哲夫, 北岡 建樹, 飯野 靖彦, 五十嵐 隆:
腎疾患治療薬マニュアル
腎と透析53増刊 (腎と透析編集委員会 監修, 二瓶 宏 編集)
東京医学社, 東京, 2002
- No. 3 山縣 邦弘, 小山 哲夫:
特発性半月体形成性腎炎
腎疾患最新の治療2002-2004 (飯野 靖彦, 榎野 博史, 二瓶 宏 編)
南江堂, 東京, pp.94-96, 2002

- No. 4 山縣 邦弘, 小山 哲夫
急速進行性糸球体腎炎 専門医がすすめる最新処方128
今月の治療 別冊, 総合医学社, S192-193, 2002
- No. 5 平山 暁, 楊 景堯, 永瀬 宗重, 伊東 健, 植田 敦志, 森戸 直記, 樗木 隆聡,
小原 真美, 高田 健治, 高橋 智, 山本 雅之, 青柳 一正, 小山 哲夫:
抗酸化応答配列関連転写因子: Nrf2の遺伝子欠損マウスにおけるレドックス状態の in
vivo ESR による画像化
腎とフリーラジカル 6 (横沢隆子, 湯川 進 監修, 宗 正敏, 青柳 一正 編)
東京医学社, 東京, pp98-101, 2002
- No. 6 平山 暁, 永瀬 宗重, 後藤 達宏, 植田 敦志, 青柳 一正, 小山 哲夫:
血清抗酸化能の低下を伴う rHuEPO 抵抗性腎性貧血に関する検討—赤血球膜過酸化脂
質の増加と血清ヒドロキシラジカル消去能の低下—
腎とフリーラジカル 6 (横沢隆子, 湯川 進 監修, 宗 正敏, 青柳 一正 編)
東京医学社, 東京, pp224-228, 2002
- No. 7 増田 和実, 田辺 解, 平山 暁, 永瀬 宗重, 久野 譜也:
酸化ストレス耐性の向上を目的とした有酸素的身体トレーニングの有用性について
—ESR を用いた活性酸素消去活性の評価—
健康医科学 研究助成論文集, pp80-88, 2002

学会発表

- No. 1 杉本 浩一, 樗木 隆聡, 平山 浩一, 永瀬 宗重, 小山 哲夫:
高度の貧血と蛋白尿を呈した Nutcracker 症候群の 1 例.
第497回日本内科学会関東地方会(東京), 2月, 2002
- No. 2 高田 健治, 永瀬 宗重, 平山 暁, 植田 敦志, 樗木 隆聡, 小原 真美,
小山 哲夫:
遮光血液透析は透析中の過酸化脂質の増加を抑制する.
第14回腎と脂質研究会(福岡), 2月, 2002
- No. 3 植田 敦志, 永瀬 宗重, 平山 暁, 小山 哲夫, 横山 秀克, 多田 美香:
腎疾患とフリーラジカル —病態解析への ESR の応用—
生物ラジカル研究所 年次研究発表会(山形), 2月, 2002
- No. 4 永瀬 宗重, 平山 暁, 植田 敦志, 高田 健治, 樗木 隆聡, 小原 真美,
平山 浩一, 楊 景堯, 室 かおり, 小山 哲夫:
光遮断血液回路とダイアライザーを用いた新しい血液透析法は, 透析中の一酸化窒素
産生の抑制により透析低血圧を防止し, かつ透析中の過酸化脂質の増加も抑制する
第99回日本内科学会講演会(名古屋), 3月, 2002
- No. 5 平山 浩一, 甲斐 平康, 下畑 誉, 室 かおり, 平山 暁, 楊 景堯, 永瀬 宗重,
小山 哲夫, 中村日出子, 小林 正貴:
微小変化型ネフローゼ症候群(MCNS)におけるステロイド依存性獲得の機序の検討
第99回日本内科学会講演会(名古屋), 3月, 2002

- No. 6 小林 正貴, 中村日出子, 室 かおり, 小山 哲夫:
低用量 Losartan による腎保護作用について 慢性糸球体腎炎における検討
第99回日本内科学会講演会(名古屋), 3月, 2002
- No. 7 山縣 邦弘, 平山 浩一, 室 かおり, 小山 哲夫:
ANCA 関連血管炎免疫抑制薬をどのように用いるか: 初期治療としての免疫抑制薬の位置づけ
第46回日本リウマチ学会ワークショップ(神戸), 4月, 2002
- No. 8 平山 暁, 楊 景堯, 永瀬 宗重, 伊東 健, 植田 敦志, 森戸 直記, 山本 雅之, 高橋 智, 小山 哲夫:
自己免疫疾患モデル Nrf2欠損マウスの病変発症過程における組織還元能変化
—In vivo ESR による解析—
第24回日本フリーラジカル学会(大阪), 5月, 2002
- No. 9 永瀬 宗重, 平山 暁, 植田 敦志, 高田 健治, 樗木 隆聡, 小原 真美, 下澤由香里, 小山 哲夫, 佐々木正富, 猿橋 誠, 寺尾 純二:
遮光血液透析は透析中の一酸化窒素産生, 過酸化脂質産生, 低血圧を抑制する。
第24回日本フリーラジカル学会(大阪), 5月, 2002
- No. 10 植田 敦志, 永瀬 宗重, 平山 暁, 樗木 隆聡, 小山 哲夫, 横山 秀克, 大矢 博昭, 鎌田 仁:
アシル保護化ヒドロキシルアミンを用いた実験腎炎における酸化ストレスの in vivo 計測
第24回日本フリーラジカル学会(大阪), 5月, 2002
- No. 11 加藤 徳之, 谷中 清之, 永瀬 宗重, 兵藤 行志, 平山 暁, 能勢 忠男:
脳虚血再灌流モデルにおける Tempol の脂質過酸化抑制ならびに脳保護効果
第24回日本フリーラジカル学会(大阪), 5月, 2002
- No. 12 森戸 直記, 楊 景堯, 下畑 誉, 平山 暁, 小山 哲夫:
Nrf2欠損は Fas 障害による自己免疫性腎炎を改善する
第45回日本腎臓学会学術総会(大阪), 5月, 2002
- No. 13 樗木 隆聡, 平山 暁, 永瀬 宗重, 植田 敦志, 楊 景堯, 高田 健治, 小原 真美, 青柳 一正, 小山 哲夫:
腎内因性 NO の生体用電子スピン共鳴法(in vivo ESR)による画像化
第45回日本腎臓学会学術総会(大阪), 5月, 2002
- No. 14 平山 暁, 楊 景堯, 永瀬 宗重, 植田 敦志, 森戸 直記, 樗木 隆聡, 小原 真美, 高田 健治, 青柳 一正, 小山 哲夫:
抗酸化応答関連転写因子 Nrf2欠損マウスのループス病変発症過程における組織抗酸化能の低下
第45回日本腎臓学会学術総会(大阪), 5月, 2002
- No. 15 小林 正貴, 中村日出子, 室 かおり, 小山 哲夫:
慢性糸球体腎炎患者における低用量 Losartan の腎保護作用の検討 TGF- β を中心に
第45回日本腎臓学会学術総会(大阪), 5月, 2002

- No. 16 白井 丈一, 金本 勝義, 泊 真介, 舒 宇静, 長田 道夫, 室 かおり, 楊 景堯,
山縣 邦弘, 永瀬 宗重, 小山 哲夫, 山口 直人, 竹村 克己:
ヒト半月体構成細胞における cadherin-datenin 発現の組織的検討
第45回日本腎臓学会学術総会(大阪), 5月, 2002
- No. 17 海老原 至, 平山 浩一, 山本 聡, 室 かおり, 山縣 邦弘, 山口 直人,
中村日出子, 小林 正貴, 小山 哲夫:
IgA 腎症症例における Th1/Th2 predominancy の検討
第45回日本腎臓学会学術総会(大阪), 5月, 2002
- No. 18 白井 丈一, 舒 宇静, 泊 真介, 金本 勝義, 長田 道夫, 小山 哲夫, 栗原 秀剛,
坂井 建雄, 高橋 孝宗:
ラット podocyte における cadherin-catenin の発現 p120 catenin を中心として
第45回日本腎臓学会学術総会(大阪), 5月, 2002
- No. 19 白井 丈一, 金本 勝義, 泊 真介, 舒 宇静, 長田 道夫, 室 かおり, 楊 景堯,
山縣 邦弘, 永瀬 宗重, 小山 哲夫:
ヒト半月体構成細胞における cadherin-catenin 発現の組織学的検討
第45回日本腎臓学会学術総会(大阪), 5月, 2002
- No. 20 高田 健治, 永瀬 宗重, 平山 暁, 植田 敦志, 樗木 隆聡, 小原 真美,
鈴木 裕道, 小山 哲夫:
遮光血液透析の効果 (part 1) 一酸化窒素産生抑制と透析低血圧の抑制効果について。
第45回日本腎臓学会学術総会(大阪), 5月, 2002
- No. 21 永瀬 宗重, 平山 暁, 植田 敦志, 高田 健治, 樗木 隆聡, 小原 真美,
鈴木 裕道, 小山 哲夫:
遮光血液透析の効果 (part 2) 血中過酸化脂質産生の抑制効果と機序について。
第45回日本腎臓学会学術総会(大阪), 5月, 2002
- No. 22 植田 敦志, 永瀬 宗重, 平山 暁, 樗木 隆聡, 高田 健治, 小山 哲夫,
横山 秀克, 大矢 博昭, 鎌田 仁:
In vivo 電子スピン共鳴法によるピュロマイシン腎症の活性酸素産生亢進の証明
第45回日本腎臓学会学術総会(大阪), 5月, 2002
- No. 23 山本万里郎, 小山 哲夫:
慢性腎不全患者の腸内環境
第45回日本腎臓学会学術総会(大阪), 5月, 2002
- No. 24 飯野 靖彦, 出浦 照国, 梅村 敏, 川村 哲也, 北島 武之, 小山 哲夫,
椎貝 達夫, 杉崎 徹三, 鈴木 洋通, 富野康日己, 他:
保存期腎不全患者における AII 受容体拮抗薬ロサルタンの抗蛋白尿効果(J-LIGHT 試験中間報告)
第45回日本腎臓学会学術総会(大阪), 5月, 2002
- No. 25 Nagase S., Hirayama A., Ueda A., Takada K., Oteki T., Obara M., Suzuki H.,
Shimozawa Y., Terao J., Koyama A.:
Why don't we care the harmful effects of light irradiation during hemodialysis?
26th International Congress of Internal Medicine (Kyoto, Japan), May, 2002

- No. 26 Koyama A., Sharmin S., Shimizu Y., Muro K., Hirayama K., Usui J., Yamagata K., Yoh K., Hirayama A., Nagase S. :
Staphylococcus aureus is a new candidate for a pathogen of IgA nephropathy
26th International Congress of Internal Medicine (Kyoto, Japan), May, 2002
- No. 27 Sharmin S., Shimizu Y., Muro K., Hirayama K., Oteki T., Usui J., Yamagata K., Hirayama A., Yoh K., Koyama A. :
Staphylococcus aureus antigens induce IgA-type glomerulonephritis in Balb/c Mice
26th International Congress of Internal Medicine (Kyoto, Japan), May, 2002
- No. 28 Koyama A., Shimizu Y., Sharmin S., Muro K., Hirayama K., Kai H., Usui J., Yamagata K., Hirayama A., Yoh K. :
Staphylococcus aureus cell envelope antigens are localized in glomeruli from patients with IgA related nephropathy
26th International Congress of Internal Medicine (Kyoto, Japan), May, 2002
- No. 29 Ebihara I., Yamaguchi N., Hirayama K., Muro K., Yamagata K., Koyama A. :
Th2 predominance at the single-cell level in patients with IgA nephropathy
26th International Congress of Internal Medicine (Kyoto, Japan), May, 2002
- No. 30 Suzuki H., Nagase S., Wang Y., Kikuchi S., Hirayama A., Ueda A., Takada K., Ohteki T., Koyama A. :
Association of eNOs gene polymorphisms with end stage renal diseases
26th International Congress of Internal Medicine (Kyoto, Japan), May, 2002
- No. 31 平山 暁, 永瀬 宗重, 楊 景堯, 樗木 隆聡, 甲斐 平康, 下畑 誉, 白井 丈一, 室 かおり, 山縣 邦弘, 平山 浩一, 小山 哲夫 :
白血球吸着療法施行中の抗酸化動態
第22回日本アフェレシス学会学術大会(札幌), 6月, 2002
- No. 32 甲斐 平康, 山縣 邦弘, 室 かおり, 平山 暁, 楊 景堯, 平山 浩一, 永瀬 宗重, 小山 哲夫, 河合 弘二, 赤座 英之, 長田 道夫 :
腎細胞癌免疫療法中に急速進行性糸球体腎炎(RPGN)が出現し二重膜濾過血漿交換療法(DFPP)単独療法が奏功した1例
第22回日本アフェレシス学会学術大会(札幌), 6月, 2002
- No. 33 高田 健治, 永瀬 宗重, 平山 暁, 植田 敦志, 楊 景堯, 平山 浩一, 小山 哲夫 :
遮光血液透析は透析中の一酸化窒素産生を抑制し, 透析低血圧と過酸化脂質産生を抑制する.
第24回茨城高血圧研究会(茨城), 6月, 2002
- No. 34 Hirayama A., Yoh K., Nagase S., Itoh K., Ueda A., Oteki T., Aoyagi K., Takahashi S., Yamamoto M., Koyama A. :
Deterioration of organ redox status at the onset of lupus-like glomerulonephritis of Nrf2-deficient mice.
39th Congress of the European Renal Association-European Dialysis and Transplant Association (Copenhagen, Denmark), July, 2002

- No. 35 Oteki T., Hirayama A., Nagase S., Ueda A., Yoh K., Obara M., Takada K., Aoyagi K., Hirayama K., Koyama A. :
Electron spin resonance imaging of renal endogenous nitric oxide and redox status.
39th Congress of the European Renal Association-European Dialysis and Transplant Association (Copenhagen, Denmark), July, 2002
- No. 36 Nagase S., Hirayama A., Ueda A., Takada K., Oteki T., Obara M., Shimoizawa Y., Terao J., Koyama A. :
Light-shielded haemodialysis prevent lipid peroxides and nitric oxide generation.
39th Congress of the European Renal Association-European Dialysis and Transplant Association (Copenhagen, Denmark), July, 2002
- No. 37 Hirayama A., Yoh K., Nagase S., Itoh K., Ueda A., Morito N., Oteki T., Obara M., Takada K., Takahashi S., Yamamoto M., Koyama A. :
In vivo ESR analysis of the redox status during the onset of autoimmune disease in Nrf2-deficient mice.
XIth Biennial Meeting of the Society for Free Radical Research International (Paris), July, 2002
- No. 38 安藤 真美, 大槻 知美, 大久 葉子, 立川 佳代, 小松 紀子, 根本 公子, 富田 知栄, 後藤 達宏, 山縣 邦弘 :
CAPD 患者の在宅支援の検討 KDQOL-SFTM 評価
第47回日本透析医学会学術集会(東京), 7月, 2002
- No. 39 山本万里郎, 平山 浩一, 小山 哲夫, 平野 宏 :
CAPD 導入時の腹膜平衡試験(PET)に関する検討
第47回日本透析医学会学術集会(東京), 7月, 2002
- No. 40 下畑 誉, 室 かおり, 甲斐 平康, 萩原 正大, 白井 丈一, 清水 芳男, 楊 景堯, 平山 浩一, 山縣 邦弘, 小山 哲夫 :
保存期腎不全における造影剤使用時の予防的血液透析に関する検討
第47回日本透析医学会学術集会(東京), 7月, 2002
- No. 41 渡辺 伊道, 高野 雅史, 原瀬 勉, 日比野敏子, 山縣 邦弘, 渡辺孝太郎 :
VitD3製剤の臨床効果について
第47回日本透析医学会学術集会(東京), 7月, 2002
- No. 42 井上真理子, 富田 知栄, 後藤 達宏, 山縣 邦弘 :
腎生検の有無と透析導入背景及び予後との相関について
第47回日本透析医学会学術集会(東京), 7月, 2002
- No. 43 寺田 尚人, 山田 一之, 鈴木 裕明, 富田 知栄, 後藤 達宏, 山縣 邦弘 :
同一患者における長時間透析の評価
第47回日本透析医学会学術集会(東京), 7月, 2002
- No. 44 佐藤美奈子, 涌井久美子, 近藤 郁文, 石川 祐一, 富田 知栄, 後藤 達宏, 立花 久弥, 小友 良, 中村 久, 山縣 邦弘 :
サテライト透析施設紹介後の栄養指導と栄養士の関与
第47回日本透析医学会学術集会(東京), 7月, 2002

- No. 45 小原 真美, 平山 暁, 永瀬 宗重, 後藤 達宏, 植田 敦志, 森戸 直記,
 樗木 隆聡, 高田 健治, 大場 正二, 青柳 一正, 成田 光陽, 小山 哲夫:
 血液透析における過酸化脂質動態の脂質種による差異
 第47回日本透析医学会学術集会(東京), 7月, 2002
- No. 46 石津 隆, 多留 賀功, 清水 芳男, 平山 暁, 小山 哲夫:
 二次性副甲状腺機能亢進症に対する OCT の効果(ビタミン D 間欠的内服療法からの変更例の検討)
 第47回日本透析医学会学術集会(東京), 7月, 2002
- No. 47 富田 豊, 石川 久美子, 中村 徳雄, 檜山 文彦, 白井 丈一, 森戸 直記,
 楊 景堯, 中内 啓光, 青柳 一正, 小原 真美, 四本 三佳, 大場 正二,
 成田 光陽:
 Maxacalcitol (OCT) 投与例における EPO 使用量の検討
 第47回日本透析医学会学術集会(東京), 7月, 2002
- No. 48 下畑 誉, 室 かおり, 甲斐 平康, 荻原 正大, 白井 丈一, 清水 芳男, 楊 景堯,
 平山 浩一, 山縣 邦弘, 小山 哲夫:
 保存期腎不全における造影剤使用時の予防的血液透析に関する検討
 第47回日本透析医学会学術集会(東京), 7月, 2002
- No. 49 山口 直人, 海老原 至, 村田 実, 岡 邦行, 小林 正貴, 楊 景堯, 室 かおり,
 小山 哲夫:
 維持透析経過中, 拡張型心筋症様心不全を呈したリウマチ性心炎の一部検例
 第47回日本透析医学会学術集会・総会(東京), 7月, 2002
- No. 50 小林 正貴, 中村日出子, 小高 以直, 呉 昌彦, 室 かおり, 小山 哲夫:
 透析導入に至った悪性腎硬化症の一例
 第47回日本透析医学会学術集会(東京), 7月, 2002
- No. 51 高田 健治, 鈴木 裕道, 菊池 博, 永瀬 宗重, 渡邊 雅彦, 山田 俊彦,
 小山 哲夫:
 Reversible posterior leukoencephalopathy syndrome を呈した遺伝性球状赤血球症
 を伴う慢性維持透析患者の1例
 第47回日本透析医学会学術集会(東京), 7月, 2002
- No. 52 平山 暁, 永瀬 宗重, 植田 敦志, 小原 真美, 高田 健治, 下畑 誉, 井上真理子,
 小林 正貴, 石津 隆, 多留 賀功, 楊 景堯, 平山 浩一, 青柳 一正, 小山 哲夫:
 白血球吸着療法における抗酸化活性 —血液透析における生体適合性の対極として—
 第14回腎とフリーラジカル研究会(東京), 9月, 2002
- No. 53 青柳 一正, 竹村 克己, 平山 暁, 永瀬 宗重, 小山 哲夫, 中島 基雄,
 大坂 基男:
 非炎症細胞におけるハイドロキシラジカル産生機構の研究: 単離肝細胞におけるメ
 チルグアニジン産生とバルビツレート
 第14回腎とフリーラジカル研究会(東京), 9月, 2002

- No. 54 植田 敦志, 永瀬 宗重, 横山 秀克, 平山 暁, 樗木 隆聡, 高田 健治,
小原 真美, 大矢 博昭, 鎌田 仁, 小山 哲夫:
電子スピン共鳴法(ESR)を用いたピュロマイシン腎症の腎局所での還元能低下とミト
コンドリア障害の証明
第14回腎とフリーラジカル研究会(東京), 9月, 2002
- No. 55 増田 和実, 田辺 解, 平山 暁, 永瀬 宗重, 太田 暁美, 久野 譜也:
日常活動量の違いがラット骨格筋の O_2 -消去活性に及ぼす影響—ESRによる検討・SAT
プロジェクト77—
第57回日本体力医学会大会(高知), 9月, 2002
- No. 56 田辺 解, 増田 和実, 平山 暁, 永瀬 宗重, 太田 暁美, 久野 譜也:
日常活動量の違いがラット骨格筋の $OH\cdot$ 消去活性に及ぼす影響—ESRによる検討・
SATプロジェクト78—
第57回日本体力医学会大会(高知), 9月, 2002
- No. 57 下畑 普, 楊 景堯, 平山 浩一, 間瀬かおり, 岩淵 聡, 石田 裕, 白井 丈一,
長田 道夫, 永瀬 宗重, 小山 哲夫:
急速進行性の経過をとった間質病変主体の紫斑病性腎炎の1例
第32回日本腎臓学会東部学術大会(東京)10月, 2002
- No. 58 高田 健治, 平山 暁, 菊池 博, 鈴木 裕道, 間瀬かおり, 平山 浩一, 楊 景堯,
永瀬 宗重, 小山 哲夫:
HCV感染早期に膜性増殖性糸球体腎炎を発症した1例
第32回日本腎臓学会東部学術大会(東京), 10月, 2002
- No. 59 樗木 隆聡, 平山 暁, 甲斐 平康, 白井 丈一, 間瀬かおり, 楊 景堯, 平山 浩一,
長田 道夫, 永瀬 宗重, 小山 哲夫:
胸腺摘出後にネフローゼ症候群を発症した Issacs 症候群の一例
第32回日本腎臓学会東部学術大会(東京), 10月, 2002
- No. 60 間瀬かおり, 小林 正貴, 中村日出子, 呉 昌彦, 平山 浩一, 小山 哲夫:
高度蛋白尿を呈するステロイド治療IgA腎症に対するロサルタン追加投与の効果
第32回日本腎臓学会東部学術大会(東京), 10月, 2002
- No. 61 井上真理子, 平山 暁, 常楽 晃, 永瀬 宗重, 小山 哲夫, 多留 賀功, 石津 隆,
山縣 邦弘, 赤座 英之, 島居 徹:
維持血液透析患者に発症した転移性心外膜腫瘍の一例
第32回日本腎臓学会東部学術大会(東京), 10月, 2002
- No. 62 小原 真美, 甲斐 平康, 清水 芳男, 菊池 博, 小山 哲夫:
透析患者に発症した肝内門脈ガス血症の一例
第32回日本腎臓学会東部学術大会(東京), 10月, 2002
- No. 63 平野 優子, 富田 知栄, 後藤 達宏, 下釜 達朗, 井上真理子, 山縣 邦弘,
小山 哲夫:
巣状分節性糸球体硬化症(FGS)によるネフローゼ症候群を発症した腎血管性高血圧の
1例
第32回日本腎臓学会東部学術大会(東京), 10月, 2002

- No. 64 平山 暁, 永瀬 宗重, 植田 敦志, 楊 景堯, 小山 哲夫:
In vivo ESR を用いた腎疾患病態解析
シンポジウム「In vivo ESR 研究の現状と応用展開」
第41回電子スピンサイエンステクノロジー学会
(旧 ESR 討論会・in vivo ESR 研究会連合討論会) (東京), 10月, 2002
- No. 65 Morito N., Yoh K., Hirayama A., Shimohata H., Kai H., Hirayama K., Koyama A. :
Nrf2 deficiency improves lpr Nephritis.
35th annual meeting of the American Society of Nephrology
(Philadelphia, USA), Nov, 2002
- No. 66 Hirayama A., Nagase S., Yoh K., Ueda A., Ooteki T., Takada K., Obara M., Morito N.,
Hirayama K., Koyama A. :
In vivo EPR imaging of renal redox status and endogenous NO.
35th annual meeting of the American Society of Nephrology
(Philadelphia, USA), Nov, 2002
- No. 67 Yamagata K., Muro K., Hagiwara M., Kai H., Ohteki T., Arakawa Y., Usui J.,
Hirayama K., Koyama A., Capaldi RA. :
Involvement of mitochondria in glomerular sclerotic lesions
35th annual meeting of the American Society of Nephrology
(Philadelphia, USA), Nov, 2002
- No. 68 Obara M., Hirayama A., Nagase S., Ueda A., Gotoh M., Ohteki T., Takada K.,
Koyama A. :
Elimination of Cholesterylester Hydroperoxide during Hemodialysis.
35th annual meeting of the American Society of Nephrology
(Philadelphia, USA), Nov, 2002
- No. 69 平山 暁, 楊 景堯, 植田 敦志, 永瀬 宗重, 小山 哲夫:
腎不全における酸化ストレス動態の ESR イメージング
第3回腎不全病態研究会(東京), 11月, 2002
- No. 70 小原 真美, 四本 三佳, 佐藤 寿加, 大場 正二, 成田 光陽, 大桑 正名,
山本万里郎, 岡崎 伸生, 小山 哲夫:
ネフローゼ型膜性腎症で発見され, 化学療法が有効であった大腸癌の症例
第167回茨城内科集談会(茨城), 11月, 2002
- No. 71 藤田 祐之, 吉澤 利弘, 大越 教夫, 玉岡 晃, 庄司 進一, 平山 暁, 小山 哲夫:
急性運動性ニューロパチーを呈した尿毒症性ニューロパチーと考えられた1例
第504回日本内科学会関東地方会(東京), 11月, 2002
- No. 72 植田 敦志, 永瀬 宗重, 平山 暁, 樗木 隆聡, 高田 健治, 小原 真美,
横山 秀克, 大矢 博昭, 鎌田 仁, 小山 哲夫:
実験腎炎における酸化ストレス亢進の in vivo での証明—シル保護化ヒドロキシルアミ
ンを用いた検討—
第17回日本フリーラジカル学会関東支部会研究会(東京), 12月, 2002

班研究報告

No. 1 小山 哲夫：

厚生労働省特定疾患 進行性腎障害に関する調査研究 急速進行性糸球体腎炎の診療
指針

第45回日本腎臓学会学術総会(大阪)，5月，2002

その他

No. 1 山縣 邦弘：

ワークショップ：RPGN 治療における免疫抑制薬の位置づけ

第46回日本リウマチ学会(神戸)，4月，2002

No. 2 永瀬宗重：

命の話。

石下町立西中学校講演会(茨城)，5月，2002

No. 3 楊 景堯：

遺伝子改変マウスを用いた転写因子と自己免疫腎炎の解析

第13回関東腎研究会(東京)，2002

No. 4 小山 哲夫：

ANCA 関連腎炎

第11回栃木膠原病と腎カンファレンス(宇都宮)，7月，2002

No. 5 平山 暁：

In vivo ESR による計測例(1) 腎疾患病態解析。

日本フリーラジカル学会主催 ESR セミナー(東京)，8月，2002

No. 6 平山 浩一：

腎疾患と高血圧。

つくば薬剤師の集い(つくば市)，11月，2002

No. 7 永瀬 宗重：

腎不全と酸化ストレス

学術講演会(大分)，11月，2002

No. 8 小山 哲夫：

腎炎・ネフローゼ症候群の治療

第21回金沢腎セミナー(金沢)，11月，2002

No. 9 小山 哲夫：

RPGN の治療方針

埼玉腎臓研究会(埼玉)，11月，2002

No. 10 山縣 邦弘：

腎疾患の予防と早期治療について 新たな人工透析患者の減少を目指して

腎不全予防研究会(土浦)，12月，2002

No. 11 山縣 邦弘：

検診における検尿異常者の経過観察と対処法

第2回病診連携のための腎疾患カンファレンス(大阪)，12月，2002

No. 12 山縣 邦弘：

パネルディスカッション：臓器保護を考えた高血圧治療

第8回茨城県高血圧セミナー(つくば)，12月，2002

2002年 (代謝内分泌内科グループ)

原 著

- No. 1 Sone H, Shimano H, Sakakura Y, Inoue N, Amemiya-Kudo M, Yahagi N, Osawa M, Suzuki H, Yokoo T, Takahashi A, Iida K, Toyoshima H, Iwama A, Yamada N :
Acetyl-coenzyme A synthetase is a lipogenic enzyme controlled by SREBP-1 and energy status.
Am J Physiol Endocrinol Metab 282 : E222-E230, 2002
- No. 2 Yoshikawa T, Shimano H, Yahagi N, Ide T, Amemiya-Kudo M, Matsuzaka T, Nakakuki M, Tomita S, Okazaki H, Tamura Y, Iizuka Y, Ohashi K, Takahashi A, Sone H, Osuga Ji J, Gotoda T, Ishibashi S, Yamada N :
Polyunsaturated fatty acids suppress sterol regulatory element-binding protein-1 c promoter activity by inhibition of liver X receptor (LXR) binding to LXR response elements.
J Biol Chem 277 : 1705-1711, 2002
- No. 3 Matsuzaka T, Shimano H, Yahagi N, Amemiya-Kudo M, Yoshikawa T, Hasty AH, Tamura Y, Osuga J, Okazaki H, Iizuka Y, Takahashi A, Sone H, Gotoda T, Ishibashi S, Yamada N :
Dual regulation of mouse Delta (5)- and Delta (6)-desaturase gene expression by SREBP-1 and PPAR.
J Lipid Res 43 : 107-114, 2002
- No. 4 Iida KT, Suzuki H, Sone H, Shimano H, Toyoshima H, Yatch S, Asano T, Okuda Y, Yamada N :
Insulin inhibits apoptosis of macrophage cell line, THP-1 cells, via phosphatidylinositol-3-kinase-dependent pathway.
Arterioscler Thromb Vasc Biol 22 : 380-386, 2002
- No. 5 Yahagi N, Shimano H, Hasty AH, Matsuzaka T, Ide T, Yoshikawa T, Amemiya-Kudo M, Tomita S, Okazaki H, Tamura Y, Iizuka Y, Ohashi K, Osuga Ji J, Harada K, Gotoda T, Nagai R, Ishibashi S, Yamada N :
Absence of sterol regulatory element-binding protein-1 (SREBP-1) ameliorates fatty livers, but not obesity or insulin resistance in Lepob/Lepob mice.
J Biol Chem 277 : 19353-19357, 2002
- No. 6 Iida KT, Kawakami Y, Suzuki H, Sone H, Shimano H, Toyoshima H, Okuda Y, Yamada :
NPPARGgamma ligands, troglitazone and pioglitazone, up-regulate expression of HMG-CoA synthase and HMG-CoA reductase gene in THP-1 macrophages.
FEBS Lett 520 : 177-181, 2002

- No. 7 Okazaki H, Osuga JI, Tsukamoto K, Isoo N, Kitamine T, Tamura Y, Tomita S, Sekiya M, Yahagi N, Iizuka Y, Ohashi K, Harada K, Gotoda T, Shimano H, Kimura S, Nagai R, Yamada N, Ishibashi S :
Elimination of cholesterol ester from macrophage foam cells by adenovirus-mediated gene transfer of hormone-sensitive lipase.
J Biol Chem 277 : 31893-31899, 2002
- No. 8 Matsuzaka T, Shimano H, Yahagi N, Yoshikawa T, Amemiya-Kudo M, Hasty AH, Okazaki H, Tamura Y, Iizuka Y, Ohashi K, Osuga J, Takahashi A, Yato S, Sone H, Ishibashi S, Yamada N :
Cloning and characterization of a mammalian fatty acyl-CoA elongase as a lipogenic enzyme regulated by SREBPs.
J Lipid Res 43(6) : 911-920, 2002
- No. 9 Iida K, Kawakami Y, Sone H, Suzuki H, Yatoh S, Isobe K, Takekoshi K, Yamada N :
Vascular endothelial growth factor gene expression in a retinal pigmented cell is up-regulated by glucose deprivation through 3' UTR.
Life Sci 71 : 1607-1614, 2002
- No. 10 Amemiya-Kudo M, Shimano H, Hasty AH, Yahagi N, Yoshikawa T, Matsuzaka T, Okazaki H, Tamura Y, Iizuka Y, Ohashi K, Osuga JI, Harada K, Gotoda T, Sato R, Kimura S, Ishibashi S, Yamada N :
Transcriptional activities of nuclear SREBP-1a, -1c, and -2 to different target promoters of lipogenic and cholesterologenic genes.
J Lipid Res 43 : 1220-1235, 2002
- No. 11 Kwok JB, Kapoor R, Gotoda T, Iwamoto Y, Iizuka Y, Yamada N, Isaacs KE, Kushwaha VV, Church WB, Schofield PR, Kapoor V :
A Missense mutation in kynurenine aminotransferase-1 in spontaneously hypertensive rats.
J Biol Chem 277 : 31893-31899, 2002
- No. 12 Sone H, Takahashi A, Shimano H, Ishibashi S, Yoshino G, Morisaki N, Saito Y, Kawazu S, Teramoto T, Fujita T, Shiba T, Iwamoto Y, Kuzuya N, Akanuma Y, Yamada N :
HMG-CoA reductase inhibitor decreases small dense low-density lipoprotein and remnant-like particle cholesterol in patients with type-2 diabetes.
Life Sci 71 : 2403-2412, 2002
- No. 13 Okuda Y, Kobayashi K, Ohmori H, Sone H, Suzuki S, Ma J, Nakajima T, Yamada N, Yamashita K :
Acute gliclazide administration enhances glucose and ketone body utilization in the perfused hind limb of normal and streptozotocin-diabetic rats.
Life Sci 71(6) : 647-654, 2002

- No. 14 Okazaki H, Osuga JI, Tamura Y, Yahagi N, Tomita S, Shionoiri F, Iizuka Y, Ohashi K, Harada K, Kimura S, Gotoda T, Shimano H, Yamada N, Ishibashi S :
Lipolysis in the Absence of Hormone-Sensitive Lipase: Evidence for a Common Mechanism Regulating Distinct Lipases.
Diabetes 51 : 3368-3375, 2002
- No. 15 Song H, Shojima N, Sakoda H, Ogihara T, Fujishiro M, Katagiri H, Anai M, Onishi Y, Ono H, Inukai K, Fukushima Y, Kikuchi M, Shimano H, Yamada N, Oka Y, Asano T :
Resistin is regulated by C/EBPs, PPARs, and signal-transducing molecules.
Biochem Biophys Res Commun 299 : 291-298, 2002
- No. 16 Ogaki S, Suzuki S, Suzuki H, Suzuki M, Shimano H, Toyoshima H, Sone H, Okuda Y, Yamada N :
Cerebral hemorrhagic infarction after radiation for pituitary adenoma.
Intern Med 41 : 834-838, 2002
- No. 17 Tamura Y, Ishibashi S, Gotoda T, Yasufuku-Takano J, Takano K, Ueki K, Yamashita S, Iizuka Y, Yahagi N, Shionoiri F, Okazaki H, Ohashi K, Osuga J, Harada K, Shimano H, Fujita T, Yamada N, Kimura S :
A kindred of familial acromegaly without evidence for linkage to MEN-1 locus.
Endocr J 49 : 425-431, 2002
- No. 18 Sone H, Ito H, Saito Y, Yamashita H, Ishibashi S, Katayama S, Abe R, Ohashi Y, Akanuma Y, Yamada N :
The long-term effects of self-management education for patients with type 2 diabetes on glycemic control.
Diabetes Care 25 : 2115-2116, 2002
- No. 19 Hata Y, Mabuchi H, Saito Y, Itakura H, Egusa G, Ito H, Teramoto T, Tsushima M, Tada N, Oikawa S, Yamada N, Yamashita S, Sakuma N, Sasaki J :
Report of the Japan Atherosclerosis Society (JAS) Guideline for Diagnosis and Treatment of Hyperlipidemia in Japanese adults.
J Atheroscler Thromb 9 : 1-27, 2002
- No. 20 Saito Y, Yamada N, Teramoto T, Itakura H, Hata Y, Nakaya N, Mabuchi H, Tsushima M, Sasaki J, Goto Y, Ogawa N :
Clinical efficacy of pitavastatin, a new 3-hydroxy-3-methylglutaryl coenzyme A reductase inhibitor, in patients with hyperlipidemia. Dose-finding study using the double-blind, three-group parallel comparison.
Arzneimittelforschung 52 : 251-255, 2002
- No. 21 Asano T, Saito Y, Kawakami M, Yamada N :
Fidarestat (SNK-860), a potent aldose reductase inhibitor, normalizes the elevated sorbitol accumulation in erythrocytes of diabetic patients.
J Diabetes Complications 16 : 133-8, 2002

- No. 22 Saito Y, Yamada N, Teramoto T, Itakura H, Hata Y, Nakaya N, Mabuchi H, Tushima M, Sasaki J, Ogawa N, Goto Y :
A randomized, double-blind trial comparing the efficacy and safety of pitavastatin versus pravastatin in patients with primary hypercholesterolemia.
Atherosclerosis 162 : 373-9, 2002
- No. 23 Sone H, Katagiri A, Ishibashi S, Abe R, Saito Y, Murase T, Yamashita H, Yajima Y, Ito H, Ohashi Y, Akanuma Y, Yamada N :
Effects of lifestyle modifications on patients with type 2 diabetes: the Japan Diabetes Complications Study (JDCS) study design, baseline analysis and three year-interim report.
Horm Metab Res 34 : 509-515, 2002
- No. 24 Iida K, Suzuki H, Sone H, Shimano H, Toyoshima H, Yatoh S, Asano T, Okuda Y, Yamada N :
Insulin inhibits apoptosis of macrophage cell line, THP-1 cells, via phosphatidylinositol-3-kinase-dependent pathway.
Arterioscler Thromb Vasc Biol 22 : 380-6, 2002
- No. 25 Arai T, Kawakami Y, Matsushita T, Okuda Y, Yamashita K :
Intracellular fatty acid downregulates ob gene expression in 3T3-L1 adipocytes.
Biochemical and Biophysical Research 297(5) : 1291-6, 2002
- No. 26 Malhotra R, Tyson D, Sone H, Aoki K, Kumagai A, Brosius F :
Glucose Uptake and Adenoviral Mediated GLUT1 Infection Decrease Hypoxia-induced HIF-1alpha Levels in Cardiac Myocytes.
J Mol Cell Cardiol 34(8) : 1063-73, 2002
- No. 27 横田 千津子, 椎貝 達夫, 松島 照彦, 山下 亀次郎, 奥田 諭吉, 山田 信博 :
本院人間ドック受診者の潜在的骨粗鬆症に関して
Vitamin K & Bone 研究会記録集 : 97-9, 2002
- No. 28 島野 仁 :
糖尿病患者の高脂血症治療
糖尿病 45(1) : 17-19, 2002
- No. 29 島野 仁 :
エネルギー代謝の転写調節と Multiple Risk Factor.
病態栄養学会誌 5(1) : 7-10, 2002
- 総 説
- No. 1 山田 信博 :
ヒトの心疾患としての動脈硬化
Jpn. J. Electrocardiology (第28回比較心電図研究会ヒトと動物の心疾患を考える)
22(Suppl. 1) : S1-35-S1-39, 2002
- No. 2 山田 信博 :
30代40代でも突然死する人が増え, 主原因は血管が急につまる新型の動脈硬化
わかさ 1 : 8-9, 2002

- No. 3 山田 信博：
 新型の動脈硬化は軽い高血圧・高血糖・高脂血の人がなり足の運動不足が一番の原因
 わかさ 1:10-11, 2002
- No. 4 山田 信博：
 高脂血症の治療コレステロールはどこまで下げればよいか
 臨床婦人科産科 56(1):29-31, 2002
- No. 5 鈴木 誠司, 山田 信博：
 糖尿病患者で何を診るか
 Heart View 5:674-678, 2002
- No. 6 曾根 博仁, 山田 信博：
 境界型・軽症2型糖尿病はなぜ動脈硬化になりやすいのか？—動脈硬化からみた治療
 の必要性—, 軽症2型糖尿病の治療戦略—インスリン分泌異常と食後高血糖からのア
 プローチ—
 Mebio 5月別冊:63-68, 2002
- No. 7 山田 信博：
 巻頭言—ポストスタチン—
 The Lipid 13(3):211, 2002
- No. 8 寺本 民生, 山田 信博, 代田 浩之, 武城 英明：
 質の高い高脂血症診療のために(座談会)
 内科 89(5):921-934, 2002
- No. 9 山田 信博, 島野 仁, 矢作 直也：
 発生工学的手法を用いた脂肪酸合成制御によるインスリン抵抗性および動脈硬化症の
 病態への関与に関する研究
 病態代謝研究会第31回助成研究報告集 113-114, 2002
- No. 10 大内 尉義, 寺本 民生, 山田 信博：
 高脂血症治療の意義と有用性
 medicina 39(4):692-703, 2002
- No. 11 曾根 博仁, 山田 信博：
 高脂血症
 日本内科学会雑誌 91(4):142-147, 2002
- No. 12 山田 信博：
 フィブラート系薬剤
 日本臨牀 60(5):962-967, 2002
- No. 13 堤 治, 生月 弓子, 山田 信博：
 食用活性炭ヘルスカーボンの血清コレステロールレベル改善作用
 日本臨床栄養学会雑誌 23(4):39-46, 2002
- No. 14 山田 信博：
 特別講演:糖尿病と動脈硬化
 Therapeutic Research 23(4):683-685, 2002

- No. 15 大垣 聡子, 山田 信博:
シリーズ: プラバスタチンのエビデンスその軌跡を辿り, EBM を実践する
Medicament News: 41, 2002
- No. 16 山田 信博:
Joint AHA/APSC Symposium—The Rising Tide of Diabetic CVD (Special Session VI).
AHA ighlights 2001: 102-105, 2002
- No. 17 山田 信博:
すでに始まっている血管の傷み
日経ヘルス 86-87, 2002
- No. 18 藤田 利枝, 山田 信博:
非薬物療法
Progress in Medicine 22(4) 4月号別冊: 977-981, 2002
- No. 19 山田 信博:
レジスチン, 中心性肥満と2型糖尿病
COMPLICATION 糖尿病と血管 7(1): 92-93, 2002
- No. 20 寺本 民生, 多田 紀夫, 山田 信博:
21世紀におけるスタチンの考え方 (座談会)
治療学 36(5): 517-528, 2002
- No. 21 山田 信博:
マルチプルリスクファクター症候群と高脂血症
新薬と治療 52(3): 29-30, 2002
- No. 22 山田 信博, Richard J. Havel, 武城 英明:
糖尿病における心血管疾患
The Circulation Frontier 6(2): 5-16, 2002
- No. 23 山田 信博:
序論 (特集: 糖尿病の合併症—病態と治療戦略)
最新医学 57(6): 1125-1126, 2002
- No. 24 山田 信博:
高脂血症
内科 89(6): 1578-1582, 2002
- No. 25 曾根 博仁, 山田 信博, JDCStudy グループ:
糖尿病: 「Japan Diabetes Complications Study (JDACS) の概要と意義」
最新医学 57(6月増刊号): 1379-1388, 2002
- No. 26 山田 信博:
リポ蛋白とその分画, 検査値から読む病態と診断計画
臨床医 Vol.28増刊号: 1010-1012, 2002
- No. 27 浅野 道子, 山田 信博:
糖尿病予備軍と心臓病との関係は? (Question: 糖尿病予備軍の人もどうして心臓病を併発するのでしょうか?)
肥満と糖尿病 1(2): 36-38, 2002

- No. 28 今泉 勉, 中島 康秀, 山田 信博, 吉田 雅幸 :
スタチンのプレイオトロピック効果
CARDIAC PRACTICE 13(3) : 345-354, 2002
- No. 29 岡山 雅信, 能登 洋, 松島 雅人, 山田 信博 :
EBM に基づいた糖尿病診療—生活習慣の改善か, エビデンスのある薬剤による治療か,
病態生理に基づいて新しい薬剤を積極的に使うのか— (第 8 回東京糖尿病合併症研究
会パネルディスカッション)
新薬と臨牀 J New Rem& Clin 51(7) : 581-597, 2002
- No. 30 大森 安恵, 片岡 邦三, 菊池 方利, 松岡 健平, 小田原雅人, 田嶋 尚子,
山田 信博 :
総合討論 (第 8 回東京糖尿病合併症研究会)
新薬と臨牀 J New Rem& Clin 51(7) : 598-607, 2002
- No. 31 山田 信博 :
血糖のコントロール状況に適した 2 型糖尿病の治療
Medical Q 140 : 1-2, 2002
- No. 32 鈴木 将玄, 山田 信博 :
高脂血症治療と EBM
Medical Science Digest 28(10) : 390-391, 2002
- No. 33 杉本 孝示, 山田 信博 :
ホモシステインと動脈硬化
内分泌・糖尿病科 15(2) : 165-167, 2002
- No. 34 山田 信博 :
糖尿病を合併する高脂血症の管理
The Circulation Frontier 6(3) : 80-85, 2002
- No. 35 山田 信博 :
動脈硬化症の分子生物学
日本臨牀 60(Suppl. 10) : 87-94, 2002
- No. 36 曾根 博仁, 山田 信博, JDCStudy グループ :
我が国における糖尿病合併症に関する長期介入研究
日本臨牀 60(Suppl. 10) : 44-50, 2002
- No. 37 水谷 正一, 山田 信博 :
糖尿病
日本医師会雑誌特別号 128(8) : S226-S229, 2002
- No. 38 高橋 昭光, 山田 信博 :
高脂血症
日本医師会雑誌特別号 128(8) : S230-S233, 2002
- No. 39 曾根 博仁, 山田 信博, JDCStudy グループ :
日本の 2 型糖尿病患者における動脈硬化合併症の現況 : Japan Diabetes Complica-
tions Study (JDCS) の中間解析より
循環器専門医 10(2) : 309-313, 2002

- No. 40 山田 信博：
特集にあたって（マルチプルリスクファクター症候群）
The Lipid 13(5)：450-451, 2002
- No. 41 山田 信博：
あなたの重症度はどのくらい？ 高脂血症
あなたにエール 12月号：94-96, 2002
- No. 42 山田 信博：
糖尿病と大血管障害
実験 治療 668：217-221, 2002
- No. 43 山田 信博：
HMG-CoA 還元酵素阻害薬（メバロチン，リポバス，ローコール，リピトル）
medicina 39(11増刊)：193-197, 2002
- No. 44 山田 信博：
ハートプロテクション研究(HPS)：ハイリスク患者におけるシンバスタチンの効果
COMPLICATION 糖尿病と血管 7(2)：191-192, 2002
- No. 45 曾根 博仁，山田 信博：
糖尿病における高脂血症の原因遺伝子-Angiopoietin-like protein 3 (Angptl3)
BIO Clinica 18(1)：82-85, 2002
- No. 46 山田 信博：
高脂血症の治療薬
クリニカ 29(6)：437-443, 2002
- No. 47 山田 信博：
糖尿病は，心筋梗塞や脳卒中の原因となる危険な動脈硬化を起しやすい
Nikkei Business 12月16日号：100-101, 2002
- No. 48 小林 和人，鈴木 誠司，三浦 光弘，高橋 昭光，水谷 正一，島野 仁，
曾根 博仁，豊島 秀男，川上 康，奥田 諭吉，山田 信博：
筋肉内膿瘍，胆嚢炎を発症した紅皮症合併の糖尿病患者の1例
糖尿病 45(11)：797-802, 2002
- No. 49 山田 信博：
二次予防の治療戦略を明確にした LIPS 試験 (COMMENT)
JAMA 日本語版 12月号：49, 2002
- No. 50 山田 信博：
糖尿病患者の高脂血症
内科 91(1)：111-114, 2002
- No. 51 寺本 民生，及川 眞一，山田 信博：
リスクを中心に据えた高脂血症診療
臨床医 28(12)：2364-2377, 2002
- No. 52 曾根 博仁，山田 信博，JDCS グループ：
生活習慣病キーワード JDCS から学ぶもの
Medical View Points 23(12)：6, 2002

- No. 53 曾根 博仁, 山田 信博, JDCS グループ :
Japan Diabetes Complications Study (JDCS) の概要と意義
最新医学 57 : 1379-1388, 2002
- No. 54 曾根 博仁, 赤沼 安夫, 山田 信博, JDCS グループ :
マルチプルリスクファクター症候群の一部症としての糖尿病性マクロアングイオパシ
ー, JDCS の中間解析からみた本邦の糖尿病大血管障害のリスクファクター
糖尿病合併症学会誌 16 Suppl1 : 50, 2002
- No. 55 鈴木 浩明, 山田 信博 :
生活習慣病講座 No.9, II 生活習慣病, E.動脈硬化
内科 89(3) : 551-557, 2002
- No. 56 岩部 博子, 小宮 公俊, 川島 容子, 小久保由起子, 稲葉 美幸, 雨海 照祥,
奥田 諭吉 :
どれだけの病院食が食器に残るか?—小児病棟での残食率の調査—
静脈経腸栄養 17(1) : 98, 2002
- No. 57 奥田 諭吉 :
運動療法
Mebio 19(2) : 76-86, 2002
- No. 58 石井 幸雄, 奥田 諭吉 :
気管支喘息
茗溪 1032 : 6-7, 2002
- No. 59 奥田 諭吉 :
高齢者の高血圧治療—Ca拮抗薬の最近のトピックス
Nikkei Medical (1) : 82-85, 2002
- No. 60 奥田 諭吉 :
Diabetes and sports(2)
Complication 7(1) : 79-90, 2002
- No. 61 山本 祐介, 奥田 諭吉 :
「成長科学協会 成長ホルモン分泌不全性低身長症(下垂体性小人症)のヒト成長ホル
モン治療適応基準」の改正(2000年9月施行)について
Medical Practice 19(5) : 867, 2002
- No. 62 藤澤 裕志, 奥田 諭吉 :
アトピー性皮膚炎
茗溪 1034 : 12-3, 2002
- No. 63 奥田 諭吉, 雨海 照祥 :
つくば栄養事始め
TPEN-NETWORK Vol.11(3) : 8, 2002
- No. 64 Shimano H :
Sterol Regulatory Element-binding Protein (SREBP) Family as Global Regula-
tors of Lipid Synthetic Genes in Energy Metabolism.
Vitamins and Hormones 65 : 167-94, 2002

- No. 65 島野 仁：
SREBP と治療
内科 (5)89：870-874, 2002
- No. 66 島野 仁：
PPARs の機能と病態 特集にあたって
The Lipid 13(4)：12-13, 2002
- No. 67 島野 仁：
動脈硬化と転写因子
BIO Clinica 17(5)：41-45, 2002
- No. 68 島野 仁：
スタチンの作用機序
治療学 36(5)：40-43, 2002
- No. 69 島野 仁：
脂肪酸代謝と動脈硬化
Therapeutic Research 23(8)：67-71, 2002
- No. 70 島野 仁：
インスリン抵抗性と動脈硬化
最新医学 57(8)：74-80, 2002
- No. 71 島野 仁：
マルチプルリスクファクター症候群における転写調節因子の関与
The Lipid 13(5)：87-94, 2002
- No. 72 島野 仁, 山田 信博：
Excerpta Medica Newsletter, 合併症の治療, 大血管症
Diabetetes Therapy 22：17-20, 2002
- No. 73 小林 和人, 高橋 昭光, 曾根 博仁：
誌上討論-下肢の筋肉痛, 筋力低下と略全身の錯知覚を訴えた若年発症糖尿病の1例
内科専門医会誌 14：57-58, 2002
- No. 74 曾根 博仁：
高齢者糖尿病を対象とした前向き大規模臨床介入研究
長寿科学財団ニュースレター35：10, 2002
- No. 75 鈴木 浩明：
血糖コントロールと糖尿病の慢性合併症
Mebio 20(3)：101-106, 2002

著 書

- No. 1 山田 信博：
high risk の場合の治療方針はどのようなものがありますか, 高脂血症診療ガイドンス
(寺本 民生, 山田 信博 編)
メジカルビュー社, 東京, pp.56-57, 2002

- No. 2 村上 透, 山田 信博:
糖尿病治療薬／抗高脂血症薬・肥満治療薬, メディックイックブック Part 1
金原出版, 東京, pp.307, 309, 312, 314, 315, 316, 317, 319, 323, 2002
- No. 3 金澤 康德, 武谷 雄二, 関原 久彦, 山田 信博 編:
Annual Review 2002 内分泌, 代謝
中外医学社, 東京, 2002
- No. 4 山田 信博:
高脂血症, ガイドライン外来診療2002
日経メディカル開発, 東京, pp.178-187, 2002
- No. 5 山田 信博:
Beyond glucose, 糖尿病療養指導二頁の秘訣—私はこう指導する—
金原出版, 東京, pp.24-25, 2002
- No. 6 山田 信博:
高脂血症の治療はどんな基準で行われるのですか, 高脂血症診療ガイドランス(寺本 民生, 山田 信博 編)
メジカルビュー社, 東京, pp.52-53, 2002
- No. 7 山田 信博:
low risk (高脂血症だけ) の場合の治療方針はどのようなものがありますか, 高脂血症診療ガイドランス(寺本 民生, 山田 信博 編)
メジカルビュー社, 東京, pp. 54-55, 2002
- No. 8 山田 信博:
高脂血症の成因, 糖尿病合併症—どう対処するか—(岩本 安彦 編)
中外医学社, 東京, pp.138-142, 2002
- No. 9 山田 信博:
分類, 診断, 検査, 糖尿病合併症どう対処するか(岩本 安彦 編)
中外医学社, 東京, pp.143-146, 2002
- No. 10 矢藤 繁, 山田 信博:
インスリン抵抗性改善薬, 血管の先端分子医学と臨床への躍進(澁谷 正史, 倉林 正彦 編)(実験医学増刊)
羊土社, 東京, pp.1245-1249, 2002
- No. 11 井上由加利, 山田 信博:
心筋梗塞, エクセルナース [糖尿病編](牧田 善二 監修, 山岸 昌一 編)
メディカルレビュー社, 東京, pp.143-149, 2002
- No. 12 山田 信博:
糖尿病と動脈硬化, 糖尿病学の進歩2002 (第36集日本糖尿病学会 編)
診断と治療社, 東京, pp.111-114, 2002
- No. 13 山田 信博, 島野 仁:
低脂血症, 内科学書, 改訂第6版(島田 馨 責任編)
中山書店, 東京, pp.428-430, 2002

- No. 14 山田 信博：
糖尿病関連マーカで読む動脈硬化，わかりやすい動脈硬化—診断と治療の手引き—(寺本 民生 監修)
ライフサイエンス出版，東京，pp.36-39，2002
- No. 15 山田 信博：
心血管系疾患の危険因子—インスリン抵抗性，糖尿病合併症治療のイノベーション—ARI (アルドース還元酵素阻害薬)—(堀田 饒 編)
医薬ジャーナル社，大阪，pp.93-94，2002
- No. 16 鈴木 誠司，山田 信博：
フィブラートでコレステロールがあがることがありますけどどうしてですか？，フィブラート系薬剤 Q&A(寺本 民生 編)
医薬ジャーナル社，大阪，pp.76-77，2002
- No. 17 鈴木 誠司，山田 信博：
脂質の栄養生化学(第4章)，栄養生化学(脊山 洋右，山田 信博，松島 照彦 編)
メヂカルフレンド社，東京，pp.71-103，2002
- No. 18 曾根 博仁，山田 信博：
肥満，アクアフィットネスインストラクター指導教本(野村 武男 編)
日本スイミングクラブ協会，東京，pp.65-68，2002
- No. 19 曾根 博仁，大橋 靖雄，山田 信博，JDCStudy グループ：
糖尿病における血管合併症の発症予防と進展抑制に関する研究(Japan Diabetes Complications Study; JDCS)
日本動脈硬化予防研究基金平成13年度研究報告会報告書，東京，pp.85-87，2002
- No. 20 曾根 博仁，島野 仁，井上 訓之，坂倉 有紀，雨宮三千代，高橋 昭光，
山田 信博：
SREBP が制御する新たな lipogenic 酵素：アセチル CoA 合成酵素の解析
日本臨床分子医学会記録 pp.38：44，2002
- No. 21 鈴木 浩明，山田 信博：
脂質の栄養生化学，新体系看護学 2，人体の構造と機能②，栄養生化学(脊山 洋右，山田 信博，松島 照彦 編)
メヂカルフレンド社，東京，pp.71-104，2002
- No. 22 奥田 諭吉：
治療—運動療法，Annual Review 内分泌・代謝2002
中外医学社，東京，pp.145-51，2002
- No. 23 奥田 諭吉：
下垂体機能障害，難病の指針 第4版
茨城県医師会，茨城，pp.39-47，2002
- No. 24 奥田 諭吉：
糖尿病性神経障害，プロスタサイクリンの多様性と今後の展望
メディカルレビュー社，東京，pp.152-62，2002

- No. 25 奥田 諭吉：
生活習慣病 E「安全に無理なく運動を続ける方法」
日本プライマリ・ケア学会 第13回生涯教育研修講座テキスト，東京，pp.15-6，2002
- No. 26 奥田 諭吉：
糖尿病大血管障害研究報告（山崎 義光，原納 優 編）
糖尿病大血管障害研究会，2002
- No. 27 田地 陽一，奥田 諭吉：
たんぱく質の栄養生化学，新体系看護学 2，栄養生化学（脊山 洋右，山田 信博，松島 照彦 編）
メジカルフレンド社，東京，pp.106-20，2002
- No. 28 島野 仁：
脂質代謝における転写調節機序，Annual Review 内分泌，代謝（金澤 康德 他編）
中外医学社，東京，pp.1-6，2002
- No. 29 島野 仁：
SREBP1 高脂血症と動脈硬化，医学のあゆみ（馬淵 宏 他編）
中外医学社，東京，pp.135-140，2002
- No. 30 島野 仁：
エネルギー代謝の転写調節，生活習慣病（Molecular Medicine 臨時増刊号）
中山書店，東京，pp.129-133，2002
- No. 31 曾根 博仁：
高脂血症—高トリグリセリド血症，今日の治療指針2002年版（多賀須幸男 他監修）
医学書院，東京，pp.459-460，2002
- No. 32 曾根 博仁，坂倉 有紀：
糖尿病，アクアフィットネスインストラクター指導教本（野村 武男 編）
日本スイミングクラブ協会，東京，pp.63-65，2002
- No. 33 曾根 博仁，目崎 登：
更年期障害，アクアフィットネスインストラクター指導教本（野村 武男 編）
日本スイミングクラブ協会，東京，pp.68-69，2002
- No. 34 曾根 博仁：
糖質の栄養生化学，新体系看護学 2，栄養生化学（脊山 洋右 他編）
メジカルフレンド社，東京，pp.53-70，2002

学会発表

- No. 1 山田 信博：
糖尿病における血管合併症の発症予防と進展抑制に関する研究
科学研究費研究成果等普及啓発事業健康科学総合研究成果発表会（東京），1月，2002
- No. 2 山田 信博：
高脂血症対策（生活習慣病—患者指導の実際）
日本動脈硬化学会 第2回動脈硬化教育セミナー（東京），1月，2002

- No. 3 若山 直美, 豊島 秀男, 矢藤 繁, 曾根 博仁, 島野 仁, 鈴木 誠司, 奥田 諭吉, 山田 信博:
無痛性甲状腺炎を契機にケトアドーシスを発症した SPIDDM の症例
第39回日本糖尿病学会関東甲信越地方会(千葉), 1月, 2002
- No. 4 横田 千津子, 椎貝 達夫, 奥田 諭吉, 山田 信博, 川井 紘一:
ペットボトル症候群の内因性インスリン分泌能に関して
第39回日本糖尿病学会関東甲信越地方会(千葉), 1月, 2002
- No. 5 井上由加利, 山田 信博, 奥田 諭吉:
著明な高脂血症を呈した2型糖尿病の1例
第39回日本糖尿病学会関東甲信越地方会(千葉), 1月, 2002
- No. 6 矢藤 繁, 島野 仁, 若山 直美, 斉藤 和美, 曾根 博仁, 豊島 秀男, 奥田 諭吉, 山田 信博, 鈴木 誠司, 川上 康:
塩化アンペノニウムにより低血糖をきたしたと考えられた糖尿病の一例
第39回日本糖尿病学会関東甲信越地方会(千葉), 1月, 2002
- No. 7 鈴木 浩明, 伊坂 正明, 鈴木 誠司:
ヒトインスリンにより肝機能障害を来し, プタ由来インスリンにて軽快した一例
第39回日本糖尿病学会関東甲信越地方会(千葉), 1月, 2002
- No. 8 山田 信博:
糖尿病と動脈硬化(大血管障害の臨床)
第36回糖尿病学の進歩(埼玉), 2月, 2002
- No. 9 曾根 博仁, 山田 信博, JDCStudy グループ:
本邦の2型糖尿病患者における血管合併症の現況-Japan Diabetes Complications Study (JDCStudy)の結果より
第20回関東・甲信越 Macro and Micro Circulation 研究会(東京), 2月, 2002
- No. 10 奥田 諭吉:
糖尿病と ED ~NO との関連を含めて~
第3回茨城 ED 研究会(つくば), 2月, 2002
- No. 11 齋藤 和美, 木村 泰三, 矢藤 繁, 曾根 博仁, 豊島 秀男, 島野 仁, 川上 康, 奥田 諭吉, 人見 重美, 山田 信博:
原発性副腎不全を来した AIDS の一例
第2回日本内分泌学会関東甲信越支部会(大宮), 2月, 2002
- No. 12 奥田 諭吉:
2型糖尿病とインスリン抵抗性
県南地区医師会学術講演会(つくば), 3月, 2002
- No. 13 奥田 諭吉:
糖尿病性神経障害の病態と治療
第3回茨城県糖尿病合併症治療研究会(つくば), 3月, 2002
- No. 14 飯田 薫子, 島野 仁, 豊島 秀男, 高橋 昭光, 曾根 博仁, 奥田 諭吉, 山田 信博:
マクロファージにおけるインスリンの作用についての基礎的検討
第3回糖尿病と Vascular Biology 研究会(東京), 3月, 2002

- No. 15 Sone H, Yamada N, JDCS Group :
Symposium; Prevention and treatment of diabetic cardiovascular diseases: progress at the turn of the century. Cardiovascular Events in Patients with Type 2 Diabetes and Effects of Lifestyle Modifications: The Japan Diabetes Complications Study (JDCS).
66th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society
(札幌), 4月, 2002
- No. 16 森田理一郎, 金子 公一, 中村 聡美, 赤石 亨, 山崎 庸弘, 今井 重彦,
奥田 諭吉, 許 俊鋭:
肺癌患者における IL-6, VEGF の血清濃度
日本外科学会(京都), 4月, 2002
- No. 17 Yamada N, Kikuchi M, Akanuma Y, Toyota T, Kikkawa R, Kasuga M, Oka Y,
E.W. Lewis :
Rosiglitazone is Effective in Combination with Sulphonylureas in Japanese Type 2
Diabetic Patients
rosiglitazone is Effective in Combination with Sulphonylureas in
Japanese Type2 Diabetic Patients.
5th IDF WPR Congress(北京), 5月, 2002
- No. 18 山田 信博:
糖尿病における動脈硬化症の発症予防と進展抑制に関する研究(シンポジウム)
第45回日本糖尿病学会年次学術集会(東京), 5月, 2002
- No. 19 岩橋 朝子, 後藤田貴也, 太田 陽子, 日下 貴子, 飯塚 陽子, 大須賀淳一,
石橋 俊, 島野 仁, 山田 信博, 岩本 安彦:
SHR のインスリン抵抗性原因候補遺伝子(KAT-1)のヒト相同遺伝子(CCBL1)の解析
第45回日本糖尿病学会年次学術集会(東京), 5月, 2002
- No. 20 井上由加利, 奥田 諭吉, 山田 信博:
糖尿病ケトーシス患者の病型と予後調査
第45回日本糖尿病学会年次学術集会(東京), 5月, 2002
- No. 21 藤田 利枝, 若山 直美, 松島 照彦, 山下亀次郎, 山田 信博:
虚血性心疾患および脳血管障害を発症した, 糖尿病患者の臨床的特徴の検討
第45回日本糖尿病学会年次学術集会(東京), 5月, 2002
- No. 22 横田千津子, 奥田 諭吉, 山田 信博, 松島 照彦, 山下亀次郎, 川井 紘一,
椎貝 達夫:
正常血圧であるが2型糖尿病による早期腎症を有する患者に対する ARB の効果について
第45回日本糖尿病学会年次学術集会(東京), 5月, 2002
- No. 23 日下 貴子, 後藤田貴也, 太田 陽子, 岩橋 朝子, 飯塚 陽子, 大須賀淳一,
石橋 俊, 島野 仁, 山田 信博, 岩本 安彦:
2型糖尿病患者における血中 γ -トコフェロール濃度の低下と α -トコフェロール転送蛋白質 (α -TTP) 遺伝子多型の解析
第45回日本糖尿病学会年次学術集会(東京), 5月, 2002

- No. 24 飯田 薫子, 島野 仁, 高橋 昭光, 曾根 博仁, 豊島 秀男, 奥田 諭吉,
山田 信博:
マクロファージ分泌 TNF- α に対するインスリンの直接作用についての検討
第45回日本糖尿病学会年次学術集会(東京), 5月, 2002
- No. 25 菊池 浩子, 鈴木 誠司, 矢藤 繁, 曾根 博仁, 豊島 秀男, 島野 仁, 川上 康,
山田 信博:
経口血糖降下剤の二次無効症例へのインスリン導入判定の検討
第45回日本糖尿病学会年次学術集会(東京), 5月, 2002
- No. 26 小林 和人, 奥田 諭吉, 山田 信博:
発症後17年間合併症の発症がみられない, 持続皮下インスリン注入療法(CSII)導入1
型糖尿病患者の一例
第45回日本糖尿病学会年次学術集会(東京), 5月, 2002
- No. 27 田村 嘉章, 関谷 元博, 富田佐智子, 岡崎 啓明, 飯塚 陽子, 矢作 直也,
大橋 健, 島野 仁, 安達 栄樹, 新井 洋由, 山田 信博, 石橋 俊, 木村 哲,
大須賀淳一:
血管内皮細胞における SREC (Scavenger Receptor Expressed by Endothelial Cells)
のアセチル LDL および AGE 処理への関与の検討
第45回日本糖尿病学会年次学術集会(東京), 5月, 2002
- No. 28 雨宮三千代, 島野 仁, 岡崎 啓明, 田村 嘉章, 矢作 直也, 飯塚 陽子, 大橋 健,
大須賀淳一, 石橋 俊, 山田 信博:
SREBP による膵 β 細胞 lipotoxicity の検討
第45回日本糖尿病学会年次学術集会(東京), 5月, 2002
- No. 29 曾根 博仁, 島野 仁, 高橋 昭光, 鈴木 将玄, 小林 和人, 飯田 薫子,
若山 直美, 大垣 聡子, 斎藤 和美, 矢藤 繁, 鈴木 浩明, 豊島 秀男, 川上 康,
奥田 諭吉, 伊藤佐智子, 小堀樹一郎, 齋藤 和典, 山田 信博:
2型糖尿病(DM)患者の食後高脂血症(PPHL)診断指標経口脂肪負荷試験(OFTT)と
の相関
第45回日本糖尿病学会年次学術集会(東京), 5月, 2002
- No. 29 太田 陽子, 後藤田貴也, 日下 貴子, 岩橋 朝子, 飯塚 陽子, 大須賀淳一,
石橋 俊, 島野 仁, 山田 信博, 岩本 安彦:
2型糖尿病と正常対照群におけるホルモン感受性リパーゼ遺伝子の60C/G多型と代謝
指標との関連の検討
第45回日本糖尿病学会年次学術集会(東京), 5月, 2002
- No. 30 矢作 直也, 島野 仁, 関谷 元博, 富田佐智子, 岡崎 啓明, 田村 嘉章,
飯塚 陽子, 大橋 健, 原田 賢治, 後藤田貴也, 石橋 俊, 山田 信博, 大須賀淳一,
木村 哲:
肥満マウス (ob/ob マウス) の DNA マイクロアレイによる解析
第45回日本糖尿病学会年次学術集会(東京), 5月, 2002

- No. 31 高橋 昭光, 島野 仁, 飯田 薫子, 小林 和人, 鈴木 将玄, 豊島 秀男,
曾根 博仁, 山田 信博:
Sterol regulatory element binding protein 1 (SREBP1) トランスジェニックマウスに
おける耐糖能の検討
第45回日本糖尿病学会年次学術集会(東京), 5月, 2002
- No. 32 岡崎 啓明, 富田佐智子, 関谷 元博, 田村 嘉章, 矢作 直也, 飯塚 陽子,
大橋 健, 磯尾 直之, 塚本 和久, 島野 仁, 山田 信博, 石橋 俊, 大須賀淳一,
木村 哲:
肝臓内コレステロール合成亢進のコレステロール代謝に及ぼす影響
第45回日本糖尿病学会年次学術集会(東京), 5月, 2002
- No. 33 飯塚 陽子, 後藤田貴也, 大須賀淳一, 石橋 俊, 岡崎 啓明, 田村 嘉章,
矢作 直也, 大橋 健, 木村 哲, 山田 信博:
高血圧自然発症ラット (SHR) のインスリン抵抗性原因候補遺伝子 (KAT-1) の同定とそ
の発現系の作成
第45回日本糖尿病学会年次学術集会(東京), 5月, 2002
- No. 34 山田 信博:
脂質とインスリン分泌・作用の相互関係 (シンポジウム座長)
第45回日本糖尿病学会年次学術集会(東京), 5月, 2002
- No. 35 山田 信博:
日本人のエビデンスに基づいた脂質コントロール (ランチョンセミナー座長)
第45回日本糖尿病学会年次学術集会(東京), 5月, 2002
- No. 36 島野 仁:
SREBP とインスリン(シンポジウム)
第45回日本糖尿病学会年次学術集会(東京), 5月, 2002
- No. 37 Yamada N:
Japanese Clinical Guideline on Hyperlipidemia.
26th International Congress of Internal Medicine (Kyoto), 5月, 2002
- No. 38 飯田 薫子, 島野 仁, 豊島 秀男, 曾根 博仁, 奥田 諭吉, 山田 信博:
マクロファージにおけるインスリンの作用—動脈硬化発症機構に関する検討—
第6回北関東糖尿病フォーラム(大宮), 5月, 2002
- No. 39 Okuda Y, Chisaki K, Soma M, Shu M, Yamada N:
Influences of eicosapentaenoic acid on endothelin-1 production in human vascular
endothelial Cells.
XII th International Vascular Biology Meeting(軽井沢), 5月, 2002
- No. 40 Iida TK, Shimano H, Toyoshima H, Sone H, Suzuki H, Asano T, Okuda Y, Yamada N:
Insulin upregulates tumor necrosis factor- α production in macrophages
through an extracellular-regulated kinases-dependent pathway.
XII th International Vascular Biology Meeting(軽井沢), 5月, 2002

- No. 41 山田 信博：
女性と生活習慣病
第103回日本産科婦人科学会関東連合地方部会(東京)，6月，2002
- No. 42 大垣 聡子，鈴木 誠司，鈴木 浩明，曾根 博仁，豊島 秀男，島野 仁，
奥田 諭吉，山田 信博：
クッシング症候群におけるコルチゾール値と左室肥大との関連についての検討
第75回日本内分泌学会学術総会(大阪)，6月，2002
- No. 43 横田千津子，奥田 諭吉，坂内千恵子，山下亀次郎，山田 信博，椎貝 達夫：
末端肥大症の耐糖能に及ぼすグルカゴンの影響について
第75回日本内分泌学会学術総会(大阪)，6月，2002
- No. 44 Sone H, Shimano H, Takahashi A, Inoue N, Taguchi M, Okuda Y, Yamada N：
Acetoacetyl-coenzyme A Synthetase (AACAS) is a Lipogenic Enzyme Modulated
by Sterol Regulatory Element-binding proteins and Diabetes.
62th Annual Meeting and Scientific sessions of American Diabetes Association
(San Francisco)，6月，2002
- No. 45 山田 信博：
糖尿病大血管症
科学的根拠に基づく糖尿病ガイドラインに関するシンポジウム(東京)，7月，2002
- No. 46 矢作 直也，島野 仁，大須賀淳一，嶋田 昌子，野牛 宏晃，大橋 健，原田 賢治，
後藤田貴也，山田 信博，石橋 俊：
肥満インスリン抵抗性動物からみた高レムナント血症の発症機序(シンポジウム)
第34回日本動脈硬化学会総会(神戸)，7月，2002
- No. 47 島野 仁，飯田 薫子，高橋 昭光，曾根 博仁，鈴木 浩明，豊島 秀男，
矢作 直也，大須賀淳一，石橋 俊，山田 信博：
糖尿病の動脈硬化におけるインスリン抵抗性の意義(シンポジウム)
第34回日本動脈硬化学会総会(神戸)，7月，2002
- No. 48 山田 信博：
糖尿病の立場から(ジョイントシンポジウム)
第34回日本動脈硬化学会総会(神戸)，7月，2002
- No. 49 岡崎 啓明，富田佐智子，矢作 直也，塚本 和久，岡崎 三代，島野 仁，
山田 信博，石橋 俊，大須賀淳一，木村 哲：
肝臓内コレステロール合成亢進のコレステロール代謝に及ぼす影響
第34回日本動脈硬化学会総会(神戸)，7月，2002
- No. 50 曾根 博仁，島野 仁，高橋 昭光，田口 美保，井上 訓之，横尾 友隆，
飯田 薫子，鈴木 浩明，豊島 秀男，山田 信博：
SREBPにより調節されるリポジェニック酵素：Acetoacetyl CoASynthetase(AACAS)
の解析
第34回日本動脈硬化学会総会(神戸)，7月，2002

- No. 51 曾根 博仁, 島野 仁, 高橋 昭光, 鈴木 将玄, 鈴木 浩明, 奥田 諭吉,
伊藤佐智子, 小堀樹一郎, 齋藤 和典, 山田 信博:
食後高脂血症 (PPHL) 診断マーカー確立の試み脂肪負荷試験 (OFTT) との相関 (第
2 報)
第34回日本動脈硬化学会総会(神戸), 7 月, 2002
- No. 52 曾根 博仁, 山田 信博, JDCStudy グループ:
マルチプルリスクファクター症候群をいかに捉えるか, 糖尿病-Japan Diabetes Complica-
tions Study (JDCS) から(パネルディスカッション)
第34回日本動脈硬化学会総会(神戸), 7 月, 2002
- No. 53 奥田 諭吉:
栄養戦略の立て方, 考え方
つくば栄養事始め(つくば), 7 月, 2002
- No. 54 奥田 諭吉:
内科からみた経腸栄養剤について
免疫増強栄養剤ランドテーブル(つくば), 7 月, 2002
- No. 55 Yamada N:
Viewpoint of New Compound Development After Statin Derivatives. (Invited
lecture) (STATIN: CLINICAL STUDY OF STATIN DERIVATIVES -HMG-
CoA REDUCTASE INHIBITORS)
9th Annual Work-shop in Japan for BIOSTATISTICS(東京), 8 月, 2002
- No. 56 Yokota C, Okuda Y, Yamada N, Kawai K, Shiigai T:
Valsartan improves microalbuminuria in normotensive Type 2 diabetic patients
through the decrease in plasma levels of BNP and ANP.
38th Annual Meeting of the European Association for the Study of Diabetes
(Budapest), 9 月, 2002
- No. 57 奥田 諭吉:
Q&A インスリン抗体の性状について
第 8 回県南 DM 治療研究会(つくば), 9 月, 2002
- No. 58 奥田 諭吉:
Therapy of dysbetalipoproteinemia.
International Symposium-Current insight into Coronary Heart Disease
(東京), 9 月, 2002
- No. 59 奥田 諭吉:
生活習慣病 E「安全に無理なく運動を続ける方法」
日本プライマリ・ケア学会 第13回生涯教育研修講座(東京), 9 月, 2002
- No. 60 Okuda Y:
Optimal Diet Composition and Sports the Treatment of Obesity.
Round table Discussion on Immunonutrition(つくば), 9 月, 2002

- No. 61 山田 信博：
高血圧性動脈硬化の発症機序：インスリン抵抗性の観点より（シンポジウム）
第25回日本高血圧学会総会（東京），10月，2002
- No. 62 横田千津子，奥田 諭吉，山田 信博，椎貝 達夫：
高血圧を有する糖尿病早期腎症に対する Valsartan の効果と血中 ANP，BNP 濃度について
第25回日本高血圧学会総会（東京），10月，2002
- No. 63 Sone H, Yamada N：
NIDDM in Japan
日米医学協力計画栄養代謝部会（東京），10月，2002
- No. 64 Sone H, Yamada N, JDCS Group：
Panel Discussion. The Metabolic Syndrome-Pathogenesis and Clinical Feature.
“Type 2 Diabetes in Japan”.
The Meeting of US-Japan Panel on Nutrition and Metabolism
（東京），10月，2002
- No. 65 山田 信博：
糖尿病における動脈硬化症の病態
日本内科学会信越支部 第27回生涯教育講演会（松本），10月，2002
- No. 66 曾根 博仁，山田 信博，JDCStudy グループ：
マルチプルリスクファクター症候群の一部分症としての糖尿病性マクロアングイオパシー，JDCS の中間解析からみた本邦の糖尿病大血管障害のリスクファクター（シンポジウム）
第17回日本糖尿病合併症学会（東京），10月，2002
- No. 67 三浦 光弘，奥田 諭吉，浅野 道子，曾根 博仁，鈴木 浩明，豊島 秀男，
島野 仁，山田 信博：
糖尿病性皮膚潰瘍に対する治療の検討
第8回糖尿病フットケア研究会（東京），10月，2002
- No. 68 奥田 諭吉：
糖尿病・高血圧・高脂血症および心・脳血管イベントの予防に関する最新の話題
新潟県医師会生涯教育講座（長岡），10月，2002
- No. 69 奥田 諭吉：
Improvement of postprandial hyperglycemia in patients with diabetes mellitus
Q&A Sports and hypoglycemia in patients with type I diabetes mellitus.
日本医師会生涯教育講座 James H Anderson Jr.M.D.講演会（つくば），10月，2002
- No. 70 山田 信博：
介入試験の観察から（シンポジウム）
第39回日本臨床生理学会総会（金沢），11月，2002

- No. 71 Ji Ma, Nakajima T, Iida H, Terasawa K, Iwasawa K, Okuda Y, Eto F, Yamada N, Nagai R, Omata M :
Inhibitory effects of ursodexychoic acid (UDCA) on the induction of nitric oxide synthase (iNOS) in vascular smooth muscle cells (VSMCs).
International Society for Heart Research the 19th Annual Meeting
of the Japanese Section (山形), 11月, 2002
- No. 72 Yokota C, Shiigai T, Okuda Y :
The effect of Valsartan is possibly mediated by a decrease of plasma levels of BNP and ANP in hypertensive patients with early stage diabetic nephropathy.
第5回日中高血圧シンポジウム(中国), 11月, 2002
- No. 73 奥田 諭吉 :
生活習慣病における心・脳・血管リスクの管理
第8回群馬プロスタサイクリン研究会(前橋), 11月, 2002
- No. 74 奥田 諭吉 :
Q&A Effect of ω -3 polyunsaturated fatty acids on blood pressure in man
つくば栄養事始め2(つくば), 11月, 2002
- No. 75 奥田 諭吉 :
高血圧・糖尿病・高脂血症の最新の話(ATI受容体ブロッカーの新知見)
きぬ医師会学術講演会(水海道), 11月, 2002
- No. 76 奥田 諭吉 :
生活習慣病と運動について
筑波大学附属病院健康スポーツクリニック主催講演会(つくば), 11月, 2002
- No. 77 高橋 昭光, 島野 仁, 松坂 賢, 山本 隆史, 中川 嘉, 田口 美保, 山田 信博 :
PEPCK-SREBP-1a transgenic mouse におけるインスリン抵抗性
第14回分子糖尿病学シンポジウム(大阪), 12月, 2002
- No. 78 横田 千津子, 山田 信博, 奥田 諭吉 :
正常血圧である糖尿病性早期腎症患者の血中 HANP-BNP に及ぼす Valsartan の影響
第14回日本糖尿病腎症研究会(東京), 12月, 2002
- その他
- No. 1 曾根 博仁, 山田 信博 :
糖尿病における動脈硬化症の発症予防と進展抑制に関する研究
厚生労働省特定疾患対策研究事業原発性高脂血症に関する調査研究平成13年度班会議
(京都), 1月, 2002
- No. 2 奥田 諭吉 :
薬に頼らず運動療法
朝日新聞, 2月, 2002
- No. 3 曾根 博仁, 片桐あかね, 大橋 靖雄, 山田 信博, JDCStudy グループ :
糖尿病における血管合併症の発症予防と進展抑制に関する研究(JDCS)
公益信託動脈硬化予防研究基金2002年研究報告会抄録集(東京), 5月, 2002

- No. 4 奥田 諭吉：
内因性血管新生抑制因子としてのコンドロモジュリン-I ～質疑応答～
第120回日本医学会シンポジウム記録集：56，2002
- No. 5 山田 信博，島野 仁，曾根 博仁：
糖尿病合併症について
平成14年度筑波大学付属病院公開講演会「市民公開健康講座」
(つくば)，7月，2002
- No. 6 奥田 諭吉：
内科からみた経腸栄養剤について
免疫増強栄養剤ラウンドテーブル(つくば)，7月，2002
- No. 7 奥田 諭吉：
高脂血症・高血圧・糖尿病の病態と血管イベント，予防治療に関する最新の話
真壁郡市医師会研修会(下館)，7月，2002
- No. 8 奥田 諭吉：
療養指導各論(7)糖尿病患者にみられる慢性合併症②大血管障害
日本糖尿病療養指導士認定機構主催 第3回講習会，10月，2002
- No. 9 奥田 諭吉：
日本の大学の栄養教育—その国際性と今後の展望
MINCS，10月，2002
- No. 10 曾根 博仁，山田 信博，JDCStudy グループ：
2型糖尿病における血管合併症と日本の現況
群馬県医師会学術講演会(前橋)，11月，2002
- No. 11 奥田 諭吉：
生活習慣病E「安全に無理なく運動を続ける方法」
日本プライマリ・ケア学会 第13回生涯教育研修講座
ケアネットTV (スカイパーフェク TV)，11月，2002
- No. 12 Okuda Y：
International Scientist of the Year for 2002，11月，2002
- No. 13 曾根 博仁：
糖尿病薬物治療の実際
第70回鹿島北部臨床医家懇話会(茨城県鉾田町)，11月，2002

2002年 (膠原病・リウマチ・アレルギー内科グループ)

原 著

- No. 1 Yasuda S., Tsutsumi A., Atsumi T., Maria L. Bertolaccini., Ichikawa K.,
Munther A. Khamashta., Graham R.V. Hughes., and Koike T. :
Gene polymorphisms of tissue plasminogen activator and plasminogen activator
inhibitor-1 in patients with antiphospholipid antibodies
The Journal of Rheumatology. 29(6) : 1192-1197, 2002
- No. 2 Matsumoto I., Maccioni M., David M. Lee., Madelon Maurice., Barry Simmons.,
Michael Brenner., Diane Mathis., and Christophe Benoist. :
How antibodies to a ubiquitous cytoplasmic enzyme may provoke joint-specific
autoimmune disease.
Nature Immunology. 3 : 360-365, 2002
- No. 3 Shimizudani N., Murata H., Keino H., Kojo S., Nakamura H., Morishima Y.,
Sakamoto T., Ohtsuka M., Sekisawa K., Sumida M., Sumida T. and Matsuoka T. :
Conserved CDR 3 region of T cell receptor BV gene in lymphocytes from bron-
choalveolar lavage fluid of patients with idiopathic pulmonary fibrosis
Clinical and Experimental Immunology. 129(1) : 140-149, 2002
- No. 4 Matsumoto I., and Sumida T. :
B cells and Immunoglobulins dependent mechanisms in rheumatoid arthritis.
Therapeutic Apheresis. 6(4) : 317-319, 2002
- No. 5 Tsutsumi A., Ebisuka T., Murata H., Takemura H., and Sumida T. :
An HLA-B27-positive patient diagnosed with ulcerative colitis 15 years after the
onset of arthropathy.
Modern Rheumatology. 12 : 349-353, 2002
- No. 6 Yagi K., Furuhashi M., Aoki H., Goto D., Kuwano H., Sugamura K., Miyazono K., and
Kato M. :
c-myc is a downstream target of the Smad pathway.
Journal of Biological Chemistry. 277(1) : 854-861, 2002
- No. 7 Murata H., Matsumura R., Koyama A., Sugiyama T., Sueishi M., Shibuya K.,
Tsutsumi A., and Sumida T. :
T cell receptor of T cells in the kidneys of patients with lupus nephritis.
Arthritis and Rheumatism. 46(8) : 2141-2147, 2002
- No. 8 Horita T., Tsutsumi A., Takeda T., Yasuda S., Takeuchi R., Amasaki Y., Ichikawa K.,
Atsumi T., and Koike T. :
Significance of magnetic resonance imaging in the diagnosis of regenerative
hyperplasia of the liver complicated with systemic lupus erythematosus: a case
report and review of the literature.
Lupus. 11 : 193-196, 2002

- No. 9 Yasukochi T., Ozawa K., Sato M., Tsutsumi A., Sumida T., and Shibana Y. :
Evaluation of the improvement of IGCR technique
Nucleic Acids Research Supplement. 2 : 199-200, 2002

総 説

- No. 1 住田 孝之 :
Sjögren 症候群
日本臨床 60(1)376-380, 2002
- No. 2 住田 孝之 :
膠原病病態の分子機構の解明と治療への応用
内科 89(2)203-209, 2002
- No. 3 住田 孝之 :
シェーグレン症候群
518-520, 2002
- No. 4 竹村 博之, 住田 孝之 :
多発性筋炎・皮膚筋炎の診療
リウマチ科 27(Suppl.1)681-690, 2002
- No. 5 住田 孝之 :
シェーグレン症候群
ドクターサロン 46(5)348-352, 2002
- No. 6 住田 孝之 :
第18章 シェーグレン症候群の女性患者さんの妊娠：新生児の問題
137-142, 2002
- No. 7 住田 孝之 :
Sjögren 症候群
小児科診療 Q&A 34 : 88-93, 2002
- No. 8 村田 秀行, 住田 孝之 :
マイクロキメリズムと自己免疫疾患
549-553, 2002
- No. 9 住田 孝之 :
膠原病病態の分子機構の解明と治療への応用
内科 89(2) : 202-209, 2002
- No. 10 香城 諭 :
NKT 細胞と自己免疫病
リウマチ科 27(3) : 305-312, 2002
- No. 11 松本 功 :
GPI 抗体と関節炎
Mebio 19(5) : 49-54, 2002
- No. 12 住田 孝之 :
Sjögren 症候群
臨床医2002 28 増刊号 : 1562-1563, 2002

- No. 13 村田 秀行, 住田 孝之:
膠原病とマイクロメリズム
アレルギー・免疫 9(9):1018-1027, 2002
- No. 14 住田 孝之:
自己免疫疾患の遺伝子学
臨床遺伝子学2002年9月増刊号:2113-2125, 2002
- No. 15 住田 孝之:
学会レポート「第8回国際シェーグレン症候群シンポジウム」
感染・炎症・免疫32(3):224-225, 2002
- No. 16 松本 功, 住田 孝之:
関節炎と解糖系酵素に対する自己抗体
リウマチ科28(4)374-381, 2002
- No. 17 住田 孝之:
シェーグレン症候群発症の分子機構 —T細胞と対応抗原—
リウマチ42(5)769-776, 2002
- No. 18 後藤 大輔, 住田 孝之:
Adalimumab
日本臨床60(12)2384-2389, 2002
- No. 19 住田 孝之:
シェーグレン治療薬
Medical Science Digest 29(2)50-51, 2002
- 著 書
- No. 1 住田 孝之:
シェーグレン症候群
TODAY'S THERAPY2003 今日の治療指針2002,
山口 徹, 北原光夫, 総編集 医学書院, 518-520, 2002
- No. 2 住田 孝之:
膠原病・リウマチの概念と歴史
EXPERT 膠原病・リウマチ
住田孝之編集 診断と治療社, 2-7, 2002
- No. 3 堤 明人:
貧血
EXPERT 膠原病・リウマチ
住田孝之編集 診断と治療社, 90-95, 2002
- No. 4 村田 秀行:
Raynaud 現象
EXPERT 膠原病・リウマチ
住田孝之編集 診断と治療社, 96-99, 2002

- No. 5 村田 秀行：
クリオグロブリン血症，クリオフィブリノーゲン血症
EXPERT 膠原病・リウマチ
住田孝之編集 診断と治療社，176-183，2002
- No. 6 堤 明人：
梅毒反応生物学的偽陽性
EXPERT 膠原病・リウマチ
住田孝之編集 診断と治療社，192-194，2002
- No. 7 住田 孝之：
Sjögren 症候群
EXPERT 膠原病・リウマチ
住田孝之編集 診断と治療社，264-271，2002
- No. 8 堤 明人：
リウマチ性多発筋痛症
EXPERT 膠原病・リウマチ
住田孝之編集 診断と治療社，342-345，2002
- No. 9 村田 秀行：
線維筋痛症
EXPERT 膠原病・リウマチ
住田孝之編集 診断と治療社，176-183，2002
- No. 10 堤 明人：
偽痛風
EXPERT 膠原病・リウマチ
住田孝之編集 診断と治療社，393-394，2002
- No. 11 堤 明人：
回帰性リウマチ
EXPERT 膠原病・リウマチ
住田孝之編集 診断と治療社，394-396，2002
- No. 12 堤 明人：
RS₃PE
EXPERT 膠原病・リウマチ
住田孝之編集 診断と治療社，396-397，2002
- No. 13 堤 明人：
反射性交感性ジストロフィー
EXPERT 膠原病・リウマチ
住田孝之編集 診断と治療社，397-398，2002
- No. 14 堤 明人：
Weber-Christian 病
EXPERT 膠原病・リウマチ
住田孝之編集 診断と治療社，398-399，2002

- No. 15 村田 秀行：
好酸球性筋膜炎
EXPERT 膠原病・リウマチ
住田孝之編集 診断と治療社，399-401，2002
- No. 16 村田 秀行：
色素沈着性絨毛性滑膜炎
EXPERT 膠原病・リウマチ
住田孝之編集 診断と治療社，401-402，2002
- No. 17 村田 秀行：
神経障害性関節症
EXPERT 膠原病・リウマチ
住田孝之編集 診断と治療社，403-404，2002
- No. 18 村田 秀行：
膠原病・リウマチ疾患の診断基準一覧
EXPERT 膠原病・リウマチ
住田孝之編集 診断と治療社，416-435，2002
- No. 19 堤 明人：
貧血
ESSENCE 膠原病・リウマチー診断へのアプローチ
住田孝之編集 診断と治療社，12-13，2002
- No. 20 村田 秀行：
Raynaud 現象
ESSENCE 膠原病・リウマチー診断へのアプローチ
住田孝之編集 診断と治療社，14-15，2002
- No. 21 堤 明人：
赤沈，CRP
ESSENCE 膠原病・リウマチー診断へのアプローチ
住田孝之編集 診断と治療社，34-35，2002
- No. 22 村田 秀行：
クリオグロブリン血症
ESSENCE 膠原病・リウマチー診断へのアプローチ
住田孝之編集 診断と治療社，44-45，2002
- No. 23 村田 秀行：
クリオフィブリノーゲン血症
ESSENCE 膠原病・リウマチー診断へのアプローチ
住田孝之編集 診断と治療社，46-47，2002
- No. 24 堤 明人：
梅毒反応生物学的偽陽性
ESSENCE 膠原病・リウマチー診断へのアプローチ
住田孝之編集 診断と治療社，50-51，2002

- No. 25 住田 孝之：
Sjögren 症候群
ESSENCE 膠原病・リウマチー診断へのアプローチ
住田孝之編集 診断と治療社，66-69，2002
- No. 26 堤 明人：
リウマチ性多発筋痛症
ESSENCE 膠原病・リウマチー診断へのアプローチ
住田孝之編集 診断と治療社，94-95，2002
- No. 27 村田 秀行：
繊維筋痛症
ESSENCE 膠原病・リウマチー診断へのアプローチ
住田孝之編集 診断と治療社，106-107，2002
- No. 28 松本 功：
変形性関節症
ESSENCE 膠原病・リウマチー診断へのアプローチ
住田孝之編集 診断と治療社，114-115，2002
- No. 29 後藤 大輔：
痛風
ESSENCE 膠原病・リウマチー診断へのアプローチ
住田孝之編集 診断と治療社，116-117，2002
- No. 30 堤 明人：
偽痛風
ESSENCE 膠原病・リウマチー診断へのアプローチ
住田孝之編集 診断と治療社，118-119，2002
- No. 31 堤 明人：
回帰性リウマチ
ESSENCE 膠原病・リウマチー診断へのアプローチ
住田孝之編集 診断と治療社，120-121，2002
- No. 32 堤 明人：
RS₃PE
ESSENCE 膠原病・リウマチー診断へのアプローチ
住田孝之編集 診断と治療社，122-123，2002
- No. 33 堤 明人：
反射性交感性ジストロフィー
ESSENCE 膠原病・リウマチー診断へのアプローチ
住田孝之編集 診断と治療社，124-125，2002
- No. 34 堤 明人：
Weber-Christian 病
ESSENCE 膠原病・リウマチー診断へのアプローチ
住田孝之編集 診断と治療社，126-127，2002

- No. 35 村田 秀行：
好酸球性筋膜炎
ESSENCE 膠原病・リウマチー診断へのアプローチ
住田孝之編集 診断と治療社，128-131，2002
- No. 36 村田 秀行：
色素沈着性絨毛結節性滑膜炎
ESSENCE 膠原病・リウマチー診断へのアプローチ
住田孝之編集 診断と治療社，132-133，2002
- No. 37 村田 秀行：
神経障害性関節症
ESSENCE 膠原病・リウマチー診断へのアプローチ
住田孝之編集 診断と治療社，134-135，2002
- No. 38 堤 明人：
全身性エリテマトーデス
難病の指針 第4版
茨城県医師会，186-190，2002
- No. 39 堤 明人：
抗リン脂質抗体症候群
今日の診断指針 第5版
医学書院，1180-1182，2002
- 研究報告
- No. 1 住田 孝之：
NKT 細胞による慢性関節リウマチの早期診断・制御に関する研究
厚生科学研究費補助金（感覚器障害及び免疫・アレルギー等研究事業）
分担研究報告書
- No. 2 住田 孝之：
自己免疫病における抗原特異的分子制御に関する研究
分担研究報告書
- その他
- No. 1 住田 孝之：
アレルギー・免疫・膠原病
免疫病を遺伝子のレベルで語るできるようになった
Mebio 18(1)128-129，2001
- No. 2 住田 孝之：
One Point Advice
21世紀のリウマチ治療は変わるか？ —Yes！
Medical Practice 19(7)1212，2002

- No. 3 住田 孝之：
診断基準
リウマチ基本テキスト591-634, 2002
- No. 4 住田 孝之：
座談会「シェーグレン症候群の臨床と研究・今後の展望」
シェーグレン症候群への Strategy 23-31, 2002
- No. 5 住田 孝之：
Research 最前線「第11回 シェーグレン症候群研究会」
内科90(3)552, 2002
- No. 6 住田 孝之：
膠原病・リウマチ科領域におけるシェーグレン症候群
診療手帳156(11)1-4, 2002
- No. 7 浅原 弘嗣, 住田 孝之：
はじめに (CREB とその周辺)
医学のあゆみ203(8)517, 2002
- No. 8 松本 功：
自己抗体依存性関節リウマチの病因論及びその治療戦略
(社)日本リウマチ友の会茨城支部36周年大会 (茨城), 10月, 2002

学会発表

- No. 1 松本 功：
解糖系酵素により誘導される関節炎-組織特異性及びヒト関節炎との関連
第7回リウマチフォーラムリウマチリーグ (東京), 1月, 2002
- No. 2 住田 孝之：
自己免疫病における抗原特異的分子制御に関する研究
平成13年度厚生科学研究費補助金 (特定疾患対策研究事業) (東京), 1月, 2002
- No. 3 住田 孝之：
リウマチ・膠原病 ー免疫異常と制御ー
第8回兵庫県リウマチ登録医の会 (リウマチ医の会)
学術講演会 (神戸), 2月, 2002
- No. 4 村田 秀行, 千野 裕介, 松本 功, 堤 明人, 住田 孝之：
全身性硬化症患者に合併した間質性肺炎の気管支肺胞洗浄液におけるT細胞レセプターの解析
第5回強皮症研究会議 (金沢), 3月, 2002
- No. 5 住田 孝之：
シェーグレン症候群 ー免疫異常と制御ー
第2回神奈川県シェーグレン症候群研究会 (横浜), 3月, 2002
- No. 6 住田 孝之：
リウマチ・膠原病 ー免疫異常と制御ー
第1回北陸膠原病研究会学術講演会 (金沢), 3月, 2002

- No. 7 住田 孝之：
リウマチ シェーグレン症候群の最新治療
日本薬学会第122年会ランチョンセミナー（幕張），3月，2002
- No. 8 松本 功，住田 孝之：
解糖系酵素により誘導される関節炎 ―ヒト RA との関連
第99回日本内科学会講演会（名古屋），3月，2002
- No. 9 住田 孝之：
リウマチの免疫異常と制御
第30回愛媛リウマチ研究会（愛媛），3月，2002
- No. 10 住田 孝之：
シェーグレン症候群 ―最近の知見―
北海道医師会認定生涯教育講座 シェーグレン症候群を考える会
（札幌），4月，2002
- No. 11 住田 孝之：
日本リウマチ対策開始50周年記念 リウマチ制圧10か年対策
国際会議（東京），4月，2002
- No. 12 村田 秀行，松村 竜太郎，杉山 隆夫，末石 真，松本 功，堤 明人，住田 孝之：
ループス腎炎患者腎湿潤 T 細胞の単細胞レベルでのサイトカイン解析
第46回日本リウマチ学会総会学術集会（神戸），4月，2002
- No. 13 林 太智，高橋 令子，千野 裕介，後藤 大輔，松本 功，村田 秀行，堤 明人，
住田 孝之：
膠原病の経過中に著明な肺高血圧を呈した3症例
第46回日本リウマチ学会総会学術集会（神戸），4月，2002
- No. 14 松本 功，村木 祥文，堤 明人，村田 秀行，Christophe Benoist，Diane Mathis，
住田 孝之：
解糖系酵素により誘導される関節炎―ヒト関節炎との関連
第46回日本リウマチ学会総会学術集会（神戸），4月，2002
- No. 15 堤 明人，香城 諭，大西 康之，松本 功，村田 秀行，住田 孝之：
抗リン脂質抗体症候群患者における抗プロトロンビン抗体の T 細胞エピトープ解析
第46回日本リウマチ学会総会学術集会（神戸），4月，2002
- No. 16 堤 明人，村田 秀行，松本 功，香城 諭，千野 裕介，高橋 令子，住田 孝之：
慢性関節リウマチ患者滑膜における G0S24遺伝子発現
第46回日本リウマチ学会総会学術集会（神戸），4月，2002
- No. 17 香城 諭，住田 孝之：
自己免疫疾患患者における CD1d 分子アイソフォームと NKT 細胞反応性の解析
第46回日本リウマチ学会総会学術集会（神戸），4月，2002
- No. 18 松本 功，Diane Mathis，Christophe Benoist：
抗 GPI 抗体と関節炎
第46回日本リウマチ学会総会学術集会（神戸），4月，2002

- No. 19 内藤 祐介, 香城 諭, 松本 功, 堤 明人, 住田 孝之:
HLA-DRB1*0405陽性シェーグレン症候群患者末梢血における α -アミラーゼ反応性
T 細胞の共通エピトープ解析
第46回日本リウマチ学会総会学術集会 (神戸), 4月, 2002
- No. 20 千野 裕介, 村田 秀行, 松本 功, 堤 明人, 住田 孝之:
皮膚筋炎に合併した間質性肺炎の気管支肺胞洗浄液における T 細胞レセプターの解析
第46回日本リウマチ学会総会学術集会 (神戸), 4月, 2002
- No. 21 大西 康之, 堤 明人, 住田 孝之:
DNA マイクロアレイ法を用いた関節炎モデルにおける遺伝子発現解析
第46回日本リウマチ学会総会学術集会 (神戸), 4月, 2002
- No. 22 村田 秀行, 松村 竜太郎, 杉山 隆夫, 末石 真, 松本 功, 堤 明人, 住田 孝之:
シェーグレン症候群に伴う間質性腎炎患者腎内浸潤 T 細胞の抗原受容体解析
第46回日本リウマチ学会総会学術集会 (神戸), 4月, 2002
- No. 23 堤 明人, 村田 秀行, 松村 竜太郎, 松本 功, 住田 孝之:
ループス腎炎患者腎湿潤 T 細胞の抗原受容体解析
第46回日本リウマチ学会総会学術集会 (神戸), 4月, 2002
- No. 24 高橋 令子, 堤 明人, 松本 功, 村田 秀行, 住田 孝之:
全身性エリテマトーデス患者における Mannose binding lectin 遺伝子の多型性
第46回日本リウマチ学会総会学術集会 (神戸), 4月, 2002
- No. 25 村木 祥文, 堤 明人, 高橋 令子, 住田 孝之:
日本人 SLE 患者における II-1 β 遺伝子多型と疾患の関連
第46回日本リウマチ学会総会学術集会 (神戸), 4月, 2002
- No. 26 倉沢 和宏, 後藤 大輔, 松本 桂子, 池田 啓, 森 由美子, 熊野 浩太郎,
縄田泰史, 岩本逸夫, 斎藤 康:
膠原病肺高血圧発症における抗 BMP レセプター抗体の関与
第46回日本リウマチ学会総会学術集会 (神戸), 4月, 2002
- No. 26 内藤 祐介:
ムスカリン受容体に対する自己免疫応答
シェーグレン症候群市川セミナー2002 (市川), 4月, 2002
- No. 27 Kojo S., and Sumida T.:
Dysfunction of TCR AV24AJ18+BV11+NKT Cells in Patients with Sjogren's
Syndrome.
The 8th International Symposium on Sjogren's (金沢), 5月, 2002
- No. 28 Muraki Y., Tsutsumi A., Takahashi R., Chino Y., Matsumoto I., Murata H., and
Sumida T.:
Polymorphisms of IL-1 β Gene in Japanese Patients with Sjogren's Syndrome.
The 8th International Symposium on Sjogren's (金沢), 5月, 2002

- No. 29 Takahashi R., Tsutsumi A., Muraki Y., Chino Y., Goto D., Matsumoto I., Murata H., and Sumida T. :
Polymorphism of the Mannose-Binding Lectin Gene in Japanese Patients with Sjogren's Syndrome.
The 8th International Symposium on Sjogren's (金沢), 5月, 2002
- No. 30 Murata H., Chino Y., Matsumoto I., Tsutsumi A., and Sumida T. :
Quantitation of Microchimerism in Japanese Women with Sjogren's Syndrome.
The 8th International Symposium on Sjogren's (金沢), 5月, 2002
- No. 31 Naito Y., Kojo S., Tsutsumi A., Matsumoto I., and Sumida T. :
Analysis of Common T Cell Epitopes of α -Amylase in HLA-DR B1 0405 Positive Patients with Sjogren's Syndrome.
The 8th International Symposium on Sjogren's (金沢), 5月, 2002
- No. 32 住田 孝之 :
リウマチ・膠原病 —サイエンスに基づく診断と治療—
第26回東海地区整形外科教育研修会 (名古屋), 5月, 2002
- No. 33 Tsutsumi A., Kojo S., Adachi Y., Takahashi R., Chino Y., Matsumoto I., Murata H., and Sumida T. :
Expression of G0S24 (Tristetraprolin) gene is increased in synovial tissue from patients with rheumatoid arthritis.
26th International congress of Internal Medicine (京都), 5月, 2002
- No. 34 林 太智, 村田 秀行, 高橋 令子, 千野 裕介, 後藤 大輔, 松本 功, 堤 明人, 住田 孝之 :
無菌性髄膜炎を合併した再発性多発軟骨炎の1例
第43回関東リウマチ研究会 (東京), 6月, 2002
- No. 35 高橋 令子, 堤 明人, 村木 祥文, 大谷 克城, 若宮 信隆, 住田 孝之 :
全身性エリテマトーデス患者における Mannose binding lectin 遺伝子の多型性
2002年免疫学サマースクール (淡路島), 7月, 2002
- No. 36 住田 孝之 :
シェーグレン症候群発症の分子機構—T細胞と抗原—
第12回日本口腔粘膜学会総会 (宇都宮), 7月, 2002
- No. 37 住田 孝之 :
今日的な自己免疫疾患発症機序の理解
第28回リウマチ中央教育研修会 (東京), 7月, 2002
- No. 38 堤 明人, 住田 孝之 :
関節リウマチの疾患感受性遺伝子解析
文部科学省科学研究費特定領域研究C「ゲノム」4
研究発表会 (神戸), 8月, 2002
- No. 39 住田 孝之 :
シェーグレン症候群の診断・治療の最前線
第2回千葉シェーグレン症候群フォーラム (幕張), 9月, 2002

- No. 40 Sumida. T, Yoshida. K., Ohnishi. Y, and Tsutsumi. A :
 Localization of T cell epitopes on prothrombin in patients positive for antiprothrombin antibodies
 10th International Congress on Antiphospholipid Antibodies (Sicily.) October, 2002
- No. 41 Takahashi. R, Tsutsumi. A, Muraki. Y, Ohtani. K, Wakamiya. N, and Sumida. T :
 Association of mannose-binding lectin gene polymorphism with disease occurrence, characteristics and progression of systemic lupus erythematosus
 The 15th Naito Conference on Molecular Biological approaches for intractable disease 【III】 (Tokyo.) October, 2002
- No. 42 坪井 洋人, 村田 秀行, 千野 裕介, 高橋 令子, 林 太智, 後藤 大輔, 松本 功, 長谷川 雄一, 堤 明人, 住田 孝之 :
 ASO 活性を伴った高ガンマグロブリン血症を呈した Multicentric Castleman's disease の一例
 第502回日本内科学会関東地方大会 (東京), 9 月, 2002
- No. 43 住田 孝之 :
 シェーグレン症候群の診断・治療の最前線
 第1回九州シェーグレン症候群研究会 (博多), 10月, 2002
- No. 44 住田 孝之 :
 変異ペプチドを用いた免疫難病の治療アプローチ
 厚生労働科学研究費補助金 免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業 平成14年度合同班会議 (東京), 10月, 2002
- No. 45 Murata H., Matsumura R., Sugiyama T., Sueishi M., Matsumoto I., Tsutsumi A. and Sumida T. :
 Single Cell Analysis of T Cells in the Kidneys from Patients with Lupus Nephritis
 American College of Rheumatology
 66th Annual Scientific Meeting (New Orleans), October, 2002
- No. 46 Takahashi R., Tsutsumi A., Muraki Y., Ohtani K., Wakamiya N. and Sumida T :
 Association of Mannose-binding Lectin Gene Polymorphism with Disease Occurrence, Characteristics and Progression of Systemic Lupus Erythematosus
 American College of Rheumatology
 66th Annual Scientific Meeting (New Orleans), October, 2002
- No. 47 Naito Y., Matsumoto I., Muraki Y., Tsutsumi A. and Sumida T :
 Autoimmune Response against M3 Muscarinic Acetylcholine Receptor
 American College of Rheumatology
 66th Annual Scientific Meeting (New Orleans), October, 2002
- No. 48 Murata H., Matsumoto I., Tsutsumi A. and Sumida T. :
 Quantitative analysis of Fetal Microchimerism in Japanese Women with Sjögren's Syndrome
 American College of Rheumatology
 66th Annual Scientific Meeting (New Orleans), October, 2002

- No. 49 Chino Y., Murata H., Hayashi T., Takahashi R., Goto D., Matsumoto I., Tsutsumi A. and Sumida T. :
T Cell Receptor Analysis Bronchoalveolar Lavage fluid of Patients with PM/DM
American College of Rheumatology
66th Annual Scientific Meeting (New Orleans), October, 2002
- No. 50 Tsutsumi A., Suzuki E., Goto D., Matsumoto I., Murata H., Nakamura H., Shiga. and Sumida T. :
Tristetraprolin Expression in Synovium of Patients With Rheumatoid Arthritis
American College of Rheumatology
66th Annual Scientific Meeting (New Orleans), October, 2002
- No. 51 Kojo S., Doto D., Tsutsumi A. and Sumida T. :
Low Expression of Soluble CD1d in Patients with Rheumatoid Arthritis
American College of Rheumatology
66th Annual Scientific Meeting (New Orleans), October, 2002
- No. 52 Muraki Y., Tsutsumi A., Takahashi R., Suzuki E., Hayashi T., Chino Y., Goto D., Matsumoto I., Murata H., and Sumida T. :
Polymorphisms of IL-1 β gene in Japanese patients with Sjögren's Syndrome (SS)
American College of Rheumatology
66th Annual Scientific Meeting (New Orleans), October, 2002
- No. 53 Rebecca A Morgan., Zgeng S., Bin W., Matsumoto I., Paul H Wooley. :
Immune reactivity to glucose-6-phosphate isomerase in collagen-induced arthritis.
American College of Rheumatology
66th Annual Scientific Meeting (New Orleans), October, 2002
- No. 54 Carol A Hitchon., Walther van Venrooij., Diane M., Matsumoto I., Christophe B., Hani S El-Gabalawy. :
Native american indians with early rheumatoid arthritis have a higher prevalence of autoantibodies.
American College of Rheumatology
66th Annual Scientific Meeting (New Orleans), October, 2002
- No. 55 松本 功, 高橋 令子, 千野 裕介, 林 太智, 鈴木 英二, 後藤 大輔, 村田 秀行, 堤 明人, 住田 孝之 :
メトトレキセート不応性関節リウマチに対するミゾリビン少量パルス併用療法の検討
第8回茨城リウマチ (つくば), 11月, 2002
- No. 56 住田 孝之 :
強皮症・皮膚筋炎/多発性筋炎・混合性結合組織病の最近の話題
難病医療講演会 (つくば), 11月, 2002
- No. 57 住田 孝之 :
関節リウマチの最新治療
第119回広島県臨床整形外科医会 (広島), 11月, 2002

- No. 58 内藤 祐介, 松本 功, 村木 祥文, 堤 明人, 住田 孝之:
M3ムスカリン性アセチルコリンレセプターに対する自己免疫応答
日本免疫学会 (東京), 12月, 2002
- No. 59 大西 康之, 堤 明人, 住田 孝之:
 α -galactocylceramide の関節炎モデルに対する抑制効果
日本免疫学会 (東京), 12月, 2002
- No. 60 村田 秀行, 松村 竜太郎, 千野 裕介, 後藤 大輔, 松本 功, 堤 明人,
住田 孝之:
ループス腎炎患者腎浸潤 T 細胞サイトカインメッセージの single cell レベル解析
日本免疫学会 (東京), 12月, 2002
- No. 61 千野 裕介, 村田 秀行, 林 太智, 高橋 令子, 後藤 大輔, 松本 功, 堤 明人,
住田 孝之:
間質性肺炎合併多発性筋炎/皮膚筋炎患者の気管支肺胞洗浄液における T 細胞の抗原
受容体解析
日本免疫学会 (東京), 12月, 2002
- No. 62 村木 祥文, 堤 明人, 高橋 令子, 鈴木 英二, 林 太智, 千野 裕介, 後藤 大輔,
松本 功, 村田 秀行, 住田 孝之:
日本人シェーグレン症候群 (SS) および全身性エリテマトーデス (SLE) 患者におけ
る IL-1 β 遺伝子多型と疾患の関連
日本免疫学会 (東京), 12月, 2002
- No. 63 高橋 令子, 堤 明人, 村木 祥文, 後藤 大輔, 松本 功, 村田 秀行, 大谷 克城,
若宮 伸隆, 住田 孝之:
全身性エリテマトーデス患者における Mannose binding lectine 遺伝子の多型性
日本免疫学会 (東京), 12月, 2002
- No. 64 渋谷 和子, 亀田 洋隆, 住田 孝之, 中内 啓光, 渋谷 彰:
レンチウイルスベクターを用いた CD4陽性ナイーブ T 細胞への遺伝子導入法の確立
日本免疫学会 (東京), 12月, 2002
- No. 65 亀田 洋隆, 渋谷 和子, 大西 康之, 松本 功, 住田 孝之, 渋谷 彰:
C57BL/6を用いたコラーゲン誘導関節炎 (CIA) の検討
日本免疫学会 (東京), 12月, 2002
- No. 66 松本 功, 村木 祥文, 林 太智, 郡 祐子, 後藤 大輔, 村田 秀行, 堤 明人,
住田孝之:
抗 GPI 抗体の日本人関節リウマチ患者における発現調整
日本免疫学会 (東京), 12月, 2002
- No. 67 後藤 大輔, 香城 諭, 堤 明人, 住田 孝之:
自己免疫疾患患者における CD1d 分子アイソフォームと NKT 細胞反応性の解析
日本免疫学会 (東京), 12月, 2002
- No. 68 堤 明人, 後藤 大輔, 松本 功, 村田 秀行, 住田 孝之:
関節リウマチ患者滑膜におけるトリステトラプロリン遺伝子発現
日本免疫学会 (東京), 12月, 2002

No. 69 Sumida T:

Immunological abnormality and regulation in Sjogren's syndrome

10th Asia Pacific League of Associations for Rheumatology

Congress (Bangkok.), December, 2002

No. 70 川村 龍, 橋本 明子, 林 太智, 村田 秀行, 千野 裕介, 高橋 令子,

後藤 大輔, 松本 功, 堤 明人, 住田 孝之:

低用量 MTX 投与中に汎血球現象を来し重症混合肺炎を併発した RA の一例

第13回日本リウマチ学会関東支部学術集会 (東京), 12月, 2002

No. 71 住田 孝之, 大西 康之, 内藤 祐介, 後藤 大輔:

NKT 細胞による関節リウマチの早期診断・制御

平成14年度 厚生労働科学研究 免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業

リウマチ関連三班合同発表会 (東京), 12月, 2002

2002年（血液内科グループ）

原 著

- No. 1 Horigome H, Hiramatsu Y, Shigeta O, Nagasawa T, Matsui A. :
Overproduction of platelet microparticles in cyanotic congenital heart disease with polycythemia.
Journal of the American College of Cardiology 2002 ; 39(6) : 1072-1077.
- No. 2 Imagawa S, Suzuki N, Ohmine K, Obara N, Mukai HY, Ozawa K, Yamamoto M, Nagasawa T. :
GATA suppresses erythropoietin gene expression through GATA site in mouse erythropoietin gene promoter.
International Journal of Hematology 2002 ; 75 : 376-381.
- No. 3 Ohsaka A, Hisa T, Watanabe N, Kojima H, Nagasawa T. :
Tetrasomy 21 as a sole chromosome abnormality in acute myeloid leukemia: fluorescence in situ hybridization and spectral karyotyping analyses.
Cancer Genetics and Cytogenetics 2002 ; 134 : 60-64.
- No. 4 Shimizu S, Nagasawa T, Katoh O, Komatsu N, Yokota J, Morishita K. :
EVI is expressed in megakaryocyte cell lineage and enforced expression of EVI1 in UT-7/GM cells induces megakaryocyte differentiation.
Biochemical and Biophysical Research Communications 2002 ; 292 : 609-616.
- No. 5 Imagawa S, Yamaguchi Y, Higuchi M, Neichi T, Hasegawa Y, Mukai HY, Suzuki N, Yamamoto M, Nagasawa T. :
Elevation of vascular endothelial growth factor in patients with obstructive sleep apnea-hypopnea syndrome is not due to increased platelet counts.
Blood 2002 ; 99(1) : 393-394.
- No. 6 Imagawa S, Tarumoto T, Suzuki N, Mukai HY, Hasegawa Y, Higuchi M, Neichi T, Ozawa K, Yamamoto M, Nagasawa T. :
L-Arginine rescues decreased erythropoietin gene expression by stimulating GATA-2 with L-NMMA.
Kidney International 2002 ; 61(2) : 396-404.
- No. 7 Okoshi Y, Imagawa S, Higuchi M, Yoshida C, Shimizu S, Mukai HY, Komeno T, Hasegawa Y, Ninomiya H, Kojima H, Nagasawa T. :
A patient with acquired pure red cell aplasia showing a positive antiglobulin test and the presence of inhibitor against erythroid precursors.
Internal Medicine 2002 ; 41(7) : 589-592.
- No. 8 Kojima H, Abei M, Takei N, Mukai HY, Hasegawa Y, Iijima T, Nagasawa T. :
Fatal reactivation of hepatitis B virus following cytotoxic chemotherapy for acute myelogenous leukemia: fibrosing cholestatic hepatitis.
European Journal of Haematology 2002 ; 69 : 101-104.

- No. 9 Mukai HY, Hasegawa Y, Kojima H, Okoshi Y, Takei N, Yamashita Y, Nagasawa T, Mori N. :
Nodal CD8 positive cytotoxic T-cell lymphoma: distinct clinicopathological entity.
Modern Pathology 2002 ; 15(11) : 1131-1139.
- No. 10 Suzukawa K, Colburn NH. :
AP-1 transrepressing retinoic acid dose not deplete coactivators or AP-1 monomers but may target specific Jun or Fos containing dimmer.
Oncogene 2002 ; 21 : 2181-2190.
- No. 11 Suzuki A, Obi K, Urabe T, Hayakawa H, Kaneko S, Onodera M, Mizuno Y, Mochizuki H. :
Modified retrovirus vector system for ex vivo gene therapy for neurological disorders.
J Neurochem 2002 ; 82 : 953-960.
- No. 12 Osawa M, Yamaguchi T, Nakamura Y, Kaneko S, Onodera M, Sawada K, Jegalian A, Wu H, Nakauchi H, Iwama A. :
Erythroid expansion mediated by the Gfi-1B zinc finger protein: role in normal hematopoiesis.
Blood 2002 ; 100 : 2769-2777.
- No. 13 Hirasawa R, Shimizu R, Takahashi S, Osawa M, Takayanagi S, Kato Y, Onodera M, Minegishi N, Yamamoto M, Fukao K, Taniguchi H, Nakauchi H, Iwama A. :
Essential and instructive roles of GATA factors in eosinophil development.
J Exp Med 2002 ; 195 : 1379-1386.
- No. 14 Sakai Y, Kim DK, Iwasa S, Liang J, Watanabe T, Onodera M, Nakauchi H. :
Bone marrow chimerism prevents atherosclerosis in arterial walls of mice deficient in apolipoprotein E.
Atherosclerosis 2002 ; 161 : 27-34.
- No. 15 Iwama A, Osawa M, Hirasawa R, Uchiyama N, Keneko S, Onodera M, Shibuya K, Shibuya A, Vinson C, Tenen DG, Nakauchi H. :
Reciprocal roles for C/EBP and PU.1 transcription factors in Langerhans cell commitment.
J Exp Med 2002 ; 195 : 547-558.
- No. 16 Otsu M, Herschfield MS, Tuschong LM, Muul LM, Onodera M, Ariga T, Sakiyama Y, Candotti F. :
Flow cytometry analysis of adenosine deaminase (ADA) expression: A simple and reliable tool for the assessment of ADA-deficient patients before and after gene therapy.
Hum Gene Ther 2002 ; 13 : 425-432.

- No. 17 Suzuki A, Zheng YW, Kaneko S, Onodera M, Fukao K, Nakauchi H, Taniguchi H. :
Clonal identification and characterization of self-renewing pluripotent stem cells
in the developing liver.

J Cell Biol 2002 ; 156 : 173-184.

- No. 18 Suzukawa K, Weber TJ, Colburn NH. :
AP-1, NF-kappa-B, and ERK activation thresholds for promotion of neoplastic
transformation in the mouse epidermal JB6 model.

Environ Health Perspect 2002 ; 110(9) : 865-870.

総 説

- No. 1 長澤俊郎 :
特発性血小板減少性紫斑病.

難病の指針(茨城県医師会). 2002 ; 4 : 229-232.

- No. 2 長谷川雄一, 安島 厚, 長澤俊郎 :
血小板数, 血小板機能. 検査値から読む病態と診断計画

臨床医. 2002 ; 28(増刊号) : 841-844.

- No. 3 玉川優奈, 長澤俊郎 :
血小板産生に関与するサイトカイン.

検査と技術. 2002 ; 30(7) : 699-701.

- No. 4 小野寺雅史 :
自殺遺伝子導入ドナーリンパ球を用いた養子免疫遺伝子細胞療法.

医学のあゆみ. 2002 : 329-334.

- No. 5 小野寺雅史 :
免疫病と遺伝子診断・遺伝子治療.

Mebio, Medical View 2002 : 74-79.

学会発表

- No. 1 Nagasawa T, Hasegawa Y. :
Morphology and function of in vitro induced-platelets(IVIP) derived from mur-
ine hematopoietic stem cells.

United Kingdom-Japan Platelet Conference(Kyoto, Japan) 2月, 2002

- No. 2 吉田近思, 桂 行孝, 清水誠一, 鈴川和己, 向井陽美, 長谷川雄一, 小島 寛,
今川重彦, 長澤俊郎 :

骨髓穿刺部位に無菌性壊疽性膿皮症・骨髓炎を来した骨髓異形成症候群.

第143回日本臨床血液学会例会(東京), 2月, 2002

- No. 3 桂 行孝, 吉田近思, 清水誠一, 鈴川和己, 長谷川雄一, 向井陽美, 小島 寛,
今川重彦, 長澤俊郎 :

末梢血における巨核球胞体突起の検出法とその出現機序.

第99回日本内科学会講演会(名古屋), 3月, 2002

(日本内科学会雑誌 91(臨時増刊号) : 223, 2002)

- No. 4 小野寺雅史：
同種造血幹細胞移植後の再発白血病に対するヘルペスウイルス・チミジンキナーゼ導入ドナーリンパ球輸注療法の臨床研究。
第7回遺伝子医療研究会(大阪)，3月，2002
- No. 5 清水誠一，長澤俊郎：
高カルシウム血症にて発症したマクログロブリン血症の1例。
第4回化学療法とQOL研究会(つくば)，5月，2002
- No. 6 Onodera M, Shimizu T, Kaneko S, Mochizuki H, Nagasawa T, Nakauchi H. :
Intracerebral grafting of hematopoietic stem cells genetically modified by the VSV-G Pseudo-type retroviral vector GCDN_{sap} as a new gene and cellular therapy for neurological disorders.
5th American Society of Gene Therapy(Boston)，6月，2002
- No. 7 清水誠一，吉田近思，桂 行孝，鈴木和己，向井陽美，長谷川雄一，今川重彦，小島 寛，長澤俊郎：
非アルコール性脂肪性肝炎 (NASH) を合併した慢性好中球性白血病 (CNL) の1例。
第144回日本臨床血液学会例会(名古屋)，6月，2002
- No. 8 山根奈世理，平塚健太郎，武井一夫，能勢晴美，長澤俊郎：
10年間放置された眼窩悪性リンパ腫の1例。
第33回筑波大学眼科集談会(つくば)，6月，2002
- No. 9 吉田近思，石垣太郎，長谷川雄一，金子 新，清水誠一，向井陽美，鈴木和己，今川重彦，小島 寛，長澤俊郎：
臨床所見の自然軽快後発現したB細胞性急性白血病。
第22回茨城造血器疾患研究会(つくば)，7月，2002
- No. 10 佐藤晶子，二宮治彦，長澤俊郎：
Howell-Jolly 小体の高頻度出現による偽性網状赤血球増加症。
第3回日本検査血液学会学術集会(東京)，7月，2002
(日本検査血液学会雑誌 3(学術集会号) : S84, 2002)
- No. 11 Onodera M, Kaneko S, Kojima H, Hasagawa Y, Fukushima T, Sumazaki R, Matsui A, Nagasawa T, Nakauchi H. :
Transfusion of donor lymphocytes transduced with the herpes simplex thymidine kinase gene into patients with relapsed leukemia after allogeneic bone marrow transplantation.
第8回日本遺伝子治療学会(東京)，7月，2002
- No. 12 Shimizu T, Onodera M, Kaneko S, Mochizuki H, Nagasawa T, Nakauchi H. :
Intracerebral grafting of hematopoietic stem cells genetically modified by the VSV-G Pseudo-type retroviral vector GCDN_{sap} as a new gene and cellular therapy for neurological disorders.
第8回日本遺伝子治療学会(東京)，7月，2002

- No. 13 今川重彦, 土肥 武, 小原 直, 中野陽子, 樋口正人, 鈴木教郎, 山本雅之, 長澤俊郎:
新規エリスロポエチン発現促進薬 (K-7174): 腎性貧血への試み.
第64回日本血液学会総会・第44回日本臨床血液学会総会(横浜), 9月, 2002
(臨床血液 43(8): 88, 2002)
- No. 14 小島 寛, 本橋ほづみ, 鈴川和己, 向井陽美, 長谷川雄一, 山本雅之, 長澤俊郎:
巨核球胞体突起形成における p38MAPK の役割.
第64回日本血液学会総会・第44回日本臨床血液学会総会(横浜), 9月, 2002
(臨床血液 43(8): 90, 2002)
- No. 15 向井陽美, 清水誠一, 川島泰子, 錦井秀和, 鈴川和己, 長谷川雄一, 小島 寛,
長澤俊郎:
リアルタイム PCR 法を用いた末梢血幹細胞中の MRD モニタリング: ClinicMACS に
よる腫瘍除去能の検討.
第64回日本血液学会総会・第44回日本臨床血液学会総会(横浜), 9月, 2002
(臨床血液 43(8): 161, 2002)
- No. 16 小原 直, 今川重彦, 中野陽子, 樋口正人, 鈴木教郎, 山本雅之, 長澤俊郎:
カドミウムによるエリスロポエチン遺伝子発現抑制機構.
第64回日本血液学会総会・第44回日本臨床血液学会総会(横浜), 9月, 2002
(臨床血液 43(8): 175, 2002)
- No. 17 中野陽子, 今川重彦, 小原 直, 樋口正人, 鈴木教郎, 山本雅之, 長澤俊郎:
2-oxo-glutarate による VEGF・Epo 産生抑制機構.
第64回日本血液学会総会・第44回日本臨床血液学会総会(横浜), 9月, 2002
(臨床血液 43(8): 175, 2002)
- No. 18 小野寺雅史, 小島 寛, 金子 新, 長谷川雄一, 向井陽美, 福島 敬, 須磨崎 亮,
松井 陽, 中内啓光, 長澤俊郎:
同種幹細胞移植後の再発白血病に対する HSV-TK 導入ドナーリンパ球輸注療法の臨床
研究.
第64回日本血液学会総会・第44回日本臨床血液学会総会(横浜), 9月, 2002
(臨床血液 43(8): 210, 2002)
- No. 19 金子 新, 臼井丈一, 小野寺雅史, 清水 雄, 望月英樹, 長澤俊郎, 中内啓光:
遺伝子導入造血幹細胞の非造血実質臓器への分布と遺伝子発現.
第64回日本血液学会総会・第44回日本臨床血液学会総会(横浜), 9月, 2002
(臨床血液 43(8): 213, 2002)
- No. 20 長谷川雄一, 鴨下昌晴, 桂 行孝, 金子 新, 清水誠一, 石垣太郎, 向井陽美,
二宮治彦, 長澤俊郎:
免疫性無巨核球症の病態解析について.
第64回日本血液学会総会・第44回日本臨床血液学会総会(横浜), 9月, 2002
(臨床血液 43(8): 225, 2002)

- No. 21 吉田近思, 桂 行孝, 清水誠一, 鈴川和己, 向井陽美, 長谷川雄一, 今川重彦,
小島 寛, 長澤俊郎:
G-CSF, IL-6産生 gastrointestinal stromal tumor (GIST) の一例.
第64回日本血液学会総会・第44回日本臨床血液学会総会(横浜), 9月, 2002
(臨床血液 43(8):341, 2002)
- No. 22 清水誠一, 石垣太郎, 金子 新, 鈴川和己, 向井陽美, 長谷川雄一, 今川重彦,
小島 寛, 長澤俊郎:
肝浸潤を合併した Lennert's Lymphoma の一例.
第64回日本血液学会総会・第44回日本臨床血液学会総会(横浜), 9月, 2002
(臨床血液 43(8):364, 2002)
- No. 23 鈴川和己, 桂 行孝, 吉田近思, 清水誠一, 向井陽美, 長谷川雄一, 今川重彦,
小島 寛, 長澤俊郎:
Paraneoplastic Autoimmune Multiorgan Syndrome (PAMS) を伴った非ホジキン
リンパ腫の一例.
第64回日本血液学会総会・第44回日本臨床血液学会総会(横浜), 9月, 2002
(臨床血液 43(8):368, 2002)
- No. 24 石垣太郎, 清水誠一, 金子 新, 長谷川雄一, 鈴川和己, 長澤俊郎:
骨髓の線維化を伴い, 剖検で診断された悪性リンパ腫.
第64回日本血液学会総会・第44回日本臨床血液学会総会(横浜), 9月, 2002
(臨床血液 43(8):369, 2002)
- No. 25 吉田近思, 金子 新, 石垣太郎, 清水誠一, 鈴川和己, 向井陽美, 長谷川雄一,
今川重彦, 小島 寛, 長澤俊郎, 齋藤 基:
同種末梢血造血幹細胞移植を施行し, ウイルスの消失をみた慢性活動性 EB ウイルス感
染症.
第24回茨城県医学会総会:第167回茨城県内科集談会(水戸), 10月, 2002
- No. 26 長谷川雄一, 吉田近思, 石垣太郎, 金子 新, 清水誠一, 鈴川和己, 向井陽美,
今川重彦, 小島 寛, 長澤俊郎, 齋藤 基:
同種末梢血造血幹細胞移植を施行した慢性活動性 EB virus 感染症.
第145回日本臨床血液学会例会(東京), 11月, 2002
- No. 27 Onodera M.:
Infusion of donor lymphocytes transduced with the HSV-TK gene for relapsed
leukemia after allogeneic stem cell transplantation.
日本輸血学会創立50周年記念 国際輸血シンポジウム(東京) 11月, 2002

著 書

- No. 1 長澤俊郎:
特発性血小板減少性紫斑病難治例に対する治療法.
押味和夫, 別所正美, 岡本真一郎, 加藤 淳 編集.
EBM 血液疾患の治療. 東京:中外医学社. 2002; 508-513.

No. 2 長澤俊郎：

成人の紫斑・出血傾向.

亀山正邦，高久史麿総編集.

今日の診断指針 第5版. 東京：医学書院，2002：64-65.

2002年（神経内科グループ）

原 著

- No. 1 Hoshino S., Ohkoshi N., Ishii A., Kameya S., Shoji S. :
The expressions of dystrophin and α -sarcoglycan, and β -dystroglycan during skeletal muscle regeneration: immunohistochemical and western blot studies
Acta Histochemica 104(2), 139-142, 2002
- No. 2 Miyawaki K., Nakamura H., Matsuno S., Tamaoka A., Doi K. :
Three-dimensional and fractal analysis of assemblies of amyloid β protein subtypes (A β 40 and A β 42(43)) in canine senile plaques
Acta Neuropathol 103(3) : 228-236, 2002
- No. 3 Mochizuki A., Komatsuzaki Y., Shoji S. :
Association of Lewy bodies and glial intracytoplasmic inclusions in the brain of Parkinson's disease
Acta Neuropathol 104 : 534-537, 2002
- No. 4 Matsuno S., Watanabe M., Ohkoshi N., Anno I., Matsumaru Y., Tamaoka A., Shoji S. :
Enhanced magnetic resonance angiography of a spinal dural arteriovenous fistula
Arch Neurol 59(7) : 1185, 2002
- No. 5 Ohkoshi N., Shoji S. :
Reversible ageusia induced by losartan: a case report
European Journal of Neurology 9(3) : 315, 2002
- No. 6 Matsuzaki Y., Miyazaki T., Ohkoshi N., Miyakawa S., Bouscarel B., Tanaka N. :
Degeneration of skeletal muscle fibers in the rat administered carbon tetrachloride: similar histological findings of the muscle in a 64-year-old patient of LC with muscle cramp
Hepato Res 24(4) : 368-378, 2002
- No. 7 Fujita Y., Yoshizawa T., Sakata N., Ohkoshi N., Yamamoto N., Tamaoka A., Hommura S., Shoji S. :
Fungal endophthalmitis in a patient with Churg-Strauss syndrome after receiving gastrointestinal tract surgery, intravenous hyperalimentation, and long-term corticosteroid therapy
Internal Med 41(2) : 167, 2002
- No. 8 Koyama S., Watanabe M., Iijima T. :
Esophageal intramural pseudodiverticulosis (diffuse type)
J Gastroenterology 37 : 644-648, 2002
- No. 9 Hoshino S., Ohkoshi N., Ishii A., Shoji S. :
The expressions of α -dystrobrevin and dystrophin during skeletal muscle regeneration
J Muscle Res Cell Motil 23(2) : 131-138, 2002

- No. 10 Hoshino S., Ohkoshi N., Ishii A., Shoji S. :
The expressions of neuronal nitric oxide synthase and dystrophin during rat regenerating muscles
J Muscle Res Cell Motil 23(2) : 139-145, 2002
- No. 11 Yoshizawa T., Kohno Y., Nissato S., Shoji S. :
Compound heterozygosity with 2 novel mutations in the HEXB gene produces adult Sandhoff disease presenting as a motor neuron disease phenotype
J Neurol Sci 195 : 129-138, 2002
- No. 12 Yoshida H., Yoshizawa T., Shibasaki F., Shoji S., Kanazawa I. :
Chemical chaperones reduce aggregate formation and cell death caused by the truncated Machado-Joseph disease gene product with an expanded polyglutamine stretch
Neurobiol Dis 10 : 88-99, 2002
- No. 13 Tokuda T., Oide T., Tamaoka A., Ishii K., Matsuno S., Ikeda S. :
Moderate or high doses of prednisolone (30-60 mg/day) for diseases other than AD decreases amyloid β peptides in CSF
Neurology 58(9) : 1415-1418, 2002
- No. 14 Tomimitsu H., Ishikawa K., Shimizu J., Ohkoshi N., Kanazawa I., Mizusawa H. :
Distal myopathy with rimmed vacuoles: novel mutations in the GNE gene
Neurology 59(3) : 451-454, 2002
- No. 15 Watanabe M., Yamamoto N., Ohkoshi N., Nagata H., Kohno Y., Hayashi A., Tamaoka A., Shoji S. :
Corticosteroid- responsive asymmetric neuropathy with a myelin protein zero gene mutation
Neurology 59(5) : 767-769, 2002
- No. 16 Nakayama J., Yoshizawa T., Yamamoto N., Arinami T. :
Mutation analysis of the calpastatin gene (CAST) in patients with Alzheimer's disease
Neurosci Lett 320(1-2) : 77-80, 2002
- No. 17 Ishii K., Klunk WE., Arawaka S., Debnath ML., Furiya Y., Sahara N., Shoji S., Tamaoka A., Pettegrew JW., Mori H. :
Chrysamine G and its derivative reduce amyloid β -induced neurotoxicity in mice
Neurosci Lett 333(1) : 5-8, 2002
- No. 18 庄司 進一 :
ターミナルケア教育のための大教室授業におけるロールプレイ
医学教育 33(1) : 35-38, 2002
- No. 19 庄司 進一 :
筑波大学医学専門学群の臨床実習の試みと臨床実習のコア化の問題点
医学教育 33(2) : 105-109, 2002

- No. 20 庄司 進一, 大林 雅之, 森下 直貴, 赤林 朗, 白浜 雅司:
卒前医学教育における医療倫理教育マニュアル
日本医学教育学会医療倫理教育ワーキンググループ
医学教育 33(2):113-119, 2002
- No. 21 吉田 秀明, 林 明人, 吉澤 利弘, 玉岡 晃, 庄司 進一:
Clavicle brace (鎖骨固定バンド) が運動及び呼吸機能の改善に有効であった筋萎縮性
側索硬化症の1例
運動障害 12(1):37-41, 2002
- No. 22 吉田 秀明, 林 明人, 橋本 明子, 大越 教夫, 望月 昭英, 玉岡 晃, 庄司 進一:
10数年の経過により著明な筋膜肥厚と自律神経障害を呈し, ステロイドが奏効した
diffuse fasciitis with eosinophilia の1例
運動障害 12(1):43-47, 2002
- No. 23 庄司 進一:
クレアチンキナーゼ (CK) 高値と筋疾患の鑑別診断 質疑応答
日本医事新報4100:89-90, 2002
- No. 24 藤田 祐之, 望月 昭英, 玉岡 晃, 庄司 進一:
一過性脳虚血発作により limb shaking を繰り返した内頸動脈閉塞症の1例
日本内科学会雑誌 91(5):229-231, 2002
- No. 25 庄司 進一:
III. 社会の変化と内科学・内科診療
2. 医療における情報公開とそのインパクト 特集: 内科-21世紀への展望
日本内科学会雑誌 91(12):3427-3431, 2002
- No. 26 古庄健太郎, 渡邊 雅彦, 大越 教夫, 玉岡 晃, 庄司 進一:
Bowen 病を合併した神経周膜炎の1例
臨床神経 42(6):527-529, 2002
- 総 説
- No. 1 庄司 進一:
神経前駆細胞を用いた中枢神経系白質再構成に向けて
神経治療学 19(1):77, 2002
- No. 2 庄司 進一:
ヒト・アルドース・リダクテース過剰発現の糖尿病マウスのニューロパチーとアルド
ース・リダクテース阻害薬の効果
神経治療学 19(1):77, 2002
- No. 3 庄司 進一:
てんかんの薬物耐性: 耐性てんかんの通常の原因における薬物耐性蛋白の発現
神経治療学 19(2):77, 2002
- No. 4 庄司 進一:
薬物耐性側頭葉てんかんの患者の海馬におけるグルタメート・トランスポーターの分
布
神経治療学 19(2):77, 2002

- No. 5 庄司 進一：
小児非優位半球の言語に対する晩期可塑性 手術前後の fMRI 研究
神経治療学 19(2)：77, 2002
- No. 6 庄司 進一：
嗅覚鞘形成細胞は切断脊髄に遅れて移植しても運動機能の回復を促進する
神経治療学 19(2)：201, 2002
- No. 7 庄司 進一：
外国雑誌文献速報 Brain 3編
神経治療学 19(5)：507, 2002
- No. 8 庄司 進一：
欧州医学教育学会年次大会2002
医学教育 33(1)：30, 2002
- No. 9 庄司 進一：
第10回医学教育オタワ会議
医学教育 33(1)：30, 2002
- No. 10 庄司 進一：
第6回国際医科学教育者連合年次大会
医学教育 33(1)：31, 2002
- No. 11 庄司 進一：
訪問者向ワークショップ「医学教育へのマースリヒト・アプローチの入門」
医学教育 33(1)：31, 2002
- No. 12 庄司 進一：
障害医学教育同盟27回年次大会
医学教育 33(1)：31, 2002
- No. 13 庄司 進一：
夏期コース「医学と健康科学における問題基盤学習の拡大する地平」
医学教育 33(1)：34, 2002
- No. 14 庄司 進一：
ヘルスケアにおけるコミュニケーション国際会議2002
医学教育 33(1)：34, 2002
- No. 15 庄司 進一：
第1回大学教育研究集会
医学教育 33(1)：34, 2002
- No. 16 庄司 進一：
大学教育改革フォーラム
医学教育 33(1)：34, 2002
- No. 17 庄司 進一：
医学教育世界連合世界会議2002
医学教育 33(1)：50, 2002

- No. 18 庄司 進一：
日本高等教育学会第5回大会
医学教育 33(1)：50, 2002
- No. 19 庄司 進一：
第2回医学校における倫理教育国際会議
医学教育 33(1)：50, 2002
- No. 20 庄司 進一：
医学教育世界連合世界会議の会期2003年3月15～19日へ延期
医学教育 33(2)：82, 2002
- No. 21 庄司 進一：
ネットワーク年次国際会議2002
医学教育 33(2)：82, 2002
- No. 22 庄司 進一：
第1回大学教育研究集会
医学教育 33(3)：191, 2002
- No. 23 庄司 進一：
第8回大学教育改革フォーラム「大学教育評価をどうするかー評価からFDへー」
医学教育 33(3)：192, 2002
- No. 24 庄司 進一：
新マースリヒト・カリキュラム
医学教育 33(3)：199, 2002
- No. 25 庄司 進一：
第7回医学教育世界同盟年次会議
医学教育 33(3)：199, 2002
- No. 26 庄司 進一：
世界医学教育連盟世界会議
医学教育 33(4)：272, 2002
- No. 27 庄司 進一：
日本高等教育学会第5回大会
医学教育 33(4)：275, 2002
- No. 28 庄司 進一：
健康専門家教育国際会議
医学教育 33(4)：276, 2002
- No. 29 庄司 進一：
第22回国内医科大学視察と討論の会
医学教育 33(6)：454, 2002
- No. 30 庄司 進一：
第7回日本臨床死生学会印象記
日本緩和医療学会ニューズレター 14：10-11, 2002

- No. 31 庄司 進一：
学会印象記 第15回日本サイコオンコロジー学会
日本緩和医療学会ニューズレター 16(7)：46-47, 2002
- No. 32 庄司 進一：
Journal Club 筋萎縮性側索硬化症患者の最期の1ヶ月
日本緩和医療学会ニューズレター 17(8)：68, 2002
- No. 33 松下 正明, 今井 幸充, 玉岡 晃, 鳥羽 研二：
痴呆における精神症状のコントロール
Cognition and Dementia 1(1)：75-83, 2002
- No. 34 玉岡 晃：
アルツハイマー病治療薬
医薬ジャーナル 新薬展望2002(増刊号) 38(S1)：119-126, 2002
- No. 35 玉岡 晃：
アルツハイマー病の抗体療法
現代医療 34(1)：237-244, 2002
- No. 36 大越 教夫：
ミトコンドリアとミトコンドリア病：ミトコンドリア病；胃腸運動失調
日本臨床60(増刊4)：325-327, 2002
- No. 37 石井亜紀子, 大越 教夫：
ミトコンドリアとミトコンドリア病：ミトコンドリア病；チトクロムb遺伝子変化による複合体III欠損症
日本臨床60(増刊4)：337-340, 2002
- No. 38 大越 教夫：
ミトコンドリアとミトコンドリア病：ミトコンドリア病；痴呆，運動失調，難聴，ミ
オクローヌス，網膜症
本臨床60(増刊4)：344-348, 2002
- No. 39 吉澤 利弘：
錐体外路性不随意運動の鑑別診断と発現メカニズム「舞踏運動」
クリニカルニューロサイエンス 20：1262-1266, 2002
- No. 40 渡邊 雅彦, 庄司 進一：
検査値から読む病態と診断計画
臨床医28増刊号, 1620-1622, 2002
- No. 41 渡邊 雅彦, 大越 教夫：
ミトコンドリアとミトコンドリア病：ミトコンドリア病痴呆・舞踏病
日本臨床60(増刊4)：321-324, 2002

著 書

- No. 1 庄司 進一：
頭痛
看護のための最新医学講座 第32巻 医療面接から診断へ
(日野原重明, 井村 裕夫監修, 福井 次矢編集)
中山書店, 東京, pp132-136, 2002
- No. 2 玉岡 晃：
間欠性跛行
今日の治療指針 (第5版) (亀山 正邦, 高久 史麿 総編集)
医学書院, 東京, pp263-265, 2002
- No. 3 玉岡 晃：
ハンチントン舞踏病
難病の指針 (第4版) (茨城県医師会難病の指針編集委員会編集)
茨城県医師会, 水戸, pp277-283, 2002
- No. 4 大越 教夫, 庄司 進一：
パーキンソン病
難病の指針 (第4版) (茨城県医師会難病の指針編集委員会編集)
茨城県医師会, 水戸, pp254-260, 2002
- No. 5 大越 教夫：
Wernicke 脳症
今日の診断指針 (第5版) (亀山 正邦, 高久 史麿 総編集)
医学書院, 東京, 2002
- No. 6 林 明人, 庄司 進一：
重症筋無力症
難病の指針 (第4版) (茨城県医師会難病の指針編集委員会編集)
茨城県医師会, 水戸, pp163-167, 2002
- No. 7 渡邊 雅彦, 庄司 進一：
脊髄小脳変性症
難病の指針 (第4版) (茨城県医師会難病の指針編集委員会編集)
茨城県医師会, 水戸, pp180-185, 2002
- No. 8 石井 一弘, 庄司 進一：
ファブリー病
難病の指針 (第4版) (茨城県医師会難病の指針編集委員会編集)
茨城県医師会, 水戸, pp293-298, 2002
- No. 9 吉澤 利弘：
Kennedy-Alter-Sung 病 (球脊髄性筋萎縮症)
今日の診断指針 (第5版) (亀山正邦, 高久史麿総編集)
医学書院, 東京, pp680-681, 2002

学会発表

- No. 1 吉田 秀明, 林 明人, 橋本 明子, 大越 教夫, 望月 昭英, 玉岡 晃, 庄司 進一:
10数年の経過により著明な筋膜肥厚と自律神経障害を呈し, ステロイドが奏効した
diffuse fascitis with eosinophilia の1例
第23回運動障害研究会 (東京), 1月, 2002
- No. 2 吉田 秀明, 橋本 明子, 大越 教夫, 林 明人, 玉岡 晃, 庄司 進一:
メトトレキサート (MTX) 少量パルス療法が奏効した慢性進行性神経ペーチェット病
の1例
第26回日本脳神経 CI 学会総会 (東京), 2月, 2002
- No. 3 松野佐好子, 望月 昭英, 大越 教夫, 錦井 秀和, 玉岡 晃, 庄司 進一:
著明な深部知覚低下による失調性歩行を呈し, ステロイドが著効した慢性特発性失調
性ニューロパチーの1例
第497回日本内科学会関東地方会 (東京), 2月, 2002
- No. 4 古庄健太郎, 林 明人, 松野佐好子, 大越 教夫, 玉岡 晃, 庄司 進一:
脊髄血管障害の臨床的検討
第3回茨城県脊髄・脊椎研究会 (つくば), 2月, 2002
- No. 5 佐藤 弘茂, 樋口 修, 玉岡 晃, 阿武 泉, 松丸 祐司:
脳動脈瘤の瘤内塞栓術後, 口唇周囲のミオクローヌスをきたした1例
第53回茨城県脳神経外科集談会 (つくば), 3月, 2002
- No. 6 吉田 秀明, 大越 教夫, 渡邊 雅彦, 下條 信威, 相原 英明, 星野 幸子,
玉岡 晃, 庄司 進一:
結節性多発動脈炎に伴った胆嚢出血の1例
第498回日本内科学会関東地方会 (東京), 3月, 2002
- No. 7 吉田 秀明, 望月 昭英, 大越 教夫, 玉岡 晃, 庄司 進一:
高CK血症, 近位筋優位の筋力低下を来とし, 糖尿病性腎症による非ケトン性高浸透圧
状態が認められた1例
第160回日本神経学会関東地方会 (東京), 3月, 2002
- No. 8 石井亜紀子, 大越 教夫, 庄司 進一:
神経内科外来頭痛患者での低髄液圧症候群の臨床的検討 (会議録)
第99回日本内科学会総会 (名古屋), 4月, 2002
- No. 9 大越 教夫, 石井亜紀子, 林 明人, 庄司 進一:
慢性肥厚性硬膜炎の診断及び治療に関する臨床的検討 (会議録)
第99回日本内科学会総会 (名古屋), 4月, 2002
- No. 10 古庄健太郎, 大越 教夫, 織田 彰子, 玉岡 晃, 庄司 進一:
MRI・Ga シンチが病勢評価に有効であった好酸球増多を伴うびまん性筋膜炎の1例
第499回日本内科学会関東地方会 (東京), 5月, 2002
- No. 11 松野佐好子, 玉岡 晃, 石井 一弘, 庄司 進一, 山本 和央, 永田 博司:
ラット慢性脳虚血モデルにおける脳内アミロイド β 蛋白の解析
第43回日本神経学会総会 (札幌), 5月, 2002

- No. 12 石川 欽也, 藤ヶ崎浩人, 石田 和之, 大越 教夫, 加藤 丈夫, 庄司 進一,
水澤 英洋:
SCA6脳内の $\alpha 1A$ -Ca チャネル蛋白発現量
第43回日本神経学会総会 (札幌), 5月, 2002
- No. 13 玉岡 晃, Kurochikin Igor, 松野佐好子, 石井 一弘, 原田 祐嗣, 庄司 進一:
アルツハイマー病脳におけるインスリン分解酵素の解析—正常対照脳との比較検討—
第43回日本神経学会総会 (札幌), 5月, 2002
- No. 14 富満 弘之, 石川 欽也, 水澤 英洋, 大越 教夫, 庄司 進一, 清水 潤,
金澤 一郎:
本邦の常染色体劣性遺伝型 distal myopathy with rimmed vacuoles の原因遺伝子の
検索
第43回日本神経学会総会 (札幌), 5月, 2002
- No. 15 吉田 秀明, 橋本 明子, 松野佐好子, 古庄健太郎, 星野 幸子, 石井 一弘,
渡邊 雅彦, 望月 昭英, 林 明人, 玉岡 晃, 庄司 進一:
著明な傍脊柱筋の萎縮が早期より認められた筋萎縮性側索硬化症の臨床的検討
第43回日本神経学会総会 (札幌), 5月, 2002
- No. 16 古庄健太郎, 林 明人, 大越 教夫, 松野佐好子, 玉岡 晃, 庄司 進一:
脊髓血管障害の臨床的検討
第43回日本神経学会総会 (札幌), 5月, 2002
- No. 17 渡邊 雅彦, 中村 貴子, 原田 勝二, 大越 教夫, 吉沢 和朗, 林 明人,
吉澤 利弘, 庄司 進一:
COMT 遺伝子多型と L-dopa 関連副作用との相関解析
第43回日本神経学会総会 (札幌), 5月, 2002
- No. 18 望月 昭英, 小松崎八寿子, 庄司 進一:
非定型症状を呈した高齢進行性核上麻痺における臨床病理学的検討
第43回日本神経学会総会 (札幌), 5月, 2002
- No. 19 星野 幸子, 大越 教夫, 石井亜紀子, 庄司 進一:
ラット骨格筋再生過程における α -dystrobrevin-1, nNOS の発現の経時的検討
第43回日本神経学会総会 (札幌), 5月, 2002
- No. 20 大越 教夫, 古庄健太郎, 矢藤 睦子, 星野 幸子, 庄司 進一, 岩崎 信明,
榎本 貴夫:
自律神経障害を主徴とするニューロパシーにおける腓腹神経の形態学的検討
第43回日本神経学会総会 (札幌), 5月, 2002
- No. 21 石井 一弘, 佐原 成彦, 加藤 一郎, 玉岡 晃, 荒若 繁樹, 降矢 芳子,
庄司 進一, 吉本 高志, 森 啓:
ヒト SOD1遺伝子導入マウスにおける $A\beta$ 神経細胞毒性の減弱効果
第43回日本神経学会総会 (札幌), 5月, 2002
- No. 22 吉澤 利弘, 河野 豊, 新里寿美子, 庄司 進一:
運動ニューロン疾患を呈した成人型 Sandhoff 病の遺伝子解析と酵素学的検討
第43回日本神経学会総会 (札幌), 5月, 2002

- No. 23 白岩 伸子, 桃井 隆, 庄司 進一, オッペンハイムロン:
 腰髄運動神経細胞死における caspase の役割
 第43回日本神経学会総会 (札幌), 5月, 2002
- No. 24 林 明人, 河野 豊, 庄司 進一:
 Isaacs 症候群の臨床神経生理学的評価法の検討
 第43回日本神経学会総会 (札幌), 5月, 2002
- No. 25 石井亜紀子, 庄司 進一, Su Hao Lo:
 テンシンノックアウトマウスにおける筋再生過程の検討
 第43回日本神経学会総会 (札幌), 5月, 2002
- No. 26 河野 豊, 林 明人, 庄司 進一:
 顔面の皮膚刺激で誘発される頭後屈反射を認めた2症例の臨床生理学的検討
 第43回日本神経学会総会 (札幌), 5月, 2002
- No. 27 原田 勝利, 永田 博司, 古賀 博子, 大越 教夫, 庄司 進一:
 糖尿病モデルにおける末梢神経 crush injury ~ 神経栄養因子の免疫染色による検討 ~
 第43回日本神経学会総会 (札幌), 5月, 2002
- No. 28 望月 昭英, 小松崎八寿子, 庄司 進一:
 上位運動ニューロン症状で初発し, 錐体外路症状, 痴呆を呈した, ubiquitin 封入体を伴う前頭側頭葉萎縮の1例
 第42回日本神経病理学会総会学術研究会 (東京), 5月, 2002
- No. 29 吉田 秀明, 大越 教夫, 上野 友之, 玉岡 晃, 庄司 進一:
 著明な炎症反応及び四肢の筋硬直・関節拘縮を呈し, ステロイド剤が有効であった線維筋痛症候群の1例
 第500回日本内科学会関東地方会 (東京), 6月, 2002
- No. 30 古庄健太郎, 大越 教夫, 望月 昭英, 玉岡 晃, 庄司 進一:
 ステロイド隔日投与により精神症状に悪化を認めた重症筋無力症の2例
 第21回日本神経治療学会総会 (金沢), 6月, 2002
- No. 31 藤田 祐之, 石井 一弘, 古庄健太郎, 林 明人, 大越 教夫, 玉岡 晃, 庄司 進一, 吉沢 和朗:
 ステロイドパルス療法が奏効した里吉病の1例
 第166回茨城県内科集談会 (水戸), 6月, 2002
- No. 32 松野佐好子, 石井 一弘, 玉岡 晃, 庄司 進一, 三谷 和子:
 左上肢に鏡像運動を伴った皮質基底核変性症の1例
 第161回日本神経学会関東地方会 (東京), 6月, 2002
- No. 33 吉田 秀明, 林 明人, 石井 一弘, 望月 昭英, 玉岡 晃, 庄司 進一:
 両側上肢帯に刺激過敏性脊髄ミオクロヌス様不随意運動を呈し, 1-dopa が奏効した1例
 第9回茨城臨床神経ビデオフォーラム (つくば), 7月, 2002
- No. 34 松野佐好子, 石井 一弘, 玉岡 晃, 庄司 進一, 三谷 和子:
 左上肢に鏡像運動を伴った皮質基底核変性症の1例
 第9回茨城臨床神経ビデオフォーラム (つくば), 7月, 2002

- No. 35 佐藤 弘茂, 樋口 修, 玉岡 晃, 阿武 泉, 松丸 祐司 :
脳動脈瘤の瘤内塞栓術後, 口唇周囲のミオクロームスをきたした1例
第9回茨城臨床神経ビデオフォーラム (つくば), 7月, 2002
- No. 36 吉澤 利弘 :
Machado-Joseph 病原因遺伝子産物 ataxin-3の細胞内局在のメカニズム
Cell Biology Summer Seminar 2002 (つくば), 7月, 2002
- No. 37 Yoshida H., Hayashi A., Yoshizawa T., Tamaoka A., Shoji S. :
Case Report : Clavicle Brace Improves Moter and Pulmonary Function in the Patient with Amyotrophic Lateral Sclerosis
Xth International Congress on Neuromuscular Diseases (Vancouver), 7月, 2002
- No. 38 Yoshida H., Yoshizawa T., Shoji S. :
Evaluation of the Cervical Spinal Canal in ALS using MR Imaging
Xth International Congress on Neuromuscular Diseases (Vancouver), 7月, 2002
- No. 39 Ishii A., Hayashi A., Ohkoshi N., Shoji S. :
Detection of Gephyrin Antibody in Stiff-Person Syndrome
Xth International Congress on Neuromuscular Diseases (Vancouver), 7月, 2002
- No. 40 Hoshino S., Ohkoshi N., Ishii A., Shoji S. :
The Expression of Dystrophin, Alpha-Dystrobrevin-1 and Neuronal Nitric Oxide Synthase in Regenerating Rat Skeletal Muscles
Xth International Congress on Neuromuscular Diseases (Vancouver), 7月, 2002
- No. 41 Ohkoshi N., Hoshino S., Ishii A., Shoji S. :
The Expression of Tenascin in Biopsied Muscles of Neuromuscular Diseases
Xth International Congress on Neuromuscular Diseases (Vancouver), 7月, 2002
- No. 42 Tomimitsu H., Ishikawa K., Shimizu J., Ohkoshi N., Kanazawa I., Mizusawa H. :
Distal myopathy with rimmed vacuoles is caused by several missense mutations in the GNE gene
Xth International Congress on Neuromuscular Diseases (Vancouver), 7月, 2002
- No. 43 Yoshida H., Mochizuki A., Ohkoshi N., Tamaoka A., Shoji S. :
A Case Report; Non Ketotic Hyperosmolar State Without Coma Causes Rhabdomyolysis
Xth International Congress on Neuromuscular Diseases (Vancouver), 7月, 2002
- No. 44 Watanabe M., Yamamoto N., Ohkoshi N., Nagata H., Kohno Y., Hayashi A., Tamaoka A., Shoji S. :
Steroid-responsive asymmetric neuropathy in a patient with a myelin protein zero gene mutation
3rd Forum of European Neuroscience (Paris), 7月, 2002
- No. 45 藤田 祐之, 石井 一弘, 古庄健太郎, 林 明人, 大越 教夫, 玉岡 晃, 庄司 進一, 吉沢 和朗 :
ステロイドパルス療法が奏効した里吉病の1例
第501回日本内科学会関東地方会 (東京), 7月, 2002

- No. 46 岩崎 信明, 金本 勝義, 中原千恵子, 田中 竜太, 大戸 達之, 川出 恭子,
鴨田 知博, 松井 陽, 大越 教夫:
膜性腎症を合併し免疫グロブリン療法が奏効した慢性炎症性脱髄性多発神経炎の1小児例
第3回茨城県神経免疫フォーラム(つくば), 7月, 2002
- No. 47 吉田 秀明, 林 明人, 石井 一弘, 望月 昭英, 玉岡 晃, 庄司 進一:
上肢帯に刺激過敏性ジスキネジア様不随意運動を呈し, 1-dopa が有効であった1例
第24回運動障害研究会(東京), 7月, 2002
- No. 48 林 明人, 大越 教夫, 渡邊 雅彦, 庄司 進一:
パーキンソン病に対する音楽療法: 音リズム刺激による歩行障害への効果について
第2回パーキンソン病フォーラム(東京), 8月, 2002
- No. 49 中馬越清隆, 大越 教夫, 渡邊 雅彦, 玉岡 晃, 庄司 進一:
小脳失調, 前庭障害を主徴とした脳表ヘモジデリン沈着症の1例
第162回日本神経学会関東地方会(東京), 9月, 2002
- No. 50 門馬由梨子, 中馬越清隆, 望月 昭英, 石井 一弘, 玉岡 晃, 庄司 進一:
嘔気, 嘔吐のみで発症した多発性硬化症の1例
第502回日本内科学会関東地方会(東京), 9月, 2002
- No. 51 小川 良子, 大越 教夫, 中馬越清隆, 玉岡 晃, 庄司 進一:
首下がり为主徴とし, 各種検査にて陰性を示した重症筋無力症と思われる1例
第15回茨城神経内科集談会(つくば), 9月, 2002
- No. 52 Yoshizawa T., Yoshida H., Shibasaki F., Shoji S., Kanazawa I.:
Chemical chaperones reduce aggregate formation and cell death caused by the truncated Machado-Joseph disease gene product with an expanded polyglutamine stretch
The 15th Naito Conference on Molecular biological Approaches for Intractable Diseases(III) (Hayama), 10月, 2002
- No. 53 松野佐好子, 玉岡 晃, 石井 一弘, 庄司 進一, 山本 和央, 永田 博司:
ラット慢性脳血流低下モデルにおける脳内アミロイド β 蛋白の解析
第21回日本痴呆学会(大阪), 10月, 2002
- No. 54 玉岡 晃, イゴール・クロチキン, 松野佐好子, 石井 一弘, 原田 祐嗣, 庄司 進一:
アルツハイマー病脳におけるインスリン分解酵素の定量と可溶性A β や年齢との相関—非痴呆対照脳との比較検討—
第21回日本痴呆学会(大阪), 10月, 2002
- No. 55 石井 一弘, 徳田 隆彦, 松島 照彦, 宮 冬樹, 原田 祐嗣, 池田 修一, 玉岡 晃,
庄司 進一:
血漿中A β 分子種に及ぼすPravastatinの効果
第21回日本痴呆学会(大阪), 10月, 2002
- No. 56 松野佐好子, 玉岡 晃, 石井 一弘, 庄司 進一, 山本 和央, 永田 博司:
ラット慢性脳血流低下モデルにおける脳内アミロイド β 蛋白の解析
第21回日本痴呆学会(大阪), 10月, 2002

- No. 57 藤田 祐之, 望月 昭英, 渡邊 雅彦, 玉岡 晃, 庄司 進一, 船山 康則:
MRI 拡散強調画像が病巣同定に有用であったウイルス性脳炎の1例
第25回茨城県画像診断研究会 (つくば), 10月, 2002
- No. 58 中馬越清隆, 大越 教夫, 渡邊 雅彦, 玉岡 晃, 庄司 進一:
小脳失調, 前庭障害を主徴とした脳表ヘモジデリン沈着症の1例
第25回茨城県画像診断研究会 (つくば), 10月, 2002
- No. 59 松野佐好子, 大越 教夫, 玉岡 晃, 庄司 進一:
糖尿病の治療経過中, 抗 GAD 抗体陽性の stiff-person 症候群を呈した1例
第503回日本内科学会関東地方会 (東京), 10月, 2002
- No. 60 Watanabe M., Harada S., Nakamura T., Ohkoshi N., Yoshizawa K., Hayashi A.,
Shoji S. :
Association between catechol-O-methyltransferase gene polymorphism and wear-
ing-off and dyskinesia in Parkinson's disease
52th Annual meeting of the American Society of
Human Genetics (Baltimore), 10月, 2002
- No. 61 新井 晶子, 望月 昭英, 中馬越清隆, 玉岡 晃, 庄司 進一, 人美 重美:
高活性抗レトロウイルス療法 (HAART) 中の後天性免疫不全症候群 (AIDS) に進行
性多巣性白質脳症 (PML) が発症した1例
第24回茨城医学会内科分科会 (第167回茨城県内科集談会), 10月, 2002
- No. 62 Yoshizawa T., Kohno Y., Nissato S., Shoji S. :
Compound heterozygosity with 2 novel mutations in the HEXB gene produces
adult Sandhoff disease presenting as a motor neuron disease phenotype
32nd Annual Meeting of Society for Neuroscience, USA (Orlando) 11月, 2002
- No. 63 Yoshida H., Yoshizawa T., Shoji S. :
Investigation of association between ALS and CS
32nd Annual Meeting of Society for Neuroscience, USA (Orlando), 11月, 2002
- No. 64 Tamaoka A., Ishii K., Miya F., Matsuno S., Mochizuki A., Shoji S., Harada. S. :
Analyses on correlations between oxidative stresses and various risk factors for
Alzheimer's Disease
32nd Annual Meeting of Society for Neuroscience (Orlando) 11月, 2002.
- No. 65 Ishii K., Miya F., Shimizu T., Shoji S., Shirasawa T., Okada N., Tamaoka A. :
NSAIDs decreasing microglia activation induced by amyloid- β .
32nd Annual Meeting of Society for Neuroscience (Orlando) 11月, 2002.
- No. 66 藤田 祐之, 吉澤 利弘, 大越 教夫, 玉岡 晃, 庄司 進一, 平山 暁, 小山 哲夫:
急性運動性ニューロパチーを呈した尿毒症性ニューロパチーと考えられた1例
第504回日本内科学会関東地方会 (東京), 11月, 2002
- No. 67 原田 康, 庄司 進一:
茨城県内の病院薬剤師によるがん患者に対する薬剤管理指導業務の現状
第26回日本死の臨床研究会年次大会 (高崎), 11月, 2002

- No. 68 藤田 祐之, 吉澤 利弘, 大越 教夫, 玉岡 晃, 庄司 進一, 小島 寛:
血中に抗 GMI 抗体, 抗好中球抗体, 大型顆粒性リンパ球増多を認め, 好中球減少症を伴った多業性運動ニューロパチーの1例
第163回日本神経学会関東地方会 (東京), 11月, 2002
- No. 69 白岩 伸子, 吉澤 利弘, 大越 教夫, 庄司 進一:
急性散在性脳脊髄炎にギランバレー症候群による四肢麻痺, 呼吸筋麻痺を合併し, 免疫グロブリン療法が有効だった1例
第163回日本神経学会関東地方会 (東京), 11月, 2002
- No. 70 星野 幸子, 藤田 祐之, 吉沢 和朗, 石井亜紀子, 大越 教夫, 林 明人:
Opisthotonus を主徴とした抗 amphiphysin 抗体陽性の stiff-person 症候群の1例
第163回日本神経学会関東地方会 (東京), 11月, 2002
- No. 71 星野 幸子, 藤田 祐之, 吉沢 和朗, 石井亜紀子, 大越 教夫, 林 明人:
Opisthotonus を主徴とした抗 amphiphysin 抗体陽性の stiff-person 症候群の1例
茨城神経免疫フォーラム (土浦), 11月, 2002
- No. 72 小川 良子, 大越 教夫, 中馬越清隆, 玉岡 晃, 庄司 進一:
首下がりのみを呈した重症筋無力症の1例
第505回日本内科学会関東地方会 (東京), 12月, 2002

班研究報告

- No. 1 玉岡 晃:
ヒト神経細胞や血小板に含まれるアミロイド β 蛋白分子種の解析
厚生科学研究費補助金特定疾患対策研究事業アミロイドーシスに関する研究
平成11~13年度総合研究報告書, pp10, 2002
- No. 2 玉岡 晃:
ダウン症候群における血漿アミロイド β 蛋白 ($A\beta$) 分子種の再検討
厚生科学研究費補助金特定疾患対策研究事業アミロイドーシスに関する研究
平成11~13年度総合研究報告書, pp17, 2002
- No. 3 玉岡 晃:
アルツハイマー病発症機構におけるアミロイド β 蛋白と酸化ストレスの意義
厚生科学研究費補助金特定疾患対策研究事業アミロイドーシスに関する研究
平成11~13年度総合研究報告書, pp25, 2002
- No. 4 玉岡 晃, 石井 一弘, 宮 冬樹, 清水 孝彦, 岡戸 信男, 庄司 進一, 白澤 卓二:
アルツハイマー病脳におけるミクログリア活性化経路と活性化阻害物質の探索
厚生科学研究費補助金特定疾患対策研究事業アミロイドーシスに関する研究
平成13年度研究報告書, pp124-127, 2002
- No. 5 玉岡 晃, 石井 一弘, 宮 冬樹, 松野佐好子, 本村 香織, 望月 昭英, 庄司 進一, 松島 照彦, 徳田 隆彦, 池田 修一:
アルツハイマー病 (AD) 脳におけるアミロイド β 蛋白 ($A\beta$) と酸化ストレスの相関一血漿 $A\beta$ に対するスタチン作用の解析も含めて一
厚生科学研究費補助金特定疾患対策研究事業アミロイドーシスに関する研究
平成13年度研究報告書, pp128-132, 2002

その他

No. 1 庄司 進一：

脳血管障害の診断と治療

第4回茨城北西部リハビリ介護研究会（大宮），10月，2002

No. 2 玉岡 晃：

アルツハイマー病のトピックス

下館医師会研修会（下館），1月，2002

No. 3 玉岡 晃：

痴呆症の原因（もの忘れはなぜおこる？）

平成14年度筑波大学付属病院公開講演会『市民公開健康講座』，10月，2002

2002年（精神医学グループ）

原 著

- No. 1 Matsuda, H., Kanetaka, H., Ohnishi, T., Asada, T., Imabayashi, E., Nakano, S.,
Kato, A., Tanaka, F. :
Brain SPECT abnormalities in Alzheimer's disease before and after atrophy
correction.
Eur J Nucl Med 29 : 1502-1505, 2002
- No. 2 Tanahashi, H., Asada, T., Tabira, T. :
Ann Neurol c954C T polymorphism in the Fe65L2 gene is associated with early-
onset Alzheimer's disease.
Ann Neurol 52(5) : 691-693, 2002
- No. 3 Tanaka, N., Asada, T., Kinoshita, T., Yamashita, F., Uno, M. :
Alcohol consumption and risk of dementia.
Lancet 360 : 490, 2002
- No. 4 Eto, K., Asada, T., Arima, K., Makifuchi, T., Kimura, H. :
Brain hydrogen sulfide is severely decreased in Alzheimer's disease.
Biochem Biophys Res Commun 293(5) : 1485-1488, 2002
- No. 5 Musha, T., Asada, T., Yamashita, F., Kinoshita, T., Chen, Z., Matsuda, H., Uno, M.,
Shankle, WR. :
A new EEG method for estimating cortical neuronal impairment that is sensitive
to early stage Alzheimer's disease.
Clin Neurophysiol. 113(7) : 1052-1058, 2002
- No. 6 Matsuda, H., Kitayama, N., Ohnishi, T., Asada, T., Nakano, S., Sakamoto, S.,
Imabayashi, E., Kato, A. :
Longitudinal evaluation of both morphologic and functional changes in the same
individuals with Alzheimer's disease.
J Nucl Med 43 : 304-311, 2002
- No. 7 Mizukami, K., Ishikawa, M., Hidaka, S., Iwakiri, M., Sasaki, M., Iritani, S. :
Immunohistochemical localization of GABAB receptor in the entorhinal cortex
and inferior temporal cortex of schizophrenic brain.
Progress in Neuro-Psychopharmacology and Biological Psychiatry
26 : 393-396, 2002
- No. 8 Mizukami, K., Ishikawa, M., Iwakiri, M., Hidaka, S., Kato, N., Asada, T. :
Alterations of ubiquitin immunoreactivity in the hippocampal formation after
perforant pathway lesion.
Acta Neuropathol(Berl) . 103 : 453-7, 2002
- No. 9 Iwakiri, M., Mizukami, K., Ishikawa, M., Hidaka, S., Asada, T. :
Alterations of NMDAR1 and NMDAR2A/B immunoreactivity in the
hippocampus after perforant pathway.
Neuropathology 22 : 154-160, 2002

- No. 10 Yamaguchi, M., Suzuki, T., Abe, S., Baba, A., Hori, T., Okado, N. :
Repeated cocaine administration increases GABA_{B(1)} subunit mRNA in rat brain.
Synapse 43 : 175-180, 2002.
- No. 11 Yamaguchi, M., Suzuki, T., Abe, S., Hori, T., Asada, T., Okado, N., Arai, H. :
Repeated cocaine administration differentially affects NMDA receptor subunit
(NR1, NR2A-C) mRNAs in rat brain.
Synapse 46 : 157-169, 2002.
- No. 12 Imai, K., Harada, S., Kawanishi, Y., Tachikawa, H., Okubo, T., Asada, T. :
Association analysis of an (AC)n repeat polymorphism in the GABA_B receptor
gene and schizophrenia.
Am J Med Genet 114 : 605-608, 2002.
- No. 13 Tanimukai, S., Hasegawa, H., Nakai, M., Yagi, K., Hirai, M., Saito, N., Taniguchi, T.,
Treashima, A., Yasuda, M., Kawamata, T., Tanaka, C. :
Nanomolar amyloid beta protein activates a specific PKC isoform mediating
phosphorylation of MARCKS in Neuro2A cells.
Neuroreport 13(4) : 549-553 2002
- No. 14 佐藤 晋爾, 鈴木 利人, 朝田 隆, 荒木 彰弘 :
起立性低血圧が誘因と考えられるけいれん発作を認めたパーキンソン病の1例
精神科治療学 17 : 1277-1281, 2002
- No. 15 元永 拓郎, 朝田 隆 :
痴呆患者の7年間の生命予後に影響する要因分析
日本公衛誌 49(7) : 620-630, 2002
- No. 16 水上 勝義, 佐々木恵美, 朝田 隆 :
大風湯が有効であった慢性疼痛性障害の1例
漢方医学 6(5) : 229, 2002
- No. 17 佐藤 晋爾, 佐々木恵美, 鈴木 利人, 朝田 隆 :
精神療法における「諦める」ことの意義—心気症に引き続き嫉妬妄想を呈した1女性
例の治療を通じて—
臨床精神医学 31 : 971-977, 2002
- No. 18 上月 英樹, 堀 正士, 山口 直美, 嶋崎 素吉 :
新入学生に対する食行動検査—12年間の結果について—
Campus Health 38(3) : 93-98, 2002
- No. 19 川西 洋一, 堀 孝文, 白石 博康, 鈴木 利人 :
Fluvoxamine が著効した身体醜形障害の1例
精神医学 44(1) : 79-82, 2002
- No. 20 小林 純, 山口 直美, 畑中 公孝, 太刀川弘和, 佐藤 晋爾, 朝田 隆 :
摂食障害の病像と父親の特徴との関係 —特に専制型の父親に注目して—
臨床精神医学 32(2) : 193-200, 2003

- No. 21 新井 康司, 角 保徳, 植松 宏, 三浦 宏子, 谷向 知:
痴呆性高齢者の歯科保健行動と摂食障害
—国立療養所中部病院歯科における実態調査—
日老年歯科医学 17:9-14, 2002
- 総 説
- No. 1 朝田 隆:
痴呆症の前駆状態を疫学調査する試み
体育の科学 52:853-856, 2002
- No. 2 朝田 隆:
アルツハイマー病の臨床経過
日本内科学会雑誌 91(Suppl):144-147, 2002
- No. 3 井出 政行, 朝田 隆:
Vascular dementia の薬物療法
臨床精神薬理 5:1557-1563, 2002
- No. 4 川西 洋一, 朝田 隆:
知っておきたい老年期うつ病の基礎知識:老年期うつ病一般論
Gpnet 49(5):22-27, 2002
- No. 5 朝田 隆:
痴呆と行動異常・痴呆疾患・経過・重症度との相関
老精医誌 13:152-156, 2002
- No. 6 水上 勝義, 朝田 隆:
新しい抗痴呆薬(ドネペジル)の薬理特性・臨床効果・副作用
精神医学 44(3), 2002
- No. 7 日高 真, 水上 勝義, 朝田 隆:
痴呆の予後に影響を与える要因
J Integrated Med 12:213-215, 2002
- No. 8 石川 正憲, 水上 勝義, 朝田 隆:
話題の論文「血清アミロイド P コンポーネントを減少させることによるヒトアミロイドシスの治療」
Cognition and Dementia 1:256-257, 2002
- No. 9 石川 正憲, 水上 勝義, 朝田 隆:
話題の論文「Mild cognitive impairment 状態では脳内コリンアセチルトランスフェラーゼ活性は上昇している」
Cognition and Dementia 1:258-259, 2002
- No. 10 佐々木恵美, 朝田 隆:
MCI の概念と歴史
Cognition and Dementia 1:15-20, 2002
- No. 11 袖山 紀子, 佐々木恵美, 朝田 隆:
MCI(軽度認知障害)
総合臨床 51:908-910, 2002

- No. 12 谷向 知：
アルツハイマー病の薬物療法
日本老年医学雑誌 39(2)：229, 2002
- No. 13 遠藤 英俊, 谷向 知：
老年科と精神科のはざま
臨床精神医学 31(4)：383-387, 2002
- No. 14 谷向 知：
痴呆の鑑別診断
BioClin 17(9)：768-772, 2002
- No. 15 谷向 知：
痴呆診療の現況と展望
医療 56(10)：583-588, 2002

著 書

- No. 1 高橋 清久監修, 朝田 隆編集：
セカンドオピニオン 精神分裂病/統合失調症
医学書院, 東京, 2002.
- No. 2 朝田 隆：
適応外使用とそのエビデンス：アルツハイマー病 非ステロイド抗炎症薬の選び方と
使い方 川合真一編集
南江堂, 東京, pp.71-75, 2002
- No. 3 朝田 隆：
痴呆に関する専門的知識. 高齢者痴呆介護研究・研修センターテキスト編集委員会編
著 高齢者痴呆化以後実践講座II
第一法規, 東京, pp.67-80, 2002

学会発表

- No. 1 堀 孝文, 井出 政行, 楊 朝令, 山口 美佳, 安部 秀三, 鈴木 利人, 朝田 隆：
フェンサイクリジンがラットの自発行動に与える影響 ―コカインとの比較―
第24回日本生物学的精神医学会(埼玉), 4月, 2002
- No. 2 Hori, T., Ide, M., Yang, C.L., Yamaguchi, M., Abe, S., Asada, T., Suzuki, T.：
Repeated treatment of phencyclidine attenuates spontaneous activity in rats : a
comparison with cocaine.
23rd Congress of the Collegium Internationale Neuropsychopharmacologicum
(Montreal), June, 2002
- No. 3 原田 和佳, 数井 裕光, 谷向 知, 佐藤 信一, 角 典哲, 藤本 修, 南野 壽重,
西村 健, 武田 雅俊：
特別養護老人ホームにおける介護者の介護負担について
第17回日本老年精神医学会(金沢), 6月, 2002

- No. 4 片野 綱大, 井出 政行, 水上 勝義, 山口 直美, 岡田 純子, 鈴木 浩明,
朝田 隆:
olanzapine 投与中に糖尿病ケトosisを呈した Schizophrenia の1例
東京精神医学会, 第65回学術集会(東京), 7月, 2002
- No. 5 遠藤 憲一, 佐々木恵美, 山形 晃彦, 杉山 和宏, 朝田 隆:
Fluvoxamine 使用中にけいれん重積をきたした OTC 欠損症が疑われた1例
第65回東京精神医学会(東京), 7月, 2002
- No. 6 奥村由美子, 谷向 知, 久世 淳子:
高齢者のかかわり度合いによる痴呆性高齢者イメージに関するちがいについて
第44回日本社会学会(福岡), 7月, 2002
- No. 7 Ishikawa, M., Mizukami, K., Iwakiri, M., Hidaka, S., Sasaki, M., Asada, T.:
GABA_A α 1 and β 2/3 subunits in the prefrontal cortex of subjects with schizophrenia and bipolar disorder.
XII World Congress of Psychiatry(Yokohama), August, 2002
- No. 8 Hori, T., Tachikawa, H., Sasaki, M., Mizukami, K., Suzuki, T., Asada, T.:
Clinical characteristics of brief psychotic disorder.
XII World Congress of Psychiatry(Yokohama), August, 2002
- No. 9 Hatanaka, K., Yamaguchi, N., Tachikawa, H., Kobayashi, J., Sato, S., Asada, T.,
Sugie, M.:
The eating disorder inventory-2 in Japanese eating disorder inpatients.
XII World Congress of Psychiatry(Yokohama), August 2002
- No. 10 太田 深秀, 太刀川弘和, 片野 綱大, 朝田 隆:
無痙攣性通電療法が著効したうつ病性昏迷の1例
関東新人精神科研修医合同研修会(東京), 9月, 2002
- No. 11 引地 里見, 水上 勝義, 片野 綱大, 朝田 隆:
音楽性幻聴を認めたうつ病の1例. 第24回茨城医学会精神科分科会
第51回茨城精神医学集談会(水戸), 10月, 2002
- No. 12 日高 真, 田中 芳郎, 茂呂 和夫, 向山 悦子, 石井 映美, 岩切 雅彦,
山形 晃彦, 水上 勝義:
当院における医療事故の現状と対策. 第24回茨城医学会精神科分科会
第51回茨城精神医学集談会(水戸), 10月, 2002
- No. 13 上月 英樹, 堀 正士, 山口 直美, 嶋崎 素吉:
小規模大学における精神保健活動について
第40回全国大学保健管理研究集会(東京), 10月, 2002
- No. 14 堀 正士, 山口 直美, 杉江 征, 佐藤 純, 松尾 和美, 上月 英樹:
筑波大学における自殺学生の実態
第40回全国大学保健管理研究集会(東京), 10月, 2002
- No. 15 芦沢 裕子, 井出 政行, 太刀川弘和, 佐々木恵美, 堀 孝文, 佐藤 晋爾, 朝田 隆:
緊張型分裂病者の描いた Computer Graphics(CG)-表現精神病理学的考察-
第51回茨城精神医学集談会(水戸), 10月, 2002

- No. 16 遠藤 憲一, 三上隼一郎, 山形 晃彦, 佐々木恵美, 朝田 隆, 杉山 和宏,
鈴木 浩明, 安部井誠人:
多彩な精神症状を呈したオルニチン・トランスフェラーゼ欠損症の1例.
第51回茨城精神医学集談会(水戸), 10月, 2002
- No. 17 真壁 健一, 井出 政行, 高尾 哲也, 根本 清貴, 堀 孝文, 朝田 隆:
セネストパチーを呈した2症例
第24回茨城医学会精神科分科会(水戸), 10月, 2002
- No. 18 井出 政行, 堀 孝文, 楊 朝令, 安部 秀三, 山口美佳, 朝田 隆, 鈴木 利人:
新生仔期腹側海馬傷害ラットにおける mGluR サブタイプ mRNA の発現について
第32回日本神経精神薬理学会(前橋), 10月, 2002
- No. 19 安部 秀三, 楊 朝令, 鈴木 利人, 堀 孝文, 朝田 隆:
精神異常惹起物質投与ラットにおけるグルタミン酸トランスポーター mRNA の変化
第32回日本神経精神薬理学会(前橋), 10月, 2002
- No. 20 新馬場奈々, 福田 尚子, 藤本よし子, 三浦 利奈, 有園 陽子, 谷向 知:
意味痴呆患者の看護介入を考える
第57回国立病院療養所総合医学会(福岡), 10月, 2002
- No. 21 堀 宏治, 後藤 基卿, 藤 佳也, 中村千恵美, 鷺見 幸彦, 谷向 知, 古賀 寛:
痴呆患者の行動心理学的症候に対する看護師による個別対応および作業療法士による
集団療法の効果:長寿医療共同研究平成14年度の研究報告から
第57回国立病院療養所総合医学会(福岡), 10月, 2002
- No. 22 有園 陽子, 谷向 知:
言語障害を伴う痴呆性高齢者の Rorschach 法反応—思考・言語カテゴリーを用いて痴
呆性高齢者の介入を考える—
第6回日本ロールシャッハ学会(鹿児島), 10月, 2002
- No. 23 Mizukami, K., Ikonovic, MD., Hidaka, S., Ishikawa, M., Iwakiri, M., Dekosky ST.,
Asada, T.:
GABA R1 in the hippocampus of subjects with Alzheimer's pathology:
Immunohistochemical study.
32nd Annual Meeting Society for Neuroscience(Orlando), 11月, 2002
- No. 24 Hori, T., Ide, M., Abe, S., Yang, C.L., Yamaguchi, M., Asada, T., Suzuki, T.:
Expression of metabotropic glutamate receptor subtype mRNA in rats with
neonatal ventral hippocampal lesions.
32nd Annual Meeting Society for Neuroscience(Orlando), 11月, 2002
- No. 25 芦沢 裕子, 太刀川弘和, 井出 政行, 佐藤 晋爾, 須田 陽, 堀 正士, 佐々木恵美,
堀 孝文, 朝田 隆:
緊張病様状態の発症前後に描かれたコンピューター・グラフィックス
東京精神医学会第66回学術集会(東京), 11月, 2002
- No. 26 太田 深秀, 太刀川弘和, 藤田 俊之, 山形 晃彦, 井出 政行, 小林 純,
山口 直美, 朝田 隆:
摂食障害を呈した von Recklinghausen 病の1例
東京精神医学会第66回学術集会(東京), 11月, 2002

- No. 27 小林 純, 山口 直美:
摂食障害患者の Alexithymia 傾向 一経過中の変化, 抑うつとの関連—
第43回日本児童青年精神医学会(東京), 11月, 2002
- No. 28 谷向 知, 三浦 利奈, 有園 陽子, 奥村由美子, 久世 淳子:
「愛子さん」を知っていますか?—歴史的出来事を用いた予定・指示の記憶促進に関する予備的研究—
第3回痴呆ケア学会(大分), 11月, 2002
- No. 29 奥村由美子, 谷向 知, 久世 淳子:
痴呆性高齢者にかかわる専門職がいただくイメージの違いに関与する要因について
第3回痴呆ケア学会(大分), 11月, 2002
- No. 30 久世 淳子, 水野 裕, 沖田 裕子, 奥村由美子, 橋本 直季, 井川美由紀, 大栗 功,
谷向 知:
高齢者および痴呆性高齢者の不安に関する研究
第3回痴呆ケア学会(大分), 11月, 2002
- No. 31 太刀川弘和, 遠藤 剛, 袖山 紀子, 井出 政行, 山口 直美, 水上 勝義, 朝田 隆:
人格障害が疑われ, 入院家族療法が有効であった Eating Disorder, NOS の2例
第96回日本心身医学会関東地方会(東京), 12月, 2002

班研究報告

- No. 1 朝田 隆:
厚生労働省科学研究費補助金
痴呆性疾患の危険因子と予防介入に関する研究. 21世紀型医療開拓推進研究事業
平成13年度総括分担報告書 2002.
- No. 2 堀 正士, 永森 朋子:
学生の対人関係の悩み
メンタルヘルス研究協議会平成13年度報告書 pp37-38, 2002.
- No. 3 堀 正士, 山口 直美, 杉江 征, 大森 美香:
新入生における抑うつ状態の変遷—いわゆる五月病の変化について—
Campus Health 38(2): pp555-557, 2002.
- No. 4 上月 英樹, 堀 正士, 山口 直美, 嶋崎 素吉:
新入生における食行動検査—12年間の結果について—
Campus Health 38(2): pp565-568, 2002.
- No. 5 堀 正士, 永森 朋子:
第二分科会からの報告
北関東・甲信越地区メンタルヘルス研究協議会
平成13年度報告書 pp12, 2002.
- No. 6 堀 正士:
学生の対人関係の悩み—第二分科会まとめ—
北関東・甲信越地区メンタルヘルス研究協議会
平成13年度報告書 pp23-24, 2002.

- No. 7 堀 正士, 永森 朋子:
第二分科会参加者からの提言と感想
北関東・甲信越地区メンタルヘルス研究協議会
平成13年度報告書 pp38-42, 2002.
- No. 8 谷向 知:
アルツハイマー型痴呆と遺伝子多型との関連. 21世紀型医療開発推進研究事業
アルツハイマー病生物学的診断マーカーの確立に関する臨床研究
平成13年度総括研究報告書 pp34-37, 2002
- No. 9 谷向 知:
痴呆性高齢者に対する看護師・看護助手の対応に関する研究
平成13年度長寿医療共同研究報告書 pp31, 2002
- No. 10 久世 淳子, 水野 裕, 沖田 裕子, 奥村由美子, 橋本 直季, 井川美由紀, 大栗 功,
樋口 京子, 近藤 克則, 谷向 知:
高齢者および痴呆性高齢者の不安に関する研究
平成13年度老人保健健康増進等事業
高齢者および痴呆性高齢者の不安に関する研究事業 pp16-19, 2002
- その他
- No. 1 上月 英樹:
真面目でがんばりやのあなたへ
つくばスチューデントズ 510号, pp7, 2002
- No. 2 上月 英樹:
心身の健康について留意すべきこと—卒業生ならびに新入生諸君へ—
ULIS(ゆうりす) 83号, pp8-10, 2002
- No. 3 佐々木恵美:
癌患者の抑うつ
日立製作所日立総合病院(日立), 2月, 2002
- No. 4 佐々木恵美:
精神科救急
日立製作所日立総合病院(日立), 3月, 2002
- No. 5 堀 正士:
職場におけるメンタルヘルス
筑波大学付属病院看護部講演会(つくば), 4月, 2002
- No. 7 佐々木恵美:
心療内科及び精神科領域の主な疾患
第61回県北薬剤師勉強会(日立), 5月, 2002
- No. 8 堀 正士:
現代の若者気質—保健管理センターの経験を通して—
平成14年度附属図書館ボランティア講演会(つくば), 6月, 2002

- No. 9 太刀川弘和, 高尾 哲也, 朝田 隆:
Fluvoxamine と定型的抗うつ薬の併用療法 ―その有効性と安全性―
第6回茨城フルボキサミン研究会(つくば), 7月, 2002
- No. 10 遠藤 憲一, 佐々木恵美, 山形 晃彦, 杉山 和宏, 朝田 隆:
Fluvoxamine 使用中に痙攣重積をきたし OTC 欠損症が疑われた一例
第6回茨城フルボキサミン研究会(つくば), 7月, 2002
- No. 11 上月 英樹:
職場における健康管理
文部科学省図書館情報大学共催大学図書館職員長期研修(つくば), 7月, 2002
- No. 12 上月 英樹:
読書と豊かな人間性
文部科学省委嘱学校図書館司書教諭講習(つくば), 8月, 2002
- No. 12 堀 正士:
職場におけるメンタルヘルス
筑波大学付属病院看護部講演会(つくば), 9月, 2002
- No. 13 太刀川弘和:
Recent review for schizophrenia - symptomatology, origins, and biological studies.
SRL 社内講演会(東京), 9月, 2002
- No. 14 堀 正士:
精神障害の概念
いのちの電話研修会(つくば), 10月, 2002
- No. 15 堀 正士:
自殺と危機介入
フリーダイアル自殺予防いのちの電話事前研修会(つくば), 11月, 2002
- No. 16 堀 正士:
職場のメンタルヘルス
平成14年度筑波大学課長補佐級研修(つくば), 11月, 2002
- No. 17 堀 正士:
筑波大学生52名における自殺の検討
「自殺と医療 現状と精神科対応」学術講演会(つくば), 11月, 2002
- No. 18 佐々木恵美:
ストレスと付き合うために
日立マクセル株式会社開発本部(筑波郡), 11月, 2002
- No. 19 太刀川弘和, 根本 清貴:
インターネット・カウンセリング
第2回いばらきベンチャービジネスプランコンペ最優秀賞(水戸), 12月, 2002
- No. 20 堀 正士:
心地よい眠りをどうぞ
つくばスチューデント 503号, pp6, 2002

- No. 21 谷向 知：
痴呆の診断とケア
第1回堺市痴呆カンファレンス(堺)，1月，2002
- No. 22 谷向 知：
変性性痴呆の症候学
名古屋大学医学部精神科一研特別セミナー(名古屋)，2月，2002
- No. 23 谷向 知：
テレビ番組が与える痴呆性高齢者への影響に関する研究
高齢者痴呆介護研究・研修3センター合同研究成果発表会(東京)，3月，2002
- No. 24 谷向 知：
痴呆最前線(Ⅲ) 一痴呆の介護と予防を考える一
平成14年度和歌山 YMCA 第1回市民カレッジ(和歌山)，4月，2002
- No. 25 谷向 知：
痴呆の正しい理解 一よい介護を行うために一
東海市在宅介護支援センター研修会(東海)，5月，2002
- No. 26 谷向 知：
前頭側頭葉変性症
中部病院老年病セミナー(大府)，6月，2002
- No. 27 谷向 知：
痴呆にならないために
平成14年度あいち健康の森ヘルスサイエンスシアター(大府)，7月，2002
- No. 28 谷向 知：
痴呆の正しい理解
大阪市区高齢者痴呆など介護制度立ち上げ研修会(大阪)，8月，2002
- No. 29 谷向 知：
惨事ストレス
大府市消防局衛生管理講習会(大府)，8月，2002
- No. 30 谷向 知：
痴呆にならないために
大府市痴呆予防教室(大府)，10月，2002
- No. 31 谷向 知：
痴呆症の理解と介護
平成14年度愛知県痴呆介護実務者研修・基礎講座(名古屋)，11月，2002
- No. 32 谷向 知：
知ってみませんか？痴呆のこと
知多市市民介護講座(知多)，11月，2002
- No. 33 谷向 知：
痴呆性高齢者の症状と看護
第25回東海地方准看護師のつどい(名古屋)，11月，2002

- No. 34 谷向 知：
痴呆症でみられる症状の捉え方
老人保健介護施設「相生」第60回勉強会(東浦)，11月，2002
- No. 35 谷向 知：
痴呆の専門的理解について
大阪市区社会福祉協議会職員研修会(大阪)，11月，2002
- No. 36 谷向 知：
痴呆症における医療と福祉との連携について考える
第3回知多市介護支援専門員研修(知多)，11月，2002
- No. 37 谷向 知：
痴呆の臨床
平成14年度長寿医療研修会(大府)，11月，2002
- No. 38 谷向 知：
痴呆にならないために
春日井市市民健康講座(春日井)，11月，2002
- No. 39 谷向 知：
東海市で行った東海市在宅介護支援センター研修会が中日新聞(2002.05.12)に掲載
- No. 40 谷向 知：
第3回日本痴呆ケア学会において第2回石崎賞を受賞

2002年（皮膚科グループ）

原 著

- No. 1 Ichikawa Eiko, Imakado Sumihisa, Otsuka Fujio :
Erythroderma: a clinopathological study and follow-up of 24 cases
—Proceedings of 12th Japan-Korea Joint Meeting of Dermatology—
JDA & KDA Pub. Tokyo, pp.544-547, 2002
- No. 2 Hisae Satomi, Binghe Wang, Hiroshi Fujisawa, Fujio Otsuka :
Interferon- β from melanoma cells suppress the proliferations of melanoma cells
in autocrine manner.
Cytokine 18(2) : 108-115, 2002
- No. 3 Sumiko Hamanaka, Mariko Hara, Hiroyuki Nishio, Fujio Otsuka, Akemi Suzuki,
Yoshikazu Uchida :
Human epidermal glucosylceramides are precursors of stratum corneum cer-
amides.
J Invest Dermatol 417 : 416-423, 2002
- No. 4 Tomoe Kotsuji-Maruyama, Sumihisa Imakado, Yasuhiro Kawachi, Fujio Otsuka :
PDGF-BB induces MAP kinase phosphorylation and VEGF expression in neurofi-
broma-derived cultured cells from patients with neurofibromatosis 1.
J Dermatol 29(11) : 713-717, 2002
- No. 5 Fujio Otsuka, Jun Yamakoshi, Atsushi Sano, Shouichi Tokutake, Makoto Saito,
Mamoru Kikuchi, Yoshiro Kubota :
Lightening effect of oral intake of proanthocyanidin-rich extract from grape
seeds on hyperpigmented lesions of women with chloasma
Photomed Photobiol 24 : 97-101, 2002
- No. 6 Hidehisa Saeki, Naoko Hattori, Hiroshi Mitsui, Makoto Adachi, Sumihisa Imakado,
Yasumasa Ishibashi, Kunihiro Tamaki :
A keratin 10 gene mutation (Arg156Cys) in a Japanese patient with bullous
congenital ichthyosiform erythroderma
J Dermatol, 29 : 168-171, 2002
- No. 7 Takehiko Tsuda, Masashi Ishikawa, Tomohiro Banno, Hiroshi Fujisawa,
Sumihisa Imakado, Fujio Otsuka :
A case of adult T-cell leukemia/lymphoma with an indolent clinical course has
an unusual proviral DNA integration pattern
Letters to Editor for Acta Derm Venereol 83 : 1012-1013, 2002
- No. 8 今門 純久, 大塚 藤男, Wojcik S, Roop D :
変異 MK6a トランスジェニックマウスの phenotype
第16回角化症研究会記録集, 日本ロッシュ株式会社, 東京, pp.63-65, 2002
- No. 9 今門 純久, 丸山 智恵, 大塚 藤男 :
NF1由来培養細胞の細胞周期に及す IFN- β の影響
医薬の門 42(1) : 108-110, 2002

- No. 10 市橋 正光, 尾藤 利憲, 上田 正登, 荒木 敬司, 川内 康弘, 大塚 藤男ほか:
日本人皮膚癌の疫学調査—皮膚癌検診と症例・対照研究—
太陽紫外線防御研究委員会学術報告 12(2):1-19, 2002
- No. 11 立石優美絵, 市川 栄子, 今門 純久, 大塚 藤男:
Laugier-Hunziker-Baran 症候群
皮膚臨床 44(13):1515-1516, 2002
- No. 12 堀井のり子, 佐藤 寛子, 石川 雅士, 市川 栄子, 藤沢 裕志, 今門 純久,
大塚 藤男:
7歳男児の後頭部に生じた Fibrosarcomatous-Dermatofibrosarcoma Protuberans
(FS-DFSP)の1例
皮膚臨床 44(13):1533-1535, 2002
- No. 13 立石優美絵, 市川 栄子, 今門 純久, 大塚 藤男:
Laugier-Hunziker-Baran 症候群の1例
皮膚臨床 44(13):1573-1574, 2002
- No. 14 今門 純久:
アトピー性皮膚炎と膿疱性湿疹
Medical Practice, 19:503, 2002
- No. 15 堀井のり子, 守屋美佳子, 伴野 朋裕, 藤澤 裕志, 今門 純久, 大塚 藤男:
53歳女性に生じた水痘の1例
皮膚科の臨床, 44:221-223, 2002
- No. 16 服部 尚子, 佐伯 秀久, 玉置 邦彦, 足立 真, 今門 純久, 石橋 康正:
ケラチン10遺伝子に点突然変異を認めた水疱型先天性魚鱗癬様紅皮症の1例
第16回角化症研究会記録集, pp.66-67, 日本ロシユ, 2002
- No. 17 今門 純久, 丸山 智恵, 大塚 藤男:
NF1由来培養細胞の細胞周期に及ぼす IFN- β の影響
医薬の門, 42:108-110, 2002
- No. 18 酒井ふき子, 長島 邦宏, 伴野 朋裕, 今門 純久, 大塚 藤男:
Mobile Encapsulated Lipoma の1例
皮膚科の臨床, 44:727-730, 2002
- No. 19 矢野 道子, 南野 義和, 藤澤 裕志, 今門 純久, 大塚 藤男, 飯島 茂子:
タクロリムス軟膏が著効した色素性扁平苔癬
皮膚科の臨床, 44:761-763, 2002
- No. 20 今門 純久:
鱗状毛包性角化症
MB Derma, 69:1-3, 2002
- No. 21 津田 毅彦, 石川 雅士, 伴野 朋裕, 藤澤 裕志, 今門 純久, 大塚 藤男,
森 尚義:
長期の臨床経過をたどり皮膚型 ATL と考えた1例
皮膚のリンフォーマ XXI pp. 78-81, 2002

- No. 22 津田 毅彦, 永江美香子, 藤澤 裕志, 今門 純久, 大塚 藤男, 小島 寛, 森 尚義:
慢性リンパ性白血病を伴った Primary cutaneous CD+lymphoproliferative disorder
の1例

日本皮膚科学会雑誌 112(5):700, 2002

総 説

- No. 1 大塚 藤男:

学校医業務のコツ, 皮膚の検診

治療 84(8):2117-2120, 2002

- No. 2 大塚 藤男:

神経皮膚症候群

西日皮膚 64(4):407-411, 2002

- No. 3 今門 純久, 丸山 智恵, 大塚 藤男:

神経線維腫症1 診療の進歩

医療 56(7):432-434, 2002

- No. 4 大塚 藤男:

膚感染症(带状疱疹を中心に), 腎疾患治療マニュアル2002-2003

腎と透析 53(臨時増刊):546-548, 2002

- No. 5 大塚 藤男:

腹部皮膚疾患マニュアル(編集企画)

Derma 69(12), 2002

- No. 6 大塚 藤男:

線状皮膚萎縮症, 腹部皮膚疾患マニュアル

Derma 69(12):13-14, 2002

著 書

- No. 1 大塚 藤男:

顔面脂腺腫

医学書院医学大辞典(伊藤正男, 井村裕夫, 高久史麿編)

医学書院, 東京, pp.494, 2002

- No. 2 大塚 藤男:

ウイルス性疣贅(いぼ), 伝染性軟属腫

2002今日の治療指針(山口徹, 北原光夫編)

医学書院, 東京, pp.754-755, 2002

- No. 3 大塚 藤男:

母斑・母斑症

今日の処方改訂3版(浦部晶夫, 太田健, 鎌谷直之, 菅野健太郎, 武谷雄二編)

南江堂, 東京, pp.721, 2002

- No. 4 大塚 藤男：
皮膚癌
今日の処方改訂3版（浦部晶夫，太田健，鎌谷直之，菅野健太郎，武谷雄二編）
南江堂，東京，pp.721-723，2002
- No. 5 大塚 藤男：
悪性黒色腫
今日の処方改訂3版（浦部晶夫，太田健，鎌谷直之，菅野健太郎，武谷雄二編）
南江堂，東京，pp.723-724，2002
- No. 6 大塚 藤男：
悪性リンパ腫
今日の処方改訂3版（浦部晶夫，太田健，鎌谷直之，菅野健太郎，武谷雄二編）
南江堂，東京，pp.724-725，2002
- No. 7 大塚 藤男：
にきび（ざ瘡），酒さ
今日の処方改訂3版（浦部晶夫，太田健，鎌谷直之，菅野健太郎，武谷雄二編）
南江堂，東京，pp.725，2002
- No. 8 大塚 藤男：
汗疱，あせも，わきが
今日の処方改訂3版（浦部晶夫，太田健，鎌谷直之，菅野健太郎，武谷雄二編）
南江堂，東京，pp.726，2002
- No. 9 大塚 藤男：
そばかす（雀卵斑）・しみ（肝斑）
今日の処方改訂3版（浦部晶夫，太田健，鎌谷直之，菅野健太郎，武谷雄二編）
南江堂，東京，pp.726，2002
- No. 10 大塚 藤男：
尋常性白斑
今日の処方改訂3版（浦部晶夫，太田健，鎌谷直之，菅野健太郎，武谷雄二編）
南江堂，東京，pp.727，2002
- No. 11 大塚 藤男：
口囲皮膚炎・酒さ様皮膚炎
今日の処方改訂3版（浦部晶夫，太田健，鎌谷直之，菅野健太郎，武谷雄二編）
南江堂，東京，pp.727-728，2002
- No. 12 大塚 藤男：
ふけ症
今日の処方改訂3版（浦部晶夫，太田健，鎌谷直之，菅野健太郎，武谷雄二編）
南江堂，東京，pp.728，2002
- No. 13 大塚 藤男：
脱毛症
今日の処方改訂3版（浦部晶夫，太田健，鎌谷直之，菅野健太郎，武谷雄二編）
南江堂，東京，pp.728-729，2002

- No. 14 大塚 藤男：
細菌感染症
今日の処方改訂3版（浦部晶夫，太田健，鎌谷直之，菅野健太郎，武谷雄二編）
南江堂，東京，pp.729，2002
- No. 15 大塚 藤男：
褥瘡
今日の処方改訂3版（浦部晶夫，太田健，鎌谷直之，菅野健太郎，武谷雄二編）
南江堂，東京，pp.729-730，2002
- No. 16 大塚 藤男：
下腿潰瘍
今日の処方改訂3版（浦部晶夫，太田健，鎌谷直之，菅野健太郎，武谷雄二編）
南江堂，東京，pp.730，2002
- No. 17 今門 純久，大塚 藤男：
SLEの皮膚症状
難病の指針第4版，茨城県医師会，pp.22-25，2002
- No. 18 大塚 藤男：
神経線維腫症
難病の指針第4版，茨城県医師会，pp.168-171，2002
- No. 19 伴野 朋裕，大塚 藤男：
天疱瘡
難病の指針第4版，茨城県医師会，pp.210-216，2002
- No. 20 古田 淳一，大塚 藤男：
皮膚筋炎の皮膚症状
難病の指針第4版，茨城県医師会，pp.284-287，2002
- No. 21 大塚 藤男：
汗孔角化症
最新皮膚科学大系7巻，角化異常性疾患（玉置邦彦編）
中山書店，東京，pp.168-175，3月，2002
- No. 22 大塚 藤男：
結節性硬化症
皮膚疾患診療実践ガイド（宮地良樹，古川福実編）
文光堂，東京，pp.646-647，4月，2002
- No. 23 大塚 藤男：
レックリングハウゼン病
皮膚疾患診療実践ガイド（宮地良樹，古川福実編）
文光堂，東京，pp.647-650，4月，2002
- No. 24 大塚 藤男：
Hailey-Hailey病とDarier病
皮膚科診療プラティス13 発疹から病気がみえる
（小野友道，宮地良樹，瀧川雅浩編）
文光堂，東京，5月，pp.244-245，2002

No. 25 大塚 藤男：

母斑

今日の診断指針第5版（亀山正邦，高久史磨編）

医学書院，東京，11月，pp.1454-1456，2002

No. 26 今門 純久：

神経皮膚黒色症

皮膚疾患診療実践ガイド

文光堂，pp.650，2002

No. 27 今門 純久：

Peutz-Jeghers 症候群

皮膚疾患診療実践ガイド

文光堂，pp.651，2002

No. 28 今門 純久：

汗孔角化症

今日の皮膚疾患治療指針

医学書院，pp.295，2002

No. 29 今門 純久：

毛孔性紅色皰糠疹

今日の皮膚疾患治療指針

医学書院，pp.296-297，2002

No. 30 今門 純久：

LEOPARD 症候群

今日の皮膚疾患治療指針

医学書院，pp.467，2002

学 会

No. 1 Kawachi Y, Fujisawa H, Imakado S, Otsuka F, Roop D：

Cooperative interactions of POU domain factors Oct6/Oct11 with AP-1 and Sp1 regulate transcription of the loricrin gene in murine keratinocytes

63rd Annual Meeting of Soc Invest Dermatol, Los Angeles, May 15-18, 2002

No. 2 Imakado S, Maruyama T, Kawachi Y, Fujisawa H, Otsuka F：

Interferon- β inhibits cell cycle progression of neurofibroma-derived cultured cells from patients with neurofibromatosis 1

63rd Annual Meeting of Soc Invest Dermatol, Los Angeles, May 15-18, 2002

No. 3 Fujio Otsuka：

Summary and Perspectives. Neurocutaneous syndrome
(symposium, organized By P Wolkenstein, F Otsuka)

20th World Congress Dermatology, Paris, July 1-5, 2002

No. 4 Kawachi Y, Fujisawa H, Imakado S, Otsuka F, Roop D：

Analysis of loricrin gene proximal promotor region

20th World Congress Dermatology, Paris, July 1-5, 2002

- No. 5 Yahiro Kawachi, Hiroshi Fujisawa, Sumihisa Imakado, Fujio Otsuka, Dennis Roop :
Identification of factors which interact with the calcium response element of human keratin 1 and analysis of its functional role in vitro and in vivo
27th Annual Meeting of Jap Soc Invest Dermatol, Kyoto, Aug. 2-3, 2002
- No. 6 Takenori Takahashi, Atsuyuki Igarashi :
Hepatocyte growth factor/scatter factor (HGF/SF) up-regulates $\beta 1$ integrin expression on melanoma cell surface
European Society for Dermatological Research (ESDR)
32nd Annual Meeting, Geneva, September 19-21, 2002
- No. 7 Fujio Otsuka :
Porokeratosis —A cancer-prone genodermatosis, its nature, clinical feature and pathogenesis(Special Guest Lecture)
The 28th Annual Meeting of the Chinese Dermatological Society
Taipei, November 16-17, 2002
- No. 8 Sumihisa Imakado, Takehiko Tsuda, Masashi Ishikawa, Tomohiro Banno, Hiroshi Fujisawa, Fujio Otsuka :
A case of adult T-cell leukemia/lymphoma
The 7th China-Japan Joint Meeting of Dermatology, Guangzhou, Dec. 6-8, 2002
- No. 9 縣 俊彦, 豊島 裕子, 清水 英祐, 高木 廣文, 早川 東作, 稲葉 裕, 柳 修平, 大塚 藤男 :
NF1-モニタリング1997-2000 重複把握者特性を中心に
平成13年度厚生省特定疾患調査研究神経皮膚症候群研究班第2回班会議
東京, 1月, 2002
- No. 10 縣 俊彦, 豊島 裕子, 清水 英祐, 高木 廣文, 金城 芳秀, 稲葉 裕, 黒沢美智子, 柳 修平, 新村 真人, 大塚 藤男 :
あせび会 NF1患者の特性
平成13年度厚生省特定疾患調査研究神経皮膚症候群研究班第2回班会議
東京, 1月, 2002
- No. 11 丸山 智恵, 今門 純久, 川内 康弘, 大塚 藤男 :
NF1患者の神経線維腫における stem cell factor 発現量の検討
平成13年度厚生省特定疾患調査研究神経皮膚症候群研究班第2回班会議
東京, 1月, 2002
- No. 12 平野 貴士, 高橋 毅法, 玉木 毅 :
囊腫壁に軟属腫小体を認めた表皮囊腫の1例
日本皮膚科学会第770回東京地方会, 東京, 1月, 2002
- No. 13 川内 康弘, 市川 栄子, 古田 淳一, 有馬 礼人, 藤澤 裕志, 今門 純久, 大塚 藤男 :
扁桃癌を合併した皮膚筋炎
第25回皮膚脈管・膠原病研究会, 指宿, 1月, 2002

- No. 14 堀井のり子, 市川 栄子, 今門 純久, 大塚 藤男:
Fibrosarcomatous DFSP
第65回日本皮膚科学会東京支部学術大会, 東京, 2月, 2002
- No. 15 常深祐一郎, 松下 貴史, 長山 隆志, 高橋 毅法, 玉木 毅:
ミャンマー人 AIDS 患者に認められた *Penicillium marneffeii* 感染症の1例
第65回日本皮膚科学会東京支部学術大会, 東京, 2月, 2002
- No. 16 大塚 藤男:
神経皮膚症候群
平成13年度厚生科学研究費成果等普及啓発事業 特定疾患対策研究事業発表会
東京, 2月, 2002
- No. 17 酒井ふき子, 藤沢 康弘, 伴野 朋裕, 今門 純久, 大塚 藤男:
肥満細胞腫の1例
第7回茨城皮膚アレルギー懇話会, つくば, 2月, 2002
- No. 18 田口詩路麻, 津田 毅彦, 川内 康弘, 今門 純久, 大塚 藤男, 伊藤 周作,
立石 毅:
スポロトリコーシスの2例
第48回日本皮膚科学会茨城地方会, つくば, 3月, 2002
- No. 19 有馬 礼人, 堀井のり子, 藤澤 裕志, 今門 純久, 大塚 藤男:
背部に生じた LABC
第48回日本皮膚科学会茨城地方会, つくば, 3月, 2002
- No. 20 永江美香子, 石川 雅士, 矢野 道子, 藤澤 裕志, 今門 純久, 大塚 藤男:
肝細胞癌の needle tract implantation と考えられた1例
第48回日本皮膚科学会茨城地方会, つくば, 3月, 2002
- No. 21 濱中すみ子, 大塚 藤男, 原 真理子, 西尾 裕幸, Yoshikazu Uchida,
Walter Holleran, Peter M. Elias:
表皮スフィンゴミエリンは角層セラミドの選択的前駆物質である
第771回日本皮膚科学会東京地方会, 東京, 3月, 2002
- No. 22 平野 貴士, 松下 貴史, 高橋 毅法, 玉木 毅:
Granular cell tumor の1例
日本皮膚科学会第772回東京地方会, 東京, 4月, 2002
- No. 23 川内 康弘, 藤澤 裕志, 今門 純久, 大塚 藤男, Dennis R Roop:
Zn finger 蛋白 GATA-3は表皮ケラチノサイトに発現し, ロリクリン遺伝子の分化特異的転写を正に制御する
第101回日本皮膚科学会総会, 熊本, 6月, 2002
- No. 24 酒井ふき子, 南野 義和, 市川 栄子, 川内 康弘, 今門 純久, 大塚 藤男,
山田 信博:
家族性II a型高脂血症に伴う結節性黄色腫
第101回日本皮膚科学会総会, 熊本, 6月, 2002

- No. 25 津田 毅彦, 永江美香子, 藤澤 裕志, 今門 純久, 大塚 藤男, 小島 寛, 森 尚義:
慢性リンパ性白血病を伴った primary cutaneous CD30+ lymphoproliferative disorder の1例
第101回日本皮膚科学会総会, 熊本, 6月, 2002
- No. 26 高瀬 孝子, 大塚 藤男:
白癬性毛瘡の2例
第101回日本皮膚科学会総会, 熊本, 6月, 2002
- No. 27 高橋 毅法, 江藤 隆史, 安藤 巖夫, 久木田 淳, 玉置 邦彦:
肝細胞増殖因子の $\beta 1$ インテグリン分子発現レベルへの影響
第101回日本皮膚科学会総会, 熊本, 6月, 2002
- No. 28 大塚 藤男:
神経線維腫症 (NF1), シンポジウム「遺伝子診断」
第7回家族性腫瘍研究会, 京都, 6月, 2002
- No. 29 大塚 藤男:
播種性表在性光線性汗孔角化症, コメント (シンポジウム, 日光による前癌病変の病態と治療)
第18回日本皮膚悪性腫瘍学会, 米子, 6月, 2002
- No. 30 石川 雅士, 今門 純久, 大塚 藤男:
手術後20年して再発した悪性黒色腫
第18回日本皮膚悪性腫瘍学会, 米子, 6月, 2002
- No. 31 有馬 礼人, 石川 雅士, 藤澤 裕志, 今門 純久, 大塚 藤男:
下肢に生じた Stewart-Treves Syndrome の1例
第18回日本皮膚悪性腫瘍学会, 米子, 6月, 2002
- No. 32 尾藤 利憲, 渡辺 衣里, 市橋 正光, 神保 孝一, 金子 史男, 斎田 俊明,
大塚 藤男, 石川 治, 瀬戸山 充, 神崎 保:
全国8大学皮膚科の共同による皮膚癌の発症因子と予防因子の症例対照研究
第18回日本皮膚悪性腫瘍学会, 米子, 6月, 2002
- No. 33 佐藤 寛子, 川内 康弘, 今門 純久, 大塚 藤男:
Gianotti 症候群成人発症疑い例
第1回茨城ヘルペスウイルス研究会, つくば, 6月, 2002
- No. 34 田口詩路麻, 津田 毅彦, 川内 康弘, 今門 純久, 大塚 藤男:
左前腕に生じた glomangioma の1例
第49回日本皮膚科学会茨城地方会, 日立, 7月, 2002
- No. 35 佐藤 寛子, 市川 栄子, 今門 純久, 大塚 藤男:
Eccrine hydrocystoma の1例
第49回日本皮膚科学会茨城地方会, 日立, 7月, 2002
- No. 36 細谷なぎさ, 佐藤 寛子, 矢野 道子, 市川 栄子, 今門 純久, 大塚 藤男:
下口唇に発生した Heck's disease の1例
第49回日本皮膚科学会茨城地方会, 日立, 7月, 2002

- No. 37 長江美香子, 中村 泰大, 石川 雅士, 川内 康弘, 今門 純久, 大塚 藤男:
高位結紮と硬化療法を施行した下肢静脈瘤
第49回日本皮膚科学会茨城地方会, 日立, 7月, 2002
- No. 38 永江美香子, 堀井のり子, 藤沢 裕志, 今門 純久, 大塚 藤男:
カルバマゼピンによる小児の hypersensitivity syndrome の1例
第32回日本皮膚アレルギー学会, 大阪, 7月, 2002
- No. 39 大塚 藤男, 山越 純, 佐野 敦志, 徳武 昌一, 斎藤 護, 久保田芳郎:
プロアントシアニジン高含有ブドウ種子抽出物摂取による色素沈着症改善効果
第24回日本光医学・光生物学会, 浜松, 7月, 2002
- No. 40 高橋 毅法, 五十嵐敦之, 中川 正宏:
Cytophagic histiocytic panniculitis の1例
日本皮膚科学会第774回地方会(合同臨床), 東京, 7月, 2002
- No. 41 古田 淳一, 今門 純久, 大塚 藤男:
メラノーマにおける DNA メチル化異常の網羅的探索
平成14年厚生省がん研究助成金班(悪性黒色腫)第1回班会議, 東京, 8月, 2002
- No. 42 今門 純久, 大川裕美, 大塚 藤男, 山本 雅之:
ヒト表皮角化細胞における Nrf 2, keap 1 の発現
第17回角化症研究会, 東京, 8月, 2002
- No. 43 田口詩路麻, 津田 毅彦, 川内 康弘, 今門 純久, 大塚 藤男, 伊藤 周作,
立石 毅:
スポロトリコーシスの1例—筑波大学最近8年間の統計的観察を含めて
第52回日本皮膚科学会中部支部学術大会, 岐阜, 9月, 2002
- No. 44 加治 賢三, 久米麻里子, 藤田 悦子, 高瀬麻衣子, 出月 健夫, 高橋 毅法,
五十嵐敦之:
多発性立毛筋平滑筋腫の1例
日本皮膚科学会第775回東京地方会, 東京, 9月, 2002
- No. 45 藤田 悦子, 出月 健夫, 高橋 毅法, 加治 賢三, 久米麻里子, 五十嵐敦之:
右鼠径部皮下に生じた嚢胞状リンパ管腫
日本皮膚科学会第776回東京地方会, 東京, 10月, 2002
- No. 46 佐藤 寛子, 川内 康弘, 藤沢 裕志, 今門 純久, 大塚 藤男:
MDS, Crohn 病, 骨髄炎を合併した壊疽性膿皮症
第66回日本皮膚科学会東部支部学術大会, つくば, 10月, 2002
- No. 47 大塚 藤男:
汗孔角化症(会長講演)
第66回日本皮膚科学会東部支部学術大会, つくば, 10月, 2002
- No. 48 高瀬 孝子, 大塚 藤男:
Microsporum gypsum 感染症の13例
第66回日本皮膚科学会東部支部学術大会, つくば, 10月, 2002
- No. 49 川内 康弘, 河島 智子, 大塚 藤男:
アトピー性皮膚炎の疫学調査—環境の可能性—
第66回日本皮膚科学会東部支部学術大会, つくば, 10月, 2002

- No. 50 高橋 毅法, 五十嵐敦之, 江藤 隆史, 安藤 巖夫, 玉置 邦彦:
肝細胞増殖因子によるメラノーマ細胞の tyrosinase 発現の抑制作用
第66回日本皮膚科学会東部支部学術大会, つくば, 10月, 2002
- No. 51 中村 泰大, 石川 雅士, 今門 純久, 大塚 藤男:
悪性黒色腫の多発肝転移に対しシスプラチン動注療法を行った症例
平成14年厚生省がん研究助成金班(悪性黒色腫)第2回班会議, 東京, 11月, 2002
- No. 52 川内 康弘, 今門 純久, 大塚 藤男:
ケラチン1遺伝子3'下流に存在するカルシウム・スイッチ応答配列の角化細胞分化における役割
第9回新群筑皮膚科合同研究会, 前橋, 11月, 2002
- No. 53 古田 淳一, 今門 純久, 大塚 藤男, 山下 聡, 牛島 俊和:
メラノーマにおけるDNAメチル化異常の網羅的探索
第9回新群筑皮膚科合同研究会, 前橋, 11月, 2002
- No. 54 藤田 悦子, 久米麻里子, 加治 賢三, 出月 健夫, 高橋 毅法, 五十嵐敦之:
骨髄異形成症候群に生じたサルコイドーシス
第54回日本皮膚科学会西部支部総会学術大会, 11月, 2002
- No. 55 久米麻里子, 加治 賢三, 藤田 悦子, 出月 健夫, 高橋 毅法, 五十嵐敦之:
乏汗症を契機に発見されたシェーグレン症候群の1例
日本皮膚科学会第777回東京地方会, 東京, 11月, 2002
- No. 56 佐藤 哲也, 田口詩路麻, 中村 泰大, 川内 康弘, 今門 純久, 大塚 藤男,
並川健二郎, 津田 毅彦:
annular elastolytic giant cell granuloma の1例
第50回日本皮膚科学会茨城地方会, 水戸, 12月, 2002
- No. 57 細谷なぎさ, 佐藤 寛子, 中村 泰大, 川内 康弘, 今門 純久, 大塚 藤男:
隆鼻術後に発生した異物肉芽腫の1例
第50回日本皮膚科学会茨城地方会, 水戸, 12月, 2002
- No. 58 石塚 洋典, 永江美香子, 梅林 芳弘, 今門 純久, 大塚 藤男, 柴原 健:
潰瘍性大腸炎に合併した壊疽性膿皮症の1例
第50回日本皮膚科学会茨城地方会, 水戸, 12月, 2002
- No. 59 石井 良征, 梅林 芳弘:
Oral allergy syndrome の1例
第50回日本皮膚科学会茨城地方会, 水戸, 12月, 2002
- No. 60 縣 俊彦, 佐野 浩斎, 中村 晃士, 清水 英佑, 高木 廣文, 河 正子, 早川 東作,
柳 修平, 金城 芳秀, 稲葉 裕, 黒沢美智子, 大塚 藤男, 新村 真人:
神経線維腫症1(NF1), 過去20年の臨床疫学研究の総括
厚生科学研究特定疾患対策研究事業特定疾患の疫学に関する研究班平成14年度総会
福岡, 12月, 2002
- No. 61 川内 康弘, 今門 純久, 大塚 藤男:
神経線維腫における血管増生因子の発現
厚生科学研究特定疾患対策研究事業特定疾患の疫学に関する研究班平成14年度総会
福岡, 12月, 2002

班研究報告書

- No. 1 縣 俊彦, 豊島 裕子, 清水 英佑, 高木 廣文, 早川 東作, 稻葉 裕, 柳 修平,
大塚 藤男:
NF1定点モニタリングでの継続把握者の特徴.
厚生科学研究特定疾患対策研究事業特定疾患の疫学に関する研究班
平成13年度研究業績集 pp.304-309, 2002
- その他
- No. 1 大塚 藤男:
神経線維腫症(レックリングハウゼン病)の遺伝カウンセリング, 皮膚科の立場から
(講義)
第19回遺伝相談医師・コメディカル再教育研修会
(遺伝カウンセリングリフレッシュセミナー)
東京, 1月, 2002
- No. 2 大塚 藤男:
活性型ビタミンD3の基礎と臨床(特別講演)
福大皮膚科セミナー, 福岡, 1月, 2002
- No. 3 大塚 藤男:
間違えやすい皮膚疾患について(特別講演)
第74回水戸皮膚科懇話会, 水戸, 4月, 2002
- No. 4 大塚 藤男:
汗孔角化症:臨床像, 病態, 発がん(特別講演)
静岡県皮膚科医会第118回例会, 静岡, 4月, 2002
- No. 5 大塚 藤男:
間違えやすい皮膚の感染症(特別講演)
第67回鹿島北部臨床医家懇話会, 鉾田, 4月, 2002
- No. 6 大塚 藤男:
アトピー性皮膚炎の遺伝と環境
香川県皮膚疾患研究会・香川医科大学医師会学術講演会(特別講演),
高松, 5月, 2002
- No. 7 大塚 藤男:
神経皮膚症候群—最近の知見—(特別講演)
第25回神戸皮膚科臨床研究会, 神戸, 8月, 2002
- No. 8 大塚 藤男:
アトピー性皮膚炎の遺伝と環境
水戸皮膚科医会, 水戸医師会学術講演会(特別講演), 水戸, 9月, 2002
- No. 9 大塚 藤男:
アトピー性皮膚炎の遺伝と環境
茨城県南医師会学術講演会(特別講演), つくば, 10月, 2002

No. 10 大塚 藤男：

紅斑を主徴とする皮膚疾患

水戸医師会，日本臨床皮膚科医学会茨城支部講演会(特別講演)，水戸，11月，2002

No. 11 大塚 藤男：

編集後記

皮膚臨床 44(3)：394，2002

No. 12 大塚 藤男：

編集後記

皮膚臨床 44(7)：826，2002

No. 13 梅林 芳弘：

書評 皮膚疾患診療ガイド

皮膚臨床 44(13)：1615，2002

No. 14 大塚 藤男：

編集後記

皮膚臨床 44(13)：1618，2002

2002年（小児内科グループ）

原 著

- No. 1 Shinozaki K, Kanegane H, Matsukura H, Sumazaki R, Tsuchida M, Makita M, Kimoto Y, Kanai R, Tsumura K, Kondoh T, Moriuchi H, Miyawaki :
Activation-dependent T cell expression of the X-linked lymphoproliferative disease gene product SLAM-associated protein and its assessment for patient detection.
Int Immunol ; 14(10) : 1215-23, 2002
- No. 2 Egawa H, Yorifuji T, Sumazaki R, Kimura A, Hasegawa M, Tanaka K. :
Intractable diarrhea after liver transplantation for Byler's disease: Successful treatment with bile adsorptive resin.
Liver Transpl ; 8(8) : 714-6, 2002
- No. 3 Horigome H, Hiramatsu Y, Shigeta O, Nagasawa T, Matsui A. :
Overproduction of platelet microparticles in cyanotic congenital heart disease with polycythemia.
J Am Coll Cardiol 39(6) : 1072-1077, 2002
- No. 4 Shiono J, Horigome H, Matsui A, Terada Y, Watanabe S, Miyashita T, Tsukada K. :
Evaluation of myocardial ischemia in Kawasaki disease using iso-integral map on magnetocardiogram.
PACE 25(6) : 915-921, 2002
- No. 5 Kinugasa H, Horigome H, Sugiura M, Saito T, Iijima T, Matsui A. :
Intravenous prostacyclin combined with inhaled nitric oxide for an infant with alveolar capillary dysplasia.
Pediatr Int 44(5) : 525-527, 2002
- No. 6 Stinstra J, Golbach E, van Leeuwen P, Lange S, Menendez T, Moshage W, Schleussner E, Kaehler CH, Horigome H, Shigemitsu S, Peter M. :
Multicentre study of fetal cardiac time intervals using magnetocardiography.
Br J Obstet Gynecol 109(11) : 1235-1243, 2002
- No. 7 Noguchi E, Yokouchi Y, Shibasaki M, Inudou M, Nakahara S, Nogami T, Kamioka M, Yamakawa-Kobayashi K, Ichikawa K, Matsui A, Arinami T. :
Association between TNFA polymorphism and the development of asthma in the Japanese population.
Am J Respir Crit Care Med. Jul 1 ; 166(1) : 43-6, 2002
- No. 8 Vailes LD, Sun AW, Ichikawa K, Wu Z, Sulahian TH, Chapman MD, Guyre PM. :
High-level expression of immunoreactive recombinant cat allergen (Fel d 1) : Targeting to antigen-presenting cells.
J Allergy Clin Immunol. Nov ; 110(5) : 757-62, 2002

- No. 9 Tsurubuchi T, Matsumura A, Nakai K, Fujita K, Enomoto T, Iwasaki N, Nose T. :
Reversible holocord edema associated with intramedullary spinal abscess secondary to an infected dermoid cyst.
Pediatr Neurosurg 37(6) : 282-6. 2002
- No. 10 Nakayama J, Fu YH, Clark AM, Nakahara S, Hamano K, Iwasaki N, Matsui A, Arinami T, Ptacek LJ. :
A nonsense mutation of the MASS1 gene in a family with febrile and afebrile seizures.
Ann Neurol Nov ; 52(5) : 654-7, 2002
- No. 11 Iwasaki N, Nakayama J, Hamano K, Matsui A, Arinami T. :
Molecular genetics of febrile seizures.
Epilepsia 43 Suppl 9 : 32-5. 2002
- No. 12 Nakayama J, Yamamoto N, Hamano K, Iwasaki N, Ohta M, Nakahara S, Horigome Y, Nakahara C, Noguchi E, Shiono J, Shimakura Y, Yamakawa-Kobayashi K, Matsui A, Arinami T. :
Failure to find evidence for association between voltage-gated sodium channel gene SCN2A variants and febrile seizures in humans.
Neurosci Lett. 329(2) : 249-51, 2002
- No. 13 Imashuku S, Hyakuna N, Funabiki T, Ikuta K, Sako M, Iwai A, Fukushima T, Kataoka S, Yabe M, Muramatsu K, Kohdera U, Nakadate H, Kitazawa K, Toyoda Y, Ishii E. :
Low natural killer activity and entral nervous system disease as a high-risk prognostic indicator in young patients with hemophagocytic lymphohistiocytosis.
Cancer 94 : 3023-31, 2002
- No. 14 Ohto T, Uchida H, Yamazaki H, Keino-Masu K, Matsui A, Masu M. :
Identification of a novel non-lysosomal sulfatase expressed in the floor plate, choroid plexus and cartilage.
Genes to cells 7 : 173-85, 2002
- No. 15 佐藤 秀郎, 新 健治, 堀米 仁志, 磯部 剛志 :
学校心臓検診における先天性心疾患発見率からみた現状と問題点に関する検討.
茨城県立医療大学紀要 4 : 37-42, 2002
- No. 16 白垣 潤, 岩崎 信明, 藤田 和弘 :
脳性麻痺児における骨密度
小児科 ; 43(6) : 767-73. 2002
- No. 17 岩崎 信明, 中山 純子, 山本 和央, 浜野 建三, 太田 正康, 中原 智子, 堀米 ゆみ, 松井 陽, 有波 忠雄 :
熱性けいれんに関与する遺伝子の解析—てんかんの遺伝子に関する基礎的研究—
てんかん治療研究振興財団研究年報 Dr.吉崎 1499-105. 2002

- No. 18 三河 春樹(京都大学), 眞弓 光文, 木俣 肇, 馬場 実, 市川 邦男, 我妻 義則,
森川 昭廣, 黒梅 恭芳, 徳山 研一, 市村 登寿, 吉原 重美, 有田 昌彦,
大塚 武, 正木 拓朗, 永倉 俊和, 飯倉 洋治, 赤澤 晃, 小島 信行, 勝沼 俊雄,
福田 保俊, 古川 漸, 笹井 敬子, 栢沢 靖弘, 松井 猛彦, 三島 健, 中村 弘典,
栗原 和幸, 四家正一郎:

Salmeterol xinafoate(SN408)吸入用散剤の臨床的検討(第9報)―小児気管支喘息に
対する検討―臨床医薬 18巻6号

18(6): 821-835, 2002

- No. 19 重田みどり, 岡本 美穂, 中嶋 玲子, 市川 邦男:

乳幼児喘息に対する吸入ステロイド療法の有効性と問題点

日本小児アレルギー学会誌 16(2): 180-186, 2002

- No. 20 岩崎 信明, 中山 純子, 山本 和央, 浜野 建三, 太田 正康, 中原 智子,
堀米 ゆみ, 松井 陽, 有波 忠雄:

熱性けいれんに関与する遺伝子の解析―てんかんの遺伝子に関する基礎的研究―

てんかん治療研究振興財団研究年報 Dr.吉崎 1499-105, 2002

- No. 21 小林 千恵, 小池 和俊, 渡邊 温子, 徳山 美香, 福島 敬, 泉 維昌, 田村 和喜,
磯部 剛志, 前田 浩利, 土田 昌宏, 有賀 正, 崎山 幸雄:

非血縁者間臍帯血移植後, WAS 蛋白発現解析により混合キメラを追跡中の Wiskott-
Aldrich 症候群の1例.

日本小児科学会雑誌 106: 1901-1904, 2002

総 説

- No. 1 須磨崎 亮:

単純ヘルペス.

小児科診療 65巻増刊号, 小児の治療指針, P150-1522

- No. 2 須磨崎 亮:

門脈血管異常症.

小児内科 34巻増刊号, 小児疾患診療のための病態生理 1, p561-5653

- No. 3 須磨崎 亮:

X連鎖性リンパ増殖疾患.

小児内科 34巻増刊号, 小児疾患診療のための病態生理 1, p1190-1194.4

- No. 4 須磨崎 亮:

B型肝炎ウイルスとC型肝炎ウイルス―母子感染とその対策.

周産期医学 32巻7号, 周産期の感染防止対策 6

- No. 5 須磨崎 亮:

重篤な Epstein-Barr ウイルス関連疾患の日本人男児における SH2DIA 変異.

エクセプタ・メディカ・ジャパン No.13, p5

- No. 6 市川 邦男:

【実地医家のための喘息治療最前線】 テオフィリン薬の適応と使い方

小児科 43(7): 876-882, 2002

No. 7 市川 邦男：

【ペットの多様化とアレルギー疾患】 イヌ，ネコアレルギー

アレルギーの臨床 22(9)：675-679, 2002

著 書

No. 1 鴨田 知博：

ライソゾーム病.

難病の指針. 第4版. 茨城県医師会, 325-330, 2002

学会発表

No. 1 高橋 実穂, 堀米 仁志, 吉田 尊雅, 須磨崎 亮, 福島 敬, 松井 陽, 八巻 重雄：
鉄剤不応性貧血と先天性全盲に合併した肺高血圧症の4歳男児例.

第8回小児肺循環研究会(東京), 2月, 2002

No. 2 堀米 仁志, 重光 貞彦, 塩野 淳子, 宮下 豪, 神鳥 明彦, 塚田 啓二, 松井 陽：
胎児心磁図を用いた胎児心房筋電流の発達評価.

第8回日本胎児心臓病研究会(秋田), 2月, 2002

No. 3 高橋 実穂, 堀米 仁志, 濱田 洋実, 福島 敬, 松井 陽：
胎児心不全と骨髄増殖性疾患における肝エコー輝度の比較.

第8回日本胎児心臓病研究会(秋田), 2月, 2002

No. 4 川出 恭子, 高橋 実穂, 堀米 仁志, 松井 陽：

Mid-aortic syndrome を伴った Williams 症候群の1例.

第70回日本小児科学会茨城県地方会(つくば), 3月, 2002

No. 5 飛田 尚美, 藤原 暢子, 鴨田 知博, 岩崎 信明, 松井 陽, 平井みさ子,
金子 道夫：

男性化副腎腫瘍を合併した ICF 症候群の1女児例

第70回日本小児科学会茨城県地方会(つくば), 3月, 2002

No. 6 浅野 祐子, 岩崎 信明, 田中 竜太, 磯部 剛志, 松井 陽：

Progeria の頭部 MRI の経時的変化

第36回日本小児神経学会関東地方会(横浜) 3月, 2002

No. 7 石沢 美佳, 市川 邦男, 今井 博則, 藤原 暢子, 福島 敬, 岩崎 信明,
須磨崎 亮, 今門 純久, 松井 陽：

HHV-6 DNA (PCR 法) の経時的変化を測定した Hypersensitivity syndrome の1幼
児例

第14回日本アレルギー学会春季臨床大会(幕張) 3月, 2002

No. 8 長谷川 誠, 須磨崎 亮, 江川 裕人, 松井 陽：

本邦の進行性家族性肝内胆汁うっ滞症16症例に行った遺伝子診断の検討

日本小児胆汁酸研究会, 3月, 2002

No. 9 久倉 勝治, 平井みさ子, 堀 哲夫, 池袋 賢一, 雨海 照祥, 小室 広昭,
的場 公男, 渡邊 美穂, 飛田 尚美, 藤原 暢子, 鴨田 知博, 金子 道夫：

右副腎原発男性化腫瘍の3歳女児例

第199回茨城外科学会(つくば), 3月, 2002

- No. 10 石沢 美佳, 市川 邦男, 柴崎 正修, 松井 陽:
卵アレルギー患児における麻疹ワクチン原液皮内テストの検討
第105回日本小児科学会学術集会(名古屋) 4月, 2002
- No. 11 野末 裕紀, 鴨田 知博, 田中 竜太, 志賀 勝秋, 児玉 浩子, 松井 陽:
新たな $Gs\alpha$ 遺伝子変異が認められた偽性副甲状腺機能低下症 Ia 型の 2 例
第105回日本小児科学会学術集会(名古屋) 4月, 2002
- No. 12 西村 一, 中原千恵子, 金本 勝義, 斎藤奈津子, 鴨田 知博, 松井 陽:
抗リン脂質抗体陽性小児に見られた非ループス腎炎
第105回日本小児科学会学術集会(名古屋) 4月, 2002
- No. 13 斎藤奈津子, 中原千恵子, 西村 一, 飛田 尚美, 藤原 暢子, 岩崎 信明,
渡辺 美保, 池袋 賢一, 長田 道夫, 松井 陽:
嚢胞性腎疾患による慢性腎不全を合併した Leber 先天盲の 1 例
- No. 14
第105回日本小児科学会学術集会(名古屋) 4月, 2002
- No. 15 小林 千恵, 小池 和俊, 福島 敬, 徳山 美香, 仲島 大輔, 山崎 弥生,
渡辺 温子, 泉 維昌, 土田 昌宏:
MTX 単独の GVHD 予防にて非血縁者間臍帯血移植を行った白血病・MDS 7 例
第105回日本小児科学会学術集会(名古屋) 4月, 2002
- No. 16 Akira Matsui:
“Cholestatic Diseases in Infancy and Childhood”
Taiwan Society of Pediatric Gastroenterology,
Hepatology and Nutrition, (Taipei) June, 2002
- No. 17 岩崎 信明, 中山 純子, 田中 竜太, 網笠 英世, 大戸 達之, 有波 忠雄,
松井 陽:
全前脳胞症と middle interhemispheric fusion の一卵性双生児に同定された新たな
ZIC2遺伝子変異
第44回日本小児神経学会総会(仙台市) 6月, 2002
- No. 18 Onodera M, Kaneko S, Kojima H, Hasagawa Y, Fukushima T, Sumazaki R, Matui A,
Nagasawa T, Nakauchi H.:
Transfusion of donor lymphocytes transduced with the Herpes Simplex
Thymidine Kinase Gene into patients with relapsed leukemia after allogeneic bone
marrow transplantation.
第8回日本遺伝子治療学会(東京), 7月, 2002
- No. 19 大戸 達之, 岩崎 信明, 田中 竜太, 高橋 実穂, 松井 陽:
てんかん性無呼吸を呈した脳形成障害児の 1 例
第24回茨城てんかん懇話会(つくば) 7月, 2002
- No. 20 斎藤奈津子, 中原千恵子, 鴨田 知博, 金本 勝義, 松井 陽, 長田 道夫:
各種腎疾患における腎石灰化: Kossa 染色を用いた定量的解析
第37日本小児腎臓病学会(神戸) 7月, 2002

- No. 21 堀米 仁志, 平松 祐司, 村上 卓, 塩野 淳子, 高橋 実穂, 松井 陽:
チアノーゼ性先天性心疾患における血漿 P-セレクトリンとトロンボモジュリン-プロテイン C
第38回日本小児循環器学会(東京), 7月, 2002
- No. 22 西村 一, 高橋 実穂, 川出 恭子, 堀米 仁志, 今井 博則, 松井 陽:
経皮的バルーン肺動脈弁形成術が有効であった重症肺動脈弁狭窄の新生児2例.
第71回日本小児科学会茨城県地方会(つくば), 7月, 2002
- No. 23 川出 恭子, 重田みどり, 市川 邦男:
RS ウイルス下気道感染症の予後と気管支喘息との関連についての検討
第71回日本小児科学会茨城県地方会(つくば), 7月, 2002
- No. 24 石沢 美佳, 市川 邦男, 今井 博則, 藤原 暢子, 福島 敬, 岩崎 信明,
須磨崎 亮, 今門 純久, 松井 陽:
ステロイド療法中の HHV-6 DNA を経時的に測定した Hypersensitivity syndrome の
1 幼児例
第32回茨城小児アレルギー研究会(水戸) 7月, 2002
- No. 25 石沢 美佳, 市川 邦男, 今井 博則, 藤原 暢子, 福島 敬, 岩崎 信明,
須磨崎 亮, 今門 純久, 松井 陽:
ステロイド療法中の HHV-6 DNA を経時的に測定した Hypersensitivity syndrome の
1 幼児例
第38回日本小児循環器学会, 7月, 2002
- No. 26 長谷川 誠, 須磨崎 亮, 松井 陽:
遺伝子診断を行った進行性家族性肝内胆汁うっ滞症16症例の検討
第105回日本小児科学会学術集会 7月, 2002
- No. 27 須磨崎 亮, 長谷川 誠, 松井 陽:
治療ガイドラインの作成を目指した小児 C 型肝炎治療研究の進め方
第19回日本小児肝臓研究会(土浦) 7月, 2002
- No. 28 野末 裕紀, 杉浦 正俊, 藤原 暢子, 松井 陽, 池袋 賢一, 金子 道夫, 宗田 聡,
濱田 洋実, 吉川 裕之:
先天性乳糜胸の集学的治療に関する検討—出生前・後にわたる治療戦略—.
第38回日本新生児学会(神戸) 7月, 2002
- No. 29 杉浦 正俊, 田村 正徳:
ジャクソンリース回路と気管切開チューブの組み合わせによる事故の問題点
第38回日本新生児学会(神戸) 7月, 2002
- No. 30 田村 正徳, 堺 武男, 広間 武彦, 杉浦 正俊, 猪谷 泰史, 武井 章人,
丸山 憲一, 楠田 聡, 北島 博之, 佐橋 剛:
EBM に基づく重症呼吸障害の新生児に対する呼吸理学療法のガイドライン作製
第38回日本新生児学会(神戸), 7月, 2002

- No. 31 小野寺雅史, 小島 寛, 金子 新, 長谷川雄一, 向井 陽美, 福島 敬, 須磨崎 亮, 松井 陽, 中内 啓光, 長澤 俊郎:
同種幹細胞移植後の再発白血病に対する HSV-TK 導入ドナーリンパ球輸注療法の臨床的研究
第64回日本血液学会(横浜), 9月, 2002
- No. 32 福島 敬, 須磨崎 亮, 松井 陽, 小野寺雅史, 中内 啓光, 小池 和俊, 土田 昌宏:
同種リンパ球による抗白血病効果の解析
第64回日本血液学会(横浜) 9月, 2002
- No. 33 長谷川 誠, 須磨崎 亮, 江川 裕人, 松井 陽:
進行性家族性肝内胆汁うっ滞症(PFIC)の乳幼児期の臨床病理像
第29回日本小児栄養消化器肝臓学会, (高崎), 9月, 2002
- No. 34 須磨崎 亮, 松井 陽, 影山龍一郎:
最優秀演題: Alagille 症候群から学んだこと一胆管系の発生には転写因子 Hes1が必要である
第29回日本小児栄養消化器肝臓学会, (高崎), 9月, 2002
- No. 35 中嶋 玲子, 藤原 暢子, 長谷川 誠, 中原千恵子, 須磨崎 亮, 松井 陽:
顆粒球除去療法が奏功したステロイド抵抗性潰瘍性大腸炎の2例
第29回日本小児栄養消化器肝臓学会, (高崎), 9月, 2002
- No. 36 Nakayama J, Fu YH, Clark AM, Nakahara S, Hamano K, Iwasaki N, Matsui A, Ptacek LJ, Arinami T:
A nonsense mutation of the MASS1 gene in family with febrile and afebrile seizures.
第4回アジア太平洋てんかん学会(軽井沢), 9月, 2002
- No. 37 Iwasaki N, Tanaka R, Isobe T, Matsumura A, Anno I, Ohto T, Matsui A:
Quantification of lactate metabolites in mitochondrial cytopathy patients with proton MR spectroscopy using T2 relaxation time correction.
第9回国際小児神経学会(中国, 北京市), 9月 2002
- No. 38 Shiragaki J, Iwasaki N, Nakayama J, Fujita K, Ohto T, Matsui A:
Regional variations in bone mineral density in children with cerebral palsy using dual energy X-ray absorptiometry.
第9回国際小児神経学会(中国, 北京市), 9月 2002
- No. 39 Nakayama J, Yamamoto N, Hamano K, Iwasaki N, Nakahara S, Ohta M, Horigome Y, Matsui A, Arinami T:
A genome-wide linkage analysis of febrile seizures in a Japanese affected sib-pair population.
第9回国際小児神経学会(中国, 北京市), 9月 2002
- No. 40 Ueda I, Yagi T, Inaba T, Kano G, Nakayama M, Fukushima T, Naya M, Asami K, Ishii E, Hibi S, Morimoto A, Sugimoto T, Imashuku S:
Japan HLH Study Group. Perforin expression and gene mutations in HLH patients in Japan.
Histiocyte Society Annual meeting, Sep, 2002

- No. 41 Onodera M, Kaneko S, Kojima H, Hasagawa Y, Fukushima T, Sumazaki R, Matui A, Nagasawa T, Nakauchi H:
Transfusion of donor lymphocytes transduced with the Herpes Simplex Thymidine Kinase Gene into patients with relapsed leukemia after allogeneic bone marrow transplantation.
第37回日本小児神経学会関東地方会(千葉), 9月, 2002
- No. 42 大戸 達之, 岩崎 信明, 藤原 順子, 大越 教夫, 木村 里美, 津嘉山 洋, 川出 恭子, 田中 竜太, 松井 陽:
遺伝性自律感覚ニューロパシーIV型の自律神経機能の検討
第36回日本小児内分泌学会(広島), 10月, 2002
- No. 43 齊藤 久子, 鴨田 知博, 宮崎 賢治, 泉 維昌, 平野 岳毅, 松井 陽:
1型糖尿病の発症時における血中 adiponectin 値の検討
第36回日本小児内分泌学会(広島), 10月, 2002
- No. 44 宮崎 賢治, 鴨田 知博, 岩崎 信明, 齊藤 久子, 松井 陽:
成長ホルモン分泌不全を合併した Cleidocranial dysplasia の1女児例
第36回日本小児内分泌学会(広島), 10月, 2002
- No. 45 福島 敬, 中嶋 玲子, 藤原 暢子, 須磨崎 亮, 松井 陽, 小嶋 靖子, 小池 和俊, 土田 昌宏, 黒澤 秀光, 杉田 憲一, 江口 光興, 渡部 誠一, 今宿 晋作, 上田 育代:
Perforin 欠損の1家系3症例の臨床像について
第44回日本小児血液学会, (横浜), 10月, 2002
- No. 46 小嶋 靖子, 小池 和俊, 山本 詩子, 福島 敬, 今宿 晋作, 土田 昌宏:
非血縁臍帯血移植を行った perforin 欠損に伴う HLH の11歳女児例
第44回日本小児血液学会, (横浜), 10月, 2002
- No. 47 上田 育代, 森本 哲, 八木 知人, 稲葉 亮, 加納 原, 中山 雅彦, 福島 敬, 納谷真由美, 浅見 恵子, 石井 榮一, 日々 成美, 杉本 徹, 今宿 晋作:
FHL (familial haemophagocytic lymphohistiocytosis) 患者における perforin 蛋白異常
第44回日本小児血液学会, (横浜), 10月, 2002
- No. 48 小池 和俊, 小嶋 靖子, 小林 千恵, 仲島 大輔, 徳永 美香, 福島 敬, 土田 昌宏:
小児造血幹細胞移植後の白血病再発例とその予後
第25回日本造血細胞移植学会, (東京), 10月, 2002
- No. 49 野末 裕紀, 長谷川 誠, 鴨田 知博, 須磨崎 亮, 松井 陽:
新生児肝炎の病像を呈した septo-optic dysplasia の1例
第29回日本小児栄養消化器肝臓学会, 10月, 2002
- No. 50 高橋 実穂, 堀米 仁志, 岩崎 信明, 塩野 淳子, 渡辺 重行, 宮内 卓, 西野 一三, 松井 陽:
乳幼児期から心筋肥大の進行を観察し得た Danon 病の1例。
第11回関東小児心筋疾患研究会(東京), 11月, 2002

- No. 51 堀米 仁志, 榊原 謙, 重田 治, 久賀 圭祐, 山口 巖, 磯部 剛志, 山下 正夫,
高橋 実穂, 松井 陽:
麻酔導入で心室細動を来たし, 後方視的に Brugada 様心電図を呈していた大動脈縮窄症.
第7回日本小児心電学研究会(福岡), 11月, 2002
- No. 52 塩野 淳子, 磯部 剛志, 関島 俊雄, 阿部 正一, 堀米 仁志, 高橋 実穂,
松井 陽, 平松 祐司:
早期新生児期からペースメーカー治療を開始した先天性完全房室ブロックの低出生体重児の2例.
第7回日本小児心電学研究会(福岡), 11月, 2002
- No. 53 Yoshinaga M, Shibata T, Nagashima M, Niimura I, Kitada M, Yasuda T,
Kamimura J, Iwamoto M, Iino M, Horigome H, Seguchi M, Aiba S, Izumida N,
Kimura T, Ushinohama H, Miyata K. :
Research Committee on Long QT Syndrome in Children in the Japanese Society of Pediatric Cardiology and Cardiac Surgery Who are at risk for LQTS-related cardiac symptoms? —From a nationwide study in Japan—
American Heart Association Scientific Sessions 2002(Chicago, USA),
11月, 2002 (Circulation 2002;106(19) Suppl II:701-702)
- No. 54 石沢 美佳, 市川 邦男, 浅野 裕子, 雪竹 義也, 今井 博則, 松井 陽:
気管支喘息児に対する徐放性テオフィリン製剤(テオドールドライシロップR)の至適投与量に関する検討
第39回日本小児アレルギー学会(盛岡) 11月, 2002
- No. 55 青木 健, 岩崎 陽子, 竹田 一則, 市川 邦男, 柴崎 正修, 松井 陽:
「小児気管支喘息発作程度判定基準」を応用した喘息発作治療後の転帰の予測
第39回日本小児アレルギー学会(盛岡) 11月, 2002
- No. 56 一戸 美佳, 市川 邦男, 松井 陽:
卵アレルギー患者における卵負荷試験に及ぼす因子の検討
第72回日本小児科学会茨城地方会(日立), 11月, 2002
- No. 57 木村 純人, 大津 成之, 高田 史男, 横田 行史, 鴨田 知博, 松本 直通,
松浦 信夫:
甲状腺低形成による先天性甲状腺機能低下症(CHT)を合併した Sotos 症候群(SS)の1男児例
第25回日本小児遺伝学会(名古屋), 11月, 2002
- No. 58 長谷川 誠, 須磨崎 亮, 松井 陽:
小児の自己免疫性肝炎の臨床病理像
第6回日本肝臓学会大会, 11月, 2002
- No. 59 西村 洋子, 斉藤 誠, 杉浦 正俊, 松井 陽, 越智 寛幸, 宗田 聡, 濱田 洋実,
吉川 裕之:
トキソプラズマ IgM 抗体陽性母体産児6症例の検討
第72回茨城地方会(日立), 11月, 2002

- No. 60 齊藤 誠, 杉浦 正俊 :
当院における剖検の現状とターミナルケア
第7回茨城県新生児医療研究会(水戸), 11月, 2002
- No. 61 藤原 暢子, 杉浦 正俊 :
在宅医療を目標とした18トリソミーの一例
第7回茨城県新生児医療研究会(水戸), 11月, 2002
- No. 62 福島 敬, 中嶋 玲子, 藤原 暢子, 荷見 博樹, 宮崎 賢治, 的場 公男,
岩川真由美, 平井みさ子, 金子 道夫, 松井 陽 :
Bリンパ腫レジメンと98A3プロトコルの併用が著効した進行神経芽腫の幼児例
第18回小児がん学会, (大阪) 11月, 2002
- No. 63 加藤 愛章, 岡本 美穂, 大戸 達之, 土田 昌宏, 岩崎 信明, 松井 陽 :
Miller-Dieker 症候群の3例
第72回茨城地方会(日立), 11月, 2002
- No. 64 宮田 大輝, 土屋 真紀, 大戸 達之, 岩崎 信明, 高野 晋吾, 松井 陽 :
片麻痺を主訴として脳膿瘍を発症した4p-症候群の一例
筑波大学小児科, 同脳外
つくば小児神経内科外科懇話会
- No. 65 Matsui A, Momoya T :
“Mass screening for biliary atresia using stool colour cards” The American
Association for Study of the Liver Diseases, Pediatric Single Topic Conference on
Biliary Atresia
Atlanta, Georgia, U.S.A. December, 2002
- No. 66 藤原 暢子, 杉浦 正俊, 雪竹 義也, 松井 陽 :
在宅医療を目標としドキシプラム持続点滴を選択した18トリソミーの一例
第47回日本未熟児新生児学会, (大阪), 12月, 2002
- No. 67 齊藤 誠, 杉浦 正俊, 岡本 美穂, 雪竹 義也, 藤原 暢子, 松井 陽 :
正常新生児における無呼吸モニター作働時の対応
第47回日本未熟児新生児学会, (大阪), 12月, 2002
- No. 68 岡本 美穂, 杉浦 正俊, 岩崎 信明, 齊藤 誠, 高橋 実穂, 松井 陽, 宗田 聡 :
上衣下仮性嚢胞を認めた3例における胎児心臓超音波所見の検討.
第47回日本未熟児新生児学会, (大阪), 12月, 2002
- No. 69 杉森 治彦, 平井みさ子, 堀 哲夫, 金子 道夫, 池袋 賢一, 雨海 照祥,
小室 広昭, 的場 公男, 渡辺 美穂, 杉浦 正俊, 中原千恵子 :
ポリミキシンB固定化カラム吸着療法が有効であったMRSA敗血症性ショックの1乳児
例
北関東感染症外科学会
- No. 70 長谷川 誠, 須磨崎 亮, 江川 裕人, 松井 陽 :
ATPB1(FIC1), ABCB11(BSEP)遺伝子変異の認められた進行性家族性肝内胆うっ滞
症16症例の臨床像の検討
第34回日本肝臓学会東部会(つくば), 12月, 2002

- No. 71 須磨崎 亮, 塩尻 信義 磯山 茂美, 榊 正幸, 榊 和子, 影山龍一郎, 松井 陽:
ワークショップ「器官形成は分子のことばでどこまで解明されたか」, 脾臓と肝外胆管
系の器官形成・分化を転写因子 Hes1が制御する.
第25回日本分子生物学会, (横浜), 12月, 2002

その他

- No. 1 杉浦 正俊:
講演—臨床医が望む検査室からの臨床支援関東甲信越地区臨床検査技師会
2月(栃木), 2002
- No. 2 杉浦 正俊:
—翻訳—Turner 症候群.
宗田聡, 佐村修監訳, ニューイングランド周産期マニュアル
南山堂 東京 pp1006-1014, 2002年

2002年（循環器外科・呼吸器外科グループ）

原 著

- No. 1 Kaminishi Y, Watanabe Y, Nakata H, Shimogama T, Jikuya T :
Cystic tumor of the atrioventricular nodal region.
Jpn J Thorac Cardiovasc Surg 50(1) : 37-9, 1月, 2002
- No. 2 堀口 尚, 大瀬 寛高, 藤原 正親, 星 亨, 小野 光彦, 和田野安良, 永田 博司,
山本 達生 :
爪下外骨腫の1例.
茨城県立病院医学雑誌 20(1) : 59-63, 1月, 2002
- No. 3 Sato Y, Sato S, Yamamoto T, Ishikawa S, Onizuka M, Sakakibara Y :
Phosphodiesterase type 4 inhibitor reduces the retention of polymorphonuclear
leukocytes in the lung.
American Journal Physiology 282 : L1376-L1381, Feb 1, 2002
- No. 4 榊原 謙 :
心臓ペースメーカーリード周囲の血栓.
日本医事新報 4059 : 109-110, 2月9日, 2002
- No. 5 南 優子, 石川 成美, 斎田 幸久, 梶谷 元改, 野口 雅之, 山本 達生,
佐藤 幸夫, 鬼塚 正孝, 榊原 謙 :
肺門部肺癌局在診断における高分解能CTの有用性の検討.
肺癌 42(1) : 1-6, 2月20日, 2002
- No. 6 稲毛 芳永, 角 昌晃, 藤原 正親, 山本 達生, 石川 成美, 鬼塚 正孝 :
手術までに12年の臨床経過を有した粘液非産生高分化乳頭型腺癌の1例.
肺癌 42(1) : 35-40, 2月20日, 2002
- No. 7 丸山 修, 山根 隆志, 西田 正浩, 筒井 達夫, 軸屋 智昭, 小野口富夫,
岩崎 知美, 増澤 徹 :
マイクロカプセル模擬血液の剪断応力による破壊特性.
ライフサポート 14(4) : 129-136, 4月, 2002
- No. 8 Maruyama O, Toyoda M, Nishida M, Maruyama O, Yamane T, Tsutsui T, Sankai Y :
Geometric optimization for non-thrombogenicity of a centrifugal blood pump
through flow visualization.
JSME International Journal 45 : 1013-1019, 4月, 2002
- No. 9 徳永 千穂, 軸屋 智昭, 三原 和平, 清田 純, 内藤 和寛, 寺田 康, 三井 利夫 :
上行大動脈解離, AAE, 僧帽弁閉鎖不全, 漏斗胸に対して一期的根治術を施行した
Marfan症候群の1例.
日本心臓血管外科学会雑誌 31(4) : 278-81, 4月, 2002
- No. 10 山根 隆志, 西田 正浩, 丸山 修, 筒井 達夫 :
遠心式人工心臓の開発における可視化の役割.
可視化情報学会誌 22 : 12-15, 4月, 2002

- No. 11 中田 弘子, 軸屋 智昭, 大坂 基男, 三井 利夫:
腹部大動脈瘤を越えて進展した Stanford B 型大動脈解離の 1 手術例
日本心臓血管外科学会雑誌 31(5): 350-2, 5 月, 2002
- No. 12 Horigome H, Hiramatsu Y, Shigeta O, Nagasawa T, Matsui A:
Overproduction of platelet microparticles in cyanotic congenital heart disease with polycythemia.
Journal of American College of Cardiology 39: 1072-1077, 6 月, 2002
- No. 13 Maruyama O, Yamane T, Nishida M, Aouidef A, Tsutsui T, Jikuya T, Masuzawa T:
Fractural characteristic evaluation of a microcapsule suspension using a rotational shear stressor.
ASAIO Journal 48: 365-373, 7 月, 2002
- No. 14 Takeda T, Yoneyama A, Wu J, Zeniya T, Tsuchiya Y, Thet-Thet-Lwin, D.V. Rao, Matsushita S, Yuasa T, Yashiro T, Aiyoshi Y, Hyodo K, Hirano K, Momose A, Akatsuka T, Itai Y:
Biomedical X-ray imaging with fluorescent and interferometric phase contrast method. Proc.
The 6th World Multiconference on Systemics, Cybematics and Informatics. pp.17-22, 7 月, 2002
- No. 15 Hatakawa H, Funakoshi N, Onizuka M, Yanagi K, Ohshima N, Satoh Y, Yamamoto T, Ishikawa S:
Blood flow does not correlate with the size of metastasis in our new intravital observation model of Lewis lung cancer.
Microvascular Research 64: 32-37, 7 月, 2002
- No. 16 Kosaka R, Sankai Y, Jikuya T, Yamane T, Tsutsui T:
On-line parameter identification of systemic circulation using the delta operator
Artificial Organs 26: 723-726, 8 月, 2002
- No. 17 稲毛 芳永, 山部 克己, 山本 達生, 佐藤 幸夫, 石川 成美, 鬼塚 正孝, 吉田カツ江:
術後10年目に肺転移で再発した胃原発 gastrointestinal stromal tumor の 1 手術例.
胸部外科 55: 907-911, 9 月 1 日, 2002
- No. 18 Tanaka YO, Jikuya T, Iijima T, Sakakibara Y, Itai Y:
Intravenous leiomyomatosis diagnosed by plain radiographs.
Clinical Radiology 57(11): 1037-40, 11月, 2002
- No. 19 Ishikawa E, Matsumura A, Ishikawa S, Nakamura K, Nose T:
Combined minimally invasive approach using microsurgery and thoracoscopic surgery for resecting a dumbbell-type thoracic schwannoma.
Minimum Invasive Neurosurgery 2002; 45: 251-253, 12月, 2002
- No. 20 Tomoyasu M, Onizuka M, Inagaki M, Sato Y, Yamamoto T, Ishikawa S, Mitsui T:
Effect of phosphodiesterase III inhibitor (Olprinone) on thoracic duct lymph flow in anesthetized sheep with experimentally induced heart failure by endothelin-1.
Lymphology 35: 144-152, 12月, 2002

No. 21 松崎 寛二, 海野 英哉, 軸屋 智昭:

特発性血小板減少性紫斑病を伴う冠動脈バイパス術(無輸血)例の経験

茨城農村医学会雑誌 15:83-6, 12月, 2002

総 説

著 書

No. 1 筒井 達夫:

IABP(大動脈内バルーンポンピング).

心臓血管外科手術書(北村惣一郎編)

先端医療技術研究所(東京) pp379-383, 7月10日, 2002

学会発表

No. 1 中田 弘子, 円城寺 恩, 相川 志都, 清田 純, 軸屋 智昭, 平松 祐司, 重田 治, 厚美 直孝, 寺田 康, 榊原 謙:

異型大動脈縮窄症と胸腹部大動脈瘤を合併した大動脈炎症候群の一例.

第2回茨城血管疾患研究会(つくば), 1月19日, 2002

No. 2 上西祐一郎, 平松 祐司, 渡辺 泰徳, 小西 泰介, 重田 治, 厚美 直孝, 軸屋 智昭, 寺田 康, 榊原 謙, 三井 利夫:

人工心肺中のフサンとアプロチニンの凝固線溶・血小板機能・炎症における効果比較.

第32回日本心臓血管外科学会総会, 2月, 2002

No. 3 中村 勝利, 寺田 康, 山本 達生:

家族性顔面多汗症の3手術例.

第125回日本胸部外科学会関東甲信越地方会(東京), 2月15日, 2002

No. 4 稲毛 芳永, 角 昌晃, 藤原 正親, 石川 成美, 鬼塚 正孝:

索状影を呈した左肺微小浸潤扁平上皮癌の1例.

第13回茨城早期肺癌研究会(つくば), 2月16日, 2002

No. 5 井口けさ人, 内藤 貴臣, 門間 英二, 川崎 卓也, 北原美由紀, 佐藤 幸夫, 山本 達生, 石川 成美, 鬼塚 正孝, 南 優子, 飯島 達生, 野口 雅之:

同一肺葉内に乳頭状腺腫を合併した肺腺癌の症例.

第13回茨城早期肺癌研究会(つくば), 2月16日, 2002

No. 6 門間 英二, 石川 成美, 井口けさ人, 内藤 貴臣, 佐藤 幸夫, 山本 達生, 鬼塚 正孝, 榊原 謙:

当院における高周波スネアを用いた気管, 気管支内腫瘍の治療.

第2回茨城県気管支鏡懇談会(つくば), 2月16日, 2002

No. 7 金敷 真紀, 齋藤 洋子, 松井 義博, 相馬 雅行, 高橋恵美子, 檜山 浩一, 赤城 弘文, 平栗 佳則, 芥川 悦子, 柿本まゆみ, 辰見 政徳, 齋藤 誠, 船越 尚哉, 鈴木 恵子, 野口 雅之, 小川 功, 森下由紀雄, 淀縄 聡, 山本 達生, 赤荻 栄一:

喀痰細胞診における癌発見率の検討.

第13回茨城早期肺癌研究会(つくば), 2月16日, 2002

- No. 8 相川 志都, 厚美 直孝, 円城寺 恩, 中田 弘子, 清田 純, 平松 祐司, 重田 治, 軸屋 智昭, 寺田 康, 榊原 謙:
左肺動脈近位部欠損を伴う先天性僧帽弁閉鎖不全症の一手術例.
第121回日本胸部外科学会関東甲信越地方会(東京), 2月23日, 2002
- No. 9 吉村 幸浩, 阿部 正一, 野間 美緒:
冠狀動脈瘻(左回旋枝-左房瘻)の1手術例.
第121回日本胸部外科学会関東甲信越地方会(東京), 2月23日, 2002
- No. 10 佐々木 薫, 中村 亮太, 臼井 亮, 門間 英二, 内藤 貴臣, 井口けさ人, 今村 史人, 南 優子, 佐藤 幸夫, 山本 達生, 石川 成美, 鬼塚 正孝, 榊原 謙, 野口 雅之:
頸部から肺尖部に至る神経原性腫瘍の1切除例.
第199回茨城外科学会(つくば), 3月2日, 2002
- No. 11 相川 志都, 円城寺 恩, 中田 弘子, 清田 純, 平松 祐司, 厚美 直孝, 軸屋 智昭, 寺田 康, 榊原 謙:
今野IV型バルサルバ洞動脈瘤破裂の2手術例.
第55回茨城心臓血管研究会(つくば), 3月2日, 2002
- No. 12 中田 弘子, 円城寺 恩, 相川 志都, 清田 純, 軸屋 智昭, 平松 祐司, 厚美 直孝, 寺田 康, 榊原 謙:
治療に難渋している血管ペーチェットの1例.
第199回茨城外科学会(つくば), 3月2日, 2002
- No. 13 Hiramatsu Y, Sato Y, Homma S, Yoshimura Y, Sato S, Kikuchi Y, Sakakibara Y:
Nafamostat mesilate attenuates platelet and neutrophil activation and microaggregates formation during in vitro cardiopulmonary bypass.
The 10th Annual Meeting of The Asian Society for Cardiovascular Surgery,
4月, 2002
- No. 14 Ikeda A, Seita J, Hiramatsu Y, Shigeta O, Atsumi N, Jikuya T, Terada Y, Sakakibara Y:
Mid-Term follow up after 83 ATS mechanical valve implantation.
The 10th Annual Meeting of The Asian Society for Cardiovascular Surgery,
4月, 2002
- No. 15 Hatakawa H, Onizuka M, Yanagi K, Ohshima N, Satoh Y, Yamamoto T, Ishikawa S, Sakakibara Y:
Blood flow and tumor growth of metastasized Lewis lung cancer after removing of the primary tumor.
Experimental Biology 2002 (New Orleans), 4月21日, 2002
FASEB Journal 16(4): A87, March 20, 2002
- No. 16 Tomoyasu M, Onizuka M, Inagaki M, Sato Y, Yamamoto T, Ishikawa S, Sakakibara Y:
Effect of walking exercise on thoracic duct lymph flow.
Experimental Biology 2002 (New Orleans), 4月23日, 2002
FASEB Journal 16(5): A824, March 22, 2002

- No. 17 Murata S, Kawamoto T, Koike N, Ueda T, Kurata M, Watanabe M, Shinozaki E, Ishiakwa S, Endo T, Todoroki T :
A case of successful repair of bronchobiliary fistula in 8-year clinical course.
第5回国際肝胆膵学会(東京), 4月28日, 2002
- No. 18 内藤 貴臣, 井口けさ人, 門間 英二, 佐藤 幸夫, 山本 達生, 石川 成美, 鬼塚 正孝, 榊原 謙, 南 優子, 野口 雅之 :
血清NSE, proGRP高値を示した定型的気管支カルチノイドの1切除例.
第25回日本気管支学会総会(札幌), 5月9日, 2002
- No. 19 門間 英二, 石川 成美, 内藤 貴臣, 井口けさ人, 佐藤 幸夫, 山本 達生, 鬼塚 正孝, 榊原 謙 :
気管, 気管支内病変に対する高周波スネア治療の検討.
第25回日本気管支学会総会(札幌), 5月10日, 2002
- No. 20 石川 成美, 南 優子, 山本 達生, 鬼塚 正孝 :
アミノレブリン酸を用いた気管支鏡下光化学診断の試み.
第1回蛍光気管支内視鏡勉強会(札幌), 5月10日, 2002
- No. 21 中村 勝利, 山本 達生, 佐藤 幸夫, 石川 成美, 寺田 康 :
手掌多汗症に対する日帰り手術での胸腔鏡下胸部交感神経遮断術の検討.
第30回日本血管外科学会総会(沖縄), 5月16日, 2002
- No. 22 Sakai M, Sato Y, Yamamoto T, Ishikawa S, Onizuka M, Sakakibara Y :
The atmosphere with few particulate matter in Antarctica decreases human serum granulocyte colony-stimulating factor and interleukin-6.
98th International conference, American Thoracic Society,
5月21日, Atlanta, Georgia, USA.
Am J Respir Crit Care Med 2002 ; 165 : A491.
- No. 23 Kaminishi Y, Hiramatsu Y, Watanabe Y, Yoshimura Y, Sakakibara Y :
Effects of nafamostat mesilate and minimal-dose aprotinin on thrombin formation, fibrinolysis, platelet activation and inflammatory response in clinical cardiopulmonary bypass.
98th International conference, American Thoracic Society,
5月22日, Atlanta, Georgia, USA.
- No. 24 Sato Y, Hiramatsu Y, Honma S, Sato S, Yamamoto T, Ishikawa S, Onizuka M :
The effect of selective phosphodiesterase type 4 inhibitor on leucocyte activation during extracorporeal circulation.
98th International conference, American Thoracic Society,
5月22日, Atlanta, Georgia, USA.
- No. 25 内藤 貴臣, 酒井 光昭, 佐藤 幸夫, 山本 達生, 石川 成美, 鬼塚 正孝, 榊原 謙, 金子 道夫, 南 優子, 野口 雅之 :
胸壁原発の未分化神経外胚葉性腫瘍(PNET, Askin腫瘍)の1例.
第19回日本呼吸器外科学会総会(長崎), 5月, 2002

- No. 26 門間 英二, 石川 成美, 井口けさ人, 内藤 貴臣, 佐藤 幸夫, 山本 達生,
鬼塚 正孝, 榊原 謙:
当院における自然気胸に対する胸腔鏡手術の検討.
第19回日本呼吸器外科学会(長崎), 5月24日, 2002
- No. 27 中田 弘子, 円城寺 恩, 相川 志都, 清田 純, 軸屋 智昭, 平松 祐司, 重田 治,
厚美 直孝, 寺田 康, 榊原 謙:
ペースメーカー植込み術後感染症の検討.
日本心臓ペースング・電気生理学会第17回学術大会(富山), 5月27日, 2002
- No. 28 Koguchi H, Sankai Y, Hanzawa K, Jikuya T, Tsutsui T:
Development of floating thrombus/embolus detection method in extracorporeal
circulation using NIR Laser.
48th Annual Conference of ASAIO(New York), 6月14日, 2002
ASAIO Journal 48(2):195, 2002
- No. 29 Iguchi K, Ishikawa S, Yamamoto T, Onizuka M, Sakakibara Y:
Surgical treatment of early squamous cell carcinoma of the lung. A Survey of
surgical outcomes.
12th World Congress for Bronchology(Boston, USA), 6月17日, 2002
- No. 30 Momma E, Ishikawa S, Yamamoto T, Onizuka M, Sakakibara Y:
Bronchoscopic electrocautery using a snare wire and biopsy forceps.
12th World Congress for Bronchology(Boston, USA), 6月17日, 2002
- No. 31 Minami Y, Ishikawa S, Saida Y, Noguchi M, Onizuka M, Sakakibara Y:
Clinical efficacies of HRCT for detection of early hilar lung carcinoma.
12th World Congress for Bronchology(Boston, USA), 6月17日, 2002
- No. 32 松崎 寛二, 海野 英哉, 軸屋 智昭:
特発性血小板減少性紫斑病(ITP)を伴う CABG(無輸血)例の経験.
第122回日本胸部外科学会関東甲信越地方会(長野), 6月23日, 2002
- No. 33 五味 聖吾, 服部 隆司, 平松 祐司:
Innominate vein を用いて再建した左鎖骨下動脈肺動脈起始症の1例.
第122回日本胸部外科学会関東甲信越地方会(長野), 6月23日, 2002
- No. 34 佐藤 真剛, 松原 宗明, 徳永 千穂, 今水流智浩, 森本 隆史, 松崎 美緒,
平松 祐司, 軸屋 智昭, 榊原 謙:
右房原発 angiosarcoma の1例.
第122回日本胸部外科学会関東甲信越地方会(長野), 6月23日, 2002
- No. 35 鈴木 久史, 佐藤 幸夫, 新藤 雅司, 吉岡 大, 板井 悠二, 鬼塚 正孝, 榊原 謙:
MRI(FAIR 法)による肺内血流分布の評価 仰臥位・腹臥位での変化
第2回 iPUC (Integrated Pulmonary Circulation Research)(東京),
6月29日, 2002

- No. 36 Sato Y, Sato S, Onizuka M, Sakakibara Y :
Phosphodiesterase type 4 inhibitor reduces the retention of polymorphonuclear leukocytes in the lung.
第2回 iPUC (Integrated Pulmonary Circulation Research) (東京),
6月29日, 2002
- No. 37 松本 剛, 松原 宗明, 軸屋 智昭, 佐藤 真剛, 徳永 千穂, 今水流智浩,
松崎 美緒, 平松 祐司, 榊原 謙 :
腹部大動脈外膜原発の Malignant fibrous histiocytoma の1例.
第200回茨城外科学会(水戸), 6月29日, 2002
- No. 38 清田 純, 阿部 正一, 吉村 幸浩, 野間 美緒, 相川 志都, 平松 祐司,
厚美 直孝, 榊原 謙 :
PTFE グラフトを用いた肺動脈短絡手術術後 plasma leakage の危険因子の検討.
第38回日本小児循環器学会総会, 7月, 2002
- No. 39 堀米 仁志, 平松 祐司, 村上 卓, 塩野 淳子, 高橋 実穂, 松井 陽 :
チアノーゼ性先天性心疾患における血漿 P-セレクチンとトロンボモジュリン・プロテイン C 系.
第38回日本小児循環器学会総会, 7月, 2002
- No. 40 松原 宗明, 平松 祐司, 厚美 直孝, 榊原 謙 :
ASD 標準術式としての縮小胸骨正中切開法の限界.
第38回日本小児循環器学会総会, 7月, 2002
- No. 41 白井 亮, 中村 亮太, 井口けさ人, 薄井 真悟, 門間 英二, 山本 達生,
石川 成美, 鬼塚 正孝, 南 優子, 飯島 達生, 野口 雅之 :
腎癌肺転移の切除肺中に偶然発見された微小肺腺癌の1例.
第14回茨城早期肺癌研究会(水戸), 7月6日, 2002
- No. 42 本間 晋介, 菊池 教大, 児玉 孝秀, 石井 幸雄, 野村 明宏, 佐藤 浩昭,
坂本 透, 内田 義之, 本間 敏明, 大塚 盛男, 関沢 清久, 石川 成美,
山本 達生, 鬼塚 正孝 :
心房内血栓を同時摘除した肺癌の1例.
第150回日本呼吸器学会関東地方会(東京), 7月6日, 2002
- No. 43 松原 宗明, 平松 祐司, 佐藤 真剛, 相川 志都, 徳永 千穂, 清田 純,
今水流智浩, 松崎 美緒, 厚美 直孝, 軸屋 智昭, 榊原 謙 :
乳幼児開心術後縦隔炎に対する閉鎖式持続洗浄療法.
第11回北関東外科感染症研究会(東京), 7月6日, 2002
- No. 44 稲毛 芳永, 角 昌晃, 斉藤 敏彦, 石川 成美, 鬼塚 正孝 :
6年間の緩徐な発育過程を追跡できた末梢型小型肺腺癌の1切除例.
第14回茨城早期肺癌研究会(水戸), 7月6日, 2002
- No. 45 吉村 幸浩, 阿部 正一, 野間 美緒, 厚美 直孝, 平松 祐司 :
Evaluation of oral iron administration after pediatric cardiac surgery.
第38回日本小児循環器学会学術集会総会(東京), 7月7日, 2002

No. 46 軸屋 智昭：

動脈閉塞を合併した血管原発悪性腫瘍の2例。

血管外科サマーセミナー2002(軽井沢)，8月31日，2002

No. 47 軸屋 智昭，今水流智浩，徳永 千穂，松原 宗明，佐藤 真剛，村田総一郎，
高田 泰次，松下昌之助，松崎 美緒，平松 祐司，榊原 謙：

総肝動脈瘤の1例。

第7回東葛血管外科症例検討会(松戸市) 7月9日，2002

No. 48 中村 勝利，寺田 康，山本 達生：

月経中の胸部交感神経遮断術の一例。

第123回日本胸部外科学会関東甲信越地方会(東京)，9月14日，2002

No. 49 徳永 千穂，平松 祐司，野間 美緒，今水流智浩，松原 宗明，佐藤 真剛，
軸屋 智昭，榊原 謙：

第VII因子欠乏 PAIVS の一開心姑息術例。

第123回日本胸部外科学会関東甲信越地方会(東京)，9月14日，2002

No. 50 森本 隆史，新富 義侯，安倍 大輔，渡辺 重行，山口 巖，榊原 謙：

胸痛・意識消失発作で発症した心臓血管肉腫の1例。

第185回日本循環器学会関東甲信越地方会(東京)，9月21日，2002

No. 51 佐藤 真剛，平松 祐司，松原 宗明，徳永 千穂，今水流智浩，野間 美緒，
松下昌之助，軸屋 智昭，榊原 謙：

Congenital AsR に対する自己弁温存 leaflet extension technique.

第56回茨城心臓血管研究会(つくば)，9月28日，2002

No. 52 丸山 修，山根 隆志，西田 正浩，小野口富夫，筒井 達夫，軸屋 智昭，増澤 徹：
マイクロカプセル模擬血液を使った人工臓器の溶血成績評価。

第40回日本人工臓器学会大会，札幌，10月4日，2002

人工臓器 31(2)：S-182，2002

No. 53 門間 英二，臼井 亮，中村 亮太，井口けさ人，薄井 真悟，山本 達生，
石川 成美，鬼塚 正孝，榊原 謙：

肺癌術後荒蕪肺出血に対する気管支動脈塞栓術施行後2年目に発症した気管支断端瘻
の1例。

第102回日本気管支学会関東支部会(東京)，10月5日，2002

No. 54 古垣 達也，大塚 雅昭，高橋 宏，斉藤 重行，中山 凱夫，軸屋 智昭，榊原 謙：
in vitro で算出するヘパリン/プロタミン量の検討。

第28回日本体外循環技師研究会大会(東京)，10月5日，2002

No. 55 軸屋 智昭，筒井 達夫，古口 晴敏，山海 嘉之，相川 志都，松原 宗明，
清田 純，今水流智浩，平松 祐司，榊原 謙：

補助人工心臓内血栓の近赤外レーザーを用いた無侵襲検出法：臨床例の報告

第55回日本胸部外科学会総会(福岡)，10月9日，2002

日本胸部外科学会雑誌 50(S)：348，2002

No. 56 池田 晃彦，清田 純，松崎 美緒，平松 祐司，軸屋 智昭，榊原 謙：

ATS置換弁術後の中期成績の検討。

第55回日本胸部外科学会総会(福岡)，10月9日，2002

- No. 57 中村 勝利, 寺田 康, 山本 達生, 佐藤 幸夫, 石川 成美:
日帰り手術で行う胸腔鏡下胸部交感神経遮断術の問題点の検討。
第55回日本胸部外科学会総会(福岡), 10月10日, 2002
- No. 58 井口けさ人, 石川 成美, 河合 弘二, 中村 亮太, 白井 亮, 薄井 真悟,
門間 英二, 山本 達生, 鬼塚 正孝, 榊原 謙, 赤座 英之:
精巣腫瘍肺病変に対する手術の意義。
第55回日本胸部外科学会総会(福岡), 10月11日, 2002
- No. 59 軸屋 智昭, 今水流智浩, 野間 美緒, 平松 祐司, 榊原 謙, 小林 友哉,
佐藤 真剛, 松原 宗明, 徳永 千穂:
肝動脈瘤の一治験例。
第3回茨城血管疾患研究会(つくば), 10月19日, 2002
- No. 60 中村 勝利, 寺田 康, 山本 達生:
多汗症に対する片側胸腔鏡下胸部交感神経遮断術の検討。
第8回日本胸腔鏡下交感神経遮断研究会(松山), 10月19日, 2002
- No. 61 安部 大輔, 新富 義侯, 森本 隆史, 本間 覚, 渡辺 重行, 山口 巖, 下山田博明,
野口 雅之, 後藤 如代, 落合 直之, 坪井 康次, 能勢 忠男, 軸屋 智昭,
榊原 謙, 重田 治:
脳出血と腹部大動脈瘤で発症した血管肉腫の1例。
第3回茨城血管疾患研究会(つくば), 10月19日, 2002
- No. 62 高野 恵輔, 中村 亮太, 白井 亮, 門間 英二, 内藤 貴臣, 井口けさ人,
山本 達生, 石川 成美, 鬼塚 正孝, 榊原 謙, 南 優子, 飯島 達生, 野口 雅之:
類似の画像所見を呈する胸腺嚢腫と神経鞘腫が合併した一例。
第201回茨城外科学会(水戸), 10月27日, 2002
- No. 63 小林 友哉, 佐藤 真剛, 松原 宗明, 徳永 千穂, 今水流智浩, 村田聡一郎,
軸屋 智昭, 高田 泰次, 野間 美緒, 平松 祐司, 榊原 謙:
総肝動脈瘤の一手術例。
第201回茨城外科学会(水戸), 10月27日, 2002
- No. 64 薄井 真悟, 白井 亮, 山本 達生, 石川 成美, 鬼塚 正孝, 南 優子, 飯嶋 達生,
野口 雅之:
縦隔原発胚細胞性腫瘍の一例。
第41回日本臨床細胞学会秋季大会(下関), 11月2日, 2002
- No. 65 南 優子, 山本 達生, 森下由紀雄, 深澤 政勝, 飯嶋 達生, 野口 雅之:
肺腺癌と上皮型悪性胸膜中皮腫の鑑別が困難であった2例。
第41回日本臨床細胞学会秋季大会(下関), 11月2日, 2002
- No. 66 児玉 孝秀, 菊池 教大, 本間 晋介, 石井 幸雄, 野村 明宏, 佐藤 浩昭,
坂本 透, 内田 義之, 本間 敏明, 大塚 盛男, 関沢 清久, 山本 達生,
石川 成美, 鬼塚 正孝, 飯嶋 達生, 野口 雅之:
術後12年を経過して再発した1期肺腺癌の1例。
第142回日本結核病学会関東支部会, 第152回日本呼吸器学会関東支部会
(水戸), 11月9日, 2002

- No. 67 中村 亮太, 臼井 亮, 薄井 真悟, 井口けさ人, 門間 英二, 山本 達生,
石川 成美, 鬼塚 正孝, 榊原 謙:
胸腺病変を合併した肺癌症例の検討.
第43回日本肺癌学会総会(福岡), 11月21日, 2002
- No. 68 南 優子, 石川 成美, 山本 達生, 鬼塚 正孝, 野口 雅之, 榊原 謙:
アミノレブリン酸を用いた肺門部肺癌の蛍光診断.
第43回日本肺癌学会総会(福岡), 11月21日, 2002
- No. 69 薄井 真悟, 臼井 亮, 中村 亮太, 井口けさ人, 門間 英二, 山本 達生,
石川 成美, 鬼塚 正孝, 榊原 謙, 南 優子, 飯嶋 達生, 野口 雅之:
胸壁 p3肺癌手術症例の検討.
第43回日本肺癌学会総会(福岡), 11月21日, 2002
- No. 70 南 優子, 飯嶋 達生, 石川 成美, 鬼塚 正孝, 榊原 謙, 野口 雅之:
Lymphoid stroma を伴う末梢小型肺腺癌の 2 例.
第43回日本肺癌学会総会(福岡), 11月22日, 2002
- No. 71 佐藤 真剛, 平松 祐司, 松原 宗明, 徳永 千穂, 今水流智浩, 野間 美緒,
松下昌之助, 軸屋 智昭, 榊原 謙:
先天性 AR に対する leaflet extension 法.
第124回日本胸部外科学会関東甲信越地方会(東京), 11月23日, 2002
- No. 72 堀米 仁志, 榊原 謙, 重田 治, 久賀 圭祐, 山口 巖, 磯部 剛志, 山下 正夫,
高橋 実穂, 松井 陽:
麻酔導入で心室細動を来たし, 後方視的に Brugada 様心電図を呈していた大動脈縮窄
症.
第 7 回日本小児心電学研究会(福岡), 11月30日, 2002
- No. 73 平井みさ子, 雨海 照祥, 堀 哲夫, 小室 広昭, 高橋 美穂, 的場 公男,
平松 祐司, 金子 道夫:
心タンポナーデをくり返し, 治療に難渋する巨大縦隔血管腫の 1 歳男児例.
第91回東京小児外科研究会, 12月, 2002
- No. 74 Ueno T, Tanaka O Y, Nagata M, Anno I, Tsunoda H, Ishikawa S, Kawai K, Itai Y:
Analogy of the germ cell tumors: from head to toe.
Radiological Society of North America(Chicago), 12月, 2002
- No. 75 大塚 茂男, 渡辺 重行, 安倍 大輔, 新富 義候, 森本 隆史, 榊原 謙, 山口 巖:
正常な僧帽弁に生じ, 脳梗塞を繰り返した感染性心内膜炎の 1 症例.
第186回日本循環器学会関東甲信越地方会(東京), 12月 7 日, 2002

班研究報告

その他

- No. 1 榊原 謙:
下肢閉塞性動脈硬化症の診断と治療.

猿島医学会(三和), 3月1日, 2002

- No. 2 榊原 謙：
下肢静脈瘤の予防と治療。
茨城県県南生涯学習センター健康セミナー(土浦)，3月12日，2002
- No. 3 筒井 達夫：
人工心臓過去・現在・未来。
茨城サロン講演会(水戸)，5月14日，2002
- No. 4 鬼塚 正孝：
肺転移巣の微小循環。
第15回青森呼吸器研究会(青森)，8月24日，2002
- No. 5 鬼塚 正孝：
胸管のリンパ駆出力の存在とその応用の可能性について(ランチョンセミナー)。
第55回日本胸部外科学会総会(福岡)，10月10日，2002
第55回日本胸部外科学会総会セミナープログラム，21-22，2002
- No. 6 榊原 謙：
虚血性心疾患・動脈硬化症に対する外科治療。
取手循環器セミナー(取手)，11月13日，2002
- No. 7 山本 達生，鬼塚 正孝：
外国文献紹介：
気管支学 24(7)：571，11月 2002

2002年（消化器外科グループ）

原 著

- No. 1 Ohkohchi N. :
Mechanisms of Preservation and Ischemic/Reperfusion Injury in Liver Transplantation
Transpl Proc 34 : 2670-2673, 2002
- No. 2 Takada Y., Otsuka M., Todoroki T., Fukao K. :
Pattern and risk of postoperative recurrence in solitary hepatocellular carcinoma
Proceeding of the 37th Congress of the European Society for Surgical Research : 139-141, 2002
- No. 3 Koyama S., Koike N., Adachi S. :
Expression of TNF-related apoptosis-inducing (TRAIL) and its receptors in gastric carcinoma and tumor-infiltrating lymphocytes: a possible mechanism of immune evasion of the tumor
J Cancer Res Clin Oncol 128 : 73-79, 2002
- No. 4 Yanagi K., Tun T., Taniguchi H., Takada Y., Fukao K., Oshima N. :
Development of a packed-bed type bioartificial liver : metabolic performance of a scaled-up reactor utilizing cultured porcine hepatocytes.
Elsevier Science : 67-73, 2002
- No. 5 Inagawa S., Itabashi M., Adachi S., Kawamoto T., Hori M., Shinozaki J., Todoroki T., Fukao K. :
Expression and prognostic roles of β -Catenin in hepatocellular Carcinoma : Its correlation with tumor progression and postoperative Survival
Clin Cancer Res 8(2) : 450-456, 2002
- No. 6 Yanagisawa K., Seino K., Ishikawa Y., Nozue M., Todoroki T., Fukao K. :
Impaired proliferative response of V α 24 NKT cells from cancer patients against α -G alactosylceramide
The Journal of Immunology : 6494-6499, 2002
- No. 7 Ishiguro S., Takada Y., Seino K., Taniguchi H., Kawamoto T., Yuzawa K., Otsuka M., Todoroki T., Fukao K. :
Effect of a novel potent cytokine suppressor on toxic liver syndrome in the pig treated by auxiliary partial orthotopic liver transplantation for fulminant hepatic failure.
Proceeding of the 37th Congress of the European Society for Surgical Research : 235-237, 2002
- No. 8 Miyashita H., Suzuki A., Fukao K., Nakauchi H., Taniguchi H. :
Evidence for the hepatocyte differentiation from embryonic stem cells in vitro
Cell Transplant : 11(5) : 429-434, 2002

- No. 9 Suzuki A., Oyama K., Fukao K., Nakauchi H., Taniguchi H. :
Establishment of clonal colony-forming assay system for pancreatic stem/progenitor cells.
Cell Transplant : 11(5) : 451-453, 2002
- No. 10 Suzuki A., Zheng YW., Takada Y., Fukao K., Nakauchi H., Taniguchi H. :
Prospective analysis of hepatic progenitor cells using flow cytometric cell sorting
Cell Transplant : 2002
- No. 11 Nozue M., Isaka N., Maruyama T., Kawamoto T., Seino K., Taniguchi H., Fukao K. :
Treatment of advanced colorectal adenocarcinoma with weekly high-dose 1-leucovorin and 5-fluorouracil.
Oncol Reports 9 : 93-96, 2002
- No. 12 Honma M., Tomita T., Yuzawa K., Takada Y., Kohda Y. :
False positive blood tacrolimus concentration in microparticle enzyme immunoassay.
Biol Pharm Bull 25 : 1119-1120, 2002
- No. 13 Honma M., Itagaki F., Yuzawa K., Fukao K., Kohda Y. :
Effects of lansoprazole and rabeprazole on tacrolimus blood concentration: case of a renal transplant recipient with CYP2C19 gene mutation
Transplantation 73(2) : 303-304, 2002
- No. 14 Kanazawa N., Oda T., Gunji N., Nozue M., Kawamoto T., Todoroki T., Fukao K. :
E-Cadherin expression in the primary tumors and metastatic lymph nodes of poorly differentiated types of rectal cancer
Surg Today 32 : 123-128, 2002
- No. 15 Zhang Z., Ohkohchi N., Sakurada M., Mizuno Y., Miyagi S., Satomi S., Yamaguchi M., Okazaki H. :
Analysis of urinary donor-derived DNA in renal transplant recipients with acute rejection
Clinical Transplantation 16 : 45-50, 2002
- No. 16 Zhang Z., Ohkohchi N., Okazaki h., Guo Yinglu :
Use of PCR and PCR-SSP for detection of urinary donor-origin DNA in renal transplant recipients with acute rejection
Chinese Medical Journal 116(2) : 191-194, 2002
- No. 17 Oikawa K., Ohkohchi N., Sato M., Masamune A., Satomi S. :
Kuffer cells play an important role in the cytokine production and activation of nuclear factors of liver grafts from non-heart-beating donors
Transpl Int 15 : 397-405, 2002
- No. 18 Orii T., Ohkohchi N., Satomi S., Hoshino Y., Kimura H. :
Decreasing the Epstein-Barr virus load by adjusting the FK506 blood level
Transpl Int 15 : 529-534, 2002

- No. 19 Asano T., Shoda J., Ueda T., Kawamoto T., Todoroki T., Shimonishi M. Tanabe T., Sugimoto Y., Ichikawa A., Mutoh M., Tanaka N., Miwa M. :
Expressions of Cyclooxygenase-2 and Prostaglandin E-Receptors in Carcinoma of the Gallbladder : Crucial Role of Arachidonate Metabolism in Tumor Growth and Progression.
Clinical Cancer Research 8 : 1157-1167, 2002
- No. 20 Itagaki F., Homma M., Yuzawa K., Fukao K., Kohda Y. :
Drug interaction of tacrolimus and proton pump inhibitors in renal transplant recipients with CYP2C19 gene mutation.
Transplant Proc. 34(7) : 2777-2778, 2002
- No. 21 轟 健, 川本 徹, 安部井誠人 :
上中部胆管癌に対する胆道切除・再建
手術 56(9) : 1291-1296, 2002
- No. 22 轟 健, 湯沢 賢治, 川本 徹, 高田 泰次 :
血行再建を伴う胆嚢癌切除術
手術 57(2) : 151-156, 2002
- No. 23 中川 裕司, 轟 健, 小池 直人, 川本 徹 :
腫瘍切除と術後補助化学療法により長期間再発を認めない原発巣不明腺癌の一例
癌と化学療法 30(3) : 423-426, 2002
- No. 24 丸山 常彦, 青柳 啓之, 野末 睦, 福江 眞隆, 足立 信也 :
直腸ステントを施行した胃癌腹膜播腫の1例
外科治療 87(6) : 675-678, 2002
- No. 25 榎本 剛史, 足立 信也, 倉田 昌直, 深尾 立 :
腹部大動脈瘤ステントグラフト挿入術後の凝固線溶系亢進と胆嚢摘出術—2例の経験
日臨外会誌 63 : 1374-1378, 2002
- No. 26 板垣 文雄, 本間 真人, 富田 隆, 湯沢 賢治, 深尾 立, 幸田 幸直 :
CYP2C19遺伝子変異を有する腎移植患者におけるプロトンポンプ阻害剤と免疫抑制剤の薬物相互作用
TDM 研究会誌 19(4) : 338-342, 2002
- No. 27 山縣 香織, 湯沢 賢治, 清野研一郎, 谷口 英樹, 高田 泰次, 大塚 雅昭, 深尾 立 :
献腎移植におけるレシピエントコーディネーターの必要性
術後抑うつ症状を呈した症例の分析から
今日の移植 15(2) : 192-196, 2002
- No. 28 富田 隆, 本間 真人, 板垣 文雄, 山本由里子, 垣内 祥宏, 湯沢 賢治, 深尾 立, 幸田 幸直 :
MEIA 法を用いたタクロリムスモニタリングにおける偽陽性タクロリムス血中濃度
TDM 研究会誌 19(2) : 123-124, 2002
- No. 29 佐藤 雅栄, 大河内信弘, 小山田 尚, 関口 悟, 川岸 直樹, 塚本 茂樹, 里見 進 :
肝切除症例に対する新鮮凍結血漿投与量の検討
日臨外会誌 63(11) : 2621-2625, 2002

- No. 30 川岸 直樹, 白田 昌広, 榎本 好恭, 塚本 茂樹, 関口 悟, 小山田 尚,
土井 秀之, 藤盛 啓成, 大河内信弘, 里見 進:
生体肝移植における術後感染症の診断と治療
Medical Postgraduates 40(6):532-537, 2002

著 書

- No. 1 轟 健:
中下部胆管癌, 乳頭部癌に対する手術補助療法
長谷川恒夫編. 消化器外科 12 25(13)
消化器画像をめぐる話題. 東京 へるす出版:2007-2012. 2002
- No. 2 深尾 立, 湯沢 賢治:
脾移植
外科 64(12):1519, 2002
- No. 3 足立 信也:
術前に必要な画像診断のポイント
画像診断 22(8):823-834, 2002

学会発表

- No. 1 村田聡一郎, 轟 健, 谷口 英樹, 川本 徹, 小池 直人, 野末 睦, 清野研一郎,
高田 泰次, 湯沢 賢治, 足立 信也, 深尾 立, 菅原 信二, 大原 潔:
放射線化学療法が奏功した肛門癌 (stage III B) の一例
第15回関越UFT研究会(大宮) 1月, 2002
- No. 2 近藤 匡, 川本 徹, 文 由美, 山本 祐二, 轟 健:
化学療法で長期生存中の肝門部胆管癌術後腹膜転移の1例
第15回関越UFT研究会(大宮) 1月, 2002
第15回関越UFT研究会講演集 30-33
- No. 3 石黒 慎吾, 高田 泰次, 顧 梅, 近藤 匡, 轟 健, 深尾 立, 兵藤 一行:
放射光を用いた肝微小血管造影法の検討
第7回放射光医学研究会学術集会(東京) 2月, 2002
- No. 4 柳沢 和彦, 清野研一郎, 深尾 立:
担癌状態におけるNKT細胞の機能
第13回北関東外科研究会学術集会(宇都宮) 2月, 2002
- No. 5 山縣 香織, 湯沢 賢治, 清野研一郎, 谷口 英樹, 高田 泰次, 大塚 雅昭,
深尾 立:
米国メリーランド大学におけるレシピエントコーディネーター活動
第35回日本腎臓移植臨床研究会(箱根) 2月, 2002
- No. 6 湯沢 賢治, 小池 直人, 清野研一郎, 谷口 英樹, 高田 泰次, 山縣 香織,
大塚 雅昭, 深尾 立:
StephenBartlett, 腹腔鏡下腎摘出術ドナーのクリニカルパス
第35回日本腎臓移植臨床研究会(箱根) 2月, 2002

- No. 7 篠崎 英司, 川本 徹, 轟 健, 深尾 立:
アルブミン製剤が血清 (1→3) β -D-glucan 値に与える影響
第199回茨城外科学会(つくば) 3月, 2002
- No. 8 渡辺 基信, 湯沢 賢治, 大城 幸雄, 小池 直人, 川本 徹, 清野研一郎,
谷口 英樹, 野末 睦, 高田 泰次, 足立 信也, 大塚 雅昭, 轟 健, 深尾 立:
病変主座の局在診断に苦慮した膵粘液産生腫瘍の一例
第8回肝胆膵疾患セミナー(つくば) 3月, 2002
- No. 9 鈴木 淳史, 谷口 英樹, 尾山 和信, 中内 啓光, 深尾 立:
フローサイトメトリーを用いた膵幹/前駆細胞の分離・回収とその機能解析
第29回膵・膵島移植研究会(福島) 3月, 2002
- No. 10 鈴木 淳史, 谷口 英樹, 中内 啓光, 深尾 立:
肝幹細胞からの膵臓細胞分化
第29回膵・膵島移植研究会(福島) 3月, 2002
- No. 11 板垣 文雄, 富田 隆, 本間 真人, 垣内 祥宏, 湯沢 賢治, 深尾 立, 幸田 幸直:
CYP2C19遺伝子変異を有する腎移植患者におけるプロトンポンプ阻害剤と免疫抑制剤の
薬物相互作用
Source TDM 研究会(東京) 4月, 2002
- No. 12 小田 竜也, 青柳 靖之, 中橋ちぐさ, 木下 平, 小西 大, 中群 聡夫, 井上 和人,
高橋新一郎, 深尾 立, 落合 淳志:
膵がんにおける desmoplastic reaction の分子機構: TGF- β とコラーゲン発現の正相
関
第102回日本外科学会定期学術集会(京都) 4月, 2002
- No. 13 中橋ちぐさ, 小田 竜也, 木下 平, 青柳 靖之, 小西 大, 中部 聡夫, 井上 和人,
深尾 立, 落合 淳志:
膵癌における線維芽細胞の役割: SCID マウスモデルへの膵癌,
線維芽細胞共接種と HGF/c-met mRNA 発現の変化
第102回日本外科学会定期学術集会(京都) 4月, 2002
- No. 14 石黒 慎吾, 高田 泰次, 福永 潔, 顧 梅, 川本 徹, 谷口 英樹, 清野研一郎,
湯沢 賢治, 大塚 雅昭, 轟 健, 深尾 立:
病的自己肝の再生ポテンシャルを有したブタ劇症肝不全モデルの確立
第102回日本外科学会定期学術集会(京都) 4月, 2002
- No. 15 小田 竜也, 石黒 慎吾, 青柳 靖之, 中橋ちぐさ, 木下 平, 小西 大, 中群 聡夫,
井上 和人, 高橋新一郎, 深尾 立, 落合 淳志:
膵癌における MMP システムの mRNA 発現:
ヒト癌-ヒト間質及び癌-マウス間質相互作用評価系における解析
第102回日本外科学会定期学術集会(京都) 4月, 2002
- No. 16 谷口 英樹, 鈴木 淳史, 鄭 允又, 宮下 仁志, 川口 美穂, 高田 泰次,
中内 啓光:
肝・膵領域の臓器幹細胞の分離と制御
第1回日本再生医療学会総会(京都) 4月, 2002

- No. 17 石黒 慎吾, 高田 泰次 :
 プタ同所性補助的部分肝移植モデルの確率…病的自己肝の再生
 第1回日本再生医療学会総会(京都) 4月, 2002
- No. 18 鈴木 淳史, 深尾 立, 中内 啓光, 谷口 英樹 :
 フローサイトメトリーを用いた臍幹/
 成績前駆細胞の分離・回収とその機能解析
 第1回日本再生医療学会総会(京都) 4月, 2002
- No. 19 Zheng Y W., Suzuki A., Nakauchi H., Taniguchi H. :
 The trans-differentiation of bone marrow cells (BMC) into Hepatocytes in
 retrorsine treated rats
 第1回日本再生医療学会総会(京都) 4月, 2002
- No. 20 宮下 仁志, 鈴木 淳史, 中内 啓光, 谷口 英樹 :
 ES細胞分化誘導による内胚葉細胞の分離・回収法の開発
 第1回日本再生医療学会総会(京都) 4月, 2002
- No. 21 川口 美穂, 鈴木 淳史, 中内 啓光, 谷口 英樹 :
 FACSを用いたマウス成体肝臓からの肝幹/前駆細胞の分離・同定
 第1回日本再生医療学会総会(京都) 4月, 2002
- No. 22 鈴木 淳史, 宮下 仁志, 鄭 允又, 深尾 立, 中内 啓光, 谷口 英樹 :
 肝再生誘導治療へ向けた肝幹細胞の分化制御
 第1回日本再生医療学会総会(京都) 4月, 2002
- No. 23 Yuzawa K. :
 A Novel, Small Molecular, Immunosuppressive Agent Effective in a Primate
 Model
 Horizons in Transplantation(Florida) 4月, 2002
- No. 24 Takada Y., Otsuka M., Todoroki T., Fukao K. :
 Underlying cirrhosis is a risk factor for postoperative recurrence in solitary
 hepatocellular carcinoma.
 5th World Congress of the International
 Hepato-Pancreato-Biliary Association(東京) 4月, 2002
- No. 25 Todoroki T., Kawamoto T., Koike N., Takada Y., Otsuka M., Ohara K., Saida Y. :
 Radical resection of Stage IV A hilar bile duct carcinoma combined with recon-
 struction for major vessels and intra- and post-operative radiotherapy.
 5th World Congress of the International
 Hepato-Pancreato-Biliary Association(東京) 4月, 2002
- No. 26 Todoroki T., Ohara K., Kawamoto T., Koike N., Otsuka M., Takada Y., Yuzawa K. :
 Benefits of adjuvant radiotherapy after radical resection of locally advanced main
 hepatic duct (Klatskin) carcinoma.
 5th World Congress of the International
 Hepato-Pancreato-Biliary Association(東京) 4月, 2002

- No. 27 Todoroki T., Koike N., Kawamoto T., Kashiwagi H., Morishita Y., Takahashi H. :
Patterns and predictors of failure after curative resections for ampullary carcinomas.

5th World Congress of the International
Hepato-Pancreato-Biliary Association(東京) 4月, 2002

- No. 28 Fukuda K., Abei M., Ugai H., Seo E., Todoroki T., Hamada H., Yokoyama K.,
Tanaka N. :
Gene Therapy For Gallbladder Cancer Using Replication-Competent E1 Mutant Adenovirus Vectors.

5th World Congress of the International
Hepato-Pancreato-Biliary Association(東京) 4月, 2002

- No. 29 Shoda J., Asano T., Kawamoto T., Shimonishi M., Sugimoto Y., Ichikawa A.,
Tanaka T., Todoroki T. :
Expressions of Cyclooxygenase-2 and Prostaglandin E-Receptors in Carcinoma of the Gallbladder_Crucial Role of Arachidonate Metabolism in Tumor Growth and Progression.

5th World Congress of the International
Hepato-Pancreato-Biliary Association(東京) 4月, 2002

- No. 30 Watanabe M., Yuzawa K., Oshiro Y., Kawamoto T., Koike N., Adachi S., Seino K.,
Taniguchi H., Nozue M., Takada Y., Otsuka M., Todoroki T. :
A case of intraductal papillary adenocarcinoma of pancreas with multiple liver metastasis.

5th World Congress of the International
Hepato-Pancreato-Biliary Association(東京) 4月, 2002

- No. 31 Murata S., Kawamoto T., Koike N., Ueda T., Kurata M., Watanabe M., Shinozaki E.,
Ishikawa S., Endo T., Todoroki T. :
A case of successful repair of bronchobiliary fistula in 8-year clinical course.

5th World Congress of the International
Hepato-Pancreato-Biliary Association(東京) 4月, 2002

- No. 32 Emura F., Koike N., Kawamoto T., Ghosh M., Saijo K., Ohno T., Todoroki T. :
Establishment and characterization of novel xenograft models of human biliary tract carcinomas

5th World Congress of the International
Hepato-Pancreato-Biliary Association(東京) 4月, 2002

- No. 33 轟 健, 川本 徹, 近藤 匡, 中川 裕司, 菅原 信二, 斎田 幸久, 柴原 健,
中原 朗 :
Stage III食道癌 Chemoradiotherapy 後の食道再発に対するサルベージサージャリーの一例

第8回北関東機能温存手術研究会(東京) 5月, 2002

- No. 34 山口 雅之, 斎田 幸久, 板井 悠二, 川本 徹, 轟 健 :
術前診断が困難であった, 胆嚢腺扁平上皮癌の一例
第16回腹部放射線研究会(大阪) 5月, 2002
- No. 35 川本 徹, 植田 貴徳, 村田聡一郎, 牛島 良, 石澤 達也, 湯沢 賢治, 高田 泰次,
足立 信也, 轟 健 :
胆道, 膵悪性腫瘍術後感染症に対する抗菌療法の検討
特に術後感染症治療薬としての PAPM の意義について
第11回北関東外科感染症研究会(東京) 5月, 2002
- No. 36 Ishiguro S., Takada Y., Seino K., Taniguchi H., Kawamoto T., Yuzawa K.,
Otsuka M., Todoroki T., Fukao K. :
Effect of a novel potent cytokine suppressor on toxic liver SYNDROME in the pig
treated by auxiliary partial orthotopic liver transplantation for fulminant hepatic
failure
37th Congress of the European Society for Surgical Research
(Hungary) 5月, 2002
- No. 37 Takada Y., Otsuka M., Todoroki T., Fukao K. :
Pattern and risk of postoperative recurrence in solitary hepatocellular carcinoma.
37th Congress of the European Society for Surgical Research
(Hungary) 5月, 2002
- No. 38 Kawamoto T., Shinozaki E., Kurata M., Ueda T., Murata S., Koike N., Adachi S.,
Todoroki T. :
Clinical Relevance of Candida Species Infection after Surgery in patients with
Biliary Tract Carcinoma.
第13回日中消化器外科学術交流会議(中国) 6月, 2002
- No. 39 Todoroki T., Kawamoto T., Ohara K., Saida Y., Nozue M., Shoda J., Sugahara S. :
Benefits of adjuvant radiotherapy following redical resection of advanced gall-
bladder cancer
OSLD 2002 (18th UICC International Cancer Congress)
(Oslo, Norway) 6月, 2002
- No. 40 的場 公男, 堀 哲夫, 金子 道夫, 池袋 賢一, 雨海 照祥, 小室 広昭,
平井みさ子, 四本 克己, 井上成一郎, 渡邊 美穂, 松井 陽, 高田 泰次, 深尾 立 :
胆道閉鎖症術後に早期肝移植適応となった8例の検討
第39回日本小児外科学会総会(東京) 6月, 2002
- No. 41 高田 泰次, 倉田 昌直, 渡辺 基信, 植田 貴徳, 篠崎 英司, 村田聡一郎,
橋本 真治, 山田 圭一, 轟 健, 深尾 立 :
幹細胞癌に対するラジオ波焼灼治療
第57回日本消化器外科学会総会(京都) 7月, 2002

- No. 42 堀 哲夫, 金子 道夫, 高田 泰次, 遠藤 隆志, 雨海 照祥, 池袋 賢一,
小室 広昭, 平井みさ子, 四本 克己, 井上成一朗, 的場 公男, 渡辺 美穂,
大塚 雅昭, 湯沢 賢治, 谷口 英樹, 清野研一郎, 石黒 慎吾, 深尾 立,
中山 凱夫, 松井 陽, 河原崎秀雄:
Biliary atresia-Polysplenia Syndrome の1例
第20回日本肝移植研究会(東京) 7月, 2002
- No. 43 石黒 慎吾, 福永 潔, 姜 曉峰, 清野研一郎, 谷口 英樹, 川本 徹, 湯沢 賢治,
高田 泰次, 大塚 雅昭, 深尾 立:
劇症肝不全に対する同所性補助的部分肝移植術における TNF- α 抑制の効果
第57回日本消化器外科学会総会(京都) 7月, 2002
- No. 44 中川 裕司, 轟 健, 菅原 信二, 柴原 健, 川本 徹, 小池 直人, 近藤 匡,
中原 朗, 斎田 幸久:
TNM 分類 Stage III食道癌に対する治療体系を工夫した chemoradiotherapy の試み
第57回日本消化器外科学会総会(京都) 7月, 2002
- No. 45 植田 貴徳, 川本 徹, 小池 直人, 森下悠紀雄, 轟 健:
肝門部胆管癌の転移再発様式とその予測因子
第57回日本消化器外科学会総会(京都) 7月, 2002
- No. 46 丸山 常彦, 大塚 雅昭, 青柳 啓之, 轟 健, 深尾 立:
腹部重症感染症モデルにおける肥満細胞の重要性
第57回日本消化器外科学会総会(京都) 7月, 2002
- No. 47 近藤 匡, 轟 健, 宮内 卓, 高田 泰次, 平野 隆:
エンドセリン受容体拮抗剤による肝虚血再灌流障害防止機序の検討
第57回日本消化器外科学会総会(京都) 7月, 2002
- No. 48 篠崎 英司, 野末 睦, 久倉 勝治, 益子 一樹, 植田 貴徳, 橋本 真治, 轟 健,
深尾 立:
Fournier's gangrene を呈した直腸癌の1例
第57回日本消化器外科学会総会(京都) 7月, 2002
- No. 49 倉田 昌直, 高田 泰次, 渡辺 基信, 篠崎 英司, 植田 貴徳, 村田聡一郎,
橋本 真治, 山田 圭一, 轟 健, 深尾 立:
肝細胞癌ラジオ波焼灼治療後門脈内腫瘍栓を伴って再発した2症例
第57回日本消化器外科学会総会(京都) 7月, 2002
- No. 50 渡辺 基信, 高田 泰次, 柏木 浩暢, 清野研一郎, 谷口 英樹, 湯沢 賢治,
大塚 雅昭, 轟 健, 深尾 立:
遅発性総肝動脈閉塞がグラフト肝機能不全の原因と考えられた成人間生体肝移植の一
例
第57回日本消化器外科学会総会(京都) 7月, 2002
- No. 51 川本 徹, 小池 直人, 森下由紀雄, 轟 健:
肝門部胆管癌の転移再発様式とその予測因子
第57回日本消化器外科学会総会(京都) 7月, 2002

- No. 52 村田聡一郎, 轟 健, 川本 徹, 近藤 匡, 菅原 信二:
進行肝門部胆管癌術後腹膜再発に集学治療が奏功した一例
第24回日本癌局所療法研究会(横浜) 7月, 2002
- No. 53 村田聡一郎, 轟 健, 川本 徹, 菅原 信二, 斎田 幸久, 柴原 健, 中原 朗:
Stage IV B 食道癌に対し皮下埋め込み型リザーバーを用いた放射線化学法で著効が得られた一症例
第24回リザーバー研究会(旭川) 7月, 2002
- No. 54 Yuzawa K., Konishi A., Takehana K., Iino Y., Ohnuki A., Kobayashi T., Fukao K., Ohkohchi N.:
APC0576: a novel small molecule, immunosuppressive agent effective in primate models.
XIX th World Congress of Transplantation Society(USA) 8月, 2002
- No. 55 Ishiguro S., Takada Y., Fukunaga K., Jiang X., Seino K., Taniguchi H., Kawamoto T., Yuzawa K., Otsuka M., Todoroki T., Fukao K.:
Effect of a novel potent cytokine suppressor on toxic liver syndrome in the pig treated by auxiliary partial orthotopic liver transplantation for fatal fulminant hepatic failure.
XIX th World Congress of Transplantation Society(USA) 8月, 2002
- No. 56 Todoroki T.:
Treatment Strategy and Results of Carcinoma of the Gallbladder.
XII National Conference of Indian Association of Surgical Gastroenterology (Hyderabad, India) 9月, 2002
- No. 57 川本 徹, 正田 純一, 宮原 直樹, 入村 達郎, 河野 公俊, 松尾 憲一, 山田 雄次, 田中 直見, 轟 健:
胆嚢癌における N-acetylgalactosaminyltransferase-3 (GalNac-T3) 発現とその意義.
DDW-Japan 2002(横浜) 10月, 2002
- No. 58 湯沢 賢治, 清野研一郎, 高田 泰次, 大塚 雅昭:
生体腎移植ドナーにおける完全腹腔鏡下腎摘出術の1年間の経験
第38回日本移植学会総会(東京) 10月, 2002
- No. 59 湯沢 賢治, 山縣 香織, 清野研一郎, 高田 泰次, 大塚 雅昭:
免疫抑制剤の違いにより予測される腎移植後の長期予後
第38回日本移植学会総会(東京) 10月, 2002
- No. 60 山縣 香織, 湯沢 賢治, 清野研一郎, 高田 泰次, 大塚 雅昭:
術前ドナーに対する説明書作成と集団インフォームド・コンセントの試み
第38回日本移植学会総会(東京) 10月, 2002
- No. 61 石黒 慎吾, 高田 泰次, 福永 潔, 姜 曉峰, 湯沢 賢治, 大塚 雅昭, 轟 健, 深尾 立:
TNF- α 抑制による APOLT 術後 toxic liver syndrome の改善
第38回日本移植学会総会(東京) 10月, 2002

- No. 62 高田 泰次, 石黒 慎吾, 大河内信弘:
人工肝臓開発の基礎となる大動物急性肝不全モデルの確立
第40回日本人工臓器学会大会(札幌) 10月, 2002
- No. 63 小山 捷平, 小池 直人, 足立 信也:
がんの進展と NF- κ B, Caspase3, Survivin 分子の発現
第61回日本癌学会総会(東京) 10月, 2002
- No. 64 橋本 真治, 大島 祐二, 高垣 俊郎, 清野研一郎, 川本 徹, 高田 泰次,
湯沢 賢治, 足立 信也, 轟 健:
術前に閉鎖孔ヘルニアと診断し腹腔鏡下手術が可能であった1例
第64回日本臨床外科学会総会(東京) 11月, 2002
- No. 65 湯沢 賢治, 小池 直人, 高田 泰次, 小田 竜也, 川本 徹, 足立 信也,
大塚 雅昭, 轟 健, 大河内信弘:
生体腎移植における腎提供者の完全腹腔鏡下腎摘出術
第9回茨城県鏡視下手術研究会(土浦) 11月, 2002
- No. 66 益子 一樹, 高田 泰次, 湯沢 賢治, 足立 信也, 川本 徹, 轟 健, 大河内信弘:
組織 PCR 法が診断に有用であった腎移植後サイトメガロウィルス胃炎の一例
第7回関東腎移植免疫抑制研究会(東京) 11月, 2002
- No. 67 足立 信也, 中山 凱夫, 金子 道夫, 榊原 謙, 相吉 悠治, 鬼塚 正孝,
前野 哲博:
細分化された診療組織をもつ大学における外科卒後教育
—筑波大学レジデント制の変革—
第64回日本臨床外科学会総会(東京) 11月, 2002
- No. 68 植田 貴徳, 轟 健, 川本 徹, 湯沢 賢治, 深尾 立:
慢性腎不全に併発した肝門型肝内胆管癌の1例
第198回茨城外科学会(水戸) 11月, 2002
- No. 69 川本 徹, 篠崎 英司, 湯沢 賢治, 高田 泰次, 足立 信也, 轟 健:
肝胆膵外科領域における術後真菌感染症とその対策
—血清 β -D グルカン値の意義
第64回日本臨床外科学会総会(東京) 11月, 2002
- No. 70 高田 泰次, 倉田 昌直, 植田 貴徳, 村田聡一郎, 大塚 雅昭, 轟 健:
肝細胞癌に対するラジオ波治療
第64回日本臨床外科学会総会(東京) 11月, 2002
- No. 71 倉田 昌直, 高田 泰次, 大河内信弘:
肝癌に対するラジオ波焼灼治療
第34回日本肝臓学会東部会(つくば) 11月, 2002
- No. 275 Todoroki T.:
Rationale for Laboratory and Clinical Basis for Combining Surgery and Radiation in the Treatment of Biliary Tract Cancer
First Intercontinental Workshop and Symposium on Intra-Operative Radiation Therapy using Mobile Systems(Sydney, Australia) 12月, 2002

No. 73 Jiang Xiaofeng, Kurioka K., Miyake S., Yamamura T., Ohkochi N., Taniguti M.,
Seino K.:

Effect of Glycolipid Ligands for NKT Cells in Allogenic Transplant Rejection

第32回日本免疫学会総会(東京) 12月, 2002

No. 74 柳澤 和彦, 大河内信弘, 谷口 克, 清野研一郎:

担癌宿主における NKT 細胞の低反応性とそのメカニズム

第32回日本免疫学会総会(東京) 12月, 2002

その他印刷物

No. 1 高田 泰次, 福永 潔, 石黒 慎吾, 顧 梅, 深尾 立:

心停止ドナーからの肝移植

消化器外科 25: 291-295, 2002

No. 2 湯沢 賢治, 深尾 立:

性肺炎

難病の指針 難病の指針編集委員会,

茨城県医師会 4: 157-162, 2002

No. 3 鈴木 淳史, 谷口 英樹:

マウス胎仔肝臓からの肝幹細胞分離とその同定

Organ Biology 9(1): 33-41, 2002

No. 4 高田 泰次, 福永 潔, 石黒 慎吾, 顧 梅, 深尾 立:

ドナープール拡大の工夫 心停止ドナーからの肝移植

消化器外科 へるす出版 25(3): 291-295, 2002

No. 5 山縣 香織, 湯沢 賢治:

米国臓器移植の最新情報

看護技術 48(9): 1057-1067, 2002

No. 6 近藤 匡, 川本 徹, 文 由美, 山本 祐二, 轟 健:

化学療法で長期生存中の肝門部胆管癌術後腹膜転移の1例

第15回関越 UFT 研究会講演集: 30-33. 2002

2002年（脳神経外科グループ）

原 著

- No. 1 Tsurubuchi T, Matsumura A, Nakai K, Fujita K, Enomoto T, Iwasaki N, Nose T :
Reversible holocord edema associated with intramedullary spinal abscess secondary to an infected dermoid cyst.
Pediatr Neurosurg 37 : pp.282-6, 2002
- No. 2 Isobe T, Matsumura A, Anno I, Yoshizawa T, Nagatomo Y, Itai Y, Nose T :
Quantification of Cerebral Metabolites in Glioma Patients with Proton MR Spectroscopy using T2 Relaxation Time Correction.
Magn Reson Imag 20 : pp.343-349, 2002
- No. 3 Yoshida F, Matsumura A, Shibata Y, Yamamoto T, Nakauchi H, Okumura M, Nose T :
Cell cycle dependence of boron uptake from two boron compounds used for clinical neutron capture therapy.
Cancer Lett 187 : pp.135-141, 2002
- No. 4 Zhang T, Matsumura A, Yamamoto T, Yoshida F, Nose T, Shimojo N :
Comparison of two Brain Tumor-Localizing MRI Agents : GD-BOPTA and GD-DTPA.
—The study of Magnetic Resonance Imaging and Inductively Coupled Plasma Atomic Emission Spectroscopy with Rat Brain tumors—.
AJNR Am J Neuroradiol 23 : pp.15-18, 2002
- No. 5 Matsumura A, Takano S, Nagata M, Anno I, Nose T :
Cervical Intramedullary Gliofibroma in a Child. A Case Report and Review of the Literature.
Pediatric Neurosurgery. 36 : pp.105-110, 2002
- No. 6 Ishikawa E, Matsumura A, Matsumaru Y, Anno I, Nakamura K, Shioyama Y, Midorikawa T, Nose T :
Intratumoral hemorrhage due to hemangioblastoma arising from a cervical nerve root. —a case report.
J Clin Neurosci 9 : pp.713-, 2002
- No. 7 Muroi A, Matsumura A, Asakawa H, Enomoto T, Iwasaki N, Nose T :
Myelopathy caused by tics in an adolescent, associated with T2 signal intensity changes of the spinal cord.
Child's Nerv Syst 18 : pp.191-194, 2002
- No. 8 Akutsu H, Matsumura A, Isobe T, Anno I, Takano S, Itai Y, Nose T :
Chronological change of brain abscess in 1H magnetic resonance spectroscopy.
Neuroradiology 44 : pp.574-578, 2002

- No. 9 Yamamoto T, Matsumura A, Yamamoto K, Kumada H, Shibata Y, Nose T :
In-phantom two-dimensional thermal neutron distribution for intraoperative boron neutron capture therapy of brain tumours.
Phys Med Biol 47 : pp.1-10, 2002
- No. 10 Shibata Y, Matsumura A, Nose T :
Effect of expression of p-glycoprotein on Technetium-99m
Methoxyisobutylisonitrile single photon emission computed tomography of brain tumors.
Neuro Med Chir (Tokyo) 42 : pp.325-330, 2002
- No. 11 山本哲哉, 松村 明, 高野晋吾, 柴田 靖, 山本和喜, 熊田博明, 能勢忠男 :
熱・熱外混合ビームを用いた術中硼素中性子捕捉療法.
Neuro-Oncology 12 : pp.88-90, 2002
- No. 12 高野晋吾, 曾根博仁, 坪井康次, 松村 明, 能勢忠男 :
内因性血管新生抑制物質 Thrombospondin-1による glioblastoma の増殖抑制.
Neuro-Oncology 12 : pp.30-32, 2002
- No. 13 松村 明, 松井 陽, 厚美直孝, 岩本義輝, Vernon-Edo Julian Irene, 村田雄二,
中山凱夫, 草刈 潤 :
筑波大学における M6海外臨床実習の効果分析.
医学教育 (特集: 第34回日本医学教育学会大会記録) 33 : pp.323-324, 2002
- No. 14 松村 明, 上村和也, 阿武 泉, 磯辺智範, 塚田篤郎, 谷中清之, 能勢忠男 :
Perfusion MRI を用いた変形性頸椎症に対する血流動態の評価.
脊髄外科 16 : pp.15-20, 2002
- No. 15 片山 亘, 松村 明, 石川栄一, 能勢忠男, 辻野昭人, 落合直之 :
肘部管症候群に対する肘部管・尺骨神経溝形成術.
Vidoe Journal of Japan Neurosurgery Vol.10(1), 2002
- No. 16 熊田博明, 松村 明, 中川義信 :
原子炉による医療照射のための患者セッティングシステムの開発.
日本原子力学会和文論文誌 1 : pp.59-68, 2002
- No. 17 榎本貴夫, 青木一泰, 井原 哲, 松村 明, 能勢忠男 :
もやもや病の治療. 一低侵襲穿頭術の試み一.
小児の脳神経 27 : pp.11-16, 2002
- No. 18 磯辺智範, 松村 明, 阿武 泉, 吉澤 卓, 板井悠二, 能勢忠男 :
Proton MRS が臨床診断に有用であった類上皮腫の1例.
脳神経 54 : pp.163-166, 2002
- No. 19 高野晋吾, 曾根博仁, 坪井康次, 松村 明, 能勢忠男 :
内因性血管新生抑制物質 Thrombospondin-1による glioblastoma の増殖抑制.
Neuro-Oncology 12 : pp.30-32, 2002
- No. 20 石川栄一, 坪井康次, 佐藤博明, 井原 哲, 鶴田和太郎, 小林栄喜 :
小児頭部外傷 (非重症例) の外来受診時検査に関する検討. 頭部 CT はどのような症例
に施行すべきか?
日救急医会関東誌 : pp.32-33, 2002

- No. 21 Yanaka K, Asakawa H, Noguchi S, Matsumaru Y, Hyodo A, Anno I, Meguro K, Nose T :
Intraoperative angiography evaluation of the microsurgical clipping of unruptured cerebral aneurysms.
Neurol Med Chir(Tokyo) 42 : pp.193-201, 2002
- No. 22 松丸祐司, 中居康展, 園部 眞, 能勢忠男 :
急性期破裂脳動脈瘤の塞栓術
日救急医学会誌 JJAAM 13 : pp.312-319, 2002
- No. 23 中居康展, 園部 眞, 松丸祐司 :
脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血急性期の治療, IVR 治療を主体とした治療戦略
救急医学 26(9) : pp.1023-1026, 2002
- No. 24 Asakawa H, Yanaka K, Fujita K, Marushima A, Anno I, Nose T :
Intracranial dural arteriovenous fistula showing diffuse MR enhancement of the spinal cord. Case report and review of the literature.
Surg Neurol 58 : pp.251-257, 2002
- No. 25 谷中清之, 加藤徳之, 兵藤行志, 永瀬宗重, 本間一弘, 能勢忠男 :
脳虚血再灌流障害におけるフリーラジカルの関与と抗酸化療法.
成人病生活習慣病 (J Adult Dis) 32 : pp.1357-1359, 2002
- No. 26 Kamezaki T, Yanaka K, Nagase S, Fujita K, Kato N, Nose T :
Increased levels of lipid peroxides as predictive of symptomatic vasospasm and poor outcome after aneurysmal subarachnoid hemorrhage.
J Neurosurg 97 : pp.1302-1305, 2002
- No. 27 加藤徳之, 谷中清之, 兵藤行志, 本間一弘, 永瀬宗重, 平山 暁, 兵頭明夫, 能勢忠男 :
ラット脳虚血再灌流モデルにおける Tempol の脳保護効果.
脳循環代謝 14 : pp.181-189, 2002
- No. 28 Hyodo A, Yanaka K, Kato N, Nose T :
Coil migration during endovascular treatment in a patient with Galenic arteriovenous malformation.
J Clin Neurosci 9 : pp.584-585, 2002
- No. 29 Nakai Y, Hyodo A, Yanaka K, Nose T :
Fetal cerebral infarction after intraventricular haemorrhage in a pregnant patient with moyamoya disease.
J Clin Neurosci 9 : pp.456-458, 2002
- No. 30 Muroi A, Enomoto T, Ishikawa E, Yanaka K, Nose T :
Semitransparent meningocele at the occipital region.
J Pediatr 141 : pp.294, 2002
- No. 31 Matsuda M, Enomoto T, Yanaka K, Nose T :
Moyamoya disease associated with hemophilia A. Case report.
Pediatr Neurosurg 36 : pp.157-160, 2002

- No. 32 坪井康次, 徳植公一, 高野晋吾, 能勢忠男, 秋根康之 :
悪性神経膠腫に対する陽子線治療
Neuro-Oncol 12(1) : 91-94, 2002
- No. 33 Nishizawa K, Moritake T, Iwai K, Matsumaru Y, Tsuboi K, Maruyama T :
The experience in dose measurement of IVR with glass dosimeter system.
Proceedings of the 3rd Korea-Japan joint meeting of Medical Physics, 2002
- No. 34 Harada H, Saijo K, Watanabe S, Tsuboi K, Nose T, Ishiwata I, Ohno T :
Selective expansion of human natural killer cells from peripheral blood mononuclear cells by the cell line, HFWT.
Jpn. J. Cancer Res. 93 : 313-9, 2002
- No. 35 Ishikawa E, Yanaka K, Sugimoto K, Ayuzawa S, Nose T :
Reversible dementia in patients with chronic subdural hematomas.
J Neurosurg. 96(4) : pp.680-683, Apr. 2002
- No. 36 Matsuno S, Watanabe M, Ohkoshi N, Anno I, Matsumaru Y, Tamaoka A, Shoji S :
Enhanced magnetic resonance angiography of a spinal dural arteriovenous fistula.
Arch Neurol 59(7) : pp.1185, Jul. 2002
- No. 37 Yanaka K, Matsumaru Y, Nose T :
Management of spontaneous cerebellar hematomas: a prospective treatment protocol.
Neurosurgery 51(2) : pp.524-525, Aug. 2002
- No. 38 Yanaka K, Matsumaru Y, Kamezaki T, Nose T :
Ruptured aneurysm of the ophthalmic artery trunk demonstrated by three-dimensional rotational angiography: Case Report.
Neurosurgery 51(4) : pp.1066-1070, Oct. 2002
- No. 39 Ishikawa E, Tsuboi K, Onizawa K, Hara A, Kusakari J, Noguchi M, Nose T :
Chondroblastoma of the temporal base with high mitotic activity.
Neurol Med Chir(Tokyo) 42(11) : pp.516-20, Nov. 2002
- No. 40 Ishikawa E, Matsumura A, Ishikawa S, Nakamura K, Nose T :
Combined minimally invasive approach using microsurgery and thoracoscopic surgery for resecting a dumbbell-type thoracic schwannoma.
Minim Invasive Neurosurg. 45(4) : pp.251-253, Dec. 2002

著 書

- No. 1 Matsumura A, Enomoto T, Yoshizawa T, Anno I, Isobe T, Fujimoto A, Muraki S, Nose T :
Localization of focus in intractable epilepsy with pharmacological (bimegride) SPECT and pharmacological functional MRI.
Recent Advances In Human Brain Mapping.
Hirata K, Koga Y, Nagata K, Yamazaki K eds.
Elsevier, Amsterdam : pp.443-451, 2002

- No. 2 Enomoto T, Matsumura A, Matsumaru Y, Aoki K, Nose T :
Multimodality examination for detection of the epileptic foci with special reference to endovascular EEG recording.
Recent Advances In Human Brain Mapping.
Hirata K, Koga Y, Nagata K, Yamazaki K eds.
Elsevier, Amsterdam : pp.655-660, 2002
- No. 3 Matsushita A, Yamamoto T, Matsumura A, Nose T, Yamamoto K, Kumada H, Torii Y, Kashimura T, Ohtake S :
An application to intraoperative BNCT using epithermal neutron of new JRR-4 mode "Epi-12".
Research and Development in Neutron Capture Therapy,
Sauerwein W, Moss R, Wittig A eds.,
Monduzzi Editore, Bologna : pp.141-143, 2002
- No. 4 Yamamoto T, Matsumura A, Yamamoto K, Kumada H, Torii Y, Endo K, Matsushita A, Shibata Y, Nose T :
Comparison of patient brain dose measurements and the JCDS calculation.
Research and Development in Neutron Capture Therapy,
Sauerwein W, Moss R, Wittig A eds.
Monduzzi Editore, Bologna : pp.415-418, 2002
- No. 5 Endo K, Matsumura A, Yamamoto T, Nose T, Yamamoto K, Kumada H, Kishi T, Torii Y, Kashimura T, Ohtake S :
Comparison of dosimetry by the realistic patient head phantom and by the patient's brain, and the JCDS calculation — a clinical dosimetry study.
Research and Development in Neutron Capture Therapy,
Sauerwein W, Moss R, Wittig A eds.
Monduzzi Editore, Bologna : pp.425-430, 2002
- No. 6 Yamamoto K, Kumada H, Torii Y, Kishi T, Yamamoto T, Matsumura A :
Simple estimation method of gamma-ray dose using low neutron-sensitive TLD (UD-170LS) for intra-operative boron neutron capture therapy (IOBNCT).
Research and Development in Neutron Capture Therapy,
Sauerwein W, Moss R, Wittig A eds.
Monduzzi Editore, Bologna : pp.499-503, 2002
- No. 7 Kumada H, Matsumura A, Nakazawa Y, Yamamoto T, Yamamoto K, Torii Y :
Verification of the JAERI computational dosimetry system for neutron capture therapy.
Research and Development in Neutron Capture Therapy,
Sauerwein W, Moss R, Wittig A eds.
Monduzzi Editore, Bologna : pp.529-534, 2002

- No. 8 Yamamoto T, Matsumura A, Yamamoto K, Kumada H, Hori N, Torii Y, Endo K, Matsushita A, Yoshida F, Shibata Y, Nose T :
In-air radiobiological dosimetry of JRR-4 neutron beams for boron neutron capture therapy.
Research and Development in Neutron Capture Therapy,
Sauerwein W, Moss R, Wittig A eds.
Monduzzi Editore, Bologna : pp.697-700, 2002
- No. 9 Zhang T, Matsumura A, Yamamoto T, Yoshida F, Sakurai Y, Kobayashi T, Ono K, Nose T :
A comparison of in Vivo Gd-NCT trial by using two targeting compounds: Gd-BOPTA and Gd-DTPA.
Research and Development in Neutron Capture Therapy,
Sauerwein W, Moss R, Wittig A eds.
Monduzzi Editore, Bologna : pp.807-812, 2002
- No. 10 Zhang T, Matsumura A, Yamamoto T, Yoshida F, Sakurai Y, Kumada H, Yamamoto K, Nose T :
A combination use of boron and gadolinium compounds in In Vitro NCT trial.
Research and Development in Neutron Capture Therapy,
Sauerwein W, Moss R, Wittig A eds.
Monduzzi Editore, Bologna : pp.819-824, 2002
- No. 11 Yoshida F, Matsumura A, Shibata Y, Yamamoto T, Zhang T, Nakauchi H, Okumura M, Nose T :
Chronological changes of boron uptake and its relationship to the cell cycle. An In Vitro study of different cell lines.
Research and Development in Neutron Capture Therapy,
Sauerwein W, Moss R, Wittig A eds.
Monduzzi Editore, Bologna : pp.857-860, 2002
- No. 12 Shibata Y, Matsumura A, Yamamoto T, Akutsu H, Yasuda S, Nakai K, Nose T, Yamamoto K, Kumada H, Hori N, Ohtake S :
The prediction of boron concentrations in blood for patients of boron neutron capture therapy (2nd report).
Research and Development in Neutron Capture Therapy,
Sauerwein W, Moss R, Wittig A eds.
Monduzzi Editore, Bologna : pp.1055-1060, 2002

- No. 13 Matsumura A, Yamamoto T, Shibata Y, Nakai K, Zhang T, Matsushita A, Takano S, Endo K, Akutsu H, Yamamoto K, Kumada H, Torii Y, Mizutani T, Takahashi H, Toyooka H, Nose T :
Intraoperative boron neutron capture therapy using thermal/epithermal mixed beam.
Research and Development in Neutron Capture Therapy,
Sauerwein W, Moss R, Wittig A eds.
Monduzzi Editore, Bologna : pp.1073-1078, 2002
- No. 14 Nakai K, Matsumura A, Yamamoto T, Shibata Y, Zhang T, Akutsu H, Matsuda M, Matsushita A, Yasuda S, Takano S, Nose T, Yamamoto K, Kumada H, Torii Y :
Failure pattern in the patients who underwent intraoperative boron neutron capture therapy (IOBNCT).
Research and Development in Neutron Capture Therapy,
Sauerwein W, Moss R, Wittig A eds.
Monduzzi Editore, Bologna : pp.1135-1138, 2002
- No. 15 Takano S, Tsuboi K, Matsumura A, Nose T :
Therapeutic Synergy of Anti-VEGF Antibody and ACNU Chemotherapy: Effects on Tumor Growth and Angiogenesis in Human Glioblastoma Xenografts.
田淵和雄, 白石哲也編.
ポストシークエンス時代における脳腫瘍の研究と治療.
九州大学出版会 : pp.333-339, 2002
- No. 16 松村 明, 山本哲哉, 柴田 靖, 中井 啓, 張 天, 阿久津博義, 松下 明, 安田 貢, 高野晋吾, 能勢忠男, 水谷太郎, 高橋 宏, 豊岡秀訓, 山本和喜, 熊田博明, 鳥居義也 :
混合熱・熱外中性子を用いた悪性神経腫に対する中性子捕捉療法.
田淵和雄, 白石哲也編.
ポストシークエンス時代における脳腫瘍の研究と治療.
九州大学出版会 : pp.427-435, 2002
- No. 17 石川栄一, 坪井康次, 大野忠夫, 西條 薫, 高野晋吾, 能勢忠男 :
再発悪性神経腫に対する免疫細胞療法の安全性報告
ポストシークエンス時代における脳腫瘍の研究と治療
pp.477-479, 5月, 2002
- No. 18 Yamamoto T, Matsumura A, Shibata Y, Nose T, Yamamoto K, Kumada H :
Current Medical Setup at JRR-4 for Boron Neutron Capture Therapy (BNCT).
研究炉利用における研究成果集 (平成12年度), 高橋敏行編.
JAERI-Review 2002-014 : pp.457-458, 2002
- No. 19 Yamamoto T, Matsumura A, Shibata Y, Nose T, Yamamoto K, Kumada H :
Characterization of Neutron Beams for Boron Neutron Capture Therapy :
In-air Radiobiological Dosimetry.
研究炉利用における研究成果集 (平成12年度), 高橋敏行編.
JAERI-Review 2002-014 : pp. 459-461, 2002

- No. 20 Yamamoto T, Matsumura A, Shibata Y, Nose T, Yamamoto K, Kumada H :
In Vivo Neutron Measurement on the Human Brain and Blood Boron Measurement
for Intraoperative Boron Neutron Capture Therapy (IOBNCT).
研究炉利用における研究成果集 (平成12年度), 高橋敏行編.
JAERI-Review 2002-014 : pp.463-64, 2002
- No. 21 松村 明, 山本哲哉, 柴田 靖, 松下 明, 安田 貢, 中井 啓, 山田 隆,
阿久津博義, 能勢忠男, 山本和喜, 熊田博明, 堀 直彦 :
熱ビーム I を用いた BNCT の臨床的検討 ー第 1 報.
研究炉利用における研究成果集 (平成12年度), 高橋敏行編.
JAERI-Review 2002-014 : pp.465-466, 2002
- No. 22 Zhang T, Matsumura A, Yamamoto T, Nose T, Kumada H, Yamamoto K :
Current In vitro NCT comparison between two Gd targeting compound (Gd-
BOPTA and Gd-DTPA).
研究炉利用における研究成果集 (平成12年度), 高橋敏行編.
JAERI-Review 2002-014 : pp.467-468, 2002
- No. 23 松村 明 :
悪性脳腫瘍に対する熱中性子および熱外中性子を用いたホウ素中性子捕捉療法の研究.
第 4 集 研究・技術シーズ集総合版.
筑波リエゾン研究所, イセブ出版 : pp.34, 2002
- No. 24 松村 明 :
腫瘍集積性ポルフィリン化合物の開発.
第 4 集 研究・技術シーズ集総合版.
筑波リエゾン研究所, イセブ出版 : pp.35, 2002
- No. 25 山本哲哉, 山本和喜, 松村 明, 熊田博明, 岸 敏明, 堀 直彦, 鳥居義也, 堀口洋二,
能勢忠男 :
JRR-4熱外中性子ビームの in vitro 生物学的効果. ーフリービーム条件ならびにファ
ントム条件での測定浴 i 協力研究).
JAERI-Research 2002-011,
日本原子力研究所, 東海, 2002(全56ページ)
- No. 26 Matsumura A, Zhang T, Yamamoto T, Sakurai Y, Kobayashi T, Ono K, Nose T :
In vivo trial of Gd-NCT by using a new gadolinium compound (Gd-BOPTA).
KURRI Prog Rep 2000 Section I : pp.153, 2001
- No. 27 松丸祐司 :
脳血管内治療に必要な血管の発生と解剖
吉田純, 宮地茂編集 脳血管内治療の Do's & Don't
(東京) 医学書院, pp.251-261, 2002
- No. 28 谷中清之, 加藤徳之, 永瀬宗重 :
ビタミン E の脳虚血再灌流障害に対する脳保護効果.
三島海雲記念財団研究報告集 39 : pp.23-26, 2002

- No. 29 谷中清之, 兵頭明夫:
脳血管障害の自然歴に対する新しい認識. 脳血管障害の最新治療.
先端医療技術研究所: pp.26-29, 2002
- No. 30 松村 明:
磁気共鳴スペクトロスコピーによる非侵襲的脳代謝解析の研究.
動的脳機能とこころのアメニティー特別プロジェクト
研究報告書 (平成13年度),
筑波大学動的脳機能とこころのアメニティー
特別プロジェクト研究組織発行: pp.163-183, 3月, 2002
- No. 31 Enomoto T, Matsumura A, Matsumaru Y, Aoki K, Nose T:
Multimodality examination for detection of the epileptic foci with special reference to endovascular EEG recording.
International Congress Series 1232: pp.655-660, Nov. 2002

学会発表

- No. 1 青木一泰, 鈴木謙介, 鯨岡裕司:
透析脳症の2例.
第53回茨城県脳神経外科集談会, 2002
- No. 2 松村 明, 柴田 靖, 山本哲哉, 能勢忠男, 山本和喜, 熊田博明, 堀 直彦:
熱外中性子による悪性脳腫瘍に対する中性子捕捉療法の研究.
第11回茨城がん学会(水戸), 2月2日, 2002
- No. 3 松田和郎, 高野晋吾, 滝川知司, 伴野悠士, 能勢忠男:
下垂体腺腫と術前診断されたトルコ鞍部傍神経節腫 (paraganglioma) の1例.
第12回間脳下垂体腫瘍学会(東京), 2月5日, 2002
- No. 4 井原 哲, 上村和也, 塚田篤郎, 高野晋吾:
鞍上部 pleomorphic xanthoastrocytoma の1例.
第12回間脳下垂体腫瘍学会(東京), 2月5日, 2002
- No. 5 滝川知司, 高野晋吾, 坪井康次, 浅川弘之, 能勢忠男:
小児視交叉・視床下部 pilocytic astrocytoma に対するカルボプラチン・ビクリスチン化学療法の問題点—症例報告—
第12回間脳下垂体腫瘍学会(東京), 2月5日, 2002
- No. 6 安田 貢, 藤本礼尚, 丸野 透, 松村 明, 能勢忠男:
METRx System を用いた Endoscopic Discectomy と MicroDiscectomy.
第3回茨城県脊髄・脊椎研究会(つくば), 2月15日, 2002
- No. 7 片山 亘, 松村 明, 高野晋吾, 武田 徹, 磯部智範, 阿武 泉:
当院における脳腫瘍 TI-SPECT の検討.
第20回筑波脳神経外科研究会(つくば), 2月17日, 2002
- No. 8 Muroi Ai, Matsumura A, Yasuda M, Katayama W, Asakawa H, Takano S, Nose T:
Malignant transformation of the meningioma 13 years after initial surgery.
第20回筑波脳神経外科研究会(つくば), 2月17日, 2002

- No. 9 青木 司, 藤森広幸, 佐藤直昭, 榎本貴夫, 松村 明:
キアリ奇形における自律神経機能異常の評価.
第20回筑波脳神経外科研究会(つくば), 2月17日, 2002
- No. 10 山本哲哉, 土田幸弘, 室井 愛, 山田 隆, 安田 貢, 中井 啓, 阿久津博義,
松下 明, 松村 明, 能勢忠男:
中性子捕捉療法を行った悪性グリオーマ7例の検討.
第20回筑波脳神経外科研究会(つくば), 2月17日, 2002
- No. 11 石川栄一, 松村 明, 榎本貴夫, 中村和弘, 片山 亘, 能勢忠男, 杉本耕一, 小林栄喜:
頭蓋内病変・頸髄病変に対する Motor Evoked Potential (MEP) モニタリングの経験.
第20回筑波脳神経外科研究会(つくば), 2月17日, 2002
- No. 12 山本和喜, 熊田博明, 山本哲哉, 松村 明, 能勢忠男:
BNCT 用患者モデルファントムの脳表面熱中性子束分布測定.
平成13年度・京都大学原子炉実験所・専門研究会
「中性子捕捉療法システムの高度化」及び
「B-com Forum for BNCT」合同専門研究会.
(京都), 2月19-20日, 2002
- No. 13 山本哲哉, 松村 明, 柴田 靖, 山本和喜, 熊田博明, 能勢忠男:
JCDS による BNCT 臨床例の線量評価.
平成13年度・京都大学原子炉実験所・専門研究会
「中性子捕捉療法システムの高度化」及び
「B-com Forum for BNCT」合同専門研究会.
(京都), 2月19-20日, 2002
- No. 14 松村 明, 磯辺智範, 阿武 泉, 松丸祐司, 能勢忠男:
定量的 H-MRS による放射線治療前後の変化についての考察.
第31回日本神経放射線学会(秋田), 2月20日, 2002
- No. 15 阿武 泉, 松村 明, 磯辺智範, 阿武 泉, 上村和也, 能勢忠男:
平山病
第31回日本神経放射線学会(秋田), 2月20日, 2002
- No. 16 松丸祐司, 兵頭明夫, 阿武 泉, 松村 明, 能勢忠男:
ガレン静脈瘤奇形と脳動静脈奇形を合併した1例.
第31回日本神経放射線学会(秋田), 2月20日, 2002
- No. 17 室井 愛, 松村 明, 安田宗義, 片山 亘, 浅川弘之, 高野晋吾, 能勢忠男:
悪性化し, 急激な経過で肺転移・髄膜播種をきたした再発線維性腫瘍の一例.
第15回茨城県脳腫瘍治療研究会 テーマ: 髄膜種の診断と治療.
(つくば) 2月22日, 2002
- No. 18 山崎友郷, 坪井康次, 高野晋吾, 松村 明, 能勢忠男:
当施設における悪性髄膜腫症例の検討.
第15回茨城県脳腫瘍治療研究会 テーマ: 髄膜種の診断と治療.
(つくば) 2月22日, 2002

- No. 19 高田智也, 高野晋吾, 山崎友郷, 小島 寛, 能勢忠男:
中枢神経系原発悪性リンパ腫に伴った Central Pontine Myelinolysis の 1 例.
関東地方会(東京), 3月2日, 2002
- No. 20 安田 貢, 藤本礼尚, 丸野 透, 松村 明, 能勢忠男:
高齢者頸椎損傷の病態と治療—70歳未満の頸椎損傷例との比較検討.
第15回日本老年脳神経外科学会(奈良) 3月30日, 2002
- No. 21 Yanaka K, Matsumaru Y, Asakawa H, Anno I, Nose I:
Cerebral revascularization with the aid of intraoperative angiography.
2002 Annual meeting AANS(Chicago), Apr. 2002
- No. 22 Kato N, Yanaka K, Nagase S, Hirayama A, Nose T:
The antioxidant, EPC-K1 ameliorates brain injury by inhibiting lipid peroxidation in a rat model of transient focal cerebral ischemia.
2002 Annual meeting AANS(Chicago), Apr. 2002
- No. 23 安田宗義, 杉本耕一, 小林栄喜, 谷中清之, 能勢忠男:
脳内出血の全身合併症.
第31回日本脳卒中の外科学会(仙台), 4月, 2002
- No. 24 滝川知司, 谷中清之, 松丸祐司, 石川栄一, 能勢忠男:
頸部内頸動脈高位病変露出に対する頭部固定フレーム利用の有用性.
第31回日本脳卒中の外科学会(仙台), 4月, 2002
- No. 25 谷中清之, 目黒琴生, 岡崎匡雄, 能勢忠男:
内頸動脈瘤手術時の動脈損傷の対処.
第31回日本脳卒中の外科学会(仙台), 4月, 2002
- No. 26 松丸祐司, 園部 眞, 中居康展, 亀崎高夫, 岡崎匡夫, 鯨岡祐司, 塚田篤郎, 松木孝之, 加藤徳之, 佐藤博明:
Bleb のある動脈瘤の塞栓術は危険か?
第31回日本脳卒中の外科学会(仙台), 4月, 2002
- No. 27 中村和広, 谷中清之, 浅川弘之, 本間 覚, 能勢忠男:
多発性脳動脈狭窄を来した若年性脳動脈狭窄の 1 例.
第27回日本脳卒中学会(仙台), 4月, 2002
- No. 28 山本哲哉, 松村 明, 高野晋吾, 柴田 靖, 能勢忠男:
熱・熱外混合中性子ビームを用いた術中酸素中性子捕捉療法.
第23回ニューロオンコロジーの会(東京), 4月13日, 2002
- No. 29 高野晋吾, 坪井康次, 松村 明, 能勢忠男:
内因性血管新生抑制物質 Thrombospondin-1 による glioblastoma の増殖抑制.
第23回ニューロオンコロジーの会(東京), 4月13日, 2002
- No. 30 坪井康次, 徳植公一, 高野晋吾, 能勢忠男, 秋根康之:
悪性神経膠腫に対する陽子線治療
第23回ニューロオンコロジーの会(東京), 4月13日, 2002
- No. 31 加藤徳之, 谷中清之, 永瀬宗重, 兵藤行志, 平山 暁, 能勢忠男:
脳虚血再灌流モデルにおける Tempol の脂質過酸化抑制ならびに脳保護効果.
第24回日本フリーラジカル学会(大阪), 5月, 2002

- No. 32 高野晋吾, 室井 愛, 佐藤弘茂, 能勢忠男:
下垂体腺腫の VEGF 発現および血管新生能.
第20回日本脳腫瘍病理学会(広島), 5月10-11日, 2002
- No. 33 石川栄一, 高野晋吾, 菅間 博, 安田 貢, 能勢忠男:
陽子線を施行した斜台部脊索腫の1剖検例.
第20回日本脳腫瘍病理学会(広島), 5月10-11日, 2002
- No. 34 木村 泰, 松村 明, 高野晋吾, 坪井康次, 山本哲哉, 張 天, 能勢忠男:
5-ALA による術中脳腫瘍蛍光診断の病理組織学的検討.
第20回日本脳腫瘍病理学会(広島), 5月10-11日, 2002
- No. 35 松村 明, 磯辺智範, 阿武 泉, 高野晋吾, 山本哲哉, 張 天, 板井悠二, 能勢忠男:
定量的プロトン MRS によるコリン濃度定量は神経膠腫の悪性度を反映するか?—病理組織における MIB-1 index との比較検討.
第20回日本脳腫瘍病理学会(広島), 5月10-11日, 2002
- No. 36 室井 愛, 松村 明, 安田宗義, 片山 亘, 高野晋吾, 能勢忠男:
悪性化し, 急激な経過で肺転移・髄膜播腫をきたした再発髄膜腫の1例.
第20回日本脳腫瘍病理学会(広島), 5月10-11日, 2002
- No. 37 盛武 敬, 坪井康次, 能勢忠男:
ESR スピンラベル法で解析した膠芽腫細胞のラジカル還元能と放射線感受性に関する研究
第20回日本脳腫瘍病理学会(広島), 5月10-11日, 2002
- No. 38 石川栄一, 高野晋吾, 菅間 博, 安田 貢, 能勢忠男:
陽子線照射を施行した斜台部脊索腫の1剖検例
第20回日本脳腫瘍病理学会(広島) 5月10-11日, 2002
- No. 39 高野晋吾, 坪井康次, 松村 明, 吉井与志彦, 能勢忠男:
腫瘍出血をきたし, 20年間再発しない Glioblastoma の1例.
第20回日本脳腫瘍病理学会(広島), 5月10-11日, 2002
- No. 40 高野晋吾, 坪井康次, 松村 明, 能勢忠男:
Glioblastoma の invading front での血管構築と VEGF 発現—剖検脳での検討—.
第20回日本脳腫瘍病理学会(広島), 5月10-11日, 2002
- No. 41 阿久津博義, 松村 明, 坂本規彰, 高野晋吾, 能勢忠男:
手術・放射線治療後短期間にて再発を来した斜台部脊索腫の1例.
第8回埼玉頭蓋底外科研究会(大宮), 5月18日, 2002
- No. 42 松村 明, 山本哲哉, 木村 泰, 張 天, 高野晋吾, 能勢忠男:
5-ALA を用いた薬理的ナビゲーションによる脳腫瘍摘出術.
第12回光線力学学会(東京), 5月25日, 2002
- No. 43 高田智也, 松村 明, 山崎友郷, 松下 明, 能勢忠男:
第4-6頸椎後縦靱帯骨化症で握力低下を来し, 臨床症状と高位診断が難しかった1例.
第86回日本脳神経外科学会関東地方会(東京), 6月1日, 2002

- No. 44 松村 明 上村和也 安田 貢 岡崎匡雄 石川栄一 藤森広幸 能勢忠男：
脊髄髄内腫瘍の手術・治療成績と手術の注意点。
第17回日本脊髄外科学会(静岡)，6月13-14日，2002
- No. 45 安田 貢，藤本礼尚，丸野 透，松村 明，能勢忠男：
METRx system を用いた Endoscopic Discectomy と Micro-Discectomy。
第17回日本脊髄外科学会(静岡)，6月13-14日，2002
- No. 46 大野忠夫，西條 薫，坪井康次，能勢忠男：
脳腫瘍のキラー細胞療法における凍結保存の影響と臨床効果
第23回日本炎症・再生医学会ワークショップ
「細胞組織移植と長期保存」7月，2002
- No. 47 阿久津博義，坂本規彰，松村 明，阿武 泉，能勢忠男：
L5神経根症状を呈した腰椎 synovial cyst の1例。
第54回茨城県脳神経外科集談会(つくば)，7月6日，2002
- No. 48 鮎沢 聡，高野晋吾，青木 司，中村和弘，能勢忠男：
Gliomatosis cerebri における MRI ガイド下定位的視床蒲生検の1経験例。
第54回茨城県脳神経外科集談会(つくば)，7月6日，2002
- No. 49 松丸祐司，中居康展，滝川知司，園部 眞，佐藤博明，加藤徳之，鶴田和太郎，
能勢忠男：
Bleb をともなう脳動脈瘤に対する塞栓術
第8回日本血管内治療学会(奈良)，7月6日，2002
- No. 50 Fujimoto A, Matsumura A, Maruno T, Yasuda S, Nose T：
Cervical spondylosis presenting with thoracic level Brown-Seuquard syndrome.
第17回日本脳神経外科国際学会フォーラム(掛川)，7月19日，2002
- No. 51 松村 明：
前脊髄動脈が腫瘍を貫いていると思われた胸髄腹側髄外腫瘍の1例。
第9回 SPINE FRONTIER(北海道)，8月1-3日，2002
- No. 52 阿久津博義，坂本規彰，坪井康次，能勢忠男：
Angiosarcoma の脳転移と考えられる症例
第87回日本脳神経外科学会関東地方会(東京)，9月，2002
- No. 53 安田 貢，松田真秀，青木一泰，吉田俊博，金 成鎮，勝村豊三，野口 博，金川 進，
尾見康夫，宮崎 靖，松村 明，能勢忠男：
急性期虚血性脳疾患における MRI-DWI と CT-Perfusion。
第26回茨城県救急医学会(水戸)，9月7日，2002
- No. 54 Matsushita A, Yamamoto T, Matsumura A, Nose T, Yamamoto K, Kumada H,
Torii Y, Kashimura T, Ohtake S：
An application to intraoperative BNCT using epithermal neutron of new JRR-4
mode "Epi-12".
Tenth International Congress in Neutron Capture Therapy.
(Essen, Germany)，9.8-13，2002

- No. 55 Yamamoto T, Matsumura A, Yamamoto K, Kumada H, Torii Y, Endo K, Matsushita A, Shibata Y, Nose T :
Comparison of patient brain dose measurements and the JCDS calculation.
Tenth International Congress in Neutron Capture Therapy.
(Essen, Germany), 9.8-13, 2002
- No. 56 Endo K, Matsumura A, Yamamoto T, Nose T, Yamamoto K, Kumada H, Kishi T, Torii Y, Kashimura T, Ohtake S :
Comparison of dosimetry by the realistic patient head phantom and by the patient's brain, and the JCDS calculation — a clinical dosimetry study.
Tenth International Congress in Neutron Capture Therapy.
(Essen, Germany), 9.8-13, 2002
- No. 57 Yamamoto K, Kumada H, Torii Y, Kishi T, Yamamoto T, Matsumura A :
Simple estimation method of gamma-ray dose using low neutron-sensitive TLD (UD-170LS) for intra-operative boron neutron capture therapy (IOBNCT).
Tenth International Congress in Neutron Capture Therapy.
(Essen, Germany), 9.8-13, 2002
- No. 58 Kumada H, Matsumura A, Nakazawa Y, Yamamoto T, Yamamoto K, Torii Y :
Verification of the JAERI computational dosimetry system for neutron capture therapy.
Tenth International Congress in Neutron Capture Therapy.
(Essen, Germany), 9.8-13, 2002
- No. 59 Yamamoto T, Matsumura A, Yamamoto K, Kumada H, Hori N, Torii Y, Endo K, Matsushita A, Yoshida F, Shibata Y, Nose T :
In-air radiobiological dosimetry of JRR-4 neutron beams for boron neutron capture therapy.
Tenth International Congress in Neutron Capture Therapy.
(Essen, Germany), 9.8-13, 2002
- No. 60 Zhang T, Matsumura A, Yamamoto T, Yoshida F, Sakurai Y, Kobayashi T, Ono K, Nose T :
A comparison of in Vivo Gd-NCT trial by using two targeting compounds: Gd-BOPTA and Gd-DTPA.
Tenth International Congress in Neutron Capture Therapy.
(Essen, Germany), 9.8-13, 2002
- No. 61 Zhang T, Matsumura A, Yamamoto T, Yoshida F, Sakurai Y, Kumada H, Yamamoto K, Nose T :
A combination use of boron and gadolinium compounds in In Vitro NCT trial.
Tenth International Congress in Neutron Capture Therapy.
(Essen, Germany), 9.8-13, 2002

- No. 62 Yoshida F, Matsumura A, Shibata Y, Yamamoto T, Zhang T, Nakauchi H, Okumura M, Nose T :
Chronological changes of boron uptake and its relationship to the cell cycle. An In Vitro study of different cell lines.
Tenth International Congress in Neutron Capture Therapy.
(Essen, Germany), 9.8-13, 2002
- No. 63 Shibata Y, Matsumura A, Yamamoto T, Akutsu H, Yasuda S, Nakai K, Nose T, Yamamoto K, Kumada H, Hori N, Ohtake S :
The prediction of boron concentrations in blood for patients of boron neutron capture therapy (2nd report).
Tenth International Congress in Neutron Capture Therapy.
(Essen, Germany), 9.8-13, 2002
- No. 64 Matsumura A, Yamamoto T, Shibata Y, Nakai K, Zhang T, Matsushita A, Takano S, Endo K, Akutsu H, Yamamoto K, Kumada H, Torii Y, Mizutani T, Takahashi H, Toyooka H, Nose T :
Intraoperative boron neutron capture therapy using thermal/epithermal mixed beam.
Tenth International Congress in Neutron Capture Therapy.
(Essen, Germany), 9.8-13, 2002
- No. 65 Nakai K, Matsumura A, Yamamoto T, Shibata Y, Zhang T, Akutsu H, Matsuda M, Matsushita A, Yasuda S, Takano S, Nose T, Yamamoto K, Kumada H, Torii Y :
Failure pattern in the patients who underwent intraoperative boron neutron capture therapy (IOBNCT).
Tenth International Congress in Neutron Capture Therapy.
(Essen, Germany), 9.8-13, 2002
- No. 66 阿武 泉, 松村 明, 磯辺智範, 新津 守, 板井悠二, 能勢忠男, 吉澤 卓 :
拡散強調画像で低信号輝度を呈した脳腫瘍の信号輝度と hemosiderin 量の考察.
第30回日本磁気共鳴医学会大会(東京), 9月12-14日, 2002
- No. 67 磯辺智範, 松村 明, 阿武 泉, 坂本規彰, 吉澤 卓, 板井悠二, 能勢忠男 :
Proton MRS で特徴的な所見が得られた hemangioblastoma の1例.
第30回日本磁気共鳴医学会大会(東京), 9月12-14日, 2002
- No. 68 Nishizawa K, Moritake T, Iwai K, Matsumaru Y, Tsuboi K, Maruyama T :
The experience in dose measurement of IVR with glass dosimeter system
The 3rd Korea-Japan joint meeting of Medical Physics,
(Korea), 9.26-28, 2002
- No. 69 石川栄一, 坪井康次, 西條 薫, 原田英樹, 高野晋吾, 能勢忠男, 大野忠夫 :
再発悪性神経膠腫に対するナチュラルキラー細胞療法の経験
第61回日本癌学会(東京), 10月, 2002
- No. 70 亀崎高夫, 谷中清之, 永瀬宗重, 藤田桂史, 加藤徳之, 能勢忠男 :
くも膜下出血後の脳血管攣縮の予知. 一髄液過酸化脂質測定の意義一.
第3回茨城血管疾患研究会(つくば), 10月2日, 2002

- No. 71 松丸祐司, 能勢忠男, 園部 眞, 中居康展, 兵頭明夫, 岡崎匡夫, 安田 貢, 鯨岡祐司, 塚田篤郎, 佐藤博明, 松木孝之:
破裂脳動脈瘤に対する血管内治療の中長期再破裂予防効果
第61回日本脳神経外科学会総会(松本), 10月2-4日, 2002
- No. 72 安田 貢, 松田真秀, 青木一泰, 谷中清之, 能勢忠男:
頸椎前方固定術における Hybrid Hydroxyapatite の使用経験.
第61回日本脳神経外科学会総会(松本), 10月2-4日, 2002
- No. 73 松田和郎, 加藤徳之, 小松洋治, 松村 明, 谷中清之, 能勢忠男:
L-dopa 投与により外傷後植物症から回復した症例の検討.
第61回日本脳神経外科学会総会(松本), 10月2-4日, 2002
- No. 74 高野晋吾, 坪井康次, 松村 明, 石川栄一, 阿久津博義, 松下 明, 能勢忠男:
悪性グリオーマに対する PAV (Procarbazine, ACNU, Vincristine) 療法の効果.
第61回日本脳神経外科学会総会(松本), 10月2-4日, 2002
- No. 75 益子良太, 高野晋吾, 室井 愛, 伴野悠士, 能勢忠男:
下垂体卒中の臨床病理学的検討.
第61回日本脳神経外科学会総会(松本), 10月2-4日, 2002
- No. 76 安田 貢, 松田真秀, 青木一泰, 松村 明, 谷中清之, 能勢忠男, 岡崎匡雄, 青木 司, 佐藤直昭, 柳田利晴:
頸椎前方固定術における Hybrid Hydroxyapatite Ceramics の使用経験.
第61回日本脳神経外科学会総会(松本), 10月2-4日, 2002
- No. 77 松村 明, 山本哲哉, 柴田 靖, 熊田博明, 山本和喜, 中井 啓, 遠藤 聖, 高野晋吾, 安田 貢, 阿久津博義, 松下 明, 山田 隆, 水谷太郎, 高橋 宏, 豊岡秀訓, 能勢忠男:
新しい医療用原子炉と線量評価システムを用いた熱外中性子による中性子捕捉療法の治療成績.
第61回日本脳神経外科学会総会(松本), 10月2-4日, 2002
- No. 78 遠藤 聖, 鶴淵隆夫, 大石英則, 辻 理, 山本哲哉, 松村 明, 能勢忠男, 山本和喜, 熊田博明, 鳥居義也:
患者モデルファントムにおける脳表面熱中性子束分布測定と比較.
第61回日本脳神経外科学会総会(松本), 10月2-4日, 2002
- No. 79 山本和喜, 熊田博明, 岸 敏明, 堀 直彦, 山本哲哉, 柴田 靖, 松村 明, 能勢忠男:
ホウ素中性子捕捉療法における悪性神経膠腫患者の照射前血液データからの照射中ホウ素濃度の推定.
第61回日本脳神経外科学会総会(松本), 10月2-4日, 2002
- No. 80 山本哲哉, 山本和喜, 熊田博明, 松村 明, 能勢忠男, 松下 明, 阿久津博義, 中井 啓, 遠藤 聖:
熱外中性子による中性子捕捉療法—悪性グリオーマ臨床例を用いた線量シミュレーション.
第61回日本脳神経外科学会総会(松本), 10月2-4日, 2002

- No. 81 木村 泰, 松村 明, 高野晋吾, 安田 貢, 鮎澤 聡, 坪井康次, 山本哲哉, 張 天, 能勢忠男:
5-ALA による悪性グリオーマの術中蛍光診断の有用性の検討—術中所見と病理組織検体の対比—.
第61回日本脳神経外科学会総会(松本), 10月2-4日, 2002
- No. 82 松下 明, 松村 明, 磯部智範, 能勢忠男, 阿武 泉, 板井悠二:
術前における Functional MRI による運動野, 言語野の同定.
第61回日本脳神経外科学会総会(松本), 10月2-4日, 2002
- No. 83 片山 亘, 松村 明, 高野晋吾, 武田 徹, 磯部智範, 阿武 泉, 板井悠二, 能勢忠男:
脳腫瘍における TI, MIBI-SPECT および1H-MRS の比較検討.
第61回日本脳神経外科学会総会(松本), 10月2-4日, 2002
- No. 84 松田和郎, 加藤徳之, 木村 泰, 小松洋治, 松村 明, 谷中清之, 能勢忠男:
L-dopa の投与により外傷後植物症から回復した症例の検討.
第61回日本脳神経外科学会総会(松本), 10月2-4日, 2002
- No. 85 岡崎匡雄, 益子良太, 野口昭三, 松村 明, 能勢忠男:
変形性頸椎症における C3/4椎間病変の腱反射所見.
第61回日本脳神経外科学会総会(松本), 10月2-4日, 2002
- No. 86 熊田博明, 山本和喜, 鳥居義也, 松村 明, 山本哲哉, 能勢忠男, 中川義信:
術中ホウ素中性子捕捉療法 (IO-BNCT) のための治療計画作成システムの開発.
第61回日本脳神経外科学会総会(松本), 10月2-4日, 2002
- No. 87 坪井康次, 石川栄一, 能勢忠男, 大野忠夫, 西條 薫:
悪性神経膠腫に対する自家 CTL による細胞免疫療法
第61回日本脳神経外科学会総会(松本), 10月2-4日, 2002
- No. 88 安田 貢, 勝村豊三, 吉田俊博, 金川 進, 尾見康夫, 宮崎 靖, 青柳雅彦, 松村 明, 能勢忠男:
CT perfusion 解析における高速演算アルゴリズムの臨床評価.
第30回日本放射線技術学会秋季大会(松江), 10月17-19日, 2002
- No. 89 坂本規彰, 高野晋吾, 松下 明, 能勢忠男:
嘔気, 嘔吐で発症した中枢神経サルコイドーシスの1例.
第24回茨城県脳神経外科集談会(水戸), 10月27日, 2002
- No. 90 伊藤嘉朗, 井原 哲, 坪井康次, 能勢忠男:
著明な脊髄の萎縮を伴ったキアリ奇形の1例
第88回日本脳神経外科学会関東地方会, (東京), 11月, 2002
- No. 91 Matsumaru Y, Sonobe M, Nakai K, Hyodo A, Nose T:
Embolization of Aneurysms Harboring Blebs
5th Asian and Australasian Federation of Interventional and
Therapeutic Neuroradiology (AAFITN)
(Hong Kong), Nov. 2002
- No. 92 高野晋吾, 坪井康次, 松村 明, 能勢忠男:
Pineal embryonal carcinoma in a middle aged man.
野村班・松谷班合同班会議 (がんセンター), 11月9日, 2002

- No. 93 石川栄一, 坪井康次, 西條 薫, 高野晋吾, 能勢忠男, 大野忠夫:
再発悪性神経膠腫に対するナチュラルキラー細胞療法の治療成績
第20回日本脳腫瘍学会(熊本), 11月16-17日, 2002
- No. 94 石川栄一, 坪井康次, 高野晋吾, 能勢忠男, 大野忠夫:
悪性脳腫瘍細胞に対するナチュラルキラー細胞と樹状細胞の相互作用に関する基礎的研究
第20回日本脳腫瘍学会(熊本), 11月16-17日, 2002
- No. 95 高野晋吾, 坪井康次, 松村 明, 石川栄一, 能勢忠男:
グリオーマにおける可溶性 VEGF レセプター (sFlt-1) の役割.
第20回日本脳腫瘍学会(熊本), 11月16-17日, 2002
- No. 96 松村 明, 吉田文代, 山本哲哉, 柴田 靖, 高野晋吾, 能勢忠男:
中性子捕捉療法改善のための細胞周期による種々のホウ素化合物取り込みの検討.
第20回日本脳腫瘍学会(熊本), 11月16-17日, 2002
- No. 97 盛武 敬, 坪井康次, 能勢忠男:
膠芽腫細胞のニトロキシド還元速度と放射線感受性に関する研究
第20回日本脳腫瘍学会(熊本), 11月16-17日, 2002
- No. 98 Akutsu H, Takano S, Yoshii Y, Sato H, Nose T:
Clinical cure of metastatic cancer to the brain.
1st meeting of Asian Society for Neuro-Oncology
(Kumamoto), 11.16-17, 2002
- No. 99 Takano S, Tsuboi K, Matsumura A, Akutsu H, Nose T:
Surgical resection of posterior fossa metastasis.
1st meeting of Asian Society for Neuro-Oncology
(Kumamoto), 11.16-17, 2002
- No.100 Kimura H, Matsumura A, Takano S, Tsuboi K, Tadao Nose:
Investigation of the usefulness of intraoperative photo dynamic diagnosis of malignant gliomas by 5-aminolevulinic acid.
First Meeting of the Asian Society for Neuro-Oncology
(Kumamoto), 11.18-20, 2002
- No.101 高野晋吾, 伊藤嘉朗, 阿久津博義, 松村 明, 能勢忠男, 三木 保:
神経内視鏡で診断した脳室内播種で発症した low grade astrocytoma.
第9回神経内視鏡学会(東京), 11月29日, 2002
- No.102 松丸祐司, 佐藤博明, 岡崎匡夫, 亀崎高夫, 塚田篤郎, 能勢忠男, 中居康展, 滝川知司, 園部 眞:
脳動脈瘤塞栓術後の再治療例の検討
第18回日本脳神経血管内治療学会(沖縄), 12月, 2002
- No.103 松丸祐司, 佐藤博明, 亀崎高夫, 塚田篤郎, 安田 貢, 中村和弘, 鶴田和太郎, 能勢忠男:
Detachable balloon による血管閉塞
第18回日本脳神経血管内治療学会(沖縄), 12月, 2002

- No.104 中村和弘, 松丸祐司, 長友 康, 亀崎高夫, 能勢忠男:
外傷性外頸動静脈瘻の1例
第18回日本脳神経血管内治療学会(沖縄), 12月, 2002
- No.105 坂本規彰, 松丸祐司, 益子良太, 能勢忠男:
塞栓術後シャントが閉塞したにもかかわらず症状が悪化した脊髓硬膜動静脈瘻の1例
第18回日本脳神経血管内治療学会(沖縄), 12月, 2002
- No.106 松田真秀, 安田 貢, 松丸祐司, 能勢忠男:
椎骨動脈解離性動脈瘤の1血管内手術例 ～術中破裂, 末梢塞栓に対するバルーンカテーテルの併用～
第18回日本脳神経血管内治療学会(沖縄), 12月, 2002
- No.107 佐藤博明, 片山 亘, 中井 啓, 藤本礼尚, 角田 孝, 小林栄喜, 鶴田和太郎, 松丸祐司, 能勢忠男:
頭蓋内血管に対するステントを併用した血管形成
第18回日本脳神経血管内治療学会(沖縄), 12月, 2002
- No.108 井原 哲, 高野晋吾, 坂本規彰, 福島 敬, 榎本貴夫:
Primary angitis of the CNS の1例.
第4回牧豊メモリアルカンファレンス(つくば), 12月7日, 2002
- No.109 伊藤嘉朗, 井原 哲, 高野晋吾, 福島 敬, 榎本貴夫:
ステロイドパルス療法が奏功した基底核部腫瘍の1例.
第4回牧豊メモリアルカンファレンス(つくば), 12月7日, 2002
- No.110 高田智也, 井原 哲, 高野晋吾, 榎本貴夫:
Holoprosencephaly に対するシャント術の効果—2例報告—.
第4回牧豊メモリアルカンファレンス(つくば), 12月7日, 2002
- No.111 阿久津博義, 高野晋吾, 伊藤嘉朗, 坪井康次, 松村 明, 能勢忠男:
primary leptomeningeal gliomatosis の1例.
第24回ニューロオンコロジーの会(東京), 12月14日, 2002
- No.112 松村 明, 磯部智範, 高野晋吾, 坪井康次, 木村 泰, 山本哲哉, 松下 明, 石川栄一, 能勢忠男:
MRI, MRS, 蛍光診断による摘出術改善について.
第24回ニューロオンコロジーの会(東京), 12月14日, 2002
- No.113 坪井康次, 石川栄一, 鶴嶋英夫, 高野晋吾, 松村 明, 能勢忠男, 西條 薫, 大野忠夫:
悪性脳腫瘍に対する治療戦略—免疫療法の有効性と問題点—.
第24回ニューロオンコロジーの会(東京), 12月14日, 2002

講演・シンポジウム

- No. 1 鯨岡裕司:
閉塞性脳血管障害における eZIS 応用の試み.
脳 SPECT 解析講演会—新しい脳機能画像解析診断にむけて—, 2002

- No. 2 盛武 敬, 坪井康次, 安西和紀, 安藤興一, 能勢忠男:
 神経膠腫細胞に対する重粒子線照射によって生じるラジカル反応の基礎的研究
 ESR analysis for OH radicals in the aqueous solution containing
 human glioma cell line U87MG irradiated with heavy ions
 平成13年度放射線医学総合研究所
 重粒子線癌治療装置等共同利用研究報告書,
 (千葉), 4月8-9日, 2002
- No. 3 高野晋吾, 坪井康次, 松村 明, 吉井與志彦, 能勢忠男:
 シンポジウム「悪性脳腫瘍の長期生存例」. 腫瘍出血をきたし20年間再発しない Glioblastoma の1例.
 第20回日本脳腫瘍病理学会, 広島国際会議場(広島),
 5月10-11日, 2002
- No. 4 高野晋吾, 坪井康次, 松村 明, 能勢忠男:
 シンポジウム「剖検から学ぶ脳腫瘍病理. 21世紀剖検はわれわれに何を教えてくれるか」. Glioblastoma の invading front での血管構築と VEGF 発現. 剖検脳での検討.
 第20回日本脳腫瘍病理学会, 広島国際会議場(広島),
 5月10-11日, 2002
- No. 5 松丸祐司:
 平成14年度社会保険指導者習会伝達講習会
 出血性脳卒中の病態と治療(水戸), 6月22日, 2002
- No. 6 松丸祐司:
 第4回茨城血管内治療カンファレンス
 虚血性脳血管障害に対する血管内治療(つくば), 9月7日, 2002
- No. 7 松村 明:
 悪性神経膠腫の治療成績改善を目指した集学的治療. 一中性子捕捉療法を中心に.
 日本原子力研究所東海研究所第949回金曜セミナー(東海),
 11月1日, 2002
- No. 8 松村 明:
 Proton MR Spectroscopy を用いた脳循環・代謝の研究とその臨床応用.
 筑波大学特別プロジェクト
 「動的脳機能とこころのアメニティープロジェクト」シンポジウム.
 筑波大学会館, 特別会議室(つくば), 11月26日, 2002

2002 (腎泌尿器外科グループ)

原 著

- No. 1 Akaza H, Miyanaga N :
Developing therapies for advanced bladder cancer Expert Opin.
Investig. Drugs 11(1) : 109-115, 2002
- No. 2 Niimi M, Yamamoto S, Fukuda H, Ishizuka N, Akaza H :
The influence of handling censored data on estimating progression-free survival
in cancer clinical trials (JCOG9913-A)
Jpn J Clin Oncol 32(1) : 19-26, 2002
- No. 3 Ikeda N, Toida I, Iwasaki A, Kawai K, Akaza H :
Surface antigen expression on bladder tumor cells induced by bacillus Calmette-
Guerin (BCG): A role of BCG internalization into tumor cells
Int J Urol 9 : 29-35, 2002
- No. 4 Ohashi Y, Nakai S, Tsukamoto T, Masumori N, Akaza H, Miyanaga N, Kitamura T,
Kawabe K, Kotake T, Kuroda M, Naito S, Koga H, Saito Y, Nomata K, Kitagawa M,
Aso Y :
Habitual intake of lactic acid bacteria and risk reduction of bladder cancer
Urol Int 68 : 273-280, 2002
- No. 5 Shimazui T, Ami Y, Miyanaga N, Ideyama Y, Nakahara T, Akaza H :
Telomerase is upregulated in irreversible preneoplastic lesions during bladder
carcinogenesis in rats
Jpn J Cancer Res, 93 : 495-500, 2002
- No. 6 Iwasaki A, Kawai K, Hayashi H, Ikeda N, Toida I, Ohtani M, Akaza H :
Immunological protection induced by bacillus Calmette-Guerin treatment in a
murine bladder tumor model
Int J Urol 9 : 219-224, 2002
- No. 7 Takahashi T, Kushiro A, Nomoto K, Uchida K, Morotomi M, Yokokura T, Akaza H :
[Letters to the Editor] RE: Antitumor effects of the intravesical instillation of
heat killed cells of the lactobacillus casei strain shirota on the murine orthotopic
bladder tumor MBT-2
J Urol 168 : 199-200, 2002
- No. 8 Akaza H, for the study group supported by ministry of education, science, sports, and
culture, Japan :
Role of dietary factor in prostate cancer, considerations on a nationwide case-
control study: a case-controlled study of serum soy beans isoflavones concentra-
tion; daidzein non-metabolizer is a high risk for prostate cancer
Int J Urol 9(supl.) : A3, 2002

- No. 9 Akaza H, Miyanaga N, Takashima N, Naito S, Hirao Y, Tsukamoto T, Mori M :
Is daidzein non-metabolizer a high risk for prostate cancer? A case-controlled study of serum soybean isoflavone concentration
Jpn J Clin Oncol, 32(8) : 296-300, 2002
- No. 10 Onozawa M, Endo F, Suetomi T, Takeshima H, Akaza H :
Clinical study of varicocele: Statistical analysis and the results of long-term follow-up
Int J Urol 9 : 455-461, 2002
- No. 11 Akaza H, Naito S, Cheng C, Kaisary A, Soebadi DM, Umbas R, Esuvaranathan K, Gu FL, Zhou L, Hong SJ, Kim WJ, Lee SE, Rim JS, Song JM, Yoon JH, Chang SJ, Huang CH, Yang CR, Hirao Y, Murai M, Tsukamoto T, Usami M :
Asian Trends in Prostate Cancer Hormone Therapy
Jpn J Cancer Chemother, 29(11) : 1951-1961, 2002
- No. 12 Kawai K, Tani K, Yamashita N, Tomikawa S, Eriguchi M, Fujime M, Okumura K, Kakizoe T, Clift S, Ando D, Mulligan R, Yamauchi A, Noguchi M, Asano S, Akaza H :
Advanced renal cell carcinoma treated with granulocyte-macrophage colony-stimulating factor gene therapy: A clinical course of the first Japanese experience
Int J Urol 9 : 462-466, 2002
- No. 13 Miyazaki J, Ba-Thein W, Kumao T, Akaza H, Hayashi H :
Identification of a type III secretion system in uropathogenic Escherichia coli
FEMS Microbiology Letters, 212 : 221-228, 2002
- No. 14 Miyazaki J, Ba-Thein W, Kumao T, Yasuoka MO, Akaza H, Hayashi H :
Type 1, P and S fimbriae, and afimbrial adhesin I are not essential for uropathogenic Escherichia coli to adhere to and invade bladder epithelial cells
FEMS Immunology and Medical Microbiology, 33 : 23-26, 2002
- No. 15 Shimazui T, Akaza H :
Current status of molecular markers in relation to metastasis and prognosis in renal cell carcinoma
Recent Res. Devel. Cancer 4 : 625-634, 2002
- No. 16 Tsukamoto S, Ishikawa S, Tsutsumi M, Nakajima K, Sugahara S :
An organ-sparing treatment using combined Intra-arterial chemotherapy and Radiotherapy for muscle-invading bladder carcinoma
Scand J Urol Nephrol 36 : 339-43, 2002
- No. 17 Shiga Y, Suzuki K, Tsutsumi M, Ishikawa S, Gotoh M, Shimokama T, Hattori K :
Renal oncocytomatosis in a long-term hemodialysis patient treated by laparoscopic surgery
Int. J. Urol. 9 : 646-649, 2002
- No. 18 宮永 直人, 馳澤 憲二, 塚本 定, 服部 一紀, 河合 弘二, 島居 徹, 内田 克紀, 武島 仁, 大原 潔, 秋根 康之, 赤座 英之 :
前立腺癌に対する陽子線治療の経験
泌尿器外科 15(8) : 955-958, 2002

- No. 19 福原 喜春, 小野澤瑞樹, 服部 一紀, 島居 徹, 赤座 英之, 中條 弘隆:
後腹膜鏡下に摘出した腎リンパ管腫の1例
Japanese Journal of Endourology and ESWL 15(2):103, 2002
- No. 20 小島 崇宏, 小野澤瑞樹, 宮崎 淳, 塚本 定, 宮永 直人, 島居 徹, 赤座 英之:
経皮的碎石術により摘除したインディアナパウチ内結石の経験
Japanese Journal of Endourology and ESWL 15(2):121, 2002
- No. 21 赤倉功一郎, 赤座 英之, 秋元 晋, 五十嵐辰男, 井坂 茂夫, 伊藤 晴夫,
垣添 忠生, 兼平 千裕, 河合 恒雄, 香村 衡一, 直居 豊, 畠 亮, 原田 正興,
藤目 真, 丸岡 正幸, 柳下 次雄, 森田 新六, 辻 比呂志, 辻井 博彦, 島崎 淳:
前立腺癌に対する重粒子線治療
泌尿器外科 15(8):865-868, 2002
- No. 22 赤座 英之, 大橋 靖雄, 島田 安博, 池田 正, 西條 長宏, 磯西 成治,
平尾 佳彦, 鶴尾 隆, 塚越 茂, 曾根 三郎, 中村 清吾, 加藤 益弘, 三上 修,
von Euler M, Blackledge G, Milsted B, Vose B:
市販後臨床試験
Jpn J Cancer Chemother 29(11):2037-2048, 2002
- No. 23 久松 英治, 直井 牧人, 太田 智則, 塚本 定, 島居 徹, 武島 仁, 赤座 英之:
大伏在静脈を用いてパッチ形成術を施行した Peyronie 病の1例,
泌尿紀要 48(5):285-288, 2002
- No. 24 性感染症サーベイランス研究班(班長 熊本 悦明), 熊本 悦明, 塚本 泰司,
利部 輝雄, 赤座 英之, 野口 昌良, 高杉 豊, 守殿 貞夫, 碓井 亜, 香川 征,
内藤 誠二, 簗輪 眞澄, 谷畑 健生, 澤畑 一樹:
日本における性感染症 (STD) サーベイランスー2001年度調査報告ー
日本性感染症学会誌 13(2):147-167, 2002
- No. 25 小磯 謙吉, 赤座 英之, 内藤 誠二, 宇佐美道之, 塚本 泰司, 島崎 淳,
古武 敏彦, 山中 英壽, 大橋 靖雄, 吉中 亮治, 小野内仁志, 横川 潔:
前立腺癌(既治療例)に対する3ヶ月徐放性 LH-RH agonist, TAP-144-SR (3M)
(リュープリン SR 注射用キット11.25) の臨床効果の検討
泌尿紀要, 48:781-795, 2002
- No. 26 島崎 淳, 赤倉功一郎, 赤座 英之, 秋元 晋, 五十嵐辰男, 井坂 茂夫, 伊藤 晴夫,
垣添 忠生, 兼平 千裕, 香村 衡一, 畠 亮, 原田 昌興, 藤目 真,
丸岡 正幸, 柳下 次雄, 森田 新六, 辻 比呂志, 辻井 博彦:
前立腺癌に対する重粒子線治療を評価するフェイズ I/II臨床試験研究(9703)
重粒子線がん治療臨床試験報告書 3:21-36, 2002

総説

No. 1 Akaza H :

Is it possible to detect the "initiated cells" that are pre-malignant cells of transitional cell cancer of the urinary bladder? Telomerase is up-regulated in irreversible preneoplastic lesions during bladder carcinogenesis in rats:

Asian Urology(Urological Association of Asia Newsletter)

August : 23-24, 2002

No. 2 塚本 定, 赤座 英之 :

癌治療に伴う副作用対策—QOL 向上のために「腎不全救済の必要性」

癌治療と宿主 14(4) : 339-345, 2002

No. 3 赤座 英之, 相羽 恵介, 磯西 成治, 池田 正, 大橋 靖雄, 河合 弘二,
西條 長宏, 佐伯 俊昭, 曾根 三郎, 塚越 茂, 鶴尾 隆, 朴 成和, 加藤 益弘,
三上 修, Blackledge G, Stribling D :

特別寄稿 癌治療における国際化

Jpn J Cancer Chemother 29(2) : 205-214, 2002

No. 4 宮永 直人, 赤座 英之 :

〈ベッドサイド検査の実際〉排泄時膀胱尿道造影

臨床泌尿器科 56(4) : 74-77, 2002

No. 5 宮永 直人, 赤座 英之 :

特集 “高齢者の腎尿路疾患とその管理” 高齢者の疾患管理—悪性腫瘍：前立腺癌，膀胱癌，腎癌

腎と透析, 52(3) : 306-310, 2002

No. 6 宮永 直人, 塚本 定, 服部 一紀, 河合 弘二, 島居 徹, 内田 克紀, 赤座 英之 :
特集 化学・放射線療法—泌尿器がんの化学・放射線療法

Jpn J Cancer Chemother 29(5) : 709-716, 2002

No. 7 赤座 英之, 宮永 直人 :

特別寄稿 抗がん剤適正使用のガイドライン(案) 泌尿器がん

Jpn J Cancer Chemother 29(6) : 1055-1064, 2002

No. 8 樋之津淳子, 宮永 直人, 赤座 英之 :

特別寄稿 癌治療における有害反応対策 がん治療における QOL の意義

Jpn J Cancer Chemother 29(7) : 1319-1324, 2002

No. 9 樋之津史郎, 赤座 英之 :

メタアナリシスと EBM

Jpn J Cancer Chemother 29(10) : 1705-1710, 2002

No. 10 赤座 英之 :

腎細胞癌臨床の新展開—はじめに—

Jpn J Cancer Chemother 29(10) : 1711, 2002

No. 11 河合 弘二, 赤座 英之 :

各臓器がんに対する抗腫瘍薬の使い方—7. 前立腺がん・精巣腫瘍

臨床医 28(7) : 1701-1704, 2002

- No. 12 島居 徹, 内田 克紀, 武島 仁, 赤座 英之:
私の行っている縫合と吻合の手技・2 パウチ形成
—Indiana pouch 造設における工夫—
臨泌 12:1029-1033, 2002
- No. 13 宮永 直人, 赤座 英之:
前立腺疾患の臨床 —良性疾患から前立腺癌まで—
前立腺癌 内分泌療法 —臨床評価と課題—
長期デポ製剤の特徴・効果・副作用とその対策
日本臨床 60(11):177-181, 2002
- No. 14 赤座 英之:
前立腺癌の新しいマーカー:TGF- β
Current Literature Review 9(4):5-7, 2002
- No. 15 塚本 定, 赤座 英之:
増刊・腎疾患治療薬マニュアル2002-2003:腎疝痛
腎と透析 53:102-105, 2002
- No. 16 樋之津史郎, 赤座 英之:
特集・泌尿器科領域の薬の使い方:膀胱腫瘍(腎盂・尿管)
クリニカ 30(1):40-44, 2003
- No. 17 樋之津史郎, 赤座 英之:
特集・日本における比較臨床試験の成績:泌尿器
癌と化学療法 29(9):1549-1569, 2002
- 著 書
- No. 1 高久 史麿, 水島 裕, 赤座 英之:
今日の処方(改訂第3版):泌尿器科領域悪性腫瘍
南江堂:394-397, 2002
- No. 2 多賀須幸男, 尾形 悦郎, 赤座 英之:
今日の治療指針:膀胱腫瘍
医学書院:702-703, 2002
- No. 3 関戸 哲利, 赤座 英之:
専門医を目指すケース・メソッド・アプローチ 6 腎臓疾患:
尿蛋白陽性の18歳女子高校生
北本 清編
日本医事新報社:127-141, 2002
- No. 4 赤座 英之, 菱田 明(責任編集):
今日の診断指針<第5版>:9. 腎・泌尿器系の症候
亀山 正邦, 高久 史麿(総編集)
医学書院:426-461, 2002

No. 5 宮永 直人:

今日の診断指針〈第5版〉: 泌尿器・男性性器疾患
腫瘍マーカーからみた尿路性器癌の診断

亀山 正邦, 高久 史麿 (総編集)

医学書院: 1556-1558, 2002

No. 6 宮永 直人, 赤座 英之:

日本臨床増刊号 前立腺疾患の臨床 ー良性疾患から前立腺癌までー
II 前立腺癌 内分泌療法 ー臨床評価と課題ー
長期デボ製剤の特徴・効果・副作用とその対策

日本臨床社: 177-181, 2002

No. 7 赤座 英之 (編集):

MELISSA Oncology, Special Issue 2002 「Urogenital Cancer」

エクセプタ・メディカ: 2002

学会発表

No. 1 河合 弘二, 谷 憲三郎, 山内 敦, 赤座 英之, 浅野 茂隆:

腎細胞癌に対する免疫遺伝子治療を施行した1例

第11回茨城がん学会(つくば), 2月, 2002

No. 2 福原 喜春, 大森 洋平, 川添 夏衣, 小峯 学, 服部 一紀, 河合 弘二, 島居 徹,
赤座 英之, 高田 泰次:

副腎腫瘍との鑑別が困難であった肝外発育型肝細胞癌の症例

第51回日本泌尿器科学会茨城地方会(つくば), 3月, 2002

No. 3 大森 洋平, 川添 夏衣, 福原 喜春, 小峯 学, 常楽 晃, 塚本 定, 宮永 直人,
島居 徹, 赤座 英之, 菊池 孝治, 久松 英治:

心房直下に達する下大静脈腫瘍内血栓を伴う左腎腫瘍の1例

第51回日本泌尿器科学会茨城地方会(つくば), 3月, 2002

No. 4 川添 夏衣, 福原 喜春, 大森 洋平, 小峯 学, 内田 克紀, 塚本 定, 島居 徹,
赤座 英之, 近藤 福次:

乳児精巣腫瘍の1例

第51回日本泌尿器科学会茨城地方会(つくば), 3月, 2002

No. 5 本間 之夫, 赤座 英之, 岡田 清己, 横山 正夫, 宇佐美道之, 平尾 佳彦,
津島 知靖, 坂本 穆彦, 大橋 靖雄, 阿曾 佳郎:

Stage A2, B, C 前立腺癌に対する Neoadjuvant hormone therapy の効果
ー治療5年後の検討

第90回日本泌尿器科学会総会(東京), 4月, 2002

No. 6 本間 之夫, 赤座 英之, 岡田 清己, 横山 正夫, 宇佐美道之, 平尾 佳彦,
津島 知靖, 坂本 穆彦, 大橋 靖雄, 阿曾 佳郎:

内分泌療法を行なう Stage A2, B, C 前立腺癌における前立腺全摘術の意義

第90回日本泌尿器科学会総会(東京), 4月, 2002

- No. 7 赤座 英之, 本間 之夫, 岡田 清己, 横山 正夫, 宇佐美道之, 平尾 佳彦,
津島 知靖, 大橋 靖雄, 阿曾 佳郎:
Stage A2, B, C 前立腺癌に対する LHRH agonist と chlormadinone acetate 併用療法
第90回日本泌尿器科学会総会(東京), 4月, 2002
- No. 8 及川 剛宏, 河合 弘二, 西條 薫, 福原 喜春, 末富 崇弘, 塚本 定, 島居 徹,
大野 忠夫, 赤座 英之:
腎摘除後に転移巣の退縮をきたした腎癌症例における免疫学的解析
第90回日本泌尿器科学会総会(東京), 4月, 2002
- No. 9 末富 崇弘, 武島 仁, 塚本 定, 宮永 直人, 服部 一紀, 河合 弘二, 島居 徹,
内田 克紀, 赤座 英之:
視聴覚性刺激試験 (AVSS) を使用したシルデナフィルの有効性に関する検討
第90回日本泌尿器科学会総会(東京), 4月, 2002
- No. 10 荒木 彰弘, 宮永 直人, 塚本 定, 服部 一紀, 河合 弘二, 島居 徹, 内田 克紀,
赤座 英之:
上部尿路結石症の状態を規定する因子の検討
第90回日本泌尿器科学会総会(東京), 4月, 2002
- No. 11 山本 貴大, 河合 弘二, 小峯 学, 宮永 直人, 服部 一紀, 内田 克紀, 島居 徹,
赤座 英之:
精巣腫瘍導入化学療法における腫瘍マーカー半減期測定の有用性
第90回日本泌尿器科学会総会(東京), 4月, 2002
- No. 12 宮崎 淳, Ba-Thein W, 林 英生, 赤座 英之:
Genomic subtractive hybridization 法を用いた尿路病原性大腸菌の新しい病原因子同定の試み
第90回日本泌尿器科学会総会(東京), 4月, 2002
- No. 13 厨川 謙, 遠藤 瑞木, 直井 牧人, Swellam T, 久松 英治, 宮永 直人, 塚本 定,
服部 一紀, 河合 弘二, 島居 徹, 内田 克紀, 武島 仁, 赤座 英之:
筑波大学附属病院泌尿器科における最近5年間の外来患者統計 (1996年-2000年)
第90回日本泌尿器科学会総会(東京), 4月, 2002
- No. 14 佐々木 明, 菊池 孝治, 赤座 英之:
当科を3年間に受診した男子尿道炎530例について
第90回日本泌尿器科学会総会(東京), 4月, 2002
- No. 15 谷 憲三朗, 中崎 有恒, 長谷 英徳, 高橋 圭介, 會田 泰, 大岩 真希, 前川 平,
東條 有伸, 山下 直秀, 佐藤 典治, 江里口正純, 富川 伸二, 小柳津直樹,
和久本芳彰, 花澤喜三郎, 河合 弘二, 東 みゆき, 濱田 洋文, 垣添 忠生,
奥村 康, 藤目 真, 赤座 英之, Clift S, Ando D, Shirwin S, Mulligan R,
浅野 茂隆:
シンポジウム—第IV期腎癌に対する免疫遺伝子治療臨床研究結果報告
第90回日本泌尿器科学会総会(東京), 4月, 2002

- No. 16 赤座 英之, 薦巢 賢一:
パネルディスカッションー膀胱癌治療における尿路変向の現状と将来
第90回日本泌尿器科学会総会(東京), 4月, 2002
- No. 17 宮永 直人, 赤座 英之:
パネルディスカッションー浸潤性膀胱癌における膀胱温存の現状
第90回日本泌尿器科学会総会(東京), 4月, 2002
- No. 18 小野澤瑞樹, 島居 徹, 荒木 彰弘, 河合 弘二, 宮永 直人, 服部 一紀, 塚本 定,
赤座 英之:
高齢者腎細胞癌の臨床病理学的特徴
第15回老人泌尿器科学会(米子), 5月, 2002
- No. 19 小島 崇宏, 安東 聡, 宮崎 淳, 塚本 定, 樋之津史郎, 河合 弘二, 島居 徹,
赤座 英之:
対側腎に再発した多発性線維性硬化症の1例
第52回日本泌尿器科学会茨城地方会(つくば), 6月, 2002
- No. 20 福原 喜春, 高岡栄一郎, 小野澤瑞樹, 塚本 定, 服部 一紀, 宮永 直人,
河合 弘二, 島居 徹, 赤座 英之, 渡邊 雅彦:
移行上皮癌の神経浸潤による難治性疼痛に対して gemcitabine 療法が著効した1例
第52回日本泌尿器科学会茨城地方会(つくば), 6月, 2002
- No. 21 服部 一紀, 馬淵 麗子, 常楽 晃, 河合 弘二, 赤座 英之:
ラット膀胱炎症モデルにおける膀胱粘膜再生の時間的空間的プロセス
第23回日本炎症再生医学会(東京), 6月, 2002
- No. 22 及川 剛宏, 河合 弘二, 赤座 英之, 西條 薫, 大野 忠夫:
CTL療法が奏功した腎細胞癌症例における臨床経過と免疫学的解析
第30回BCG・BRM療法研究会(東京), 7月, 2002
- No. 23 河合 弘二, 西條 薫, 及川 剛宏, 赤座 英之, 大野 忠夫:
CTL療法を行った腎細胞癌症例における免疫反応
第23回日本炎症・再生医学会(東京), 7月, 2002
- No. 24 宮永 直人, 赤座 英之, 高島 尚美, 内藤 誠二, 平尾 佳彦, 塚本 泰司,
藤岡 知昭, 森 満:
前立腺癌罹患における血中イソフラボン濃度の影響: 症例対照試験
第11回日本腎泌尿器疾患予防医学研究会(東京), 7月, 2002
- No. 25 樋之津史郎, 赤座 英之:
再発形式の臨床的検討からみた表在性膀胱癌の natural history
第29回尿路悪性腫瘍研究会(東京), 7月, 2002
- No. 26 河合 弘二, 岩崎 明郎, 赤座 英之:
BCG療法的作用機序
第29回尿路悪性腫瘍研究会(東京), 7月, 2002

- No. 27 Hattori K, A Joraku, Yamamoto T, Hisamatsu E, Kawai K, Akaza H :
(Unmoderated Poster Session) Bladder reconstruction using a collagen patch pre-embedded within the omentum
26th Congress of the Societe Internationale d'Urologie(Stockholm),
Sep., 2002
- No. 28 Kondo E, Miyanaga N, Akaza H :
(Unmoderated Poster Session) Study of pain assessment using a face scale (pain scale)
26th Congress of the Societe Internationale d'Urologie(Stockholm),
Sep., 2002
- No. 29 Miyazaki M, Ba-Thein W, Hayashi H, Akaza H :
(Podium Session) Identification of a type III secretion system in uropathogenic Escherichia coli
26th Congress of the Societe Internationale d'Urologie(Stockholm),
Sep., 2002
- No. 30 Oikawa T, Saijo K, Kawai K, Ishiwata I, Ohno T, Akaza H :
(Moderated poster session) Induction of potent antitumour natural killer cells from peripheral blood of advanced prostate cancer patients
26th Congress of the Societe Internationale d'Urologie(Stockholm),
Sep., 2002
- No. 31 Yamauchi A, Ohtani M, Ainoya K, Hori M, Itabashi M, Akaza H :
(Moderated poster session) Sequential changes of prostate-specific-antigen (PSA) and pathological efficacy in the prostate cancer patients treated with Mab or Mab plus radiation
26th Congress of the Societe Internationale d'Urologie(Stockholm),
Sep., 2002
- No. 32 Shimazui T, Ami Y, Uchida K, Kawamoto R, Miwa M, Naito S, Akaza H :
(Moderated poster session) Analysis of metastasis related gene using cDNA macroarray in renal cell carcinoma cell lines
26th Congress of the Societe Internationale d'Urologie(Stockholm),
Sep., 2002
- No. 33 Uemura H, Shimazui T, Yoshikawa K, Saga S, Akaza H, Hirao Y :
(Moderated poster session) Detection of MN/CA9/Cadherine-6 positive cells in the renal vein during surgery
26th Congress of the Societe Internationale d'Urologie(Stockholm),
Sep., 2002
- No. 34 Shimazui T, Onozawa M, Araki A, Tsukamoto S, Hattori K, Miyanaga N, Kawai K, Hinotsu S, Akaza H :
Clinico-Pathological characteristics in older patients with renal cell carcinoma.
19th Korea-Japan Urol Cong(Fukuoka), Sep., 2002

- No. 35 小島 崇宏, 岡本 嘉一, 山口 雅之, 宮崎 淳, 宮永 直人, 島居 徹, 斎田 幸久,
赤座 英之:
造影剤アレルギー患者の動注化学療法における炭酸ガス造影の有用性
第67回日本泌尿器科学会東部総会, (幕張), 9月, 2002
- No. 36 荒木 彰弘, 島居 徹, 塚本 定, 宮永 直人, 服部 一紀, 河合 弘二, 内田 克紀,
赤座 英之:
レジデントマニュアルに基づいた腎細胞癌の治療(予後規定因子の解析)
第67回日本泌尿器科学会東部総会(幕張), 9月, 2002
- No. 37 川添 夏衣, 常樂 晃, 福原 喜春, 塚本 定, 宮永 直人, 島居 徹, 赤座 英之,
関戸 哲利:
脊髄動静脈瘻に伴う排尿障害の検討
第67回日本泌尿器科学会東部総会(幕張), 9月, 2002
- No. 38 久松 英治, 河合 弘二, 塚本 定, 服部 一紀, 宮永 直人, 島居 徹, 赤座 英之:
精巣腫瘍化学療法における長期有害反応に関する検討
第67回日本泌尿器科学会東部総会(幕張), 9月, 2002
- No. 39 井上真理子, 平山 暁, 常樂 晃, 永瀬 宗重, 小山 哲夫, 多留賀 功, 石津 隆,
山縣 邦弘, 赤座 英之, 島居 徹:
維持血液透析患者に発症した転移性心外膜腫瘍の一例
第32回日本腎臓学会東部学術大会(東京), 10月, 2002
- No. 40 長多 好恵, 園田 智子, 森 満, 奥村 幸司, 内藤 誠二, 藤本 清秀,
平尾 佳彦, 高橋 敦, 塚本 泰司, 高島 尚美, 宮永 直人, 赤座 英之:
前立腺がんの宿主・環境要因に関する症例対照研究
第61回日本癌学会総会(東京), 10月, 2002
- No. 41 及川 剛宏, 河合 弘二, 西條 薫, 塚本 定, 島居 徹, 石渡 勇, 大野 忠夫,
赤座 英之:
腎摘除後に転移巣の自然退縮をきたした腎細胞癌症例における Th1/Th2 サイトカイン
の変動
第61回日本癌学会総会(東京), 10月, 2002
- No. 42 河合 弘二, 及川 剛宏, 西條 薫, 大野 忠夫, 赤座 英之:
転移腎癌に対する自家 CTL を用いた細胞療法
第61回日本癌学会総会(東京), 10月, 2002
- No. 43 島居 徹, 阿弥 良浩, 吉川 和宏, 内田 和彦, 清水 一宏, 中村小源太,
深津 英捷, 佐賀 信介, 三輪 正直, 赤座 英之:
腎細胞癌株におけるインターフェロン α 感受性に関連する遺伝子の網羅的解析
第61回日本癌学会総会(東京), 10月, 2002
- No. 44 安東 聡, 福原 喜春, 宮崎 淳, 服部 一紀, 塚本 定, 樋之津史郎, 島居 徹,
赤座 英之, 足立 信也:
下血で発症し, 両側副腎, 小腸転移を伴った腎細胞癌の1例
第53回日本泌尿器科学会茨城地方会(水戸), 10月, 2002

- No. 45 高岡栄一郎, 小島 崇宏, 小野澤瑞樹, 服部 一紀, 宮永 直人, 河合 弘二,
島居 徹, 赤座 英之:
肺・肝転移を伴った若年性膀胱移行上皮癌の1例
第53回日本泌尿器科学会茨城地方会(水戸), 10月, 2002
- No. 46 服部 一紀, 安東 聡, 高岡栄一郎, 福原 喜春, 小島 崇宏, 宮崎 淳, 小野澤瑞樹,
塚本 定, 樋之津史郎, 宮永 直人, 河合 弘二, 島居 徹, 赤座 英之:
内視鏡下根治的腎摘除術—筑波大学泌尿器科における経験
第53回日本泌尿器科学会茨城地方会(水戸), 10月, 2002
- No. 47 瀧本 泰彦, 島居 徹, 赤座 英之, 野口 雅之:
生検材料を用いた前立腺癌の遺伝子診断の可能性について(ワークショップ)
第40回日本癌治療学会総会(東京), 10月, 2002
- No. 48 河合 弘二:
再発性及び難治性胚細胞に対する TIP 療法
第40回日本癌治療学会総会(東京), 10月, 2002
- No. 49 宮永 直人:
緑茶による前立腺がんの予防に関する基礎および臨床的検討(ワークショップ)
第40回日本癌治療学会総会(東京), 10月, 2002
- No. 50 福原 喜春, 小野澤瑞樹, 服部 一紀, 島居 徹, 赤座 英之, 中條 弘隆:
後腹膜鏡下に摘出した腎リンパ管腫の1例
第16回日本 Endourology・ESWL 学会総会(東京), 11月, 2002
- No. 51 小島 崇宏, 小野澤瑞樹, 宮崎 淳, 塚本 定, 宮永 直人, 島居 徹, 赤座 英之:
経皮的碎石術により摘除したインディアナパウチ内結石の経験
第16回日本 Endourology・ESWL 学会総会(東京), 11月, 2002
- No. 52 及川 剛宏, 河合 弘二, 西條 薫, 大野 忠夫, 赤座 英之:
自家 CTL 投与後に好酸球増多をきたした腎細胞癌症例における免疫学的解析
第15回日本バイオセラピー学会学術集会総会(札幌), 11月, 2002
- No. 53 服部 一紀, 小島 崇宏, 小野澤瑞樹, 塚本 定, 樋之津史郎, 宮永 直人,
河合 弘二, 島居 徹, 赤座 英之:
内視鏡下腎摘除術における合併症—初期20例における検討
第9回茨城鏡視下手術研究会(土浦), 11月, 2002
- No. 54 古川真由美, 中田 有佳, 八陣 紀子, 石津 晶子, 平石恵美子, 高岡栄一郎,
小島 崇宏, 塚本 定, 宮永 直人, 島居 徹, 赤座 英之:
終末期の患者の家族に対する看護—腎癌患者の一事例を通じて
第14回茨城老人泌尿器科研究会(つくば), 11月, 2002

班研究報告

- No. 1 赤座 英之, 塚本 泰司, 平尾 佳彦, 内藤 誠二, 藤岡 知明, 森 満:
前立腺がんの環境・宿主要因に関する疫学的研究
文部科学省科研費(特定領域研究 C) 総合班会議, 7月, 2002

その他

- No. 1 Akaza H :
Optimised Management for Low Risk Bladder Cancer
1st Asia-Pacific Congress on Uro-Oncology (Singapore), Jan., 2002
- No. 2 Akaza H (Moderators) :
Roundtable Discussion Role of Three-Month LH-RH Agonist for the Treatment of Prostate Cancer
AUA 2002 Annual Meeting (Orlando, USA), May, 2002
- No. 3 Akaza H (Chairman) :
Session V : Developing chemotherapy for advanced bladder cancer
The 3rd KANAZAWA International Urologic Oncology Seminar
(Kanazawa), Jun., 2002
- No. 4 Akaza H :
招請講演 [Asian Forum] Role of Dietary factor in prostate cancer, considerations on a nationwide case-control study
The 6th Asian Congress of Urology (Kuala Lumpur), Aug., 2002
- No. 5 Akaza H :
A way to establishing a new strategy for the treatment of advanced prostate cancer
2002 Annual Meeting and 24th General Scientific Meeting,
The Urological Association of The R.O.C. (Taipei), Aug., 2002
- No. 6 Moderators : Kotake T, Lee CW, Speakers : Akaza H, Kim WJ :
Satellite Symposium III "Epidemiology of Prostate Cancer in Japan and Korea"
The 19th Japan-Korea Urological Congress (Fukuoka), Sep., 2002
- No. 7 Akaza H :
Is daidzein non-metabolizer a high risk for prostate cancer?
A case-controlled study of serum soy beans isoflavones concentration
第13回前立腺がんワークショップ (国際交流会館), Sep., 2002
- No. 8 Akaza H :
〈Invited Speaker〉 High Risk of Prostate Cancer in Daidzein Non-metabolizers
1st APOCP Conference in Conjunction with a UICC Symposium (Nagoya),
Oct., 2002
- No. 9 Akaza H :
〈Post graduate course〉 Superficial bladder cancer: Mechanism oriented programming of prophylaxis of recurrence after TURB
Autumn Meeting of the Korean Urological Association (Seoul),
Nov., 2002

- No. 10 Akaza H :
 <Invited lecture> A way to establishing a new strategy for the treatment for
 advanced prostate cancer
 Autumn Meeting of the Korean Urological Association(Seoul),
 Nov., 2002
- No. 12 司会：赤座 英之：
 公開セミナー 市民公開講座：性感染症—茨城県の実態と今後—
 厚生科学研究成果発表会(つくば), 3月, 2002
- No. 17 座長：赤座 英之：
 表在性膀胱癌治療の新しい展開—臨床的側面(シンポジウム)
 第29回尿路悪性腫瘍研究会(東京), 7月, 2002
- No. 18 司会：赤座 英之：
 下部尿路症状と慢性前立腺炎
 第5回 UTP シンポジウム(東京), 8月, 2002
- No. 19 座長：赤座 英之：
 前立腺癌・副腎癌
 第3回ホルモンと癌研究会(仙台), 8月, 2002
- No. 20 樋之津淳子 筑波大学医療技術短期大学部看護学科・教授, 座長：赤座 英之：
 特別講演1「膀胱癌患者用 QOL 調査票の日本語版作成と妥当性の評価」
 第8回茨城癌治療と QOL 研究会(つくば), 9月, 2002
- No. 21 座長：赤座 英之：
 前立腺癌治療における内分泌療法の役割(シンポジウム)
 第67回日本泌尿器科学会東部総会(千葉), 9月, 2002
- No. 22 司会：赤座 英之, 園尾 博司：
 乳がん, 前立腺がんにおける内分泌療法の EBM (ワークショップ)
 第40回日本癌治療学会総会(東京), 10月, 2002
- No. 23 防衛医科大学泌尿器科学教室 早川 正道, 座長：赤座 英之：
 (特別講演) 腎癌の集学的治療
 第24回茨城医学会泌尿器科分科会(茨城), 10月, 2002
- No. 24 赤座 英之, 追加発言：近藤幸尋, 堀江重郎
 (招請講演) Androgen 投与 (ART) は前立腺癌・前立腺肥大症発生・憎悪に結びつ
 かないか？
 第2回日本 Aging Male 研究会(福岡), 10月, 2002
- No. 25 赤座 英之, 座長：平尾 佳彦：
 前立腺癌ホルモン療法の新しい展開(特別講演)
 第1回奈良泌尿器疾患カンファランス(奈良), 11月, 2002
- No. 26 座長：佐治 重豊, 赤座 英之：
 「免疫療法・臨床」(ワークショップ)
 第15回日本バイオセラピー学会学術集会総会(札幌), 11月, 2002

2002年（乳腺・甲状腺・内分泌外科グループ）

原 著

- No. 1 Wu Wenwen., Kamma H., Ueno E., Fujiwara M., Satoh H., Hara H., Yashiro T. Aiyoshi Y. :
The intraductal component of breast cancer is poorly responsive to neo-adjuvant chemotherapy
Oncology Reports 9 : 1027-1031, 2002
- No. 2 Yusa H., Yoshida E., Ueno E., Onizawa K., Yanagawa T. :
Ultrasound-guided surgical drainage of face and neck abscesses
Int. J. Orl Maxillofac. Surg. 31 : 327-329, 2002
- No. 3 原 尚人, 相吉 悠治 :
カロードプラ併用術中超音波を用いた腹腔鏡下副腎摘除術
手術 56(10) : 1481-1485, 2002
- No. 4 八代 享, 矢野由希子, 伊藤 吾子, 三島 秀行, 大関雄一郎, 呉 文文, 原 尚人, 植野 映, 相吉 悠治, 菅間 博 :
両側下降不全下上皮小体を左右対称性に認めた原発性上皮小体機能亢進症の1例
内分泌外科 19(3) : 209-214, 2002
- No. 5 Shiina T., Nitta N., Ueno E., SJSUM, Jeffery C.BAMBER :
Real Time Tissue Elasticity Imaging Using the Combined Autocorrelation Method
J Med Ultrasonics 26(2) : 57-66. 2002
- No. 6 Yusa H., Yoshida H., Ueno E., Yamagata K., Onizawa K. Yanagawa T. :
Follow-up Ultrasonography for Late Neck Metastases of Head and Neck Cancer
Ultrasound in Med. & Biol. 28(6) : 725-730, 2002
- No. 7 矢野由希子, 八代 享 :
迅速病理診断のできない病院で上皮小体機能を温存し, 甲状腺全摘術を施行したわれわれの経験
内分泌外科 19(2) : 101-104, 2002
- No. 8 Takeda T., Zeniya T., Wu J., Yu Q., Thet-Thet-Lwin, Tsuchiya Y., Rao DV., Yusa T., Yahiro T., Dilmanian FA., Itai Y. Akatsuka T. :
Medical imaging by fluorescent X-ray: its preliminary clinical evaluation
Proceedings of SPIE 4503 : 299-309, 2002

総 説

- No. 1 植野 映 :
乳房超音波技術の現状と将来 フルディジタル化による乳房超音波診断技術の革新
新医療 7月号 : 144-146, 2002
- No. 2 八代 享, 呉 文文, 登松 澄世 :
甲状腺の切除標本の取り扱い方
臨床外科 51(12) : 1607-1611, 2002

著 書

No. 1 植野 映：

乳腺血流

超音波医学 TEXT 血管・血流超音波医学（伊東 紘一，平田 経雄 編）
医師薬出版，東京，pp.104-110，2002

No. 2 原 尚人，八代 享：

手術合併症の処置 通常の手術合併症

甲状腺疾患治療マニュアル（高見 博，森 昌朋 編）
南江堂，東京，pp.117-118，2002

No. 3 植野 映：

乳腺疾患，乳管内乳頭腫，葉状腫瘍，女性化乳房症

TODAY'S THERAPY2003今日の治療指針（山口 徹，北原 光夫 編）
医学書院，東京，pp.825-826，2002

学会発表

No. 1 植野 映：

フルディジタル化による超音波画像の新しい展開

第11回日本乳癌画像研究会（東京），2月16日，2002

No. 2 東野英利子，植野 映，太田代紀子：

画像を用いた40歳代の乳癌検診—超音波—

第11回日本乳癌画像研究会（東京），2月16日，2002

No. 3 三島 英行，植野 映，大関雄一郎，原 尚人，八代 享，相吉 悠治，東野英利子：

超音波による乳癌所属リンパ節転移の評価

第21回筑波大学外科懇話会（つくば市），2月23日，2002

No. 4 大関雄一郎，原 尚人，三島 英行，八代 享，植野 映，相吉 悠治：

バセドウ病術後に発生する cramp および myopathy についての検討

第21回筑波大学外科懇話会（つくば市），2月23日，2002

No. 5 石川 智義，酒井 光昭，池田 治，及川 明奈，飯田 浩行，五本木武志，

折井 和雄，原 尚人，八代 享：

75歳以上の乳癌手術例の検討

第199回茨城外科学会（つくば市），3月2日，2002

No. 6 石川 智義，酒井 光昭，池田 治，及川 明奈，飯田 浩行，五本木武志，原 尚人，

八代 享，折井 和雄：

潜在癌として甲状腺乳頭癌を認めた二次性上皮小体機能亢進症の一手例

第2回茨城内分泌外科研究会（つくば市），3月16日，2002

No. 7 原 尚人，三島 英行，大関雄一郎，八代 享，植野 映，相吉 悠治：

内視鏡補助下甲状腺手術における吊り上げ法の工夫—骨セメントで作製した吊り上げ補助板の使用

第2回茨城内分泌外科研究会（つくば市），3月16日，2002

- No. 8 磯部 和正, 大村 咲恵, 中井 利昭, 八代 享:
内分泌腫瘍組織における h TERT mRNA 発現について—real time PCR とアイソフォーム解析—
第2回茨城内分泌外科研究会(つくば市), 3月16日, 2002
- No. 9 西村 基, 八代 享, 原 尚人, 村瀬 茂:
当院における甲状腺, 上皮小体手術の在院日数の短縮について
第2回茨城内分泌外科研究会(つくば市), 3月16日, 2002
- No. 10 矢野由希子, 八代 享, 菊池 博:
腎性上皮小体機能亢進症術後の上皮小体機能と超音波所見
第2回茨城内分泌外科研究会(つくば市), 3月16日, 2002
- No. 11 八代 享, 三島 英行, 大関雄一郎, 原 尚人, 植野 映, 相吉 悠治:
術後に一過性甲状腺中毒症をきたした原発性上皮小体機能亢進症の2例
第2回茨城内分泌外科研究会(つくば市), 3月16日, 2002
- No. 12 大関雄一郎, 原 尚人, 三島 英行, 八代 享, 植野 映, 相吉 悠治, 伊藤 公一:
バセドウ病術後に発生する muscle cramp と myopathy についての検討
第2回茨城内分泌外科研究会(つくば市), 3月16日, 2002
- No. 13 植野 映:
特別講演—乳癌の画像診断
第3回青森県南乳腺診断フォーラム(八戸市), 3月23日, 2002
- No. 14 東野英利子, 原 尚人, 万本 涼子, 宮田真理子, 板井 悠二:
Category3の石灰化に対し, マンモグラフィガイド下ステレオバイオプシーを行い非浸潤癌性乳癌が診断された一症例
第27回茨城乳腺疾患研究会(つくば市), 5月25日, 2002
- No. 15 植野 映, 原 尚人, 八代 享, 相吉 悠治, 森島 勇:
乳房形成術を前提とした皮下乳腺切除術
第27回茨城乳腺疾患研究会(つくば市), 5月25日, 2002
- No. 16 植野 映:
教育セッション—乳房の新しい超音波診断基準
日本超音波医学会第75回学術集会(高松市), 6月2日, 2002
- No. 17 加藤 保之, 植野 映, 川内 章裕, 遠藤登喜子, 久保田光博, 小西 豊, 谷口 信行,
東野英利子, 角田 博子, 安田 秀光, 水谷 三浩:
超音波断層法における乳腺腫瘍縦横比の閾値に関する検討
日本超音波医学会第75回学術集会(高松市), 6月2日, 2002
- No. 18 植野 映:
特別講演—乳房超音波の基礎と臨床
第37回北陸乳癌懇話会(金沢), 6月1日, 2002
- No. 19 明石 義正, 八代 享, 大関雄一郎, 三島 英行, 原 尚人, 植野 映, 相吉 悠治,
呉 文文, 管間 博:
両側副腎移転のため副腎機能低下をきたした進行乳癌の一例
第14回日本内分泌外科学会総会(大阪), 6月24-26日, 2002

- No. 20 矢野由希子, 内田 和彦, 植松 直也, 三輪 正直, 原 尚人, 八代 享, 植野 映, 相吉 悠治:
甲状腺乳頭癌における遺伝子発現プロファイリング
第14回日本内分泌外科学会総会(大阪), 6月24-26日, 2002
- No. 21 三島 英行, 植野 映, 大関雄一郎, 原 尚人, 八代 享, 相吉 悠治, 東野英利子, 鯨岡 結賀, 角田 博子, 森島 勇:
乳房超音波検査によるリンパ節転移の評価
第10回日本乳癌学会総会(名古屋市), 7月5-6日, 2002
- No. 22 石川 智義, 八代 享:
腫瘍マーカーが正常値で推移した多剤化学療法を施行した術後再発乳癌の1例
第10回日本乳癌学会総会(名古屋市), 7月5-6日, 2002
- No. 23 植野 映, 大関雄一郎, 三島 英行, 相吉 悠治, 八代 享, 原 尚人, 森島 勇:
局所進行乳癌に対する超音波誘導下動注化学療法
第10回日本乳癌学会総会(名古屋市), 7月5-6日, 2002
- No. 24 山部日出子, 室 かおり, 小林 正貴, 原 尚人, 八代 享:
異所性副甲状腺腫を呈した二次性副甲状腺機能亢進症の2例
第47回日本透析医学会学術集会 7月, 2002
- No. 25 植野 映:
乳癌の超音波診断の考え方
日本超音波医学会関東甲信越地方会第14回学術集会(東京), 9月14日, 2002
- No. 26 小林 尚寛, 八代 享, 梅本 剛, 間中 研子, 池田 直哉, 原 尚人, 植野 映, 相吉 悠治, 管間 博, 深沢 政勝:
摘出標本の術中軟X線撮影で切除断端に砂粒小体をもとめ, 切除範囲を拡大した甲状腺乳頭癌の1例
第201回茨城外科学会(水戸市), 10月27日, 2002
- No. 27 池田 直哉, 八代 享, 間中 研子, 梅本 剛, 小林 尚寛, 原 尚人, 植野 映, 相吉 悠治, 管間 博:
血縁者の血清カルシウム測定で術前診断できた遺伝性上皮小体機能亢進症の一例
第201回茨城外科学会(水戸市), 10月27日, 2002
- No. 28 Hara H., Yashiro T., Ueno E., Aiyoshi Y., Ito K. and Obara T.:
Preoperative diagnosis of parathyroid carcinoma by dw ratio on ultrasonogram: Aprospective study
The 19th Congress of Pan-pacific Surgical Association
Japan Chapter(Hawaii), October 27-29, 2002
- No. 29 間中 研子, 植野 映, 梅本 剛, 原 尚人, 八代 享, 相吉 悠治, 三島 英行, 大関雄一郎:
腋窩リンパ節郭清後リハビリテーション開始時期と排液量の関係
第28回茨城乳癌疾患研究会(水戸市), 11月2日, 2002
- No. 30 植野 映:
乳房温存手術の今後のあり方—画像誘導下の重要性
第64回日本臨床外科学会総会(東京), 11月14日, 2002

- No. 31 植野 映, 東野英利子, 太田代紀子, 植木 浜一, 金澤 宏, 入江ふじ子:
茨城県における乳がん検診実施指針: 超音波検診
第12回日本乳癌検診学会総会(鹿児島), 11月21-22日, 2002
- No. 32 間中 研子, 八代 享, 梅本 剛, 原 尚人, 植野 映, 相吉 悠治, 管間 博:
術前・術中に甲状腺濾胞腺腫との鑑別が困難であった橋本病再生結節の1例
第35回甲状腺外科研究会(浜松市), 11月21-22日, 2002
- No. 33 呉 文文, 管間 博, 藤原 正親, 原 尚人, 八代 享, 植野 映, 相吉 悠治:
甲状腺における hnRNPA2/B1 の発現
第35回甲状腺外科研究会(浜松市), 11月21-22日, 2002
- No. 34 椿 秀三千, 竹内 康晴, 田島 政晴, 松島 正浩, 五味 達哉, 大原関利章,
相吉 悠治, 原 尚人, 藤本 吉秀:
異時性多発性腺腫と思われた原発性副甲状腺機能亢進症の1例
第35回甲状腺外科研究会(浜松市), 11月21-22日, 2002
- No. 35 原 尚人, 梅本 剛, 間中 研子, 八代 享, 植野 映, 相吉 悠治:
バセドウ病に対する内視鏡補助下甲状腺亜全摘術
第35回甲状腺外科研究会(浜松市), 11月21-22日, 2002

2002年（形成外科グループ）

原 著

- No. 1 遠藤 隆志, 中山 凱夫：
足趾移植

形成外科 45(11)：1047-1053, 2002

- No. 2 Endo T., Nakayama Y.：
Microtransfers for nail and fingertip replacement

Hand Clin 18：615-622, 2002

総 説

- No. 1 中山 凱夫：
評価と日本社会

医学教育 33(5)：297, 2002

著 書

- No. 1 中山 凱夫：
ケロイドと肥厚性瘢痕

難病の指針第4版（茨城県医師会勤務医部会学術委員会編）

茨城県医師会，茨城県，pp.94-97, 2002

- No. 2 中山 凱夫：
Venous flap とその臨床

形成外科 ADVANCE シリーズ I-4 「皮弁移植法最近の進歩」

（波利井清紀 監修，鳥居修平 編）

克誠堂出版，東京，pp.100-106, 2002

- No. 3 遠藤 隆志, 中山 凱夫：
自家軟骨移植による鼻修正の適応と問題点

形成外科 ADVANCE シリーズ II-4 「美容外科最近の進歩」

（波利井清紀 監修，大森喜太郎 編）

克誠堂出版，東京，pp.89-98, 2002

- No. 4 遠藤 隆志, 中山 凱夫：
陰茎再建の現状と諸問題

形成外科 ADVANCE シリーズ II-7 「殿部・会陰部の再建と褥創の治療最近の進歩」

（波利井清紀 監修，野崎幹弘 編）

克誠堂出版，東京，pp.81-87, 2002

学会発表

- No. 1 馬本 直樹, 菊池 誠, 西尾隆太郎, 清澤 智晴, 中山 凱夫：
トラニラストにおける血管新生抑制効果の検討

第21回筑波大学外科懇話会（つくば市），2月23日，2002

- No. 2 北原美由紀, 馬本 直樹, 菊池 誠, 西尾隆太郎, 清澤 智晴, 中山 凱夫:
外傷性外耳道狭窄の外科
第21回筑波大学外科懇話会(つくば市), 2月23日, 2002
- No. 3 菊池 誠, 馬本 直樹, 西尾隆太郎, 清澤 智晴, 中山 凱夫:
当院でのリエゾン精神医学と形成外科患者
第21回筑波大学外科懇話会(つくば市), 2月23日, 2002
- No. 4 佐藤 真剛, 馬本 直樹, 只野 惣介, 永江美香子, 北原美由紀, 西尾隆太郎,
菊池 誠, 清澤 智晴, 中山 凱夫:
片側坐骨神経内に多発した神経鞘腫の1例
第199回茨城外科学会(つくば市), 3月2日, 2002
- No. 5 清澤 智晴, Lee Yilin, 中山 凱夫, 山田 朋子, 中川 秀己:
創傷治癒での血管新生に対するトラニラストの影響—In vitro および In vivo における
実験的研究
第8回ケロイド・肥厚性瘢痕研究会(東京), 3月16日, 2002
- No. 6 遠藤 隆志, 中山 凱夫:
静脈移植を用いた動脈の端側吻合の有用性
第46回日本形成外科学会総会学術集会(長崎), 4月24-26日, 2002
- No. 7 濱野真由美, 高橋 宏, 古垣 達也, 高柳真美子, 椎名 裕子, 佐藤 典子,
斉藤 重行, 大塚 雅昭, 中山 凱夫:
ラジオ波熱焼灼療法(RFA)による皮膚熱傷
第24回日本手術医学会総会(東京), 10月18-19日, 2002
- No. 8 畑 寿太郎, 内田 彰子, 中山 凱夫:
医用刺青による皮膚のカラーコントロール
第11回日本形成外科学会基礎学術集会(仙台), 10月3-4日, 2002
- No. 9 遠藤 隆志:
褥創治療について
病院薬剤師懇話会(つくば市), 11月28日, 2002

2002 (小児外科グループ)

原 著

- No. 1 金子道夫, 雨海照祥, 堀 哲夫, 池袋賢一, 大川治夫, 越智五平:
治療に難渋した食道閉鎖症に全胃つり上げを施行し治療させた2例
日本小児外科学会雑誌 38(2): 308-313, 2002
- No. 2 金子道夫:
神経芽腫の病期・年齢による治療戦略と予後
小児外科 33(10): 1169-1173, 2002
- No. 3 金子道夫:
大学小児外科の現況から見た小児外科への提言
日小外会誌38(7): 1005-1009, 2002
- No. 4 水田祥代, 金子道夫, 他: 日本小児がん学会神経芽腫委員会:
マススクリーニングで発見され無治療で経過観察された神経芽腫82例
小児がん 39(2): 131-136, 2002
- No. 5 Michio Kaneko, Yoshiaki Tsuchida, Hideo Mugishima, Naomi Ohnuma, Keisei Kawa, Makoto Iwafuchi, Tadashi Sawada, Sachiyo Suita:
Intensified chemotherapy increases the survival rates in state 4 neuroblastoma with MYCN amplification
Journal of Pediatric Hematology and Oncology 24(11): 613-621, 2002
- No. 6 Hideo Mugishima, Tadashi Matsunaga, Keiko Yagi, Keiko Asami, Mun-ichi Miyama, Sachiyo Suita, Tomoko Kishimoto, Tadashi Sawada, Yoshiaki Tsuchida, Michio Kaneko:
Phase I study of irinotecan in pediatric patients with malignant solid tumors.
Journal of Pediatric Hematology and Oncology. 24(2): 94-100, 2002
- No. 7 Yoshiaki Tsuchida, Michio Kaneko:
Surgery in pediatric solid tumors with special reference to advanced neuroblastoma
Acta Paediatrica Taiwanica 43(2): 67-71, 2002
- No. 8 Hitoshi Ikeda, Tomoko Iehara, Yoshiaki Tsuchida, Michio Kaneko, Junichi Hata, Haruhiko Naito, Makoto Iwafuchi, Naomi Ohnuma, Yasunori Toyoda, Y Hamazaki, Tomoshi Kondo, Keisei Kawa, Akira Okada, Eiso Hiyama, Sachiyo Suita, Hideo Takamatsu:
Experience with International Neuroblastoma Staging System and Pathology Classification.
British Journal of Cancer, Br J Cancer. 86(7): 1110-1116, 2002.
- No. 9 堀 哲夫, 金子道夫, 池袋賢一, 雨海照祥, 畠田泰久, 五藤 周, 渡部誠一:
感染性頸部嚢胞として発症した梨状窩瘻の1新生児例
日本小児外科学会雑誌 38(7): 1080-1085, 2002

- No. 10 Yumiko Oishi Tanaka, Tetsuo Hori Michio Nagata and Yuji Itai :
Adenomyomatosis with marked subserosal fibrosis and lipomatosis of the gall-
bladder: Mural stratification demonstrated with MR
Magnetic Resonance in Medical Sciences Vol.1, No.2, p.125-128, 2002
- No. 11 Pamela Cassini, Paul Boettcher, Tetsuo Hori, HARUO OHKAWA,
BIANCA CASTIGLIONI, LEIF ANDERS-SON, ELISABETTA GIUFFRÀ :
Mapping susceptibility genes to anal atresia in the pig
28th Conference of the International Society of Animal Genetics ISAG
August 11-15, 2002 Gottingen, Germany
- No. 12 Amagai T, Mouri T, Kirii K, Kaneko M, Ohkawa H :
Clinical significance of measurement of resting energy expenditure in childhood.
Clin Exp Pharmacol Physiol 29 : S19-22, 2002
- No. 13 Amagai, T. Mouri T, Ohkawa H, Nishi :
An accuracy of flow and sensor of indirect calorimetry for neonates and infants.
—Using Mass Spectrometry and Pneumotachogram—
Clin & Exp Pharmacol Physiol 29 : S7-8, 2002.
- No. 14 Hiroaki Komuro, Tatsuo Nakamura, Michio Kaneko, Yuka Nakanishi,
Yasuhiko Shimizu :
Application of collagen sponge scaffold to muscular defects of the esophagus: An
experimental study in piglet.
J Pediatr Surg 37(10) : 1409-1413, 2002
- No. 15 Kazuya Kudoh, Yoshihito Ichikawa, Sadao Yoshida, Misako Hirai, Yoshihiro Kikuchi,
Ichiro Nagata, Masanao Miwa and Kazuhiko Uchida :
Inactivation of p16/CDKN2 and P15/MTS2 is associated with prognosis and
response to chemotherapy in ovarian cancer
Int. J. Cancer : 99, 579-582 (2002)
- No. 16 井上成一朗, 田原和典, 金子道夫, 小林英司 :
ラット小腸移植術一術中循環動態から見たモデル評価
Organ Biology 9(4) : 365-376, 2002

総 論

- No. 1 金子道夫 :
小児の異物
茨城県小児科医会報 15 : 35-40, 2002
- No. 2 雨海照祥 :
第24回欧州静脈経腸栄養学会 (ESPEN) プログラムより②「急性期反応の調節」
医学のあゆみ. 203(12・13) : 1071-1072, 2002.
- No. 3 雨海照祥 :
米国静脈経腸栄養学会 (ASPEN) ハイライトニュースー1.
臨床栄養 100(4) : 451-460, 2002.

- No. 4 雨海照祥：
米国静脈経腸栄養学会（ASPEN）ハイライトニュースー 2 .
臨床栄養 100(5)：585-594, 2002.
- No. 5 雨海照祥：
第24回欧州静脈経腸栄養学会（ESPEN）ハイライトニュースー 1 .
臨床栄養 101(5)：535-537, 2002.
- No. 6 雨海照祥：
第24回欧州静脈経腸栄養学会（ESPEN）ハイライトニュースー 2 .
臨床栄養 101(6)：672-675, 2002.
- No. 7 雨海照祥, 井上善文：
米国静脈経腸栄養学会（ASPEN）ハイライトニュースー .
臨床栄養 特別号：1-40, 2002.
- No. 8 雨海照祥：
Dr.雨海の栄養クリニック NOW(6)「慢性閉塞性肺疾患(2)」.
臨床栄養 101(1)：57-64, 2002.
- No. 9 雨海照祥：
Dr.雨海の栄養クリニック NOW(7)「食道がん(1)」.
臨床栄養 101(2)：193-199, 2002.
- No. 10 雨海照祥：
Dr.雨海の栄養クリニック NOW(8)「食道がん(2)」.
臨床栄養 101(3)：321-327, 2002.
- No. 11 雨海照祥：
Dr.雨海の栄養クリニック NOW(9)「肝炎・肝硬変(1)」.
臨床栄養 101(4)：449-455, 2002.
- No. 12 雨海照祥：
Dr.雨海の栄養クリニック NOW(10)「肝炎・肝硬変(2)」.
臨床栄養 101(5)：561-567, 2002
- No. 13 雨海照祥：
Dr.雨海の栄養クリニック NOW(11)「褥瘡(1)」.
臨床栄養 101(6)：705-711, 2002.
- No. 14 雨海照祥：
米国やその他の国での栄養管理の現状と日本の比較および NST の必要性.
日本在宅医学会雑誌. 3(2)：19-24, 2002.
- No. 15 雨海照祥：
サマリーとコメント；味覚—栄養管理における役割：Taste as a Factor in the Management of Nutrition. (Nutrition, 16：874-885, 2000.)
Journal Club Journal, 5(1)：34-35, 2002.
- No. 16 雨海照祥：
小児放射線医療における遠隔医療の可能性と問題点.特集を企画するにあたって.
日本小児放射線学会雑誌 18(1)：3, 2002.

- No. 17 雨海照祥：
小児放射線医療における遠隔医療の可能性と課題。
日本小児放射線学会雑誌 18(1)：4-9, 2002.
- No. 18 雨海照祥：
ASPEN の栄養士のための新教育コアカリキュラム—The Science and Practice of Nutrition Support. A Case-Based Curriculum—。
臨床栄養 100増刊号：697-701, 2002.
- No. 19 雨海照祥：
栄養版サイバーペーシェントの意義と可能性—栄養士新教育論，私案—。臨床栄養
100増刊号：702-707, 2002
- No. 20 雨海照祥：
Dr.雨海の栄養クリニック NOW(1)「短腸症候群」。
臨床栄養 100(2)：209-215, 2002.
- No. 21 雨海照祥：
Dr.雨海の栄養クリニック NOW(2)「糖尿病(1)」。
臨床栄養 100(3)：353-359, 2002.
- No. 22 雨海照祥：
Dr.雨海の栄養クリニック NOW(3)「糖尿病(2)」。
臨床栄養 100(4)：481-487, 2002.
- No. 23 雨海照祥：
Dr.雨海の栄養クリニック NOW(4)「急性膵炎」。
臨床栄養 100(5)：617-623, 2002.
- No. 24 雨海照祥：
Dr.雨海の栄養クリニック NOW(5)「慢性閉塞性肺疾患(1)」。
臨床栄養 100(6)：681-688, 2002.
- No. 25 雨海照祥：
胎児，乳児の味覚形成と母体の栄養。
臨床栄養 100(5)：580-582, 2002.

著 書

- No. 1 金子道夫：
神経芽腫。月本一郎編 小児血液・腫瘍疾患治療プロトコル集 3. 固形腫瘍
医薬ジャーナル(大阪) 2002年

学 会

- No. 1 平井みさ子，堀 哲夫，斎田幸久，的場公男，渡邊美穂，金子道夫，越智五平：
1歳6ヶ月検診で発見された PRETEXT-II, CATA-L 症例の報告
日本小児肝臓スタディグループ研究会2002(東京) 2002.1.18
- No. 2 渡邊美穂，平井みさ子，的場公男，工藤寿美，金子道夫：
2歳男児肺転移死亡例の報告
日本小児肝臓スタディグループ研究会2002(東京) 2002.1.18

- No. 3 桒山英三, 山岡裕明, 横山 隆, 松永正訓, 林 富, 渡邊芳夫, 水田祥代, 堀江 弘,
金子道夫, 佐々木文章, 橋都浩平, 中川原章, 大沼直躬:
JPLT 登録肝芽腫におけるテロメラーゼ活性, hTERT 発現の集計結果報告 cDNA
array 解析への試み
日本小児肝癌スタディグループ研究会(東京) 2002, 2002.1.18
- No. 4 雨海照祥:
SHIMIZU Meets The Expert
「加齢と栄養」担当
日本静脈経腸栄養学会(熊本) 2002.2.1
- No. 5 渡邊美穂, 的場公男, 雨海照祥, 金子道夫:
小児の自己経鼻胃管挿入・夜間チューブ栄養法の実際—Cystic fibrosis 症例での経験
日本静脈経腸栄養学会(熊本) 2002.2
- No. 6 的場公男, 金子道夫, 平井みさ子, 堀 哲夫, 池袋賢一, 雨海照祥, 小室広昭,
渡邊美穂:
新生児期に発生し, 術後悪性再発を来した仙尾部奇形腫の1例
2000年小児がん登録研究会(東京) 2002.2.9,
小児がん 39(2):254, 2002
- No. 7 平井みさ子, 金子道夫, 堀 哲夫, 池袋賢一, 雨海照祥, 小室広昭, 的場公男,
渡邊美穂:
術前化学療法を施行した NSE 高値を示す右腎芽腫 (FRN) の1歳男児例
2000年小児がん登録研究会(東京) 2002.2.9
小児がん 39(2):251, 2002
- No. 8 的場公男, 堀 哲夫, 金子道夫, 池袋賢一, 雨海照祥, 小室広昭, 平井みさ子,
渡邊美穂:
胆道閉鎖症術後に早期肝移植適応となった8例の検討
第21回筑波大学外科懇話会 2002.2.23
- No. 9 高橋 邇, 雨海照祥, 渡邊美穂, 的場公男, 小室広昭, 平井みさ子, 池袋賢一,
堀 哲夫, 金子道夫:
二期的手術を行った総排泄腔外反症の一例
第21回筑波大学外科懇話会 2002.2.23
- No. 10 久倉勝治, 平井みさ子, 堀 哲夫, 池袋賢一, 雨海照祥, 小室広昭, 的場公男,
渡邊美穂, 金子道夫, 飛田尚美, 藤原暢子, 鴨田知博:
右副腎原発男性化腫瘍の3歳女児例
第199回茨城外科学会(つくば) 2001.3.2
茨城県臨床医学雑誌 38:58-59, 2002
- No. 11 中西由佳, 小室広昭, 金子道夫, 陳 国平, 牛田多加志, 立石哲也:
自己細胞を用いた膀胱組織の再生
第1回再生医療学会(京都) 4月, 2002
- No. 12 雨海照祥:
体組成成分に人種差はあるか?—もしあるとすれば, いつはじまるのか?
第102回, 日本外科学会定期学術集会, 京都国際会議場 2002.4.13

- No. 13 内藤貴臣, 酒井光昭, 佐藤幸夫, 山本達生, 石川成美, 鬼塚正孝, 榊原 譲, 金子道夫, 南 優子, 野口雅之:
胸壁原発の未分化神経外胚葉性腫瘍 (PNET, Askin 腫瘍) の 1 例
第19回日本呼吸器外科学会(長崎) 2002.5
- No. 14 的場公男, 堀 哲夫, 金子道夫, 池袋賢一, 雨海照祥, 小室広昭, 平井みさ子, 四本克己, 井上成一郎, 渡邊美穂, 松井陽, 高田泰次, 深尾立:
胆道閉鎖症術後に早期肝移植適応となった 8 例の検討
第39回小児外科学会総会(東京) 2002.6.5-7
- No. 15 小室広昭, 中西由佳, 陳 国平, 牛田多加志, 立石哲也, 金子道夫:
Tissue Engineering による体外での膀胱壁構築の試み
第39回小児外科学会総会(東京) 2002.6.5-7
- No. 16 金子道夫:
小児外科の将来を考える このままでよいのか
第39回小児外科学会総会(東京) 2002.6.5-7
- No. 17 堀 哲夫, 金子道夫, 池袋賢一, 雨海照祥, 小室広昭, 平井みさ子, 的場公男, 渡邊美穂:
先天性胆道拡張症における経皮経肝胆道ドレナージ手術
第39回小児外科学会総会(東京) 2002.6.5-7
- No. 18 渡邊美穂, 堀 哲夫, 金子道夫, 池袋賢一, 雨海照祥, 小室広昭, 平井みさ子, 的場公男, 松井 陽:
胆道閉鎖症術後肝内に嚢胞形成をみとめた 9 例
第39回小児外科学会総会(東京) 2002.6.5-7
- No. 19 Teruyoshi Amagai, Shoji Igawa, Ryuji Watanabe:
Is there any racial differences in adiposity and serum leptin? —Two nations' nutrition study-International session
第39回小児外科学会総会(東京) 2002.6.5-7
- No. 20 平井みさ子, 金子道夫, 堀 哲夫, 雨海照祥, 毛利 健, 中村博史, 岩川眞由美, 大川治夫:
他県より受けいれ, 虐待, 母児分離, 施設収容に到った食道閉鎖症術後合併症の 1 男児例
第90回東京小児外科研究会(東京) 2002.6.11
- No. 21 平井みさ子, 金子道夫:
進行神経芽腫の治療成績〜'98年改訂プロトコール治療経過の解析〜
厚生労働省がん研究助成金研究班第 1 回班会議(東京) 2002.6.29
- No. 22 杉森治彦, 平井みさ子, 堀 哲夫, 杉浦正俊, 中原千恵子, 池袋賢一, 雨海照祥, 小室広昭, 的場公男, 渡邊美穂, 金子道夫:
ポリミキシン B 固定化カラム吸着療法が有効であった, MRSA 敗血症性ショックの 1 乳児例
第11回北関東外科感染症研究会(東京) 2002.7.6

- No. 23 小室広昭, 渡邊美穂, 的場公男, 杉森治彦, 金子道夫:
食道延長術にて下部食道の穿孔をおこした A 型食道閉鎖の一例
第200回茨城外科学会(水戸) 7月, 2002
- No. 24 的場公男, 金子道夫, 堀 哲夫, 雨海照祥, 小室広昭, 平井みさ子:
CP, MR 患児に併発した GER に対する腹腔鏡補助下噴門形成術
茨城小児科学会(つくば) 2002.7.7
- No. 25 堀 哲夫, 金子道夫, 高田泰次, 遠藤隆志, 雨海照祥, 池袋賢一, 小室広昭,
平井みさ子, 四本克己, 井上成一朗, 的場公男, 渡邊美穂, 大塚雅昭, 湯沢賢治,
谷口英樹, 清野研一郎, 石黒慎吾, 深尾 立, 中山凱夫, 松井 陽, 河原崎秀雄:
Biliary atresia-Polysplenia Syndrome の 1 例
第20回日本肝移植研究会(東京) 2002.7.25-26
- No. 26 Inoue S, Tahara K, Wang J, Shimizu H, Hakamata Y, Kaneko T, Takahashi M,
Kaneko M, Kobayashi E:
Hemodynamic evaluation of rat models of small bowel transplantation, 6th Congress of the International Society for Experimental Microsurgery,
San SAN Diego, August 21~24, 2002 (Program and Abstracts)
- No. 27 Inoue S, Tahara K, Wang J, Shimizu H, Hakamata Y, Kaneko T, Takahashi M,
Kaneko M, Kobayashi E:
Multivisceral Transplantation In Rats, 6th Congress of the International Society for Experimental Microsurgery,
San Diego, August 21~24, 2002 (Program and Abstracts)
- No. 28 Inoue S, Tahara K, Wang J, Shimizu H, Hakamata Y, Kaneko T, Takahashi M,
Kaneko M, Kobayashi E:
Orthotopic Liver Transplantation in Rats-Perfect Reconstruction of Vessels using Hand Suture Alone, 6th Congress of the International Society for Experimental Microsurgery, San Diego, August 21~24, 2002 (Program and Abstracts)
- No. 29 浅見恵子, 土田嘉昭, 金子道夫, 麦島秀雄, 河 敬世, 三間屋純一, 松永正訓,
水田祥代, 澤田 淳:
小児固形腫瘍に対するイリノテカン第 1 相臨床試験の実施
第29回日本小児臨床薬理学会(東京) 2002.9.19-20
- No. 30 Hirai M, Kaneko M, Iwakawa M, Ohhara K:
Intraoperative radiation therapy of pediatric malignant tumours-a 15 year experience
SIOP 2002, 2002.9.18-21, Porto, Portugal
- No. 31 Hiyama E, Yamaoka H, Matsunaga T, Hayashi Y, Watanabe Y, Suita S, Horie H,
Kaneko M, Sasaki F, Hashizume K, Nakagawara A, Ohnuma N, Yokoyama T. :
High telomerase activity is a pognostic indicator of poor outcome in hepatoblastoma.
SIOP 2002, 2002.9.18-21, Porto, Portugal

- No. 32 相野谷慶子, 雨海照祥, 的場公男, 平井みさ子, 小室広昭, 堀 哲夫, 金子道夫:
急性陰囊症を契機に発見された左腎無形成, 右不完全重複腎盂尿管症, 小膀胱の1例
第回日本小児外科学会関東甲信越地方会(水戸) 2002.10.12
- No. 33 小室広昭, 渡邊美穂, 金子道夫, 堀哲夫, 雨海照祥, 平井みさ子, 的場公男, 石井朝夫:
Omphalomesenteric artery 遺残, 結腸閉鎖, 多発関節拘縮を伴った腹壁破裂
第回日本小児外科学会関東甲信越地方会(水戸) 2002.10.12
- No. 34 Amagai I:
Teleconference with Asian Pediatric Exchanging Lecture
At PENSA, Kochi 2002.11.6
- No. 35 小室広昭, 中西由佳, 陳 国平, 牛田多加志, 金子道夫, 立石哲也:
PLGA-collagen hybrid scaffold をもちいた体外での膀胱壁構築の試み
第24回日本バイオマテリアル学会(東京) 11月, 2002
- No. 36 雨海照祥:
教育セミナー「ER パート I, II」
日本臨床栄養学会(大阪) 2002.11.10~11
- No. 37 雨海照祥:
シンポジウム「21世紀の栄養士像とは?—管理栄養士の新しい養成制度と資格制—」
みらいの栄養士のみなさんへ
—A.S.P.E.N が夢見る21世紀の栄養士のすがた
日本臨床栄養学会(大阪) 2002.11. 11
- No. 38 雨海照祥:
ワークショップ「消費エネルギー量(REE)測定とその意義」
「栄養療法」の危険管理と危機管理—消費エネルギーの意義と問題点の側面から
日本臨床栄養学会(大阪) 2002.11.12
- No. 39 足立信也, 中山凱夫, 金子道夫, 榊原 譲, 相吉悠治, 鬼塚正孝, 前野哲博:
細分化された診療組織を持つ大学における外科卒後教育
第64回日本臨床外科学会(東京) 2002.11.13-15
- No. 40 堀 哲夫, 金子道夫, 雨海照祥, 小室広昭, 平井みさ子, 的場公男, 相野谷慶子,
梅本 剛, 須磨崎 亮, 松井 陽:
胆道閉鎖症術後に水痘罹患にて肝機能低下を認めた1例.
第29回日本胆道閉鎖症研究会 2002
- No. 41 金田 聡, 窪田正幸, 八木 実, 飯沼泰史, 木下義晶, 山崎 哲, 浅見恵子, 小川 淳,
渡辺輝浩, 斎田幸久, 金子道夫:
特殊MRI(B-TTF)が治療方針決定の有用であったstage III B肝芽腫の1例
第18回日本小児がん学会(福岡) 2002.11.28-29
- No. 42 黒岩 実, 鈴木則夫, 土田嘉昭, 金子道夫, 金子節子, 吉沢稯治, 竹内利行, Lee JH:
ヒト神経芽腫移植株TNB-9に対するrhEndostatinの効果:一回投与法と持続投与法の比較
第18回日本小児がん学会(福岡) 2002.11.28-29

- No. 43 田中丈夫, 家原知子, 細井 創, 水田祥代, 澤田 淳, 金子道夫, 土田嘉昭:
生物学的指標によりマスキング発見腫瘍の評価 一大部分が退縮傾向を示す腫瘍か?
第18回日本小児がん学会(福岡) 2002.11.28-29
- No. 44 福島 敬, 中嶋玲子, 藤原暢子, 荷見博樹, 宮崎賢司, 的場公男, 岩川眞由美,
平井みさ子, 金子道夫, 松井 陽:
B リンパ腫レジメンと98A3プロトコルの併用が著効した進行神経芽腫の幼児例
第18回日本小児がん学会(福岡) 2002.11.28-29
- No. 45 細井 創, 杉本 徹, 金子道夫, 土屋邦彦, 家原知子, 松本良文:
横紋筋肉腫全国調査結果報告
第18回日本小児がん学会(福岡) 2002.11.28-29
- No. 46 金子道夫:
ワークショップ: グループスタディの現況 進行神経芽腫統一プロトコル
第18回日本小児がん学会(福岡) 2002.11.28-29
- No. 47 平井みさ子, 金子道夫, 大原 潔, 堀 哲夫, 雨海照祥, 小室広昭, 岩川眞由美,
大川治夫:
小児悪性腫瘍における術中照射法の遠隔成績
第18回日本小児がん学会(福岡) 2002.11.28-29
- No. 48 井上成一朗, 田原和典, 王 軍, 吉野浩之, 清水 尚, 袴田陽二, 金子隆志, 高橋将文,
金子道夫, 小林英司:
ラット同所性肝移植モデル; 動脈再建まで完全に行うために
第38回日本移植医学会総会, 東京, 2002年11月
- No. 49 的場公男, 平井みさ子, 小室広昭, 堀 哲夫, 雨海照祥, 金子道夫:
術後3ヶ月で骨髄転移を伴う局所再発を来したマスキング陽性仙骨前神経芽腫の1例
第18回日本小児がん学会(福岡) 2002.11.28-29
- No. 50 Hiroaki Komuro, Yuka Nakanishi, Guoping Chen, Takashi Ushida, Tetsuya Tateishi,
Michio Kaneko:
Ex-vivo construction of urinary bladder wall using PLGA mesh-collagen sponge hybrid scaffold.
The fifth Tissue Engineering Society International(Kobe) 12, 2002
- No. 51 平井みさ子, 堀 哲夫, 雨海照祥, 小室広昭, 的場公男, 渡邊美穂, 杉森治彦,
杉浦正俊, 中原千恵子, 金子道夫:
ポリミキシンB 固定化カラム吸着療法が有効であったMRSA 敗血症性ショックの1乳児例
第16回日本小児人工臓器研究会(大阪) 2002.12.6
- No. 52 的場公男, 小室広昭, 堀 哲夫, 雨海照祥, 平井みさ子, 金子道夫:
脳室-腹腔短絡術後の腹腔内偽嚢胞形成に対する腹腔鏡下開窓術の試み
第22回日本小児外科手術手技・小児内視鏡手術研究会(大阪) 2002.12.6-7

- No. 53 的場公男, 小室広昭, 堀 哲夫, 雨海照祥, 平井みさ子, 金子道夫:
腹部大動脈の低形成を合併した鎖肛の1例
第59回直腸肛門奇形研究会(大阪) 2002.12.7
- No. 54 平井みさ子, 雨海照祥, 堀 哲夫, 小室広昭, 高橋実穂, 的場公男, 平松祐司,
金子道夫:
心タンポナーデをくり返し, 治療に難渋する巨大縦隔血管腫の1才男児例
第91回東京小児外科研究会(東京) 2002.12.10
- No. 55 平井みさ子, 金子道夫:
'98年改訂プロトコールによる進行神経芽腫の治療成績の解析
厚生労働省がん研究助成金研究班第2回班会議(東京) 2002.12.21
- No. 56 金子道夫, 平井みさ子:
進行神経芽腫の治療成績～全国集計の解析～
厚生労働省がん研究助成金研究班第2回班会議(東京) 2002.12.21

講演その他

- No. 1 金子道夫:
小児固形腫瘍の最近の知見
福島県浜通り小児科医勉強会 2002.7.18
- No. 2 堀 哲夫, 金子道夫, 松井 陽:
胆道閉鎖症術後早期に肝移植を施行した9例の検討
MINCS 2002.6.27
- No. 3 雨海照祥:
医歯薬出版主催: ASPEN セミナー.
San Diego 2002.2.23-27
- No. 4 雨海照祥:
臨床における免疫と栄養の役割.
東京. 味の素ファルマ講演会 2002.6.24
- No. 5 雨海照祥:
栄養クリニック NOW-NST の薦め
学術講演会 つくば栄養事始め 2002.7.1(つくば)
- No. 6 雨海照祥:
つくば栄養事始め. 教育講演「栄養クリニック NOW-NST の薦め」
県南地区医師会学術連絡会, 大塚製薬共催 2002.7.1
- No. 7 雨海照祥:
座談会: 短腸症候群の管理と研究. つくば. D.Sigalet 教授, 真田裕助教授とともに
つくば市 2002.7.1
- No. 8 雨海照祥:
座談会: 新免疫増強栄養剤 IMPACT をめぐって(1)
東京八重洲 2002.7.11

- No. 9 雨海照祥：
座談会：新免疫増強栄養剤 IMPACT をめぐって(2)
筑波国際会議場 2002.7.24
- No. 10 雨海照祥：
座談会：新免疫増強栄養剤 IMPACT をめぐって(3)
筑波国際会議場 2002.9.27
- No. 11 雨海照祥：
福島ダイエティション・クラブ
「免疫栄養」
「海外の NST の現状～ESPEN2002」
福島県原町市ラフィーナ 2002.10.4
- No. 12 雨海照祥：
国立大学衛星放送番組 MINCS「栄養教育をめぐって」—高知医大，大阪大学とともに
筑波大学 2002.10.17(木)
- No. 13 雨海照祥：
医歯薬出版セミナー「栄養クリニック NOW」
医歯薬出版本社，東京 2002.10.19
- No. 14 雨海照祥：
栄養療法研究会「ASPEN 報告」
栄養会館(東京) 2002.10.24
- No. 15 雨海照祥：
第2回つくば栄養事始め
「免疫栄養—栄養クリニック NOW 2」
筑波国際会議場 2002.11.8
- No. 16 雨海照祥：
栄養療法研究会「ESPEN 報告」
栄養会館(東京) 2002.11.28

2002 (整形外科グループ)

原 著

- No. 1 池田耕太郎：
骨髄炎の保存療法—薬物療法を中心に—
整形外科看護 7(11)：17-21, 2002
- No. 2 石井 朝夫, 辻井 績武, 船山 徹, 須藤 光敏, 落合 直之：
乳児期の足部熱傷後瘢痕が原因の難治性尖足に対するイリザロフ法による変形矯正
日本創外固定・骨延長学会雑誌 13：135, 2002
- No. 3 石井 朝夫, Khin-Myo-Hla, 坂根 正孝, 佐藤 彩乃, 落合 直之：
足関節機能的不安定症の病態—足関節捻挫後遺症障害の病態と治療
臨床整形外科 37(1)：35-40, 2002
- No. 4 江口 清, 前田悠紀人, 花田和加子, 清水 朋枝, 石川 公久, 加藤 敬子,
落合 直之：
関節リウマチ患者への Hospital Anxiety and Depression Scale(HAD)の適用—リハ
ビリテーション医療における簡便な心理テストの意義—
リハビリテーション連携科学 3(1)：106-114, 2002
- No. 5 岡田知佐子, 金岡 恒治, 清水 顕, 武藤 芳照, 山田 均：
一流水泳選手の医学的諸問題
水健医誌 5(1)：19-22, 2002
- No. 6 作田 直記, 西浦 康正, 落合 直之：
内反肘に発生した上腕骨滑車離断性骨軟骨炎と思われる1例
日本肘関節研究会雑誌 9：55-56, 2002
- No. 7 田中 利和, 小川 健, 鯨岡 結賀, 市村 晴充, 落合 直之：
手部軟部腫瘍に対する超音波検査の有用性と限界
日手会誌 19(5)：559-563, 2002
- No. 8 西浦 康正, 落合 直之, Kanje M., Lundborg G., Dahlin L.：
凍結解凍筋・圧延した腱への培養シュワン細胞の移植は軸索を促進する
末梢神経 12：83-86, 2001
- No. 9 西浦 康正, 落合 直之, 宮内 幸男, 新津 守：
MR myelography による腕神経叢損傷における神経根損傷診断の有用性
日手会誌 19：389-392, 2002
- No. 10 西浦 康正, 落合 直之：
占拠性病変による手根管症候群
整・災外 45：1143-1151, 2002
- No. 11 西浦 康正, 落合 直之：
反射性交感神経性ジストロフィーの症状と診断
整・災外 45：1319-1326, 2002
- No. 12 西野 衆文, 池田耕太郎, 佐藤 卓, 落合 直之, 田中 利和：
骨化巣摘出を要した Pellegrini-Stieda 病の2例
整形外科 53(12)：1559-1562, 2002

- No. 13 埜口 博司, 宮川 俊平, 奥脇 透, 大塚 盛男, 落合 直之:
投球障害肩の特徴身体所見, Block test, 単純 X 線写真, MR 関節造影及び肩関節鏡
にての分析
CAMPUS HEALTH 38 : 57-62, 2002
- No. 14 船山 徹, 西浦 康正, 落合 直之:
先天性無痛無汗症に伴うシャルコー肘関節の治療経験
日本肘関節研究会雑誌 9 : 89-90, 2002
- No. 15 Abe I, Tsujino A, Hara Y, Ichimura H, Ochiai N :
Paranodal demyelination by gradual nerve stretch can be repaired by elongation
of internodes.
Acta Neuropathol 104 : 505-512, 2002
- No. 16 Ito A, Kawamura H, Miyakawa S, Pierre Layrolle, Kanzaki N, Gabin Treboux,
Onuma K, Tsutsumi S :
Resorbability and solubility of zinc-containing tricalcium phosphate.
Biomed Mater Res 226-231, 2002
- No. 17 Hirano A, Fukubayashi T, Ishii T, Ochiai N :
Magnetic Resonance Imaging of Osgood-Schlatter's Disease:
The Course of the disease. Skeletal Radiology 31 : 334-342, 2002
- No. 18 Kaneoka K, Ono K, Inami S, Ochiai N, Hayashi K :
The Human Cervical Spine Motion During Rear-Impact Collision: A Proposed
Cervical Facet Injury Mechanism During Whiplash Trauma.
Journal of Whiplash & Related Disorders 1(1) : 85-97, 2002
- No. 19 Ono K, Kaneoka K, Hattori S, Ujihashi S, Takounts EG, Haffner M, Eppinger R. :
Cervical vertebral motions and biomechanical responses to direct loading of
human head.
Proceedings of IRCOBi conference. ; 235-248, 2002
- No. 20 Tomas Haapaniemi, Nishiura Y, Lars B Dahlin :
Functional evaluation after rat sciatic nerve injury followed by hyperbaric oxygen
treatment.
J Peripher Nerv Syst 7 : 149-154, 2002
- No. 21 Matsuzaki Y, Miyazaki T, Miyakawa S, Bernerd Bouscarel, Ikegami T, Tanaka N :
Decreased taurine concentration in skeletal muscles after exercise for various
times.
Medicine & Science in Sports & Exercise 34 : 793-797, 2002

学会発表

- No. 1 宮川 俊平, 井元 政義, 岡田 基, 三島 初, 河村 春生, 落合 直之:
ハイドロオキシアパタイトコーティングセメントレス人工股関節の長期成績
第32回日本人工関節学会学術集会(名古屋), 1月, 2002

- No. 2 池田耕太郎, 渡辺 新, 渡辺 保彦, 落合 直之, 福林 徹:
半月切除にマルチエレクトロードシステム (ArthroCare) を使用後広範な骨壊死を生じた1例
第27回日本膝関節学会(別府), 2月, 2002
- No. 3 作田 直記, 西浦 康正, 落合 直之:
内反肘に発生した上腕骨滑車離断性骨軟骨炎と思われる1例
第14回日本肘関節研究会(札幌), 2月, 2002
- No. 4 西浦 康正, 福田 恵子, 福島 真, 落合 直之:
特発性限局性手内在筋拘縮の1例
第16回東日本手の外科研究会, 2月, 2002
- No. 5 船山 徹, 西浦 康正, 西野 衆文, 辰村 正紀, 須藤 光敏, 落合 直之, 吉田 透:
先天性無痛無汗症に伴うシャルコー肘関節の治療経験
第14回日本肘関節研究会(札幌), 2月, 2002
- No. 6 船山 徹, 西浦 康正, 山田 道生, 落合 直之:
舟状月状骨間離開を伴った手根骨尺側長軸脱臼の1例
第16回東日本手の外科研究会(札幌), 2月, 2002
- No. 7 六崎 裕高, 坂根 正孝, 田中 忍, 下條 仁士, 宮永 豊, 田中 順三, 落合 直之:
交互浸漬法によるヒトハムストリング腱へのリン酸カルシウムの複合化: 臨床応用に向けての最適化と浸漬器械の開発
第27回日本膝学会(大分), 2月, 2002
- No. 8 石井 朝夫, 赤荻 博, 野内 隆治, 落合 直之:
関節牽引を用いた広範囲軟骨再生の実験的研究
第15回日本創外固定・骨延長学会(大阪), 3月, 2002
- No. 9 上杉 雅文, 岩指 仁, 六崎 裕高, 金岡 恒治, 落合 直之:
腰椎破裂骨折に対するイリザロフ式創外固定器の使用経験
第42回関東整形災害外科学会(東京), 3月, 2002
- No. 10 金岡 恒治, 岡田知佐子, 武藤 芳照, 清水 顕, 落合 直之:
水泳日本代表選手の整形外科的障害調査
第28回日本整形外科スポーツ医学会学術集会(高知), 3月, 2002
- No. 11 宮川 俊平, 大島 襄, 青木 治人, 福林 徹, 深谷 茂, 河野 照茂, 田中 寿一, 森川 嗣夫, 関 純:
日本代表サッカー選手の血液所見 第2報
第28回日本整形外科スポーツ医学会学術集会(高知), 3月, 2002
- No. 12 李 小由, 石井 朝夫, 赤荻 博, 野澤 大輔, 池田耕太郎, 落合 直之:
延長仮骨形成不良症例の病理組織学的検討
第15回日本創外固定・骨延長学会(大阪), 3月, 2002
- No. 13 和田 大志, 池田耕太郎, 石井 朝夫, 落合 直之:
骨化を伴った後腹膜変性型神経鞘腫の1例
第42回関東整形災害外科学会(東京), 3月, 2002

- No. 14 田中 利和, 小川 健, 鯨岡 結賀, 辻野 昭人, 落合 直之:
手部長軟部腫瘍に対する超音波検査の有用性と限界
第45回日本手の外科学会, 4月, 2002
- No. 15 西浦 康正, 宮内 幸男, 落合 直之, 新津 守:
MR myelography による腕神経叢損傷における神経根損傷診断の有用性
第45回日本手の外科学会(新潟), 4月, 2002
- No. 16 宮川 俊平, 田中ハルカ, 船山 徹, 野澤 大輔, 落合 直之:
人工股関節再置換術における骨ペーストの使用経験—第2報—
第2回茨城骨ペースト研究会(つくば), 4月, 2002
- No. 17 会田 育男, 金岡 恒治, 稲見 聡, 落合 直之:
頸髄症術後の回復期間の検討
第75回日本整形外科学会学術集会(岡山), 5月, 2002
- No. 18 阿部 亮子, 六崎 裕高, 金岡 恒治, 石井 朝夫, 落合 直之:
肩甲骨体部に生じた軟骨芽細胞腫の1例
第613回関東整形災害外科学会東京集談会(東京), 5月, 2002
- No. 19 池田耕太郎, 渡辺 新, 佐藤 卓, 六崎 裕高, 万本 健生, 落合 直之, 福林 徹:
HA コーティング TKA の X 線学的検討—Deltafit と NexGen の比較—
第75回日本整形外科学会学術集会(岡山), 5月, 2002
- No. 20 石井 朝夫, 宮川 俊平, 埜口 博司, 下條 仁士, 落合 直之:
足関節靭帯損傷に対する観血, 保存療法の選択—機能的装具療法による保存療法
第75回日本整形外科学会シンポジウム(岡山), 5月, 2002
- No. 21 江口 清, 落合 直之:
予後に問題のある下肢切断者に対する坐骨支持長下肢装具の使用経験
第39回日本リハビリテーション医学会, 5月, 2002
- No. 22 小川 健, 田中 利和, 市村 晴充, 落合 直之:
創外固定のよる CM 関節脱臼の治療法
第45回日本手の外科学会, 5月, 2002
- No. 23 金岡 恒治, 小野古志郎, 落合 直之, 稲見 聡, Freeman Michael:
外傷性頸部症候群の症状遷延化因子の調査
第75回日本整形外科学会学術集会(岡山), 5月, 2002
- No. 24 後藤 如代, 石井 朝夫, 野澤 大輔, 遠藤 厚二, 落合 直之:
診断に難渋した足関節内異物の症例
第93回茨城県整形外科集談会(土浦), 5月, 2002
- No. 25 西浦 康正, 落合 直之, 新津 守:
MR myelography による腕神経叢損傷における神経根損傷の診断
第75回日本整形外科学会学術集会(岡山), 5月, 2002
- No. 26 福林 徹, 池田耕太郎, 金子 正剛, 鈴木 祐司:
MCL 損傷合併例に対する治療選択
第75回日本整形外科学会学術集会(岡山), 5月, 2002

- No. 27 宮川 俊平, 井元 政義, 岡田 基, 三島 初, 河村 春生, 落合 直之:
 ハイドロキシアパタイトコーティングセメントレス人工股関節の長期成績
 第75回日本整形外科学会学術集会(岡山), 5月, 2002
- No. 28 六崎 裕高, 池田耕太郎, 落合 直之, 金森 章浩:
 TKAにおける脛骨骨切りの工夫—脛骨結節を指標とした作図と術中角度計利用の有用性—
 第93回茨城県整形外科集談会(土浦), 5月, 2002
- No. 29 会田 育男, 金岡 恒治, 稲見 聡, 落合 直之:
 慢性圧迫性頸髄症における運動機能の定量評価と脊髄形態との相関性
 第31回日本脊椎脊髄病学会(宮崎), 6月, 2002
- No. 30 金岡 恒治, 小野古志郎, 服部伸一郎, 福島 真, 坂根 正孝, 宇治橋貞幸,
 落合 直之:
 頭部被衝撃時の頸椎挙動解析
 第31回日本脊椎脊髄病学会(宮崎), 6月, 2002
- No. 31 馬見塚尚孝, 金岡 恒治, 坂根 正孝, 平林 宏之, 中島 宏, 馬見塚恭子,
 落合 直之:
 若年者の慢性頸部痛の病因—脊柱管前後径と脊髄の長軸方向の緊張について—
 第31回日本脊椎脊髄病学会(宮崎), 6月, 2002
- No. 33 吉岡 友和, 池田耕太郎, 水町 隆雄, 赤荻 博, 落合 直之:
 内側広筋内悪性腫瘍に対する大腿四頭筋広範囲切除後の残存筋の形状と筋力について
 第35回日本整形外科学会骨軟部腫瘍学術集会(山口), 7月, 2002
- No. 34 坂根 正孝, 佐藤 卓, 田中 忍, 山口 勇, 宮永 豊, 田中 順三, 中島 弘美,
 落合 直之:
 リン酸カルシウム複合化法を用いた骨孔内腱固定モデルにおける, 骨—軟部組織海綿体の力学的強度
 第29回日本臨床バイオメカニクス学会(幕張), 9月, 2002
- No. 35 金森 章浩, 後藤 史江, 落合 直之, 福林 徹:
 ジャンプでの着地肢位が膝周囲筋活動に与える影響—非接触性 ACL 損傷との関連
 第29回日本臨床バイオメカニクス学会(幕張), 9月, 2002
- No. 36 会田 育男, 金岡 恒治, 稲見 聡, 落合 直之:
 頸髄症術後の頸部痛の評価
 第51回東日本整形災害外科学会, 10月, 2002
- No. 37 安部伊知朗, 辻野 昭人, 市村 晴充, 孫 嘉, 原 友紀, 落合 直之:
 慢性伸長末梢神経における髄鞘間距離の動態に関する検討
 第17回日本整形外科学会基礎学術集会, 10月, 2002
- No. 38 後藤 如代, 金岡 恒治, 坂根 正孝, 遠藤 厚二, 平林 宏之, 落合 直之:
 脊柱短縮楔状骨切り術にて治療した第3胸椎圧迫骨折の1例
 第51回東日本整形災害外科学会, 10月, 2002

- No. 39 坂根 正孝, 佐藤 卓, 宮永 豊, 田中 順三, 和田野安良, Jeniffer Zeminiski,
落合 直之:
リン酸カルシウム複合化による, 靱帯・腱骨付着部の再建
第17回日本整形外科学会基礎学術集会, 10月, 2002
- No. 40 原 友紀, 辻野 昭人, 安部伊知朗, 市村 晴充, 落合 直之:
末梢神経慢性伸長時のミエリン蛋白遺伝子発現
第17回日本整形外科学会基礎学術集会, 10月, 2002
- No. 41 宮川 俊平, 奥脇 透, 大塚 盛男, 落合 直之:
投球障害肩の特徴身体所見, Block test, 単純 X 線写真, MR 関節造影及び肩関節鏡
にての分析
第40回全国大学保健管理研究集会(東京), 10月, 2002
- No. 42 六崎 裕高, 坂根 正孝, 渡辺 保彦, 池田耕太郎, 宮永 豊, Savio L-Y Woo,
落合 直之, 田中 順三:
遊離移植腱へのリン酸カルシウム複合化と自動浸漬器械の開発
第17回日本整形外科学会基礎学術集会(青森), 10月, 2002
- No. 43 六崎 裕高, 池田耕太郎, 渡辺 新:
ACL 不全膝に対する Thermal shrinkage 法
第3回筑波大学整形外科研究会(土浦), 10月, 2002
- No. 44 西浦 康正, 落合 直之, 辻野 昭人:
当科を受診した難治性尺側手関節部痛症例について
第51回東日本整形災害外科学会(郡山), 10月, 2002
- No. 45 渡辺 保彦, Andrew Van Scyoc, 津田 英一, Richard Debski, Freddie H Fu,
福林 徹, 落合 直之, Savio L-Y Woo:
部分半月切除が前十字靱帯正常膝キネマティクスに与える影響
第17回日本整形外科学会基礎学術集会, 10月, 2002
- No. 46 鎌田 浩史, 田中 利和, 落合 直之, 三島 初, 金森 章浩, 清水 顕, 吉岡 大:
テニスのストローク中に発生した外傷性 TFCC の断裂の1例
第13回日本臨床スポーツ医学会, 11月, 2002
- No. 47 後藤 如代, 西浦 康正, 宮内 幸男, 落合 直之:
上腕骨解剖頸骨折を伴う肩関節後方脱臼の1例
第94回茨城整形外科医会(水戸), 11月, 2002
- No. 48 中島 英治, 馬淵 昭彦, 池田 敏之, 張軍衛, 鬼頭 浩史, 真鍋 典世, 筑田 博隆,
鹿島田健一, 石井 朝夫, 君塚 葵, 中島雅之輔, 川口 浩, 宮沢 知修, ニノ宮節夫,
中村 耕三, 芳賀 信彦, 小崎 里華, 大橋 博文, 西村 玄, 池川 志郎:
骨幹端異形成症の原因遺伝子解析
第15回日本整形外科学会骨系統疾患研究会(福岡), 11月, 2002
- No. 49 宮川 俊平, 網笠 友則, 平野 篤, 上牧 裕, 落合 直之:
2002年韓国・日本ワールドカップの医事運営
一茨城鹿島スタジアムにおいて—
第13回日本臨床スポーツ医学会, 11月, 2002

- No. 50 渡辺 新, 上杉 雅文, 六崎 裕高, 池田耕太郎:
膝軟骨損傷に対する骨膜移植術後に線維軟骨過形成を呈した1例
第20回埼玉・スポーツ医学研究会(さいたま), 12月, 2002
- No. 51 Yoshioka H, P. Lang, Ikeda K, Niitsu M, Itai Y:
Initial study of 3D water-excitation magnetization transfer contrast MR imaging
of articular cartilage.
European Congresss of Radiology, Vienna, Austria. 3月, 2002
- No. 52 Ono K, Kaneoka K:
Minor Neck Injury Mechanism in Low Speed Rear Impact Based on Human
Cervical Vertebra Motions.
4th World Biomechanics Congress 2002, Calgary, Canada: Symposium
- No. 53 Ishii T, Akaogi H, Yanai T, Ochiai N:
Cartilage regeneration in total articular cartilage defects using joint distraction
method., SICOT/SIROT
2002 World Congress(San Diego), Aug, 2002
- No. 54 Niitsu, Y Itai, K Ikeda:
Parallel Imaging (SENSE) of Routine MR Examination of the Knee.
88th Scientific Assembly and Annual Meeting. Radiological Society of North
America (RSNA), Dec. 2002, Chicago, USA.
- No. 55 Niitsu, K Ikeda, T Sakamoto, Y Itai:
Clinical MR Microscopy of the Knee: Delineation of the Fine Structures of Medial
Corner. 88th Scientific Assembly and Annual Meeting.
Radiological Society of North America (RSNA), Dec. 2002, Chicago, USA.

総説・解説・その他

- No. 1 江口 清:
慢性期脳卒中患者の機能維持
総合臨床 51. 3227-3232, 2002
- No. 2 落合 直之:
骨髓炎
相楽裕子編集
感染症診療実践マニュアル, 72-81, 文光堂, 2002
- No. 3 落合 直之:
スポーツと末梢神経障害
日本臨床スポーツ医学会誌, 10: 11-16, 2002
- No. 4 落合 直之:
上肢末梢神経障害の診断と治療
北整・外傷研誌, 18: 105-111, 2002
- No. 5 落合 直之:
末梢神経障害の機序と治療
関節外科, 21: 108-114, 2002

- No. 6 金岡 恒治, 岡田知佐子:
第9回世界水泳選手権大会福岡チームドクターレポート
臨床スポーツ医学, 19(4):467-472, 2002
- No. 7 西浦 康正, 落合 直之:
反射性交感神経性ジストロフィーの症状と診断
整・災外, 45:1319-1326, 2002
- No. 8 埜口 博司, 落合 直之:
肩関節脱臼・亜脱臼:
保存療法としての運動療法, 術後の運動療法
白土 修, 宗田 大 編集
整形外科運動療法実践マニュアル, 33-41, 全日本病院出版会, 2002
- No. 9 宮川 俊平:
スポーツ現場での安全管理と外科的救急処置
臨床スポーツ医学, 第19巻, 第11号, 1332-1340, 2002
- 講演
- No. 1 石井 朝夫:
骨粗鬆症の診断および治療—最近の話題—
茨城県病院薬剤師会学術講演会(つくば), 4月, 2002
- No. 2 石井 朝夫:
距骨下関節不安定性と足関節機能的不安定性
第9回関東足の外科勉強会教育研修講演(東京), 5月, 2002
- No. 3 石井 朝夫:
スポーツ選手の足関節(足首)捻挫—治療とリハビリテーション—
第8回テニスメディカルセミナー(東京), 6月, 2002
- No. 4 石井 朝夫:
骨粗鬆症の診断および治療
常陸太田市医師会学術講演会(常陸太田), 7月, 2002
- No. 5 宮川 俊平:
「スポーツ医学—外科系—」, 「スポーツ医学—スポーツ外傷の救急処置—」
平成13年度C級コーチ養成講習会(千葉), 1月, 2002
- No. 6 落合 直之:
難治性骨折に対するイリザロフ法の経験より
第30回北陸骨傷研究会(金沢), 2月, 2002
- No. 7 落合 直之:
スポーツにおける末梢神経障害とその対策
第10回鹿児島スポーツ医学研究会(鹿児島), 2月, 2002
- No. 8 宮川 俊平:
救急処置(2)
日本体育協会公認スポーツドクター養成講習会(東京), 2月, 2002

- No. 9 落合 直之：
末梢神経障害度分類に関する考察
第68回近畿手の外科症例検討会(大阪)，3月，2002
- No. 10 江口 清：
生活上の問題が不安とうつの評価に反映されたと考えられる慢性関節リウマチの一患者に対するリハビリテーションの経験—チーム医療における簡便な心理テストの意義—
日本リハビリテーション連携科学学会第3回大会(大田原)，3月，2002
- No. 11 江口 清，落合 直之：
予後に問題のある下肢切断者に対する坐骨支持長下肢装具の使用経験
第39回日本リハビリテーション医学会学術集会 2002/5/11 東京
- No. 12 落合 直之：
IN VIVOにおける TISSUE ENGINEERING：骨延長術
第15回つくば薬剤師の集い(つくば)，6月，2002
- No. 13 落合 直之：
難治性骨折に対するイリザロフ法の経験
第7回相模原骨粗鬆症研究会学術講演会〔町田〕，6月，2002
- No. 14 江口 清：
脚延長術を行なった1例におけるF波
第24回運動障害研究会(東京)，7月，2002
- No. 15 落合 直之：
イリザロフ法による難治性骨折の治療
第11回近整会夏期研究会，8月，2002
- No. 16 清水 朋枝，石川 公久，前田悠紀人，花田和加子，江口 清，加藤 敬子：
当院における小児リハビリテーションの現状
第21回関東甲信越ブロック理学療法士学会(大宮)，9月，2002
- No. 17 落合 直之：
イリザロフ法による難治性骨折の治療経験
第2回茨城県骨・関節フォーラム(つくば)，9月，2002
- No. 18 宮川 俊平：
スポーツ傷害の救急処置と安全管理
(安中)，10月，2002
- No. 19 宮川 俊平：
2002年韓国・日本ワールドカップの医事運営—茨城鹿島スタジアムについて—
茨城県スポーツ医学研究会(水戸)，11月，2002
- No. 20 渡部 洋子，花田和加子，石川 公久，清水 朋枝，前田悠紀人，加藤 敬子，
江口 清：
変形性股関節症の人工股関節全置換術施行者に対する当院でのOTとしての関わり
第6回茨城県総合リハビリテーションケア学会学術集会(日立)，12月，2002

- No. 21 石川 公久, 江口 清, 清水 朋枝, 前田悠紀人, 花田和加子, 渡部 洋子,
加藤 敬子:
養護学校に非常勤として勤務し感じたこと
第6回茨城県総合リハビリテーションケア学会学術集会(日立), 12月, 2002
- No. 22 花田和加子, 渡部 洋子, 加藤 敬子, 江口 清:
当院における腕神経叢損傷患者に対する取り組み
第6回茨城県総合リハビリテーションケア学会学術集会, 12月, 日立
- No. 23 前田悠紀人, 石川 公久, 清水 朋枝, 花田和加子, 渡部 洋子, 加藤 敬子,
江口 清:
RAによる両膝関節破壊に対して両側TKAが行なわれた症例の足関節へのアプローチ
第6回茨城県総合リハビリテーションケア学会学術集会(日立), 12月, 2002
- No. 24 落合 直之:
スポーツと末梢神経障害の診断と治療
第70回東京医科歯科大学整形外科集談会(東京), 12月, 2002

2002 (眼科グループ)

原 著

- No. 1 Fujita Y, Yoshizawa T, Sakata N, Okoshi N, Yamamoto N, Tamaoka A, Hommura S, Shoji S :
Fungal Endophthalmitis and Churg-Strauss Syndrome
Reprinted from Internal Medicine 41 : 167, 2002
- No. 2 Takei K, Sekine Y, Okamoto F, Hommura S :
Measurement of axial length of eyes with incomplete filling of silicone oil in the vitreous cavity using X-ray computed tomography.
Br J Ophthalmol 86 : 47-50, 2002
- No. 3 Kato S, Suzuki T, Hayashi T, Numaga J, Hattori T, Yuguchi T, Kaiya T, Oshika T :
Risk factors for contraction of the anterior capsule opening after cataract surgery.
J Cataract Refract Surg 28 : 109-112, 2002
- No. 4 Wakabayashi T, Yamamoto N :
Posterior capsule staining and posterior continuous curvilinear capsulorhexis in congenital cataract .
J Cataract Refract Surg 28(11) : 2042-2044, 2002
- No. 5 Oshika T, Tanabe T, Tomidokoro A, Amano S :
Progression of keratoconus assessed by Fourier analysis of videokeratography data.
Ophthalmology 109 : 339-342, 2002
- No. 6 Inoue K, Kato S, Inoue Y, Amano S, Oshika T :
The corneal endothelium and thickness in type II diabetes mellitus.
Jpn J Ophthalmol 46 : 65-69, 2002
- No. 7 Matsuo H, Tomita G, Araie M, Suzuki Y, Kaji Y, Obata H, Tanaka S :
Histopathological findings in filtering blebs with recurrent blebitis.
Br J Ophthalmol 86 : 827, 2002
- No. 8 Kagaya F, Usui T, Kamiya K, Ishii Y, Tanaka S, Amano S, Oshika T :
Intraocular dexamethasone delivery system for corneal transplantation in an animal model.
Cornea 21 : 200-202, 2002
- No. 9 Kagaya F, Hori J, Kamiya K, Kaji Y, Oshika T, Amano S, Yamagami S, Tsuru T, Tanaka S, Matsuda H, Yagita H, Okumura K :
Inhibition of murine corneal allograft rejection by treatment with antibodies to CD80 and CD86.
Exp Eye Res 74 : 131-139, 2002
- No. 10 Nakashima Y, Yoshitomi F, Oshika T :
Regression of Elschnig pearls on the posterior capsule in a pseudophakic eye.
Arch Ophthalmol 120 : 397-398, 2002

- No. 11 Kuroda T, Fujikado T, Maeda N, Oshika T, Hirohara Y, Mihashi T :
Wavefront analysis of higher order aberrations in patients with cataract.
J Cataract Refract Surg 28 : 438-444, 2002
- No. 12 Inoue K, Kimura C, Amano S, Oshika T, Tsuru T :
Corneal endothelial cell changes twenty years after penetrating keratoplasty.
Jpn J Ophthalmol 46 : 189-192, 2002
- No. 13 Kagaya F, Tomidokoro A, Tanaka S, Amano S, Oshika T :
Fourier series harmonic analysis of corneal topography following suture removal
after penetrating keratoplasty.
Cornea 21 : 256-259, 2002
- No. 14 Mimura T, Amano S, Nagahara M, Oshika T, Tsushima K, Nakanishi N, Tanino T :
Corneal endotheliitis and idiopathic sudden sensorineural hearing loss.
Am J Ophthalmol 133 : 699-700, 2002
- No. 15 Inoue K, Tokuda Y, Inoue Y, Amano S, Oshika T, Inoue J :
Corneal endothelial cell morphology in patients undergoing cataract surgery.
Cornea 21 : 360-363, 2002
- No. 16 Oshika T, Miyata K, Tokunaga T, Samejima T, Amano S, Tanaka S, Hirohara Y,
Mihashi T, Maeda N, Fujikado T :
Higher order wavefront aberrations of cornea and magnitude of refractive correc-
tion in laser in situ keratomileusis.
Ophthalmology 109 : 1154-1158, 2002
- No. 17 Miyata K, Tsuji H, Tanabe T, Mimura Y, Amano S, Oshika T :
Intracameral air injection for acute hydrops in keratoconus.
Am J Ophthalmol 133 : 750-752, 2002
- No. 18 Tanabe T, Oshika T, Tomidokoro A, Amano S, Tanaka S, Kuroda T, Maeda N,
Tokunaga T, Miyata K :
Standardized color-coded scales for anterior and posterior elevation maps of
scanning slit corneal topography.
Ophthalmology 109 : 1298-1302, 2002
- No. 19 Kuroda T, Fujikado T, Maeda N, Oshika T, Hirohara Y, Mihashi T :
Wavefront analysis in patients with nuclear or cortical cataract.
Am J Ophthalmol 134 : 1-9, 2002
- No. 20 Miyata K, Kamiya K, Takahashi T, Tanabe T, Tokunaga T, Amano S, Oshika T :
Time course of changes in corneal forward shift after excimer laser photore-
fractive keratectomy.
Arch Ophthalmol 120 : 896-900, 2002
- No. 21 Oshika T, Mimura T, Tanaka S, Amano S, Fukuyama M, Yoshitomi F, Maeda N,
Fujikado T, Hirohara Y, Mihashi T :
Apparent accommodation and corneal wavefront aberration in pseudophakic eyes.
Invest Ophthalmol Vis Sci 43 : 2882-2886, 2002

- No. 22 Moore JE, McMullen TC, Campbell IL, Rohan R, Kaji Y, Afshari NA, Usui T, Archer DB, Adamis AP :
The inflammatory milieu associated with conjunctivalized cornea and its alteration with IL-1 RA gene therapy.
Invest Ophthalmol Vis Sci 43(9) : 2905-2915, 2002
- No. 23 Fujishima K, Yoshitomi F, Oshika T :
Spontaneous disinsertion of a haptic from a 3-piece acrylic foldable intraocular lens after surgery.
J Cataract Refract Surg 28 : 1296-1298, 2002
- No. 24 Shigeeda T, Nagahara M, Kato S, Kunimatsu S, Kaji Y, Tanaka S, Amano S, Oshika T :
Spontaneous posterior dislocation of intraocular lenses fixed within the capsular bag.
J Cataract Refract Surg 28 : 1689-1693, 2002
- No. 25 Yoshida K, Nakano H, Yoshitomi F, Oshika T :
Prevalence of seropositivity for hepatitis C virus in cataract patients and general population.
J Cataract Refract Surg 28 : 1789-1792, 2002
- No. 26 Soya K, Amano S, Oshika T :
Quantification of simulated corneal haze by measuring back-scattered light.
Ophthalmic Res 34 : 380-388, 2002
- No. 27 Ninomiya S, Fujikado T, Kuroda T, Maeda N, Tano Y, Oshika T, Hirohara Y, Mihashi T :
Changes of ocular aberration with accommodation.
Am J Ophthalmol 134 : 924-926, 2002
- No. 28 Takei K :
Is abnormal focal steepening of the cornea related to persistent monocular diplopia?
J Refract Surg 18 : 253-262, 2002
- No. 29 Yamamoto N, Wakabayashi T, Murakami K, Hommura S :
Detection of CMV in plasma and aqueous humor specimens from AIDS patients with CMV retinitis using the AMPLICOR CMV test
Scand J Infect Dis 34(5) : 351-355, 2002
- No. 30 Yamamoto N, Wakabayashi T, Murakami K :
Intraocular and plasma HIV-1 RNA in HIV-infected patients with CMV retinitis and HIV-infected controls
Scand J Infect Dis 34(10) : 742-745, 2002
- No. 31 Wakabayashi T, Kosaka J, Hommura S :
Up-regulation of Hrk, a regulator of cell death, in retinal ganglion cells of axotomized rat retina.
Neuroscience Letters 318(2) : 7-80, 2002

- No. 32 川名 啓介, 能勢 晴美, 本村 幸子:
眼窩顆粒細胞腫の1例
臨眼 55:1497-1501, 2002
- No. 33 井上 賢治, 奥川加寿子, 大鹿 哲郎, 天野 史郎:
鈍的外傷による角膜内皮障害
臨眼 56:345-349, 2002
- No. 34 坂田 典繁, 山本 成彦, 佐藤 正樹, 本村 幸子:
アンホテリシン B 硝子体内注入を併用した内因性真菌性眼内炎の3例
臨眼 56:455-459, 2002
- No. 35 下村 直樹, 天野 史郎, 大鹿 哲郎, 粕谷 貴生, 原 岳:
全層角膜移植術後の緑内障に対する半導体レーザー経強膜毛様体光凝固術の効果
臨眼 56:1267-1270, 2002
- No. 36 坂下 千穂, 岡本 周子, 岡本 史樹, 武井 一夫, 本村 幸子:
高齢者に発症した急性後部多発性斑状色素上皮症 (APMPPE) の1例
眼臨 96:29-33, 2002
- No. 37 本多麻衣子, 濱田 直紀, 大鹿 哲郎:
水晶体亜脱臼に対する液体パーフルオロカーボン上での超音波乳化吸引術
眼臨 96:667-669, 2002
- No. 38 糸賀 俊郎, 能勢 晴美, 森田 由香, 石井晃太郎, 本村 幸子, 森下由紀雄,
長田 道夫, 野口 雅之:
涙腺部アミロイドーシスの2例
眼臨 96:673-678, 2002
- No. 39 駒橋美香子, 山形 周子, 能勢 晴美, 本村 幸子:
転移性毛様体腫瘍の1例
眼臨 96:1151-1154, 2002
- No. 40 田邊 樹郎, 宮田 和典, 天野 史郎, 大鹿 哲郎:
Photorefractive keratectomy および laser in situ keratomileusis による角膜上皮バ
リア機能の変化
眼科 44:321-328, 2002
- No. 41 山中 昭夫, 三宅 謙作, 中前 勝彦, 玉井 信, 稲富 誠, 山本 節, 澤 充,
石橋 達朗, 大鹿 哲郎, 江口秀一郎, 雑賀司珠也:
眼内レンズインプラントデータシステム委員会活動報告 (第6報, 2001年度)
IOL & RS 16:212-216, 2002
- No. 42 大鹿 哲郎, 澤 充, Leaming DV:
2001年日本眼内レンズ屈折手術学会会員アンケート
IOL&RS 16:332-351, 2002
- No. 43 田邊 樹郎, 大鹿 哲郎, 宮田 和典, 鯨島 智一, 天野 史郎, 前田 直之,
不二門 尚, 広原 陽子, 三橋 俊文:
Photorefractive keratectomy 後の低コントラスト視力と高次波面収差および角膜上皮
下混濁の関係
視覚の科学 23:78-82, 2002

総 説

- No. 1 能勢 晴美, 関根 康生, 山本 成径:
緑内障の治療 IV. 病型別緑内障に対する治療方針 4. 先天緑内障
眼科 44 1623-1628, 2002
- No. 2 川名 啓介, 能勢 晴美, 本村 幸子:
眼窩顆粒細胞腫の1例
臨眼 55:1497-1501, 2002
- No. 3 大鹿 哲郎:
アクリルソフトレンズ (アルコン)
眼科手術 15:311-316, 2002
- No. 4 富所 敦男, 大鹿 哲郎:
白内障手術の患者側評価 QOL に基づいた評価
IOL&RS 16:447-452, 2002
- No. 5 岡本 史樹, 本村 幸子:
内科医が知っておくべき糖尿病網膜症のマネージメント
Mebio メディカルビュー社 p.44-49, 2002

著 書

- No. 1 大鹿 哲郎:
屈折異常 (手術療法)
今日の治療指針2002年版 私はこう治療している (多賀須幸男, 尾形悦郎 監修)
医学書院, 東京, pp.904-905, 2002
- No. 2 大鹿 哲郎:
Iatrogenic keratectasia
角膜トポグラファーと波面センサー 解説のポイント
(前田直之, 大鹿哲郎, 不二門尚 編)
メディカルビュー社, 東京, pp168-170, 2002
- No. 3 大鹿 哲郎:
角膜形状解析の歴史と現状
眼科診療プラクティス「角膜形状解析の基礎と臨床」(大鹿哲郎 編)
文光堂, 東京, pp 2-4, 2002
- No. 4 田邊 樹郎, 大鹿 哲郎:
スリットスキャン型装置 カラーコードマップの読み方
眼科診療プラクティス「角膜形状解析の基礎と臨床」(大鹿哲郎 編)
文光堂, 東京, pp 16-20, 2002
- No. 5 大鹿 哲郎:
角膜後面情報の持つ意味
眼科診療プラクティス「角膜形状解析の基礎と臨床」(大鹿哲郎 編)
文光堂, 東京, pp100-101, 2002

- No. 6 柿田 哲彦：
前囊切開と核皮質分離
「超音波白内障手術 ABC」(大鹿哲郎 編)
メディカルビュー社，東京，pp78-83，2002
- No. 7 加治 優一：
角膜手術後の実質創傷治癒の病態と制御
NEW MOOK シリーズ No.1 特集テーマ「眼疾患と創傷治癒」
金原出版，東京，pp55-62，2002
- No. 8 Kaji Y：
Anatomy of Cornea and Sclera. in “Textbook of Ophthalmology”
Amar Agarwal *et al.* edition.
JAYPEE BROTHERS Medical Publishers LTD, New Delhi, 2002
- No. 9 本村 幸子：
全身病に伴う網膜異常；リウマチ性疾患による網膜症，結合組織病（膠原病）による網膜症，白血病網膜症，貧血網膜症，網膜脂血症，血液粘稠亢進症候群
眼科学（I）（丸尾敏夫，本田孔子士，臼井正彦，田野保雄 編）
文光堂，東京，pp.428-433，2002

学会発表

- No. 1 大鹿 哲郎：
術後視機能と評価法
第25回日本眼科手術学会・シンポジウム(広島市)，1月，2002
- No. 2 南部パトリシア尚美，若林 毅俊，本村 幸子，山下 亮子，林 英生：
実験的感染性角膜潰瘍の治癒過程に及ぼす角膜表面温度の影響
第32回筑波大学眼科集談会(つくば市)，2月，2002
- No. 3 浅野 宏規，森田 由香，若林 毅俊，本村 幸子，野末 裕紀，須磨崎 亮，
品川 樹美：
両眼の急激な視力低下をきたした SLE 網膜症の小児例
第32回筑波大学眼科集談会(つくば市)，2月，2002
- No. 4 岡本 芳史，岡本 史樹，中野伸一郎，本村 幸子：
正常人における毛様体の生体計測
第32回筑波大学眼科集談会(つくば市)，2月，2002
- No. 5 岡本 史樹，山形 周子，山根奈世理，能勢 晴美，本村 幸子，高野 晋吾：
涙腺部に併発した木村病の1例
第32回筑波大学眼科集談会(つくば市)，2月，2002
- No. 6 中野 秀樹：
視覚障害者と視覚補償
第32回筑波大学眼科集談会(つくば市)，2月，2002
- No. 7 加畑 隆通，坂田 典繁，平塚健太郎，中野伸一郎：
水戸済生会総合病院における裂孔原性網膜剝離の治療成績
第32回筑波大学眼科集談会(つくば市)，2月，2002

- No. 8 柿田 美都, 柿田 哲彦:
 当院におけるオルソケラトロジー (特殊コンタクトレンズによる近視治療)
 第32回筑波大学眼科集談会(つくば市), 2月, 2002
- No. 9 大鹿 哲郎:
 眼光学と臨床: ヒトの視力はどこまで良くなるのか?
 第95回広島県眼科医会講習会・特別講演(広島市), 2月, 2002
- No. 10 高橋 圭三, 鳥井 秀雄, 大木孝太郎, 大鹿 哲郎:
 自己角膜上皮シート移植術
 第26回角膜カンファランス・第18回日本角膜移植学会(横浜市), 2月, 2002
- No. 11 奥川加寿子, 井上 賢治, 大鹿 哲郎, 天野 史郎:
 偽落屑症候群の角膜
 第26回角膜カンファランス・第18回日本角膜移植学会(横浜市), 2月, 2002
- No. 12 下村 直樹, 天野 史郎, 三村 達哉, 野田 康雄, 大鹿 哲郎, 永井 祐二,
 宮田 和典, 刑部 安弘:
 ブタ角膜実質の角膜移植への応用に関する検討
 第26回角膜カンファランス・第18回日本角膜移植学会(横浜市), 2月, 2002
- No. 13 野田 康雄, 天野 史郎, 三村 達哉, 大鹿 哲郎, 下村 直樹, 堀 純子,
 永井 祐二, 宮田 和典:
 培養ヒト角膜内皮細胞の性状の共焦点顕微鏡による検討
 第26回角膜カンファランス・第18回日本角膜移植学会(横浜市), 2月, 2002
- No. 14 吉田 照宏, 天野 史郎, 大鹿 哲郎, 田邊 樹郎, 宮田 和典:
 LASIK 後の角膜前方偏位の判定方法
 第26回角膜カンファランス・第18回日本角膜移植学会(横浜市), 2月, 2002
- No. 15 吉崎 桃子, 三村 達哉, 三村 佳子, 天野 史郎, 大鹿 哲郎, 吉田 照宏:
 角膜形状解析装置のデータ欠損率の比較
 第26回角膜カンファランス・第18回日本角膜移植学会(横浜市), 2月, 2002
- No. 16 三村 達哉, 天野 史郎, 野田 靖雄, 下村 直樹, 大鹿 哲郎, 宮田 和典:
 培養角膜内皮細胞の前房内注入による内皮移植術の検討
 第26回角膜カンファランス・第18回日本角膜移植学会(横浜市), 2月, 2002
- No. 17 後藤 浩也, 前田 直之, 黒田 輝仁, 西田 幸二, 渡辺 仁, 大鹿 哲郎:
 フーリエ展開による円錐角膜の角膜形状解析
 第26回角膜カンファランス・第18回日本角膜移植学会(横浜市), 2月, 2002
- No. 18 大鹿 哲郎:
 やさしい眼光学 視力の理論的限界を考える
 第55回岡山大学眼科研究会・第25回岡山角膜移植研究会・特別講演
 (岡山市), 3月, 2002
- No. 19 Okamoto F, Hommura S, Nakano S, Yamagata C, Okamoto Y:
 Anterior chamber depth and inclination of ciliary body process:
 International Congress of Ophthalmology (Sydney), April, 2002

- No. 20 岡本 史樹, 中野伸一郎, 山形 周子, 平塚健太郎, 坂田 典繁, 本村 幸子:
超音波生体顕微鏡の小児眼科への応用
第106回日本眼科学会総会(仙台市), 4月, 2002
- No. 21 大鹿 哲郎:
無水晶体眼と偽水晶体眼のQOL
第106回日本眼科学会・シンポジウム(仙台市), 4月, 2002
- No. 22 下村 直樹, 天野 史郎, 三村 達哉, 野田 康雄, 大鹿 哲郎, 永井 祐二,
宮田 和典, 刑部 安弘:
ブタ角膜実質の角膜移植への応用に関する検討
第106回日本眼科学会総会(仙台市), 4月, 2002
- No. 23 林 佳枝, 加藤 聡, 大鹿 哲郎, 前田 利根, 湯口 琢磨, 海谷 忠良, 向井公一郎,
石井 康雄:
糖尿病眼水晶体上皮細胞におけるIL-1, TGF- β , α -SMAの免疫組織化学的検討
第106回日本眼科学会総会(仙台市), 4月, 2002
- No. 24 三村 佳子, 三村 達哉, 天野 史郎, 白井 智彦, 野田 康雄, 下村 直樹,
大鹿 哲郎, 永井 祐二, 宮田 和典, 刑部 安弘:
培養ヒト角膜内皮細胞を用いた再構築角膜のポンプ機能の検討
第106回日本眼科学会総会(仙台市), 4月, 2002
- No. 25 三村 達哉, 天野 史郎, 野田 康雄, 下村 直樹, 大鹿 哲郎, 宮田 和典:
培養角膜内皮細胞の前房内注入による内皮移植術の検討
第106回日本眼科学会総会(仙台市), 4月, 2002
- No. 26 吉崎 桃子, 大鹿 哲郎, 天野 史郎, 宮田 和典, 鮫島 智一, 前田 直之,
不二門 尚, 広原 陽子, 三橋 俊文:
白内障手術前後における波面収差と散乱
第106回日本眼科学会総会(仙台市), 4月, 2002
- No. 27 田邊 樹郎, 大鹿 哲郎, 天野 史郎, 宮田 和典, 鮫島 智一:
全層角膜移植術後眼における角膜不正乱視の変化
第106回日本眼科学会総会(仙台市), 4月, 2002
- No. 28 野田 康雄, 天野 史郎, 三村 達哉, 大鹿 哲郎, 下村 直樹, 堀 純子,
永井 祐二, 宮田 和典:
培養ヒト角膜内皮細胞の性状の共焦点顕微鏡による検討
第106回日本眼科学会総会(仙台市), 4月, 2002
- No. 29 奥川加寿子, 神谷 和孝, 内田 彩子, 天野 史郎, 大鹿 哲郎, 櫻川 宣男,
堀 純子:
ヒト羊膜上皮細胞培養上清点眼後の角膜におけるサイトカイン発現の変化
第106回日本眼科学会総会(仙台市), 4月, 2002
- No. 30 大川 賀孝, 不二門 尚, 黒田 輝仁, 二宮さゆり, 前田 直之, 田野 保雄,
大鹿 哲郎:
眼内レンズの傾き・偏位の高次収差に及ぼす影響
第106回日本眼科学会総会(仙台市), 4月, 2002

- No. 31 若林 毅俊, 山本 成径, Hu Beihua, 山下 亮子, 本村 幸子, 小阪 淳:
BH3-only protein, Hr k は視神経切断後の網膜神経節細胞で発見が誘導される.
第106回日本眼科学会総会(仙台市), 4月, 2002
- No. 32 大鹿 哲郎:
眼光学と臨床: ヒトの視力はどこまで良くなるのか?
第43回栃木県眼科集談会・特別講演(栃木県), 4月, 2002
- No. 33 Usui T, Kaji Y, Yamashiro K, Ishida S, Isner JM, Asahara T, Adamis AP:
ICAM-1/CD18 dependent recruitment of endothelial progenitor cells to sites of inflammatory corneal neovascularization.
The Association for Research in Vision and Ophthalmology,
(Fort Lauderdale), May, 2002
- No. 34 Moore JE, McMullen CBT, Campbell IL, Rohan R, Afshari NA, Kaji Y, Usui T, Archer DB, Adamis AP:
The inflammatory milieu associated with conjunctivalised cornea and its alteration using IL-1 RA gene therapy.
The Association for Research in Vision and Ophthalmology,
(Fort Lauderdale), May, 2002
- No. 35 Yamashiro K, Ishida S, Usui T, Kaji Y, Honda Y, Ogura Y, Adamis AP:
Platelet accumulation in the diabetic retinal circulation following Fas/FasL-induced endothelial apoptosis.
The Association for Research in Vision and Ophthalmology,
(Fort Lauderdale), May, 2002
- No. 36 Ishida S, Yamashiro K, Kaji Y, Ahmed E, Adamis AP:
ICAM-1 blockade leads to suppression of retinal leukostasis in established diabetes.
The Association for Research in Vision and Ophthalmology,
(Fort Lauderdale), May, 2002
- No. 37 McMullen CBT, Frizzell N, Moore JE, Poulaki V, Campbell IL, Afshari NA, Kaji Y, Stitt AW, Archer DB, Adamis AP:
A modulatory role for advanced glycation end products (AGEs) in retinal microvascular leukostasis.
The Association for Research in Vision and Ophthalmology,
(Fort Lauderdale), May, 2002
- No. 38 Oshika T, Miyata K, Samejima T, Tokunaga T. :
Postoperative stability of single-piece versus 3-piece acrylic foldable intraocular lenses.
American Society of Cataract and Refractive Surgery,
(Philadelphia), June, 2002
- No. 39 山根奈世理, 平塚健太郎, 武井 一夫, 能勢 晴美, 長澤 俊郎:
10年間放置された眼窩悪性リンパ腫の1例
第33回筑波大学眼科集談会(つくば市), 6月, 2002

- No. 40 川名 啓介, 岡本 史樹, 能勢 晴美:
両側 Adie 瞳孔に plateau iris を合併した閉塞隅角緑内障の 1 例:
第33回筑波大学眼科集談会(つくば市), 6 月, 2002
- No. 41 佐藤 正樹, 糸賀 俊郎, 川名 啓介, 関根 康生, 若林 毅俊, 中野 秀樹,
能勢 晴美:
白点状眼底 2 家系における RDH 5 遺伝子変異
第33回筑波大学眼科集談会(つくば市), 6 月, 2002
- No. 42 森田 由香, 山形 周子, 能勢 晴美, 本村 幸子:
過去 5 年間の筑波大学附属病院における小児眼科コンサルテーションの検討
第33回筑波大学眼科集談会(つくば市), 6 月, 2002
- No. 43 矢部 文顕, 木内 貴博, 大鹿 哲郎:
後頭葉梗塞の 3 例
第33回筑波大学眼科集談会(つくば市), 6 月, 2002
- No. 44 大鹿 哲郎:
For the comfort of patients—患者に優しい白内障手術
北海道眼科医会講演会・特別講演(札幌市), 6 月, 2002
- No. 45 大鹿 哲郎:
フェイコマシーンを学ぼう Part 2.
第41回日本白内障学会・第17回日本眼内レンズ屈折手術学会(東京), 6 月, 2002
- No. 46 吉田 照宏, 大鹿 哲郎, 田邊 樹郎, 宮田 和典:
LASIK 後の角膜前方偏位検出における後面 difference map の fit zone 設定
第41回日本白内障学会・第17回日本眼内レンズ屈折手術学会(東京), 6 月, 2002
- No. 47 大鹿 哲郎, 澤 充, Leaming DV:
2001年日本眼内レンズ屈折手術学会会員アンケート
第17回日本眼内レンズ屈折手術学会(東京), 6 月, 2002
- No. 48 坂部 功生, 黒坂大次郎, 大鹿 哲郎, 石尾 香:
前房水の粘弾性物質置換による水晶体前面曲率の変化
第17回日本眼内レンズ屈折手術学会(東京), 6 月, 2002
- No. 49 山本 成径:
抗 HIV 療法前後に経験する CMV 網膜炎のマネジメント
HIV 感染症マネジメントセミナー(東京), 6 月, 2002
- No. 50 森田 由香, 坂下 千穂, 野々山智仁, 本村 幸子:
牽引試験により術式を決定した先天性上斜筋麻痺に外斜視を合併した 1 例
第58回日本弱視斜視学会(倉敷市), 6 月, 2002
- No. 51 大鹿 哲郎:
角膜形状解析: 角膜収差と全収差
第19回関東眼科学会・シンポジウム(横浜市), 7 月, 2002
- No. 52 大鹿 哲郎:
波面解析の臨床応用
The 3rd annual ocular surgery news symposium(名古屋市), 9 月, 2002

- No. 53 大鹿 哲郎：
屈折矯正手術のための角膜形状・波面収差解析（インストラクションコース）
第56回日本臨床眼科学会（盛岡市），9月，2002
- No. 54 大鹿 哲郎：
Evidence based eye surgery
第56回日本臨床眼科学会（盛岡市），9月，2002
- No. 55 大鹿 哲郎：
デジタルプレゼンテーションを修得しよう（イブニングセミナー）
第56回日本臨床眼科学会（盛岡市），9月，2002
- No. 56 大鹿 哲郎：
白内障手術における波面光学
第56回日本臨床眼科学会（盛岡市），9月，2002
- No. 57 大鹿 哲郎：
特殊例・難症例の白内障手術（インストラクションコース）
第56回日本臨床眼科学会（盛岡市），9月，2002
- No. 58 黒田 輝仁，不二門 尚，前田 直之，二宮さゆり，田野 保雄，大鹿 哲郎，
広原 陽子，三橋 俊文：
高次収差と前方散乱と後方散乱を用いた多変量解析による白内障の視機能の予測
第56回日本臨床眼科学会（盛岡市），9月，2002
- No. 59 田中 義和，林 佳枝，北野 滋彦，加藤 聡，福島はるみ，大鹿 哲郎，杉田元太郎：
POCO 法および POCOMAN 法による白内障術後早期後発白内障の定量的評価
第56回日本臨床眼科学会（盛岡市），9月，2002
- No. 60 井上 賢治，奥川加寿子，天野 史郎，大鹿 哲郎，江上 文庸，高村 悦子，
井上 治郎，加藤 聡：
糖尿病患者の瞬目
第56回日本臨床眼科学会（盛岡市），9月，2002
- No. 61 本田 紀彦，濱田 直紀，天野 史郎，大鹿 哲郎：
近視・近視性乱視に対する photorefractive keratectomy (PRK) の長期成績
第56回日本臨床眼科学会（盛岡市），9月，2002
- No. 62 田邊 樹郎，大鹿 哲郎，天野 史郎，宮田 和典，鮫島 智一，前田 直之，
不二門 尚，広原 陽子，三橋 俊文：
Photorefractive keratectomy 後の高次波面収差および角膜上皮下混濁と低コントラスト視力の関係
第56回日本臨床眼科学会（盛岡市），9月，2002
- No. 63 濱田 直紀，加藤 聡，天野 史郎，富田 剛司，大鹿 哲郎，海谷 忠良：
HRT を用いた LASIK による視神経への影響の解析
第56回日本臨床眼科学会（盛岡市），9月，2002
- No. 64 Hu Beihua，山本 成径，若林 毅俊，本村 幸子：
Drop PCRkit を用いた末梢製硝子体液からの DNA 増幅
第56回日本臨床眼科学会（盛岡市），9月，2002

- No. 65 能勢 晴美, 岡本 史樹, 中野伸一郎, 糸賀 俊郎, 園尾純一郎, 平塚健太郎:
悪性リンパ腫と炎性偽腫瘍のMRIによる鑑別の可能性について
第56回日本臨床眼科学会 専門別研究会「画像診断」(盛岡), 9月, 2002
- No. 66 林 英之, 能勢 晴美, 中尾 雄三:
インストラクションコース「眼科画像診断のコツと落とし穴」
第56回日本臨床眼科学会(盛岡), 9月, 2002
- No. 67 浅野 宏規, 森田 由香, 若林 毅俊, 武井 一夫, 本村 幸子, 野末 裕紀,
斉藤奈津子, 須磨崎 亮, 品川樹美:
三度のステロイドパルスを施行した両眼のSLE網膜症の小児例
第56回日本臨床眼科学会(盛岡), 9月, 2002
- No. 68 Oshika T, Tanabe T, Miyata K, Samejima T, Amano S, Maeda N, Fujikado T,
Hirohara Y, Mihashi T:
Influence of wavefront aberration and corneal haze on low contrast visual acuity
after photorefractive keratectomy.
106th Annual Meeting of the American Academy of Ophthalmology,
(Orlando), October, 2002
- No. 69 Oshika T:
Cataract surgery in 21st century
China-Japan Medical Conference 2002(Beijing), November, 2002
- No. 70 大鹿 哲郎:
屈折矯正手術後眼におけるIOL度数計算
第3回箱根エキシマソサエティ(箱根町), 11月, 2002
- No. 71 大鹿 哲郎:
進化する白内障手術
平成14年度愛知県眼科医会第4回学術研修会・招待講演(名古屋市), 11月, 2002
- No. 72 大鹿 哲郎:
眼光学と臨床: ヒトの視力はどこまで良くなるのか?
第24回茨城医学会眼科分科会・特別講演(水戸市), 11月, 2002
- No. 73 坂下 千穂, 森田 由香, 野々山智仁, 大鹿 哲郎:
特発性外眼筋炎の2例
第24回茨城医学会眼科分科会(水戸市), 11月, 2002
- No. 74 加藤木寛和, 大鹿 哲郎, 徳永 忠俊, 宮田 和典, 吉田 照宏:
LASIKによる角膜後面前方偏位の経時的変化
第24回茨城医学会眼科分科会(水戸市), 11月, 2002
- No. 75 山根奈世理, 大鹿 哲郎, 田邊 樹郎, 野村 悟:
角膜形状解析データのフーリエ解析ソフト
第24回茨城医学会眼科分科会(水戸市), 11月, 2002
- No. 76 岡崎 光彦, 川名 啓介, 岡本 史樹, 大鹿 哲郎:
Vented Gas Forced Infusionを使用した白内障・硝子体手術
第24回茨城医学会眼科分科会(水戸市), 11月, 2002

No. 77 山形 周子, 岡本 芳史, 岡本 史樹, 大鹿 哲郎:

水晶体偏位による高次波面収差の変化

第24回茨城医学会眼科分科会(水戸市), 11月, 2002

No. 78 岡本 史樹, 矢部 文顕, 平塚健太郎, 川名 啓介, 岡本 芳史, 関根 康生,
大鹿 哲郎:

トリアムシノロンによる可視化硝子体手術

第24回茨城医学会眼科分科会(水戸市), 11月, 2002

No. 79 山本 成径:

サイトメガロウイルス網膜炎

第16回日本エイズ学会(名古屋市), 11月, 2002

その他

No. 1 能勢 晴美:

眼科腫瘍の診断と治療

茨城県眼科医会学術講演会(水戸市), 1月, 2002

No. 2 能勢 晴美:

第55回日本臨床眼科学会印象記「腫瘍1, 2」

眼科 44(4): 645-647, 2002

2002年（婦人周産期グループ）

原 著

- No. 1 Koichi Hashimoto, Kazuyoshi Kato, Kazuhiro Imamura, Atsuhiro Kishimoto, Hiroyuki Yoshikawa, Yuji Taketani, Hiroyasu Esumi :
5-amino-4-imidazolecarboxamide riboside confers strong tolerance to glucose starvation in a 5'-AMP-activated protein kinase-dependent fashion
Biochemical and Biophysical Research Communications 290(1) : 263-267, 2002
- No. 2 Yoshihito Ichikawa, Hajime Tsunoda, Katsumi Takano, Akinori Oki, Hiroyuki Yoshikawa :
Microsatellite instability and immunohistochemical analysis of MLH1 and MSH2 in normal endometrium, endometrial hyperplasia and endometrial cancer from a hereditary nonpolyposis colorectal cancer patient
Japanese Journal of Clinical Oncology 32(3) : 110-112, 2002
- No. 3 Hideki Watanabe, Hiromi Hamada, Naoki Yamada, Satoshi Sohda, Kimiko Yamakawa-Kobayashi, Hiroyuki Yoshikawa, Tadao Arinami :
Association analysis of nine missense polymorphisms in the coagulation factor V gene with severe preeclampsia in pregnant Japanese women
Journal of Human Genetics 47(3) : 131-135, 2002
- No. 4 Yumiko Oishi Tanaka, Sadahiko Shigemitsu, Michio Nagata, Masashi Shindo, Yoshikazu Okamoto, Hiroyuki Yoshikawa, Yuji Itai :
A decidualized endometrial cyst in pregnant woman: a case observed with a steady-state free precession imaging sequence
Magnetic Resonance Imaging 20(3) : 301-304, 2002
- No. 5 Yoko Hasumi, Hiroaki Mizukami, Masashi Urabe, Takahiro Kohno, Koichi Takeuchi, Akihiro Kume, Mikio Momoeda, Hiroyuki Yoshikawa, Takashi Tsuruo, Masabumi Shibuya, Yuji Taketani, Keiya Ozawa :
Soluble FLT-1 expression suppresses carcinomatous ascites in nude mice bearing ovarian cancer
Cancer Research 62(7) : 2019-2023, 2002
- No. 6 Hideki Watanabe, Hiromi Hamada, Naoki Yamada, Tsuyoshi Ogura, Mana Obata-Yasuoka, Suzuka Okuno, Yutaka Fujiki, Satoshi Sohda, Takeshi Kubo :
Second-trimester maternal pregnancy-associated plasma protein A and inhibin A levels in fetal trisomies
Fetal Diagnosis and Therapy 17(3) : 137-141, 2002
- No. 7 Satoshi Okada, Hitoshi Tsuda, Kazuo Ohmi, Takahiro Kasamatsu, Takuro Yamada, Ryuichiro Tsunematsu, M Sumi, K Tokuyue, Hiroyuki Yoshikawa, Setsuo Hirohashi :
Immature glandular features in squamous cell carcinoma of the uterine cervix as an independent indicator of resistance to radiotherapy
International Journal of Gynecological Cancer 12(3) : 277-285, 2002

- No. 8 Yumiko Oishi Tanaka, Yoshihiro Ide, Masato Nishida, Ken Nishide, Hajime Tsunoda, Motonao Kajitani, Yuji Itai :
Ovarian tumor with functioning stroma
Computerized Medical Imaging and Graphics 26(3) : 193-197, 2002
- No. 9 Kazunari Kiguchi, Isamu Ishiwata, Y Tokieda, M Iguchi, Chieko Ishiwata, Masanori Iwata, Bunpei Ishizuka, Hiroyuki Yoshikawa, T Tachibana, H Hashimoto, H Ishikawa :
Establishment and characterization of a lymphoepithelial-like carcinoma cell line (HUUCLEC) derived from the human uterine cervix
Human Cell 15(2) : 97-102, 2002
- No. 10 Kazuya Kudoh, Yoshihito Ichikawa, Sadao Yoshida, Misako Hirai, Yoshihiro Kikuchi, Ichiro Nagata, Masanao Miwa, Kazuhiko Uchida :
Inactivation on p16/CDKN2 and p15/MTS2 is associated with prognosis and response to chemotherapy in ovarian cancer
International Journal of Cancer 99(4) : 579-582, 2002
- No. 11 Koji Matsumoto, Hiroyuki Yoshikawa, Toshiharu Yasugi, Takashi Onda, Shunsuke Nakagawa, Manabu Yamada, Kei Kawana, Takeo Minaguchi, Katsutoshi Oda, Yoko Hasumi, Yuji Taketani :
Distinct lymphatic spread of endometrial carcinoma in comparasion with cervical and ovarian carcinomas
Cancer Letters 180(1) : 83-89, 2002
- No. 12 Satoshi Okada, Hitoshi Tsuda, Teruko Takarabe, Hiroyuki Yoshikawa, Yuji Taketani, Setsuo Hirohashi :
Allelotype analysis of common epithelial ovarian cancers with special reference to comparison between clear cell adenocarcinoma with other histological types
Japanese Journal of Cancer Research 93(7) : 798-806, 2002
- No. 13 Satoshi Usuki, Tomoko Nakauchi, Sawako Higa, Katsumi Someya :
The improvement of luteal insufficiency in fecund women by Tokishakuyakusan treatment
American Journal of Chinese Medicine 30(2-3) : 327-338, 2002
- No. 14 Tsuyoshi Ogura, Hiromi Hamada, Mana Obata-Yasuoka, Hideki Watanabe, Suzuka Okuno, Yutaka Fujiki, Naoki Yamada, Satoshi Sohda, Hiroyuki Yoshikawa :
Antepartum assessment of fetal cystic lymphangioma by magnetic resonance imaging
Gynecologic and Obstetric Investigation 53(4) : 237-239, 2002
- No. 15 Kei Kawana, Toshiharu Yasugi, Tadahito Kanda, Yukiko Kawana, Yasuo Hirai, Hiroyuki Yoshikawa, Yuji Taketani :
Neutralizing antibodies against oncogenic human papillomavirus as a possible determinant of the fate of low-grade cervical intraepithelial neoplasia
Biochemical and Biophysical Research Communications 296(1) : 102-105, 2002

- No. 16 Mana Obata-Yasuoka, William Ba-Thein, Teizo Tsukamoto, Hiroyuki Yoshikawa, Hideo Hayashi :
Vaginal *Escherichia coli* share common virulence factor profiles, serotypes and phylogeny with other extraintestinal *E. coli*
Microbiology 148(9) : 2745-2752, 2002
- No. 17 Yoko Takanami-Ohnishi, Shinya Amano, Sadao Kimura, Sachie Asada, Atsushi Utani, Masumi Maruyama, Hiroyuki Osada, Hajime Tsunoda, Yoko Irukayama-Tomobe, Katsutoshi Goto, Michael Karin, Tatsuhiko Sudo, Yoshitoshi Kasuya :
Essential role of p38 mitogen-activated protein kinase in contact hypersensitivity
Journal of Biological Chemistry 277(40) : 37896-37903, 2002
- No. 18 Mana Obata-Yasuoka, William Ba-Thein, Hiromi Hamada, Hideo Hayashi :
A multiplex polymerase chain reaction-based diagnostic method for bacterial vaginosis
Obstetrics and Gynecology 100(4) : 759-764, 2002
- No. 19 Kiyoshi Ohara, Yumiko Oishi Tanaka, Hajime Tsunoda, Masato Nishida, Shinji Sugahara, Yuji Itai :
Assessment of cervical cancer radioresponse by serum squamous cell carcinoma antigen and magnetic resonance imaging
Obstetrics and Gynecology 100(4) : 781-787, 2002
- No. 20 Koji Horie, Akihiro Tomida, Yoshikazu Sugimoto, Toshiharu Yasugi, Hiroyuki Yoshikawa, Yuji Taketani, Takashi Tsuruo :
SUMO-1 conjugation to intact DNA topoisomerase I amplifies cleavable complex formation induced by camptothecin
Oncogene 21(51) : 7913-7922, 2002
- No. 21 Satoshi Usuki, Eri Kotani :
Tokishakuyakusan directly attenuates PACAP's luteolytic action on luteal function in the rat ovary
American Journal of Chinese Medicine 30(4) : 521-531, 2002
- No. 22 Satoshi Sohda, Osamu Samura, R Sarah Elmes, Kirby L Johnson, Vincent M Falco, Diana W Bianchi :
Limited expression of Fas and Fas ligand in fetal nucleated erythrocytes isolated from first trimester maternal blood
Prenatal Diagnosis 22(13) : 1213-1218, 2002
- No. 23 水口 剛雄, 織田 克利, 石野 朝美, 八杉 利治, 恩田 貴志, 中川 俊介, 松本 光司, 川名 敬, 武谷 雄二, 吉川 裕之 :
子宮体癌における PTEN 遺伝子の変異 exon と予後との相関
日本婦人科腫瘍学会雑誌 20(1) : 85-89, 2002
- No. 24 角田 肇, 重光 貞彦, 佐藤 奈加子, 沖 明典, 市川 喜仁, 吉川 裕之 :
子宮体癌の補助化学療法ーリンパ節転移(N1)例の検討ー
日本婦人科腫瘍学会雑誌 20(2) : 252-257, 2002

- No. 25 岡本 一, 西田 正人, 比嘉 佐和子, 相野谷 陽子, 川崎 彰子, 吉川 裕之:
イヌを用いた子宮の移植実験—生着率向上のための血管吻合手順の改良—
日本生殖外科学会雑誌 15:51-54, 2002
- No. 26 比嘉 佐和子, 西田 正人, 山田 直樹, 宇多 沢子, 染谷 勝巳, 田邊 麻美子,
吉川 裕之:
造腔の後, 子宮腔と腔を交通させて治療した腔・子宮頸部欠損症の一例
日本生殖外科学会雑誌 15:35-38, 2002
- No. 27 漆川 邦, 佐藤 豊実, 吉川 裕之:
若年女性におけるヒトパピローマウイルス感染の拡がり
日本性感染症学会誌 12(1):170-175, 2002
- No. 28 濱田 洋実, 渡邊 秀樹, 漆川 邦, 山田 直樹, 宗田 聡, 吉川 裕之:
日本人における妊娠中毒症発症に関与する遺伝子多型の解析
産婦人科治療 85(3):358, 2002
- No. 29 比嘉 佐和子, 市川 喜仁, 佐藤 豊実, 沖 明典, 角田 肇, 吉川 裕之:
子宮体部に限局した漿液性腺癌, 明細胞腺癌 5 例の臨床的, 病理組織学的検討
日本産科婦人科学会関東連合地方部会会報 39(4):381-385, 2002
- No. 30 濱田 洋実:
妊娠中毒症における遺伝子多型解析の意義:日本人における妊娠中毒症関連遺伝子多型の解析
日本妊娠中毒症学会雑誌 10:41-44, 2002
- No. 31 渡邊 秀樹, 濱田 洋実, 漆川 邦, 山田 直樹, 宗田 聡, 吉川 裕之:
重症妊娠中毒症における凝固第 5 因子遺伝子多型, MTHFR 遺伝子多型, PAI-1 遺伝子多型のリスク多型共有に関する解析
日本妊娠中毒症学会雑誌 10:121-122, 2002
- 総 説
- No. 1 岡田 智志, 岩瀬 春子, 吉川 裕之:
子宮内膜症切除標本の取り扱い方
臨床婦人科産科 56(1):73-77, 2002
- No. 2 田中 優美子, 岡本 嘉一, 植野 映子, 佐藤 次郎, 角田 肇, 吉川 裕之,
板井 悠二:
悪性腫瘍に類似した所見を呈する良性疾患:女性生殖器
臨床画像 18(2):171-172, 2002
- No. 3 沖 明典, 田中 優美子, 吉川 裕之:
子宮筋腫の鑑別診断—子宮腺筋症・子宮肉腫など(今月の臨床「子宮筋腫 最近の話題」)
臨床婦人科産科 56(3):234-238, 2002
- No. 4 宗田 聡:
出生前診断の種類と時期について教えてください(特集「こんなとき先生ならどう対応しますか—プライマリケア診療で困ったときに—」)
治療 84(増刊):320-322, 2002

- No. 5 中川 俊介, 吉川 裕之:
パピローマウイルスのゲノムと子宮頸癌
現代医療 34(5):139-144, 2002
- No. 6 臼杵 愼, 中内 智子:
hCG, hCG subunit(特集「検査値から読む病態と診断計画」)
臨床医 28(増刊):1123-1126, 2002
- No. 7 臼杵 愼:
尿中エストリオール(E3)(特集「検査値から読む病態と診断計画」)
臨床医 28(増刊):1127-1132, 2002
- No. 8 角田 肇, 吉川 裕之:
上皮性卵巣癌における妊孕性温存の限界と術式(今月の臨床「どこまで可能か—悪性腫瘍治療と妊孕性温存」)
臨床婦人科産科 56(8):993-995, 2002
- No. 9 佐藤 豊実, 西田 正人, 相野谷 陽子, 山田 直樹:
若年者の子宮頸部細胞診と HPV 感染
産婦人科の実際 51(8):1167-1171, 2002
- No. 10 沖 明典, 佐藤 豊実, 吉川 裕之:
感染・炎症と婦人科癌(特集「婦人科癌の予防と検診」)
産科と婦人科 69(9):1150-1153, 2002
- No. 11 宗田 聡, 漆川 邦, 濱田 洋実:
中期健診のピットフォール「2. 胎児形態異常を見逃さないために」(今月の臨床「妊婦健診のピットフォール」)
臨床婦人科産科 56(9):1111-1113, 2002
- No. 12 佐藤 豊実, 吉川 裕之:
若年子宮癌の増加と対策(特集「増えたがん・減ったがん」)
総合臨牀 51(9):2621-2626, 2002
- No. 13 臼杵 愼:
女性診療科における主要症候・疾患の薬物療法:6. 不妊症と排卵誘発「5」卵巣過剰刺激症候群(OHSS))(特集「女性診療科における薬物療法のタイミング—いつ始めるか, いつ打ち切るか—」)
産婦人科の実際 51(11):1749-1757, 2002
- No. 14 市川 喜仁, 吉川 裕之:
発症前診断のための遺伝子解析(特集「婦人科腫瘍と遺伝子—注目される遺伝子とその役割, そして臨床応用へ—」)
産婦人科の実際 51(10):1395-1399, 2002

著 書

- No. 1 宗田 聡：
遺伝カウンセリングにおけるセカンドオピニオンの必要性和問題点
現代のエスプリ「セカンドオピニオン」(吉田 聡, 三上 八郎 編)
至文堂, 東京, 2002
- No. 2 吉川 裕之：
部位別がん最新情報：子宮頸がん
別冊今日の健康「これだけは知っておきたいがんの情報, がんの治療」
日本放送協会, 東京, pp. 128-133, 2002
- No. 3 吉川 裕之：
部位別がん最新情報：子宮体がん
別冊今日の健康「これだけは知っておきたいがんの情報, がんの治療」
日本放送協会, 東京, pp. 134-137, 2002

学会発表

- No. 1 Yumiko Tanaka, Masato Nishida, Yoshikazu Okamoto, Hajime Tsunoda,
Hiroyuki Yoshikawa, Yuji Itai :
Differentiation malignant from benign smooth muscle tumors of the uterus on MR
The 61st Annual Meeting of Japan Radiological Society, Kobe, 4月
- No. 2 Yoshikazu Okamoto, Yumiko Tanaka, Masato Nishida, Hajime Tsunoda,
Hiroyuki Yoshikawa, Yuji Itai :
Multicystic uterine cervical lesions: Can MRI differentiate benign from malignant?
The 61st Annual Meeting of Japan Radiological Society, Kobe, 4月
- No. 3 Takashi Onda, Noriyuki Katsumata, Toshiharu Yasugi, Masahumi Mushika,
Toshiaki Saito, Hiroyuki Yoshikawa :
Cisplatin, paclitaxel and escalating doses of Doxorubicin (TAP) in advanced ovarian cancer: a phase I-II trial
38th Annual American Society of Clinical Oncology Meeting, Florida, 5月
- No. 4 Kiyoshi Ohara, Yumiko Oishi Tanaka, Hajime Tsunoda, Shinji Sugahara,
Takayuki Hashimoto, Kenji Kagei, Koichi Tokuuye, Hiroyuki Yoshikawa,
Yasuyuki Akine, Yuji Itai :
Patterns of failure after radiotherapy for locally advanced cervical cancer in relation to the nodal status assessed non-surgically under tight criteria
21th Annual European Society for Therapeutic Radiology and
Oncology Meeting, Praha, 9月
- No. 5 Hiroyuki Yoshikawa :
Prognostic factors associated with the clinical outcome of cervical intraperitoneal neoplasia: A cohort study in Japan
1st General Assembly Conference of the APOCP, Nagoya, 10月

- No. 6 Katsumi Takano, Yoshihito Ichikawa, Mitsuaki Suzuki, Hajime Tsunoda,
Kazuhiko Uchida, Hiroyuki Yoshikawa :
Microsatellite instability in endometrial cancers coexisted with colorectal or
breast cancers
9th Biennial Meeting of the International Gynecologic Cancer Society,
Seoul, 10月
- No. 7 M Yasuda, S Kobayashi, Y Kikuchi, H Kuramoto, Y Ohta, Hajime Tsunoda, N Inaba,
T Hata, E Kimura :
A Phase II study of Combination Chemotherapy with Docetaxel and Carboplatin
for Epithelial Ovarian Cancer-Interim Report-
9th Biennial Meeting of the International Gynecologic Cancer Society,
Seoul, 10月
- No. 8 Hideaki Yahata, Kimio Ushijima, Toshiharu Yasugi, Toshiaki Saito,
Toshiharu Kamura, Hiroyuki Yoshikawa :
A multicentric study: Conservative treatment with high dose medroxyprogester-
one acetate (MPA) for early endometrial cancer and atypical hyperplasia in
young women
9th Biennial Meeting of the International Gynecologic Cancer Society,
Seoul, 10月
- No. 9 川崎 彰子, 朝田 道子, 雲類鷲 恭子, 川崎 善幸, 山中 明香, 山田 和美,
沖 明典, 吉川 裕之 :
卵管水腫の茎捻転により早期診断された卵管癌の1例
第133回日本産科婦人科学会茨城地方部会例会, 水戸, 1月
茨城県臨床医学雑誌. 38:99, 2002
- No. 10 竹内 沢子, 藤木 豊, 比嘉 佐和子, 岡本 一, 岩崎 寛和 :
帝王切開分娩後に HELLP 症候群を発症した1例
第133回日本産科婦人科学会茨城地方部会例会, 水戸, 1月
茨城県臨床医学雑誌. 38:102-103, 2002
- No. 11 高橋 佳子, 市川 喜仁, 小倉 剛, 漆川 邦, 中内 智子, 沖 明典, 鍋島 雄一,
角田 肇, 西田 正人, 吉川 裕之 :
進行卵巣癌と術前診断された広間膜原発平滑筋腫の1例
第133回日本産科婦人科学会茨城地方部会例会, 水戸, 1月
茨城県臨床医学雑誌. 38:98-99, 2002
- No. 12 山中 明香, 濱田 洋実, 漆川 邦, 小倉 剛, 小島 真奈, 渡邊 秀樹, 奥野 鈴鹿,
藤木 豊, 山田 直樹, 宗田 聡, 吉川 裕之 :
当科で出生した二分脊椎の出生前診断に関する検討
第133回日本産科婦人科学会茨城地方部会例会, 水戸, 1月
茨城県臨床医学雑誌. 38:103, 2002
- No. 13 宗田 聡, 濱田 洋実, 吉川 裕之, Diana W Bianchi :
母体末梢血中有核赤血球とアポトーシスフローサイトメトリー法による解析
第5回「母体血による胎児DNA診断」研究会, 広島, 2月

- No. 14 高橋 実穂, 堀米 仁志, 濱田 洋実, 福島 敬, 松井 陽:
胎児心不全と骨髄増殖性疾患における肝エコー輝度の比較
第8回日本胎児心臓病研究会, 秋田, 2月
- No. 15 小林 正貴, 甲斐 平康, 室 かおり, 平山 浩一, 吉川 裕之, 小山 哲夫:
IgA 腎症合併妊娠における腎機能予後に関する臨床的検討
第12回腎と妊娠研究会, 別府, 3月
- No. 16 吉川 裕之:
特別講演: 子宮頸がんの発生の予防をめざして
第17回日本臨床細胞学会茨城県支部学術集会, つくば, 3月
- No. 17 漆川 邦, 角田 肇, 沖 明典, 市川 喜仁, 深沢 政勝, 森下 由紀雄, 野口 雅之,
吉川 裕之:
子宮癌検診で発見され子宮頸部まで進展していた外陰 Paget 病の一例
第17回日本臨床細胞学会茨城県支部学術集会, つくば, 3月
- No. 18 山田 和美, 沖 明典, 佐藤 豊実, 角田 肇, 深沢 政勝, 森下 由紀雄,
野口 雅之, 吉川 裕之:
子宮内膜細胞診での CMV 感染細胞出現が AIDS 診断の発端となった一例
第17回日本臨床細胞学会茨城県支部学術集会, つくば, 3月
- No. 19 北 直喜, 佐藤 豊実, 福島 美穂, 高谷 澄夫, 有川 良二, 相野谷 陽子,
山田 直樹:
子宮頸部細胞診と HPV 感染(第2報)
第17回日本臨床細胞学会茨城県支部学術集会, つくば, 3月
- No. 20 北 直喜, 佐藤 豊実, 相野谷 陽子, 山田 直樹:
30歳未満女性の子宮頸部細胞診
第61回茨城県農村医学会, つくば, 3月
- No. 21 大西 洋子, 浅田 幸江, 天野 慎也, 角田 肇, 吉川 裕之, 深水 昭吉,
後藤 勝年, 木村 定雄, 須藤 龍彦, 粕谷 善俊:
分娩における p38 mitogen-activated protein kinase の役割についての検討
第75回日本薬理学会年会, 熊本, 3月
- No. 22 大西 洋子, 天野 慎也, 木村 定雄, 浅田 幸江, 粕谷 敦, 角田 肇, 後藤 勝年,
須藤 龍彦, 粕谷 善俊:
接触皮膚炎における p38 α MAPK の役割についての検討
第75回日本薬理学会年会, 熊本, 3月
- No. 23 沖 明典, 角田 肇, 市川 喜仁, 吉川 裕之:
Death Receptor を介したアポトーシス誘導系を併用した癌化学療法の基礎的研究
第54回日本産科婦人科学会学術講演会, 東京, 4月
日本産科婦人科学会雑誌, 54(2):558, 2002
- No. 24 奥野 鈴鹿, 濱田 洋実, 宗田 聡, 角田 肇, 吉川 裕之:
卵巣癌培養細胞株のシスプラチン耐性獲得における Xc-系発現誘導メカニズムの解析
第54回日本産科婦人科学会学術講演会, 東京, 4月
日本産科婦人科学会雑誌, 54(2):501, 2002

- No. 25 渡邊 秀樹, 濱田 洋実, 山田 直樹, 宗田 聡, 吉川 裕之:
日本人妊娠中毒症における凝固第Ⅴ因子遺伝子多型とそのハプロタイプ解析
第54回日本産科婦人科学会学術講演会, 東京, 4月
日本産科婦人科学会雑誌. 54(2):337, 2002
- No. 26 高野 克己, 市川 喜仁, 沖 明典, 角田 肇, 吉川 裕之:
乳癌または大腸癌を重複した子宮体癌におけるマイクロサテライト不安定性の検討
第54回日本産科婦人科学会学術講演会, 東京, 4月
日本産科婦人科学会雑誌. 54(2):389, 2002
- No. 27 南 里恵, 角田 肇, 佐藤 奈加子, 沖 明典, 市川 喜仁, 吉川 裕之:
Film in situ zymography 法(FIZ 法)の子宮頸部捺印細胞診への応用
第54回日本産科婦人科学会学術講演会, 東京, 4月
日本産科婦人科学会雑誌. 54(2):244, 2002
- No. 28 安岡 真奈, 宗田 聡, 濱田 洋実, 吉川 裕之:
腔から分離した大腸菌・血清型 OX:K1:H4 と新生児髄膜炎との関連
第54回日本産科婦人科学会学術講演会, 東京, 4月
日本産科婦人科学会雑誌. 54(2):384, 2002
- No. 29 小倉 剛, 濱田 洋実, 宗田 聡, 安岡 真奈, 渡邊 秀樹, 藤木 豊, 奥野 鈴鹿,
山田 直樹, 吉川 裕之:
胎児腎泌尿器系異常の出生前診断に関する再評価
第54回日本産科婦人科学会学術講演会, 東京, 4月
日本産科婦人科学会雑誌. 54(2):436, 2002
- No. 30 北 直喜, 佐藤 豊実, 市川 良太, 漆川 邦, 相野谷 陽子, 渡邊 京子,
吉川 裕之:
若年女性の細胞診異常と HPV 感染に関する疫学的研究
第54回日本産科婦人科学会学術講演会, 東京, 4月
日本産科婦人科学会雑誌. 54(2):244, 2002
- No. 31 岡田 智志, 津田 均, 財部 テル子, 八杉 利治, 吉川 裕之, 武谷 雄二:
Laser capture microdissection を用いた上皮性卵巣癌の組織型特異的 allelotype の検討
第54回日本産科婦人科学会学術講演会, 東京, 4月
日本産科婦人科学会雑誌. 54(2):497, 2002
- No. 32 川名 有紀子, 川名 敬, 八杉 利治, 中川 俊介, 吉川 裕之, 武谷 雄二:
ヒトパピローマウイルス(HPV)L2 蛋白質型共通中和エピトープによる宿主細胞への侵入メカニズムの解明
第54回日本産科婦人科学会学術講演会, 東京, 4月
日本産科婦人科学会雑誌. 54(2):487, 2002
- No. 33 杉本 雅樹, 市川 喜仁, 椎名 博子, 沖 明典, 角田 肇, 田中 優美子,
吉川 裕之:
進行卵巣癌における術前 CT, MRI 検査の進行期診断への有用性
第103回日本産科婦人科学会関東連合地方部会, 東京, 6月
日本産科婦人科学会関東連合地方部会会報. 39(2):130, 2002

- No. 34 八木 洋也, 濱田 洋実, 漆川 邦, 小倉 剛, 小島 真奈, 渡邊 秀樹, 奥野 鈴鹿, 藤木 豊, 山田 直樹, 宗田 聡, 吉川 裕之:
胎児水腫を伴った胎児胸水症における胎児胸腔-羊水腔シャントの有用性
第103回日本産科婦人科学会関東連合地方部会, 東京, 6月
日本産科婦人科学会関東連合地方部会会報. 39(2):181, 2002
- No. 35 安岡 真奈, William Ba-Thein, 塚本 定三, 林 英生, 吉川 裕之:
腔から分離した大腸菌・血清型 OX:K1:H4 と新生児髄膜炎との関連
第20回日本産婦人科感染症研究会学術講演会, 東京, 6月
- No. 36 漆川 邦, 佐藤 豊実, 北 直喜, 市川 良太, 相野谷 陽子, 山田 直樹, 西田 正人, 吉川 裕之:
4種類の組織形態が混在し他に gonadoblastoma の存在も示唆された Mixed germ cell tumor の1例
第32回日本婦人科腫瘍学会学術集会, 北九州, 7月
- No. 37 安部 加奈子, 宗田 聡, 越智 寛幸, 漆川 邦, 小倉 剛, 小島 真奈, 渡邊 秀樹, 藤木 豊, 濱田 洋実, 吉川 裕之:
出生前診断された胎児腹壁破裂・臍帯ヘルニア45例の臨床的検討
第38回日本新生児学会学術講演会, 神戸, 7月
日本新生児学会雑誌. 38(2):322, 2002
- No. 38 野末 裕紀, 杉浦 正俊, 藤原 暢子, 松井 陽, 池袋 賢一, 金子 道夫, 宗田 聡, 濱田 洋実, 吉川 裕之:
先天性乳癆胸の集学的治療に関する検討—出生前・後にわたる治療戦略—
第38回日本新生児学会学術講演会, 神戸, 7月
日本新生児学会雑誌. 38(2):345, 2002
- No. 39 市川 喜仁, 中内 智子, 沖 明典, 角田 肇, 吉川 裕之:
産褥子宮動静脈瘻から発見された Placental site trophoblastic tumor (PSTT) の一例
日本婦人科腫瘍学会, 北九州, 7月
日本婦人科腫瘍学会雑誌. 20:358, 2002
- No. 40 吉川 裕之:
卵巣癌の臨床に関する解説的講演
Annual Symposium of Japanese Society for the Advancement of Women's Imaging, 淡路島, 9月
- No. 41 杉本 雅樹, 市川 喜仁, 椎名 博子, 沖 明典, 角田 肇, 吉川 裕之, 田中優美子:
進行卵巣癌における術前 CT, MRI 検査の進行期診断への有用性
Annual Symposium of Japanese Society for the Advancement of Women's Imaging, 淡路島, 9月
- No. 42 漆川 邦, 佐藤 豊実, 福島 美穂, 高谷 澄夫, 有川 良三, 八木 洋也, 山田 直樹, 沖 明典, 角田 肇, 吉川 裕之:
若年者における子宮頸部細胞診の意義
第16回日本臨床細胞学会関東連合学術集会, 前橋, 9月

No. 43 濱田 洋実:

日本人における妊娠中毒症関連遺伝子多型の解析(ワークショップ「妊娠中毒症における遺伝子多型解析の意義」)

第23回日本妊娠中毒症学会, 横浜, 9月

No. 44 渡邊 秀樹, 濱田 洋実, 漆川 邦, 山田 直樹, 宗田 聡, 吉川 裕之:

重症妊娠中毒症における凝固第5因子遺伝子多型, MTHFR 遺伝子多型, PAI-1 遺伝子多型のリスク多型共有に関する解析

第23回日本妊娠中毒症学会, 横浜, 9月

No. 45 田邊 麻美子, 佐藤 豊実, 杉本 雅樹, 山田 和美, 沖 明典, 市川 喜仁, 角田 肇, 吉川 裕之:

子宮頸癌リンパ節転移陽性例の予後因子の検討

第104回日本産科婦人科学会関東連合地方部会, 甲府, 10月

日本産科婦人科学会関東連合地方部会会報. 39(3):268, 2002

No. 46 漆川 邦, 渡邊 秀樹, 安岡 真奈, 藤木 豊, 宗田 聡, 濱田 洋実, 吉川 裕之:

先天性血栓性素因(Inherited thrombophilia)として妊娠・分娩管理を行った一例

第104回日本産科婦人科学会関東連合地方部会, 甲府, 10月

日本産科婦人科学会関東連合地方部会会報. 39(3):253, 2002

No. 47 山田 和美, 沖 明典, 市川 良太, 杉本 雅樹, 藤木 豊, 佐藤 豊実, 市川 喜仁, 角田 肇, 吉川 裕之:

当科におけるIV期子宮体癌の治療法の検討

第104回日本産科婦人科学会関東連合地方部会, 甲府, 10月

日本産科婦人科学会関東連合地方部会会報. 39(3):314, 2002

No. 48 越智 寛幸, 濱田 洋実, 漆川 邦, 小倉 剛, 安岡 真奈, 渡邊 秀樹, 藤木 豊, 山田 直樹, 宗田 聡, 吉川 裕之:

単一臍帯動脈はBeckwith-Wiedemann症候群の出生前超音波マーカーか?

第104回日本産科婦人科学会関東連合地方部会, 甲府, 10月

日本産科婦人科学会関東連合地方部会会報. 39(3):305, 2002

No. 49 渡邊 倫子, 櫻井 学, 田中 智子, 染谷 勝巳, 白杵 悉, 吉川 裕之:

当科における年齢別不妊外来受診・妊娠傾向—10000受診を解析して—

第104回日本産科婦人科学会関東連合地方部会, 甲府, 10月

日本産科婦人科学会関東連合地方部会会報. 39(3):321, 2002

No. 50 高野 克己, 市川 喜仁, 大和田 倫孝, 鈴木 光明, 角田 肇, 三輪 正直, 内田 和彦, 吉川 裕之:

大腸癌または乳癌を重複した子宮体癌におけるマイクロサテライト不安定性の検討

第61回日本癌学会総会, 東京, 10月

No. 51 南 里恵, 飯島 達生, 野口 雅之, 角田 肇, 吉川 裕之:

卵巣癌細胞株のヒト中皮細胞との接着性とヌードマウス腹膜播種形成能との関係

第61回日本癌学会総会, 東京, 10月

- No. 52 田中 智子, 市川 喜仁, 藤木 豊, 佐藤 豊実, 沖 明典, 角田 肇, 吉川 裕之:
産褥子宮動静脈瘻から発見された Placental site trophoblastic tumor (PSTT) の 1 例

第136回日本産科婦人科学会茨城地方部会例会, 水戸, 11月

- No. 53 越智 寛幸, 宗田 聡, 櫻井 学, 岩下 寛子, 渡邊 倫子, 田中 智子, 濱田 洋実,
吉川 裕之:

生体腎移植後に妊娠した 3 症例

第136回日本産科婦人科学会茨城地方部会例会, 水戸, 11月

- No. 54 中尾 砂理, 沖 明典, 山田 直樹, 杉本 雅樹, 佐藤 豊実, 市川 喜仁, 角田 肇,
吉川 裕之:

急性腹症で発症した Yolk Sac Tumor の一例

第136回日本産科婦人科学会茨城地方部会例会, 水戸, 11月

- No. 55 漆川 邦, 角田 肇, 沖 明典, 佐藤 豊実, 南 里恵, 高野 克己, 深沢 政勝,
森下 由紀雄, 野口 雅之, 吉川 裕之:

子宮頸部まで連続性に進展した外陰 Paget 病の一例

第41回日本臨床細胞学会秋期大会, 下関, 11月

- No. 56 山田 和美, 沖 明典, 深沢 政勝, 佐藤 豊実, 森下 由紀雄, 角田 肇,
野口 雅之, 吉川 裕之:

子宮内膜細胞診での CMV 感染が AIDS 診断の発端となった一例

第41回日本臨床細胞学会秋期大会, 下関, 11月

- No. 57 吉川 裕之:

特別講演: 子宮頸癌と HPV

日本産科婦人科学会三重地方部会学術講演会, 津, 11月

- No. 58 渡邊 秀樹, 山田 直樹, 宗田 聡, 濱田 洋実, 吉川 裕之, 小林 公子,
有波 忠雄:

妊娠中毒症におけるプロテオーム解析

日本人類遺伝学会第47回大会, 名古屋, 11月

- No. 59 高野 克己, 齋藤 総一郎, 越川 知行, 三輪 正直, 市川 喜仁, 吉川 裕之,
内田 和彦:

卵巣明細胞腺癌に特徴的な遺伝子コピー数異常と遺伝子発現プロファイル

第25回分子生物学会年会, 横浜, 12月

その他

- No. 1 吉川 裕之:

婦人科医療におけるインフォームドコンセント (2) 卵巣腫瘍

ラジオたんぱ(1月28日放送), 1月

- No. 2 竹島 絹子, 宗田 聡, 濱田 洋実, 吉川 裕之:

当科における既往帝王切開症例の管理

第32回茨城県南地区臨床検討会, 土浦, 2月

- No. 3 沖 明典：
Clinical Exchange Program in Gynecologic Cancers
Fox Chase Cancer Center, Philadelphia, 2月
- No. 4 市川 喜仁, 比嘉 佐和子, 椎名 博子, 沖 明典, 角田 肇, 吉川 裕之：
クリニカルカンファレンス腫瘍「術前化学療法による進行卵巣癌の治療」
日本産科婦人科学会関東連合地方部会会報 39巻1号, pp. 43-50, 3月
- No. 5 吉川 裕之：
特別講演：進行卵巣癌の手術療法と化学療法
第10回福井婦人科悪性腫瘍研究会, 福井, 6月
- No. 6 市川 喜仁, 杉本 雅樹, 藤木 豊, 佐藤 豊実, 沖 明典, 角田 肇, 吉川 裕之：
子宮肉腫の化学療法
第2回つくば婦人科がん治療研究会, つくば, 6月
- No. 7 沖 明典, 角田 肇, 佐藤 豊実, 市川 喜仁, 吉川 裕之：
当院における外陰癌の治療方針
第2回つくば婦人科がん治療研究会, つくば, 6月
- No. 8 吉川 裕之：
HPV感染と子宮頸部発がんに関するコホート研究
文部科学省がん研究に係る特定領域研究がんの疫学研究領域シンポジウム,
東京, 7月
- No. 9 吉川 裕之：
がん相談室：卵巣がん
月刊がん「もっといい日」(日本医療情報出版), 7月
- No. 10 高野 克己, 市川 喜仁, 鈴木 光明, 角田 肇, 内田 和彦, 吉川 裕之：
Microsatellite Instability in Endometrial Cancers Coexisted with Colorectal or Breast Cancers
第3回文部科学省特定領域研究「がん」6領域若手研究者ワークショップ,
蓼科, 8月
- No. 11 藤木 豊：
筑波大学附属病院における腹腔鏡下手術の現況
第33回茨城県南地区臨床検討会, 土浦, 9月
- No. 12 吉川 裕之：
読んで癒そうスポニセラピー：性感染症(上)
スポーツニッポン, 9月
- No. 13 角田 肇：
ASCO (American Society of Clinical Oncology) 2002 ハイライト集(監修)
Gynecologic Cancer, 山之内製薬, 東京, 9月
- No. 14 宗田 聡：
出生前診断の現況
日本産婦人科医会茨城県西地区集談会, 下妻, 10月

No. 15 角田 肇：

カレントレビュー：固形がん治療効果判定のための新ガイドライン(RECIST ガイドライン)の解説

第2回つくば婦人科がんセミナー，つくば，11月

No. 16 角田 肇：

婦人科癌化学療法治療効果判定への RECIST ガイドラインの導入について

第33回日本婦人科腫瘍学会学術集会ランチョンセミナー，東京，11月

No. 17 吉川 裕之：

子宮頸がんの予防と早期診断・治療

文部科学省がん研究に係る特定領域研究がんの疫学研究領域公開シンポジウム，

広島，12月

2002年（耳鼻咽喉科グループ）

原 著

- No. 1 Tabuchi K, Tsuji S, Wada T, Ito Z, Hara A, Kusakari J :
Effect of ketamine, dextromethorphan and MK-801 on cochlear dysfunction induced by transient ischemia
Ann Otol Rhinol Laryngol 111(1) : 44-49, 2002
- No. 2 Tabuchi K, Tsuji S, Asaka Y, Ito Z, Hara A, Kusakari J :
Does endogenous adenosine facilitate the functional recovery of the cochlea after ischemia?
Ann Otol Rhinol Laryngol 111(4) : 376-381, 2002
- No. 3 Tobita T, Senarita M, Hara A, Kusakari J :
Determination of prednisolone in the cochlear tissue
Hear Res 165 : 30-34, 2002
- No. 4 Tsuji S, Tabuchi K, Hara A, Kusakari J :
Long-term observations on the reversibility of cochlear dysfunction after transient ischemia
Hear Res 166 : 72-81, 2002
- No. 5 Ishikawa K, Tamagawa Y, Takahashi K, Kimura H, Kusakari J, Hara A, Ichimura K :
Nonsyndromic hearing loss caused by a mitochondrial T7511C mutation
Laryngoscope 112 : 1494-1499, 2002
- No. 6 Ishikawa E, Tsuboi K, Onizawa K, Hara A, Kusakari J, Noguchi M, Nose T :
Chondroblastoma of the temporal base with high mitotic activity—case report—
Neurologia medico-chirurgica 42 : 516-520, 2002
- No. 7 Tabuchi K, Tsuji S, Fujihira K, Oikawa K, Hara A, Kusakari J :
Outer hair cells functionally and structurally deteriorate during reperfusion
Hear Res 173 : 153-163, 2002

著 書

- No. 1 原 晃 :
『突発性難聴』
難病の指針 第4版(難病の指針編集委員会編)
茨城県医師会, 水戸市, pp242-246, 2002
- No. 2 和田 哲郎, 原 晃 :
II スポーツと損傷『内耳・側頭骨の損傷』
ENTONI No.19 耳鼻咽喉科におけるスポーツ医学 : pp18-24, 2002
- No. 3 Hara A, Kusakari J :
Proposal for definition of tumor size
Acoustic Neuroma (Eds by Kanzaki J, Tos M, Sanna M, Moffat
DA, Kunihiro T, Inoue Y)
: Springer-Verlag Tokyo, Tokyo, pp.25-28.2002

学会発表

No. 1 原 晃：

臨床セミナー「薬剤性難聴—最新報告—」

第103回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会(東京)5月16日, 2002

No. 2 高橋 和彦, 大久保英樹, 瀬成田雅光, 和田 哲郎, 原 晃, 草刈 潤：

当科における下咽頭悪性腫瘍の治療成績について

第103回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会(東京)5月16日, 2002

No. 3 田淵 経司, 辻 茂希, 藤平 一也, 及川 慶子, 安積 靖敏, 大久保英樹,
高橋 和彦, 和田 哲郎, 原 晃, 草刈 潤：

内耳虚血性障害におけるアデノシンの効果

第103回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会(東京)5月16日, 2002

No. 4 藤平 一也, 田淵 経司, 大久保英樹, 原 晃, 草刈 潤：

音響外傷に対するアミノグアニジン保護の効果

第103回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会(東京)5月16日, 2002

No. 5 和田 哲郎, 高橋 和彦, 大久保英樹, 瀬成田雅光, 原 晃, 草刈 潤：

当科における喉頭悪性腫瘍の治療成績について

第103回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会(東京)5月16日, 2002

No. 6 広瀬 由紀, 瀬成田雅光, 田淵 経司, 原 晃：

伝音難聴を呈した高位頸静脈球の2例

第49回日本耳鼻咽喉科学会茨城県地方部会(水戸)6月23日, 2002

No. 7 境 修平, 辻 茂希, 大久保英樹, 原 晃, 森田泰久：

上顎洞血瘤腫の1症例

第49回日本耳鼻咽喉科学会茨城県地方部会(水戸)6月23日, 2002

No. 8 小嶋 理佳, 辻 茂希, 和田 哲郎, 原 晃, 山崎 友郷, 坪井 康次, 能勢 忠男：

頭蓋底手術を施行した篩骨洞癌の1例

第49回日本耳鼻咽喉科学会茨城県地方部会(水戸)6月23日, 2002

No. 9 青柳 安典, 上前泊 功, 藤平 一也, 和田 哲郎, 原 晃, 大塚 友紀, 遊佐 浩：

耳下腺原発扁平上皮癌の1例

第49回日本耳鼻咽喉科学会茨城県地方部会(水戸)6月23日, 2002

No. 10 菊池 教大, 本間 敏明, 児玉 孝秀, 本間 晋介, 大久保英樹, 高橋 和彦,
関沢 清久：

CPAP療法が奏効した神経線維腫による上部気道狭窄の症例

第3回茨城呼吸管理研究会(茨城), 6月29日, 2002

No. 11 田淵 経司, 和田 哲郎, 瀬成田雅光, 大久保英樹, 高橋 和彦, 上前泊 功,
原 晃, 草刈 潤：

口腔中咽頭癌IV期症例における化学療法の長期予後に与える効果

第64回耳鼻咽喉科臨床学会総会・学術講演会(大阪)6月29日, 2002

No. 12 上前泊 功, 田淵 経司, 和田 哲郎, 原 晃, 草刈 潤, 飯嶋 達生, 菅間 博：

唾液腺悪性筋上皮腫の2例

第64回耳鼻咽喉科臨床学会総会・学術講演会(大阪)6月29日, 2002

- No. 13 及川 慶子, 中森 暁子, 田淵 経司, 大久保英樹, 原 晃:
Nf-kB 阻害剤の音響外傷に与える影響
第11回耳音響放射研究学会(東京), 7月5日, 2002
- No. 14 辻 茂希, 境 修平, 大久保英樹, 原 晃, 森田 康久:
上顎洞血腫の5症例
第7回日本耳鼻咽喉科学会北関東連合会(小山)9月8日, 2002
- No. 15 国広 美紀, 田淵 経司, 高橋 和彦, 大久保英樹, 和田 哲郎, 瀬成田雅光,
原 晃, 草刈 潤:
最近4年間に乳幼児難聴外来を受診した0歳児の検討
第47回日本聴覚医学会総会・学術講演会(仙台)10月4日, 2002
- No. 16 田淵 経司, 藤平 一也, 及川 慶子, 上前泊 功, 辻 茂希, 大久保英樹,
和田 哲郎, 高橋 和彦, 原 晃:
内耳音響障害における dehydroepiandrosterone の効果
第47回日本聴覚医学界総会・学術講演会(仙台)10月4日, 2002
- No. 17 上前泊 功, 田淵 経司, 和田 哲郎, 原 晃:
音響外傷における calcineurin inhibitor の保護効果
第47回日本聴覚医学界総会・学術講演会(仙台)10月4日, 2002
- No. 18 佐々木 亮, 松原 篤, 井上 卓, 新川 秀一, 田淵 経司, 中森 暁子, 原 晃,
草刈 潤:
内耳虚血モデルにおけるグルタミン酸神経障害の免疫電顕による定量的検討
第47回日本聴覚医学界総会・学術講演会(仙台)10月4日, 2002
- No. 19 中森 暁子, 田淵 経司, 及川 慶子, 原 晃:
モルモット蝸牛における Nuclear factor kappa B の局在について
第12回日本耳科学会総会・学術講演会(東京)10月10日, 2002
- No. 20 及川 慶子, 田淵 経司, 中森 暁子, 大久保英樹, 和田 哲郎, 原 晃:
音響外傷における Nf- κ B 阻害剤の治療効果
第12回日本耳科学会総会・学術講演会(東京)10月10日, 2002
- No. 21 田淵 経司, 原 晃:
内耳虚血再灌流障害におけるフリーラジカル酸化窒素の関与
京都内耳障害研究会(京都)10月19日, 2002
- No. 22 西村 一記, 広瀬 由紀, 田淵 経司, 瀬成田雅光, 原 晃:
ほぼ同時期に発症した両側突発性難聴の1例
第50回日本耳鼻咽喉科学会茨城県地方部会(水戸)10月27日, 2002
- No. 23 青柳 安典, 中山 雅博, 上前泊 功, 和田 哲郎, 原 晃:
頭蓋底手術を考慮した鼻, 副鼻腔真菌症の1症例
第50回日本耳鼻咽喉科学会茨城県地方部会(水戸)10月27日, 2002
- No. 24 中山 雅博, 青柳 安典, 上前泊 功, 和田 哲郎, 原 晃, 藤平 一也:
気道閉塞を来した喉頭癌の1症例
第50回日本耳鼻咽喉科学会茨城県地方部会(水戸)10月27日, 2002

- No. 25 小堀 理佳, 境 修平, 田淵 経司, 大久保英樹, 原 晃, 坪井 康次, 能勢 忠男,
辻 茂希:
篩骨洞骨肉腫の1症例

第50回日本耳鼻咽喉科学会茨城県地方部会(水戸)10月27日, 2002

その他

- No. 1 和田 哲郎:

教育講演『喉頭癌・下咽頭癌の診断と治療 ―手術療法を中心に―』

第27回茨城県放射線治療研究会(下館)6月22日, 2002

- No. 2 和田 哲郎:

耳鼻咽喉科領域におけるマクロライド系抗菌薬の位置付け

県南地区医師会学術連絡会(つくば)11月7日, 2002

- No. 3 和田 哲郎:

耳鼻咽喉科からみためまい疾患

県南地区医師会学術講演会(つくば)11月20日, 2002

2002年 (麻酔診療グループ)

原 著

- No. 1 Miyabe M, Yanagi K, Ohshima N, Sato S, Fukuda T, Toyooka H :
Sodium nitroprusside decreases leukocyte adhesion and emigration after hemorrhagic shock.
Anesth Analg 94(2) : 296-301, 2002
- No. 2 Uemura A, Fujii Y, Toyooka H :
Inhaled olprinone improves contractility of fatigued canine diaphragm.
Brit J Anaesth 88(4) : 408-411, 2002
- No. 3 Takahashi S, Tanaka M, Toyooka H :
The efficacy of hemodynamic and t-wave criteria for detecting intravascular injection of epinephrine test dose in propofol-anesthetized adults.
Anesth Analg 94(3) : 717-722, 2002
- No. 4 Inomata S, Kihara S, Miyabe M, Sumiya K, Baba Y, Toyooka H :
The hypnotic and analgesic effects of oral clonidine during sevoflurane anesthesia in children: A dose-response study.
Anesth Analg 94(6) : 1479-1483, 2002
- No. 5 Takahashi S, Mizutani T, Miyabe M, Toyooka H :
Hemodynamic responses to tracheal intubation with laryngoscope versus lightwand intubating device (Trachlight) in adults with normal airway.
Anesth Analg 95(2) : 480-484, 2002
- No. 6 Fujii Y, Uemura A, Toyooka H :
The dose-related efficacy of diltiazem for enhancing diaphragmatic fatigability in dogs.
Anesth Analg 95(1) : 129-132, 2002
- No. 7 Fujii Y, Uemura A, Toyooka H :
Flumazenil recovers diaphragm muscle dysfunction caused by midazolam in dogs.
Anesth Analg 95(4) : 944-947, 2002
- No. 8 Fujii Y, Toyooka H :
High-dose colforsin daropate increases diaphragmatic contractility in dogs.
Can J Anaesth 49(8) : 877-879, 2002
- No. 9 Fujii Y, Numazaki M :
Dose-range effects of propofol for reducing emetic symptoms during cesarean section.
Obstet Gynecol 99(1) : 75-79, 2002
- No. 10 Fujii Y, Tanaka H :
Preoperative oral granisetron for the prevention of vomiting following paediatric surgery.
Paediatr Anaesth 12(4) : 267-271, 2002

- No. 11 Hoshi T, Fujii Y, Toyooka H :
Comparative effects of xenon and nitrous oxide on diaphragmatic contractility in dogs.
Acta Anaesth Scand 46(8) : 699-702, 2002
- No. 12 Kakiuchi Y, Fukuda T, Miyabe M, Honma M, Toyooka H, Kohda Y :
Chromatographic determination of free lidocaine and its active metabolites in plasma from patients under epidural anesthesia.
Int J Clin Pharm TH 40(11) : 493-498, 2002
- No. 13 Miyabe M, Kakiuchi Y, Inomata S, Ohsaka Y, Kohda Y, Toyooka H :
Epinephrine does not reduce the plasma concentration of lidocaine during continuous epidural infusion in children.
Can J Anaesth 49(7) : 706-710, 2002
- No. 14 Fukuda T, Nishimoto C, Hisano S, Miyabe M, Toyooka H :
The analgesic effect of xenon on the formalin test in rats: a comparison with nitrous oxide.
Anesth Analg 95(5) : 1300-1304, 2002
- No. 15 Numazaki M, Tominaga T, Toyooka H, Tominaga M :
Direct phosphorylation of capsaicin receptor VR1 by protein kinase C and identification of two target serine residues.
J Biol Chem 277(16) : 13375-13378, 2002
- No. 16 Nakayama H, Takahashi H, Okubo N, Miyabe M, Toyooka H :
Xenon and nitrous oxide do not depress cardiac function in an isolated rat heart model.
Can J Anaesth 49(4) : 375-379, 2002
- No. 17 Takahashi S, Uemura A, Nakayama S, Miyabe M, Toyooka H :
Bronchospasms and wheezing after induction of anesthesia with propofol in patients with a history of asthma (Letter).
J Anesth 16(4) : 360-361, 2002
- No. 18 清水 雄, 猪股 伸一, 宮部 雅幸, 豊岡 秀訓 :
コケイン症候群患児の麻酔経験.
麻酔 51(1) : 39-41, 2002
- No. 19 西本千香子, 猪股 伸一, 宮部 雅幸, 木原 真一, 豊岡 秀訓 :
小児患者における肺切除術の麻酔経験.
麻酔 51(2) : 162-165, 2002
- No. 20 斎藤 歌織, 猪股 伸一, 上村 明, 大坂 佳子, 宮部 雅幸, 豊岡 秀訓 :
小児硬膜外麻酔の研修を受けて.
麻酔 51(8) : 927-930, 2002
- No. 21 卯野木 健, 水谷 太郎, 川崎 由理, 高橋 伸二, 上田留美子, 豊岡 秀訓 :
PEEPと人工呼吸モードがSqueezing時の呼吸メカニクスに与える影響.
人工呼吸 19(2) : 197, 2002

- No. 22 八木原正浩, 高橋 宏, 宮部 雅幸, 豊岡 秀訓:
全身麻酔科のラジオ波熱灼療法術中に生じた皮膚熱傷.
麻酔 51(10):1117-1119, 2002
- No. 23 斎藤 重行, 高橋 宏, 大塚 雅昭, 中山 凱夫:
フィルムセンサーを用いた体圧測定.
日本手術医学会誌 23(2):157-158, 2002
- No. 24 濱野真由美, 高橋 宏, 古垣 達也, 高柳真美子, 椎名 裕子, 斎藤 重行,
大塚 雅昭, 中山 凱夫:
ラジオ波熱傷灼療法(RFA)による皮膚熱傷.
日本手術医学会誌 23(3):294-295, 2002
- No. 25 大塚 雅昭, 斎藤 重行, 高橋 宏, 中山 凱夫:
手術部における診療報酬請求もれ調査と対策.
日本手術医学会誌 23(4):341-343, 2002
- No. 26 古垣 達也, 重田 治, 大塚 雅昭, 斎藤 重行, 高橋 宏, 中山 凱夫, 榊原 謙:
ヘパリン中和中のプロタミンによる血小板に対する影響.
体外循環技術 29(1):22-24, 2002
- No. 27 古垣 達也, 大塚 雅昭, 斎藤 重行, 高橋 宏, 中山 凱夫:
エチレンオキシドガス滅菌装置の作業環境測定.
医器学 72(10):523-524, 2002

総 説

- No. 1 Fujii Y:
Combination antiemetic regimens for prevention of postoperative nausea and vomiting: Focus on high-risk patients.
Clin Drug Invest 22(9):561-574, 2002
- No. 2 福田 妙子:
周術期使用薬との相互作用.
Lisa 9(8):766-769, 2002

著 書

- No. 1 水谷 太郎, 豊岡 秀訓:
呼吸器疾患の治療手技
人工呼吸. 呼吸器疾患の治療と看護(工藤翔二 編)
南江堂, 東京, pp.102-108, 2002
- No. 2 水谷 太郎, 豊岡 秀訓:
呼吸管理.
専門医のための消化器外科学レビュー(跡見裕他 編)
総合医学社, 東京, pp.84-89, 2002

- No. 3 松村 明, 山本 哲哉, 柴田 靖, 中井 啓, 張天, 阿久津博義, 松下 明, 安田 貢,
高野 晋吾, 能勢 忠男, 水谷 太郎, 高橋 宏, 豊岡 秀訓, 山本 和喜,
熊田 博明, 鳥居 義也:
混合熱・熱外中性子を用いた悪性神経腫瘍に対する中性子補促法.
(財)九州大学出版会, pp.427-435, 2002
- No. 4 藤井 善隆:
呼吸困難で Hugh Jones 分類でIV度の患者の麻酔前準備.
麻酔の How to 治療編 (小川龍編)
克誠堂, 東京, pp.12-13, 2002
- No. 5 田口 典子, 豊岡 秀訓:
呼吸回路技術的概念と機能. 低流量麻酔(監訳 上村明, 宮部雅幸, 渡邊誠治, 豊岡
秀訓)
メデイカル・サイエンス・インターナショナル, 東京, pp.1-13, 2002
- No. 6 上村 明, 宮部 雅幸:
再呼吸回路一技術的概念の発達, 低流量麻酔管理のための技術的必要条件, 低流量麻
酔の実際.
低流量麻酔(監訳 上村明, 宮部雅幸, 渡邊誠治, 豊岡秀訓)
メデイカル・サイエンス・インターナショナル, 東京, pp.15-30, 89-134, 173-209, 2002
- No. 7 星 拓男, 宮部 雅幸:
再呼吸回路技術的概念の発達.
低流量麻酔(監訳 上村明, 宮部雅幸, 渡邊誠治, 豊岡秀訓)
メデイカル・サイエンス・インターナショナル, 東京, pp.15-30, 2002
- No. 8 熊谷 恵, 宮部 雅幸:
麻酔ガスの薬物動態
低流量麻酔(監訳 上村明, 宮部雅幸, 渡邊誠治, 豊岡秀訓)
メデイカル・サイエンス・インターナショナル, 東京, pp.31-43, 2002
- No. 9 豊岡 秀訓:
新鮮ガス流量を減らした麻酔法.
低流量麻酔(監訳 上村明, 宮部雅幸, 渡邊誠治, 豊岡秀訓)
メデイカル・サイエンス・インターナショナル, 東京, pp.45-58, 2002
- No. 10 木原 真一, 豊岡 秀訓:
吸入麻酔のコントロール.
低流量麻酔(監訳 上村明, 宮部雅幸, 渡邊誠治, 豊岡秀訓)
メデイカル・サイエンス・インターナショナル, 東京, pp.59-70, 2002
- No. 11 藤井 善隆, 豊岡 秀訓:
モニタリング.
低流量麻酔(監訳 上村明, 宮部雅幸, 渡邊誠治, 豊岡秀訓)
メデイカル・サイエンス・インターナショナル, 東京, pp.135-148, 2002

- No. 12 渡邊 誠治, 豊岡 秀訓:
低流量麻酔における患者の安全性.
低流量麻酔(監訳 上村明, 宮部雅幸, 渡邊誠治, 豊岡秀訓)
メディカル・サイエンス・インターナショナル, 東京, pp.149-171, 2002
- No. 13 高橋 伸二, 豊岡 秀訓:
亜酸化窒素を用いない低流量麻酔法.
低流量麻酔(監訳 上村明, 宮部雅幸, 渡邊誠治, 豊岡秀訓)
メディカル・サイエンス・インターナショナル, 東京, pp.211-220, 2002
- No. 14 星 拓男, 宮部 雅幸:
将来の展望.
低流量麻酔(監訳 上村明, 宮部雅幸, 渡邊誠治, 豊岡秀訓)
メディカル・サイエンス・インターナショナル, 東京, pp.221-227, 2002
- No. 15 高橋 伸二, 豊岡 秀訓:
神経・筋疾患と麻酔
臨床麻酔学全書(花岡一雄, 真下節, 福田和彦 編)
真興交易, 東京, pp.291-306, 2002
- No. 16 福田 妙子:
キセノン.
日常診療に役立つ医療ガスと危機管理(並木昭義, 山蔭道明編)
真興交易, 東京, pp.133-138, 2002
- No. 17 水谷 太郎, 豊岡 秀訓:
胸部疾患術後.
気管切開外科的気道確保のすべてー(丸川征四郎 編)
医学図書出版, 東京, pp.99-103, 2002

学会発表

- No. 1 Fujii Y:
Subhypnotic dose of propofol compared with traditional antiemetics, droperidol and metoclopramide, for reducing emesis during cesarean section.
7th America-Japan Anesthesia Congress (Kofu, Yamanashi), 2002
- No. 2 Fujii Y:
The efficacy of diltiazem for enhancing diaphragmatic fatigability in dogs.
7th American-Japan Anesthesia Congress (Kofu, Yamanashi), 2002
- No. 3 Fujii Y:
Postoperative nausea and vomiting and clinical management.
Seminor: Physiology and Management of Post-operative
Emesis (Santiago, Chile), 2002
- No. 4 Fukuda T, Nishimoto C, Hisano S, Miyabe M, Toyooka H:
Analgesic effect of xenon on the formalin test in rats: Comparison with nitrous oxide. Annual Meeting American Society of
Anesthesiologists (Florida, USA), 2002

- No. 5 Numazaki M, Tominaga T, Toyooka H, Tominaga M :
Direct phosphorylation of capsaicin receptor VR1 by protein kinase C and identification of two target serine residues.
Society for Neuroscience 32nd Annual Meeting (Orland, USA), 2002
- No. 6 石塚 純子, 佐々木由樹, 小笹 雄司, 樺山 定美, 阿部 安子, 水谷 太郎 :
ICU シーリングシステム導入の評価.
第29回日本集中治療医学会(岡山), 2月, 2002
- No. 7 豊岡 秀訓 :
座長 BiPAP.
第29回日本集中治療医学会(岡山), 2月, 2002
- No. 8 卯野木 健, 水谷 太郎, 豊岡 秀訓 :
ウサギ無気肺モデルにおける呼吸胸郭圧迫手技と気管内吸引が排痰量, 動脈血ガスに及ぼす影響.
第29回日本集中治療医学会(岡山), 2月, 2002
- No. 9 豊岡 秀訓 :
座長 EBM:エビデンスを作るために.
第49回日本麻酔科学会(福岡), 4月, 2002
- No. 10 豊岡 秀訓 :
座長 内視鏡手術.
第49回日本麻酔科学会(福岡), 4月, 2002
- No. 11 猪股 伸一, 山崎裕一郎, 奥山 和彦, 中山 慎, 宮部 雅幸, 豊岡 秀訓 :
小児における経口クロニジン前投与が胸部硬膜外麻酔中の血中リドカイン濃度に及ぼす効果.
第49回日本麻酔科学会(福岡), 4月, 2002
- No. 12 山崎裕一郎, 猪股 伸一, 奥山 和彦, 中山 慎, 宮部 雅幸, 豊岡 秀訓 :
血管内持続血液ガスモニター(Paratrend7TM)は一側肺換気(OLV)における急激な血液ガス変化時にも有用である.
第49回日本麻酔科学会(福岡), 4月, 2002
- No. 13 星 拓男, 水谷 太郎, 豊岡 秀訓 :
キセノンが回路内圧と差圧式流量計に及ぼす影響キセノン濃度・テスト肺のコンプライアンスを変化させたときの比較.
第49回日本麻酔科学会(福岡), 4月, 2002
- No. 14 藤井 善隆, 上村 明, 豊岡 秀訓 :
鎮静量のプロポフォールは非疲労横隔膜および疲労横隔膜の収縮力を減少させる.
第49回日本麻酔科学会(福岡), 4月, 2002
- No. 15 上村 明, 藤井 善隆, 澤田 光平, 鈴木 節子, 豊岡 秀訓 :
オルプリノンがモルモットの横隔膜疲労に与える影響
第49回日本麻酔科学会(福岡), 4月, 2002
- No. 16 宮部 雅幸, 豊岡 秀訓 :
SNP は出血性ショック後の白血球接着, 血管外遊走を軽減する.
第49回日本麻酔科学会(福岡), 4月, 2002

- No. 17 熊谷 恵, 豊岡 秀訓:
脳 Functional MRI における Mn^{++} コントラスト法の提案.
第49回日本麻酔科学会(福岡), 4月, 2002
- No. 18 田島 啓一, 宮部 雅幸, 豊岡 秀訓:
ウサギにおける一側総頸動脈遮断後の低血圧による脳軟膜動脈径の変化.
第49回日本麻酔科学会(福岡), 4月, 2002
- No. 19 福田 妙子, 西元千香子, 星 拓男, 宮部 雅幸, 豊岡 秀訓:
キセノンの脊髄 NMDA 受容体に対する影響.
第49回日本麻酔科学会(福岡), 4月, 2002
- No. 20 高橋 伸二, 水谷 太郎, 宮部 雅幸, 豊岡 秀訓:
挿管時に, トラキライトと喉頭鏡が, 循環動態に与える影響.
第49回日本麻酔科学会(福岡), 4月, 2002
- No. 21 斎藤 重行, 高橋 宏, 豊岡 秀訓:
PiCCO を用いた長時間手術時の肺血管外水分量測定.
第49回日本麻酔科学会(福岡), 4月, 2002
- No. 22 福田 妙子, 西元千香子, 宮部 雅幸, 豊岡 秀訓:
出血性ショック後の疼痛反応における副腎機能の関与.
第36回日本ペインクリニック学会(宮崎), 7月, 2002
- No. 23 櫻井 洋志, 猪股 伸一, 大坂 佳子, 垣内 祥宏, 森 智子, 福田 妙子,
宮部 雅幸, 豊岡 秀訓:
5%リドカインクリーム外用薬の除痛効果と血中濃度.
第36回日本ペインクリニック学会(宮崎), 7月, 2002
- No. 24 宮部 雅幸:
座長 痛みの評価1.
第36回日本ペインクリニック学会(宮崎), 7月, 2002
- No. 25 沼崎 満子, 富永 知子, 豊岡 秀訓, 富永 真琴:
PKC にる VR 1 リン酸化部位の同定.
第25回日本神経科学大会(京都), 7月, 2002
- No. 26 古川 宗, 中山 慎, 高橋 伸二, 水谷 太郎, 豊岡 秀訓:
窒息による心停止で除脳硬直がみられたが, 神経学的に完全回復した喉頭腫瘍の症例.
第11回日本集中治療医学会 関東甲信越地方会(東京), 8月, 2002
- No. 27 樺山 定美, 古田 智美, 川口 寿彦, 安 部安子, 水谷 太郎:
ICU シーリングシステム導入に伴うライン整理の試み.
第11回日本集中治療医学会 関東甲信越地方会(東京), 8月, 2002
- No. 28 細谷 真人, 大坂 佳子, 上村 明, 宮部 雅幸:
呼吸性喘鳴および完全型新内膜症欠損症合併乳児の両側鼠径ヘルニア根治術の麻酔管理.
第8回日本小児麻酔学会(名古屋), 9月, 2002
- No. 29 豊岡 秀訓:
司会 麻酔薬の分子的作用機序.
第42回日本麻酔科学会関東甲信越地方会(松本市), 9月, 2002

- No. 30 佐藤 恭嘉, 高橋 宏, 高橋 伸二, 猪股 伸一, 斎藤 重行, 宮部 雅幸, 豊岡 秀訓:
修正型電気けいれん療法中に心室性期外収縮・二段脈を生じた症例.
第42回日本麻酔科学会関東甲信越地方会(松本市), 9月, 2002
- No. 31 助川 岩央, 猪股 伸一, 細谷 真人, 斎藤 重行, 宮部 雅幸, 豊岡 秀訓:
冠動脈バイパス術中に Swan-Ganz カテーテルを心筋に固定され, 日再手術となった1症例.
第42回日本麻酔科学会関東甲信越地方会(松本市), 9月, 2002
- No. 32 小原 由記, 猪股 伸一, 宮部 雅幸, 大坂 佳子, 中山 慎, 助川 岩央, 福田 妙子, 豊岡 秀訓:
肘正中皮静脈採血により生じた難治性反射性交感神経性萎縮症: 経口ケタミン療法.
第42回日本麻酔科学会関東甲信越地方会(松本), 9月, 2002
- No. 33 豊岡 秀訓:
司会 基調講演 Intraoperative Peripheral Nerve Blocks.
第22回日本臨床麻酔学会(甲府), 10月, 2002
- No. 34 高橋 宏:
座長 悪性高熱.
第22回日本臨床麻酔学会(甲府), 10月, 2002
- No. 35 高橋 伸二:
コメンテーター ラリンジアルマスク B.
第22回日本臨床麻酔学会(甲府), 10月, 2002
- No. 36 福田 妙子:
コメンテーター 脊麻・硬麻A(脊麻).
第22回日本臨床麻酔学会(甲府), 10月, 2002
- No. 37 八木原正浩, 宮部 雅幸, 水谷 太郎, 豊岡 秀訓:
胸管結紮術の麻酔経験.
第22回日本臨床麻酔学会(甲府), 10月, 2002
- No. 38 山崎裕一朗, 高橋 宏, 猪股 伸一, 高橋 伸二, 宮部 雅幸, 豊岡 秀訓:
急性特発性汎自律神経失調症(Acute idiopathic pandysautonomia: AIPD) 患者の麻酔経験.
第22回日本臨床麻酔学会(甲府), 10月, 2002
- No. 39 綾 大介, 水谷 太郎, 高橋 伸二, 宮部 雅幸, 豊岡 秀訓:
執刀後 on-pump から off-pump CABG に術式変更された血液透析患者の麻酔経験.
第22回日本臨床麻酔学会(甲府), 10月, 2002
- No. 40 宮部 雅幸:
脊髄くも膜下麻酔による不可逆的精神損傷・感染.
第15回日本局所麻酔学会(甲府), 11月, 2002
- No. 41 前田 鉄之, 中山 慎, 水谷 太郎, 宮部 雅幸, 豊岡 秀訓:
拡大胸腺摘除術後8日間人工呼吸管理した重症筋無力症の1例.
第16回茨城麻酔・蘇生・中毒・鎮痛研究会(水戸), 11月, 2002

- No. 42 田畑 江哉, 高橋 宏, 宮部 雅幸, 豊岡 秀訓:
ラリngoレーザー焼灼術にレーザートラケアルチューブは必須である.
第16回茨城麻酔・蘇生・中毒・鎮痛研究会(水戸), 11月, 2002
- No. 43 綾 大介, 宮部 雅幸, 清水 雄, 水谷 太郎, 豊岡 秀訓:
保存療法により治癒した硬膜外血腫の1例.
第16回茨城麻酔・蘇生・中毒・鎮痛研究会(水戸), 11月, 2002
- No. 44 助川 岩央, 高橋 伸二, 高橋 宏, 西川 昌志, 宮部 雅幸, 豊岡 秀訓:
術中 BIS 値が低値にもかかわらず呼名に開眼した症例.
第16回茨城麻酔・蘇生・中毒・鎮痛研究会(水戸), 11月, 2002
- No. 45 小原 由記, 高橋 伸二, 古川 宗, 西川 昌志, 宮部 雅幸, 豊岡 秀訓:
完全房室ブロックの乳児の麻酔経験.
第16回茨城麻酔・蘇生・中毒・鎮痛研究会(水戸), 11月, 2002
- No. 46 藤倉 健三, 福田 妙子, 古川 宗, 豊岡 秀訓:
脊椎・硬膜外麻酔施行時の SpO₂ の低下と酸素投与の効果.
第16回茨城麻酔・蘇生・中毒・鎮痛研究会(水戸), 11月, 2000
- No. 47 古垣 達也, 大塚 雅昭, 斎藤 重行, 高橋 宏, 中山 凱夫:
エチレンオキサイドガス滅菌装置の作業環境測定.
第77回日本医科器械学会大会, (東京), 5月, 2002
- No. 48 古垣 達也, 大塚 雅昭, 高橋 宏, 中山 凱夫, 軸屋 智昭, 榊原 謙:
In vitro で算出するヘパリン/プロタミン量の算出—ヘモクロンレスポンスと Hepcon-HMS の比較—.
第28回日本体外循環技術研究大会, (東京), 10月, 2002
- No. 49 高橋 宏, 水谷 太郎, 宮部 雅幸, 豊岡 秀訓:
医学生, 研修医を対象とした一次救命処置法の評価—CPR シミュレータの使用経験.
第30回日本救急医学会, (札幌), 10月, 2002

2002年（歯科・口腔外科グループ）

原 著

- No. 1 柳川 徹, 遊佐 浩, 鬼澤浩司郎, 吉田 廣 :
頰部腫脹を初発症状とした上大静脈症候群の1例
日口外誌 48 : 28-30, 2002
- No. 2 石上敏幸, 鬼澤浩司郎, 吉田 廣 :
高齢者下顎智歯周囲炎の臨床的およびX線学的特徴
口科誌 51 : 43-47, 2002
- No. 3 青野淳子, 遊佐 浩, 石上敏幸, 白土貴之, 鬼澤浩司郎, 吉田 廣 :
腐骨除去により口腔鼻腔瘻孔を生じた骨軟化症の1例
日口外誌 48 : 179-182, 2002
- No. 4 S. Hitomi, T. Kumao, K. Onizawa, Y. Miyajima, T. Wakatsuki :
A case of central-venous-catheter-associated infection caused by *Pichia ohmeri*
J Hosp Infect 51 : 75-77, 2002
- No. 5 Hiroshi Yusa, Hiroshi Yoshida, Ei Ueno, Kenji Yamagata, Kojiro Onizawa,
Toru Yanagawa :
Follow-up ultrasonography for late neck metastases of head and neck cancer
Ultrasound Med Biol 28 : 725-730, 2002
- No. 6 Kojiro Onizawa, Naomichi Okamura, Hideo Saginoya, Hiroshi Yusa, Toru Yanagawa,
Hiroshi Yoshida :
Analysis of fluorescence in oral squamous cell carcinoma
Oral Oncol 32 : 343-348, 2002
- No. 7 H. Yusa, H. Yoshida, E. Ueno, K. Onizawa, T. Yanagawa :
Ultrasound-guided surgical drainage of face and neck abscesses
Int J Oral Maxillofac Surg 31 : 327-329, 2002
- No. 8 鬼澤浩司郎, 遊佐 浩, 柳川 徹, 宮嶋洋二郎, 山縣憲司, 下平聖志, 金澤 孝,
吉田 廣 :
IAT Fit IIインプラントの使用経験
茨城県歯科医学会誌 10 : 46-47, 2002
- No. 9 米本芽衣, 鬼澤浩司郎, 遊佐 浩, 柳川 徹, 宮嶋洋二郎, 山縣憲司, 武内保敏,
若月俊典, 吉田 廣 :
当科で経験した下顎歯肉癌患者の臨床的検討
茨城県歯科医学会誌 10 : 56-57, 2002
- No. 10 大塚友紀, 遊佐 浩, 宮嶋洋二郎, 山縣憲司, 武内保敏, 若月俊典, 柳川 徹,
鬼澤浩司郎, 吉田 廣 :
口腔癌患者の内視鏡検査による上部消化管スクリーニング
茨城県歯科医学会誌 10 : 58-59, 2002

- No. 11 山縣憲司, 鬼澤浩司郎, 生井友農, 柳川 徹, 遊佐 浩, 吉田 廣:
好中球減少症患者の抜歯における granulocyte colony stimulating factor (G-CSF)
の使用

口腔科誌 51:256-260, 2002

- No. 12 中野真祐, 鬼澤浩司郎, 生井友農, 山縣憲司, 白土貴之, 吉田 廣:
ステロイド薬服用患者における抜歯時の管理

口腔科誌 51:335-339, 2002

- No. 13 Eiichi Ishikawa, Koji Tsuboi, Kojiro Onizawa, Akira Hara, Jun Kusakari,
Masayuki Noguchi, Tadao Nose:

Chondroblastoma of the temporal base with high mitotic activity

Neurol Med Chir(Tokyo), 42:516-520, 2002

総 説

- No. 1 鬼澤浩司郎:
口内炎と味覚障害

臨床栄養 100:561-563, 2002

著 書

- No. 1 吉田 廣:
口腔神経症
今日の消化器疾患治療指針 第2版(多賀須幸男, 三田村圭二, 幕内雅俊 編),
医学書院, 東京, pp.276-277, 2002

- No. 2 吉田 廣:
味覚異常
今日の消化器疾患治療指針 第2版(多賀須幸男, 三田村圭二, 幕内雅俊 編),
医学書院, 東京, pp.277-278, 2002

- No. 3 鬼澤浩司郎, 吉田 廣:
顎関節症
難病の指針 第4版(難病の指針編集委員会 編),
茨城県医師会, 水戸, pp.36-37, 2002

学会発表

- No. 1 鬼澤浩司郎, 遊佐 浩, 柳川 徹, 宮嶋洋二郎, 山縣憲司, 下平聖志, 金澤 孝,
吉田 廣:
IAT Fit II インプラントの使用経験
第10回茨城県歯科医学会(水戸), 2月, 2002
- No. 2 米本芽衣, 鬼澤浩司郎, 遊佐 浩, 柳川 徹, 宮嶋洋二郎, 山縣憲司, 武内保敏,
若月俊典, 吉田 廣:
当科で経験した下顎歯肉癌患者の臨床的検討
第10回茨城県歯科医学会(水戸), 2月, 2002

- No. 3 大塚友紀, 遊佐 浩, 宮嶋洋二郎, 山縣憲司, 武内保敏, 若月俊典, 柳川 徹,
鬼澤浩司郎, 吉田 廣:
口腔癌患者の内視鏡検査による上部消化管スクリーニング
第10回茨城県歯科医学会(水戸), 2月, 2002
- No. 4 鬼澤浩司郎, 西原一成, 大塚友紀, 柳川 徹, 遊佐 浩, 吉田 廣:
口腔癌患者の症状発現から確定診断までの時間的経過
第2報: 患者に関する遅延因子
第56回日本口腔科学会総会(大阪), 5月, 2002
- No. 5 鬼澤浩司郎, 西原一成, 大塚友紀, 柳川 徹, 遊佐 浩, 吉田 廣:
口腔癌患者の症状発現から確定診断までの時間的経過
第3報: 医療機関に関連する遅延因子
第56回日本口腔科学会総会(大阪), 5月, 2002
- No. 6 大塚友紀, 鬼澤浩司郎, 遊佐 浩, 柳川 徹, 吉田 廣:
口腔癌治療後に肺転移を認めた症例の臨床的検討
第56回日本口腔科学会総会(大阪), 5月, 2002
- No. 7 柳川 徹, 青野淳子, 鬼澤浩司郎, 遊佐 浩, 吉田 廣:
A170遺伝子ノックアウトマウスの開発
第56回日本口腔科学会総会(大阪), 5月, 2002
- No. 8 武内保敏, 遊佐 浩, 山縣憲司, 西原一成, 若月俊典, 柳川 徹, 鬼澤浩司郎,
吉田 廣:
下顎に転移した膀胱癌の一例
第173回日本口腔外科学会関東地方会(前橋), 6月, 2002
- No. 9 遊佐 浩, 武田さき子, 竹田弘美, 福島幸子, 大塚盛男, 吉田 廣:
大学生の智歯抜歯時の不安
第40回全国大学保健管理研究集会(東京), 10月, 2002
- No. 10 Tetsuro Ishii, Toru Yanagawa, Ken Ito:
Enhanced expression of multiubiquitin-binding protein A170 by stress in murine
macrophages
2002 Ubiquitin meeting(Colorado), 8月, 2002
- No. 11 青野淳子, 柳川 徹, 吉田 廣, 伊東 健, 石井哲郎:
ヒ素化合物の細胞毒性とストレスタンパク質 A170の修飾
第75回日本生化学会大会(京都), 10月, 2002
- No. 12 遊佐 浩, 鬼澤浩司郎, 柳川 徹, 山縣憲司, 吉田 廣:
顎口腔領域扁平上皮癌の頸部リンパ節後発転移に対する超音波診断
第47回日本口腔外科学会総会(札幌), 10月, 2002
- No. 13 柳川 徹, 青野淳子, 鬼澤浩司郎, 遊佐 浩, 吉田 廣, 原田浩之, 小村 健:
舌扁平上皮癌におけるヘムオキシゲナーゼ1型の発現とリンパ節転移の関連性
第47回日本口腔外科学会総会(札幌), 10月, 2002
- No. 14 山縣憲司, 鬼澤浩司郎, 遊佐 浩, 西原一成, 若月俊典, 柳川 徹, 吉田 廣:
免疫抑制患者における歯科的管理についての検討
第47回日本口腔外科学会総会(札幌), 10月, 2002

No. 15 若月俊典, 遊佐 浩, 中野真祐, 柳川 徹, 鬼澤浩司郎, 吉田 廣:

舌扁平上皮癌と入院時内視鏡検査で発見されなかった食道癌肉腫の重複癌の1例

第174回日本口腔外科学会関東地方会(東京), 11月, 2002

2002年（臨床病理グループ）

原 著

- No. 1 Iida K, Kawakami Y, Suzuki H, Sone H, Shimano H, Toyoshima H, Okuda Y, Yamada N :
PPAR gamma ligands, troglitazone and pioglitazone, up-regulate expression of HMG-CoA synthase and HMG-CoA reductase gene in THP-1 macrophages.
FEBS Lett 2002 ; 520 : 177-181.
- No. 2 Iida K, Kawakami Y, Sone H, Suzuki H, Yatoh S, Isobe K, Takekoshi K, Yamada N :
Vascular endothelial growth factor gene expression in a retinal pigmented cell is up-regulated by glucose deprivation through 3' UTR.
Life Sci 2002 ; 71 : 1607-1614.
- No. 3 Arai T, Kawakami Y, Matsushima T, Okuda Y, Yamashita K :
Intracellular fatty acid downregulates ob gene expression in 3T3-L1 adipocytes.
Biochem Biophys Res Commun 2002 ; 297 : 1291-1296.
- No. 4 小林和人, 鈴木誠司, 三浦光弘, 高橋昭光, 水谷正一, 島野 仁, 曾根博仁, 豊島秀男, 川上 康, 奥田諭吉, 山田信博 :
筋肉内膿瘍, 胆嚢炎を発症した紅皮症合併の糖尿病患者の1例.
糖尿病 2002 ; 45 : 797-802.
- No. 5 Takekoshi K, Ishii K, Shibuya S, Kawakami Y, Isobe K, Nakai T :
Angiotensin II type 2 receptor counter-regulates type 1 receptor in catecholamine synthesis in cultured porcine adrenal medullary chromaffin cells.
Hypertension 2002 ; 39 : 142-8.
- No. 6 Takekoshi K, Ishii K, Shibuya S, Kawakami Y, Isobe K, Nakai T :
Stimulation of catecholamine biosynthesis via the protein kinase C pathway by endothelin-1 in PC12 rat pheochromocytoma cells.
Biochem Pharmacol. 2002 ; 63 : 977-84.
- No. 7 Nanmoku T, Isobe K, Sakurai T, Yamanaka A, Takekoshi K, Kawakami Y, Goto K, Nakai T :
Effects of orexin on cultured porcine adrenal medullary and cortex cells.
Regulatory Peptides 2002 ; 104 : 125-130.

著 書

- No. 1 川上 康 :
疫学・危険因子, 肥満.
山田信博編. 高脂血症ナビゲーター.
東京: メディカルレビュー社, 2002 : 68-69.
- No. 2 川上 康 :
ビタミンの栄養生化学, 無機質の栄養生化学, 成長・生活と栄養.
背山洋右, 山田信博, 松島照彦編. 栄養生化学.
東京: メディカルフレンド社, 2002 : 147-162, 225-238.

No. 3 中井利昭, 竹越一博:

内分泌疾患, 臨床

検査ガイド2003-2004, Medical Practice 編集委員会編, 文光堂

総説

No. 1 川上 康:

代謝内分泌疾患/臨床に有用な遺伝子検査.

臨床病理レビュー. 2002; 123: 171-177.

No. 2 川上 康:

遺伝子検査とインフォームド・コンセント.

検査と技術. 2002; 30: 1152-1155.

No. 3 川上 康:

PPAR δ の生理機能.

The Lipid. 2002; 13: 347-352.

No. 4 南木 融, 川上 康:

遺伝子染色体検査, 臨床検査便覧.

新医療. 2002; 2: 19-22.

No. 5 川上 康, 山田信博:

糖尿病と動脈硬化性疾患: 危険因子としての意義.

動脈硬化予防. 2002; 2: 7-11.

No. 6 川上 康:

Endocrine and metabolic diseases.

臨床病. 2002; 123: 171-177.

学会発表

No. 1 Isobe K, Omura S, Yashiro T, Nanmoku T, Takekoshi K, Kawakami Y, Nakai T:

Expression of the human telomerase reverse transcriptase in pheochromocytoma tissues.

The 18th International Congress of Clinical Chemistry and
Laboratory Medicine(Kyoto) 2002

No. 2 磯部和正, 中井利昭:

内分泌腫瘍における遺伝子発現解析

第42回日本臨床化学会年会 シンポジウム 2002

No. 3 磯部和正, 大村咲恵, 八代 亨, 龍野一郎, 竹越一博, 川上 康, 中井利昭:

褐色細胞腫におけるhTERTmRNAの発現について

第75回日本内分泌学会 2002

No. 4 川上 康, 南木 融, 飯田薫子, 山田信博, 磯部和正, 竹越一博, 中井利昭:

マクロファージに対するインスリン作用の検討.

第49回日本臨床検査医学会総会 2002.

- No. 5 石島道邦, 川上 康, 飯塚儀明, 澤畑辰男, 竹越一博, 磯部和正, 中井利昭:
ルミパルス f による TPOAb, TgAb の測定.
第34回日本臨床検査自動化学会 2002.
- No. 6 磯部和正, 南木 融, 竹越一博, 川上 康, 笠井貴久男, 中井利昭:
褐色細胞腫における PACAP 受容体の発現.
第34回日本臨床検査自動化学会 2002.
- No. 7 大村咲恵, 磯部和正, 八代 亨, 竹越一博, 川上 康, 中井利昭:
褐色細胞腫におけるテロメラーゼ逆転写酵素 (hTERT) mRNA の発現について.
第34回日本臨床検査自動化学会 2002.
- No. 8 南木 融, 川上 康, 飯塚儀明, 澤畑辰男, 竹越一博, 磯部和正, 中井利昭:
DHPLC 法を用いた遺伝子変異の解析—GC リッチ配列へのアプローチ—.
第34回日本臨床検査自動化学会 2002.
- No. 9 川上 康, 竹越一博, 磯部和正, 中井利昭:
Vascular endothelial growth factor (VEGF) 遺伝子3'UTR の転写調節の解析.
第34回日本臨床検査自動化学会 2002.
- No. 10 竹越一博, 渋谷俊介, 磯部和正, 川上 康, 中井利昭:
AT1 (1 型 Ang II 受容体) および AT2 (2 型 Ang II 受容体) の情報伝達型におよぼす効果.
第34回日本臨床検査自動化学会 2002.
- No. 11 岡野芳幸, 飯塚儀明, 澤畑辰男, 磯部和正, 川上 康, 中井利昭, 二宮治彦:
最新ヘマトロジーアナライザ, コールター LH750 の有用性.
第34回日本臨床検査自動化学会 2002.
- No. 12 K Takekoshi, Y Kawakami, T Nakai:
Angiotensin (Ang II) Subtype-2 Receptor (AT2) Counter-regulates Ang II Subtype-1 Receptor (AT1) in Catecholamine Synthesis in Cultured Porcine Adrenal Medullary Chromaffin Cells.
「難病の分子生物学 [III]」
第15回内藤コンファレンス, 10, 1, 2002, 湘南国際村 (返子)
- No. 13 曾根博仁, 島野 仁, 高橋昭光, 鈴木将玄, 小林和人, 飯田薫子, 若山直美, 大垣聡子, 斉藤和美, 矢藤 繁, 鈴木浩明, 豊島秀男, 川上 康, 奥田諭吉, 伊藤佐智子, 小堀樹一郎, 斉藤和典, 山田信博:
2 型糖尿病 (DM) 患者の食後高脂血症 (PPHL) 診断指標—経口脂肪負荷試験 (OFTT) との相関.
第45回日本糖尿病学会 2002.
- No. 14 菊池浩子, 鈴木誠司, 矢藤 繁, 曾根博仁, 豊島秀男, 島野 仁, 川上 康, 山田信博:
経口血糖降下剤の二時無効症例へのインスリン導入判定の検討.
第45回日本糖尿病学会 2002.
- No. 15 竹越一博, 渋谷俊介, 磯部和正, 川上 康, 中井利昭:
AT1 (1 型 Ang II 受容体) および AT2 (2 型 Ang II 受容体) の情報伝達系におよぼす効果
第 6 回日本心血管内分泌代謝学会 11.21-22.2002, 千里 (大阪)

2002年（放射線科グループ）

- No. 1 Itai Y, Saida Y :
Pitfalls in liver imaging.
European Radiology 12(5) : 1162-1174, 2002
- No. 2 Siotani S, Kohno M, Ohashi N, Yamazaki K, Itai Y :
Postmortem intravascular high-density fluid level (Hypostasis): CT findings
J Comput Assist Tomogr 26(6) 892-893, 2002
- No. 3 柳澤 修, 新津 守 :
投球動作における肩関節回旋筋群の動員について
—Functional MRI による評価—
日本臨床スポーツ医学会雑誌 10(3) : 529-533, 2002.
- No. 4 西浦 康正, 落合 直之, 宮内 幸男, 新津 守 :
MR myelography による腕神経叢損傷における神経根損傷診断の有用性
日本手の外科学会雑誌: 第19巻第4号 65-68, 2002
- No. 5 Ohara K, Tanaka YO, Tsunoda H, Nishida M, Sugahara S, Itai Y :
Assessment of cervical cancer radioresponse by serum squamous cell carcinoma antigen and MR imaging.
Obstet Gynecology 100(4), 781-787, 2002
- No. 6 Saida Y, Matsueda K, Itai Y :
Distal migration of duodenal tumors: simple prolapse or intussusception?
Abdom Imaging 27 : 9-14, 2002
- No. 7 南 優子, 石川 成美, 齋田 幸久, 梶谷 元改, 野口 雅之, 山本 達夫,
佐藤 幸夫, 鬼塚 正孝, 榊原 謙 :
肺門部肺癌局在診断における高分解能 CT の有用性の検討
肺癌 42(1) 1-6, 2002
- No. 8 鯨岡 結賀, 丸山 常彦, 齋田 幸久 :
Pseudokidney 様の所見を呈した大腸粘液癌の1例
J Med Ultrasonics 29(1) : 23-26, 2002
- No. 9 菅原 信二, 大原 潔, 板井 悠二, 中原 朗, 轟 健, 中島 光太郎, 平井 信二 :
II-III期食道癌に対する放射線治療
Tsukuba Symposium 17-01 : 49-56, 2002
- No. 10 村田 聡一郎, 轟 健, 谷口 英樹, 川本 徹, 小池 直人, 野末 睦,
清野 研一郎, 高田 泰次, 湯沢 賢治, 足立 信也, 深尾 立, 菅原 信二,
大原 潔 :
放射線化学療法が奏効した肛門癌 (stage III B) の1例.
第15回関越 UFT 研究会講演集. 25-29, 2002
- No. 11 Takeda T, Momose A, Wu J, Yu Q, Zeniya T, Thet-Thet-Lwin, Yoneyama A, Itai Y :
Vessel imaging by interferometric phase-contrast x-ray technique.
Circulation 105 : 1708-1712, 2002

- No. 12 Takeda T, Yoneyama A, Wu J, Zeniya T, Tsuchiya Y, Thet-Thet-Lwin, D. V. Rao, Matsushita S, Yuasa T, Yashiro T, Aiyoshi Y, Hyodo K, Hirano K, Momose A, Akatsuka T, Itai Y :
Biomedical X-ray imaging with fluorescent and interferometric phase contrast method.
Proceedings of The 6th World Multiconference on Systemics, Cybernetics and Informatics 2002 : 17-22, 2002
- No. 13 D. V. Rao, Takeda T, Itai Y, Akatsuka T, Cesareo R, Brunetti A, Gigante GE :
Doppler broadening and its contribution to Compton energy-absorption cross sections: An analysis of the Compton component in terms of mass-energy absorption coefficient.
J. Phys. Chem. Ref. Data 31 : 769-818, 2002
- No. 14 Yoneyama A, Momose A, Koyama I, Seya E, Takeda T, Itai Y, Hirano K, Hyodo K :
Large-area phase-contrast X-ray imaging using a two-crystal X-ray interferometer.
J. Synchrotron Radiation 9 : 277-281, 2002
- No. 15 横田 浩, 田村 正夫, 水木 一弘, 武田 徹, 呉 勁, Thet-Thet-Lwin, 板井 悠二, 佐藤 始広, 堀米 ゆみ :
¹²³I-IMP 脳スペクト撮影時の頭部外迷 γ 線の影響
茨城核医学 10 : 57-60, 2002
- No. 16 Thet-Thet-Lwin, Takeda T, Wu J, Tsuchiya Y, Fumikura Y, Shintomi Y, Iida K, Yamaguchi I, Itai Y :
Preliminary analysis of ^{99m}Tc-TF washout in normal healthy subjects with Two-head gamma Camera (E. CAM; Siemens)
茨城核医学 10 : 61-65, 2002
- No. 17 Takeda T, Zeniya T, Wu J, Thet-Thet-Lwin, Yu Q, Tsuchiya Y, Yashiro T, Yuasa T, D.V. Rao, Hyodo K, Dilmanian FA, Itai Y, Akatsuka T :
Biomedical imaging by fluorescent x-ray micro-computed tomography.
Proceedings of Joint Symposium on Bio-Sensing and Bio-imaging 2001 : 112-117, 2002
- No. 18 Yuasa T, Noto D, Takeda T, Zeniya T, Wu J, Thet-Thet-Lwin, Hiranaka Y, Itai Y, Akatsuka T :
Multispectral autoradiography using coded aperture with M-array.
Proceedings of Joint Symposium on Bio-Sensing and Bio-imaging 2001 : 300-303, 2002
- No. 19 銭谷 勉, 武田 徹, 田淵 邦之, 土屋 佳則, 呉 勁, Thet-Thet-Lwin, 湯浅 哲也, 兵藤 一行, 赤塚 孝雄, 板井 悠二 :
脳機能画像放射光励起蛍光 X 線トモグラフィの基礎的検討
信学技報 MI2002-75 : 35-40, 2002

- No. 20 Takeda T, Wu J, Zeniya T, Tsuchiya Y, Thet-Thet-Lwin, D. V. Rao, Yoneyama A, Momose A, Hyodo K, Aiyoshi Y, Itai Y :
Preliminary experiment of phase-contrast X-ray mammography with X-ray interferometer.
第21回日本医用画像工学会大会抄録集 20 : 420-421, 2002
- No. 21 銭谷 勉, 武田 徹, 田淵 邦之, 土屋 佳則, 呉 勁, Thet-Thet-Lwin, D V Rao, 湯浅 哲也, 兵藤 一行, 赤塚 孝雄, 板井 悠二 :
放射光蛍光 X 線 CT による脳機能画像収集の試み画質改善のための X 線フィルタを用いた散乱 X 線の低減
第21回日本医用画像工学会大会抄録集 20 : 422-424, 2002
- No. 22 Tsuchiya Y, Takeda T, Wu J, Thet-Thet-Lwin, Zeniya T, Yoneyama A, Matsubayashi M, Itai Y :
Imaging of biomedical objects by neutron radiography.
第21回日本医用画像工学会大会抄録集 20 : 506-507, 2002
- No. 23 Tanaka YO, Ide Y, Nishida M, Nishide K, Tsunoda H, Kajitani M, Itai Y :
Ovarian tumor with functioning stroma
Computerized Medical Imaging and Graphics 26 : 193-197, 2002
- No. 24 Tanaka YO, Hori T, Nagata M, Itai Y :
Adenomyomatosis with marked subserosal fibrosis and lipomatosis of the gall-bladder: mural stratification demonstrated with MR.
Magnetic Resonance in Medical Sciences 1(2) : 125-128, 2002
- No. 25 Tanaka YO, Jikuya T, Iijima T, Sakakibara Y, Itai Y :
Intravenous leiomyomatosis diagnosed by plain radiographs.
Clinical Radiology : 1037-1040, 2002
- No. 26 Tanaka YO, Shigemitsu S, Nagata M, Shindo M, Okamoto Y, Yoshikawa H, Itai Y :
A decidualized endometrial cyst in a pregnant woman: a case observed with a steady-state free precession imaging sequence.
Magn Reson Imag 20 : 301-304, 2002
- No. 27 Yoshioka H, Haishi T, Uematsu T, Matsuda Y, Anno I, Echigo J, Lang P, Itai Y, Kose K :
MR microscopy of articular cartilage at 1.5 T: orientation and site dependence of laminar structures
Skeletal Radiol 31 : 505-510, 2002
- No. 28 Yoshioka H, Takahashi N, Yamaguchi M, Douqiang Lou, Saida Y, Itai Y :
Double Arterial Phase Dynamic MRI With Sensitivity Encoding (SENSE) for Hypervascular Hepatocellular Carcinomas.
Journal of Magnetic Resonance Imaging 16 : 259-266, 2002

総 説

- No. 1 板井 悠二, 武田 徹, 土屋 佳則, 銭谷 勉, 赤塚 孝雄:
放射光を用いた微量元素検出型 X 線 CT 装置の開発
INNERVISION 17:28, 2002
- No. 2 新津 守:
特集 骨軟部 MRI のトピック 膝関節のキネマティック MRI
映像情報 34(10):970-974, 2002
- No. 3 齋田 幸久:
特集 嚥下障害
X 線透視検査
ENTONI 9:7-12, 2002
- No. 4 齋田 幸久:
マスターしたい造影テクニック 小腸造影
臨床画像 18(4):64-69, 2002
- No. 5 齋田 幸久:
特集 消化管の画像診断実際に役立つ消化管診断
序説 消化管の画像診断を支える“手の感触”
画像診断 22(8):825, 2002.
- No. 6 齋田 幸久:
特集 消化管の画像診断実際に役立つ消化管診断
特殊な腸重積症の画像診断
画像診断 22(8):873-877, 2002.
- No. 7 米山 明男, 武田 徹, 土屋 佳則, 兵藤 一行, 百生 敦, 板井 悠二:
結晶分離型 X 線干渉計を用いた位相コントラスト X 線イメージング
日本放射光学会誌 15:35-39, 2002
- No. 8 武田 徹, 板井 悠二:
放射光・単色 X 線イメージング
Medical Imaging Technology 20:184-193, 2002
- No. 9 武田 徹, 米山 明男, 百生 敦, 呉 勁, 銭谷 勉, Thet-Thet-Lwin,
土屋 佳則, D. V. Rao, 兵藤 一行, 平野 馨一, 板井 悠二:
干渉計を用いた位相型 X 線イメージングの医学応用
医学物理 22:30-37, 2002
- No. 10 呉 勁, 宇野 公一, 武田 徹, 中川 敬一, 留森 貴志, 小野田 行男:
臓器移植における PET 検査の役割
Organ Biology 9:275(59)-283(67), 2002
- No. 11 百生 敦, 武田 徹, 板井 悠二:
高感度 X 線位相コントラスト法による血管イメージング
応用物理 71:1148-1151, 2002

- No. 12 田中 優美子：
特集 悪性腫瘍に類似した所見を呈する良性疾患
女性生殖器
臨床画像 18(2)：171-181, 2002
- No. 13 沖 明典, 田中 優美子, 吉川 裕之：
今月の臨床 子宮筋腫—最近の話題
子宮筋腫の鑑別診断—子宮腺筋症・子宮肉腫など
臨床婦人科産科 56(3)：234-238, 2002
- No. 14 田中 優美子：
今月の臨床 ここまでわかる婦人科のMRI MRI診断の実際1
子宮腫大・腫瘤の鑑別診断
臨床婦人科産科 56(5)：622-629, 2002
- No. 15 岡本 嘉一, 田中 優美子：
画像診断ライブラリー 卵巣腫瘍の画像診断
日本医事新報 4089：53-56, 2002
- No. 16 田中 優美子：
女性生殖器のMRI 日常診療に役立つ基礎知識
日本医学放射線学会雑誌 62(9)：471-478, 2002
- No. 17 東野 英利子：
デジタルマンモグラフィの現状と将来
映像情報 34(3)：280-285, 2002
- No. 18 東野 英利子：
特集：医療被ばく—今日的観点と展望 マンモグラフィ
医学物理 22(2)：74-80, 2002
- No. 19 東野 英利子：
乳房過誤腫の1例
日独医報 47(3)：161-162, 2002
- No. 20 東野 英利子：
超音波所見が診断に役立った非浸潤性乳癌
日独医報 47(3)：163-164, 2002
- No. 21 東野 英利子
短報：各都道府県におけるマンモグラフィ検診の取組み
—茨城県におけるマンモグラフィ検診の経緯と実情—
日乳癌検診学会誌 11(2) JUN：215-216, 2002.

著 書

- No. 1. 大原 潔：
肝(放射線治療各論)
癌—放射線療法2002 (大川智彦, 田中良昭, 佐々木武仁編)
篠原出版新社, 東京：715-726, 2002

No. 2 新津 守:

膝関節のMRI診断 放射線科の立場より

整形外科MRI診断(越智隆弘/菊池臣一編)

金原出版, 東京, PP.202-210, 2002

No. 3 新津 守:

膝MRI

医学書院, 東京, 2002

学会発表

No. 1 陳 央仁, 松原 直子, 長田 佳世, 田中 優美子:

卵管・卵巣腫瘍の6症例の検討.

第133回日本産科婦人科学会茨城地方部会(水戸) 1月, 2002

No. 2 銭谷 勉, 武田 徹, 田淵 邦之, 土屋 佳則, 呉 勁, Thet-Thet-Lwin,

D. V. Rao, 湯浅 哲也, 兵藤 一行, 板井 悠二, 赤塚 孝雄:

放射光蛍光X線CTによる脳機能画像収集のための予備的検討

第15回日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウム(柏) 1月, 2002

No. 3 兵藤 一行, 安藤 正海, 大塚 定徳, 山口 巖, 武田 徹, 板井 悠二:

2次元医学診断システムにおける被写体の立体的情報を得るための試み

第15回日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウム(柏) 1月, 2002

No. 4 米山 明男, 土屋 佳則, 武田 徹, 板井 悠二, 百生 敦, 兵藤 一行:

位相コントラストX線イメージング装置の開発(2)

第15回日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウム(柏) 1月, 2002

No. 5 武田 徹, 米山 明男, 呉 勁, 土屋 佳則, Thet-Thet-Lwin, 銭谷 勉,

百生 敦, 板井 悠二, 兵藤 一行:

生理食塩水による生きたラットの位相型X線血管造影

第15回日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウム(柏) 1月, 2002

No. 6 稲村 聖子, 堀米 仁志, 武田 徹, 高橋 実穂, 塩野 淳子, 松井 陽:

心内修復術未施行のチアノーゼ性先

天性心疾患における心筋シンチグラフィ

第4回成人先天性心疾患研究会(東京) 1月, 2002

No. 7 武田 徹, 呉 勁, The-The-Lwin, 土屋 佳則, D V Rao, 板井 悠二, 于 全文,

銭谷 勉, 田淵 邦之, 長谷川 康弘, 湯浅 哲也, 赤塚 孝雄, 兵藤 一行:

蛍光X線イメージング

第1回九州放射光医学利用シンポジウム(福岡) 1月, 2002

No. 8 齋田 幸久, 板井 悠二, 江口 信子:

Arteriportal communication

第8回肝血流動態イメージ研究会(東京) 2月, 2002

No. 9 齋田 幸久:

消化管の画像診断: 特に造影診断について

第21回日本画像医学会(東京) 2月, 2002

- No. 10 Yoshioka H, Takahashi Y, Yamaguchi M, Saida Y, Itai Y :
Double arterial phase dynamic MRI imaging with sensitivity encoding (SEASE) technique for hypervascular hepatocellular carcinoma.
ECR 2002 (Vienna) February, 2002
- No. 11 Saida Y, Itai Y, Eguchi N, Mori H :
Complementary blood circulation of the hepatic arteries and portal veins: Experimental and clinical investigations.
ECR 2002 (Vienna) February, 2002
- No. 12 Shiotani S, Kono M, Ohashi N, Yamazaki K, Wada M, Itai Y :
Nontraumatic postmortem computed tomographic (PMCT) findings of the lung.
ECR 2002 (Vienna) February, 2002
- No. 13 Yoshioka H, Lan P, Ikeda K, Niitsu M, Itai Y :
Initial study of 3D water-excitation: magnetization transfer contrast MR imaging articulate cartilage.
ECR 2002 (Vienna) February, 2002
- No. 14 The-The-Lwin, Takeda T, Wu J, Tsuchiya Y, Fumikura Y, Iida K, Yamaguchi I, Itai Y :
99mTC-TF washout analysis in normal volunteers.
第27回茨城県臨床核医学研究会(水戸) 3月, 2002
- No. 15 橋本 孝之, 武田 徹, 菅原 信二, 塩山 善之, 呉 勁, The-The-Lwin, 大原 潔, 秋根 康之, 板井 悠二, 鬼澤 浩司郎, 吉田 廣 :
TL-201シンチグラムを用いた頭頸部領域の放射線治療効果判定
第27回茨城県臨床核医学研究会(水戸) 3月, 2002
- No. 16 高橋 実穂, 堀米 仁志, 塩野 淳子, 松井 陽, 武田 徹, 板井 悠二 :
冠動脈低形成と CD36欠損を伴った肥大型心筋症の小児例
第27回茨城県臨床核医学研究会(水戸) 3月, 2002
- No. 17 武田 徹 :
放射光・単色 X 線イメージング
電子情報通信学会総合大会(東京) 3月, 2002
- No. 18 Ohtsuka S, Yamaguchi I, Wu J, Takeda T, Itai Y, Maruhashi A, Hyodo K, Ando M :
Clinical evaluation of dynamic intravenous coronary angiography using synchrotron radiation.
日本循環器学会(札幌) 4月, 2002
- No. 19 Shintomi Y, Watanabe S, Morimoto T, Takeyasu N, Saitoh T, Toyama M, Sakamoto N, Eda K, Ishiyama M, Nishina H, Arai E, Ishii C, Yamaguchi I, Ajisaka R, Takeda T :
Diastolic dysfunction persists longer than systolic abnormality after a transient myocardial ischemia.
日本循環器学会(札幌) 4月, 2002

- No. 20 遠藤 登喜子, 角田 博子, 東野 英利子:
パネルディスカッション 乳腺
第61回日本医学放射線学会(神戸), 4月, 2002
- No. 21 東野 英利子, 板井 悠二, 喜多 泰代:
乳房X線画像からの三次元的部位推定ソフトの臨床的有用性: 乳癌における各種診断法との比較
第61回日本医学放射線学会(神戸), 4月, 2002
- No. 22 高橋 信幸, 吉岡 大, 山口 雅之, 齋田 幸久, 板井 悠二, 女屋 博昭:
SENSEを用いた肝 triple arterial phase dynamic MRI: 多血性肝細胞癌の評価
第61回日本医学放射線学会(神戸), 4月, 2002
- No. 23 山口 雅之, 吉岡 大, 新津 守, 田中 優美子, 阿武 泉, 齋田 幸久, 板井 悠二:
SENSE法造影MRAとbalanced turbo field echo法venography: 腎癌術前検索における有用性
第61回日本医学放射線学会(神戸), 4月, 2002
- No. 24 Tanaka YO, Nishida M, Okamoto Y, Tsunoda H, Yoshikawa H, Itai Y:
Differentiation malignant from benign smooth muscle tumors of the uterus on MR
第61回日本医学放射線学会(神戸), 4月, 2002
- No. 25 Okamoto Y, Tanaka YO, Nishida M, Tsunoda H, Yoshikawa H, Itai Y:
Multicystic uterine cervical lesions: Can MRI differentiate benign from malignant?
第61回日本医学放射線学会(神戸), 4月, 2002
- No. 26 新津 守, 吉岡 大, 西浦 康正, 落合 直之, 板井 悠二:
MR myelographyによる腕神経叢損傷の診断能
—脂肪抑制3D-TSE法による神経根系と根叢像の描出—
第61回日本医学放射線学会(神戸), 4月, 2002
- No. 27 Saida Y, :
Duodenal Tumors with Distal Migration: Simple Prolapse or Intussusception?
The 11th Workshop of German-Japanese Radiological Affiliation
(松山) 4月, 2002
- No. 28 岡本 嘉一, 田中 優美子, 板井 悠二, 西田 正人, 角田 肇, 吉川 裕之.:
子宮平滑筋肉腫との鑑別が困難であった卵巣原発明細胞癌の2例.
第16回腹部放射線研究会(大阪) 6月, 2002
- No. 29 植野 映子, 田中 優美子, 角田 肇, 西田 正人, 吉川 裕之, 板井 悠二:
子宮平滑筋肉腫との鑑別に苦慮した lipoleiomyoma の1例.
第16回腹部放射線研究会(大阪) 6月, 2002
- No. 30 小林 宗則, 田中 優美子, 齋田 幸久, 大塚 定徳, 板井 悠二:
特異なCT所見を契機に臨床的に pulmonary capillary hemangiomatosis と診断された一例.
第27回胸部放射線研究会東京部会(東京) 6月, 2002

- No. 31 杉本 雅樹, 市川 喜仁, 椎名 博子, 沖 明典, 角田 肇, 田中 優美子,
吉川 裕之:
進行卵巣癌における術前 CT, MRI 検査の進行期診断への有用性.
第103回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会(東京) 6月, 2002
- No. 32 陳 央仁, 長田 佳世, 西田 正人, 田中 優美子:
卵巣原発癌肉腫の一例.
第2回つくば婦人科癌治療研究会(つくば) 6月, 2002
- No. 33 椎貝 真成, 田中 優美子, 黒崎 喜久, 齋田 幸久, 野口 雅之, 板井 悠二:
22年前に経験した mesenchymal hamartoma of the chest wall の症例
第421回日本医学放射線学会関東地方会(新宿) 6月, 2002
- No. 34 Wu J, Takeda T, The-The-Lwin, Watanabe Y, Fumikura Y, Iida K, Itai Y,
Akatsuka T:
The integrated imaging off cardiac MR and SPECT in hypertrophic cardiomyopathy.
The First China-Japan-Korea Conference on Nuclear Medicine
(Dailian, China) June, 2002
- No. 35 Thet-Thet-Lwin, Takeda T, Wu J, Fumikura Y, Iida K, Yamguchi I, Itai Y:
Washout of ^{99m}Tc -tetrofosmin from myocardium in healthy subjects.
The First China-Japan-Korea Conference on Nuclear Medicine
(Dailian, China) June, 2002
- No. 36 齋田 幸久, 山口 雅之, 岡本 嘉一, 佐藤 次郎, 植野 映子, 板井 悠二:
腎動脈塞栓における Lipiodol/ethanol 混合液の最適比率についての検討
第8回血管内治療学会(奈良) 7月, 2002
- No. 37 植野 映子, 佐藤 次郎, 岡本 嘉一, 山口 雅之, 齋田 幸久, 轟 健,
板井 悠二:
胆道癌術後出血における血管造影と治療の意義
第8回血管内治療学会(奈良) 7月, 2002
- No. 38 Ynagisawa O, Niitsu M, Yoshioka H, Goto K, Itai Y:
Effects of cryotherapy on skeletal muscle after strenuous exercise
Congress of the European College of Sport Science July, 2002
- No. 39 Thet-Thet-Lwin, Takeda T, Wu J, Fumikura Y, Iida K, Yamguchi I, Itai Y:
 ^{99m}Tc -TF washout in normal healthy subjects with two-heads gamma camera
(E. CAM;Siemens).
第57回日本核医学会関東甲信越地方会(東京) 7月, 2002
- No. 40 Takeda T, Yoneyama A, Wu J, Zeniya T, Tsuchiya Y, Thet-Thet-Lwin, D. V. Rao,
Matsushita S, Yuasa T, Yashiro T, Aiyoshi Y, Hyodo K, Hirano K, Momose A,
Akatsuka T, Itai Y:
Biomedical X-ray imaging with fluorescent and interferometric phase contrast
method.
The 6th World Multiconference on Systemics, Cybernetics and
Informatics(Orlando, USA) July, 2002

- No. 41 武田 徹, 吳 勁, Thet-Thet-Lwi, 銭谷 勉, 土屋 佳則, D V Rao, 米山 明男,
百生 敦, 板井 悠二:

干渉計を用いた位相型 X 線マモグラフィーの試み

第21回日本医用画像工学会大会(東京) 7月, 2002

- No. 42 銭谷 勉, 武田 徹, 田淵 邦之, 土屋 佳則, 吳 勁, Thet-Thet-Lwin,
D V Rao, 湯浅 哲也, 兵藤 一行, 赤塚 孝雄, 板井 悠二:

放射光蛍光 X 線 CT による脳機能画像収集の試み画質改善のための X 線フィルタを用いた散乱 X 線の低減

第21回日本医用画像工学会大会(東京) 7月, 2002

- No. 43 Tsuchiya Y, Takeda T, Wu J, Thet-Thet-Lwin, Zeniya T, Yoneyama A,
Matsubayashi M, Itai Y:

Imaging of biomedical objects by neutron radiography.

第21回日本医用画像工学会大会(東京) 7月, 2002

- No. 44 松田 善正, 宇津澤 慎, 栗本 岳明, 拝師 智之, 山崎 由香子, 巨瀬 勝美,
阿武 泉, 丸谷 光廣:

超並列型 MR マイクロスコプの開発

第30回日本磁気共鳴医学会(東京) 9月, 2002

- No. 45 巨瀬 勝美, 松田 善正, 栗本 岳明, 橋本 征太郎, 山崎 由香子, 拝師 智之,
宇津澤 慎, 吉岡 大, 中西 昭男, 岡田 重益, 遠藤 政治, 青木 雅昭, 津崎 剛:
骨密度計測用コンパクト MRI の開発

第30回日本磁気共鳴医学会(東京) 9月, 2002

- No. 46 栗本 岳明, 白猪 亨, 松永 吉晴, 松田 善正, 拝師 智之, 宇津澤 慎,
巨瀬 勝美, 吉岡 大:

スポーツ障害診断用コンパクト MRI 装置の開発

第30回日本磁気共鳴医学会(東京) 9月, 2002

- No. 47 阿武 泉, 松村 明, 磯部 智範, 新津 守, 板井 悠二, 能勢 忠男, 吉沢 卓:
拡散強調画像で低信号輝度を呈した脳腫瘍の信号輝度と hemosiderin 量の考察

第30回日本磁気共鳴医学会(東京) 9月, 2002

- No. 48 新津 守, 高橋 信幸, 山口 雅之, 吉岡 大, 田中 優美子, 阿武 泉, 板井 悠二,
池田 耕太郎, 坂元 哲郎, 小原 真, 楠本 崇雄:

Parallel Imaging (SENSE) を用いた膝関節ルーチン MRI 検査

第30回日本磁気共鳴医学会(東京) 9月, 2002

- No. 49 新津 守, 高橋 信幸, 山口 雅之, 吉岡 大, 田中 優美子, 阿武 泉, 板井 悠二,
池田 耕太郎, 坂元 哲郎, 小原 真, 楠本 崇雄, 大山 高一, 新藤 雅司:

Microscopy coil を用いた膝関節の高分解能 MR 画像: 膝内側面の超微細病変の描出

第30回日本磁気共鳴医学会(東京) 9月, 2002

- No. 50 吉岡 大, 鯨岡 結賀, 植野 映子, 田中 利和, 三島 初, 新藤 雅司, 板井 悠二:
マイクロスコピーコイルを用いた手指・手関節病変の高分解能 MRI

第30回日本磁気共鳴医学会(東京) 9月, 2002

- No. 51 高橋 信幸, 新津 守, 阿武 泉, 吉岡 大, 板井 悠二, 安田 貢, 坂元 哲郎:
Water excitation 併用3D-FISP myelography の有用性: SPIR 法との比較
第30回日本磁気共鳴医学会(東京) 9月, 2002
- No. 52 磯部 智範, 松村 明, 阿武 泉, 坂元 規彰, 吉澤 卓, 板井 悠二, 能勢 忠男
Proton MRS で特徴的な所見が見られた hemangioblastoma の1例
第30回日本磁気共鳴医学会(東京) 9月, 2002
- No. 53 山口 雅之, 新津 守, 佐藤 次郎, 新藤 雅司, 大山 高一, 阿武 泉,
田中 優美子, 吉岡 大, 東野 英利子, 齋田 幸久, 板井 悠二:
前立腺癌; Sensitivity encoding (SENSE) 法を用いた dynamic enhanced MRI の初期
経験
第30回日本磁気共鳴医学会(東京) 9月, 2002
- No. 54 山口 雅之, 新津 守, 内田 克紀, 鳥居 徹, 阿武 泉, 田中 優美子, 吉岡 大,
東野 英利子, 齋田 幸久, 板井 悠二:
Dynamic enhanced MRI における前立腺内線の早期濃染結節: 内線癌と過形成結節の
鑑別
第30回日本磁気共鳴医学会(東京) 9月, 2002
- No. 55 柳沢 修, 新津 守, 高橋 英幸, 後藤 一成:
MR Spectroscopy 及び MR Imaging によるアイシングの評価
第57回日本体力医学会大会(高知) 9月, 2002
- No. 56 杉本 雅樹, 市川 喜仁, 椎名 博子, 沖 明典, 角田 肇, 田中 優美子,
吉川 裕之:
進行卵巣癌における術前 CT, MRI 検査の進行期診断への有用性.
JSAWI 第3回シンポジウム(淡路) 9月, 2002
- No. 57 Ohara K, Tanaka YO, Tsunoda H, Sugahara S, Hashimoto T, Kagei K, Tokuyue K,
Yoshikawa H, Akine Y, Itai Y:
Clinical results of radiotherapy for locally advanced cervical carcinomas in
relation to the nodal status strictly assessed for negative status by computed
tomography.
21st annual meeting of the European Society for Therapeutic Radiology
and Oncology. (Praha). September, 2002
- No. 58 菅原 信二, 徳植 公一, 奥村 敏之, 影井 兼司, 轟 健, 田中 直見, 大原 潔,
橋本 孝之, 幡多 政治, 板井 悠二, 秋根 康之:
食道癌の陽子線治療.
第40回日本癌治療学会総会. (東京). 10月, 2002
- No. 59 齋田 幸久:
画像で変わる消化器疾患の治療方針 胃
第38回日本医学放射線学会秋季臨床大会(秋田) 10月, 2002
- No. 60 井樋 栄二, 皆川 洋至, 佐志 隆士, 新津 守:
肩と膝の臨床解剖: 整形外科 VS 放射線科医
第38回日本医学放射線学会秋季臨床大会(秋田) 10月, 2002

- No. 61 武田 徹, 板井 悠二:
X線干渉計を用いた生体イメージングの試み
PF研究会「X線位相利用計測における最近の展開」(つくば) 10月, 2002
- No. 62 武田 徹, 呉 勁, Thet-Thet-Lwin, 板井 悠二:
高エネルギー分解能な検出器を用いた放射光・蛍光 X線 CT の開発
第42回日本核医学会総会(神戸) 11月, 2002
- No. 63 新井 恵美, 渡辺 重行, 仁科 秀崇, 森本 隆史, 新冨 義侯, 武安 法之,
鯉坂 隆一, 武田 徹, 板井 悠二, 山口 巖:
心疾患例における骨格筋交感神経機能と運動耐容能・血管拡張能との関連
第42回日本核医学会総会(神戸) 11月, 2002
- No. 64 Thet-Thet-Lwin, Takeda T, Wu J, Tsuchiya Y, Itai Y:
Early and delayed TF autoradiogram in HCM: Comparison with BMIPP.
第42回日本核医学会総会(神戸) 11月, 2002
- No. 65 銭谷 勉, 田淵 邦之, 湯浅 哲也, 赤塚 孝雄, 武田 徹, 土屋 佳則, 呉 勁,
Thet Thet Lwin, 板井 悠二, 兵藤 一行:
脳機能画像放射光励起蛍光 X線トモグラフィの基礎的検討
医用画像研究会(東京) 11月, 2002
- No. 66 柳沢 修, 工藤 裕仁, 高橋 信幸, 吉岡 大:
Flow Alternating Inversion Recovery 法による運動後アイシング下のヒト骨格筋評価
第13回日本臨床スポーツ医学会学術集会(名古屋) 11月, 2002
- No. 67 工藤 裕仁, 吉岡 大, 柳沢 修, 高橋 信幸, 宮永 豊:
FAIR (flow-sensitive-alternating inversion recovery)法の骨格筋への応用
—T2強調画像との比較—
第13回日本臨床スポーツ医学会学術集会(名古屋) 11月, 2002
- No. 68 鎌田 浩史, 田中 利和, 落合 直之, 三島 初, 金森 章浩, 清水 顕, 吉岡 大:
テニスのストローク中に発生した外傷性 TFCC 断裂の 1 例
第13回日本臨床スポーツ医学会学術集会(名古屋) 11月, 2002
- No. 69 Tohno E:
The use of ultrasound for the preoperative evaluation of breast cancer
The Thirty-third International Symposium of The Princess Takamatsu
Cancer Research Fund(Tokyo), November, 2002
- No. 70 大原 潔, 菅原 信二, 橋本 孝之, 影井 兼司, 幡多 政治, 徳植 公一,
秋根 康之:
頸癌放射線治療後の初再発形式と判定基準を下げて画像評価したリンパ節転移との解析.
日本放射線腫瘍学会第15回学術大会.(東京). 11月, 2002
- No. 71 影井 兼司, 徳植 公一, 菅原 信二, 幡多 政治, 塩山 善之, 橋本 孝之,
大原 潔, 秋根 康之:
筑波大学新施設における陽子線治療の初期臨床報告.
日本放射線腫瘍学会第15回学術大会.(東京). 11月, 2002

- No. 72 橋本 孝之, 徳植 公一, 奥村 敏之, 塩山 善之, 菅原 信二, 影井 兼司,
幡多 政治, 大原 潔, 秋根 康之:

肝細胞癌に対する複数回陽子線治療施行例の治療成績.

日本放射線腫瘍学会第15回学術大会. (東京). 11月, 2002

- No. 73 Ueno T, Tanaka YO, Nagata M, Anno I, Tsunoda H, Itai Y, et al.:

Analogy of the germ cell tumors: from head to toe.

88th Scientific Assembly and Annual Meeting of the Radiological

Society of North America(Chicago,) 12月, 2002

- No. 74 Minami M, Itai Y, Tanaka YO, Akahane M, Kiryu S, Ohtomo K:

Zonal differentiation of the liver: peripheral vs central zones.

88th Scientific Assembly and Annual Meeting of the Radiological

Society of North America(Chicago,) 12月, 2002

その他

- No. 1 阿武 泉:

抄訳一側頸動脈閉塞患者における脳内血流の定量計測: PET 並びに MR による検討

MRI in Medicine 3(2):12-13, 2002

- No. 2 板井 悠二:

MR と安全性

MRI in Medicine 3(2):3, 2002

- No. 3 新津 守:

膝関節の MRI

第16回 Radiology Ultrasound 研究会(東京) 5月, 2002

- No. 4 新津 守:

膝関節の MRI

福岡県放射線科医会生涯教育講演会(福岡) 3月, 2002

- No. 5 新津 守:

最新の MRI 画像診断

MRI 学術講演会(日本医師会生涯教育講座)(茨城県) 5月, 2002

- No. 6 新津 守:

膝関節の MRI

第16回 Radiology Ultrasound 研究会(東京) 5月, 2002

- No. 7 新津 守:

膝の MRI

第53回静岡県 MRI 研究会(静岡) 6月, 2002

- No. 8 新津 守:

抄訳0.2T 四肢専用 MR による腱板および関節唇の評価: MR 結果と手術所見の比較

MRI in Medicine 3(2):8-9, 2002

- No. 9 新津 守:

膝の MRI—撮像と読影のコツ

第30回日本磁気共鳴医学会(東京) 9月, 2002

- No. 10 新津 守：
Topics:MR Microscopy
Parallel Imaging Symposium(東京) 11月, 2002
- No. 11 齋田 幸久：
消化管造影テクニック
第8回ラジオロジーカンファレンス(出雲) 10月, 2002
- No. 12 齋田 幸久：
画像検査の進め方と考え方
第7回つくば医療情報懇話会(つくば) 9月, 2002
- No. 13 齋田 幸久：
日独放射線医学交流計画第11回ワークショップレポート
WORLD ON-LINE NEWS 28:23-24, 2002
- No. 14 齋田 幸久：
自己紹介とリスクマネジメント
放射線科専門医会ニュース 126:5-60, 2002
- No. 15 武田 徹：
放射光を用いた新しい医用画像
日立製作所基礎研究所講演会(埼玉) 7月, 2002
- No. 16 田中 優美子：
抄訳 MRI とアートメイク(刺青):合併症と有害事象の調査
MRI in Medicine 3(2):10-11, 2002
- No. 17 田中 優美子：
きらびやかな食卓女性骨盤内腫瘍の鑑別診断
第30回日本磁気共鳴医学会(東京) 9月, 2002
- No. 18 田中 優美子：
婦人科領域の画像診断—超音波検査に必要な知識を中心に—
(株)茨城県臨床衛生検査技師会生理検査研究班研修会。(つくば) 1月, 2002.
- No. 19 田中 優美子：
第248回東京レントゲンカンファレンス解説. 症例7. 女児(幼児). 2002.
URL: <http://www.jcr.or.jp/trc/248/248trc.html>
- No. 20 田中 優美子：
第248回東京レントゲンカンファレンス解説. 症例8. 10代女性. 2002.
URL: <http://www.jcr.or.jp/trc/248/248trc.html>
- No. 21 田中 優美子：
教育講演. 女性生殖器のMRI —日常診療に役立つ基礎知識—.
第61回日本医学放射線学会総会(神戸) 4月, 2002
- No. 22 田中 優美子：
癌性腹膜炎の画像診断
Meyers classical findings in new technology.
JSAWI 第3回シンポジウム. ワークショップIII
卵巣癌(診断と拡がり)(淡路) 9月, 2002

- No. 23 田中 優美子：
子宮卵巣悪性腫瘍の画像診断 update —MDCT と parallel imaging を中心に—。公募
シンポジウム 6) がん診療における放射線診断の進歩。
第40回日本癌治療学会総会(東京) 10月, 2002
- No. 24 東野 英利子：
教育講演 乳癌診療における画像診断の役割
第21回日本画像医学会(東京) 2月-3月, 2002
- No. 25 東野 英利子：
超音波誘導下乳房生検—適応とその方法
第17回 Radiology Ultrasound 研究会(東京) 11月, 2002
- No. 26 吉岡 大：
抄訳-7T での埋め込み式 RF コイルを用いたラット脊髄の in vivo MR マイクロス
コピー
MRI in Medicine 3(2) : 22-23, 2002
- No. 27 吉岡 大：
関節軟骨の MRI
第30回日本磁気共鳴医学会(東京) 9月, 2002

2002年 (放射線医学・陽子線センターグループ)

原 著

- No. 1 Ikeda M, Okada S, Tokuyue K, Ueno H, Okusaka T. :
A phase I trial of weekly gemcitabine and concurrent radiotherapy in patients with locally advanced pancreatic cancer.
Br J Cancer 86 : 1551-1554, 2002
- No. 2 Okada S, Tsuda H, Ohmi K, Kasamatsu T, Yamada T, Tsunematsu R, Sumi M, Tokuyue K, Yoshikawa H, Hirohashi S. :
Immature glandular features in squamous cell carcinoma of the uterine cervix as an independent indicator of resistance to radiotherapy.
Int J Gynecol Cancer 12 : 277-285, 2002
- No. 3 Kagei K, Hosokawa M, Shirato H, Kusumi T, Shimizu Y, Watanabe A, Ueda M. :
Efficacy of Intense Screening and Treatment for Synchronous Second Primary Cancers in Patients with Esophageal Cancer.
Jpn J Clin Oncol 32(4) : 120-127, 2002
- No. 4 Hata M, Ogino I, Sakata K, Murata H, Kawano N, Matsubara S. :
Intramedullary spinal cord germinoma: Case report and review of the literature.
Radiology 223(2) : 379-383, 2002
- No. 5 Onimaru R, Shirato H, Aoyama H, Kitakura K, Seki T, Hida K, Fujita K, Kagei K, Nishioka T, Kunieda T, Iwasaki Y, Miyasaka K. :
Calculation of rotational setup error using the real-time tracking radiation therapy (RTRT) system and its application to the treatment of spinal schwannoma.
Int J Radiat Oncol Biol Phys 54(4) : 939-947, 2002
- No. 6 Hata M, Ogino I, Aida N, Saito K, Omura M, Kigasawa H, Toyoda Y, Tachibana K, Matsubara S, Inoue T. :
Prophylactic cranial irradiation of acute lymphoblastic leukemia in childhood: Outcomes of late effects on pituitary function and growth in long-term survivors.
Int J Cancer 96 Suppl : 117-124, 2001
- No. 7 坪井 康二, 徳植 公一, 高野 晋吾, 能勢 忠男, 秋根 康之 :
悪性神経膠腫に対する陽子線治療
Neuro-Oncology 12(1) : 91-94, 2002
- No. 8 Kohno R, Sakae T, Takada Y, Matsumoto K, Matsuda H, Nohtomi A, Terunuma T, Tsunashima Y :
Simplified Monte Carlo Dose Calculation for Therapeutic Proton Beams.
Jpn J Appl Phys 41 : L294-297, 2002
- No. 9 Kohno R, Nohtomi A, Takada Y, Terunuma T, Sakae T, Matsumoto K. :
A compensating method of an imaging plate response to clinical proton beams.
Nucl Instr and Meth in Phys Res A481 : 669-674, 2002

総 説

- No. 1 秋根 康之, 徳植 公一:
がんを知るための基礎知識(15) 陽子線治療
がん看護 7(6):512-514, 2002
- No. 2 納富 昭弘, 榮 武二:
筑波大学陽子線医学利用研究センターの陽子線照射装置
放射線 28(4):287-294, 2002
- No. 3 丸橋 晃, 榮 武二:
医療用加速器の現状
原子核研究 47(4):127-132, 2002
- No. 4 榮 武二:
呼吸同期照射のための陽子線コンフォーマル照射技術
放医研シンポジウムシリーズ, 粒子線治療の基盤展開—その普及化に向けて—,
35-41, 2002

著 書

- No. 1 秋根 康之:
9 粒子線治療 a. 陽子線治療
大川智彦, 田中良明, 佐々木武仁編, 癌・放射線療法 2002
篠原出版新社 348-356, 2002
- No. 2 徳植 公一:
肺癌診療ガイド: 肺癌の新しい検査と治療
肺癌に対する定位的放射線治療, 西條長宏, 江口研二, 加藤治文, 福岡正博編
日本イーラーリリー株式会社 81-86, 2002

学会発表, 講演など

- No. 1 幡多 政治, 大村 素子, 荻野伊知朗, 相田 典子, 井上登美夫:
急性リンパ性白血病の全脳予防照射: 長期生存例における下垂体機能と成長への影響
第61回日本医学放射線学会学術発表会(神戸), 4月, 2002
- No. 2 小池 繁臣, 相田 典子, 藤田 和俊, 幡多 政治, 小澤 幸彦, 井上登美夫:
小児頭部放射線治療後の radiation-induced telangiectasia の検討
第61回日本医学放射線学会学術発表会(神戸), 4月, 2002
- No. 3 徳植 公一, 松井 里奈, 橋本 孝之, 塩山 善之, 影井 兼司, 菅原 信二,
大原 潔, 秋根 康之, 田中 直見:
筑波大学における肝細胞癌に対する陽子線治療成績
第38回日本肝癌研究会(東京), 5月, 2002
- No. 4 Kagei K, Akine Y, Tokuyue K, Sugahra S, Shioyama Y, Hata M, Hashimoto T.:
A preliminary report of a clinical trial at the new proton therapy facility at
Tsukuba,
XXXVI meeting of PTCOG (Particle Therapy Co-Operative Group) 2002,
(Catania), 5月, 2002

- No. 5 影井 兼司：
喉頭癌・下咽頭癌の診断と治療—放射線治療を中心に—
第27回茨城県放射線治療研究会(下館)，6月，2002
- No. 6 Ohara K, Tanaka N, Tsunoda H, Sugahara S, Hashimoto T, Kagei K, Tokuyue K, Yoshikawa H, Akine Y, Itai Y：
Clinical results of radiotherapy for locally advanced cervical carcinomas in relation to the nodal status strictly assessed for negative status by computed tomography.
21st annual meeting of the European Society for Therapeutic Radiology and Oncology, (Praha)，9月，2002
- No. 7 秋根 康之：
放射線治療の改善には何が必要か。「筑波大学における陽子線治療の現況」
日本放射線影響学会第45回大会(仙台)，9月，2002
- No. 8 秋根 康之：
筑波大学における陽子線治療成績
国際粒子線治療シンポジウム 2002(兵庫)，10月，2002
- No. 9 菅原 信二，徳植 公一，奥村 敏之，影井 兼司，轟 健，田中 直見，大原 潔，橋本 孝之，幡多 政治，板井 悠二，秋根 康之：
食道癌の陽子線治療成績
第40回日本癌治療学会総会(東京)，10月，2002
- No. 10 影井 兼司，塩山 善之，徳植 公一，菅原 信二，幡多 政治，橋本 孝之，大原 潔，秋根 康之：
I期非小細胞肺癌に対する陽子線治療成績
第107回日本医学放射線学会北日本地方会(仙台)，10月，2002
- No. 11 橋本 孝之，徳植 公一，奥村 敏之，塩山 善之，菅原 信二，影井 兼司，幡多 政治，大原 潔，秋根 康之：
肝細胞癌に対する複数回陽子線治療施行例の治療成績
日本放射線腫瘍学会第15回学術大会(東京)，11月，2002
- No. 12 大原 潔，菅原 信二，橋本 孝之，影井 兼司，幡多 政治，徳植 公一，秋根 康之：
頸癌放射線治療後の初再発形式と判定基準値を下げて画像評価したリンパ節転移との解析
日本放射線腫瘍学会第15回学術大会，東京，11月，2002
- No. 13 影井 兼司，徳植 公一，菅原 信二，幡多 政治，塩山 善之，橋本 孝之，大原 潔，秋根 康之：
筑波大学新施設における陽子線治療の初期臨床報告
日本放射線腫瘍学会第15回学術大会(東京)，11月，2002
- No. 14 徳植 公一，幡多 政治，橋本 孝之，影井 兼司，菅原 信二，水本 育志，大城 佳子，秋根 康之：
巨大肝細胞癌に対する陽子線治療
日本放射線腫瘍学会第15回学術大会(東京)，11月，2002

- No. 15 齋藤 公彦, 岩澤 多恵, 横山 浩子, 根本栄一郎, 金野 義紀, 幡多 政治,
井上登美夫:
放射線全脳照射開始時による血中メラトニン濃度の変化
日本放射線腫瘍学会第15回学術大会(東京), 11月, 2002
- No. 16 榮 武二:
日本の粒子線治療施設, 筑波大学
放医研シンポジウム(千葉), 11月, 2002
- No. 17 榮 武二:
治療計画に関する技術課題
荷電粒子を用いたがん治療の臨床応用に関する研究,
荻野班班会議(東京), 11月, 2002
- No. 18 秋根 康之, 徳植 公一:
肺癌・肝細胞癌に対する共通プロトコールの提案
荷電粒子を用いたがん治療の臨床応用に関する研究,
荻野班班会議(東京), 11月, 2002

2002年（救急グループ）

総 説

- No. 1 佐々木晃，豊嶋浩之，松原康博，小山完二：
中毒症状を予防できなかった高齢者のグルホシネート中毒
日本集中治療医学会雑誌 9：53-54，2002

著 書

- No. 1 小山完二：
胃洗浄
今日の治療指針 多賀須幸男，尾形悦郎（編），
医学書院，（東京），p86-88，2002
- No. 2 小山完二：
解毒薬
コメディカルの治療薬マニュアル 奈良信雄（編），
中外医学社，（東京），p523-532，2002
- No. 3 小山完二：
農薬中毒
今日の診断指針 亀山正邦，高久史麿（編），
医学書院，（東京），p1307-1309，2002

2002年（医療情報グループ）

原 著

No. 1 高田 彰：

電子ジャーナル：一学術情報コミュニケーションの行方—

情報の科学と技術 52(2)：83-87, 2002

No. 2 高田 彰, 長瀬啓介：

大学病院における診療情報の開示.

からだの科学増刊 21世紀の大学病院 116-119, 2002

No. 3 五十嵐 徹也：

患者アメニティの改善 —21世紀の大学病院—

からだの科学増刊：120-125, 2002

総説・その他

No. 1 清水一彦, 小川俊樹, 上殿明良, 真田 久, 木村 浩, 高田 彰, 吉江森男,
腰塚武志：

筑波大学学群・学類授業参画プロジェクトの実践報告.

平成13年度大学改革推進等経費プロジェクト研究報告書,
2002 筑波大学教育計画室

No. 2 中林幹雄, 五十嵐 徹也：

甲状腺機能低下症 専門医がすすめる最新処方128—こんな時, この処方—

今月の治療 臨時増刊号 9：S249-s250, 2002

No. 3 五十嵐 徹也, 中林幹雄：

血漿ビタミン D, 活性型ビタミン D —「検査値から読む病態と診断計画」—

臨床医 28(増刊)：1047-1049, 2002

No. 4 中林幹雄, 五十嵐 徹也：

甲状腺疾患の治療

Mebio 19(9)：40-44, 2002

2002年 (集中治療グループ)

原 著

- No. 1 山根隆志, 西田正浩, 丸山 修, 筒井達夫 :
遠心式人工心臓の開発における可視化の役割
可視化情報学会誌 22 : 12-15, 2002
- No. 2 本間 寛, 山口 巖 :
急性肺血栓塞栓症の心電図とその経過.
心電図 2002 ; 22 : 31-37
- No. 3 丸山 修, 山根隆志, 西田正浩, 筒井達夫, 軸屋智昭, 小野口富夫, 岩崎友美,
増澤 徹 :
マイクロカプセル模擬血液の剪断応力による破壊特性
ライフサポート 14 : 129-136, 2002
- No. 4 Sato Y, Hiramatsu Y, Homma S, Sato S, Onizuka M, Sakakibara Y. :
Phosphodiesterase type 4 inhibition of activated polymorphonuclear leukocytes in
a simulated extracorporeal circulation model.
J Thorac Cardiovasc Surg 2003 ; 125 : 172-177.
- No. 5 卯野木 健, 水谷太郎, 川崎由理, 高橋伸二, 上田留美子, 豊岡秀訓 :
PEEP と人工呼吸モードが Squeezing 時の呼吸メカニクスに与える影響.
人工呼吸 19 : 197, 2002
- No. 6 O. Maruyama, T. Yamane, M. Nishida, A. Aouidef, T. Tsutsui, T. Jikuya,
T. Masuzawa :
Fractural characteristic evaluation of a microcapsule suspension using a
rotational shear stressor
ASAIO Journal 48 : 365-373, 2002
- No. 7 Takahashi S, Mizutani T, Miyabe M, Toyooka H :
Hemodynamic responses to tracheal intubation with laryngoscope versus l
ightwand intubating device (Trachlight) in adults with normal airway.
Anesth Analg 95 : 480-484, 2002
- No. 8 R. Kosaka, Y. Sankai, T. Jikuya, T. Yamane, T. Tsutsui :
On-line parameter identification of systemic circulation using the delta operator
Artificial Organs 26 : 723-726, 2002
- No. 9 O. Maruyama, M. Toyoda, M. Nishida, O. Maruyama, T. Yamane, T. Tsutsui,
Y. sankai :
Geometric optimization for non-thrombogenicity of a centrifugal blood pump
through flow visualization
JSME International Journal 45 : 1013-1019, 2002

- No. 10 Yoshinuma Y, Hiramatsu Y, Sato Y, Homma S, Enomoto Y, Kikuchi Y, Sakakibara Y. :
Activated neutrophils and platelete microaggregates impede blood filterability through microchannels during simulated extracorporeal circulation.
Ann Thorac Surg 2003 ; 75 : 1254-1260
- No. 11 丸山秀和, 本間 覚, 宇野希世子, 安倍大輔, 森本隆史, 新富義侯, 大塚定徳, 石光敏行, 渡辺重行, 山口 巖. :
さまざまな肺高血圧に対する経口 PGI₂製剤の効果.
Ther Res 2002 ; 23 : 2130-2131

総 説

- No. 1 本間 覚. :
血栓性素因とその対策. 特集 急性肺動脈塞栓症.
総合臨床 2002 ; 51 : 348-353.

学 会

- No. 1 川村 龍, 本間 覚, 高山直也, 丸山秀和, 宇野希世子, 新富義侯, 山口 巖. :
慢性の下肢腫脹と疼痛が抗生剤の投与により劇的に軽快した1例.
茨城血管疾患 研究会第2回発表会 2002.1.19(つくば)
- No. 2 中村和弘, 浅川弘之, 谷中清之, 能勢忠男, 本間 覚. :
多発性脳動脈狭窄を呈した若年性脳梗塞の1例
茨城血管疾患研究会第2回発表会 2002.1.19(つくば)
- No. 3 石塚純子, 佐々木由樹, 小笹雄司, 樺山定美, 阿部安子, 水谷太郎 :
ICU シーリングシステム導入の評価.
第29回日本集中治療医学会(岡山), 2月, 2002
- No. 4 卯野木 健, 水谷太郎, 豊岡秀訓 :
ウサギ無気肺モデルにおける呼吸胸郭圧迫手技と気管内吸引が排痰量, 動脈血ガスに及ぼす影響.
第29回日本集中治療医学会(岡山), 2月, 2002
- No. 5 Homma S, Hiramatsu Y, Sato Y, Sakakibara Y. :
Leukocyte activation after experimental extracorporeal circulation is ameliorated by nafamostat mesilate infusion.
66th annual meeting of Japanese circulation society. 2002.4.24-26(Sapporo)
- No. 6 Nakanishi K, Homma S, Uno K, Maruyama H, Watanabe S, Yamaguchi I. :
Objective evaluation of intermittent claudication by near-infrared spectroscopy
66th annual meeting of Japanese circulation society. 2002.4.24-26(Sapporo)
- No. 7 Uno K, Homma S, Maruyama H, Iida K, Yamaguchi I. :
Pseudonormalization of pulse wave velocity in patients with arteriosclerosis obliterans.
66th annual meeting of Japanese circulation society. 2002.4.24-26(Sapporo)

- No. 8 Iida K, Kawano S, Homma S, Nishi I, Yamaguchi I, Nagasu T, Kuromitsu J. :
The first report in Japan on analysis of mRNA in a failing heart of dilated cardiomyopathy by high-density oligonucleotide arrays.
66th annual meeting of Japanese circulation society. 2002.4.24-26(Sapporo)
- No. 9 Iida K, Nishi I, Masumi T, Kawano S, Homma S, Yamaguchi I. :
Expression of mitochondrial DNA is increased in a failing heart of a patient with dilated cardiomyopathy.
66th annual meeting of Japanese circulation society. 2002.4.24-26(Sapporo)
- No. 10 中村和弘, 谷中清之, 浅川弘之, 本間 覚, 能勢忠男. :
多発性脳動脈狭窄を来した若年性脳動脈狭窄の1例
第27回日本脳卒中学会 2002.4.24-26(仙台)
- No. 11 高橋伸二, 水谷太郎, 宮部雅幸, 豊岡秀訓 :
挿管時に, トラキライトと喉頭鏡が, 循環動態に与える影響.
第49回日本麻酔科学会(福岡), 4月, 2002
- No. 12 H. Koguchi, Y. Sankai, K. Hanzawa, T. Jikuya, T. Tsutsui :
Development of floating thrombus/embolus detection method in extracorporeal circulation using NIR Laser
48th Annual Conference of ASAIO(New York) 2002.6.14
ASAIO Journal 48(2) : 195, 2002
- No. 13 丸山秀和, 本間 覚, 宇野希世子, 安倍大輔, 森本隆史, 新富義侯, 大塚定徳, 石光敏行, 渡辺重行, 山口 巖. :
さまざまな肺高血圧に対する経口 PGI₂製剤の効果.
第3回肺高血圧症治療研究会 2002.6.15(東京)
- No. 14 宇野希世子, 本間 覚, 柿沼由彦, 森本隆史, 丸山秀和, 山崎 明, 石光敏行, 山口 巖. :
Epoprostenol の持続少量投与を開始した原発性肺高血圧症の2年後.
第3回肺高血圧症治療研究会 2002.6.15(東京)
- No. 15 宇野希世子, 本間 覚, 金本 都, 森本隆史, 丸山秀和, 山崎 明, 大塚定徳, 山口 巖. :
30年来の肺高血圧症にプロスタサイクリンの持続静注療法を行った症例の臨床経過.
第3回肺高血圧症治療研究会 2002.6.15(東京)
- No. 16 T. Tsutsui, R. Takiya, T. Jikuya, Y. Sakakibara, Y. Sankai :
Arterial pressure variability for evaluation of the stress on autonomic nervous system of patients with mechanical circulatory support
the 29th ESAO Congress(Vienna) 2002.8.29
International Journal of Artificial Organs 25(7) : 399, 2002
- No. 17 丸山 修, 山根隆志, 西田正浩, 小野口富夫, 筒井達夫, 軸屋智昭, 増澤 徹 :
マイクロカプセル模擬血液を使った人工臓器の溶血成績評価
第40回日本人工臓器学会大会, 札幌, 2002.10.4
人工臓器 31(2) : S-182, 2002

- No. 18 軸屋智昭, 筒井達夫, 古口晴敏, 山海嘉之, 相川志都, 松原宗明, 清田 純,
今水流智浩, 平松祐司, 榊原 謙:
補助人工心臓内血栓の近赤外レーザーを用いた無侵襲検出法: 臨床例の報告
第55回日本胸部外科学会総会, 福岡, 2002.10.9
日本胸部外科学会雑誌 50(S): 348, 2002
- No. 19 森本隆史, 本間 覚, 錦井秀和, 宇野希世子, 安倍大輔, 新富義侯, 渡辺重行,
山口 巖.:
抗核抗体陽性・補体低値の重症肺高血圧に対して Epoprostenol の持続点滴療法を開始
した1例.
第1回フローラン治療研究会 2002.10.12(東京)
- No. 20 安倍大輔, 本間 覚, 新富義侯, 森本隆史, 下山田博明, 野口雅之, 後藤如代,
落合直之, 坪井康次, 能勢忠男, 重田 治, 軸屋智昭, 榊原 謙, 渡辺重行,
山口 巖.:
脳出血と腹部大動脈瘤で発症した血管肉腫の1例.
茨城血管疾患研究会第3回発表会 2002.10.19(つくば)
- No. 21 綾 大介, 水谷太郎, 高橋伸二, 宮部雅幸, 豊岡秀訓:
執刀後 on-pump から off-pump CABG に術式変更された血液透析患者の麻酔経験.
第22回日本臨床麻酔学会(甲府), 10月, 2002
- No. 22 八木原正浩, 宮部雅幸, 水谷太郎, 豊岡秀訓:
胸管結紮術の麻酔経験.
第22回日本臨床麻酔学会(甲府), 10月, 2002
- No. 23 前田鉄之, 中山 慎, 水谷太郎, 宮部雅幸, 豊岡秀訓:
拡大胸腺摘除術後8日間人工呼吸管理した重症筋無力症の1例.
第16回茨城麻酔・蘇生・中毒・鎮痛研究会(水戸), 11月, 2002
- No. 24 綾 大介, 宮部雅幸, 清水 雄, 水谷太郎, 豊岡秀訓:
保存療法により治癒した硬膜外血腫の1例.
第16回茨城麻酔・蘇生・中毒・鎮痛研究会(水戸), 11月, 2002

著 書

- No. 1 本間 覚, 山口 巖.:
大動脈炎症候群.
茨城県医師会編. 難病の指針. 2002; 191-195
- No. 2 本間 覚.:
特発性慢性肺血栓塞栓症.
茨城県医師会編. 難病の指針. 2002; 238-241.
- No. 3 水谷太郎, 豊岡秀訓:
胸部疾患術後気管切開
外科的気道確保のすべて(丸川征四郎 編)
医学図書出版, 東京, pp.99-103, 2002

No. 4 水谷太郎, 豊岡秀訓:

呼吸器疾患の治療手技 人工呼吸

呼吸器疾患の治療と看護 (工藤翔二 編) 南江堂, 東京, pp.102-108, 2002

No. 5 水谷太郎, 豊岡秀訓:

呼吸管理

専門医のための消化器外科学レビュー (跡見裕他 編)

総合医学社, 東京, pp.84-89, 2002

No. 6 松村 明, 山本哲哉, 柴田 靖, 中井 啓, 張天, 阿久津博義, 松下 明, 安田 貢,

高野晋吾, 能勢忠男, 水谷太郎, 高橋 宏, 豊岡秀訓, 山本和喜, 熊田博明, 鳥居義也:

混合熱・熱外中性子を用いた悪性神経腫瘍に対する中性子補促療法

勸九州大学出版会, pp.427-435, 2002

No. 7 筒井達夫:

IABP (大動脈内バルーンパンピング)

心臓血管外科手術書 (北村惣一郎 編) pp379-383,

先端医療技術研究所 (東京) 2002.7.10

講演その他

No. 1 筒井達夫:

人工心臓—過去・現在・未来

茨城サロン講演会 水戸 2002.05.14

2002年（臨床薬剤学グループ）

原 著

- No. 1 Homma M, Itagaki F, Yuzawa K, Fukao K, Kohda Y :
Effects of lansoprazole and rabeprazole on tacrolimus blood concentration : Case of a renal transplant recipient with CYP2C19 gene mutation.
Transplantation 73(2) : 303-304, 2002
- No. 2 住谷 賢治, 渡邊 真知子, 本間 真人, 馬場 泰行, 猪股 伸一, 豊岡 秀訓, 幸田 幸直 :
小児麻酔前投薬に用いる塩酸クロニジンキャンディーの鎮静効果
臨床薬理 33(1) : 83S-84S, 2002
- No. 3 堀内 学, 加藤 直人, 垣内 祥宏, 佐藤 信一, 本間 真人, 赤座 英之, 幸田 幸直 :
漢方製剤の臨床試験概要書として用いるインタビューフォームの現状
臨床薬理 33(1) : 49S-50S, 2002
- No. 4 高野 操, 木下 節子, 高橋 秀人, 幸田 幸直, 岡 慎一 :
血友病/HIV-1 感染者の生存時間と多剤併用療法導入後の臨床経過に関する追跡調査—非血友病/HIV-1 感染者との比較—
感染症学雑誌 76(3) : 203-211, 2002
- No. 5 山本 由里子, 本間 真人, 幸田 幸直 :
添付文書における CYP 分子種情報の記載状況
医薬ジャーナル 38(4) : 171-177, 2002
- No. 6 富田 隆, 本間 真人, 板垣 文雄, 山本 由里子, 垣内 祥宏, 湯沢 賢治, 深尾 立, 幸田 幸直 :
MEIA 法を用いたタクロリムスモニタリングにおける偽陽性タクロリムス血中濃度
TDM 研究 19(2) : 123-124, 2002
- No. 7 板垣 文雄, 富田 隆, 本間 真人, 垣内 祥宏, 湯沢 賢治, 深尾 立, 幸田 幸直 :
CYP2C19 遺伝子変異を有する腎移植患者におけるプロトンポンプ阻害剤と免疫抑制剤の薬物相互作用
TDM 研究 19(2) : 125-126, 2002
- No. 8 高嶋 泰之, 小池 美智代, 新井 克明, 本間 真人, 幸田 幸直 :
タキシド系抗悪性腫瘍剤の適正管理のための使用実態調査
医療薬学 28(4) : 327-330, 2002
- No. 9 高橋 昌也, 新井 克明, 本間 真人, 鈴木 勝, 佐藤 信一, 幸田 幸直 :
錠剤・カプセル剤の包装への使用期限の表示と品質保証に関する調査
医療薬学 28(2) : 172-175, 2002
- No. 10 Yaguchi Y, Inomata S, Kihara S, Baba Y, Kohda Y, Toyooka H :
The reduction in minimum alveolar concentration for tracheal extubation after clonidine premedication in children.
Anesth. Analg. 94(4) : 863-866, 2002

- No. 11 Homma M, Tomita T, Yuzawa K, Takada Y, Kohda Y :
False positive blood tacrolimus concentration in microparticle enzyme immuno-
assay
Biol. Pharm. Bull. 25(8) : 1119-1120, 2002
- No. 12 Miyabe M, Kakiuchi Y, Inomata S, Ohsaka Y, Kohda Y, Toyooka H :
Epinephrine dose not reduce the plasma concentration of lidocaine during continu-
ous epidural infusion in children.
Can. J. Anaesth. 49(7) : 706-710, 2002
- No. 13 石原 三也, 本間 真人, 久能 英子, 渡邊 真知子, 幸田 幸直 :
腸内細菌叢に影響する薬剤と漢方薬の併用実態調査
YAKUGAKU ZASSHI 122(9) : 695-701, 2002
- No. 14 板垣 文雄, 本間 真人, 富田 隆, 湯沢 賢治, 深尾 立, 幸田 幸直 :
CYP2C19 遺伝子変異を有する腎移植患者におけるプロトンポンプ阻害剤と免疫抑制剤
の薬物相互作用
TDM 研究 19(4) : 338-342, 2002
- No. 15 Itagaki F, Homma M, Yuzawa K, Fukao K, Kohda, Y :
Drug interaction of tacrolimus and proton pump inhibitors in renal transplant
recipients with CYP2C19 gene mutation
Transplant. Proc. 34(7) : 2777-2778, 2002
- No. 16 Kakiuchi Y, Fukuda T, Miyabe M, Homma M, Toyooka H, Kohda Y :
Chromatographic determination of free lidocaine and its active metabolites in
plasma from patients under epidural anesthesia.
Int. J. Clin. Pharmacol. Ther. 40(11) : 493-498, 2002
- No. 17 Nakagawa R, Homma M, Kuga K, Yamaguchi I, Kobayashi D, Morimoto Y,
Kohda Y :
High performance liquid chromatography for routine monitoring of serum
flecainide
J. Pharm. Biomed. Anal. 30(1) : 171-174, 2002
- No. 18 高嶋 泰之, 馬場 泰行, 大野 国弘, 本間 真人, 長澤 勲, 幸田 幸直 :
NaU DSP® を用いた製品規格の選択最適化プログラムによる薬剤費の削減
薬剤疫学 7(S) : 50S-51S, 2002
- No. 19 中川 励, 本間 真人, 久賀 圭祐, 山口 巖, 小林 大介, 森本 雍憲, 幸田 幸直 :
頻脈性不整脈におけるフレカイニド有効血中濃度の検討
医薬ジャーナル 38(11) : 3063-3067, 2002
- No. 20 本間 真人 :
漢方薬と西洋薬の薬物相互作用 漢方薬成分の体内動態に及ぼす新薬の影響
日本東洋医学雑誌 52(4,5) : 443-481, 2002

原 著 (2001年未収載分)

- No. 1 本間 真人, 岡 希太郎, 新妻 知行, 林 徹:
ロイコトリエン遊離に及ぼす柴朴湯体内移行成分の影響
漢方と免疫アレルギー 15:38-47:2001

総 説

- No. 1 板垣 文雄, 石原 三也, 幸田 幸直:
不整脈治療薬と患者への説明
薬局 53(増刊):564-575, 2002
- No. 2 幸田 幸直:
知っておきたい拮抗薬, 処置薬の使い方「医療の不確実性の再認識」
臨床と薬物治療 21(6):554-556, 2002
- No. 3 井上 洋一, 本間 真人, 幸田 幸直:
知っておきたい拮抗薬, 処置薬の使い方「薬疹とステロイド」
臨床と薬物治療 21(6):570-573, 2002
- No. 4 垣内 祥宏, 幸田 幸直:
知っておきたい拮抗薬, 処置薬の使い方「タバコ誤飲・誤食と催吐剤トコン」
臨床と薬物治療 21(6):583-586, 2002

著 書

- No. 1 Bellibas S E, Homma M, Aweeka F:
Antiretroviral therapy: adverse effects and drug interactions
Management of the HIV-Infected Patient SECOND EDITION:97-116, 2002
- No. 2 本間 真人:
薬剤管理指導業務の実際, わかりやすい調剤学第4版(岩川 清吾, 河島 進, 安原 真人, 横山 照由 編),
廣川書店, 東京, pp. 333-341, 2002

学会発表

- No. 1 Homma M:
Pharmacokinetic investigation of active ingredients in herbal remedies
The 75th Annual Meeting 日本薬理学会(Kumamoto) March:2002
- No. 2 中川 励, 本間 真人, 久賀 圭祐, 山口 巖, 小林 大介, 森本 雍憲, 幸田 幸直:
頻脈性不整脈におけるフレカイニド有効血中濃度の検討
日本薬学会第122年会(幕張)3月:2002
- No. 3 本間 真人:
漢方薬の薬物速度論解析
日本薬学会第122年会(幕張)3月:2002
- No. 4 石原 三也, 本間 真人, 久能 英子, 渡邊 真知子, 幸田 幸直:
腸内細菌叢に影響する薬剤と漢方薬の併用実態調査
日本薬学会第122年会(幕張)3月:2002

- No. 5 高橋 昌也, 馬場 泰行, 石岡 聰, 横山 雄高, 本間 真人, 幸田 幸直:
注射薬処方監査支援システム (Mac-PIAS) の開発 (第2報)
日本薬学会第122年会(幕張) 3月: 2002
- No. 6 板垣 文雄, 柳本 寛子, 本間 真人, 中嶋 玲子, 須摩崎 亮, 松井 陽,
幸田 幸直:
潰瘍性大腸炎の病状変化に伴うシクロスポリン体内動態の変動
第19回日本 TDM 学会学術大会(熊本) 5月: 2002
- No. 7 本間 真人:
和漢薬活性成分の体内動態と Pharmacogenomics
第53回日本東洋医学会学術総会(名古屋) 5月: 2002
- No. 8 Homma M, Matsui E, Oka K, Miwa T, Kanazawa M, Notoya Y, Niitsuma T,
Hayashi T, Kohda Y:
Altered 6β -hydroxycortisol/cortisol ratio in diabetes mellitus.
14th International Symposium on Microsomes and
Drug Oxidations (Sapporo) July: 2002
- No. 9 富田 隆, 本間 真人, 高田 泰次, 湯沢 賢治, 幸田 幸直:
貧血を伴った生体肝移植症例におけるヘマトクリット値の変動と偽陽性タクロリムス
濃度
第10回クリニカルファーマシーシンポジウム(千葉) 7月: 2002
- No. 10 高嶋 泰之, 馬場 泰行, 大野 国弘, 本間 真人, 長澤 勲, 幸田 幸直:
NaU DSP[®] を用いた製品規格の最適化プログラムの試作
第10回クリニカルファーマシーシンポジウム(千葉) 7月: 2002
- No. 11 垣内 祥宏, 高橋 伸二, 本間 真人, 宮部 雅幸, 佐藤 重仁, 豊岡 秀訓,
幸田 幸直:
吸入麻酔薬のリドカイン血中濃度に及ぼす影響
第10回クリニカルファーマシーシンポジウム(千葉) 7月: 2002
- No. 12 高橋 昌也, 馬場 泰行, 本間 真人, 幸田 幸直, 石岡 聰, 横山 雄高:
注射薬処方監査支援システム (Mac-PIAS) の評価(第3報)
日本病院薬剤師会関東ブロック第32回学術大会(横浜) 8月: 2002
- No. 13 本間 真人, 田辺 正樹, 小宅 典子, 幸田 幸直:
芍薬甘草湯による横紋筋融解症の一例
第12回日本医療薬学会年会(福岡) 10月: 2002
- No. 14 馬場 泰行, 高嶋 泰之, 大野 国弘, 本間 真人, 長澤 勲, 幸田 幸直:
NaU DSP[®] による薬剤取り揃えの最適化と医療費に及ぼす影響
第12回日本医療薬学会年会(福岡) 10月: 2002
- No. 15 高嶋 泰之, 馬場 泰行, 大野 国弘, 本間 真人, 長澤 勲, 幸田 幸直:
NaU DSP[®] を用いた製品規格の選択最適化プログラムによる薬剤費の削減
第8回日本薬剤疫学会学術総会(東京) 11月: 2002
- No. 16 石原 三也, 本間 真人, 幸田 幸直:
腸内細菌叢に影響する薬剤と漢方薬の併用実態調査 (第二報)
日本東洋医学会関東甲信越支部第11回茨城県部会学術集会(つくば) 11月: 2002

- No. 17 板垣 文雄, 本間 真人, 湯沢 賢治, 幸田 幸直:
 タクロリムスとプロトンポンプ阻害剤の相互作用に及ぼす CYP2C19 と MDR1 遺伝子型の影響
 第17回日本薬物動態学会年会(東京)11月:2002
- No. 18 土岐 浩介, 金子 あき, 馬場 泰行, 本間 真人, 佐藤 信一, 幸田 幸直:
 ベンゾジアゼピン系睡眠薬の使用実態調査
 第13回茨城県薬剤師学会大会(水戸)12月:2002
- No. 19 山城 智美, 本間 真人, 石川 智景, 坂井 みどり, 石原 三也, 高嶋 泰之, 幸田 幸直:
 各種睡眠薬に対する入院患者の意識
 第13回茨城県薬剤師学会大会(水戸)12月:2002
- No. 20 細野 浩之, 垣内 祥宏, 本間 真人, 幸田 幸直, 赤座 英之:
 治験薬管理における治験薬の使用期限の問題点
 第23回日本臨床薬理学会(大阪)12月:2002
- No. 21 住谷 賢治, 本間 真人, 馬場 泰行, 猪股 伸一, 豊岡 秀訓, 幸田 幸直:
 小児に対する塩酸クロニジン口腔内崩壊錠の鎮静効果とクロニジン血中濃度
 第23回日本臨床薬理学会(大阪)12月:2002
- No. 22 本間 真人, 井上 洋一, 松崎 靖司, 柴田 実, 三田村 圭二, 田中 直見, 幸田 幸直:
 リバビリンとインターフェロン併用療法における血漿および赤血球内リバビリン濃度
 第23回日本臨床薬理学会年会(大阪)12月:2002
- その他
- No. 1 幸田 幸直:
 臨床の現場から問題点を探し出し解決できる能力をもつ薬剤師の養成をめざして
 Pharmacy Today 15(1):18-21, 2002
- No. 2 幸田 幸直:
 「統薬薬連携」～医薬品とサプリメントの相互作用～
 特別講演:サプリメントと医薬品, その服薬指導のポイント
 第16回 KANAZAWA Pharmaceutical Care 研究会(金沢), 2月:2002
- No. 3 本間 真人:
 CYP を介した薬物相互作用
 第17回つくば臨床薬剤セミナー(つくば), 2月:2002
- No. 4 幸田 幸直:
 医療過誤防止と薬剤部の役割, シンポジウム「医療提供機能の充実・発展させるための薬剤業務の改善について」
 平成14年度 国公私立大学病院薬剤部職員研修(東京)5月:2002
- No. 5 本間 真人:
 CYP を介した薬物相互作用
 石岡市薬剤師会集合研修会(石岡), 5月:2002

- No. 6 幸田 幸直：
経皮吸収型エストラジオール製剤をめぐる話題
日本短波放送，薬学の時間，6月：2002
- No. 7 幸田 幸直：
筑波大学附属病院の医療安全対策
日本短波放送，薬学の時間，8月：2002
- No. 8 本間 真人：
役に立つ漢方・生薬の知識 新薬と漢方薬の併用
日本漢方協会第16回漢方特別講座(東京)，8月：2002
- No. 9 臼井 正幸，吉久保 宏明，井坂 光利，垣内 祥宏，馬場 泰行，佐藤 信一，
本間 真人，幸田 幸直：
赤色3号含有製剤の調剤および服薬指導時の留意点
茨城県病院薬剤師会会誌 44(2)：115-116，2002
- No. 10 堀内 学，加藤 直人，佐藤 信一，本間 真人，赤座 英之，幸田 幸直：
漢方製剤のインタビューフォームにおける問題点
茨城県病院薬剤師会会誌 44(2)：109-110，2002
- No. 11 幸田 幸直：
特別講演：筑波大学病院における薬剤師病棟活動，その問題点について
東京薬科大学第20回製剤研究会(東京) 10月：2002
- No. 12 本間 真人：
漢方を科学する
常総漢方入門セミナー(茨城)10月：2002
- No. 13 本間 真人：
IFN・リバビリンの併用療法の基礎と臨床 ―リバビリンの赤血球内蓄積―
第34回日本肝臓病学会東部会イブニングセミナー(つくば)11月：2002
- No. 14 幸田 幸直：
歯科治療に影響を与える医薬品
横浜市中区歯科医師会平成14年度第3回学術講演会(横浜)12月：2002

2002年（卒後臨床研修部グループ）

原 著

- No. 1 Maeno T, Kizawa Y, Ueno Y, Nakata Y, Sato T :
Depression among Primary Care Patients with Complaint of Headache and General Fatigue.
Primary care psychiatry 8 : 69-72, 2002
- No. 2 前野哲博, 木澤義之, 前野貴美, 武田裕子, 吉津みさき :
医学生および初期研修医の鑑別診断能力についての検討.
家庭医療 9(2) : 82-88, 2002
- No. 3 前野哲博, 前野貴美, 木澤義之, 吉津みさき, 小野幸雄 :
アルコール関連問題の発見における γ GTP と MCV (平均赤血球容積) の操作特性.
日本医事新報 4098 : 24-27, 2002
- No. 4 佐藤武, 前野哲博 :
慢性疼痛患者への精神療法的アプローチ : 痛みの解釈モデルの再構築.
慢性疼痛 21 : 3-7, 2002

著 書

- No. 1 前野哲博 :
バイタルサイン, 頭頸部の診察. コアカリキュラムシリーズ 診療の基本 (大滝純司, 仲田和正 編)
金芳堂, 東京, pp329-341, 2002.

総 説

- No. 1 前野哲博 :
外国人の Evidence は役に立つのか教えてください.
治療 84 : 666-668, 2002

学会発表

- No. 1 前野哲博 :
茨城県におけるプライマリ・ケアの現況.
第3回日本プライマリ・ケア学会茨城支部 学術集会 (水戸), 3月, 2002.
- No. 2 前野哲博 :
身体医療と心身医療の境界と統合 (パネルディスカッション).
第43回日本心身医学会 (東京), 7月, 2002.
- No. 3 中村明澄, 前野哲博 :
学生・研修医のための夏期セミナーは参加者にどのような影響を与えたか? .
第17回家庭医療学研究会 (東京), 11月, 2002.
- No. 4 寺澤富久恵, 吉本尚, 上野有希, 前野哲博 :
小学校の授業参観授業における禁煙教育—筑波大学プライマリケア研究会活動紹介—.
第17回家庭医療学研究会 (東京), 11月, 2002.

- No. 5 山田健志, 西村真紀, 藤沼康樹, 大野每子, 井上真智子, 一瀬邦弘, 前野哲博,
大坪天平, 佐藤武:
プライマリ・ケアにおけるうつ病の有病率調査.
第17回家庭医療学研究会 (東京), 11月, 2002.
- No. 6 津田修治, 上野有希, 村木功, 寺澤富久恵, 前野哲博:
筑波大学プライマリ・ケア研究会—学生が主体的に取り組む勉強会サークル—.
第17回家庭医療学研究会 (東京), 11月, 2002.
- No. 7 足立信也, 中山凱夫, 金子道夫, 榊原謙, 相吉悠治, 鬼塚正孝, 前野哲博:
細分化された診療組織を持つ大学における外科卒後教育—筑波大学レジデント制の変
革—.
日本臨床外科学会 (東京), 11月, 2002.
- No. 8 山田健志, 西村真紀, 藤沼康樹, 大野每子, 一瀬邦弘, 前野哲博, 大坪天平, 佐藤武:
プライマリ・ケアにおけるうつ病の有病率調査・中間報告.
第15回日本総合病院精神医学会 (東京), 11月, 2002.

その他

- No. 1 前野哲博:
コミュニケーション論2 —ロールプレイで学ぶコミュニケーションスキルの実際—
日本看護協会 緩和ケアナース養成研修 (東京), 5月, 2002.
- No. 2 前野哲博:
フィジカルアセスメント.
茨城県立医療大学, 7月, 2002.
- No. 3 前野哲博:
家庭医の現在と未来
第14回家庭医療学会 学生・研修医のための夏期セミナー (千葉), 8月, 2002
- No. 4 前野哲博:
フィジカルアセスメント
筑波メディカルセンター病院 看護研修 (つくば), 10月, 2002.
- No. 5 前野哲博:
フィジカルアセスメント
茨城県立つくば看護専門学校 (つくば), 10月, 2002.
- No. 6 前野哲博:
EBM(初級編)
EBM&N セミナー (金沢), 11月, 2002.
- No. 7 前野哲博:
臨床指導の方法論～指導上の発想転換～
利根中央病院 指導医研修会 (沼田) 11月, 2002

2002年（輸血部グループ）

総 説

No. 1 松井良樹：

不規則抗体陽性患者への輸血.

医事新報 4084：90, 2002

2002年（手術部グループ）

原 著

- No. 1 Nakayama H, Takahashi H, Okubo N, Miyabe M, Toyooka H :
Xenon and nitrous oxide do not depress cardiac function in an isolated rat heart model.
Can J Anesth 49(4) : 375-379, 2002
- No. 2 斎藤重行, 高橋 宏, 大塚雅昭, 中山凱夫 :
フィルムセンサーを用いた体圧測定.
日本手術医学会誌23(2) : 157-158, 2002
- No. 3 濱野真由美, 高橋 宏, 古垣達也, 高柳真美子, 椎名裕子, 佐藤典子, 斎藤重行, 大塚雅昭, 中山凱夫 :
ラジオ波熱焼灼療法 (RFA) による皮膚熱傷.
日本手術医学会誌23(3) : 294-295, 2002
- No. 4 大塚雅昭, 斎藤重行, 高橋 宏, 中山凱夫 :
手術部における診療報酬請求もれ調査と対策.
日本手術医学会誌23(4) : 341-343, 2002
- No. 5 八木原正浩, 高橋 宏, 宮部雅幸, 豊岡秀訓 :
全身麻酔下ラジオ波熱焼灼療法術中に生じた皮膚熱傷.
麻酔51(10) : 1117-1119, 2002
- No. 6 古垣達也, 重田 治, 大塚雅昭, 斎藤重行, 高橋 宏, 中山凱夫, 榊原 謙 :
ヘパリン中和中のプロタミンによる血小板に対する影響.
体外循環技術 29(1) : 22-24, 2002
- No. 7 古垣達也, 大塚雅昭, 斎藤重行, 高橋 宏, 中山凱夫 :
エチレンオキサイドガス滅菌装置の作業環境測定.
医器学 72(10), 523-524, 2002

総 説

- No. 1 松村 明, 山本 哲哉, 柴田 靖, 中井 啓, 張天, 阿久津博義, 松下 明, 安田 貢, 高野 晋吾, 能勢 忠男, 水谷 太郎, 高橋 宏, 豊岡 秀訓, 山本 和喜, 熊田 博明, 鳥居 義也 :
混合熱・熱外中性子を用いた悪性神経腫に対する中性子補促法
(財)九州大学出版会, pp.427-435, 2002

学会発表

- No. 1 斎藤重行, 高橋 宏, 豊岡秀訓 :
PiCCO を用いた長時間手術時の肺血管外水分量測定.
第49回日本麻酔科学会, 福岡, 4月, 2002
- No. 2 古垣達也, 大塚雅昭, 斎藤重行, 高橋 宏, 中山凱夫 :
エチレンオキサイドガス滅菌装置の作業環境測定.
第77回日本医科器械学会大会, 東京, 5月, 2002

- No. 3 佐藤恭嘉, 高橋 宏, 高橋伸二, 猪股伸一, 斎藤重行, 宮部雅幸, 豊岡秀訓:
修正型電気けいれん療法中に心室性期外収縮・二段脈を生じた症例.
第42回日本麻酔科学会関東甲信越地方会, 松本市, 9月, 2002
- No. 4 古垣達也, 大塚雅昭, 高橋 宏, 中山凱夫, 軸屋智昭, 榊原 謙:
In vitro で算出するヘパリン/プロタミン量の算出—ヘモクロンレスポンスと Hepcon
-HMS の比較—.
第28回日本体外循環技術研究大会, 東京, 10月, 2002
- No. 5 高橋 宏, 水谷太郎, 宮部雅幸, 豊岡秀訓:
医学生, 研修医を対象とした一次救命処置法の評価-CPR シミュレータの使用経験.
第30回日本救急医学会, 札幌, 10月, 2002
- No. 6 山崎裕一郎, 高橋 宏, 猪股伸一, 高橋伸二, 宮部雅幸, 豊岡秀訓:
急性特発性汎自律神経失調症 (Acute idiopathic pandysautonomia: AIPD) 患者の
麻酔経験.
第22回日本臨床麻酔学会, 甲府, 10月, 2002
- No. 7 田畑江哉, 高橋 宏, 宮部雅幸, 豊岡秀訓:
ラリಂಗレーザー焼灼術にレーザートラケアルチューブは必須である.
第16回茨城麻酔・蘇生・中毒・鎮痛研究会, 水戸, 11月, 2002
- No. 8 助川岩央, 高橋伸二, 高橋 宏, 西川昌志, 宮部雅幸, 豊岡秀訓:
術中 BIS 値が低値にもかかわらず呼名に開眼した症例
第16回茨城麻酔・蘇生・中毒・鎮痛研究会(水戸), 11月, 2002

(座長)

高橋 宏: 悪性高熱. 第22回日本臨床麻酔学会, 甲府, 10月, 2002

2002年（光学医療診療グループ）

原 著

- No. 1 Tominaga T., Kashimura H., Suzuki K., Nakahara A., Noguchi M., Itabashi M., Ohkawa J., Tanaka N. :
Telomerase activity and expression of human telomerase catalytic subunit gene in esophageal tissues.
J Gastroenterology 37(6) : 418-427, 2002
- No. 2 Kaminishi M., Yamaguti H., Nomura S., Oohara T., Sakai S., Fukutomi H., Nakahara A., Kashimura H., Oda M., Kitahara T., Ichikawa H., Yabana T., Yagawa Y., Sugiyama T., Itabashi M., Unakami M., Oguro Y., Sakita T. :
Endoscopic classification of chronic gastritis based on a pilot study by the research for gastritis.
Digestive Endoscopy, 14 : 138-151, 2002
- No. 3 Yanaka A., Suzuki H., Shibahara T., Matsui H., Nakahara A., Tanaka N. :
EGF promotes gastric mucosal restitution by activating Na(+)/H(+) exchange of epithelial cells.
Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol. 282 : G866-G876, 2002
- No. 4 Suzuki H., Yanaka A., Shibahara T., Matsui H., Nakahara A., Tanaka N., Muto H., Momoi T., Uchiyama Y. :
Ammonia-induced apoptosis is accelerated at higher pH in gastric surface mucous cells.
Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol. 283 : G986-G995, 2002
- No. 5 富永 達郎, 樫村 博正, 鈴木 かつお, 中原 朗, 田中 直見 :
Helicobacter pylori 除菌前後における慢性胃炎粘膜でのテロメラーゼ関連遺伝子 (hTERT) 発現の検討
Therapeutic research 23(6) : 1219-1224, 2002
- No. 6 斎藤 洋子, 福富 久之, 真田 勝弘, 海老原次男, 対馬 健祐, 中原 朗, 柿元まゆみ :
地域胃がん検診における間接胃 X 線法とペプシノゲン法の効果的な組み合わせの検討
日本消化器集団検診学会誌, 40(4) : 335-342, 2002
- No. 7 谷中 昭典, 田内 雅史, 張 松華, 鈴木 英雄, 柴原 健 :
食塩の胃内投与が Helicobacter pylori 感染胃粘膜病態に及ぼす影響
Ulcer Research 29 : 19-23, 2002
- No. 8 谷中 昭典, 田内 雅史, 張 松華, 鈴木 英雄, 柴原 健 :
Helicobacter pylori 感染胃粘膜上皮細胞に対する防御因子製剤の影響—Teprenone と Cetraxate の作用機序の検討
Ulcer Research 29 : 136-139, 2002
- No. 9 張 松華, 鈴木 英雄, 田内 雅史, 柴原 健, 谷中 昭典 :
PPI 長期投与が Hp 感染胃粘膜に及ぼす影響
Ulcer Research 29 : 148-151, 2002

総 説

- No. 1 上西 紀夫, 中原 朗, 佐藤 信紘, 板橋 正幸:
第17回胃炎研究会総合討論
Therapeutic Research 23(6): 67-68, 2002
- No. 2 谷中 昭典, 中原 朗, 田中 直見:
H.pylori 除菌治療が NSAIDs 服用中の胃粘膜病態に及ぼす影響
消化器科 34: 101-105, 2002
- No. 3 谷中 昭典:
NSAIDs 潰瘍の難治要因
本臨床 60 Suppl 2: 559-561, 2002
- No. 4 谷中 昭典:
Helicobacter pylori ニューズ
米国消化器病週間(DDW)―基礎―
Helicobacter Research 6: 374-378, 2002
- No. 5 田内 雅史, 谷中 昭典:
消化性潰瘍の治療
Medicament News 1742: 14-17, 2002

著 書

- No. 1 中原 朗, 柴原 健:
ポリペクトミー (食道・胃の内視鏡治療)
(山中恒夫・片山修編) メジカルビュー社, p 86-91, 2002
- No. 2 中原 朗:
医学書院医学大辞典
(伊藤正男・井村裕夫・高久史磨) 医学書院, 2002
- No. 3 谷中 昭典:
プロトンポンプ阻害剤の血管新生への影響と臨床的有用性
プロトンポンプ阻害薬のすべて
浅香正弘/千葉勉 編
先端医学社(東京)p83-84, 2002

学会発表

- No. 1 柴原 健, 鈴木 英雄, 中原 朗, 松井 裕史, 谷中 昭典, 田中 直見:
当科における切除不能・再発胃癌の治療方針.
第24回茨城県消化器病懇話会, (土浦), 1月, 2002
- No. 2 柴原 健, 谷中 昭典:
炎症性腸疾患における消化管上皮細胞のキモカイン発現とリンパ球ホーミング: 単層培養上皮細胞および上皮内リンパ球を用いたリンパ球ホーミングモデルの作製
第13回消化管細胞機能研究会 (掛川), 2月, 2002

- No. 3 谷中 昭典：
胃粘膜防禦，修復に果たす Heat Shock Protein の役割
第20回 Cytoprotection 研究会（京都），2月，2002
- No. 4 錦井 秀和，若山真理子，柴原 健，松井 裕史，谷中 昭典，中原 朗，田中 直見：
AFP, PIVKA-II, HCG 高値を来した胃原発絨毛癌の症例
第268回日本消化器学会関東支部例会，（前橋），2月，2002
- No. 5 Matsui H., Nagano Y., Murata Y., Yanaka A., Shibahara T., Nakahara A.,
Tanaka N.：
Does gastric acid secretion accelerate NSAID-induced tissue peroxidation in rat
stomach?
12th World Congress of Gastroenterology,
Bangkok, (THAILAND), March, 2002
- No. 6 柴原 健，中原 朗，谷中 昭典，松井 裕史，田中 直見：
特殊型透明フードを用いた食道静脈瘤硬化療法
第88回 日本消化器病学会総会，（旭川），4月，2002
- No. 7 池澤 和人，吉田 正，牧野維斗映，小島 真樹，相川 達也，松崎 靖司，中原 朗，
田中 直見：
保険適応のない薬剤による *Helicobacter pylori* 除菌療法の臨床成績について（本邦に
おける OMM 除菌後3年以上の長期成績）
第88回 日本消化器病学会総会，（旭川），4月，2002
- No. 8 松井 裕史，長野由美子，村田 靖，菅野 雅人，谷中 昭典，柴原 健，中原 朗，
田中 直見：
NSAID 起因性胃粘膜障害による脂質過酸化に対する H₂ ブロッカー及び PPI の効果
第88回日本消化器病学会総会，（旭川），4月，2002
- No. 9 谷中 昭典，田内 雅史，張 松華，鈴木 英雄，柴原 健，松井 裕史，中原 朗，
田中 直見：
H. pylori 感染胃粘膜における酸分泌抑制機序の研究 —高張食塩水の酸分泌抑制効果
に果たす IL-1 β の果たす役割—
第6回壁細胞研究会，（旭川），4月，2002
- No. 10 鈴木 英雄，谷中 昭典，張 松華，田内 雅史，柴原 健，松井 裕史，中原 朗，
田中 直見：
プロトンポンプ阻害剤の長期投与が *Helicobacter pylori* i 感染胃粘膜に及ぼす影響
第6回壁細胞研究会，（旭川），4月，2002
- No. 11 谷中 昭典，中原 朗，田中 直見：
シンポジウム「*Helicobacter pylori* と胃癌。」食塩の胃内投与が *Helicobacter pylori*
感染胃粘膜病態に及ぼす影響
第63回日本消化器内視鏡学会総会，（甲府），4月，2002

- No. 12 Shibahara T., Nakahara A., Suzuki H., Miyazaki K., Matsui H., Yanaka A.,
Tanaka N. :
Efficient endoscopic injection sclerotherapy using an original transparent hood.
Annual Meeting of the American Gastroenterological Association,
(San Francisco), May, 2002
- No. 13 Yanaka A., Tauchi M., Cho S., Suzuki H., Sugano M., Shibahara T., Matsui H.,
Nakahara A., Tanaka N. :
Interleukin-1 β enhances hypertonic salt-induced acid suppression via stimulating
release of endogenous prostaglandins by guinea pig fundic gastric mucosa in vitro.
Annual Meeting of the American Gastroenterological Association,
(San Francisco), May, 2002
- No. 14 Matsui H., Nagano Y., Sugano M., Murata Y., Yanaka A., Shibahara T., Nakahara A.,
Tanaka N. :
Fluorescence endoscopic diagnosis for gastric cancer's area after aminolevulinic
acid treatment with a simultaneous endoscopic fluorescence analyzing system.
Annual Meeting of the American Gastroenterological Association,
(San Francisco), May, 2002
- No. 15 Yanaka A., Zhang S., Tauchi M., Sugano M., Oohara M., Suzuki H., Shibahara T.,
Matsui H., Nakahara A., Tanaka N. :
Research Forum: High salt diet accelerates progression of atrophy of *H. pylori*-
infected gastric corpus mucosa in wild type C57/BL6 Mice, but not in IL-1
receptor knockout mice.
American Gastroenterological Association Meeting,
(San Francisco), May, 2002
- No. 16 柿木 重信, 鈴木 英雄, 柴原 健, 松井 裕史, 谷中 昭典, 中原 朗, 田中 直見 :
慢性関節リウマチの経過中に出血を伴う反復性の腸炎を生じた1例
第269回日本消化器病学会関東支部例会, (東京), 5月, 2002
- No. 17 柿木 信重, 鈴木 英雄, 柴原 健, 松井 裕史, 谷中 昭典, 中原 朗, 田中 直見 :
慢性関節リウマチの経過中に出血を伴う反復性の腸炎を生じた1例
第9回 茨城県炎症性腸疾患研究会, (つくば市), 5月, 2002
- No. 18 長野由美子, 松井 裕史, 菅野 雅人, 村田 靖, 柴原 健, 谷中 昭典, 中原 朗,
田中 直見 :
NSAIDによる胃粘膜脂質過酸化部位の検討
第24回フリーラジカル学会, (大阪), 6月, 2002
- No. 19 谷中 昭典, 張 松華, 田内 雅史, 鈴木 英雄 :
シンポジウム「*H. pylori*の発癌メカニズム」
高塩分食はIL-1受容体を介して*H. pylori*感染マウスの胃粘膜萎縮進展を加速させる
第8回日本ヘリコバクター学会, (宇都宮), 6月, 2002

- No. 20 柴原 健, 中原 朗, 谷中 昭典, 松井 裕史, 田中 直見:
特殊型透明フードを用いた食道静脈瘤硬化療法
第74回日本消化内視鏡学会関東地方会(宇都宮),
ラウンドテーブルディスカッション, 6月, 2002
- No. 21 若山真理子, 中原 朗, 柴原 健, 松井 裕史, 谷中 昭典, 田中 直見, 轟 健:
診断に苦慮した膵十二指腸移行部原発腺癌の症例
第270回日本消化器病学会関東支部会, (横浜), 7月, 2002
- No. 22 中川 裕司, 轟 健, 菅原 信二, 柴原 健, 川本 徹, 小池 直人, 近藤 匠,
中原 朗, 斎田 幸久:
TNM分類 stage 食道癌に対する治療体系を工夫した chemoradiotherapy の試み
第57回日本消化器外科学会総会, (京都), 7月, 2002
- No. 23 谷中 昭典:
高塩分食は IL-1 受容体を介して H. pylori 感染マウスの胃粘膜萎縮の進展を加速させる
消化管炎症と PPI 研究会, (京都), 8月, 2002
- No. 24 鈴木 英雄, 中原 朗, 谷中 昭典, 柴原 健, 松井 裕史, 田中 直見, 山口 高史:
小腸転移を来した腎細胞癌の1例
第271回日本消化器学会関東支部例会, (東京), 9月, 2002
- No. 25 轟 健, 川本 徹, 近藤 匠, 中川 裕司, 菅原 信二, 斎田 幸久, 柴原 健,
中原 朗:
stage III 食道癌 chemoradiotherapy 後の食道再発に対するサルベージサージャリーの一例
第8回北関東機能温存手術研究会, (東京) 9月, 2002
- No. 26 鈴木 英雄, 中原 朗, 川本 徹:
癌関連粘液形質, モノクローナル抗体 MYIE12 認識 MUCI ムチンは進行性大腸癌ならびにその悪性挙動に関する有用な生物学的指標となり得るか? シンポジウム「進行癌へ進展しやすい大腸癌: 発生と発育進展からみて」
第44回日本消化器病学会大会, (横浜), 10月, 2002
- No. 27 齋藤 洋子, 福富 久之, 松井 義博, 田沢 潤一, 仁平 武, 堀田 総一, 岡 裕爾,
真田 勝弘, 中原 朗:
大腸がん検診発見確定大腸がんの陽性頻度, 受診回数, 便潜血濃度の検討
第40回日本消化器集団検診学会(横浜)10月, 2002
- No. 28 谷中 昭典:
胃粘膜防禦, 修復に果たす Heat Shock Protein の役割
第4回 GGA-HSP 研究会, (東京), 10月, 2002
- No. 29 谷中 昭典, 田内 雅史, 張 松華, 鈴木 英雄, 柴原 健, 松井 裕史, 中原 朗,
田中 直見:
高塩分食は IL-1 受容体を介して H. pylori 感染マウスの胃粘膜萎縮進展を加速させる
第44回日本消化器病学会大会, (横浜), 10月, 2002

- No. 30 Matsui H., Matsuzaki Y., Nagano YN., Sugano M., Murata Y., Nakahara A. :
NSAID treatment induces gastric mucosal peroxidation of oxyntic glands.
2nd International Symposium on Antioxidants in Nutrition and
Therapy Mechanisms in Physiology- Pathology- Pharmacology,
(Bali), 10月, 2002
- No. 31 谷中 昭典, 張 松華, 田内 雅史, 鈴木 英雄, 柴原 健, 松井 裕史 :
高塩分食は IL-1 受容体を介して H. pylori 感染マウスの胃粘膜萎縮進展を加速させる
第30回日本実験潰瘍学会, (東京), 11月, 2002
- No. 32 松井 裕史, 中原 朗, 菅野 雅人 :
アミノレブリン酸を用いた胃癌の光線力学的診断
第23回日本レーザー医学会総会, (シンポジウム PDT の臨床1) (大阪) 11月, 2002
- No. 33 松井 裕史, 中原 朗, 菅野 雅人 :
アミノレブリン酸を用いた胃癌の光線力学的診断
第2回日本レーザー医学会総会, (大阪), 11月, 2002
- No. 34 柴原 健, 宮崎 香織, 中原 朗, 松井 裕史, 谷中 昭典, 田中 直見 :
進行胃癌に対する TS-1 の治療成績第2報
TS-1 研究会(つくば), 11月, 2002
- No. 35 佐藤 大介, 谷中 昭典, 柴原 健, 松井 裕史, 中原 朗, 田中 直見, 今川 重彦,
武藤 弘 :
Helicobacter pylori 除菌治療により急速に著明な改善を認めた特発性血小板減少性紫
斑病の1例
第272回日本消化器病学会関東支部例会, (東京), 12月, 2002
- No. 36 谷中 昭典, 田内 雅史, 張 松華, 鈴木 英雄, 柴原 健, 松井 裕史, 中原 朗,
田中 直見 :
高塩分食は IL-1受容体を介して H. pylori 感染マウスの胃粘膜萎縮進展を加速させる
第1回胃ガンのリスクファクター研究会, (東京), 12月, 2002
- No. 37 柴原 健, 鈴木 英雄, 佐藤 大介, 宮崎 香織, 吉田 茂正, 石下 和紀,
松井 裕史, 谷中 昭典, 田中 直見 :
透明フードを用いたルーチン大腸内視鏡
第75回日本消化内視鏡学会関東地方会
ビデオパネルディスカッション, (横浜), 12月, 2002

講演会その他

- No. 1 谷中 昭典 :
H. pylori 感染と NSAIDs 潰瘍の関連性
中国・四国ソファルコンシンポジウム, (広島), 1月, 2002
- No. 2 中原 朗 :
「逆流性食道炎の診断と治療」
真壁郡医師会講演会, ツタヤホテル, (下館市), 3月25日, 2002

No. 3 中原 朗：

レーザー治療はどこまで可能か PDT (Photo dyaic therapy) を中心に

第16回群馬消化器内視鏡医の集い, (前橋), 6月15日, 2002

No. 4 谷中 昭典：

胃粘膜防禦, 修復に果たす Heat Shock Protein の役割

第19回つくば GI Research Seminar, (つくば), 7月, 2002

No. 5 谷中 昭典：

ピロリ菌と胃ガンのかかわり. 食品による胃ガンの予防は可能か?

NPO 法人市民のための健康・医療ネットワーク主催講演会 (つくば), 12月, 2002

2002年（病院病理部グループ）

原 著

- No. 1 Sekine S, Shibata T, Kokubu A, Morishita Y, Noguchi M, Nakanishi Y, Sakamoto M, Hirohashi S.:

Craniopharyngiomas of adamantinomatous type harbor β -catenin gene mutations.
Am J Pathol 2002; 161: 1997-2001.

学会発表

- No. 69 加野准子, 石山直史, 飯嶋達生, 森下由紀雄, 野口雅之:
成体ブタ肝臓からの肝幹細胞様クローン株の樹立と in vitro 分化能.
第91回日本病理学会総会 2002.
- No. 70 森下由紀雄, 飯嶋達生, 南 優子, 塩谷清司, 松野吉宏, 野口雅之:
臨床病理学的特徴に対応する小型肺腺がんの組織細胞学的所見.
第43回日本臨床細胞学会総会 2002.
- No. 71 南 里恵, 飯嶋達生, 森下由紀雄, 野口雅之, 角田 肇, 吉川裕之:
卵巣癌細胞株のヒト中皮細胞との接着性とヌードマウス腹膜播種形成能との関係.
第61回日本癌学会総会 2002.
- No. 72 高野寛明, 森下由紀雄, 野口雅之:
Laser capture microdissection real-time RT-PCR 法の確立: 肺腺癌における
matrix-metalloproteinase-2発現の検討への応用.
第61回日本癌学会総会 2002.
- No. 73 山田和美, 沖 明典, 南 里恵, 佐藤豊実, 角田 肇, 深沢政勝, 森下由紀雄,
野口雅之, 吉川裕之:
子宮内膜細胞診での CMV 感染細胞出現が AIDS 診断の発端となった一例.
第41回日本臨床細胞学会秋期大会 2002.
- No. 74 漆川 邦, 角田 肇, 沖 明典, 佐藤豊実, 南 里恵, 高野克己, 深沢政勝,
森下由紀雄, 野口雅之, 吉川裕之:
子宮頸部まで連続性に進展した外陰 Paget 病の一例.
第41回日本臨床細胞学会秋期大会 2002.
- No. 75 南 優子, 山本達生, 森下由紀雄, 深沢政勝, 飯嶋達生, 野口雅之.
肺腺癌と上皮型悪性胸膜中皮腫の鑑別が困難であった2例.
第41回日本臨床細胞学会秋期大会 2002.

2002年（リハビリテーショングループ）

原 著(症例報告)

- No. 1 江口 清, 前田悠紀人, 花田和加子, 清水朋枝, 石川公久, 加藤敬子, 落合直之:
関節リウマチ患者への Hospital Anxiety and Depression Scale (HAD) の適用ーリハ
ビリテーション医療における簡便な心理テストの意義ー
リハビリテーション連携科学 3. 106-114, 2002

総 説

- No. 1 江口 清:
慢性期脳卒中患者の機能維持
総合臨床 51. 3227-3232, 2002

学会発表

- No. 1 江口 清:
生活上の問題が不安とうつの評価に反映されたと考えられる慢性関節リウマチの一患
者に対するリハビリテーションの経験ーチーム医療における簡便な心理テストの意義ー
日本リハビリテーション連携科学学会第3回大会 2002/3/10 大田原
- No. 2 江口 清, 落合直之:
予後に問題のある下肢切断者に対する坐骨支持長下肢装具の使用経験
第39回日本リハビリテーション医学会学術集会 2002/5/11 東京
- No. 3 江口 清:
脚延長術を行なった1例におけるF波
第24回運動障害研究会 2002/7/27 東京
- No. 4 清水朋枝, 石川公久, 前田悠紀人, 花田和加子, 江口 清, 加藤敬子:
当院における小児リハビリテーションの現状
第21回関東甲信越ブロック理学療法士学会 2002/9/1 大宮
- No. 5 渡部洋子, 花田和加子, 石川公久, 清水朋枝, 前田悠紀人, 加藤敬子, 江口 清:
変形性股関節症の人工股関節全置換術施行者に対する当院でのOTとしての関わり
第6回茨城県総合リハビリテーションケア学会学術集会 2002/12/1 日立市
- No. 6 石川公久, 江口 清, 清水朋枝, 前田悠紀人, 花田和加子, 渡部洋子, 加藤敬子:
養護学校に非常勤として勤務し感じたこと
第6回茨城県総合リハビリテーションケア学会学術集会 2002/12/1 日立市
- No. 7 花田和加子, 渡部洋子, 加藤敬子, 江口 清:
当院における腕神経叢損傷患者に対する取り組み
第6回茨城県総合リハビリテーションケア学会学術集会 2002/12/1 日立市
- No. 8 前田悠紀人, 石川公久, 清水朋枝, 花田和加子, 渡部洋子, 加藤敬子, 江口 清:
RAによる両膝関節破壊に対して両側TKAが行なわれた症例の足関節へのアプローチ
第6回茨城県総合リハビリテーションケア学会学術集会 2002/12/1 日立市

2002年（アドミッションセンターグループ）

著 書

- No. 1 山根一秀：脊椎関節症，pp980-983，
山根一秀：感染性関節炎，pp983-984，
山根一秀：Weber-Christian 病，pp985-985
島田馨，朝倉均，太田保世，柏木平八郎，金澤一郎，黒川清，齋藤英彦，
猿田亮男，戸田剛太郎，藤島正敏，松澤祐次，矢崎義雄 編
内科学書改訂第6版．東京：中山書店，2002

総 説

- No. 1 山根一秀：
CRP 高感度 CRP
臨床医 28(増刊号)：1067-1069，2002．
No. 2 山根一秀：
リウマチの検査と診断
微研ジャーナル友 25(4)：3-7，2002．

その他

- No. 1 鳴島 甫，渡邊公夫，白川友紀，山根一秀，島田康行：
筑波大学における入学者選抜に関する調査・研究報告書（平成13年度）
筑波大学アドミッションセンター，2002
No. 2 鳴島 甫，白川友紀，渡邊公夫，山根一秀，島田康行：
筑波大学における入学試験全体の整理・統合について（報告書）
筑波大学アドミッションセンター発行，2002
No. 3 鳴島 甫，白川友紀，渡邊公夫，山根一秀，島田康行：
アドミッションセンター入試 自己推薦書概要集成（平成14年度 第1期・第2期）
筑波大学アドミッションセンター発行，2002
No. 4 白川友紀，島田康行，渡邊公夫，山根一秀，鳴島 甫：
筑波大学 AC 入試入学者の追跡調査
国立大学入学者選抜研究連絡協議会 第22回大会研究発表予稿集，19～24頁，6月
No. 5 島田康行，白川友紀，渡邊公夫，山根一秀，鳴島 甫：
秋季入学拡大の可能性を探る～高等学校5000校アンケートの結果
国立大学入学者選抜研究連絡協議会 第22回大会研究発表予稿集，51～56頁，6月

No. 6 高校生・高校教諭等への筑波大学広報活動 山根一秀：

- (1)ライセンスアカデミー「推薦・AOに関する情報提供交換会」，東京，5月
- (2)ベネッセ「2002オリエンテーションスクエア」，水戸，5月
- (3)朝日新聞・大学通信「ユニバーシティ・カレッジフェア 21」，千葉，6月
- (4)栄美通信「大学・短期大学進学相談会」，宇都宮，6月
- (5)日本ドリコム「大学・短期大学進学ガイダンス」，東京，6月
- (6)日本ドリコム「大学・短期大学進学ガイダンス」，柏，7月
- (7)朝日新聞・大学通信「大学ガイダンス2002」，東京，7月
- (8)朝日新聞・大学通信「大学ガイダンス2002」，仙台，7月
- (9)リクルート「進学わくわくライブTOKYO2002」，東京，7月
- (10)日本ドリコム「大学・短期大学進学ガイダンス」，東京，9月
- (11)筑波大学施設見学者（茨城県立土浦第二高等学校）への大学説明，8月

2002年（医療科学グループ）

原 著

- No. 1 Okoshi Y, Imagawa S, Higuchi M, Yoshida C, Shimizu S, Mukai HY, Komeno T, Hasegawa Y, Ninomiya H, Kojima H, Nagasawa T :
A patient with acquired pure red cell aplasia showing a positive antiglobulin test and the presence of inhibitor against erythroid precursors.
Internal Medicine41(7) : 589-592, 2002.
- No. 2 桑名文二, 浦山修, 川井紘一 :
2型糖尿病におけるインスリン抵抗性の診断のための基準値とカットオフ値
臨床病理 50(4) : 398-403, 2002
- No. 3 川井紘一, 飯泉恵子, 菅原薫, 岩永志律子, 酒井百合子, 浦山修 :
SU薬を用いた未治療2型糖尿病患者への初期介入方法の評価
プラクティス 19(6) : 697-702, 2002
- No. 4 大塚正之, 浦山修, 東出正人 :
百日咳の新潟地域における流行—最近7年間の百日咳菌凝集素価の検討
日本臨床微生物学雑誌 12(4) : 229-231, 2002
- No. 5 Toyoshi Umezu, Hiroyasu Ito, Kimiyo Nagano, Miho Yamakoshi, Hiroko Oouchi, Misao Sakaniwa and Masatoshi Morita :
Anticonflict effects of rose oil and identification of its active constituents.
Life Sciences 72 : 91-102, 2002.
- No. 6 Satoe Suzuki, Kazuo Takemoto, Hideki Kudo, Katsuhiko Kuwa, Syuji Sassa, Shinobu Sakamoto :
Effects of medroxyprogesterone acetate on mammary carcinogenesis and tumors induced with a chemical carcinogen, 7, 12- dimethylbenza (a)- anthracene in rats.
Medical Postgraduates 2002 ; 40 : 88-93.
- No. 7 Katsuhiko Kuwa, Hiroshi Nagasawa, Takao Mori, Satoe Suzuki, Hideki Kudo, Shinobu Sakamoto :
UFT and mammary tumors in rodents.
Medical Postgraduates 2002 ; 40 : 447-451.
- No. 10 雲類驚雄一, 白井秀明, 斉藤友幸, 飯塚儀明, 桑 克彦 :
IFCC-SOP 法案による α -AMY 活性測定と P-AMY 活性測定の自動化法案の組み立てとその検証.
日本臨床検査自動化学会会誌2002 ; 27 : 16-21.
- No. 11 白井秀明, 桑 克彦, 渡辺伸一郎 :
リーパーゼ測定の評価.
日本臨床検査自動化学会会誌2002 ; 27 : 115-119.
- No. 12 飯塚儀明, 澤畑辰男, 桑 克彦, 磯部和正, 中井利昭 :
汎用自動分析装置の長期間の総合性能試験とその維持管理.
日本臨床検査自動化学会会誌 2002 ; 27 : 205-208.

- No. 13 Yoshida F, Matsumura A, Shibata Y, Yamamoto T, Nakauchi H, Okumura M, Nose T.:

Cell cycle dependence of boron uptake from two boron compounds used for clinical neutron capture therapy.

Cancer Letter 187:135-141, 2002

- No. 14 Zhang T, Matsumura A, Yamamoto T, Yoshida F, Nose T, Shimojo N.:

Comparison of Gadobenate Dimrglumine and Gadopentetate Dimeglumine: A study of MR Imaging and Inductively Coupled Plasma Atomic Emission Spectroscopy in Rat Brain tumors.

Am J Neuroradiol 23:15-18, 2002

総 説

- No. 1 東野英利子:

デジタルマンモグラフィの現状と将来

映像情報 34(3):280-285, 2002

- No. 2 東野英利子:

特集:医療被ばく—今日的観点と展望— マンモグラフィ

医学物理 22(2):74-80, 2002

- No. 3 東野英利子:

乳房過誤腫の1例

日独医報47(3):161-162, 2002

- No. 4 東野英利子:

超音波所見が診断に役立った非浸潤性乳癌

日独医報47(3):163-164, 2002

- No. 5 東野英利子

短報:各都道府県におけるマンモグラフィ検診の取組み
—茨城県におけるマンモグラフィ検診の経緯と実情—

日乳癌検診学会誌 11(2) JUN:215-216, 2002.

- No. 6 桑 克彦:

非観血的血糖測定の近未来.

DITN 2002(289):8,2002.

- No. 7 桑 克彦:

酵素標準物質(ERM) Lot 3の設定概要.

日本臨床検査標準協議会会誌 2002;17:51-94.

- No. 8 桑 克彦:

血糖自己測定の標準化.

臨床検査 2002;46:739-746.

- No. 9 濱崎直孝, 小西圭子, 牛島義雄, 木下幸子, 桑 克彦, 菅野剛史:

臨床検査値の標準—Q&A—どこまでできるのか.

臨床検査 2002;46:897-907.

- No. 10 桑 克彦：
CRP 測定の誤差評価法。

臨床検査2002；46：982-988.

著 書

- No. 1 二宮 治彦：
真性赤血球増加症（多血症）．二次性赤血球増加症．内科学書第6版（島田 馨 編）
東京：中山書店；2002：844-847.
- No. 2 中田穂出美，神山隆一：
—スタンダード病理学—病理検査のすべて．大西俊造，梶原博毅，神山隆一 編．組
織診（G～J）
東京：文光堂；2002：48-74
- No. 3 桑 克彦：
集団基準値設定のストラテジー：集積された検査計測値を利用した基準範囲の算出．
EBD FORUM SRL 宝函別冊2001：63-71.
- No. 4 Hideaki Shirai, Tomoyuki Saito, Takanori Kato, Yoshiaki Iizuka, Katsuhiko Kuwa：
Reactivity evaluation of enzyme reference materials as a calibrator and verifica-
tion of IFCC-traceable method for measurement of catalytic concentration of
amylase in serum.
Global Standardization and Advanced Quality Management 2002：91-94.
- No. 5 Tadao Hakuta, Takanori Kato, Yuichi Uruwashi, Katsuhiko Kuwa：
Eight-year accuracy evaluation of enzyme analysis by external quality assessment
in Ibaraki Prefecture.
Global Standardization and Advanced Quality Management 2002：95-98.
- No. 6 Takanori Kato, Tadao, Kato, Yuichi Uruwashi, Katsuhiko Kuwa：
Eight-year accuracy evaluation of lipid analysis by external quality assessment in
Ibaraki Prefecture.
Global Standardization and Advanced Quality Management 2002：99-101.
- No. 7 Yuichi Uruwashi, Koji Morita, Takanori Kato, Katsuhiko Kuwa, Tadao Hoshino：
Verification of traceability of HbA1c measurement to IFCC reference method for
international standardization.
Global Standardization and Advanced Quality Management 2002：165-167.
- No. 8 Osamu Nozawa, Hiroshi Yamakawa, Satoshi Wada, Chiharu Shibuya,
Tadao Kinoshita, Katsuhiko Kuwa：
Estimated equations to calculate age- and sex-classified reference intervals using
derivation of latent reference intervals procedure.
Global Standardization and Advanced Quality Management 2002：184-187.
- No. 9 富永真琴，小林 功，桑 克彦，武井 泉，星野忠夫，芳野 原，菅野剛史，片山善章，
葛谷英嗣，桑島正道，田港朝彦，牧野英一，小野順子，牧田善二，七里元亮：
ヘモグロビン A1c 標準物質 JDS Lot2 の NGSP 値について．

糖尿病 2002；45：385-388.

- No. 10 富永真琴, 小林 功, 桑 克彦, 武井 泉, 星野忠夫, 芳野 原, 菅野剛史, 片山善章,
葛谷英嗣, 桑島正道, 田港朝彦, 牧野英一, 小野順子, 牧田善二, 七里元亮:
血糖自己測定機器の比較対照法としての静脈血法の有用性.
糖尿病 2002; 45: 825-834.
- No. 11 桑 克彦:
関連の ISO 規格とその内容.
厚生労働省平成13年度体外診断用医薬品標準化調査班調査報告書 2002: 60-62.
- No. 12 Yoshida F, Matsumura A, Shibata Y, Yamamoto T, Zhang T, Nakauchi H,
Okumura M, Nose T:
Chronological changes of boron uptake and its relationship to the cell cycle.
An In Vitro study of different cell lines. Research and Development in Neutron
Capture Therapy,
Sauerwein W, Moss R, Wittig A. eds., Monduzzi Editore, Bologna,
pp857-860, 2002
- No. 13 Yamamoto T, Matsumura A, Yamamoto K, Kumada H, Hori N, Torii Y, Endo K,
Matsushita A, Yoshida F, Shibata Y, Nose T. :
In-air radiobiological dosimetry of JRR-4 neutron beam for boron neutron cap-
ture therapy.
Research and Development in Neutron Capture Therapy,
Sauerwein W, Moss R, Wittig A. eds., Monduzzi Editore, Bologna
pp697-700, 2002
- No. 14 Zhang T, Matsumura A, Yamamoto T, Yoshida F, Sakurai Y, Kobatashi T, Ono K.
Nose T. :
A comparison of in vivo Gd-NCT trial by using two targeting compounds: Gd-
BOPTA and Gd-DTPA.
Research and Development in Neutron Capture Therapy,
Sauerwein W, Moss R, Wittig A eds., Monduzzi Editore, Bologna,
pp807-812, 2002
- No. 15 Zhang T, Matsumura A, Yamamoto T, Yoshida F, Sakurai Y, Kumada H,
Yamamoto K, Nose T. :
A combination use of boron and gadolinium compounds in in vitro NCT trial.
Research and Development in Neutron Capture Therapy,
Sauerwein W, Moss R, Wittig A. eds., Monduzzi Editore, Bologna,
pp819-824, 2002

学会発表, 報文集, 抄録集, Proceedings など

- No. 1 浦山修, 本橋しのぶ, 菅原薫, 飯泉恵子, 岩永志律子, 川井紘一:
ビグアナイド剤とチアゾリジン誘導体薬併用療法のインスリン抵抗性指数による評価
第45回日本糖尿病学会年次学術集会 2002/5 東京

- No. 2 浦山修, 本橋しのぶ, 川井紘一:
当院における糖尿病末梢神経障害の評価方法とその臨床上の意義
第15回いばらき医療福祉研究集会 2002/11 土浦
- No. 3 遠藤登喜子, 角田 博子, 東野英利子:
パネルディスカッション 乳腺
61回日本医学放射線学会第(神戸), 4月, 2002
- No. 4 東野英利子, 板井 悠二, 喜多 泰代:
乳房X線画像からの三次元的部位推定ソフトの臨床的有用性:
乳癌における各種診断法との比較
61回日本医学放射線学会第(神戸), 4月, 2002
- No. 5 山口 雅之, 新津 守, 佐藤 次郎, 新藤 雅司, 大山 高一, 阿武 泉, 田中優美子,
吉岡 大, 東野英利子, 齋田 幸久, 板井 悠二:
前立腺癌; Sensitivity encoding (SENSE)法を用いた dynamic enhanced MRI の初期
経験
第30回日本磁気共鳴医学会(東京) 9月, 2002
- No. 6 山口 雅之, 新津 守, 内田 克紀, 鳥居 徹, 阿武 泉, 田中優美子, 吉岡 大,
東野英利子, 齋田 幸久, 板井 悠二:
Dynamic enhanced MRI における前立腺内線の早期濃染結節: 内線癌と過形成結節の
鑑別
第30回日本磁気共鳴医学会(東京) 9月, 2002
- No. 7 Tohno Eriko:
The use of ultrasound for the preoperative evaluation of breast cancer
The Thirty-third International Symposium of The Princess Takamatsu
Cancer Research Fund (Tokyo), November, 2002
- No. 8 東野英利子:
教育講演 乳癌診療における画像診断の役割
第21回日本画像医学会(東京) 2月-3月, 2002
- No. 9 東野英利子:
超音波誘導下乳房生検一適応とその方法
第17回 Radiology Ultrasound 研究会(東京) 11月, 2002
- No. 10 桑 克彦:
臨床化学検査—AST, ALT, GGT, TCHO, TG 自動分析法の落とし穴.
国労働衛生団体連合会臨床検査専門講習会.
平成13年度総合精度管理事業テキスト 1-29, 2002/3/19東京
- No. 11 桑 克彦:
病院検査室運営の課題と対策.
東京都職員臨床衛生検査技師会講演会. テキスト1-7, 2002/6/2, 東京
- No. 12 桑 克彦:
これからの医療と検査.
DPC ユーザー会. テキスト1-8, 2002/7/6, 名古屋

- No. 13 桑 克彦：
新臨床検査態勢—コメディカルの実践法。
第17回筑波セミナー。
筑波臨床化学セミナーテキスト 1-4, 2002/7/13, つくば
- No. 14 桑 克彦：
酵素標準物質 (ERM) Lot 3 の設定概要。
第17回筑波セミナー。
筑波臨床化学セミナーテキスト 5-31, 2002/7/13, つくば
- No. 15 桑 克彦：
検査室におけるリスクマネジメント Part 2：個別検体の管理。
第9回関東甲信地区臨床化学検査研究会。資料集：5-9, 2002/2/23, 足利
- No. 16 桑 克彦：
IFCC における標準化のトピックス。
平成13年度茨城県臨床衛生検査技師会臨床化学検査研究班精度管理報告会。
テキスト：1-5, 2002/2/17, 水戸
- No. 17 Y. Uruwashi, H. Shirai, T. Saitoh, T. Katoh, Y. Iizuka, K. Kuwa：
Reactivity evaluation of enzyme reference material as a calibrator and verification of IFCC traceable method for catalytic concentration of amylase measurement in serum.
54th Annual Meeting of AACC. Clin Chem 2002 ; 48(S6) : A36, Orland
- No. 18 K. Kuwa, T. Nakayama, T. Hoshino, M. Tominaga：
An accuracy calibration procedure for self-monitoring of blood glucose systems using healthy venous whole blood.
54th Annual Meeting of AACC. Clin Chem 2002 ; 48(S6) : A197, Orland
- No. 19 K. Kuwa, A. Tsubaki, K. Ogura：
Performance evaluation of "Advantage Test Strip S" type blood glucose test paper.
54th Annual Meeting of AACC. Clin Chem 2002 ; 48(S6) : A197, Orland
- No. 20 桑 克彦：
検体検査の効率化の将来—先進国医療システム型検査室と国際グローバリゼーション。
日本臨床検査自動化学会第34回大会。
日本臨床検査自動化学会会誌 2002 ; 27 : 351-352, 神戸
- No. 21 斉藤友幸, 内山吉喜, 飯塚儀明, 吉海 毅, 砂原美子, 桑 克彦：
CK-MB 活性測定 of 標準化—新規抗 M 抗体を用いた測定試薬の性能検証。
日本臨床検査自動化学会第34回大会。
日本臨床検査自動化学会会誌 2002 ; 27 : 438, 神戸
- No. 22 白井秀明, 飯塚儀明, 加藤隆則, 斉藤友幸, 桑 克彦：
T-AMY 活性測定 of 標準化—その 1 : T-AMY 活性測定 of 測定体系。
日本臨床検査自動化学会第34回大会。
日本臨床検査自動化学会会誌 2002 ; 27 : 440, 神戸

- No. 23 白井秀明, 飯塚儀明, 加藤隆則, 斉藤友幸, 桑 克彦:
T-AMY 活性測定の標準化—その 2: ERM 用添加酵素の反応性評価法.
日本臨床検査自動化学会第34回大会.
日本臨床検査自動化学会会誌 2002; 27: 441, 神戸
- No. 24 白井秀明, 飯塚儀明, 加藤隆則, 斉藤友幸, 中島正雄, 桑 克彦:
T-AMY 活性測定の標準化—その 3: ERM 用添加酵素の反応特性.
日本臨床検査自動化学会第34回大会.
日本臨床検査自動化学会会誌 2002; 27: 442, 神戸
- No. 25 飯塚儀明, 斉藤友幸, 桑 克彦:
T-AMY 活性測定の標準化—その 4: ERM Lot 3 への人証値としての値付け.
日本臨床検査自動化学会第34回大会.
日本臨床検査自動化学会会誌 2002; 27: 443, 神戸
- No. 26 鈴木英明, 桑 克彦:
T-AMY 活性測定の標準化—その 5: Gal-G2-CNP 基質試薬における対応.
日本臨床検査自動化学会第34回大会.
日本臨床検査自動化学会会誌 2002; 27: 444, 神戸
- No. 27 山口真里, 桑 克彦:
T-AMY 活性測定の標準化—その 6: EPS-G7 基質試薬における対応.
日本臨床検査自動化学会第34回大会.
日本臨床検査自動化学会会誌 2002; 27: 445, 神戸
- No. 28 飯塚儀明, 斉藤友幸, 白井秀明, 桑 克彦:
T-AMY 活性測定の標準化—その 7: ERM, 検量用 ERM への添加酵素の条件. 日本臨床検査自動化学会第34回大会.
日本臨床検査自動化学会会誌 2002; 27: 446, 神戸
- No. 29 加藤隆則, 斉藤友幸, 白井秀明, 飯塚儀明, 桑 克彦:
P-AMY 活性測定の標準化—その 1: P-AMY 活性測定の測定体系.
日本臨床検査自動化学会第34回大会.
日本臨床検査自動化学会会誌 2002; 27: 447, 神戸
- No. 30 加藤隆則, 斉藤友幸, 白井秀明, 飯塚儀明, 桑 克彦:
P-AMY 活性測定の標準化—その 2: ERM 用添加酵素の反応性評価法.
日本臨床検査自動化学会第34回大会.
日本臨床検査自動化学会会誌 2002; 27: 448, 神戸
- No. 31 加藤隆則, 斉藤友幸, 白井秀明, 飯塚儀明, 中島正雄, 桑 克彦:
P-AMY 活性測定の標準化—その 3: ERM 用添加酵素の反応特性.
日本臨床検査自動化学会第34回大会.
日本臨床検査自動化学会会誌 2002; 27: 449, 神戸
- No. 32 斉藤友幸, 内山吉喜, 加藤隆則, 野中百合子, 白井秀明, 飯塚儀明, 吉海 毅,
桑 克彦:
P-AMY 活性測定の標準化—その 4: ERM Lot 3 への参考値としての値付け.
日本臨床検査自動化学会第34回大会.
日本臨床検査自動化学会会誌 2002; 27: 450, 神戸

- No. 33 鈴木英明, 桑 克彦:
P-AMY 活性測定の標準化—その 5 : Gal-G2-CNP 基質試薬と ERM.
日本臨床検査自動化学会第34回大会.
日本臨床検査自動化学会会誌 2002 ; 27 : 451, 神戸
- No. 34 山口真里, 桑 克彦:
P-AMY 活性測定の標準化—その 6 : EPS-G7 基質試薬における対応.
日本臨床検査自動化学会第34回大会.
日本臨床検査自動化学会会誌 2002 ; 27 : 452, 神戸
- No. 35 斉藤友幸, 内山吉喜, 加藤隆則, 飯塚儀明, 鈴木英明, 桑 克彦:
P-AMY 活性測定の標準化—その 7 : ERM, 検量用 ERM への添加酵素条件.
日本臨床検査自動化学会第34回大会.
日本臨床検査自動化学会会誌 2002 ; 27 : 453, 神戸
- No. 36 山下計太, 飯塚儀明, 斉藤友幸, 桑 克彦:
エラスターゼ 1 と P-AMY・リパーゼの測定態度の比較.
日本臨床検査自動化学会第34回大会.
日本臨床検査自動化学会会誌 2002 ; 27 : 455, 神戸
- No. 37 飯塚儀明, 澤畑辰男, 桑 克彦, 磯部和正, 中井利昭:
新 Cl 電極を用いた多数検体による性能評価試験.
日本臨床検査自動化学会第34回大会.
日本臨床検査自動化学会会誌 2002 ; 27 : 482, 神戸
- No. 38 野中百合子, 雲類鷲雄一, 森田幸二, 安川恵子, 桑 克彦:
酵素的測定法によるグリコアルブミンと HbA1c の比較.
日本臨床検査自動化学会第34回大会.
日本臨床検査自動化学会会誌 2002 ; 27 : 510, 神戸
- No. 39 雲類鷲雄一, 森田幸二, 野中百合子, 安川恵子, 桑 克彦:
酵素的測定法によるグリコアルブミン測定試薬の性能評価.
日本臨床検査自動化学会第34回大会.
日本臨床検査自動化学会会誌 2002 ; 27 : 515, 神戸
- No. 40 桑 克彦, 梅本雅夫:
SMBG 用グルコース溶液を用いた SMBG 測定器の評価法と精確さの校正法.
日本臨床検査自動化学会第34回大会.
日本臨床検査自動化学会会誌 2002 ; 27 : 526, 神戸
- No. 41 桑 克彦:
AMY 測定の標準化の実際と今後の臨床対応.
東京都臨床衛生検査技師会ピュアオート S AMY-G2 講演会.
テキスト : 1-11, 2002/9/20, 東京
- No. 42 桑 克彦:
臨床協力としてすぐに役立つ検査—栄養アセスメント蛋白.
第41回中部医学検査学会. テキスト : 1-6, 2002/10/5, 富山

- No. 43 桑 克彦：
栄養評価—栄養アセスメント蛋白。
日赤技師会業務研修会。テキスト：1-6, 2002/10/16, 東京
- No. 44 Katsuhiko Kuwa：
Relationships of glucose concentrations in capillary whole blood, venous whole blood and venous plasma, and new calibration procedure.
18th ICCC-Kyoto. Text:1-4, 2002.10.23, Kyoto
- No. 45 Uruwashi Y, Morita K, Yasukawa K, Kuwa K.：
Performance evaluation of new enzymatic method for measurement of glycated albumin.
18th ICCC-Kyoto. Abstracts volume:S-107, 2002, Kyoto
- No. 46 Fukunaga T, Nakamura M, Okuda T, Iwasa I, Tani W, Kuwa K.：
External quality assessment for blood gases using certified reference materials.
18th ICCC-Kyoto. Abstracts volume:S142, 2002, Kyoto
- No. 47 Kuwa K, Umemoto M, Nakayama T, Hoshino T, Tominaga M.：
An accuracy calibration procedure for self-monitoring of blood glucose systems using healthy venous whole blood containing glucose solution.
18th ICCC-Kyoto. Abstracts volume:S244, 2002, Kyoto
- No. 48 Onizawa T, Kojima M, Kuwa K.：
Performance evaluation of FreeStyle of self-monitoring of blood glucose system.
18th ICCC-Kyoto. Abstracts volume:S244, 2002, Kyoto
- No. 49 坂本芳美, 岡 美和子, 深田靖彦, 河内正治, 桑 克彦：
栄養評価としての血清アルブミン値。
第42回日本臨床化学学会年会。臨床化学 2002：31(Supp. 1)：92a, 京都
- No. 50 桑 克彦：
新臨床検査態勢—検査技師の医療スタッフとしての実践法とERM Lot 3の設定概要。
福島県臨床衛生検査技師会臨床化学研究班研修会。
テキスト：1-13, 2002/11/9, 郡山
- No. 51 桑 克彦：
ラボ認定と技能試験。
第49回日本臨床検査医学会総会。臨床病理2002：50(補冊)：39, 大阪
- No. 52 桑 克彦：
酵素標準物質(ERM Lot 3)の特性と標準化。
第20回日立自動分析機ユーザー会。テキスト：1-11 2002/11/30, 新潟
- No. 53 桑 克彦：
基準範囲の維持と活用の仕方。
平成14年度富山県臨床検査精度管理報告会。テキスト：1-7, 2002/12/1, 富山

- No. 54 Saitoh T, Watanabe S, Shintomi Y, Morimoto T, Arai E, Ishii C, Nishina H, Ishiyama M, Eda K, Sakamoto K, Takeyasu N, Toyama M, Yamaguchi I, Ajisaka R. :
Both the increase in blood flow and the muscle function to utilize oxygen contribute in determining the aerobic exercise capacity.
The 66th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society
2002/4/ 24, Sapporo
- No. 55 Shintomi Y, Watanabe S, Morimoto T, Takeyasu N, Saitoh T, Toyama M, Sakamoto K, Eda K, Ishiyama M, Nishina H, Arai Emi, Ishii C, Yamaguchi I, Ajisaka R, Takeda T. :
Diastolic dysfunction persists longer than systolic abnormality after a transient myocardial ischemia.
The 66th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society
2002/4/ 25, Sapporo
- No. 56 新井 恵美, 渡辺 重行, 仁科 秀崇, 森本 隆史, 新富 義侯, 武安 法之, 山口 巖, 鰐坂 隆一, 武田 徹, 板井 悠二 :
心疾患例における骨格筋交感神経機能と運動耐容能・血管拡張能との関連
第42回日本核医学会総会 2002/11/6 神戸
- No. 57 Yoshida F, Matsumura A, Shibata Y, Yamamoto T, Zhang T, Nakauchi H, Okumura M, Nose T :
Chronological changes of boron uptake and its relationship to the cell cycle. In In Vitro study of different cell lines.
The 10th International Congress on Neutron Capture Therapy
(Essen, Germany, Sept. 2002)
- No. 58 吉田文代, 松村明, 中内啓光, 奥村正文, 能勢忠男
ホウ素化合物 (BSH,BPA) 取込みの, フローサイトメトリーによる検討
日本癌学会第61回総会, 東京, 10. 1-3. 2002